平成 28 年度 主要施策の成果説明書



琴浦町

目 次

議	会	事	務	局	•••••	1
総		務		課	•••••	2
企	画	情	報	課	•••••	3
商	エ	観	光	課	•••••	4
税		務		課	•••••	5
農	林	水	産	課	•••••	6
町	民	生	活	課	•••••	7
福	祉あ	5 6	しん	課	•••••	8
子	育	て 傾	康	課	•••••	9
建		設		課	•••••	1 0
上	下	水	道	課	•••••	1 1
出		納		室	•••••	1 2
農	業委	員会	事務	易局	•••••	1 3
教	育	総	務	課	•••••	1 4
社	会	教	育	課	•••••	1 5
人	権・「	司和	教育	課	•••••	1 6
学	校 給	食 t	2ンタ	7 —	•••••	1 7
沓		米斗		編	• • • • • • • •	1 8

評価項目の基準

評価項目	評価の内容	基準点	評価の視点
		10	ニーズ・必要性は高まっている。
ᄽᅲᄊ	ニーズ、事業の必要性	7	ニーズ・必要性に大きな変化はない。
必要性	は薄らいでいません か。	3	ニーズ・必要性は薄らいできた。
		0	必要性がない。
		10	継続して行政が行うべき事業である。
立小州	行政が行うべき事業で すか。委託の可能性は	7	行政が行うほうが効率がよい事業である。
妥当性 -	りか。安託の可能性は ありますか。	3	必ずしも行政が行う必要性がなく、委託も可能である。
		0	行政が行う必要性がない。
		5	対象者以外にも当該事業により広く便益を提供している。
公平性	受益者に偏りはありま	3	受益者は多く、概ね便益を提供している。
公十年	せんか。	1	受益者は限定されているが、公共性が高い事業である。
		0	受益者が限定されており、公共性は低い事業である。
		5	目標値を達成し、他事業にもよい効果が現れている。
有効性	事業の年度目標値は達	3	概ね事業としての目標値を達成している。
1	成されていますか。	1	やや目標値を下回っており、改善が必要である。
		0	目標値達成が困難であり、抜本的見直しが必要である。
		5	費用、人員に対する効果は、高まっている。コストは下がっている。
効率性	コスト効率、人員効率	3	費用、人員に対する効果は、前年度と同程度である。
刈 卒注	は高まっていますか。	1	費用、人員に対する効果は、低くなっている。コストは上がっている。
		0	費用、人員に見合った効果が得られていない。
		5	先進・独創的な取組で地域活性化に貢献し、他団体の模範となる事業で ある。
先駆性	先進的・独創的な取組	3	先進・独創的な取組で地域活性化に効果が生まれている。
独創性	で、地域活性化に繋がる事業ですか。	1	先進・独創的でないが、地域活性化の効果はある。 または事務的事業に該当する。
		0	先進・独創的な取組でなく、地域活性化への効果は限定的である。

所 属 名 称:総務課

(単位:千円)

(款-項-目-事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ページ)	(備考)
一般会計				
議会事務局	88,734	87,909		
1.議会費	87,497	86,695		
1.議会費	87,497	86,695		
1.議会費	87,497	86,695		
議員人件費	76,689	76,687	1-1	
町議会運営一般	10,808	10,008	1-2	
2.総務費	1,237	1,214		
6.監査委員費	1,237	1,214		
1.監査委員費	1,237	1,214		
監査事務	1,237	1,214	1-3	

一般会計

・ 予末の以末及∪	グロエル											ルスス	T
事業番号		業名	議員人	、件費					事業区分		□新規	Į	■継続
	会事務局				担当係		議事係	Ŕ					
予 算 区 分	款 1	議会			項	1 譲	長会費			■	1	議会費	
	最	終	決算	額		事業	費財	源内訳	(千円)				
年度	(-	算額 F円)	(千月	円)	国 庫 支出金	県支出	金	その他 (収入)	起債	一般則	財源		備考
平成28年度		76, 689	76	6, 687						76	, 687		
平成28年度(明語	許)												
活動項目	単位		度	26	(実績)	27 (実績)	2	8(実績)		29		30
		目	標		_		_		_		_		_
設定なし			績		_		_		_		_		
_		達用	戊 率				_		_		_		
事業の対象	÷m-=÷∧=÷	2102											

|琴浦町議会議員16名 (だれに)

事業の目的 (なんのために) 琴浦町議会を運営するために必要な経費

「議決機関」である議会は、町民の要望を町政に反映させるため、予算・条例などの議案を審議し決 定する。

〇 町議会議員 16名

議長

議員人件費

76,687 千円

1 議員報酬

331,000円×1名×12ヶ月

副議長 240,000円×1名×12ヶ月

委員長 232,000円×5名×12ヶ月

議員 224,000円×8名×12ヶ月+ 224,000×1名×10ヶ月

事業の 実施状況

2 議員手当等(16名)

期末手当:6月 報酬月額×1.2×1.500、12月 報酬月額×1.2×1.650

3 議員共済会負担金

17,558 千円

44,516 千円

議員共済会事務費 15,000円×16名

220,000円 議員年金廃止に伴う特別負担金

(標準報酬月額) ×定数×12ヶ月×39.7/100

〔成果〕

- 1 企業誘致特別委員会、地方創生調査特別委員会を開催し、事項の具体化に向けて取り組みまし た。
- 2 各議員が複数の委員会に所属し、改革を実施しました。
- 3 議会報告会・意見交換会を実施し、町民の意見要望を聞く機会ができました。

[課題]

1 「二元代表制」における議会の在り方を常に研鑽し、更に議会改革を目指す必要があります。

成果と 課題



	·価点 計 〇点満点)		29	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小、	B:現状維持 終期設定、委		- 率化し継続、委託の検討 ∶休止、廃止	
評価点	7	10	5	3	3	1	効率性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
						/+ E0.4+	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0

担当課による判定と理由

В

継続して実施する必要があります。

業番号 事業名 町議会運営一般 事業区分 □新規 ■継続 担 当 課 議会事務局 担当係 庶務·議事係 算 区 分 1 議会費 1 議会費 議会費 款 項 目 1 最 終 決算額 事業費財源内訳 (千円) 予算額 年度 国庫 備考 その他 県支出金 起債 一般財源 (千円) (千円) 支出金 (収入) 平成28年度 10, 808 10,008 10,008 平成28年度(明許) 活動項目 単位 年度 26(実績) 27(実績) 29 30 28(実績 目標 設定なし 実績 達成率 事業の対象 琴浦町議会議員16名、事務局3名 議員研修等、議員の資質向上に資する経費及び議会だよりの発行、会議録の作成など議会を運営する 事業の日的 (なんのために) ための経費 〇 町議会 10,008 <u>千円</u> 議会運営一般 1,777 千円 3,689 千円 賃金:臨時職員1名 2 報償費、旅費(普通旅費、費用弁償)、交際費、需用費(消耗品、印 刷製本費)、役務費(手数料) 主に、議員視察研修等を実施、また、HP掲載、「議会だより」を発行(年4回実施)広く町 民へ広報活動を実施 委託料 会議録テープ起こし等委託料(本会議議事録作成事務) 使用料(借上料)、備品購入(図書) 2, 32<u>1</u> 3 15 千円 2, 206 千円 5 負担金 内訳 県町村議会議長会負担金等 1,943,100円 県町村議会事務協議会負担金 9.000円 中部町村議会議長会負担金 254,000円 本会議及び各委員会の開催状況 <u>〇定例会(4回)</u> 〇各委員会 事業の 5日 実施状況 7日~ 6月 5日 平成28年 6月 17 H 総務常任委員会 6日 平成28年 9月 7日~ 9月 23日 5日 |教育民生常任委員会 平成28年 12月 6日~ 12月 5日 4日 農林建設常任委員会 19日 平成29年 7日~ 23日 5日 議会運営委員会 23日 議会広報常任委員会 25日 5日 企業誘致推進特別委員会 〇臨時会(3回) 平成28年 7月 29日 5日 1日 地方創生調査特別委員会 平成28年 11月 21日 懲罰特別委員会 3⊟ 1日 平成29年 1月 19日 1日 ◆ 議会報告会·意見交換会開催状況 場所 出席議員数 参加人数 平成29年3月30日 浦安地区公民館 9 37 [成果] 国際文化研修所等の研修に議員派遣するなど、議員の資質向上に努めました。 常任委員会での議論を深めるために委員会への複数所属を継続実施しました。 随時、HP(ホームページ)に議会の状況を掲載し広く情報提供に努めました。 議会基本条例に基づき議会改革が推進されるよう、円滑な議会運営と、決定された事項の具体化 に向けて取り組みました。 〔課題〕 広報活動を充実させ、より開かれた議会を目指す必要があります。 議会の政策形成機能や監視機能を補佐する体制が一層重要であり、事務局職員の育成や、議会図 書室における文献・資料の充実など議会の担う機能を補佐・支援するための体制の整備・強化を 図る必要があります。 将来的には、iPad等の電子機器を導入し、ペーパレス化を進めると伴に事務の効率化を図る必要 があります。 (体制整備と意識改革) 必要性 住民ニーズ、事業の必要性は 10, 7, 3, 0 先駆性 必要性 妥当性 公平性 効率性 行政必須か、委託の可能性は。 有効性 評価項目 10. 7. 3. 0 妥当性 独創性 公平性 受益者の偏りはないか 5, 3, 1, 0 日標数値は達成でき 7 10 5 3 1 評価点 効率性 コスト・人員効率はどうか A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止 評価点 計 27 判定基準 (40点満点) 担当課による判定と理由 В 継続して実施する必要があります。

■継続 番号 事業名 監査事務 事業区分 □新規 66 抇 当 課 議会事務局 担当係 庶務·議事係 2 総務費 6 監査委員費 監査委員費 算 区 分 款 項 目 1 最 終 予算額 事業費財源内訳 (千円) 決算額 年度 備考 国庫 その他 県支出金 起倩 一般財源 (千円) 支出金 (収入) (千円) 平成28年度 1, 237 1, 214 1, 214 平成28年度(明許) 活動項目 単位 年度 26(実績) 27(実績) 29 30 28(実績 目標 設定なし 実績 達成率 事業の対象 琴浦町監査委員 2名 (だれに) 公正で合理的かつ能率的な町の行政運営確保のため、違法不当の指摘に止まらず、改善と改革指導に 事業の日的 (なんのために) 重点を置いて監査を実施し、もって町行財政の適法性、効率性の増進を図る。 ○ 町監査委員 2名 1,214 千円 1,020 千円 報酬 代表監査委員 50,700円×12ヶ月 34,300円×12ヶ月 監査委員 2 旅費 119 千円 費用弁償 事業の 3 負担金、補正金及び交付金等 75 千円 実施状況 鳥取県監査委員懇談会参加負担金 58,000円 中部町村監査委員協議会負担金等 17,000円 〔成果〕 違法・不当の指摘にとどまらず、校正で合理的かつ能動的な町の行政運営確保のため、改善と 行政改革指導に重点をおいた監査を実施し、その結果を報告しました。 2 財政援助団体、指導管理者への随時監査を実施しました。 3 例月現金出納検査 12回、 定期監査(4月・11月)2回、 決算審査 1回を実施しました。 [課題] 従来の財務執行の合法性、正確性を基礎に置きつつ、関連する事務事業の成果について、経済 性、効率性、有効性をも視野にいれた監査を行う必要がある。また、公会計制度の導入に伴い、 より監査事務の資質向上を図る必要があります。 成果と 課題 ズ、事業の必要性は 先駆性 公平性 評価項目 必要性 妥当性 有効性 効率性 妥当性 行政必須か、委託の可能性は 10 7 3 0 独創性 公平性 受益者の偏りはないか。 目標数値は達成できた 10 5 5 3 評価点 効率性 コスト・人員効率はどうか 5 3 1 0 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止 評価点 計 31 判定基準 (40点満点) 担当課による判定と理由 В 継続して実施する必要があります。

(款-項-目-事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ページ)	単位:千円 (備考)
设会計 	4,622,477	4,563,346		
1.議会費	17,366	16,898		
1.議会費	17,366	16,898		
1.議会費	17,352	16,898		
人件費	17,352	16,898		人件費
2.鳥取県中部地震対策費	14	0		L/H·弗
鳥取中部地震災害対策事業(議会費·総務課) 2.総務費	14 1,939,633	1,910,451		人件費
	1,813,730	1,785,537		
1.一般管理費	542,867	532,452		
人件費	432,437	429,989		人件費
一般管理事務	55,259	50,830	2-1	
うち繰越分	300	0		
職員研修	3,488	3,287	2-2	
安全衛生委員会	825	790	2-3	
情報公開·個人情報保護等	50	38	2-4	
秘書業務	2,729	2,504	2-5	
	3,973	3,924 24,476	2-6	
	26,474 17.632	16.614	2-7 2-8	
3.財政管理費	988,870	988.049	Z ⁻ 0	
財政管理事務	520,587	519,796	2-9	
ふるさと納税	468,283	468,253	2-10	
5.財産管理費	6,383	5,022		
駅前自転車置場管理運営 	205	114		事務費
財産管理(普通財産)	4,281	3,194	2-11	
総合賠償保険加入事業	1,897	1,714	2-12	
7.企画費	59,556	59,551		
人件費	59,556	59,551		人件費
自治センター設立事業	0	0		
8.公平委員会費	27	27		古水曲
公平委員会事務委託	27	27		事務費
9. 交通安全対策費 交通安全対策	6,619 6,619	6,452 6,452	2-13	
11.分庁管理費	23,450	22,707	2-13	
<u> </u>	23,450	22,707	2-14	
うち繰越分	1,279	1,279	2 17	
12.諸費	151,849	150,572		
コミュニテイ助成事業	5,500	5,500	2-15	
事務費等	25,426	24,468		事務費
部落自治振興費補助	16,541	16,432	2-16	
式典事業 業	1,271	1,061	2-17	
定期借地権設定事業	103,111	103,111	2-18	
13.鳥取県中部地震対策費	34,109	20,705		
鳥取中部地震災害対策事業(総務管理費・総務課)	34,109	20,705	2-19	
2.微税費	93,073	92,425		
1.税務総務費 人件費	92,833 92,833	92,425 92,425		人件費
3.鳥取県中部地震対策費	240	92,425		人計复
	240	0		人件費
3.戸籍住民登録費	18,716	18,593		7 II A
1.戸籍住民登録費	18,662	18,593		
人件費	18,662	18,593		人件費
2.鳥取県中部地震対策費	54	0		
鳥取中部地震災害対策事業(戸籍住民登録費・総務課)	54	0		人件費
4.選挙費	10,672	10,611		
1.選挙管理委員会費	212	172		
選挙管理委員会の運営	212	172	2-20	
2.参議院議員選挙費	10,253	10,250	0.04	
参議院議員選挙	10,253	10,250	2-21	
3.鳥取海区漁業調整委員会委員選挙費 鳥取海区漁業調整委員会委員選挙	146 146	146 146	2-22	
馬取海区漁業調金安員芸安員選筆 4.土地 改良区選挙費	61	43	2-22	
	61	43	2-23	
5.統計調査費	3,442	3,285	2 20	
1.統計調查費	3,432	3,285		
人件費	3,432	3,285		人件費
2.鳥取県中部地震対策費	10	0		- 111 34
鳥取中部地震災害対策事業(統計調査費・総務課)	10	0		人件費
3.民生費	414,320	411,724		
1.社会福祉費	86,798	85,436		
1.社会福祉総務費	19,134	18,848		

人件費	19,134	18,848		4 費
2.社会福祉事業費	58,779	58,149		
	58,779 4,774	58,149 4,719	人件	<u>‡費</u>
人件費	4,774	4,719	人件	牛費
14.鳥取県中部地震対策費 鳥取中部地震災害対策事業(社会福祉費・総務課)	341 341	0 0		上弗
12.後期高齢者医療費	3,770	3,720		
	3,770 327,522	3,720 326,288	人件	牛費
	327,522	326,288		
人件費	327,522	326,288	人件	牛費
4.衛生費 1.保健衛生費	77,582 77,582	76,727 76,727		
1.保健衛生総務費	77,409	76,727	1. 71	. ===
人件費 5.鳥取県中部地震対策費	77,409 1 73	76,727 0	人件	干實
鳥取中部地震災害対策事業(保健衛生費・総務課)	173	0	人件	牛費
5. <u>農林水産業費</u> 1.農業費	103,705 95,580	102,601 94,827		
	16,562	16,557		
人件費	16,562	16,557	人件	牛費
	8,428 8,428	8,340 8,340	人但	牛費
3.農業振興費	29,749	29,522		
	29,749 3,790	29,522 3,786	人件	牛費
	3,790	3,786		牛費
5.農地費	18,423	18,388		
<u>人件費</u> 6.地籍調査事業費	18,423 18,339	18,388 18,175	人件	‡費
人件費	18,339	18,175	人件	牛費
8.鳥取県中部地震対策費 鳥取中部地震災害対策事業(農業費・総務課)	289 289	59		止弗
	8,125	7,774	<u> </u>	<u>† 負</u>
1.林業総務費	8,095	7,774		
人件費 3.鳥取県中部地震対策費	8,095 30	7,774 0	人件	‡費
鳥取中部地震災害対策事業(林業費・総務課)	30	0	人件	牛費
6.商工費 1.商工費	35,053 35,053	34,731 34,731		
1.商工総務費	34,980	34,731		
人件費 6.鳥取県中部地震対策費	34,980	34,731	人件	牛費
	73	0		牛費
7.土木費	48,219	47,756		
1.土木管理費 1.土木総務費	16,374 16,337	16,213 16,213		
人件費	16,337	16,213	人件	牛費
2.鳥取県中部地震対策費 鳥取中部地震災害対策事業(土木管理費·総務課)	37 37	0	人件	州 趙
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	18,019	17,837	八百	<u>†貝</u>
2.道路新設改良費	16,954	16,859	1.11	". #
	16,954 989	16,859 978	<u> </u>	干負
人件費	989	978	人件	牛費
4.鳥取県中部地震対策費 鳥取中部地震災害対策事業(道路橋梁費·総務課)	76	0 0		上建
5.住宅費	13,826	13,706	ХП	丁貝
1 住宅等理费	6,479	6,423	人件	上井
1.住宅管理 <u>費</u>	6 470	6 400		+10
1.任七官注資 人件費 2.住宅建設費	6,479 7,286	6,423 7,280	ХП	1 57
人件費 2.住宅建設費 人件費	7,286 7,286	7,280 7,280	人件	
人件費 2.住宅建設費 人件費 3.鳥取県中部地震対策費	7,286 7,286 61	7,280 7,280 3	人件	牛費
人件費 2.住宅建設費 人件費 3.鳥取県中部地震対策費 鳥取中部地震災害対策事業(住宅費・総務課) 8.消防費	7,286 7,286 61 61 325,704	7,280 7,280 3 3 319,104		牛費
人件費 2.住宅建設費 人件費 3.鳥取県中部地震対策費 鳥取中部地震災害対策事業(住宅費・総務課) 8.消防費 1.消防費	7,286 7,286 61 61 325,704 325,704	7,280 7,280 3 3 319,104 319,104	人件	牛費
人件費 2.住宅建設費 人件費 3.鳥取県中部地震対策費 鳥取中部地震災害対策事業(住宅費・総務課) 8.消防費 1.消防費 1.常備消防費 常備消防費	7,286 7,286 61 61 325,704	7,280 7,280 3 3 319,104	人件	牛費
人件費 2.住宅建設費 人件費 3.鳥取県中部地震対策費 鳥取中部地震災害対策事業(住宅費・総務課) 8.消防費 1.消防費 1.常備消防費 常備消防費 2.非常備消防費	7,286 7,286 61 61 325,704 325,704 244,772 244,772 63,688	7,280 7,280 3 3 319,104 319,104 243,336 243,336 60,831	人作人作	牛費
人件費 2.住宅建設費 人件費 3.鳥取県中部地震対策費 鳥取中部地震災害対策事業(住宅費・総務課) 8.消防費 1.消防費 1.常備消防費 常備消防費 常備消防費 非常備消防費 非常備消防費	7,286 7,286 61 61 325,704 325,704 244,772	7,280 7,280 3 3 319,104 319,104 243,336 243,336	人件	牛費
人件費 2.住宅建設費 人件費 3.鳥取県中部地震対策費 鳥取中部地震災害対策事業(住宅費・総務課) 8.消防費 1.消防費 1.消防費 2.非常備消防費 業情備消防費 非常備消防費 非常備消防事務経費 地域防災力向上事業 空き家対策事業	7,286 7,286 61 61 325,704 325,704 244,772 244,772 63,688 62,758 777 153	7,280 7,280 3 3 319,104 319,104 243,336 243,336 60,831 60,060 668 103	人作 人作 事務 2-24	牛費
人件費 2.住宅建設費 人件費 3.鳥取県中部地震対策費 鳥取中部地震対策費 鳥取中部地震災害対策事業(住宅費・総務課) 8.消防費 1.消防費 1.消防費 2.非常備消防費 非常備消防費 非常備消防費 地域防災力向上事業	7,286 7,286 61 61 325,704 325,704 244,772 244,772 63,688 62,758 777	7,280 7,280 3 3 319,104 319,104 243,336 243,336 60,831 60,060 668	人作 人作 事務 2-24 2-25	牛費

9.教育費 161,397 160,245 1.教育総務費 60,780 60,495 2.事務局費 60,780 60,460 人件費 60,780 60,460 人件費 3.鳥取県中部地震災害対策事業(教育総務費・総務課) 92 35 人件費 4.社会教育費 86,834 86,088 4.社会教育費 50,730 50,462 人件費 50,730 50,462 人件費 50,730 50,462 人件費 6.図書館費 9,215 8,919 人件費 8,915 8,919 人件費 3.人作 信和教育費 26,686 26,529 人件費 9.鳥取県中部地震災害対策事業(社会教育費・総務課) 203 178 人件費 9.鳥取県中部地震災害対策事業(社会教育費・総務課) 203 178 人件費 5.保健作育総務費 13,652 13,643 人件費 1.保健体育総務費 13,652 13,643 人件費 5.陽取県中部地震災害対策事業(保健体育費・総務課) 39 19 人件費 1.0返售(旧費 1,748 359 1.原本地震災害支援事業 1,035 97 人件費 2.鳥取県中部地震災害支援事業 1,035 97 人件費 2.鳥取県中部地震災害支援事業 1,035 97 人件費 2.鳥取県中部地震災害支援事業 1,035 97 人件費 1.公債費 1,482,750 1,262 1,262 1,262 1.公債費 <th>鳥取中部地震災害対策事業(消防費・総務課)</th> <th>4,811</th> <th>3,207</th> <th>人件費</th>	鳥取中部地震災害対策事業(消防費・総務課)	4,811	3,207	人件費
1.教育総務費 60,872 60,485				7117
2.事務局費 60,780 60,460 人件費 3.鳥取県中部地震対策費 92 35 鳥取中部地震災害対策事業(教育総務費・総務課) 92 35 人件費 4.社会教育費 86,834 86,088 1.社会教育整務費 50,730 50,462 人件費 6.図書館費 9,215 8,919 人件費 8.人件費 9,215 8,919 人件費 8.人件費 26,686 26,529 人件費 9.鳥取県中部地震対策費 203 178 人件費 5.保健体育費 13,691 13,662 178 1.保健体育費 13,691 13,662 13,643 人件費 5.保健体育費 13,652 13,643 人件費 5.鳥取県中部地震対策費 39 19 人件費 5.鳥取県中部地震対策費 39 19 人件費 10,災害復旧費 1,748 359 1 2.地震災害復旧費 1,035 97 人件費 2.鳥取県中部地震災害支援事業 1,035 97 人件費 2.鳥取県中部地震災害支援事業 1,035 97 人件費 2.鳥取県中部地震災害支援事業 1,035 97 人件費 1.公債費 1,134,2123	1.教育総務費			
人件費	2.事務局費			
3.鳥取県中部地震災害対策事業(教育総務費・総務課) 92 35 人件費 4.社会教育養 86,834 86,088 1.社会教育総務費 50,730 50,462 人件費 6.図書館費 9,215 8,919 人件費 8.人権費 26,686 26,529 人件費 8.人権官同和教育費 26,686 26,529 人件費 9.鳥取県中部地震対策費 203 178 人件費 9.鳥取県中部地震対策費 13,681 13,662 13,662 1.保健体育養 13,652 13,643 人件費 5.保健体育養 13,652 13,643 人件費 5.鳥取県中部地震対策費 13,652 13,643 人件費 5.鳥取県中部地震災害対策事業(保健体育費・総務課) 39 19 人件費 2.地震災害負旧費 1,748 359 1.旅本地震災害支援事業 1,035 97 人件費 2.鳥取中部地震災害支援事業 1,035 97 人件費 2.鳥取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・総務課) 713 262 事務費 11.公債費 1,484,123 1,482,750 1.公債費 1.元金 1,313,671 1,313,346 上股債償還元金 1,313,671 1,313,346 上限債償還元金 1,213,376 1,282,750				人件費
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	3.鳥取県中部地震対策費	92	35	
4.社会教育證券費 86,834 86,088 1.社会教育総務費 50,730 50,462 人件費 6.図書館費 9,215 8,919 人件費 8.人権・同和教育費 26,686 26,529 人件費 8.人権・同和教育費 26,686 26,529 人件費 9.鳥取県中部地震対策費 203 178 鳥取中部地震災害対策事業(社会教育費・総務課) 203 178 人件費 5.保健体育費 13,691 13,662 13,662 13,643 人件费 1.保健体育診療費 13,652 13,643 人件费 5,鳥取県中部地震災費費 39 19 人件费 5.鳥取県中部地震災費費 39 19 人件費 1,748 359 1 1,748 359 1 1,748 359 1 1,748 359 1.1 1,748 359 1.1 1,748 359 1.1 1,748 359 1.1 2.2 事務費 1,035 97 月 月 1,484 1,313 262 事務費 1,12 2.2 2.2		92	35	人件費
1.社会教育総務費 50,730 50,462 人件費 6.図書館費 9,215 8,919 人件費 人件費 9,215 8,919 人件費 8.人権・同和教育費 26,686 26,529 人件費 9.鳥取県中部地震対策費 203 178 鳥取中部地震災害対策事業(社会教育費・総務課) 203 178 人件費 5.保健体育費 13,652 13,662 13,662 1.保健体育総務費 13,652 13,643 人件費 5.鳥取県中部地震対策費 39 19 鳥取中部地震災害対策事業(保健体育費・総務課) 39 19 10災害復旧費 1,748 359 1.熊本地震災害支援事業 1,035 97 2.鳥取県中部地震災害支援事業 1,035 97 人件費 2.鳥取県中部地震災害支援事業 1,035 97 人件費 2.鳥取県中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・総務課) 713 262 事務費 11.公債費 1,484,123 1,482,750 1.元金 1,313,671 1,313,346 2-28 2.利子 170,452 169,404 2-29 13.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627	4.社会教育費	86,834	86,088	
6.図書館費	1.社会教育総務費	50,730	50,462	
大件費	人件費	50,730	50,462	人件費
8.人権・同和教育費 26,686 26,529 人件費 9.鳥取県中部地震対策費 203 178 鳥取中部地震災害対策事業(社会教育費・総務課) 203 178 人件費 5.保健体育費 13,691 13,662 13,643 人件費 1.保健体育総務費 13,652 13,643 人件費 5.鳥取県中部地震対策費 39 19 人件費 鳥取中部地震災害対策事業(保健体育費・総務課) 39 19 人件費 10.災害復旧費 1,748 359 1 人件費 1.熊本地震災害支援事業費 1,035 97 人件費 2.鳥取県中部地震災害支援事業 1,035 97 人件費 2.鳥取県中部地震災害支援事業 1,035 97 人件費 1.企債費 1,484,123 1,482,750 1.484,123 1,482,750 1.公債費 1,484,123 1,482,750 1.26費 1,313,671 1,313,346 2-28 2.利子 1,26元金 1,313,671 1,313,346 2-28 2.利子 169,404 2-29 13.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費	6.図書館費	9,215	8,919	
人件費 26,686 26,529 人件費 9.鳥取県中部地震対策費 203 178 鳥取中部地震災害対策事業(社会教育費・総務課) 203 178 人件費 5.保健体育費 13,691 13,662 13,643 人件費 13,652 13,643 人件費 5.鳥取県中部地震対策費 39 19 鳥取中部地震災害対策事業(保健体育費・総務課) 39 19 人件費 10.災害復旧費 1,748 359 2.地震災害復旧費 1,748 359 1.熊本地震災害支援事業 1,035 97 産事務費 1,035 97 人件費 1,305 97 企会取界中部地震災害支援事業 1,035 97 2.鳥取県中部地震災害支援事業 1,035 97 2.鳥取県中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・総務課) 713 262 事務費 11.公債費 1,484,123 1,482,750 1.公債費 1,484,123 1,482,750 1.公債費 1,313,671 1,313,346 上債償還元金 1,313,671 1,313,346 2.利子 170,452 169,404 2-28 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 </td <td></td> <td>9,215</td> <td>8,919</td> <td>人件費</td>		9,215	8,919	人件費
9.鳥取県中部地震対策費 203 178 鳥取中部地震災害対策事業(社会教育費・総務課) 203 178 人件費 5.保健体育整務費 13,691 13,662 13,662 1.保健体育総務費 13,652 13,643 人件費 5.鳥取県中部地震対策費 39 19 鳥取中部地震災害対策事業(保健体育費・総務課) 39 19 人件費 10災害復旧費 1,748 359 2.地震災害復旧費 1,035 97 人件費 1.熊本地震災害支援事業費 1,035 97 人件費 2.鳥取県中部地震対策費 713 262 事務費 11.公債費 1,484,123 1,482,750 1.2位費費 1,484,123 1,482,750 1.公債費 1,313,671 1,313,346 2-28 2.利子 1,313,671 1,313,346 2-28 2.利子 170,452 169,404 2-29 13.子債費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0	8.人権・同和教育費	26,686	26,529	
鳥取中部地震災害対策事業(社会教育費・総務課) 203 178 人件費		26,686	26,529	人件費
5.保健体育費 13,691 13,662 1.保健体育総務費 13,652 13,643 人件費 13,652 13,643 人件費 5.鳥取県中部地震対策費 39 19 鳥取中部地震災害対策事業(保健体育費・総務課) 39 19 人件費 10.災害復旧費 1,748 359 1.熊本地震災害支援事業費 1,035 97 人件費 2.鳥取県中部地震対策費 713 262 鳥取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・総務課) 713 262 事務費 11.公債費 1,484,123 1,482,750 1,484,123 1,482,750 1.元金 1,313,671 1,313,346 2-28 2.利子 170,452 169,404 2-28 13.予備費 13,627 0 1.5備費 1.予備費 13,627 0 1.5備費	9.鳥取県中部地震対策費	203	178	
1.保健体育総務費 13,652 13,643 人件費 5.鳥取県中部地震対策費 39 19 鳥取中部地震災害対策事業(保健体育費・総務課) 39 19 人件費 10.災害復旧費 1,748 359 2.地震災害復旧費 1,748 359 1.熊本地震災害支援事業 1,035 97 食息取早市地震災害支援事業 1,035 97 人件費 2.鳥取県中部地震災害支援事業 713 262 鳥取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・総務課) 713 262 事務費 11.公債費 1,484,123 1,482,750 1,482,750 1.元金 1,313,671 1,313,346 2-28 2.利子 170,452 169,404 2-28 13.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0	鳥取中部地震災害対策事業(社会教育費・総務課)		178	人件費
人件費 13,652 13,643 人件費 5.鳥取県中部地震対策費 39 19 鳥取中部地震災害対策事業(保健体育費・総務課) 39 19 人件費 10.災害復旧費 1,748 359 2.地震災害友援事業費 1,035 97 1.熊本地震災害支援事業 1,035 97 人件費 2.鳥取県中部地震対策費 713 262 鳥取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・総務課) 713 262 事務費 11.公債費 1,484,123 1,482,750 1.公債費 1,484,123 1,482,750 1.元金 1,313,671 1,313,346 2-28 2.利子 170,452 169,404 2-28 13.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0	5.保健体育費	13,691	13,662	
5.鳥取県中部地震対策費 39 19	1.保健体育総務費	13,652	13,643	
鳥取中部地震災害対策事業(保健体育費・総務課) 39 19 人件費 10.災害復旧費 1,748 359		13,652	13,643	人件費
10.災害復旧費		39	19	
2.地震災害復旧費 1,748 359 1.熊本地震災害支援事業 1,035 97 食息取果中部地震対策費 713 262 鳥取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・総務課) 713 262 事務費 11.公債費 1,484,123 1,482,750 1.公債費 1,484,123 1,482,750 1.元金 1,313,671 1,313,346 上債債還元金 1,313,671 1,313,346 2.利子 170,452 169,404 起債償還利子・一時借入金利子 170,452 169,404 上債償還利子・一時借入金利子 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0		39	19	人件費
1.熊本地震災害支援事業 1,035 97 人件費 2.鳥取県中部地震対策費 713 262 事務費 自取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・総務課) 713 262 事務費 11.公債費 1,484,123 1,482,750 1.公債費 1,313,671 1,313,346 1.元金 1,313,671 1,313,346 上債債還元金 1,313,671 1,313,346 2.利子 170,452 169,404 上債債還利子・一時借入金利子 170,452 169,404 13.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0	10.災害復旧費		359	
熊本地震災害支援事業	2.地震災害復旧費	1,748	359	
2.鳥取県中部地震対策費 713 262 鳥取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・総務課) 713 262 事務費 11.公債費 1,484,123 1,482,750 1.元金 1,313,671 1,313,346 起債償還元金 1,313,671 1,313,346 2-28 2.利子 170,452 169,404 2-29 13.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0		1,035	97	
高取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・総務課) 713 262 事務費 11.公債費		1,035	97	人件費
11.公債費1,484,1231,482,7501.元金1,313,6711,313,346起債償還元金1,313,6711,313,3462.利子170,452169,404起債償還利子・一時借入金利子170,452169,40413.予備費13,62701.予備費13,62701.予備費13,6270	2.鳥取県中部地震対策費	713	262	
1.公債費 1,484,123 1,482,750 1.元金 1,313,671 1,313,346 起債償還元金 1,313,671 1,313,346 2-28 2.利子 170,452 169,404 2-29 13.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0	鳥取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・総務課)	713	262	事務費
1.元金 1,313,671 1,313,346 起債償還元金 1,313,671 1,313,346 2-28 2.利子 170,452 169,404 起債償還利子・一時借入金利子 170,452 169,404 2-29 13.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0	11.公債費	1,484,123	1,482,750	
起債償還元金1,313,6711,313,3462-282.利子170,452169,404起債償還利子・一時借入金利子170,452169,4042-2913.予備費13,62701.予備費13,62701.予備費13,6270		1,484,123	1,482,750	
2.利子170,452169,404起債償還利子・一時借入金利子170,452169,4042-2913.予備費13,62701.予備費13,62701.予備費13,6270				
起債償還利子・一時借入金利子170,452169,4042-2913.予備費13,62701.予備費13,62701.予備費13,6270		1,313,671		2-28
13.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0				
1.予備費 13,627 0 1.予備費 13,627 0		170,452	169,404	2-29
1.予備費 13,627 0	13.予備費	13,627		
		13,627	0	
予備費 13,627 0 予備費		13,627	0	
	予備費	13,627	0	予備費

当 講 総務課	1 事業の 事業番号	成果及び 5	評価	<i>1</i> 2√[_	- ~ / / /				■ 夕東女士
			争才	卡 伯	一放官理		一	人事係	争未达万	山机况	■ 花
年度 長藤 次算額 子製物 (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (大円) (大円	予算区分		2	総務	 費					1 1 -	-般管理費
平成28年度 55.259 50.830											
活動項目 単位 年度 26(実験) 27(実験) 28 (実験) 29 30	年月	芰				国 庫 支出金	県支出金		起債	一般財源	備考
投票なし 日標	平成28	年度								·	
東統	活動工	頁目	単位			6(実績)	27(実績		8(実績)		30
#集の目的 (だれに) 行政運営上必要な庶務的業務を執り行う。夜間警備をはじめ各課例規集の加除等の管理を行していた。 (であった) (投場行政の安定した運営を行う。 (であった) (投場行政の安定した運営を行う。 (でのため) (であって) (投場行政の安定した運営を行う。 (ではません) (で	設定なし			実	績		_ _ _			_ 	
(元) (元	事業の対象 (だれに)	町職員		~	<u> </u>						'
事業の 実施状況 ○電話機等 ○	事業の目的 (なんのため (こ)						行う。夜間]警備をは	じめ各課例	列規集の加除	(等の管理を行い
○	事業の 実施状況	〇電 〇就 〇町	話機等業管理材会、	等 O A 里シス 広垣	へ機器借上 ステム導力 成連合等負	<u>-</u> 1, 19 、 2, 80 負担金 4,	9千円 4千円 495千円	,	会等) 37 ,	486千円	
評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性 投票性 行政必須か、委託の可能性は。 10,7,3, 公平性 受益性 行政必須か、委託の可能性は。 10,7,3, 公平性 受益者の偏りはないか。 5,3,1, 公平性 受益者の偏りはないか。 5,3,1, 対率性 コストン人員効率性とうか。 5,3,1, 対率性 コストン人員効率性とうか。 5,3,1, 大服性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1, 大服性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1, 主評価点 計 (40点満点) 11 定基準 ロジル 終期設定、委託の検討 E:休止、廃止 担当課による判定と理由		〇例 〇就 実態 【課題】	業管理 の把抗	理シス 屋と省	ステムを導 介化が図	算入し、職 図られまし	員の出退勤 た。	か及び休 暇	段等届出の'	管理を行うこ	
評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 元配性 独創性 妥当性 公平性 行政必須か、委託の可能性は。 10, 7, 3, 公平性 日標数値は達成できたか。 5, 3, 1, 1 評価点 7 7 3 3 1 有効性 目標数値は達成できたか。 5, 3, 1, 1 評価点 計 (4 ○ 点満点) 24 判定基準 日実基準 日ま業拡充 日ま現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止 担当課による判定と理由											
評価点 月 月 3 3 月 効率性 コスト・人員効率はどうか。 5,3,1,1 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1,1 無限性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1,1 長駆性・独創性 体の見本となりえるか。 5,3,1,1 長駆性・独創性 体の見本となりえるか。 5,3,1,1 長駆性・経験・表記の検討 E: 体止、廃止	評価項目	必要性	妥当	á性	公平性	有効性	効率性		妥当性 公平性	行政必須か、委託の 受益者の偏りはない	D可能性は。 10, 7, 3, いか。 5, 3, 1, (
(40点満点) 1→ 1→ 1→ 1→ 1→ 1→ 1→ 1→ 1→ 1→ 1→ 1→ 1→	評価点	7	7	<i>'</i>	3	3	3	1	効率性	コスト・人員効率は	まどうか。 5, 3, 1, 0
)		24		D:規模縮小、	終期設定、勢			の検討
B 庶務業務を行う上で必要な事業です。						担当課	こよる判定	と理由			
	В	庶務業務	を行う	5上で	必要な事	業です。					

	成果及び		•		T 77/70/					
事業番号	7 40.35=H	事業名	職員研修		☆ 3⁄4	しまな		事業区分	□新規	■継続
担 当 課予算区分	総務課款	2 総務	弗	担当係項	庶務・	人争係 管理費			1 1	一般管理費
了异位刀	办人	最終	· 決算額	快	事業費則				-	
年原	芰	取 於 予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その ⁽ (収入	他	起債	一般財源	備考
平成28	4年度	3, 488	3, 287						3, 287	
活動工	頁目			6(実績)	27(実約	責)	28	(実績)	29	30
設定なし		実	標 績 述 率	_ 	_			_		
事業の対象(だれに)	町職員	建厂	火 <u>牛 </u>							
事業の目的 (なんのために)		修の実施お 政の運営に		開発セン	ター等へ <i>の</i>)受講仍	足進	を図り、行	丁政職員と	しての資質を高
事業の 実施状況	···職員. •職場内· ···人権	人材開発 t 研修 (耶 · 同和教育	ュンターを 戦場内人権	利用し、 ・同和教 研修の開催	育職員全体	や能力	b向.	上·開発研	修に職員を F円)	·派遣
成果と 課題	2 3 〔課題〕 人材	階層別研能力開発 人権·同和 平成29年原 被評価者	修 93人 ・向上研修 ・教育職員: きから実施し を実施し をする	55人 全体研修 <i>0</i> §評価制度 しました。		した。	たり	、人事評ſ	西研修(評や外部研修	価者、 を利用する
評価項目	必要性	妥当性	公平性 0	有効性	効率性	先駆' 独創'	性	必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委託 受益者の偏りはま成で 目標数値は達成で コスト・人員効率	たの可能性は。 10, 7, 3, たいか。 5, 3, 1, 0 きたか。 5, 3, 1, 0
=	平価点 計			和中井 淮		B ∶現状			他の見本となりえ 率化し継続、委	
	10点満点)	18	判定基準	D∶規模縮小、	終期設定	≧、委	託の検討 E:		
				担ヨ誄	こよる判定	C 理世	1			

C 事業所として継続実施すべき事業です。また、人材育成基本方針を改正する必要があります。

	成果及び			_	T ~ / / / /	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			
事業番号	8 40.34=⊞	事業名	安全衛生			1 市 反	事業区分	□新規	■継続
担 当 課予算区分	総務課款	2 糸	· 浴務費	担当係項	庶務・.	人爭係 務管理費	F	1 1 -	一般管理費
开户刀	亦人	_ Z ボ	□ / 決算額	垻			(千円)		双日任貝
年月	支	予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考
平成28	年度	825	790					790	
活動項	頁目	単位	F度 2	6(実績)	27(実績	5) 2	18(実績)	29	30
			標	_	_		_	_	_
役定なし			E績 成率	_	_		_	_	_
事業の対象(だれに)	職員		<u> </u>		_			_	
事業の目的 (なんのため に)	労働安?	全衛生法	に基づき、	職員の安富	全と健康を	·確保する	らため委員 会	会(7名)をi	運営する。
事業の 実施状況	メンタストレ	ルヘルス スチェッ 視、職場	に基づき設研修会の開 の制度の実 の場の実施 のの千円	催(講師 施(委託	謝金 69千	円)			
成果と課題	2 〔 課題〕 1	(管理・スがでした)スがでいるスを職人の	監督職員5 チェック制 した。 チェック制	対象 31人 削度の実施 削度実施結 休暇取得	、、全職員 により、 職場 現 表 で 表 で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	対象 209 战員自身の 環境の改き	Dストレス・ 善を行い、	への気付きへ ていく必要が 労働環境の改	善に ·
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性 有効性	住民ニーズ、事業の必 行政必須か、委託の可 受益者の偏りはないか 目標数値は達成できた	可能性は。 10, 7, 3, 7, 3, 5, 3, 1, (
評価点	10	3	0	1	1	1	効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効率はと 他の見本となりえるか	ごうか。 5, 3, 1, (n。 5, 3, 1, (
	F価点 計 - O 点満点))	16	判定基準	D∶規模縮小、	終期設定、	F C∶改善・効薬 委託の検討 E∶	率化し継続、委託の 休止、廃止)検討
Г				担当課(こよる判定	と埋田			
В	事業所と	して継続	して実施す	「る事業で [・]	す。				

28 年度 事業成果説明書 兼

В

担当課総務課 担当係 庶務・人事係 予算区分 款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 1 一般管理費 最終 決算額 予算額 (千円) 事業費財源内訳 (千円) 「千円) (千円) 国庫 県支出金 その他 (収入) 起債 一般財源	・人事係 総務管理費 目 1 一般管理費 業費財源内訳 (千円) 出金 その他 (収入) 起債 一般財源 備考 38 審査会委員報酬 (実績) 28(実績) 29 30
事業の実施状況 では、のでは、のでは、できないできないでは、できないでは、できないでは、できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	総務管理費 目 1 一般管理費 業費財源内訳 (千円) 出金 その他 (収入) 起債 一般財源
年度	業費財源内訳 (千円) 出金 その他 (収入) 起債 一般財源 38 審査会委員報酬 (実績) 28(実績) 29 30
年度 予算額	出金 その他 (収入) 起債 一般財源 38 審査会委員報酬 (実績) 28 (実績) 29 30
活動項目 単位 年度 26(実績) 27(実績) 28(実績) 29 30 30 1日標	(実績) 28(実績) 29 30
日標	
実績	
事業の対象 (だれに)	
ではいっため とを目的とする。また、個人の尊厳と基本的人権の尊重のため、個人の権利利益の保護を図 本書の	
事業の 実施状況	
琴浦町情報公開審査会及び琴浦町個人情報保護審査会を実施し、審議を行いました。 情報公開に係る審査請求が1件あったため、情報公開審査会が例年より多く実施されまし 1 琴浦町情報公開審査会:3回実施(内1回委員1名欠席) 2 琴浦町個人情報保護審査会:1回実施 〔課題〕 開示対象の公文書が廃棄されたのか、紛失したのかの区分が明確でないため、適正な公文 理の徹底により、迅速かつ適切な公文書の公開を行い、町民への説明責任を果たす必要があ	(人) 実施回数(回) 委員報酬(千円) 3 28
	、情報公開審査会が例年より多く実施されました。 1回委員1名欠席) : : :したのかの区分が明確でないため、適正な公文書管
評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 独創性 妥当性 行政必須か、委託の可能性は。 10, 公平性 受益者の偏りはないか。 5,3	
評価点 10 10 3 0 3 1 効率性 コスト・人員効率はどうか。 5,3	大場性 大場性 独創性 妥当性 行政必須か、委託の可能性は。 10,7,3,0 公平性 受益者の偏りはないか。 5,3,1,0
評価点 計 27 判定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模線小、終期設定、委託の検討 F:休止、廃止	大場に上独創性 妥当性 行政必須か、委託の可能性は。 10,7,3,0 公平性 受益者の偏りはないか。 5,3,1,0 有効性 目標数値は達成できたか。 5,3,1,0 効率性 コスト・人員効率はどうか。 5,3,1,0
(40点満点) D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止	大場(生) 大場(生) 独創性 妥当性 公平性 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。 10,7,3,0 有効性 目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 5,3,1,0 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0

町民の知る権利を保障し、個人情報の適正な取扱いを図るため、審査会は町の諮問機関として必要不可欠な組織であるため、継続すべき事業と判断します。

	成果及び				于未从为	K 11/6-931		可叫自	
事業番号	609	事業名	秘書業務	10 11 15		1 = 12	事業区分	□新規	■継続
担 当 課 予算区分	総務課款	2 総務	弗	担当係項	庶務・	人事係 管理費		<u> </u>	般管理費
了异区万	示人	と 総労 最終		垻		官 <u>垤賃</u> オ源内訳	<u> </u>	<u> </u>	放官连复
年原	度	取 於 予算額 (千円)	決算額 (千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源	備考
平成28	年度	2, 729	2, 505					2, 505	
活動項	頁目			6(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29	30
設定なし		実	標 !績	_	_ 		_	_ _	<u> </u>
事業の対象(だれに)	町長、		战率 ┃ 「職員及び	 来庁者	_		_	_	
事業の目的 (なんのため に)	秘書業	務の執行、	町長・副	長町のス [/]	ケジュール	~管理を行	テい、各種≾	会議、出張な	どの調整。
事業の 実施状況		費 1,685 際費他 8							
成果と課題		長、副町	長のスケシを行いまし		理等行い、	町行事 <i>0</i>	の運営及び	外部団体との	調整など
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性 有効性	住民ニーズ、事業の 行政必須か、委託の 受益者の偏りはない 目標数値は達成でき	可能性は。 10, 7, 3, 0 か。 5, 3, 1, 0
評価点	7	10	1	3	3	1	カンロン 効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効率は 他の見本となりえる:	どうか。 5, 3, 1, 0
	平価点 計 10点満点))	25	判定基準	D∶規模縮小、	終期設定、	C∶改善・効 委託の検討 E	率化し継続、委託の 休止、廃止	D検討
				担当課	こよる判定	と理由			
В	管理調整 [。]	を行う上で	で必要な事	業です。					

	成果及び											
事業番号担 当課	632 ₩ጃ⊈≣	事業	名	職員厚			車 を		事業区分	□新規	見	■継続
予算区分	秘伤 体 款	2	総務	書	<u>担国际</u> 項	庶務 · 人	⊉ዂ 管理費			1	— 船	管理費
1 # E //	497	最		· 決算額		事業費則			(千円)	-	/JX	14 A
年月	茰	予算 (千F	額	(千円)	国庫	県支出金	その代(収入	<u>b</u>	起債	一般財源		備考
平成28	年度	3,	973	3, 92	24		1, 3	45		2, 579	ッ ド円	ク分1, 345千
活動工	頁目	単位	年		26(実績)	27(実統	責)	28	(実績)	29		30
健康診断受	診率 1	-	目			100 96. 5			100 95. 8			
00%とす	る。		実達成			96. 5			95. 8			
事業の対象 (だれに)	職員					•	•				•	
事業の目的 (なんのため に)	職員の	建康増	進と	:親睦に	よる明るい	職場をつく	るため	· -	予防衛生等	きを行う。		
事業の 実施状況	・健康診 ・共済組					料 2,564 料 1,345 [,]						
成果題と	2 〔 課題 〕 1	(基本) 健康ま 健康ま 健 康実	本 参し 参をといる かんしょう かんしょ かんしょう かんしょく かんしょく かんしょく かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ	> 受診者人間人ます。	ック及び各f 280人、f ックの 受 の 受 向上(1009	がん検診受の結果、引	診者 要精検と 要精検と	141 : な : な	人、人間った者にこった者になった者になった者になった	ドック受記 フォローア	含者 マップ	を実施
評価項目	必要性	妥当		公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	Ė	妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成	託の可能 [®] ないか。	生は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	3		0	1	3	1		効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効 他の見本となり	率はどう: えるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	平価点 計			18	判定基準	D:規模縮小、	終期設定		C∶改善・効薬 託の検討 E∶		託の検	討
I					担当課	こよる判定	と埋田					
В	事業所と	して行	う事	業です	0							

	成果及び										
事業番号	711	事業	名	庁舎管理				事業区分	口新規	見	■継続
担当課	総務課	_	60 7 5	-11-	担当係	庶務				40.66	-m -th
予算区分	款		総務		項		管理費		1	一般管	理費
	_	最		決算額		事業費則	才源内訳	(千円)			144 -L-
年度	ξ	予算		(T III)	国庫	県支出金	その他		一般財源		備考
		(千F	1)	(千円)	支出金		(収入)		112.07.0		
平成28	年度	26	475	24, 47	7				24, 477		
									•		
活動項	目	単位			6(実績)	27(実績	責)	28(実績)	29		30
			目		_	_		_	-		_
設定なし			実			_					
			達瓦	火平	_	_		_	_		_
事業の対象	町職員	及び来	を庁者	<u>r</u> I							
(だれに)											
事業の目的	广舎。 [·]	マイク	7 🗆 🖯	バス. 公月	用車の管理	をし、円滑	な行政は	軍営を目指す	t.		
(なんのために)	,, n,						. 0. 13 -20.		, 0		
	〇庁:	舎管理	単に係	系る経費	(光熱水道	、マイクロ	バス賃金	金等) 1	8,357千円		
	〇施	设管理	₹主な	`委託費							
			名	称		金額(千	円)	į	委託先		
事業の	本庁	舎清排	帚			2	, 996 (株)	アペックス			
実施状況		設備化					323 (-	一財)中国智	電気保安協	会	
		ベーク		呆守		1		日立ビルシ			
		用設備						岩谷ポンプ			=
				<u>.</u> 周設備保 ·	<u></u>			足立水道	X 11 771		=
		<i>,</i> , ,			., .,		000 (13/)	~			
成果と 課題	【課題】 〇来 引き	庁者へ 続き必	への 2 必要 と	スムーズ ⁷ となりま ⁷	な案内など す。	利用しやす	トい庁舎	えるよう対! とするため(る必要があ	の業務改善		か
	必要性 7	妥当		公平性 3 24	有効性 3 判定基準			安国性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性 寺 C:改善・効!		託の可能性に ないか。 できたか。 率はどうか。 えるか。	_ , , ,
(4	0点満点)		<u> </u>				委託の検討 E	小 工、廃止		
					担当課	こよる判定	と埋田				
В	管理を行	う上て	ご必要	長な事業で	ごす 。						

	成果及び				— alle		1 alle es		
事業番号	936 ₩3 4 =⊞	事業名	公共施設			1 市 亿	事業区分	□新規	■継続
担 当 課予算区分	総務課款	2 総務	. 弗	担当係項	庶務・	人争除 管理費	l E	1 1 -	般管理費
了并应刀	办人	最終	· 決算額	内	事業費則			3 1	双 目 垤 貝
年月	支	予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考
平成28	年度	17, 632						16, 614	
活動項	頁目			6(実績)	27(実績	責) 2	28(実績)	29	30
設定なし		美	標 	_ _ _	_ _ _		_ 	_ _ _	<u> </u>
事業の対象 (だれに)	町民、	施設利用	•			•			•
事業の目的 ^(なんのために)	住民が!	安心して値	使用できる	よう、町 ⁷	有施設の維	持管理作	作業を行う。		
	体制	:作業員	6~8人						
事業の 実施状況	0	作業依頼	件数 延	<u>E</u> ベ219	件/年				
关	0	作業人数	延べ	₹2, 13	4 人/年				
成果と課題	〔課	2、要望(3、各課 <i>0</i> 題]	こ対する迅 D管理労力	速な対応で の省力化が	をとること が図られま	ができました。		いました。 必要となりま ^っ	∮ .
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の変 行政必須か、委託の 受益者の偏りはない。	可能性は。 10, 7, 3,
評価点	10	7	3	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できた コスト・人員効率は、 他の見本となりえるが	どうか。 5, 3, 1, 0
	平価点 計)	29	判定基準			・ C∶改善・効 委託の検討 E∶	- 率化し継続、委託 <i>0</i> ∶休止、廃止	•
				担当課	こよる判定	と理由			

В

全庁的に作業を実施でき、要望に対し迅速に対応しています。 所管する施設について、担当課の管理労力が図られており、継続して実施する事業と考えていま す。

	成果及び											
事業番号	12 ₩₹==	事業	[名]	財政管理		18474 <i>18</i>			事業区分	□新規	見 ■	継続
担 当 課 予算区分	総務課	2	総務		担当係項	財政係 1 総務	告田	串		1 4	財政管理費	<u>\$</u>
了异位刀	水人	最		_艮 - 決算額	坦	事業費則			(千円)	1 4	別以日生	₹.
年原	隻	取 予算 (千F	額	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その (収.	他	起債	一般財源	備	考
平成28	年度	520,	587	519, 796						519, 796		
活動工	頁目	単位	年月	变 20	6(実績)	27(実績	(美)	28	3(実績)	29		30
=n -t - t - t			目		_	_			_	_		_
設定なし			実績		_	_			_			_
事業の対象 (だれに)	町民											
事業の目的						を行います 進し、平成		度の	本格導入を	そ行います	•	
事業の 実施状況	平 () 公 電 () 財 () 財 () 財 () 財 () 対 () 対	29年度 金口 代等を 8.2に しまし	度の本 座 160 小 た12, 等 基金	本格実施へ 替 140号 延振替とし 千円 砂千夫先 631千円 改基金	F円 ノ、各施設 生(関西学 <u>100</u> 400	定資産台帕 管理担当者	が業	務軽	減を推進し	しました。	政研修会を	
成果と 課題	H 28町に方平導	/税よ公成入 公成施別研政調害 H、り会29を 会28設計修研整な 計の会29年 計名等回会修積と	■也取十年テー十年新画絵多墳ど、1、1沿額度のまー度決合策び総基路	219百税 導管では、	けている いっぱい いっぱん いっぱん おおい おおい おおい おおい おおい おい とう おい かい	万減形設、 を な 後軍に円収と等固 行 施 の用より 設 財 り の 政 生 の の 政 生 し	引き で ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	部。画整 り 行 推 源地 の備 ま う 移 不	震、雪害/ 推進 i(H28期首) す。(H30 必要いの があり に を補填す	及び公会 0.3月定例 ります。 共通認識 するため、	戦が必要で ^で 適切な財ご	す 。 汝調
評価項目	必要性	妥当	4性	公平性	有効性	効率性	先駆 独創		必要性 妥当性 公平性 有効性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成	託の可能性は。 ないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	10	0	3	3	3	1		有郊性 効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	平価点 計)		27	判定基準		終期設	定、委	C∶改善・効薬 託の検討 E∶	を化し継続、委		2, 2, 1, 3

C

|健全な財政運営のため、計画的な地方債の発行、基金管理並びに新たな財源の確保が必要です。

	成果及び	評価				于未从人	[C - O CH			-
事業番号		事業	名	ふるさと				事業区分	□新規	見 ■継続
担 当 課予算区分	総務課款	17 5	寄附金	<u>~</u>	担当係項	財政係	<u>수</u>		<u> </u>	こえさし土立苗実別会
了 异 区 汀	示人				坦	1 寄附	<u>亚</u> 才源内訳	(千円)	H 3	ふるさと未来夢寄附金
年	芰	最 予算 (千F	額	決算額 (千円)	国庫 支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源	備考
平成28	3年度	468,	283	468, 253			468, 091	1	192	
活動	項目	単位	年月	度 26	5(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29	30
寄附金額		千円	目 実統	漬 1	00, 000 82, 064	180, 00 189, 53	32	200, 000 331, 891	200, 00	00 200, 000 —
事業の対象	全国		達成	<u>,平 </u>	182. 1%	105. 3	70	165. 9%		
事業の目的	メージア	ップを	図り	ます。		甫町を応援 業者の販売			に、財源確	[保と琴浦町のイ
事業の 実施状況	通常 熊本 中部 〇ふるさ 〇寄附受	分県地合 と付益発立 がまり がった おおり おおり おおり おおり はいかい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	D代理 D 位 管料 の 料 の (送 31,89	書 学 学 システム サイ で か の の の の の の の の の の の の の	311 14 5 331 保守委託 ト利用手 手数料等 97, 418	ま以下のと , 799, 497F , 750, 000F , 341, 601F , 891, 098F 料 1, 121- 数料、クレ 空除) 14	円・ 11, 円・ 円・ 12, 千円 ・ジット決	626件 628件 298件 552件 &済手数料:	- 等) 20,4	442千円
成果と課題	よ〇 す 【〇 てがれ〇 集トり全記る 課事ふお、てR現方へ、国念と 題務るり十いの在法の前へ品と 】のさ、分ま強、と加	と年のとも 効と申なす化ふな入納度Rしに 率納込対。 るっを税比とて、 化税み応 さて検	ポ17町80町 とののが とい討 一5内0内 サ申増で チます	60業 一込加き ョする 寄の円の スの業い ス全と 附販以販 向ピ務な か国も	金額に ・	o、 町の 大 で 大 で で で で で で で で で の で の で の で の で の で の で の の で の の の の の の の の の の の の の	要 f かき 2 f んま 2 f んま 5 f 大	と して 商、げ 占中に かく こく こう こう こう こう あん こう こう あん こう あん こう いっぱ	た。 葉期に の的返 だん。 国 ニキサ 一広、 コーナ ラー ラー タ告 「 ル や 寄	・を契約したことに ・を契約したことに ・ 対 の 魅力を発信 ・ 発問の 財 も 出 が ま で ま ま が ま で ま ま が ま で ま で か に で か に で か に で か に か ま で か に か ま が ま で か に か に か ま で が ま で が ま で が ま で が ま で が ま で か に か ま で か に か ま で か に か に か に か に か に か に か に か に か に か
評価項目	必要性	妥当		公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性	住民ニーズ、事行政必須か、委	託の可能性は。 10, 7, 3, 0
評価点	10	3		3	5	3	1	公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性	受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	できたか。 5, 3, 1, 0 率はどうか。 5, 3, 1, 0
	平価点 計40点満点			25	判定基準				率化し継続、勃	, ,,,,,
					担当課任	 こよる判定	と理由			

担当課による判定と理由

C

申込みの増加に伴い、寄附者への対応が間に合っておらず、効果的な運営の検討が必要となって います。また、今後は財源確保のためだけに寄附を募るのではなく、「どんな事業を行うために 寄附金が必要なのか」を寄附者に訴えていく必要があります。

	成果及び	評価	120			- ~ / / / /						
事業番号	615	事美	業名	財産管理					事業区分	口新規	見	■継続
担 当 課予算区分	<u>総務課</u> 款	2	総務	弗	担当係項		管理費			1 6	时产	管理費
了异区刀	示人		秘伤	 決算額	块	事業費則			<u></u> (千円)	1 0	別性	官垤其
年月	支	予算	終 算額 円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その代	也	起債	一般財源		備考
平成28	年度	4	, 281	3, 194						3, 194		
活動工	頁目	単位			6(実績)	27(実約	責)	28	(実績)	29		30
				標	_	_			_	_		_
設定なし				積 戊 率		_			_	_		
事業の対象 (だれに)	町民			•								
事業の目的(なんのために)	遊休資	産の流	舌用、	売却可能	資産の売	等の適切な 却を進め傾 設の統廃合	全な財	政i	軍営を図り	ります。		
事業の 実施状況		o!才却 売 可売 理 豊	ーク? 額] な遊(額] 3,1	ションを 消防ポン 木不動産を 8筆・・・ 94千円		9		シ ま	した。			
成果と 課題												
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	生	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事行政必須か、委受益者の偏りは	託の可能 ないか。	性は。 10,7,3,0 5,3,1,0
評価点	7	(3	1	3	3	1		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどう	-, -, -, -
	平価点 計)		18	判定基準				C∶改善・効≦ 託の検討 E∶	率化し継続、 3 休止、廃止	託の検	· 하
					担当課日	こよる判定	と理由					

C

閉校、閉園などにより利用されていない施設のあり方を検討する必要があります。 また、売却可能資産について、払い下げを引き続き進める必要があります。

	成果及び			-	于未/火/	<u> </u>			
事業番号	717	事業名	総合賠償	保険加入事			事業区	分 口新規	見
担当課		0 60.34	· #		財政係	佐田			D
予算区分	款	2 総務		項		管理費	(TIN)	目 4	財産管理費
年月		最 終 予算額	決算額	国 庫	事業費則		(千円)		┃ ┃ 備考
+/	ᆽ	(千円)	(千円)	国	県支出金	その他 (収入)		一般財源	NH 25
平成28	3年度	1, 897	1, 714				08	1, 506	
活動	 項目	単位 年	度 20	3(実績)	27(実績	責)	28(実績)	29	30
			標	_	_		-	_	_
設定なし			₹績 		_				
事業の対象	琴浦町		<u> </u>						
事業の目的	ついて、「	町村等が 全国町村st	ま律上の損	害賠償責何	任を負う場	合の損	害に対して	て総合的に係	に起因する事故に 除金を支払う保険 契約を締結して実
事業の 実施状況		事業等にな			損害を補償 =1, 574, 39		め、総合則	音償保険に加	1入しました。
成果と課題	図りま	した。		·された方l ·とが必要 [·]		き出し		D医療費等の	
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性		住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成	託の可能性は。 10, 7, 3, 0 ないか。 5, 3, 1, 0
評価点	7	7	5	3	3	1	カット 効率性 先駆性・独創	コスト・人員効	率はどうか。 5, 3, 1, 0
	平価点 計40点満点))	26	判定基準	D:規模縮小、	終期設定、		効率化し継続、 E:休止、廃止	委託の検討
				担当課	こよる判定	と埋田			

町が所有する施設の瑕疵や町が主催するイベントでの怪我等に対する見舞金は必要であり、ス В ケールメリットも考慮すると、今後も継続していくべき事業だと考えます。

1 事業の	成果及び		~		T ~ /~/	И П/0-7 1 Е				
事業番号		事業名	区 交通安∶		Lykal al	,, I .	事業区分	□新規	見	■継続
担 当 課予算区分	<u>総務課</u> 款	2 総	務費	担当係	消防・防	<u>災係</u> 管理費	l F	1 9	六	全対策費
了异区刀	示 人	Z №			事業費則			<u> </u>	又进久	土刈來貝
年月	芰	予算額 (千円	頁	国庫	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		備考
平成28	3年度	6, 6	19 6, 4	53		3, 467		2, 986		
活動	頁目	単位	年度	26(実績)	27(実績	28	3(実績)	29		30
設定なし			目標 実績 達成率		_					
事業の対象	町民		<u> 匡队学 </u>		_					
事業の目的(なんのために)	交通事i 携を取り します。	数交通9 ながら3	安全指導員 交通事故防	、交通安全 止の啓発活	母の会、各 動を促進し	·部落交通 ·、交通事	部長、交通 故のない3	通安全協会 安全で安心	:など関 :など関 :な町づ	係機関と連 くりを目指
事業の実施状況	春の全 秋の全 〇交通安: 図 ○ 交通災 〇交通災	国交通3 国交通3 全指安全 経安な た。 害共済が	安全運動 (安全運動 (員活動 隊 運動のほか の の の の の の の の の の の の の の の の の の	交通安全 4/6~15)· 9/21~30) 員20名·年 、各種交通 業 加入促 (部落役員)	夏の交通: ・年末の交流 間46事業出 安全講習会 進報償金外	安全県民選 通安全県民 動 報酬 、街頭監 、1,381千P	運動(7/11 民運動(12 及び費用∮ 視を実施し	〜20) :/12〜21) 弁償等4, 17 ₋ ン交通安全	78千円	高揚を
成果と 課題	· · 交 · 課交町西交り 交 · 課交町西交り 交 · 課交町西交り 交 · 跟通交地通組 通 · 安通区安み 災	2827 害災災 全安を全を 害年年 共害害 団全除は行 共中中 済共共 体運く草う 済	交交の済済 の動のこの活通通 加加見 衰をす根と 加事事 入入舞 退支べ運が 入故故 推者金 えて動必 促発発 進:請 ての的要 進	生件数: 28· 生件数: 20· 大型 を 11,675 を 25 を 27 を 27 を 27 を 27 を 27 を 27 を 27 を 27	件件 交加 全安がま ウ内内 事率 の母り。 会の強 会の強く	死死 (害) (害) (ま) (ま) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な) (な	・重傷4名 ・重傷111 を ・カト やり要 R ・の 高まで が ・の から	・軽傷341・軽傷傷11・下かかりかのののののののののののののののののののののののののののののののののののの) 名) 。 続 民 い ま す	き込んだ。
評価項目	必要性	妥当性	生 公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性 ないか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	5	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	平価点 計40点満点))	32	判定基準			C:改善・効 託の検討 E:		き託の検討	

担当課による判定と理由

マンネリ化が懸念される事業ではあるが。繰り返し啓発が必要な事業であり、飛躍的な改善や効果を見込むことは難しいが、細部の工夫は必要です。 В

事業名 558 事業名 分庁舎管理	1 事業の	成果及び		/~∟			于未炒刀	~ ш/ь .	7 1 ■	1 1	可順目			
	事業番号			名分	广舎管3	理				事業区分	□新規	₹.	■継続	
年度 景線 決算額 年展 10 179														
年度 子郭朝	予算区分	款	2 総	総務費		項	1 総務	管理的	費	E	11	分庁	管理費	
平成28年度 22,171 21,426 0 0 179 0 21,247 15 動項目 単位 年度 26 (実績) 27 (実績) 28 (実績) 29 30 30 21 (支柱) 28 (実績) 29 30 30 21 (支柱) 28 (実績) 29 30 30 21 (支柱) 28 (実績) 29 30 30 30 30 30 30 30 3			最 糸	終	決算額		事業費則	オ源内	訳	(千円)				
Yes Ye	年月	芰				国庫	旦 去 出 全			起信	一般財酒		備考	
活動項目 単位 年度 26(実績) 27(実績) 28(実績) 29 30			(千円])	(千円)	支出金	未又山亚	(収	入)	尼良	川又 宋门 //示			
活動項目 単位 年度 26(実績) 27(実績) 28(実績) 29 30	च । 20) 任 由	22 1	171	21 426	0	٨		170	^	21 247			
安定なし 1	十八亿	1十段	22, 1	'''	21,420	U			179	U	Z1, Z47			
葉成果	活動ュ	頁目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	責)	28	(実績)	29		30	
達成本						_	_			_	l		ı	
東京の対象 町民、施設利用者	設定なし					_	_			_	-		_	
東京の目的 今庁総合窓口係は、住民サービスを円滑に行うための窓口として、また、コミュミティー施設 今庁総合窓口係は、住民サービスを円滑に行うための窓口として、また、コミュミティー施設 今安全な運営管理を行う。				達成2	<u>率</u>	_	_			_	_		_	
東京の目的	事業の対象	町民、施	記利用	君										
	(たれに)													
		八一巛	人如口	広 1	<i> </i>	ı <i>ĭ → +</i> [コミニケミ	1 L	ጥ ም		++ -	_	> = . + /. =n.	
事業の 実施状況	事業の目的					ーヒスを	当消に行う	7=0)	の窓	песс,	また、コ	ニュ	ミティー施設	
事業の実施状況 名称 金額(円) 委託先 分庁舎清掃 2,063,140 株アペックス 電気設備保守 216,000 宮川電気管理事務所 エレベーター保守 637,632 山陰東芝エレベータ㈱ 消防用設備保守 264,600 株上田商事 (成果))施設利用 各種団体等の講演会や発表会並びに町の健康診断等、幅広い用途で利用されました。多目的ホール利用件数:51件(うち有料13件)利用者数:4,307人 (砂合窓口の利用状況 1 各種証明書の交付、窓口での受付を行いました。受付件数:10,748件 2 出納窓口での公金処理を行いました。処理件数:5,581件 (課題))施設利用 建設から10年以上が経過し、設備の保守点検及び修繕等に経費増が見込まれます。 評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 大駆性 性医ニーズ・事命の参照は近に10,73.0 評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 大駆性 性医ニーズ・事命の参照は近に10,73.0 評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 大駆性 企業性 対域性 2、要素の参照は近に10,73.0 評価項目 7 10 3 3 1 大阪社 (元成者・内部にはのより、たり、10,73.0 大阪社 (元成者・10,73.0 大阪社 (元成者・10,	(なんのために)	の女宝な	理呂官:	埋と1	丁フ。									
事業の実施状況 名称 金額(円) 委託先 分庁舎清掃 2,063,140 株アペックス 電気設備保守 216,000 宮川電気管理事務所 エレベーター保守 637,632 山陰東芝エレベータ㈱ 消防用設備保守 264,600 株上田商事 (成果))施設利用 各種団体等の講演会や発表会並びに町の健康診断等、幅広い用途で利用されました。多目的ホール利用件数:51件(うち有料13件)利用者数:4,307人 (砂合窓口の利用状況 1 各種証明書の交付、窓口での受付を行いました。受付件数:10,748件 2 出納窓口での公金処理を行いました。処理件数:5,581件 (課題))施設利用 建設から10年以上が経過し、設備の保守点検及び修繕等に経費増が見込まれます。 評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 大駆性 性医ニーズ・事命の参照は近に10,73.0 評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 大駆性 性医ニーズ・事命の参照は近に10,73.0 評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 大駆性 企業性 対域性 2、要素の参照は近に10,73.0 評価項目 7 10 3 3 1 大阪社 (元成者・内部にはのより、たり、10,73.0 大阪社 (元成者・10,73.0 大阪社 (元成者・10,														
事業の実施状況 名称 金額(円) 委託先 分庁舎清掃 2,063,140 株アペックス 電気設備保守 216,000 宮川電気管理事務所 エレベーター保守 637,632 山陰東芝エレベータ㈱ 消防用設備保守 264,600 株上田商事 (成果))施設利用 各種団体等の講演会や発表会並びに町の健康診断等、幅広い用途で利用されました。多目的ホール利用件数:51件(うち有料13件)利用者数:4,307人 (砂合窓口の利用状況 1 各種証明書の交付、窓口での受付を行いました。受付件数:10,748件 2 出納窓口での公金処理を行いました。処理件数:5,581件 (課題))施設利用 建設から10年以上が経過し、設備の保守点検及び修繕等に経費増が見込まれます。 評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 大駆性 性医ニーズ・事命の参照は近に10,73.0 評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 大駆性 性医ニーズ・事命の参照は近に10,73.0 評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 大駆性 企業性 対域性 2、要素の参照は近に10,73.0 評価項目 7 10 3 3 1 大阪社 (元成者・内部にはのより、たり、10,73.0 大阪社 (元成者・10,73.0 大阪社 (元成者・10,														
東藤水沢		し 施設	官理安		1/-		本 哲	(m)			未 計 #	_		
電気設備保守	市₩ Φ	<u> </u>	全 连担		小小				140	性マペッ		<u> </u>		
正レベーター保守 637,632 山陰東芝エレベータ様 消防用設備保守 264,600												_		
消防用設備保守 264,600	大心へん				÷									
(成果)					<u> </u>							(作本)		
 ○施設利用 各種団体等の講演会や発表会並びに町の健康診断等、幅広い用途で利用されました。多目的ホール利用件数:51件(うち有料13件) 利用者数:4,307人 ○総合窓口の利用状況 1 各種証明書の交付、窓口での受付を行いました。受付件数:10,748件 2 出納窓口での公金処理を行いました。処理件数:5,581件 成職費員 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 独創性 空間		用的	用設加	休寸				204	, 000	(体) 上田 尚	】			
評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 元齢に 独創性 妥当性 公平性 行政必須か、委託の可能性は。 10, 7, 3, 0 公平性 10, 7, 3, 0 公平性 する 3 3 1 有効性 効率性 コスト・人員効率はどうか。 5, 3, 1, 0 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5, 3, 1, 0 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5, 3, 1, 0 評価点 3 3 8:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討	○施設利用 各種団体等の講演会や発表会並びに町の健康診断等、幅広い用途で利用されました。 多目的ホール利用件数:51件(うち有料13件) 利用者数:4,307人 ○総合窓口の利用状況 1 各種証明書の交付、窓口での受付を行いました。 受付件数:10,748件 2 出納窓口での公金処理を行いました。 処理件数:5,581件 成果と 課題 「課題〕 ○施設利用													
評価点 計 27 ************************************	評価項目			_						妥当性 公平性 有効性	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成	託の可能 ないか。 できたか	性は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
									•	先駆性・独創性	他の見本となり	えるか。		
担当課による判定と理由					27		D:規模縮小、	終期設	定、委			託の検	<u></u>	

町内外からの多くの利用者がある上で、継続すべき事業です。ホールの利用だけでなく、窓口等 В へのお客様もあるため、利用しやすい環境を整えることが必要です。

1 事業の成果及び評価

1 事業の)成果及ひ	評価											
事業番号	31	事	集名	コミュ	ニティ助成署	事業			事業区分		コ新規	見	■継続
担 当 課	総務課				担当係	行政・行	革係						
予算区分	款	2	総務	費	項	1 総務	管理費	Ì	E		12	諸費	
		最	終	決算額		事業費用	才源内 訴	7	(千円)				
年月	芰	-	章額 円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	そのf (収入		起債	一般	財源		備考
平成28	3年度	5	, 500	5, 50	0		5, 5	500				採択	団体:3団体
活動」	活動項目 単位 年度 26(実績) 27(実績) 28(実績) 29 30												
設定なし				績	_	_			_		_		_
			達原	戊率	_	_			_		_		_
事業の対象 (だれに)	各部落	、自氵	台会及	なび自主	防災組織等	の団体							
事業の目的 財団法人自治総合センターが、宝くじの収益金を財源に、コミュニティ活動の充実強化を図る ために実施するもの。													
〇 自治会の振興策として、以下の補助金を交付しました。 補助全名・コミュニティ助成事業補助会 補助率・10分の10(100万円以上250万円以内)													

事業の 実施状況

成果と 課題 補助金名:コミュニティ助成事業補助金 補助率:10分の10(100万円以上250万円以内

冊 明 立 石 ・ コ ミ ユ -	- 丿 1 助以事未	桶助金 桶助单:10万0710(100万百以上200万百以内)
採択団体	金額(千円)	事業内容
上伊勢部落	1, 900	公民館備品(エアコン4台)整備
出上地区自治会	2, 500	祭り用備品(太鼓・法被等)整備
金屋部落	1, 100	公民館備品(エアコン・テレビ・冷蔵庫等)整備

〔成果〕

地域活動団体(部落・自治会等)へコミュニティ活動に直接必要な設備等の購入費を助成することにより、地域へのコミュニティ活動の充実・強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を図りました。

【上伊勢部落】







【金屋自治会】



〔課題〕

助成した備品等について、その後の活用・運用状況等までは把握できていないので、その部分が課題です。

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	1	1	5	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	平価点 計40点満点)	28	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小、	B∶現状維持 終期設定、委		 率化し継続、委託の検討 ∶休止、廃止	

担当課による判定と理由

В

地域の活性化のためには自治会に対する支援策は必要であり、自治振興施策の一つとして、継続すべき事業です。

28 年度 事業成果説明書 兼

В

1 事業の 事業番号		事業名	部落自治	振爾毒浦日	ti i		事業区分	□新規	a	■継続
担当課		ず木口	THINE II /II		』 行政・行 ^員	革係 消附		니제시	/6	一个空小儿
予算区分	款	2 総系	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	項		管理費		12	諸費	
, <u> </u>	457	最終	決算額	-7.	事業費則		(千円)	- 112	шХ	
年月		予算額	人子 領	国 庫		その他			l di	備考
T-1.	X	(千円)	(千円)	支出金	県支出金	(収入)	起債	一般財源	l "	H1 . 17
					_					
平成28	3年度	16, 541	16, 432	0	0	0	0	16, 432		
活動工	項目	単位 左	F度 20	6(実績)	27(実績	雪) 28	3(実績)	29		30
			標	_			10	5		5
バリアフリ	一無切		€績	_	_		1	3		
金の申請			成率	_	_		10%	60%		
自治会の女	性役員		標	_	_		_	10		15
か率			積	_	_		_	11		
		進	成率	_	_		_	110%		
事業の対象 (だれに)	町内自	治会								
事業の目的 なんのため (こ)	公民館	のバリア	フリー化を	よい豊かだ 促進し、 食化を図る。	住民の誰も					備するこ
	O <u>自治</u> :			以下の補具	助金、交付					
			助金、交付	金の名称		金額(象部落数	備者	Ž
事業の		自治振興					3, 100 154 E			
実施状況		区長会補				312	2,000 9地区			
		放送修繕	補助金				0 0 自 治	台会		
	~									
	〔成果〕			アフリー化			3,000 1件		H31年度	
成果と課題	「成」 に 2 奨 34 (課) 2 実別 2 終 課 2 終 課 1 (1) 2 (1) 2 (1) 3 (1) 3 (1) 4 (1) 5	館し周多 役、を三女手放た アのま知前 員自交月性当送め フバし不 登治付に役補修、 リリた足 用振すは員助繕12 一	ア。に フょった つ交こ性40%が金補3年 イイを助度 は規しア上自った。 は規しア上自った。	に対する。 日件数は、 日件数は、 役員改 記則を改正	輔 見	新減 (落度 女相、治は 会実 達修 通女 役落務数 の のが 周	し、 率10%(・ ・ は役 状り率幅 ・ は か が が が が が り を が り を が り を が り を た う た う た う た う た う た う た う た う た う た	ま 利用 ※ 実	点づくり が課題) した。 にか た。 に を 後 後	
	「規」のでは、1000円では、100	館し周多 役、を1女手放た ア会のま知前 員自交月性当送め フ女バし不 登治付に役補修、 リ性リた足 用振すは員助繕122	ア。に フ よ つ交こ性40を助度 補の ロ 利 い付と登りが部金を 助追 で金と用り落にを 金加 は規しア上自っも の交	に は 対 数 した で は した した した した した した した した の の の の の の の の の の の の の	輔 見 選し を 1 付利ま いて 期 込 期、 実 治 金用し て、 ま	新 減 (落度 女11、治 は 会な規 さい にり 性部事会 へる 乗 を () のが 周治 () のが 周治	し、 率10% (本10% (本10%) と	t 利用 実	点づくり お課題) し部本。 た。 に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	:12
	「規」のでは、1000円では、100	館し周多 役、を1女手放た ア会のま知前 員自交月性当送め フ女バし不 登治付に役補修、 リ性リた足 用振すは員助繕122	ア。に フ よ つ交こ性40を助度 補の ロ 利 い付と登りが部金を 助追 で金と用り落にを 金加 は規しア上自っも の交	に は は は し は し し し し し し し し し し し し し	輔 見 選し を 1 付利ま いて 期 込 期、 実 治 金用し て、 ま	新 減 (落度 女11、治 は 会な規 さい にり 性部事会 へる 乗 を () のが 周治 () のが 周治	し、本10% (え) (ス) (ス) (ス) (ス) (ス) (ス) (ス) (ス) (ス) (ス	を用 暦 この い の 世 ま 住 任 行 受	点が課題) にか課題) にかまた。 にか。 にか。 にか。 にか。 にか。 にか。 にか。 にか	10, 7, 3 10, 7, 3 5, 3, 1,
課題	「成」に 2 奨 8課 限 果 公寄⇒ (女ま励H2 → 区部え 題 バ自定 女まの 長落た り治さ	館し周多 役、を三女手放た ア会れのま知前 員自交月性当送め フ女るバレ不 登治付に役補修、 リ性結りた足 用振すは員助繕120	ア。に フょった ファックでは40を助度 補のない付と登りがのででででででででででででいる。 で変に性がのででである。 で変と用以落にをでいる。 で変と用いる。 で変と用いる。 で変とのできた。 で変え、	に (は (は (は (は (は (は) (は) (は) (は)	輔 見 選し を 1 付利よ いてな 期、 実 治 金用さ て、方事 み に 12 施 会 にすし 、対策	新 減(落度 女11、治d 会な討先規 改 にり 性部事会 へるす 駆実 達修 通女 役落務数 の自る性施 成後 知性 員とのが 周治必	し、本10% (を用 は は は は は は は は は は は は は	は 点が 課題 た落 た落 にか た。 終 にか た。 を にの がのいかた。 を にの を にの にの にの にの にの にの にの にの にの にの	10, 7, 3 10, 7, 3
評価項目評価点言	「我」のでは、「我」のでは、「我」のです。 「我」のでする。 「我」のでは、「我」のでは、「我」のでは、「我」のでは、「我」のでは、「我」のでは、「我」のでは、「我」のでは、「我」のでは、「我」の では、「我」のでは、我」のでは、「我」のでは、我」のは、我」のでは、我」のでは、我」のは、我」のは、我」のは、我」のは、我」のは、我」のは、我」のは、我」の	館し周多 役、を三女手放た ア会れ のま知前 員自交月性当送め フ女る 妥 バレ不 登治付に役補修、 リ性結 当 10 リた足 用振すは員助繕22 一役果 性	ア。に フ よ つ交こ性40を助度 補のな い付と登りが部金を 助追っ 平 で金と用以落にも 金加た 性 のででは しが、 のできた。	に (は (は (は (は (は (は) (は) (は) (は)	輔 見 選し を割付利す いてな 期、 実治金用す て、方 効 にH2 施会にすし 、対策 率 名 集 が続るた 自象を 性 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	新 減 (落 女 女 11、治 は 会 な 計 先 独 実 達 修 通 女 化 3	し、本10% (た用 周 い と	点が課題) た落に いかた。 を いる可能ないできょどうか。 できまるか。	10, 7, 3 10, 7, 3 5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1,

地域の活性化のためには自治会に対する支援策は必要であり、自治振興施策の一つとして、継続 すべき事業です。

1 事業の成果及び評価

<u> </u>								
事業番号 45	事業名	式典事業				事業区分	□新規	見 ■継続
担 当 課 総務課			担当係	庶務・人	事係			
予算区分 款	1 総系	务費	項	1 総務	管理費		∃ 13	諸費
	最 終	決算額		事業費則	才源内訳	(千円)		
年度	予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考
平成28年度	1, 27	1, 060					1, 060	
活動項目	単位	F度 20	6(実績)	27(実績	[) 2	8(実績)	29	30
]標	_	_		_	_	_
設定なし		ミ績	_	_		_	_	_
	達	成率	_	_		_	_	_
事業の対象 町足乃	化压力量	法生						

事業の対象 ^(だれに)

町民及び町内団体等

事業の目的

成人式を開催し、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励まします。 また、成人式を開催することにより旧友や新たな出会いの場を提供するとともに、故郷である 琴浦町への郷土愛の醸成を図ります。

事業の 実施状況

●成人式

日時 平成29年1月3日(火)

場所 カウベルホール

人数 152名 (対象者:187名、出席率:81.3%)

●成果

〇将来の琴浦町を担う新成人を祝福、激励を行いました。 また、式典にて励ましの言葉を新成人に贈ることにより琴浦町への郷土愛の醸成を図りま した。

●課題

〇成人式にて、新成人の郷土愛のさらなる醸成を図るための手法を検討する必要があります。

成果と 課題





						先駆性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性		妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
						独創性	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
	_	9	2		2	- 4	有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
評価点	/	3	I 3	I 3	l 3	1 1	効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
	•		· ·		•	-	先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
1	平価点 計		00		A:事業拡充	B:現状維持	C.如美。効	率化し継続、委託の検討	
	TIMM TIM	\	20	判定基準	A·爭未加九 D·坦描綻小			学化し胚枕、安託の検討・は、 皮上	

担当課による判定と理由

В

引き続き新成人を励ますとともに、新成人の醸成を図るため、引き続き事業を実施していく必要 があります。

28 年度 事業成果説明書

	成果及び				u.			+ * - ^			- Alle A-
事業番号担 当課		事業名	定期借地	権設定事業	₹ Ĭ消防・防?	* / v		事業区分	□新規	₹ .	■継続
<u>担 ヨ 牀</u> 予 算 区 分	称伤床 款	1 総務		項		火派 管理費	,		13	諸費	
. J. III //	dar	最終	決算額	- , ,	事業費則			(千円)	10		
年原	支	予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その((収入	他	起債	一般財源	備	考
平成28	年度	103, 111							103, 111		
活動項	頁目			6(実績)	27(実績	責)	28	(実績)	29		30
設定なし		実	標 績 戊 率	_ 	_ 			_	_ 		
事業の対象 (だれに)	きらり	•		槻下住宅[団地への定	住希望	2者			I	
事業の目的					む中、琴浦 減少に歯止				彡響が顕著	です。	
事業の 実施状況				地 5区画	可分 36,03 区画分 67	33千円 7, 078 1	千円				
	・きら 合計16 ●課題 ○定期借 ・定期	団地:5区 り団地:1 件の定期信 地権用地 間地権用場	1区画 昔地権制度 購入費 也の購入費		る新規世帯 及んでおり ません。				∶後年度負	担及び	
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆(独創(必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委請 受益者の偏りは	託の可能性は。ないか。	10, 7, 3, 5, 3, 1, 0
評価項目評価点	必要性		公平性 0					妥当性	行政必須か、委託	託の可能性は。 ないか。 できたか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点		7		有効性 3 判定基準	3 A:事業拡充	独創 ¹ B:現状	性 排	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性	行政必須か、委請 受益者の偏りはれ 目標数値は達成・ コスト・人員効認 他の見本となり。 軽化し継続、委	託の可能性は。 ないか。 できたか。 率はどうか。 えるか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0

個人資産形成への公金支出であるが、槻下・きらり両団地とも、販売が進まなければ、今後町へ の財政的影響が大きくなることから現状維持でやむを得ないと考えています。 В

1 事業の	成果及び	一半队 孪価]干及 =	争耒戍タ	长 說り	力音	兼	評価書	ř
事業番号	1344	事業名	鳥取中部地震		業(総務管理			事業区分	□新規	見 ■継続
担当課				担当係	消防・防					
予算区分	款	2 総務		項		管理費		(- E	13	鳥取県中部地震対抗
左。	+	最 終 予算額	決算額		事業費用			(千円)		備考
年月	支	丁异母 (千円)	(千円)	国庫	県支出金	その代収入		起債	一般財源	1佣 右
平成28	3年度	34, 109			17, 779		845	0	81	H29年度繰越 10,995千円
活動	項目			6(実績)	27(実統	責)	28	(実績)	29	30
設定なし		美	標 !績 龙 率	_	_			_	_	
事業の対象	鳥取県	中部地震被								
事業の目的(なんのために)			で被害を受 D確保を図		、家屋の修	§繕費用	用の-	一部を助原		により、早期復
	地霍被	害における	5.修繕支採	第として	以下の事	生を宝1	施 1.	ました。		
	地反似		事業名	excoc	補助金			5 U / L 0	備考	
	自治	公民館修			1112.75		000	屋集会所.	水道、倉場	反集会所、一ツ 区公民館、出上
事業の 実施状況	被災	者住宅再	建支援金			1, 500, (5件 被害認定	割合10%以	上
		者住宅修行	繕支援金			6, 380, (000	359件 被害認定	割合9%以7	5
	地震	義援金	 計			1, 867, 3 0, 624, 3		30件		
	順調に	中心部の3 復旧が進ん		。本町に	おいてもこ					%に減少し、 きており、
	町内	の被害受	付状況(H	29. 7. 31現	在)					
成田し		種別		被害の	の程度			件数		備考
成果と 課題					生壊			1		
تعادات		住家被害	<u> </u>		(10%以上)			29		
					(10%未満)			426		
		在宝贝尼		<u> </u>				456 420		
			5、高齢者		費用を工配 、対応策を		する!	方が取り死 必要があり	・ もされてい ります。	る状況に
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆' 独創'	性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事行政必須か、委受益者の偏りは	託の可能性は。 10, 7, ないか。 5, 3, 1
評価点	3	10	1	3	1	0		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。 5, 3, 1
	平価点 計40点満点		18	判定基準	D:規模縮小、	終期設定	、委	C∶改善・効 ^፯ 託の検討 E∶		受託の検討
				担当課	こよる判定	と理由	1			
D	県の基金 なる見込		った鳥取 県	中部地震	に対するま	泛援事 第	美では	あり、平原	붗30年度を	・もって事業完了

2 - 19

1 事業の)成果	及び		-	20] T	サ未収え	∠ ₪.	77) 🖹	不	计测量		
事業番号	5	9	事美	集名	選挙管理	委員会の過	運営			事業区分	口新規	₹	■継続
担当課							行政・行						
予算区分	蒜	次	2	総務		項	4 選挙			E	1	選挙管	理委員会費
<i>/</i> r			最		決算額		事業費則			(千円)		i	/ ** **
年月	支		丁 5	章額 円)	(千円)	国庫	県支出金	その (収.		起債	一般財源		備考
平成28	3年度	:		212	171	0	0		0	0	171		
活動コ	項目		単位			6(実績)	27(実績	責)	28	(実績)	29		30
机带动			0.4	目	標	70	70			70	70		70
投票率			%	実達原		68 97%	65 93%			62 89%			
事業の対象	有	権者		,_,,		0.170	1 0070			3 9 70			
事業の目的	に関	する	事務等 を図る	等を実 るため	淫施する。	選挙が明	るく正しく	行わ	れる	よう、選挙	革人の政治	• 選挙	、政治団体 に対する意 るほか、啓
	1					8月、9月.	、12月、	3月) の	4 回			
		Ž	登録 月	1	男_	(人)	女(0.4.4	計(前回	回増減
		0 🗆 /1	6月 8歳引 ⁻	E (±)		7, 008 7, 153			944		14, 952 15, 257		△ 41 305
		3H (1	12月	F())		7, 135			081		15, 216		△ 41
			3月			7, 138			048		15, 166		△ 50
						,					,		
	2		毎区》	魚業調	整委員会	全員選挙	選挙名簿の	調整					
事業の		男		191	人	131	人	人		1 人	合計	(323 人
実施状況			00 (-	+- 1-1-	NT 6	3 4 + + +							
	3					選挙を実施 第24回参			3 米				
	2					赤碕町土			-				
	3					鳥取海区			-	選挙			
	4	裁判	員候衤	輔者、	検察審査	₹員候補者(の調整(年	1 🗇)				
				. – –						#u .			
	5	農業	委員会	会委員	選挙は、	法改正に	より選挙人	、名簿	の調	製が不要と	こなりまし	た。	
	[成	果〕											
			な事剤	务執 行	を行うこ	ことができ:	ました。						
						_	-						
		題〕											
成果と						りな課題で						高齢者	等の
課題	投	票機:	会の値	催保等	・、 多 面 B	りな施策を	検討してい	く必	要が	あります。			
						_	_						
評価項目	心耳	要性	亚	当性	公平性	有効性	効率性	先 駆		必要性 妥当性	住民ニーズ、事行政必須か、委		
	7.3	~ 1	×-	- -	Δ I II	חואנו	ツナエ	独創	性	公平性	受益者の偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0
評価点	-	7	1	0	3	1	3	1		有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
				_				•	1	先駆性・独創性	他の見本となり	えるか。	5, 3, 1, 0
		[計 [満点])		25	判定基準				C∶改善・効薬 託の検討 E∶		託の検討	
						担当課	こよる判定	と理[由				

投票率の低下は、全国的な課題であり、向上のため他自治体を参考にしながら実施可能な施策検 討する必要があります。 C

1 事業の	成果及び	-	-	20]十戌 =	サ未以え	ト記り	归言	不	計画者	ī	
事業番号	662	事業	美名	参議院議					事業区分	□新規	見	■継続
旦 当 課						行政・行						
予算区分	款	_	総務		項	4 選挙				3 2	参議院	完議員選挙費
<u>. </u>	_	最		決算額		事業費則			(千円)			
年月	艾	予算		(エ四)	国庫	県支出金	その		起債	一般財源		備考
		(千	円)	(千円)	支出金		(収)	()				
平成28	3年度	10	, 252	10, 249	0	10, 247		0	0	2		
エチャ	T D	14 IT	左	由 2	(中(主)			20	/中(主)	29		30
活動』	<u> </u>	単位	年		ố(実績) _	27(実約	貝)	20	(実績) 70			30 —
2票率		%	実	惊					62	_		<u> </u>
C//C—		′	達成		_	_			89%	_		_
業の対象	七坛之			•						•		
(だれに)	有権者											
事 業の目的 なんのために)	参議員	議員選	選挙の)事務を適	i正に執行 ⁻	する。						
	公示				選挙 年6月22 年7月10							
事業の				当日有	権者数	投票	者数		投票率	陸 H2	5参院)	<u>巽</u>
実施状況	選挙				5,296 人		, 478 .		61. 96		68. 05%	
	比例	代表		15	5,296 人	9	, 475 .	人	61. 94	% (68. 04%	
	※ 1 ※ 2			-	島根選挙区 3歳に引下	が合区とた げ	よって [®]	初め	ての選挙			
成果と課題	参議員 課題 若年層	議員選の政治	選挙を加	下回る結	:果となり: :会の確保(の両面から 		率向.	上を図るこ	ことが必要	です。	εiά», 10, 7, 3,
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆 独創		妥当性 公平性 有効性	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成	託の可能性ないか。	
評価点	7	1	0	3	1	3	1		効率性	コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか	
	平価点 計40点満点)		25	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小、	B:現状 終期設況	:維持 定、委	C∶改善・効≦ 託の検討 E∶	率化し継続、引 休止、廃止	委託の検言	t
					担当課	こよる判定	と理由	b				
	投票率の対する必				題であり.	、向上のた	∵め他!	自治 [·]	体を参考に	こしながら	実施可]能な施策板

2-21

	成果及び	評価	'		-	F ~ / /						
事業番号担 当課	633 総務課	事業:	名 鳥取	海区	漁業調整勢 担当係	€員会委 付政・4			事業区分	□新規	見	■継続
予算区分	款	2 糸	総務費		項		I 革际 挙費			■ 3		区漁業調整委 員選挙費
年月		最 系	額	算額 	国庫	事業費		の他	(千円) 起債	一般財源		備考
平成28	年度	(千円	刊 (千 146	144	支出金 0		— (収 14	<u>(入)</u> 0	0			
活動項	頁目	単位	年度	26		27(実	<u>₹</u> 績)	28	(実績)	29		30
設定なし			目標 実績			_	-		=	_ _		_ _
事業の対象	有権者		達成率			_	_					
事業の目的(なんのために)	鳥取海	区漁業	調整委員	会委	員選挙の	事務を適	証に執	げす	る。			
事業の 実施状況	告示 投•		平成 平成	28	委員選挙 年7月25 年8月5日 定数6に対	5日 3予定	6名の	立候ネ	浦届出)			
成果と課題	「成果」 (成果) (はまましま) (は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、			こと	ができま	した。						
評価項目	必要性	妥当	性公立	平性	有効性	効率性		沤性 訓性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性 ないか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	10) (3	3	3		1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	平価点 計 1 O 点満点))	2	7	判定基準				C∶改善・効 託の検討 E	率化し継続、引 ∶休止、廃止	季託の検討	t
,					担当課	こよる判	定と理	由				
В	継続して	実施が	必要な事	業と	考えます。	.						

1 事業の成果及び評価

	成果及び					==	,										
事業番号	61	事第	美名	土地改		総代選挙				事業区	分	[コ新規	見		l継続	;
	総務課		tn ==		- 1		行政·行										
予算区分	款		総務			項	4 選挙			/==:	E	1	4	土地改	₹長₽	と選挙	- 費
<u>. </u>	.		終	決算額			事業費則			(千円)					,	L-	
年月	更	予算		(T	, !	国庫	県支出金	その	2他	起債		—般	財源		備和	号	
		(千	円)	(千円) :	支出金	***************************************	(収	人)	Χ.		7,2~	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
平成28	年度		61		42	0	0		42		0		0				
		22/ / 1						ŧ\		/d= &= \						20	
活動項	貝日	単位	年		Z0 ()	実績)	27(実約	貝)	28	(実績)			29			30	
設定なし			実	標績		_											
政定なし			達原		-	_	-			_			_			_	
事業の対象	1 15 4		Æ/5	~-													
がれた)	有権者																
車業の日始																	
事業の目的	赤碕町:	土地改	女良区	₹総代選	怪学の	事務を追	適正に執行	iする	0								
	〇 赤碕	BT ++ +	おみば	良区総付	学型 /	<u>k</u>											
	ウ		四以口			。 5月16	3 ⊟										
		ᆸ 開票I				5月25											
	選挙		⊢		<u>8年</u> 学区		結果		定数	-	\ \	 柔補者	子类				
事業の	选手	加禾			<u> </u>		相乐 無投票		<u> </u>		<u>'L</u>]!	矢悄1 8	女				
実施状況					<u>.</u> 2		無 <u>投票</u> 無投票		14			14					
					3		無 <u>投票</u> 無投票		7			7					
					. 3 . 4		無投 <u>宗</u> 無投票		11			11					
			ļ	牙	, 4	7	ボ 汉示		1.1			11					
成果と 課題	「成果] 適 課題] 特にあ			子行うこ	ことが	できまし	した。										
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	<u> </u>	有効性	効率性	先馴 独倉		必要性 妥当性 公平性		行政必须 受益者の	頂か、委 の偏りは			10, 7, 10, 7, 5, 3,	3, 0 1, 0
評価点	7	1	0	3		3	3	1		有効性 効率性 先駆性・独創	性	コスト	• 人員効	できたか。 率はどうか えるか。	١,	5, 3, 5, 3, 5, 3,	1, 0
	平価点 計			27		リ定基準 担当課に	A:事業拡充 D:規模縮小、 こよる判定	終期設	定、委					託の検討	 		
						ニコ杯ト	- o つ tij 化	こ生	Щ								
В	継続して	実施な	が必要	更な事業	と考	えます。											

		平成	28	年度 🖁	事業成果	説明書	兼	評価書	
	成果及び		I II 312 144 344	nl 7/- /					- 400 44
事業番号	241	事業名	非常備消			/ IT	事業区分	□新規	■継続
担当課		O 1.31/17-	上世		消防・防災				上光件水件建
予算区分	款	8 消防		項	1 消防		(7 m)	2 月	非常備消防費
年原	+	最 終 予算額	決算額	国 庫	事業費財	源内訳 その他	(千円)		備考
*+ /:	ᆽ	(千円)	(千円)	国 厚 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	VIEL 25
平成28	3年度	62, 758	60, 059		1, 775	4, 197	21, 900	32, 187	
活動工	直 日	単位 左	F度 2		27(実績) 28	3(実績)	29	30
7 🗀 🔑 🤈	<u> </u>		·// ·	—		,	——————————————————————————————————————	_	
設定なし		多	E 績	_	_		_	-	_
		達	成率	_	_		_	_	_
事業の対象 (だれに)	町消防	団員・町	民						
事業の実施状況	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 第 〇 〇 第 〇 〇 第 〇 〇 第 〇 〇 第 〇 〇 第 〇 〇 八 〇 〇 八 〇 〇 八 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	防団報酬 職消防団 用弁償(7,696千 員報償金タ 消防団出動 方ポンプ車	円 (団員数 ト 4,602= 助分外) 更新事業	産を守りま 	人) * 出動回	数下記成	果のとおり	
	〇消				備) 3,06 基金負担金	4千円	16千円		

課題

・大規模災害に備え、アルファ米や保存水等の備蓄品の定期的な整備 を行う必要があります。



評価点 計 (40点満点) 32				判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止				
評価点	10	10	5	3	3	1		目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0

担当課による判定と理由

В 町民の生命・財産を守る最も重要な事業として、継続実施が必要な事業と考えます。

亚成 28 在度 事業成里説昭書 善 証価書

. - *-		平成	28	」年度 :	事業成界	見説明書	事 兼	評価書	
1 事業の 事業番号	<mark>成果及び</mark> 928	事業名	地域防災	力向上事	 業		事業区分	□新規	■継続
	総務課				担当係 消防・防災係				
予算区分	款	8 消防	費	項	1 消防		[2 身	丰常備消防費
年度		最 終	決算額		事業費則		(千円)		
		予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	県支出金 その他 (収入)		一般財源	備考
平成28年度		777			144		525		
活動項	頁目			26(実績)	27(実績	2 (8(実績)	29	30
ョ主防災組	主防災組織結成		日標 組織 実績		31 31		51 33	71	91
<u> </u>		組織 実績 達成率		<u> </u>	JI JI –		65%	_	
事業の対象 「だれに) 町民			<u> </u>				00/0		
事業の目的 なんのために)		年度まで		炎組織組織	、防災息調率70%を目 率70%を目 3 組織 (平	標としま	:す。	力の向上を 図 	1りまり。
事業の 実施状況	0	地域の防・防災関・自主防・自主防・	災力向上 連資機材 災組織結 災組織活 災組織活	を図ること ・備蓄品 成促進補 機材整備 動促進奨 励	: ができまり 構入外 力金 輔助金	ンた。 2 1 4 千F 1 0 0 千F 6 8 千円 3 0 千円	円(アルフ 円(八反田 (大山町、 (八反田、	八橋 4 区、1 八橋 4 区、1	
成果と 課題	向上 【課題】 自る り 進格	を 主必取が自り自る 災が部ん会で防	と織り震い結る組がのまな成よがのまながのまながのようのきがいにうのはいたがの取結	ました。 を促 して してあ りき を まりきを	平成31年月 ヨ主防災組織 ミす。 ・サポートし いあります 舌動促進	を末に組織 機結成の重 ン、無理の	战率70%以. かきは出て	とにより地域上を達成できまているが、続的活動がで	きるよう推進
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の 行政必須か、委託の 受益者の偏りはない	の可能性は。 10,7,
=亚/≖ 上	10	7	3	1	3	1	有効性	目標数値は達成でき	きたか。 5, 3, 1
評価点	10	<i> </i>	∣ J	1 1	J	ı	効率性	コスト・人員効率に	まどうか。 5,3,1

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性		住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0	
評価点	10	7	3	1	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
評価点 計 (40点満点) 25				判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止					

担当課による判定と理由

В

防災力(自助・共助)を高めるため、継続して実施が必要な事業と考えます。

1 事業の成果及び評価

	成果及び									
事業番号	1235	事業名	空き家	対策事業	31/ RL	14.77 F	事業区分	□新規		■継続
担 当 課予算区分	総務課款	8 消防	费	担当係項	消防・ 1 消防			1 2 身	 	咕婁
了异位刀	水人	最終	· 決算額	内		<u>₹</u> オ源内訳	(千円)	1 2 1		別 貝
年原	芰	取 於 予算額 (千円)	(千円)	国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備	考
平成28	年度	153	104					104		
活動項	頁目			6(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29		30
设定なし			標 績		_					
CE G C			戊率	_	_		_	_		_
事業の対象 (だれに)	空家等	の所有者								
事業の目的 なんのために)	空き家舗	等の適正な	≩所有者へ	働きかけ、	、危険家屋	の除却を	目指します	; 。		
事業の 実施状況	空き家田				通行者に悪	影響を与	えるため、	敷地外に作	≢びた	
	・ 近行 題加 · ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	い る有年れ制険険つ況 れま 危者、ら執空空てと ら 険不相の行ききいな を 空存続物実家家まっ 解 で が か ま か か か か か か か か か か か か か か か か か	い い 家物棄はへ放係。い 要 件な老の置者連ま のに化一 町を。	対応 がド 内取 も高 い は高 い の の の の の の の の の の の の の	者不存在の 早急な対応 く、実施後 は近隣の はますが、が	の不動産から が求めら での費用回 はない なで で な で れ に れ る で れ で れ で れ で れ の き の き で れ さ れ に さ れ に さ れ る て さ れ る て る れ る て る れ る る て る る て る る て る る て る と る る て る と る と	が増加していれる。 れる容易・ が、県外・ が、よが多・	推持 管理 ま多は あ事 はい 場が れた たれり 合権 たれり たれり たれり たれり たれり たれり たれり たれり たれり たれり	こ、 ごす。 記です。 が多く ぶしない	き
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性 有効性	住民ニーズ、事業(行政必須か、委託(受益者の偏りはな)	の可能性は。 いか。	10, 7, 3, 10, 7, 3, 5, 3, 1,
評価点	10	3	1	1	3	1	効率性	目標数値は達成で コスト・人員効率 他の見本となりえ	はどうか。	5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1,
	平価点 計 10点満点))	19	判定基準			: C∶改善・効: 委託の検討 E	率化し継続、委託 : 休止、廃止	Eの検討	
				担 半 理 !	- トム判定	レ理由				

担当課による判定と理由

B 空き家対策は、活用と除去の両面があり、空き家活用での移住定住推進や、危険空き家の除去による安心安全な環境づくりの重要な課題であるため、事業見直しを行い継続実施する必要があります。

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

	成果及び			_	于未从为	< μ/υ· 71		可順言	
事業番号	242	事業名	消防施設		Talket et	w r	事業区分	□新規	■継続
担当課	<u>総務課</u> 款	0 5年14	- 弗		消防・防			┃	3. 大体讥奴弗
予算区分	示人	8 消防		項	1 消防 事業費則		<u> </u> (千円)	3 洋	肖防施設経費
年原	隻	最 終 予算額	決算額	国 庫		その他		45.51:-	備考
۱ ،	~	(千円)	(千円)	支出金	県支出金	(収入)	起債	一般財源	mu · 3
平成28	年度	12, 433	11, 729		386	1, 09	1	10, 252	
	夏目	単位 年	度 26) ố(実績)	27(実績	事) [28(実績)	29	30
			標	_	_		_	_	_
設定なし			€績成率		_			_	_
事業の対象	町民	(建)	<u> </u>					_	
事業の目的	防災行 を図りま		肖火栓、地	域通信衛	星ネットワ	一クの糸	推持管理を行	売い、消防・	防災体制の整備
事業の 実施状況	· 修 · 委	繕費 1, 託料 5,	540千円: 177千円:	屋外拡声∃ Jアラート 避難行動勢 消火栓新記	子局用バッテ 施設保守4 更支援者台 殳及び移設	リー交換1, 445千円 帳システ に対する	188千円外] - ム保守415- 5上水道負担	等を行いまし 千円外 ∃金を支出し 田越、徳万、	ました。
成果と課題	【課題】	防災力の	強化につた	なげまし <i>た</i>	• 0		を行い、地理が必要で	域内での火 ⁹ す。	災予防、
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の 行政必須か、委託の 受益者の偏りはない	D可能性は。 10, 7, 3, (いか。 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	3	5	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成でき コスト・人員効率に 他の見本となりえる	まどうか。 5, 3, 1, 0
	平価点 計)	32	判定基準			寺 C∶改善・効 委託の検討 E		 Eの検討
				担当課	こよる判定	と理由			
В	全国各地	で様々な	災害が起こ	るなか、	更に充実し	た事業別	実施が必要る	と考えます。	

事業番号担当 調予算区分	総務課	事業名		還元金 担当係	財政係		事業区分	□新規	見	■継続
担 当	総務課	11 公債		担当係				- 1.117		
年	•		事	_						
			マス	項	1 公債	費		1	元金	
		最 終	決算額		事業費則	才源内訳	(千円)			
平成2	·度 	予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備	i考
	.8年度	1, 313, 67 ⁻	1, 313, 346		9, 772	90, 924		1, 222, 422		
活動	項目			6(実績)	27(実績	2 (8(実績)	29		30
			標	_	_		_	_		_
設定なし			€績 成率		_			_		
古世の4年		连	八平		_			_		
事業の対象	町民									
事業の目的(なんのために)	適切な: す。	地方債の	発行を行い	fを行ったり V世代間の1					の平準化	を図りま
	平成 平成 〇平成28: 平成	27年度… 28年度… 年度地方 27年度…	債発行額 935, 410千	千円(対前])			
	平成 【課題】 〇今後 合併 平成 ため	28年度末 の後に年度 意記度方 の後の年地 元 のででする。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 であ	の地方債列 の推移 を行ったる 公債費のと の発行にあ び元金償還		て、平成2 について、 え、平成3 後年の償還	7年度末よ 据置期間 4年度まて 最額を加明 (単	が終了した 公債費の まし、計画に は位:百万円	元金償還か 高い状況か 的な発行か 円)	^ヾ 開始され ヾ続く見込	ます。 みの
成果と		18,	000							
課題		16,	000 15,249	4,556 14,342 ₁	13,837 12 624					
		14,	000		***************************************	13,011	35 11 652			
		12,	000			***************************************	10,000	975 10,335		
		10,	000		-			9,	026	
		8,0	000							
		6,0	000							
		4,0	000							
			000 1,254	1,313 1,33	1,405 1,3	314 1,373	1,377 1,381	1,379 1,339	1,309	
		۷,۱	0			B B			異	
			H27	H28 H29	H30 H31	H32 H3	33 H34 H	I35 H36	H37	
			,		(還元金(百万円					
	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価項目			1 _				有効性	目標数値は達成		5, 3, 1, 0
評価項目	7	10	3	3	3	1	効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効! 他の見本となり		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0

担当課による判定と理由

C

後年の償還額を加味し、計画的な地方債の発行、償還計画が必要となります。 また、利率の高い地方債については、繰上償還を行い後年度の公債費の平準化を検討する必要が あります。

1 事業の成果及び評価

C

	成果及び								
事業番号	356	事業名	起債償		-時借入金	利子	事業区分	□新規	■継続
担当課		ᆥᄼ	建	担当係	財政係	弗			17
予算区分	款	11 公債		項	1 公債 事業費則			1 2 年	· 1子
年月	芰	最 終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源	備考
平成28	3年度	170, 452	169, 404			159		169, 245	
活動コ	項目			6(実績)	27(実約	責) 2 8	8(実績)	29	30
設定なし		美	標 				_	_ 	
事業の対象	町民	1 25/	<u> </u>						
事業の目的					地方債の利 負担の公平)平準化を図りま
事業の 実施状況	平成 平成 〇平成28: 平成	28年度… 年度地方(27年度…	192, 858千 169, 404千 責発行額 935, 410千	円(対前年 円	Ĕ: △23, 4 Ĕ: △314,				
ct⊞ L	対前 【課題】 〇今後 合併成 ため	年に対し の公債費の 後に起債 30年度に 、地方債	、利子償還 の推移 を行す費のと の発行にあ び利子償還	電額が23,4 合併特例債 ピークを迎 らっては、 の推移	え、平成3 後年の償還	越額を行う 据置置期間 4年度ま加 製額を加い単	が終了し 公債費の えし、計画 位:百万	元金償還が 高い状況が 納な発行が 明	開始されます。 売く見込みの 込要となります。
成果と 課題		18,000	15 249						
H/IN NCE		10,000	14,5	⁵⁶ 14,342 13,8	837 13,684	011			
		14,000			837 13,684 13	12,335	11,653		
		10.000				******	10,975	10,335	
		10,000 8,000						5,020	
		6,000							
		4,000							
		2,000	193	169 146	136 130	126 122	119 11	.7 117 115	
		,		 28 Н29 Н	130 H31	H32 H33	H34 H35	H36 H37	
評価項目	必要性	妥当性	公平性	●木傊遠:	元金(百万円) 効率性	□利子償還(百 先駆性 独創性	シ要性妥当性公平性	住民ニーズ、事業の行政必須か、委託の	の可能性は。 10, 7, 3, 0
評価点	7	10	3	3	3	1	公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性	受益者の偏りはない 目標数値は達成でる コスト・人員効率に 他の見本となりえる	きたか。 5, 3, 1, 0 はどうか。 5, 3, 1, 0
	平価点 計 4 O 点満点))	27	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小、			率化し継続、委託	•
				担当課に	<u>.</u> こよる判定	と理由			

担当課による判定と理由

後年の償還額を加味し、計画的な地方債の発行、償還計画が必要となります。 また、利率の高い地方債については、繰上償還を行い後年度の利子償還にかかる将来負担額の軽 減を検討する必要があります。

(単位:千円)

/+L == F1 === L >> 7L \	/ = 46 = 45 + 5 \	/ S.L. Adv. det S		位:千円
(款−項−目−事業名称)	(最終予算額)	(没算額)	(ページ)	(備考)
一般会計				
企画情報課	625,080	344,076		
2.総務費	624,961	343,957		
1.総務管理費	614,229	333,343		
2.文書広報費	4,338	4,324		
ホームページ運営	326	325	3-1	
広報ことうら発行	3,964	3,951	3-2	
広報公聴活動及び研修	48	48	3-3	
6.CATV管理費	441,075	169,591		
情報通信利用環境整備推進事業	400,000	129,847	3-4	
農村多元情報連絡施設管理運営	37,701	36,397	3-5	
防災行政無線システム維持管理	3,374	3,347	3-6	
7.企画費	28,847	26,554		
「いいね!ことうら」発見事業	184	132	3-7	
ふるさと創生塾	147	80	3-8	
まちなみ環境整備事業	152	151	3-9	
縁結び事業	98	14	3-10	
企画関係事務	1,858	1,853	3-11	
輝く地域づくり事業	857	767	3-12	
技術顧問業務委託事業	2,506	2,506	3-13	
琴浦町総合戦略推進事業	875	715	3-14	
琴浦町男女共同参画審議会運営費	347	302	3-15	
携帯電話移動通信鉄塔整備事業	45	44	3-16	
—————————————————————————————————————	132	0	3-10	
	167			
元気な中山間地域づくり事業		58	3-18	
子どもの遊び環境整備事業	2,562	2,536	3-19	
若者定住等による集落活性化総合対策事業	208	0	3-20	
集落支援員活動事業	0	0	3-21	
新婚家庭支援事業	2,692	2,497	3-22	
第二次琴浦町総合計画策定事業	286	206	3-23	
第二成人式事業	320	319	3-24	
地域おこし協力隊員活動事業	13,240	12,281	3-25	
町内地域づくり団体の連携	2,170	2,093	3-26	
土地取引及び開発事業関係事務	1	0	3-27	
10.電算機管理費	133,948	130,855		
個人番号運用事業	9,651	9,639	3-28	
電算管理(ネットワーク関係)	28,689	28,586	3-29	
電算管理(職員用関連)	12,989	12,454	3-30	
電算管理(総合行政システム)	82,619	80,176	3-31	
うち繰越分	15,234	14,253		
13.鳥取県中部地震対策費	6,021	2,019		
鳥取中部地震災害対策事業(総務管理費・企画情報課)	6.021	2.019	3-32	
7.地方創生事業費	10,732	10,614		
2.地方創生加速化交付金事業費	10,732	10,614		
地方創生加速化交付金連携事業(企画情報課)	732	732	3-33	
	732	732	0 00	
ま来へつなぐ琴浦農業プロジェクト(企画情報課)	10.000	9.882	3-34	
	10,000	9,882	J J4	
75線形式 10. 災害復旧費				
	119	119		
2.地震災害復旧費	119	119		
2.鳥取県中部地震対策費	119	119	0.05	
鳥取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・企画情報課)	119	119	3-35	

1 事業の成果及び評価 一般会計

	の成果及び								一般会計	
事業番号	585	事業名	ホームペ	ージ運営			事業区分	□新規	見 ■継糺	涜
担当課	企画情報	果		担当係	情報政策	係				
予算区分	款	2 総系	务費	項	1 総務	管理費		2	文書広報費	
	-	最 終	決算額		事業費財		(千円)			
年	度	予算額	777 133	国庫		その他		/	備考	
•	^	(千円)	(千円)	支出金	県支出金	(収入)	起債	一般財源	1/13 - 3	
平成2	8年度	32				36		289		
平成28年		02	0 020	1		- 00		200		
活動		単位	年度 2	6(実績)	27(実約	±\ 0(3(実績)	29	30	
/白 劉	<u> </u>		+ 及 <mark> </mark>	0(天限)	1,000,0		(美種) 100, 000	1, 200, 0		000
ホームペー	-ジのア		ョ (宗		1, 050, 0		100, 000 107, 726	1, 200, 0	1, 300,	000
クセス件数	攵		成率		100.0		100%			
*****		Æ	八年		100.0	/0	100/0			
事業の対象(だれに)	町民、その	の他								
(/_////_/										
事業の目的	ホーム	ページの5	安定的なシ	ステム稼動	かを図るた	め 公開	システムの	の維持管理	≣を行うととも	,
争未の日的		. , ,	X X L 1.0 Z	八	91 6 64 67 12	о , д _{ілі}	<i>></i> //			'
	に、 情報を公	盟する								
,	IH TK C AI	ο σ . στυ								
										$\neg \neg$
	O ホー.	ムページの	の維持管理	費として.	以下のと	おり実施	しました。)		
	ホ-	ーレペー・	ジ委託料	27. 105円 >	×12月分=	325, 260F	9	•		
事業の	'''	_• •	~ HU11	,, .	/ 1 / 1	,,	-			
実施状況										
大心バル										
	[成果]									
	ホーム・	ページの	アクセス件	数で、目標	票以上の実	績を達成	することフ	ができまし	った。	
			牛) →H28写						-	
	1120 11 13	(11075)	17 11205	CIR (IIO)	J 11 /					
	[課題]									
		±±□ >> = ,	v "	1. 4. 7		ᅷᄼᄱ	= 4 00 4 8 22 7	π +> Φ □ 1 ·		
				となるへく	、記事作	放の操作	説明か必要	要な職員!	に対して、常時	「対心
	を行う必要	要があり	ます。							
成果と										
課題										
						十 田口 十十	必要性	住民ニーズ、事	業の必要性は。 1 10	7. 3. 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	行政必須か、委		7, 3, 0
						独創性	公平性	受益者の偏りは		3, 1, 0
評価点	10	10	5	3	3	1	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効		3, 1, 0 3, 1, 0
計画法	IU	10	1	ا ن	ا ا	ı		他の見本となり	-,-	3, 1, 0 3, 1, 0
	評価点 計		00		Δ:重業坑式	F B·钼件			し継続、委託の検	
	叶岬点		32	判定基準			確付 0.収 2、委託の検			.43
	- 400 400 400			おお書に						
				担ヨ誄に	よる判定	C理田				
В	情報発	信の重要!	生は高まっ	ており 糸	巣続すべき	事業であ	ると判断し	します		
ן ט	111 干以 ブロ	山火土女	エルロウン	- UU / \ II	≟1969 ₹ €	テヘくの	A C 13E/1	J 5 7 0		

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書 - 報会計

1 事業の	の成果及び	評価										一般会計	-
事業番号	10	事業名	広報	こと	うら発行				事業区分	} [コ新規	見	■継続
	企画情報					企画調整							
予算区分	款		務費		項		管理費			且	2	文書広報	費
		最終		額		事業費財			(千円)				
年	度	予算額			国庫	県支出金	その		起債	— 約	財源	[持
		(千円)			支出金	ホ 入田並	(収え	ሊ)	AC IX				
平成2		3, 9	64 3	, 951						3	, 951		
平成28年						27 / - /	-\						
活動	項目	単位	年度	26	6(実績)	27(実績	貢)	28	(実績)		29		30
設定なし			目標 実績										
政ルなし		<u> </u>	天 根 主成率										
事業の対象	A	,	= /% T										
(だれに)	全世帯												
事業の目的		m	or	- ·	~ ~ . ~	<i></i>	-L 1+ +-						
(なんのた めに)	毎月1回、	町広報?	批 広 軸	すこと	うら」発	行し、行列	攻情報	も	丁の魅力	を発信	する	0	
(۵)۱۵													
	〇 町広	報紙「瓜	な報こと	うら	」を毎月	6, 500) 部発	行し	、各世詩	帯へ配	布し	ました。	
事業の					で、広報組								認を
実施状況					度の広報								
		した。					- , - ,						, ,,_
	[成果]												
	町	の事業や	や制度な	ど、	住民にお	知らせする	ること	、ま	知らせる	ナベき	: ع ت	を読みや	すい
					作成しま								
					の活性化		イベン	トゼ					
					どを取り				1	t-à	.1	Q colority	
		· -		•			-				2		
										7000	CHEX	AND SHOWING	eld es
成果と	〔課題〕								2	やまじこ			
課題		浦町の鬼	速力再発	見と	なるような	な話題を割	長紙で	取り	上げ、	S. C. Call		-	
					りを広める					200		to said	
					のみなさん		けする	t= &.). I			是国家	
					信に関する						1	- 11	0.00
					すい紙面に						98	PAUS PAUS	HON!
					を感じる。							10 Sacres	-
	が必	要となる	るため職	員研	修などの	実施も必要	更です	o			A BREST		
表现 / 正 - 王 口	少無业	유민교		ᅲᄮ	±⊹⊾₊₄	ᄽᅲ	先駆	性	必要性			業の必要性は。	10, 7, 3,
評価項目	必要性	妥当性	· 公 ·	区性	有効性	効率性	独創		妥当性 公平性			託の可能性は。 ないか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
	10		 	_					有効性	目標数	値は達成	だできたか。	5, 3, 1, 0
評価点	10	7		5	3	3	1		効率性]率はどうか。	5, 3, 1, 0
	≕海上 =1	<u> </u>	-			A · 古米セー	<u> </u>	ᄪᄱᄱ	先駆性・独創				5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点		2	9	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小						し継続、委 廃止	託の検討
	. • M. /PI /TI	.,			扫水部1-	よる判定			- , × HUV/1		- 61,711	- , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
					担当味に	よる刊化	C 垤ㅂ	1					
C	広報紙の	ニーズは	高く、	必要怕	生が高いた	≥め、改善	を図り	りな	がら継続	すべる	きと半	判断します	۲。

1 事業の成果及び評価 一般会計

	の成果及び										一般会計	
事業番号	11	事業律	名 広報·	公聴	活動及び研			事業区分		口新規	現	■継続
担当課					担当係	企画調整						
予算区分	款		稔務費		項		管理費		目	2	文書広報	費
		最		額		事業費財	源内訳	(千円)				
年	度	予算額			国庫	県支出金	その他	起債		般財源	信	請考
		(千円			支出金	木 人山亚	(収入)	起俱				
平成2			48	48						48		
平成28年												
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	1 2 2	8(実績)		29		30
=0 -4- /			目標									
設定なし			実績									
± 44' - · · ·			達成率									
事業の対象(だれに)	職員											
(バニオレー)	,											
事業の目的		D =	1 XX 311 =7 :			- <i>L</i> _ A · · ·		L/II				
争未の日的	広報紙作用	灭及び 放	双送業務(こ関う	ずる各種研	₩修会に参	加し、技	技術の習得	を図	1る。		
めに)												
								を受講しま	l 1	こ。ま	た、広報	技術を
	上げ	るため	、広報研	修り	ークショ	ップに参加	ロしました	た。				
事業の												
実施状況												
	<u> </u>											
	〔成果〕											
	411	報研修	を受けた	こと	により、	プロからの)率直な	指導を受け	-るこ	ことが	でき、	
						ークが向よ			-		•	
		, - •					,	- -				
	〔課題〕											
		送の女	音表現か	نل	协送技術「	カトの籍婦	11111111111111111111111111111111111111	める必要が	(ねし	リキオ		
					— •• • • • • •			対る必安が 支術の向上			-	LI
武田 1.	ます		いスキン)性 ノ】	コンタイプ	,, <u>,</u> ,	UJ TF PX 1	又川リリエ	.1-5	らなり	必女かめ	7
成果と 課題	ま 9	9 0										
不迟												
₹₩₹₽₽	·›· 표··	TO 11/4	<i>д</i> л -	7 h4-	士士	ᄽᆇᄮ	先駆性	必要性			業の必要性は。	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当性	生 公平	~1生	有効性	効率性	独創性	妥当性 公平性		必須か、す 者の偏りに	を託の可能性は。 はないか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
	-	٠.			_	_		有効性	目標	数値は達成	戈できたか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	10	3	3	3	3	1	効率性 生取性 - 独創性			効率はどうか。 ラスか	5, 3, 1, 0
	証/正上 きり			_		. ا الله الله		先駆性・独創性		見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計		2	7	判定基準	A:事業拡充 D:規模線』		₹維持 C∶改 定、委託の検				託の検討
	40点満点	.)		_				に、女託の快	נה)	⊏⋅⅓∧⊥	上、廃止	
					担当課に	よる判定。	と埋由					
						:						
В			こついて	ま受詞	構対象を拡	太大するな	ど効果的	かな内容と	して	継続す	する必要だ	バあると
'	判断します	す。										

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	1226	事	業名	情報通信	利用環境團	è備推進事	業	事業区分	■新規	見	□継続
担 当 課					担当係	情報政策					
予算区分	款		総務		項		管理費		∃ 6	CAT	/管理費
	_		終	決算額		事業費財		(千円)			
年	芟		額	(7 III)	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	1j	帯考
ਜ਼-1:0	0 左 曲		円)	(千円)	支出金		(収入)			110045 +4-420	70. 150 T FB
平成2 平成28年		400), 000	129, 847		33, 303		63, 300	33, 244	H29繰越額2	/0, 153十円
活動		単位	左	度 26	(実績)	27(実績	<u>ا</u> ا	8(実績)	29		30
/白 刬	块口	中世		標	(天限)	27(天神	₹/ Z0	5(天限/	29		30
設定なし				績							
				戊率							
事業の対象	町民										
(だれに)	m) IV										
事業の目的						_					
争未の日的								より、情報	報通信の語	高速化を[図り、
めに)	ケーフル・	ァレヒ	: , 1	ンターネッ	ソトの安ス	≧したサー	ヒスを提	供する。			
	〇 赤碕均	ᄥᅜᄱ	\ <u>\</u>	ヺ゙゙゙゚゚゚	4. 丁車 しょ	ア 齢舶	の敷供な	以下のと	いけ事権工	± 1 +-	
		心区。 続費			リエザこし	ノし、井下小水	の走岬で	W100C	いり天心し	J & U / L a)
事業の	77527		28	1120	H29	1 4	全体事業	-			
実施状況	-	129. 8		9 5			79,000千				
					,						
	[成果]	— -			·· — — 1.L —		=+ + 111	± =====			. — - + /5:
											1回の定例
			情報	共有を図る	ることがて	ごきたほか	、工事進	渉率は1/	ケ月前倒し	っで進め.	ることがで
	きました	<i>(</i> = 0									
	[課題]										
		整備ヵ	(宗了	後 各世	もへの引む	して事及が	字内工事	を施工する	ることとた	こります。	が、空家世
					-	-	_	予想される		,,,,,	*
成果と	.,,.		.,		, , "		5 – 2	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
課題											
							# EC 14	必要性	住民ニーズ、事	業の必要性は	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥旨	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	行政必須か、委	託の可能性は	. 10, 7, 3, 0
								公平性 有効性	受益者の偏りは目標数値は達成		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	_	7	3	3	3	3	効率性	コスト・人員効	率はどうか。	5, 3, 1, 0
	ETATE FL					. — au- 11		先駆性・独創性	他の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			26	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		維持 C∶改 È、委託の検			計の検討
					担当課に	よる判定の					
						ישנו שייי	Z III				
	他の 2 ほ	町(湯	景梨浜	町、北栄町	け) 及び鳥	引取中央有	線放送株	式会社と、	今後の引	夏新工事	施工につ
С				要がある。				•		·.	

1 事業の成果及び評価 一般会言

1 事業の	の成果及び	評価						-	-般会計
事業番号	15	事業名	農村多元	青報連絡加	拖設管理運	営	事業区分	□新規	■継続
担当課	企画情報	課		担当係	情報政策	係			
予算区分	款	2 総務	費	項	1 総務	管理費		∃ 6 0	CATV管理費
		最 終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)		
年	度	予算額		国庫		その他		AD DANGE	備考
		(千円)	(千円)	支出金	県支出金	(収入)	起債	一般財源	
平成2	8年度	37, 701				12, 64	5	23, 752	
平成28年		01,101	00,001			1=, 01.		20, 702	
活動		単位 年	度 26	(実績)	27(実統	書) 2	8(実績)	29	30
70 30	X L		· 模		27(>	2/ 2		20	00
設定なし			績						
12.7C 0 0			式率						
事業の対象			•			l l			
(だれに)	町内ケ-	ーフルテレ	/ビ加入者』	及び新規加	0人者				
事業の目的	去砕地[マのケーゴ) 山梅砂レモ	韦伯₩区 Λ	ハ サケーブ	`山.悔訟の	油切た管:	囲電骨を図	り、安定した
(なんのた		さいり を提供する		* 10 10 12 0	7)67 2	/レルではくい	一門のより	住居古で囚	り、女足した
めに)) LA	と派がする	0						
	^ ,			-×., ⊥ <u>⊢</u> =n -	~ <i>//</i> /		NT 6 '	٠. ١١ ٠ ١٠ ،	_
								おり実施し	ました。
			伝送路移記						
事業の	-		伝送路共久			8 4 千円			
実施状況	ケ-	ーブル施設	佐送路増	冨器電気代	t 2, 1	3 4 千円	}		
	そ(の他維持管	理に要した	と経費	3, 2	50千円	3		
	•			-1-50	-, –		-		
	[成果]								
		`` ı. +/ - =⊓. 1 7	7° W	`` u + /- =⊓. ∕a	> 4# ++ 6/5 TE	+ /- , ,		u 13 +-	1
			ひ光ケー・	ノル施設の)維持官埋	を行い、	安定した	サーヒスを	提供することが
	できま	した。							
	[課題]								
	1 今後	とも引き続	き、安定し	したサーヒ	ごスを提供	するため)、適切な	維持管理に	努めていく必要
	があり	ます。							
成果と									
成末と 課題									
									
	1		1			ᄯᄧᆕᅜ	必要性	住民ニーズ、事業	の必要性は。 10.7.3.0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	妥当性	行政必須か、委託	
						独創性	公平性	受益者の偏りはな	にいか。 5, 3, 1, 0
=	7	9	<u> </u>	9	7	7	有効性	目標数値は達成で	-,-,-,-
評価点	7	3	3	3	3	3	効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効率 他の見本となりえ	0,0,1,0
	郭布克 弘				۷·辛ೆೆ ۲۰۰۰	S D. TO. 11			
	評価点 計 40点満点		22	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮/			〔善・効率化し 〕討 E∶休止、	継続、委託の検討
(ナリボ連ぶ	/		+0 1/ =0 / -			-、女心が快	.н. г. М.т.	,,c.
				担当課に	よる判定	と埋田			
С							式会社と、	、今後にお	ける施設の管理
J	運営につい	ハて、検討	を行う必要	要があると	:判断しま	す。			

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	1022	事第	美名	防災行政	女無線シスラ	テム維持管	理	事	業区分]新規	加工 見	■継続
担当課			t → - -	-15	_	情報政策							
予算区分	款		総務		項		管理費	,			6	CAT	Ⅴ管理費
左	#	最 予算	終弱	決算額		事業費財			千円)				/ # +/
年	送	で ∮ (千		(千円)	│ 国 庫 │ 支出金	県支出金	その他 (収入)		起債	一般	財源		備考
平成2	R在使		374				(1271)			3	347		
平成28年			, 07 1	0, 0	,					0,	, 0 17		
活動		単位	年	度	26(実績)	27(実績	責)	28 (3	実績)		29		30
				標									
設定なし			実										
+ # o + l 4			连拉	戊率									
事業の対象 (だれに)	町民												
(/2: 01-/													
事業の目的													
(なんのた	本町の竹	青報を	的確	に伝達す	るため、『	方災行政無	線シス	テム	の適切な	な管理	里運営	きを行う	,
めに)													
	〇 防災征	宁政 無	線シ	ステムの)維持管理と	こして、以	下のと	おり	実施しる	ました	٥.		
					機購入等	1, 76	9千円						
事業の				保守工事		1, 07							
実施状況	そ(の他維	持管	理に要し	た経費	5 0	1千円						
	[成果]												
		テルコ	E 總百	別受信格	後及び各部落	支公民会の	部落协	关桦	(地区:	袁隔集	非細地	೬置) σ)維持管理
					を提供する				(200	조마기미	1) 141-22	(四/ 0.	
	C 11 V		_	, _,	· C MENT	<i>y</i> – <i>e n e</i>	C & O !	_0					
	[課題]												
		とも引	き続	き、安定	ごしたサー じ	ごスを提供	するたる	め、	適切な約	維持管	き理に	字めて	いく必要
	がありる	ます。											
成果と													
課題													
== /= -= -=	Se are be	<u></u>	le La	n 1:	<u></u>	±1 -= 01	先駆性		要性			業の必要性に	
評価項目	必要性	妥当	自任	公平性	有効性	効率性	独創性	安章	当性 平性	行政必须 受益者の		託の可能性 ないか。	は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
=a:/π: ►	10	4	$\overline{}$	^	2	2	0	有效	効性	目標数値	直は達成	できたか。	5, 3, 1, 0
評価点	10	1	0	3	3	3	3	-	率性 駆性・独創性	コスト・ 他の見る		率はどうか えるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計			20	네 스 # 2#	A:事業拡充	E B∶現						<u> </u>
	40点満点			32	判定基準	D:規模縮小						、廃止	
					担当課に	よる判定	と理由						
В	陆 然棒	絽の毛	重州	() 卓丰 ~	っており、糸	※続オバキ	重業で	な ス	上判除日	 	-		
D	りり火消ぎ	FK Vノ 生	女性	は同まっ	ノしのツ、ギ	上がら インマ	尹未じ	める		しょり	0		

1 事業の	の成果及び	***	20	干渂 =	争未収え	未說 例	音	部1四 1	雪 一般会計	_
事業番号	1289	事業名	「いいね	!ことうら	5」発見事	· 業	事業区分	□新規		■継続
担当課					企画調整		7 214-23	_ 17172		12170
予算区分		2 総務	費	項		管理費] 7	企画費	
		最 終	決算額		事業費財		(千円)			
年	芰	予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	俿	請考
平成28	3年度	184			132					
平成28年	度(明許)									
活動	項目			6(実績)	27(実績	責) 28	8(実績)	29		30
足定なし		生								
事業の対象 (だれに)	町内小・	中学校、町	内一般、距	町外在住者	ž 1					
		地域資源を ろを再発見 る。								
事業の 実施状況	応募 応募	のテーマ: 期間:6月 件数:86件 秀賞1点、	から1月 							
	『未 撮影	の新たな魁 来に伝えた された写真 、琴浦町の	:いこの一 [として86	枚』を主 点の応募7	テーマに、 がありまし	6月かり た。作品	5 1 月まで 品は、町の	募集を行い 広報紙の	ハ、期間	中に
成果と 課題	-	後の展開と るなど、よ							から写真	を募
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	<u></u> 先駆性	必要性 妥当性	住民ニーズ、事業行政必須か、委		10, 7, 3
評価点	7	3	3	3	3	独創性 3	公平性 有効性 効率性	受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効	ないか。 できたか。	5, 3, 1 5, 3, 1 5, 3, 1
H I Im W	# ===/== == == == == == == == == == == ==		U	<u> </u>	J		先駆性・独創性	他の見本となり		5. 3. 1
	評価点 計		22	判定其進	A:事業拡充		維持 C∶改			
	評価点 計40点満点		22	判定基準		ヽ、終期設定	維持 C∶改 と、委託の検			

3 - 7

C

琴浦町の隠れた魅力を発見できるものであり、良い取り組みではあるが、今後の展開を考えれば、他の事業と併せて行うなど検討が必要です。

	の成果及び								一般会計
事業番号	1307	事業名	ふるさと				事業区分	■新規	□継続
担当課		• •	-44		企画調整				4 — #b
予算区分	款	2 総務		項		管理費	-] 7 1	企画費
年	度	最 終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	国庫 支出金	事業費財	源内訳 その他 (収入)	七円)	一般財源	備考
平成2	8年度	14				(1274)		80	
平成28年									
活動		単位	F度 26	(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29	30
ふるさと創			標					20	20
数(修了生	Eを含		ミ績				0		
む)		達	成率						
事業の対象(だれに)	小学校高								
事業の目的 (なんのた めに)	琴浦町を ダーを発 ムを実施	誇りに思い 掘・育成す する。	ヽ、その力 [;] トるため、 <i>。</i>	を将来の ^琴 ふるさとを	₹浦町で生 を知り、誇	かすこと りと愛着	:のできる <i>。</i> 情を深め、(固々の力を	行力のあるリー 伸ばすプログラ
		実施に向い	けて講師、				『業企画委 』	員会」を設	置、委員会を7回
	い 「一分(一講一あとま 課塾な保塾師似りなし 題の時護とのた、るた 」メ間者し声よ選こ	。 イをへてをう択といかのは聞なすもいるき年、の子る	がではるなこと がではるなこと	遅き大のがとっ見れまきでらうてが開んと運況こ受り	塾で考営にどけまがH29st。 がH29st でえに応も皿し がたまつじパがた でして一多(F度分のでは、 を生まる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	(8月) と が対象 の ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない	さる もくせつ。 いんこ めいこう おめい まがん まがしりら	国、検討を行 報、募校 まがりと 事に協 加。多のの をすがめのの は、事業との をすがめの。 は、事業との は、事業との は、事業との。 は、事を、 も、事、も、。 も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も、も
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委託 受益者の偏りはな	Eの可能性は。 10, 7, 3, 0 いか。 5, 3, 1, 0
評価点	10	3	1	1	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成で コスト・人員効率 他の見本となりえ	≝ はどうか。 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		21	判定基準	D:規模縮小	、終期設2		善・効率化し 討 E∶休止、	継続、委託の検討 、廃止
				担当課に	よる判定	と埋由			
С			「、実際の 育成には一)						座学・体験活動

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	785	事業	美名	まちなみ	環境整備區			事業区分	□新規	見 I	■継続
担当課			t → L	-11-		企画調整					
予算区分	款		総務		項		管理費		目 7	企画費	
年	+	最 予算	終	決算額		事業費財		<u>(千円)</u>	T	供	·考
 -	艾	(千		(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	1/11	75
平成2	3年度	\ 1	152	151			(151		
平成28年											
活動	項目	単位			6(実績)	27(実統	責) 2	8(実績)	29		30
-1.00 + 1			旦	標							
設定なし			実達の	模 戈率							
事業の対象	知り方に	L.	~= /3	~							
(だれに)	観光客ほる	J,									
古巻の口が											
事業の目的 (なんのた	・まちなる	み環境	整備	事業で整	備した光均	他区の環境	維持				
めに)			J		mi						
	・観光看	垢修絲	£ 79	360⊞							
	性ルノし 1日 1	ᄊᆝᇰᆘ	- /2	, 0001]							
事業の	• 縁石修約	善 78	3, 732	円							
実施状況											
	①声業の	+ =									
	①事業の		4 看 垢	及水光左	ぃトパーケ	5 緑石の味	場笛所え	(依緒	環境整備を	- 行いまし	t-
		の第2円		及いハフ		/ ifs 11 U / Tilx	カラ かっこう で	一沙僧し、	垛况正佣 (7110.40	, / _ 0
	101,	0021	,								
	②課題										
	・同じ箇層	听でσ	破損	が頻繁に	発生する場	易合は、構	造自体を	見直す必	要がありま	ミす。	
成果と											
成果と 課題											
#1C											
======================================	N == 10	<u></u>	ایا، را	// lat		±1 + 1-1	先駆性	必要性	住民ニーズ、事		10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当	自任	公平性	有効性 	効率性	独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは		10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
電准上	7	-	7	1	0	3	0	有効性	目標数値は達成コスト・人員効	できたか。	5, 3, 1, 0
評価点	1		<i>!</i>	<u> </u>	U	ა	U	効率性 先駆性・独創性			5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計			18	判定基準	A:事業拡充			女善・効率化		モの検討
(40点満点)		10		し・祝侯稲九		定、委託の権	食討 E∶休业	.、廃止	
					担当課に	よる判定	と理由				
_											
В	今後も修繕	繕費用	は必	要になっ	てくると思	思われる。					

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	1229		業名	縁結び事	业			事業区分	□新規		■継続
担当課			L I	1/3/14 O T		企画調整	係	T	□ 4917;	76	442.496
予算区分	款		総務	書	項		管理費		1 7	企画費	
7 57 12 77	491	最	終	~ 決算額	- 7	事業費財		(千円)	–	# I X	
年	度		算額	013EHX	国庫		その他		/	備	考
	~		円)	(千円)	支出金	県支出金	(収入)	起債	一般財源	Mu:	, . .
平成2	R在度	· ·	98	14			(14		
平成28年				•							
活動		単位	年	度 26) 6(実績)	27(実統	書) 2	8(実績)	29		30
		+12		標		27()	R/	15	20		20
広域婚活		人	実					16			
セミナーの) 参加百		達瓦					107%			
縁結びイク	こいト糸			標				未実施			
加者		人	実								
,,,, L			達原						_		
カンパニー	-婚登録	社	実	標					5		8
企業数		仕	達見								
事業の対象		<u> </u>									
争未の対象	結婚を希望	望する	5独身	男女							
, . ,											
事業の目的	結婚を登り	望する	く猫 色	里女の出	全いの場の	の創出や	カミナー	-等の開催	[] 보니 #	- 媽 - 晦旭	外の配
(なんのた	消を図る。		の払う	лууш:	云 い ・0 ノ 2 例 い	ノ后] 山 (* 、	L ~)	サリが底	1-67,7	N 7 1 10 1 7 1	3 16 V/ //H
めに)	711 6 121 0	0									
	〇 独	 良田 -	t π	- 低に向け	てのおまん	にいたしっ	ニハナーナニュ	く縁結びコ	ーディネ		
事業の				はした。	C 07 93 T	до-е С	. 0 - / _ / _	✓ 小水小口 O· →	711	<i>y</i> 0,	•
実施状況	连和			, <u>よした。</u> ベータ <i>ー</i> 連	级合	2回実施					
大心认为											
		ゼミ	<i>y</i> — ₹	学の情報提	洪	随时					
	〔成果〕										
	4	・火士ァド・			6 A t	未呢」 ∠	> — ↑ . п /-	式での出会	いの坦の	:	
					一り名を			氏での正法	いの场の	汉疋し、	
	石平	アロンi	で始し	- 1円11 / こ4X	り組みで	けいましん	- 0				
	〔課題〕										
		۸ ۱۱ ۰	N L &	ᇼᄼ	この+D=火・	ナ 亚 ユ ナ ナ	ريكيان	ᄌᄺᄌ ᄖ ᄱ	1-1475	<i>t</i> >1 1	<i>に</i> タル
- ⊁-⊞ 1								の場の提供			
成果と 課題				_	1例 刈 心 (こ)	ついての他	検討も含め	めて、町外	・の文抜貝	との情報が	父揆など
休起			ありま		ш. — .		- -				
	_					-	-	までは介入	しにくい	ことから	
	その	後の	性道の	ハ明とい	った課題	かめります	0				
		1				ı		\\ \T \!	140	******	110 7 2 2
評価項目	必要性	並,	当性	公平性	┃ ┃ 有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性	住民ニーズ、事行政必須か、委		10, 7, 3, 0
	20.女工	- 	→ 1⊥	<u> </u>	HWIE	—————————————————————————————————————	独創性	公平性	受益者の偏りは		5, 3, 1, 0
=亚/亚 - =	7	-	3	1	1	3	3	有効性	目標数値は達成		5, 3, 1, 0
評価点	7	١ ١	י	ı	'	၂ ၁	ა	効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効 他の見本となり		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計	•		10	vini et- 44 ve	A:事業拡充	B:頭州	t維持 C:改			
	40点満点			18	判定基準			定、委託の検			
					担当課に	よる判定	と理由				
	婚活支援の	のニ-	-ズは	高まって	いますが	支援の節	囲に限界	₹があるた	め、方向や	±について	検討す
C	る必要が				- 0. <i>/ 10 (</i>	~~ 1/A ++ +L				= > • •	
	·										

1 事業の成果及び評価 一般会計

	の成果及び									一般会計	
事業番号	17	-	Ě名	企画関係				事業区分	□新規		■継続
担当課						情報政策					
予算区分	款		総務		項		管理費] 7 1	企画費	
		最	終	決算額		事業費財		(千円)			
年	度	予算			国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備	考
		(千		(千円)	支出金	**AU**	(収入)	AS DE			
平成2		1	, 858	1, 853	3				1, 853		
平成28年					<u> </u>						
活動	項目	単位			6(実績)	27(実績	責)	28(実績)	29		30
=n.⇔ +> ı				標							
設定なし				績							
古世の社会											
事業の対象(だれに)	臨時職員1	名、	公用耳	車2台							
(/2/10/2/											
事業の目的											
(なんのた	企画関係	事務等	にお	いて円滑	な事務を行	う 。					
めに)											
	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	10 / 7 -	- 7 <i>k</i> '		76 CD C 65 C	# 1 -1	- 34 VY	\ m ± 6 /2	ο ht τ= ht -t-	<i>ζ</i> − , . .	_
	〇 企画				務用品等則			3用卑2台(の管理等を	行いまし	<i>T</i> こ。
		臨時			16 14 1.1 66	1, 395					
事業の					修繕料等		千円				
実施状況				R 険料			千円				
		使用					千円				
		負担:	金			15	千円				
	〔成果〕										
	企画	関係	事務等	まにおいて	円滑な事	務が行えま	ました。				
				=	•						
	〔課題〕										
		時職員	員の律	金、公用	重の重ね	代 - 燃料化	光 消耗	品代などの	経常的な費	用のため).
		ありる			, - 07 - 17	10 /////11	01 111 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	ни 1 0 % С 07	44 111 E	2/13/02/2002	
	1910	0) / (× = //	•							
中田 1.											
成果と											
課題											
							先駆性	必要性	住民ニーズ、事業		10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性	行政必須か、委託		10, 7, 3, 0
		_		_	_	_		公平性 有効性	受益者の偏りはな 目標数値は達成で		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	1	3	3	1	効率性	コスト・人員効率	≝はどうか。	5, 3, 1, 0
			-	-			•	先駆性・独創性	他の見本となりえ	Lるか。	5, 3, 1, 0
	評価点計			25	判定基準	A:事業拡充			善効率化し		の検討
(40点満点)		20				定、委託の検	i討 E∶休止、	. 廃止	
					担当課に	よる判定	と理由				
D	公当 电口:	-+ -	. 1. 1.	\ .u. 1	かんキュミンゴ	T					
В	栓吊賀用	じめる	ため	、労後も	継続が必要	安じす。					

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号			名 輝く	地域·					事業区分	■新規	見 □継続		
担当課						企画調整							
予算区分	款		総務費		項		管理		-	7	企画費		
			終 決算	죔		事業費財	源内語	沢	(千円)		,		
年	度	予算額		、	国庫	県支出金	その		起債	一般財源	備考		
- P.O.	^ 	(千円			支出金	жхпш	(収)	人)	~				
平成2		}	857	767						767			
平成28年		337.71		0.0	\	07/=	±\	0.0) / - 	00			
活動	垻 目	単位	<u>年度</u>	26	6(実績)	27(実績	頁)	28	3(実績)	29	30		
地域協議会	会組織の	地域	目標 実績						0				
自主運営			達成率						0. 0%				
			目標						2				
新規団体の	D結成	団体	実績						1				
			達成率						50.0%				
事業の対象 (だれに)	町内の複数	数の集落	客で組織	し、	自主的で維	継続的な地	域づ [、]	くり	を目的とし	した活動を	を行う団体。		
事業の目的 (なんのた めに)	その解決しる経費に変	に向け <i>†</i> 対して3	と取組等 支援する	を実 こと ⁻	施し、自ら で、住民主	の手で活 E体の地域	カあっづく	る地りの	域を築いる	ていこうと することを	曲出、把握および ニする取組に要す を目的とする。		
	短 あすの以西を創る会(120,000円) 古布庄地域振興協議会(47,000円) 白鳳の郷地域活性化協議会(200,000円) やばせ振興魁の会(200,000円)												
出る	少子高齢化、若者の流出等により集落機能の維持が懸念され、自分たちの地域で将来にわたって安心して暮らしでいくためには、地域住民が主体となって活力ある地域を築いていこうとする動きが重要となります。町内の各地域で組織する団体等が、自らその暮らす地域を考え、自らの手で活力ある地域を築いていこうとする取り組みに要する経費に対して支援することで、住民主体の地域づくりの推進に資することを目的としています。 「成果」 新規団体1団体(安田地区振興協議会)と既存団体5団体(あすの以西を創る会、古布庄地域振興協議会、やばせ振興魁の会、白鳳の郷地域活性化協議会、出上自治会)												
課題	成果と の中誌がおり 地域会体を見通しを取り組みの音識ははが図られました												
評価項目	必要性	妥当怕	生 公平	⊻性	有効性	効率性	先駆 独創		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	話の可能性は。 10, 7, 3, 0 はないか。 5, 3, 1, 0		
評価点	7	3	3	}	1	3	1		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。 5, 3, 1, 0		
	評価点 計 40点満点		1	8	判定基準	D:規模縮小	ヽ、終其	月設定	維持 C∶改 E、委託の検		し継続、委託の検討 - 、廃止		
					担当課に	よる判定	と理由	3					
С	C 特に既存団体について、補助を受けて終わりとならないよう、活動の継続と今後の事業展開を 見守り、必要な改善も検討する。												

	成果及び		•		•						一般会計
事業番号	1054	事業	名	技術顧問	業務委託事			事業	区分	□新規	■継続
担当課			=,			企画調整					
予算区分	款		総務領		項		管理費] 7	企画費
年	度	最 予算 (千F	額	決算額 (千円)	国庫支出金	事業費財	源内訳 その他 (収入	<u>t</u> ±.	<u>円)</u> 2債	一般財源	備考
平成2	2年度		506				(42.70)	,		2, 506	
平成28年		۷,	300	2, 300						2, 300	
活動		単位	年	使 26		27(実約	書)	28 (実	唐)	29	30
/D 3/1	7 L	平区				2 / 	具/	20 (天	误/		00
設定なし			実達成	績							
事業の対象(だれに)	各担当課		<i></i>	<u> </u>		1					<u> </u>
事業の目的 (なんのた めに)	• 予算要	求資料	作成	図書の作りのデザイ							
事業の 実施状況	・町内JVJ ・デザイ	以外の ン顧問	設計 業務	業務等技術	術支援 8 術支援 2 253,800P						
成果と 課題	・町内JVJ ・デザイ: 合	こ よ 外 顧 間 名 で き を き	設業,505, 査ま	業務等技行 4件 600円 において た。	術支援 2 253,800P	9	800円		共通	認識が図ら	っれ、円滑に
評価項目	必要性	妥当	i性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	生 公平性		住民ニーズ、事事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 10, 7, 3, 0 ないか。 5, 3, 1, 0
評価点	7	10)	1	0	3	0	有効性 効率性 先駆性		目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			21	判定基準	D. 祝侯稲力	ヽ、終期!			善・効率化 □ 討 E:休止	し継続、委託の検討 、廃止
					担当課に	よる判定	と埋由				
В	今後もエ	事発注	、予	算要求な	どに必要と	こなるため	、継続	的に実	施し ⁻	ていく必要	戸がある 。

一般会計

	の成果及び	<u>評価</u>									一般会計	
事業番号	1282	事業名	琴浦	町総	合戦略推進				事業区分	□新規	見 I	■継続
担当課						企画調整						
予算区分	款		务費 - ** *	ケナエ	項	1 総務				7	企画費	
年	度	最 終 予算額		算額	国庫	事業費財	その	D他	(千円) 起債	一般財源	備	考
平成2	3年度	(千円) 87		<u>円)</u> 715	支出金	未又山业	(収	入)	尼頂	715		
平成28年												
活動:			年度 目標	26	(実績)	27(実約	責)	28	3(実績)	29		30
ゥ///I.ファン ン及び総合 定			実績 [成 率			10/22第	定					
事業の対象 (だれに)	琴浦町民、	出身者	等									
事業の目的 (なんのた めに)	平成27年1 略」につい											総合戦
事業の 実施状況	琴浦町地スコトウライ	:議委員報 方創生推: づくりシ	程賞費: 進本部 ンポジ	55千 会議の ウムの	·円 の開催(1 _. の開催(7.				共催			
	各種研修、	講演等	参加旅	費:1	92千円							
成果と	ぞれ行い 地方創 状況につ 「課題」 総合戦	ました。 生推進 いて報 略のKPI	≹議を 告し、 達成に	開催意見	し、総合 をいただ tて、PDC	1年目とし 戦略関係 きました Aサイクノ に生かし	事業 。 いに。	及びよる	、地方創生 検証が重	Ξ交付金隊 要です。	関係事業(推進会議	の進捗
課題	検証・見	直しを <u>i</u>		がら:	取り組む	必要があ 	りま 	·す。				
評価項目	必要性	妥当性	公立	平性	有効性	効率性		呕性 創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	7	ţ	5	1	1	-	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員対 他の見本となり]率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		2	2	判定基準		、終	期設定		:善・効率化 :討 E∶休止		その検討
					担当課に	よる判定	と理日	由				
С	H31年度の	KPI達成	に向け	、総1	合戦略や旅	五策の見 直	しを	行い 	ながら事	業は継続し	していく 。	

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	<u>)成果及び</u> 1160	事業	名 琴浦	町男:	女共同参區	画審議会運	営費		事業区分		新規	一般会計	■継続
	企画情報					企画調整		_					
予算区分	款		務費		項		管理費				7	企画費	
年	r t	最 系 予算額	冬 決算	書組		事業費財			(千円)			/ /	考
平 。		│ ア昇3 │ (千円		四)	国 庫 支出金	県支出金	その (収)		起債	一般則	源	1/用	有
平成2	8年度		347	302	_ Хшш		(7~)	()		3	302		
平成28年		`	717	- 002						<u> </u>	,02		
活動		単位	年度	26	(実績)	27(実績	責)	28	3(実績)		29		30
自治会役員			目標			20			25	,	30		35
る女性の害		%	実績			20	0/		20. 4				
	. —		達成率 目標		15	100. 0 ⁰	70		81. 6% 21		24		27
男女共同参 認定企業		企業	実績		14	18			22	,	- '		
			達成率		93%	100.0			04.8%				
育児休業取		. –	目標			30 (5年間)	尽計)	30	(5年間累計)	30 (5	年間累	計) 30 (5年間累計)
る奨励金対 (5年間界		ᄉ	実績 達成率			10 33. 0%	<u></u>		43. 3%				
事業の対象	<u>«НІ/</u>		~-/% +			00.0/	,		.0. 0/0				
(だれに)													
±** ' '													
事業の目的	町の男女	共同参画	町に関す	る重点	要事項を訂	a春. 寒議	ا. ال. ال	布笛	を策定する	る。			
めに)		· \ -1 2 E	-1-121	~ _	ヘテスビリ	. 二、田时		<u>بر</u> ن	- XX	J 0			
	*	mr/- +>	ける佐竿	:	ハア 行	攺推進会請	É TA 7 ╚	霊≕	(人 太 胆)	: 1	·= ·	. 1	
事業の			いる爬束 確認を行			以推進云詞	残及い	番胡	表云で用作		J -	70)	
実施状況	進抄		唯 <u>応で1</u> 『議会開作			2回							
X1151X70					x 議開催回数								
		<u> </u>	以正匹	X 25 13	成刑住占数								
	〔成果〕												
			–	こかた	いる住民ア	ンケート	を2,0	人00	、を対象に	実施し	、 討	果題の堀走	己こし
	をし	ました			- /								
		ア	<u> フケー</u>	卜回儿		Tuler etc	\ F ~ · `		 1				
			回収数	H 14	569件(匠		3. 5%)						
			(内訳	男性	: 45.4%	、女性5	u. b%)					
成果と													
課題													
	〔課題〕												
		3次プラ	ン策定の	ひたと	り、行政推	進会議と	審議会	ミに	て充分なれ	食討を	重ね	ていく必	要が
		ます。											
			<u> </u>		1				心無性	A	» d. »	* 小心 声 丛 : 土	10 7 2 2
評価項目	必要性	妥当怕	盘 │ 公□	四性	有効性	効率性	先駆		必要性 妥当性			その必要性は。 その可能性は。	10, 7, 3, 0
	!						独創	1王	公平性	受益者の値	扁りはフ	ないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	10		3	3	3	1		有効性 効率性	目標数値に		できたか。 率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
			_ _ `				1		先駆性・独創性				5, 3, 1, 0
	評価点 計		2	7	判定基準	A:事業拡充			維持 C:改				その検討
(40点満点)	كسا	<u>'</u>					፟፟こ、委託の検	·討 E:	1小止	、廃止 ————	
					担当課に	よる判定	と埋由	1					
В	男女共同	参画意識	戦の醸成	のたと	め、長期的	りスパンで	検討し	して	いく必要	がある	と判	l断しまし	た。

事業番号	<u>700年及び</u> 865	事第	⊭夕	携帯電話	2. 動通信4	4	**	事業区分	□新規	一般安計	■継続		
担当課			K TI	15市电面		情報政策		尹木 凸刀	니치지	/L	■ 小空小灯		
予算区分	款		総務	 費	項		应 管理費] 7	企画費			
7 71 — 73		最	終	決算額		事業費財		(千円)					
年	度	予算			国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備	考		
		(千		(千円)	支出金	宋义山亚	(収入)	起頂					
平成2			45	44					44				
平成28年		224 /L	<i></i>	由 1 00	(中4)	07/由纪	±\	0/由练\	00		20		
活動	垻日	単位		度 26 標	(実績)	27(実績	夏) Z(8(実績)	29		30		
設定なし				績									
				戊率									
事業の対象 (だれに)	上中村部落	客に整	፟∰し	た携帯電	話移動通信	鉄塔の用	地・建物	l					
事業の目的 (なんのた	⊢ rh ≴d ≐R s	友 ニ 敷	は借し	た堆帯電	千 投 制 涌 信	€独協の田	抽供トレ	建物災害	比这公组会	≥た古むら			
めに)	工中们的	合「一立	三川 し	/二汤市电	山沙利地區	がたり川	地旧工乙	建物火 百	六月 刀 担国	ZZXX	0		
	〇 上中村	kt (− 7. ‡	∌訊Ⅰ	た段制温/	言鉾按⋒╛	# 持管理を	行うため	、賃借料等	生を立む!	\ ‡ た			
	O 171	川一炷		に炒刧地	ロッス・ロマノ羽	可日生で	11 7 1 (2)	、 貝旧竹	サビズ扣り	· 6 U/L0			
事業の	Ī	火災(保険米	斗	21千円								
実施状況		賃借	料		24千円								
	〔成果〕												
		浦町に	カの拷	集帯雷話が	通じない	地区をなく	すことを	を目的に、	上中村にる	建設した	多動		
								これにより					
				いました。									
	〔課題〕					 							
	将	来、∤	K D E)【に施設	を譲渡し、	、維持管理	単及び賃信	告料の負担	をなくす	必要です。			
成果と													
ル来と 課題													
#****C													
	St 1:1	—	. 10	A ! !	4-4:10	4, 4,	 先駆性	必要性	住民ニーズ、事		10, 7, 3, 0		
評価項目	必要性	妥当	主性	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは		10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0		
=∓ / 	7	-)	1	ე	2	1	有効性	目標数値は達成	できたか。	5, 3, 1, 0		
評価点	7				3	3	I	効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効 他の見本となり		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
	評価点計			18	判定基準	A:事業拡充					その検討		
(40点満点)						と、委託の検	討 E∶休止	、廃止			
ı					担当課に	よる判定の	と理由						
	行政が行.	さ心田	1十1十	ルイノ 9年+	去答理及?	でほみと	台切えた	ノオため	佐訳太平	を油するせ	白で進		
D	行政が行う				す官理及し	7貝佰科の	貝担を分	くすため、	・心設を調	き返り る万	问じ進		
	₩, C 0 · X (//	₩.女	- 70									

	<u> 1202</u>		¥ <i>D</i>	4+4F or 4-3	工士拉市光	<u>u</u>		古米ロハ		一般云訂			
事業番号	1323	事第	長名	結婚新生活			IT.	事業区分	□新規	兄	■継続		
担 当 課 予算区分	正 画 旧 報 記		総務	弗	項	企画調整	底 管理費	1 1	<u> </u>	企画費			
了异位刀	示人	2 最	終	^貝 決算額	块	事業費財		•	= /	止凹貝			
年	世		額	次 异似	国庫		おり引きるの他		1	借	持		
	汉	千(千		(千円)	支出金	県支出金	(収入)		一般財源	I I/H	177		
平成2	8年度	\ 1	132	0	\ATT		(1/2)						
平成28年			102	•									
活動		単位	年	度 26	(実績)	27(実績	青)	28(実績)	29		30		
1,122	<u> </u>	- ,-		標	(5 (150)			3	3				
申請件数		件		績				0					
			達原	戊率				0%					
事業の対象								引未満の世帯	で、				
(だれに)	平成28年4	↓月 1日	以降	に新たに負	賃貸住宅を	を借り受け	、転居	した夫婦。					
事業の目的	/∇ '★ + - T □ .	L //-	+ T GE 1	□-k → l		<u>+ 1 4</u>	,_ +r			一件七几			
(なんのた								たに借り受り			1队する		
めに)	_ Z C . i	たがし こうしゅうしゅう	-1〒フ	新生活 を作	全済的リース	2.抜し、焰	'処剱の	増加を図る。	。(国の作	用助争果)			
	〇申請件	数:04	件										
古米の													
事業の 実施状況				ホームペー			動をし	ました。					
大心がん				ーターへの							_		
	〇新婚世	帯家賃	助成	(町単独)	の相談に	-来庁され	た方へ	の聞き取り	による案内	りをしまし	った。		
	- n-												
	「成果」												
	実績件数:0件												
	「課題」												
								300万円未満	_				
						-		たため、本					
								いカップル.					
			以前	に入籍済る	タ、あるレ	いは賃貸住	宅に既	に入居済みの	のカップノ	レからのみ	メ、という		
成果と	のが現状												
課題								の他に、周知					
								結婚に二の					
						意識した広	報記事	• H P 作成 ⁻	や縁結びコ	ーテ゛ィネーター	への情報		
	提供等を	行う必	多要が	あります。									
						1			1		T		
== /	St		14 44	A 14	<u></u>	4, 4,	先駆性	必要性	住民ニーズ、事		10, 7, 3, 0		
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	独創性	女司任	行政必須か、委		10, 7, 3, 0		
								公平性	受益者の偏りは		5, 3, 1, 0		
	10	_	,	4	4		4	有効性	目標数値は達成		5, 3, 1, 0		
評価点	10	7	1		I	3	ı	効率性	コスト・人員効		5, 3, 1, 0		
								先駆性・独創性	他の見本となり	えるか。	5, 3, 1, 0		
	評価点 計			23	判中甘淮	A:事業拡充	t B∶現	状維持 C∶改	:善・効率化	し継続、委	託の検討		
	40点満点			Z3	判定基準			定、委託の検			-		
					担当課に	よる判定	と理由						
						•							
С						ノプルがい	る現状	から、本事	業が結婚へ	への後押し	しとなり		
<u> </u>	うると期待	诗され	ιるこ	とから継絡	売する。								

一般会計

	の成果及び	評価							一般会計
事業番号	1165	事業名	元気な中		づくり事業		事業区分	□新規	■継続
	企画情報			担当係	企画調整·				
予算区分	款	2 総務		項		管理費	-] 7 :	企画費
<i>}</i> —		最終	決算額		事業費財		(千円)		/##
年		予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考
平成2	8年度	167			29	(1224)		29	
平成28年									
活動	項目			6(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29	30
中山間地域			標	2	2		2	3	
る移動販売 売	で車の継		€績	2	100.0	0/2	50. 0%		
_死 事業の対象	中山眼場		/& 		100.0	/0	JU. 0/0		
(だれに)									
	め、自ら 集落等の もに、中I	が地域課題 舌力を創出 山間地域等	更の把握やf はする取り	解決に向け 組みを実施 る人々が安	ナた取り組 色する団体	みを進め について	うることが こ、その組織	重要となる 織運営経費	続させていくた。 。 を支援するとと 営費助成によ
事業の 実施状況			□山間地域 営費補助金				県・町各1/3 000円×1/3		₹)3年目上限40
成果と課題	支 9事移 「 支も 「 検え平末業動 成中援増 課移証合成で主販 果山がえ 題動す	中年動り務 なまた のど間か売起は どし。 事、地ら過ご中 店た 業補	域 27年か く度 う り に 指 り に が が が あ が お た 、 が 訪 い れ 門 門 に れ い 、 が い 、 が も り に う れ も り に う れ も り に り に り に り に り に り に り に し に り に に に に	総運媒や町 する は了合営退ポ漁 る曜 多後支費るプ協 地日 大(事助とみ 等固 コ年 補行なに事 おし トの りの検業 いて が運	金たり対実 てい 必営によりです。 食た まってい しょう まっとつ しょう しょう かいしょう はんしょう かいしょう いいしょう かいしょう はんしょう はんしょく はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんし	業がのき お、移ま に口動し いりて いりて いりて いりて いりて いりて いりて いりて いりて いりて	販売事業の た。 (ままま) 日品にしている いである なっている がある。	た。 業務提携により D継承に向けて の間、ポプラに 供給する ださる人 社会状況
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委託 受益者の偏りはな	Eの可能性は。 10, 7, 3,
評価点	7	7	1	3	3	1	有効性 効率性	目標数値は達成でコスト・人員効率	できたか。 5, 3, 1, (国はどうか。 5, 3, 1, (
	評価点 計40点満点		22	判定基準	D:規模縮小	、終期設2	t維持 C:改		継続、委託の検討
				担当様に	よる判定の	と理出			
В			ついては、新 対策について					合的に検討し	ていく。

1 事業の成果及び評価

一般会計

	の成果及び	評価							一般会計	
事業番号	1231	事業名	子どもの	遊び環境彗	整備事業		事業区分	□新規	見 ■	■継続
担当課	企画情報	果	•	担当係	企画調整	<u>係</u>	•			
予算区分	款	2 総務	書	項		管理費		1 7	企画費	
	4,77	最終	<u> </u>		事業費財		(千円)			
年	r ir	予算額	八开识	国 庫		その他			備	去
	区	(千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	(収入)	起債	一般財源	VĦ	~
 + 0	0 to the							0.500		
平成2		2, 562	2, 536					2, 536		
平成28年										
活動	項目	単位 年	度 26	(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29		30
			標							
設定なし		美	積							
										
事業の対象										
(だれに)	町民									
(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,										
事業の目的										
(なんのた	游旦の	商切な維持	管理を行	ว						
めに)	25.54.07	C 91 C 1/L 1/	19-7-6-11							
,										
	■ 滋目修	(後・) 拗土 エ	事 10箇月	訢						
	四六形	四 那五工	- す 10回1	71						
事業の										
実施状況										
	(1) ± ± ± −	<u> </u>								
	①事業の									
	• 遊具修繕	繕・撤去エ	事 2,536	<u> </u>						
		公園名		対象	遊具		工事内容	!		
	下大	江農村公園	割 ブラ	ンコ、鉄		オ 1	<u> </u>			
		寺農村公園			1+		バカし、主 バ落し、塗			
					14					
		村公園		り台、雲	/		が落し、塗			
		農村公園	のほ	り棒			ゾ落し、塗			
	八橋	農村公園	コンヒ゛	ネーション遊具	ᆗ、 ロ −プウェ	4 塗装	麦、ロープ	交換		
	大父	農村公園	コンビ	ネーション遊り	し、すべり	台 さて	び落し、塗	装		
成果と		布庄小学		、クライム、			· · が落し、塗			
課題		西小学校	ス 吊り		- / /-1		が溶し、室 が落し、塗			
环煜					3 VH 1 +			表		
		布庄保育		ネーション遊ム	4、跃降	撤去	-•			
	南部	ふるさとハ	広場 │シー	ソー		撤5	<u> </u>			
								_		
	②課題									
		レー ア 年	に一度の	き 期 占 ฝ ヵ	ぶぶ亜(籾で	お公園に	おける遊具	の安全確	保に関する	ろ指針)
							0211.の何子	·07 文 土 唯	小下はカナヤ	の1日五1/
			撤去の必要	安は避長0	ノ培加					
	・高い遊	具ニーズへ	の対応							
		_				先駆性	必要性	住民ニーズ、事		10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性			10, 7, 3, 0
			-			つみわり上	公平性 有効性	受益者の偏りは		5, 3, 1, 0
評価点	10	7	1	0	3	0	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
п і шт	10	′ ′	'	'	"	U		他の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計		7 4		△·車業計式	z B·珀什	 ∜維持 C∶改			
	40点満点		21	判定基準			(権持 し.ゆ 定、委託の検			しくノ1火計
	, 0 灬剛灬	,		+0 1/ =0 /			~ × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×		- + ,/0	
				担当課に	よる判定	と埋田				
D	遊具は経	年劣化する	ものであ	り、管理者	旨としては	定期点构	足、修繕	を一体的に	こ実施する	ことに
В							図ってい			
	J. 7 4 22 1	U - 4 E 14 E			~/\"				0	
1										

事業番号	<u>7成未及り</u> 1332			若者定住	等による		総合	対策	事業区分	`	■新規	見	□継続
担当課					担当係	企画調整		3714	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		_ 1,,,,,		112170
予算区分	款		総務:	費	項	1 総務	管理費	ŧ		目	7	企画費	}
			終	決算額		事業費財	源内語	尺	(千円)				
年	度		算額	(- -)	国庫	県支出金	その		起債	一般	財源		備考
T + 0	\ - - -	(干	·円)	(千円)	支出金	水人田並	(収)	()	AC JA	/3×	741 111		
平成2			208	()								
平成28年		224 / L		亩 0	((中)(書)	07 / 📥 Ø	ŧΙ	00	/中华\		29		20
活動		単位		度 2 標	6(実績)	27(実績	更 <i>)</i>	28	<u>(実績)</u>		29		30
地域プラン	/作成集	集落							1				
落		-X/1	達原					10	00.0%				
事業による	、 段仕₩		目	標					1				
帯数	ᆥᄝᄄᄩ	世帯							0				
111 355			達原					(0. 0%				
事業による		件	実	標繕					0				
性化の取り	り組み	I IT	達原					(0.0%				
	小規模高	齡化身			準じる集落	▲ 客と、町外	からネ			洛へ和	多住す	る45扇	表表満の
事業の対象	者。												
					化率50%以								
	小規模高齢化集落に準ずる集落・・・高齢化率40%以上かつ世帯数が30戸未満の集落 事業の目的 県の補助事業を活用し、小規模高齢化集落等において、将来の集落を担う新たな人材(移住												
車業の日的	県の補助	事業を	お活用	し、小規	模高齢化質	[落等にお	いて、	将3	来の集落	を担う	う新力	-な人ホ	オ (移住
(なんのた	者)を確っ	, 保し、	集落	の過疎化	の進行に関	歯止めをか	ける。	と共に	こ、集落	ェ <u>ー</u> 、 等が-	-体と	なって	取り組む
めに)					取り組みる								
	○ 市 米 の	 											
	〇事業の 地域プラ		5 本 垤	· 100工口	0~1団(木								
					コヘロ四体 援(年250	万四 2年	問上四	艮)	住空改	修▮▮	き 継ば	お 田 入 刍	€ (250 - 5
					版(平200 5校生通学		[P] P	K) 、	正七以	19 /1	又小火小	以 パ丹 ノヘマ	, (2007)
丰 # 6		. ,	`	T 170 0 1 1	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	~!!!							
事業の 実施状況	上中村集	落で坩	也域プ	ランを策	定しました	こ。移住希	望者の	の相言	炎があり	ました	こが3	月末ま	での転入に
天旭仏光					年4月に1家								
	小粗糕	古龄	小生:	茨笙にお	いて、将	本の 佳 茨	を坦	う新	ナーナン人は	t (14	を仕る	そ) た)	佐保
	生技の温	ははん	の准	存みには	めをかけ	ネの未 俗	生活	グ 杯!	たるべん が一体。	りした	ソエモ	ョ/ c.i	性体し、
					.めをかけ 組みを支			合寸	刀, 本 (_ ′ひ -	ЛСЯ	メソルは	//未冷円
	工及いた	IIII	(I — [H]	11 12 AX 9	心のと又	及しより	0						
	「成果」												
成果と		生変	で删け	はプラン	が策定さ	h. 移住	者を	爭什	入れ、生き	をの 迂	5件4	上1.5 取	り組みこ
課題			_		されたこ								
#11.0C			_		人家族が					10715	у <u>I</u> Т 1 ч	_ 1-,117	- -
		,,_0	(112)	J. 4731CC		+470 € 10	6 C	-0	,				
	「課題」												
		個人	ク4.	する助成	が主とな	るので	移住:	きわ	生孩と(か定生	的力	/情報:	交換等の
	フォロー		_		,,,, <u>T</u> C '&	007 (ידו פוי	п \	未冶し	7 XL 79	יינ אוני	» IH тк.	人沃可以
	~ ~ -	<i>™</i> ×⊔.	~ `	, 0									
							先駆		必要性			業の必要性に	
評価項目	必要性	妥 当	当性	公平性	有効性	効率性	独創	h/4 3	妥当性 公平性			託の可能性 ないか。	は。 10, 7, 3 5, 3, 1,
		<u> </u>	_		 _			,	公平性 有効性			できたか。	5, 3, 1,
評価点	3] ,	7	0	3	1	0		効率性			率はどうか	5, 3, 1,
	マンス 上 ニュ					۸ . 			先駆性・独創性	-			5, 3, 1,
	評価点 計 40点満点			14	判定基準	┃A∶事業拡充 ┃D∶規模縮り							委託の検討
	- 7115 (PP) 7115	.,			担当理に	よる判定							
					にコ杯に	ら OTIC	二七口						
	F 由 村 隹:	抜にっ	コルて	计 芸丰婦	と子どもの	り転えにょ	니 해 텔	且が目	≣込める	が ま	事田さ	☆小里の	の面で 効
D	果が限定					ノナムノくいこの	7 7/12	~ /3 · 5	ره ره ښدن	, <u>5</u>	~ \ 1 \ \	」wi木	<i>,</i> щ С 、 <i>У</i> Л
	AN PER ACI		<i>,</i> , ,		~ ~ 0								

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	1308	事第	美名	集落支	を援り	員活動事業				事業	区分		■新規			継続
担当課			t ===	-44-			企画調整									
予算区分	款		総務		ウエ	項		管理		/		1	7	企画領	質	
左	#	最 予算	終婚	決算	頟		事業費則			(千F	<u> </u>				/± =	tz .
年		了		(千F	۹)	国 庫 支出金	県支出金		の他 (入)	起	責	一般	財源		備る	5
平成2	R在度	\ 1	0	(11	1/	又山业		(12	./()				0			
平成28年																
活動		単位	年	度	26	(実績)	27(実紀	責)	28	3(実績	()		29			30
				標						3						
集落支援員	の人数	人		績						0						
主 类 の 4 4 5			连点	戊率						0%						
事業の対象(だれに)	中山間地域	或住民	₹													
(/2/15/12/																
事業の目的							- 111.511									
(なんのた めに)	・中山間は	地域σ)活力	の維持	手と ア	舌性化対策	きの推進									
w/1c/																
	• 集落支持	爰員σ)募集	を行っ	たた	が、応募者	がいませ	んで	した	0						
事業の																
実施状況																
	①事業の別	龙果														
			ヹゕゟ	の推薦	まを信	憂先として	公募した	が、	応募	がなた	いつ	t= t= 8	カ、	蒸落支	援	
	- 28年度は地区からの推薦を優先として公募したが、応募がなかったため、集落支援 員を介しての地域活力の維持、活性化対策の推進が図れませんでした。															
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									-	_					
	②課題															
			対応	した業	₹務₽	内容の見直	īl									
	・人材の															
	• 地区公	民館と	の連	携												
-t																
成果と 課題																
																
	1				1			1		心面件		住 早-	_ブ * ・	*の心悪生	+++	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当	当性	公平	性	有効性	効率性		沤性 訓性	必要性 妥当性				業の必要性 託の可能		10, 7, 3, 0
								/出月	训注	公平性 有効性			の偏りは 値は達成	ないか。 できたか		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	3		0	0	()	効率性		コスト	・人員効	率はどう		5, 3, 1, 0
	- 					_		<u> </u>		先駆性·			本となり			5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			20)	判定基準	A:事業拡; D:規模縮			維持 ≧ 委託				し継続、 、廃止		の検討
	- 0 点画点	,				担当課に				二、女前	. 57 1天	. pr	- · N/T	-、光工		
	中山間地域															
В	業務内容		いぞれ	の地垣	はの∃	実情に対応	ふしたもの	とし	、今	後も約	迷続	的に、	人員の)募集	を行	ってい
	く必要がる	める。														

1 事業の成果及び評価

一般会計

1 事業の	D成果及び	評価									一般会計	
事業番号	1290	事業	名 新婚	家庭.	支援事業				事業区分	□新規	見	■継続
	企画情報					企画調整·						
予算区分	款		総務費		項		管理費		-	7	企画費	
<u>-</u>			終入決算	額		事業費財		-	(千円)			
年	度	予算		ш,	国庫	県支出金	その		起債	一般財源	備	考
T +0	^	(千円			支出金	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(収)	人)				
平成2		2,	692 2	, 147						2, 147		
平成28年		22/ / 1	<u> </u>	0.0	\ / c= /=\	07/ ch /	±\	0.0	(da.64)	00		00
活動	<u> </u>	単位	年度	26	(実績)	27(実績	(1)	28	(実績)	29		30
申請件数		件	目標 実績			9			10 16	20		20
中明计双		IT	達成率			44. 4%			160%			
事業の対象(だれに)	結婚3年以	内の新		、平	成28年4月	•		賃貸		居した夫	 婦。	
事業の目的 (なんのた めに)		唇姻時(が婚世帯に ることで、						
事業の 実施状況	「家賃助」 結婚3年 〇平成27年	目以内	らの継続! 補! 新規申請	申請助金		- 一 ※内1	件は	坛居	により支統	· 3 年間助 給要件外 給要件外	(転居地は	:町内)
「成果」 本年度の申請件数は計16件(内訳は上記)でした。本制度対象世帯へのアンケートによると、この助成制度があることで、夫婦の両方またはいずれかが町外から転入した世帯が71%あり、婚姻時の町外への転出抑制に寄与していると思われます。 「課題」 平成28年度は、制度が周知されてきたことから申請件数が増加しました。将来的な負担増が懸されることから、平成29年度より「補助金月額上限の減少」等、本制度の見直しを行っていますしかし、本事業は町内定住の呼び水でもあるため、PRの継続は必要であると考えます。ただ本事業のPRに留まらず、同時に「町の子育て支援策」や「町内の住宅情報」等の情報提供を行う等、助成期間終了後も町内に定住したくなるような制度等の周知を図る必要があります。												
評価項目	必要性	妥当	性 公平	性	有効性	効率性	先駆 独創		必要性 妥当性	住民ニーズ、事		10, 7, 3, 0
) A /G'	11-	公平性	受益者の偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0
		_					_		有効性	目標数値は達成	できたか。	5, 3, 1, 0
評価点	10	7	1		3	1	3)	効率性	コスト・人員効	率はどうか。	5, 3, 1, 0
							-		先駆性・独創性	他の見本となり	えるか。	5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		2	5	判定基準					善・効率化 討 E∶休止		モの検討
担当課による判定と理由												
С	マンケートを実施した結果、大浦助会が民体地選択の決め手となったというまれた。た											

事業番号	<u>7成果及び</u> 618	事業	坐夕	第二次琴	古町公今書	+面集中重	坐	事業区分	〕 ■新	一般安計	コ継続
担当課			₹1□	第一 《今		企画調整		尹未込え	■利	·玩 [
予算区分			総務	 费	項		管理費		目 7	企画費	
了开口刀	办人	最	終	· 決算額	7 9	事業費財		(千円)	<u> </u>	正凹貝	
年	度		額	八开识	国庫		その他		1 ,	備	i考
'	^	(千		(千円)	支出金	県支出金	(収入)	起債	一般財源	, pri	
平成2	8年度		286	206					206	3	
平成28年											
活動	項目	単位			(実績)	27(実約	責) 2	28(実績)	29		30
第二次琴演	白絲田			標							
計画の策定			実達原				j	策定済み			
丰米の4 名			进力	X <u>年</u>							
事業の対象(だれに)	琴浦町民、	、出身	者等								
				F !!			A.I.I. (n.)				
事業の目的								う戦略」や			
(なんのた めに)	ることで、を目的と			本町の基/	予的な理念	3. 万缸。	力问任?	と広く示し	、 地力 剧 2	土を推進り	ること
	4 D HJ C	9 O o									
	「施策日和	程等 !									
			4会の	実施:計	4回(7/1:	3. 10/21.	12/16.	2/15)			
						. , .	, ,	\ (11/1)	→結果は	HPに公表	<u>.</u>
事業の								3 (赤中64			
実施状況					: 募集期間	引 平成29	年1月31	日~2月8日	∃ →結果	はHPに	公表
	〇答申書(の提出	d (2/	23) →3月	議会に上	提					
	「各種予算										
	〇報償費	(110	千円)	、印刷製	·本費(96·	千円)					
	「成果」		٠ _	-1: 0 0 				- 			
)第二次琴	浦町総合	計画「こと	:うらまち
	つくり	ヒンヨ	」ン」	を策定、 l	冊子を東江	ミしました	0				
	「課題」										
		年度に	- 笛定	/- 「瑟:	歯町また。	71.1	ごと創た	上総合戦略	」を其に	太計画を	・ 第定する
											せん。法
											整合性を
-t				度を揃え							
成果と 課題	〇総合計	画にま	いける	PDCAサイ	クルを確立	エし、結果	を町民に	こ公表する	仕組みが	必要です。	
本 因	〇次期総合	合計画	策定	にあたって	て、策定方	5針・方法	の決定や	ウアンケー	ト実施の	時期を早め	に行う
	必要がる	ありま	きす。								
							4- 5-1:	必要性	住民ニーズ、事	業の必要性は。	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	行政必須か、	委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
							꾜ᄸᆡᆂ	公平性	受益者の偏りに	まないか 。	5, 3, 1, 0
	7		_]	^	_	_	_ ر	有効性	目標数値は達成		5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	3	0	1	1	効率性	コスト・人員が		5, 3, 1, 0
								先駆性・独創性	性他の見本となり	りえるか。	5, 3, 1, 0
	評価点 計			22	判定基準	A:事業拡充		大維持 C:d			託の検討
(40点満点)						定、委託の植	ĕ討 E∶休」 ————	上、廃止	
					担当課に	よる判定	と理由	_			
			_								
E	第二次琴	浦町絲	合計	画策定は	見了したた	_め 。					

_ 一般会計

	<u> 成果及り</u>	評価									一般会計	
事業番号	1283	事業	名	第二成人					事業区分	□新規	₹ I	■継続
担当課						企画調整·						
予算区分	款		忩務費	ŧ	項	1 総務	管理:	費	E	7	企画費	
				決算額		事業費財	源内	訳	(千円)			
年	度	予算			国庫	県支出金	₹ <i>0</i> .		起債	一般財源	備	i考
		(千円		(千円)	支出金	水人山並	(収.	入)	尼良			
平成2			320	319						319		
平成28年												
活動:	項目	単位	年月		(実績)	27(実績	責)	28	(実績)	29		30
<u> </u>		, <u> </u>	目標			157			138			
参加者数		ᄉ	実経達成			29 18. 5%			58 42. 0%			
古米の4名)		4Z. U%			
事業の対象	25歳に	到達す	る琴湾	甫町出身ネ	皆及び在付	E者						
事業の目的										2 9 歳が多		
(なんのた										より、琴浦 もに、Uタ		
めに)										がに、 げることを		
	る。 みた.	、本町	リノルエノ	기준비띠>	オ日に円前		1-1-	⊂ 、	FRIC系I	10-2	. П пуС 9	ও 。
	O 1 B	0 [] [±± >±	ш т с1: 1 г	c + + = +	₩ I + I +						
						崔しました	- 0		- 建淀「咱	り石の浜ブ	(n :: - h	
	主催日時				式実行委	·貝云 00~20:00				り日の浜ノ D話(2名)	ロシェク	נח
事業の	場所			9年1月2日 レ東伯イン		10~20.00			・集合写真			
実施状況	场別					0.0	内容			ゲーム(町)
				[町]内:3	2名、町外	: 26				思い出 (TCC)	動画放映)	
	参加		艺】	. 2004	参加率:	2004)			・じゃない	いと。放映		
		(、刈水	: 2001	多加平:	20%)						
成果と 課題	い ア 【・ ・ ・ ・ ・ て町町が入 題	場ケケ外通%い内内75つ 加いウルイン かられる かられる かられる かられる かられる かられる かられる かられる	る集主んががが者生ある 増こ計】で良「多】活り、 や	と結 かい戻い 満、仕 すが果 ら、るこ 足満事 たで考 の商つと 度足が めき察 生業もが にし楽 の	ま 活施り分 つてした。	では、85% いて戻 「のよ とう ことう たのよ を見な さ で見な さ で見な さ で見な さ で見な さ で見な さ で のよ	6 と性 満な見がまえ	が意り しつ多	ま足として とかま若 で、る」が こ。その理	の絆を深め おたころからい 25%、してい	の理由と リ リターン? 満足して(しては を考え いる」 が気に
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有効性	効率性	先馴 独倉		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	3		1	0	3	3	}	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			17	判定基準					善・効率化し 討 E∶休止		
					担当課に	よる判定。	と理由	<u> </u>				
	事業とし [、] れるなど				ナられるか	 、今後の	展開	を考	 えれば、]	民間の柔軟	マな発想を	₩り入

	の成果及び	評価			_					一般会計			
事業番号	1193	事業名	山地域	おこ	し協力隊員			事業区分	□新規	見 I	■継続		
担当課						企画調整							
予算区分	款		務費		項		管理費		■ 7	企画費			
		最終		죔		事業費財		(千円)					
年	度	予算額 (千円)		円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備	i考		
平成2	8年度	13, 2	40 12	, 281					12, 281				
平成28年	度(明許)												
活動	項目	単位	年度	26	6(実績)	27(実約	責) 2	28(実績)	29		30		
協力隊の勢	紫嘱	人	目標 実績		1	3		5 3	4				
		j	達成率			75. 0%	Ó	60.0%					
事業の対象(だれに)	都市地域。	から住民	農悪を移	l,	「地域おこ	こし協力隊	」として	て委嘱した:	者。				
事業の目的 (なんのた めに)	総務省の おこし策 ⁻	「地域お や、移住	るこし協力 ・定住!	カ隊 ₋ こよ・	」制度を活 る地域活性	5用し、隊 生化・地域	員の意名 力の維持	炊や能力を 持・強化をl	生かした親 図る。	听しい発 想	の地域		
事業の													
成果と 課題	「成果」 町内でも地域おこし協力隊の存在が知られ、地域での受入や地域活性化団体等との活動の機会や、新たな取り組みも広がりました。 「八橋土俵会館」を協力隊活動拠点、地域との交流拠点として整備しました。 オープン2週間後の震災により解体が決まりましたが、協力隊同士の交流や活動における連携も生まれ、フェイスブック等を活用した情報発信も進めました。 町内だけでなく、県内外の協力隊との情報交換や連携、業務外の個々の活動も												
評価項目	必要性	妥当性	公平	生性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0		
評価点	7	10	1		3	3	3	有効性 効率性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	できたか。 率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
	評価点 計 40点満点		2	7	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		犬維持 C∶改 定、委託の検					
					担当課に	よる判定	と理由						
В	外からの	目線や若	者の新	しい	発想と行動	カカにより	、地域活	舌性化の推	進を目指し	,、継続し	たい。		

━ 一般会計

1 事業の	の成果及び	評価						-	一般会計
事業番号	1195	事業名	町内地域	づくり団に	本の連携		事業区分	□新規	」 ■継続
担当課		果		担当係	企画調整				
予算区分	款	2 総務		項		管理費		7 :	企画費
		最 終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)		
年	度	予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考
平成2	3年度	2, 170	2, 093					2, 093	
平成28年		,							
活動		単位 年	度 26	(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29	30
, , , ,	***		標	(104)	23		23		
まちネット	会員数	団体	減 成率		21 91. 3%	6	19 82. 6%		
事業の対象 (だれに)	町内で活動	動する地域	t活性化団(本、琴浦ま	まちづくり	ネットワ	リ ーク		
(なんのた									の活動の発展を なる活性化を推
事業の 実施状況	• 一般財[団法人 地	・ットワー <i>。</i> 地域活性化・ 肝修等旅費	センター負	負担金:70	, 000円		ジェクト)	
成果と 課題	ト県「 る団せ 討「 要が会プ民成まま体るまを課こが町員ラ活果ちちへ機ち行題れあの同ン動」ネプの会ネい」まり活士	推支 ツロ支がツま でま性の進援 トジ援増トし 策す化交活セ にょをえのた 定。に流動ン 対ク行、持。 しま向や	やタ すトい会続 たちけ認事の 補「し団な ラッ同度務活 助四た体活 ントじを	局用のつ。同動や内方上運等う葉地士に作部向げ営をちの域の向戦にをるの行いの行いなお見取の行いのおいまである。	支い ま口性携た どいなり援ま ち一化に研 にてが組をし ネバ団向究 つもらみ行た ッ一体け会 い、、の	い。 ト作のたを て会協推 て会協推 て会協推 で で で で で で で で で で の しが に で に の しが に の に に の に に に に に に に に に に に に に	こうとがいり 残意合込費 にま研けに に識っ要の かと究と開 向のてと捻た かめ会な催 け温活な出し た ほりょう	ー 活プどつ、 取差すまに	消へむけた検 を推進するよれ、 を強し、 を を を 、 、 、 、 、 の で 、 、 の は に の は に 、 、 、 、 、 の は に り に り に り が り り り り り り り り り り り り り
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委託 受益者の偏りはな	Eの可能性は。 10, 7, 3, 0 ないか。 5, 3, 1, 0
評価点	7	3	3	1	1	5	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成でコスト・人員効率 他の見本となりえ	をはどうか。 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点		20	判定基準	D:規模縮小	、 終期設		善・効率化し 討 E:休止、	- 継続、委託の検討 、廃止
				担当課に	よる判定	と理由			
С	団体のネー加えながり			的な取り糺	且みであり	、組織体	は制や目的(の再検証を	行い、見直しを

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	21	事第	美名	土地取引	及び開発導	事業関係事	務	事業区分		/〇〇15 見	■継続
担当課						企画調整					
予算区分	款		総務		項		管理費] 7	企画費	
年	+	最 予算	終	決算額	国 庫	事業費財		<u>(千円)</u>			備考
+	又	千(千		(千円)	国	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		I用 ~
平成2	3年度	<u> </u>	1	1			() ()		1		
平成28年											
活動	項目	単位	年		(実績)	27(実績	責) 28	3(実績)	29		30
設定なし			<u> </u>	標繕	_			_	_		
政定なし					_	_		_	_		_
事業の対象(だれに)	土地取引	及び開	発行	為を行う	事業者		•		•	•	
事業の目的 (なんのた めに)	に適合する 開発事	るのか 業につ	審査	し、意見をは、民間等	を付して知 等が実施す	『事へ送付 『る開発行	する。 為に対し		為が土地和		関する計画
事業の実施状況	平成284	年度実	建積	申請1件、	申請内容	系の変更 1	件				
成果と 課題	特にな	L									
評価項目	必要性	妥当	á性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性ないか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	1	0	1	0	1	0	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり]率はどうか	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			22	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		維持 C∶改 È、委託の検			委託の検討
						よる判定の					
В	に関する計	画に近く、技術	適合す 析的に	るのか審査	を行う必要	更がありま	す。開発評	F可申請は、	開発目的	が土地利	・土地の利用 川用に適合し 継続してい

	の成果及び								_ 一般会計				
事業番号		事業名	個人番号				事業区分	□新規		■継続			
担当課			- ++h		情報政策					rm th			
予算区分	款	2 総務		項		管理費	_	10	電算機管	埋質			
年	位	最 終 予算額	決算額		事業費財		<u>(千円)</u> T		備	*			
+	反	(千円)	(千円)	│ 国 庫 │ 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	1)用	1 5			
平成2	8年度	9, 65				(1224)		6, 064					
平成28年		0, 00	0,000	0,070				0, 001					
活動		単位	F度 2		27(実績	責) 2 8	8(実績)	29		30			
1,12,0	~	E]標	10 4 10 4	(24)								
設定なし			ミ績										
	# C */ C		成率										
事業の対象(だれに)			−ク:自治·	(大 並7 寸	巨致妇人学								
(/_////_/	1月秋(花)六	<u> イットソー</u>	-ソ: 日 _石	件、一即3	11 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 1								
事業の目的(なんのた	平成29年7	7月から自	治体間の情	青報連携を	開始する個	固人番号制	制度の環境	整備。					
めに)													
	〇 個人	番号運用事	事業として	、以下の人	とおり実施	しました	. 0						
			ァネこして システム改				. •						
事業の	借上					千円							
実施状況	中間	サーバー	整備負担金	·	2, 110	千円							
	ret en i												
	〔成果〕	イナンバ	一制度導入	に伴っく	ᄀᆕᄼᇌᄊ		も惟 ラ ぃ ト	ローカシー	フテムたも	u m			
			一両反導ス ステム改修					7-7-27	ЛИСТ	מתני			
			ハッコ&修 バー制度導					制度の導力	人に伴う行	⊤政			
			の改修を行										
			バ整備…平			開始する	情報提供ス	トットワー	クを利用	する			
		ための中	間サーバの	整備を、	地方公共区	団体情報シ	ノステム機	構に委託し	しました。				
成果と	〔課題〕												
課題			一制度を活										
	-		ス、マイナ		等)かある	ため、そ	のサーヒス	くを町報等	で分かり	やす			
	₹ 1 五	えていく	必要があり	より 。									
		T	1		,		Lamer			10 7 6 6			
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性	住民ニーズ、事業行政必須か、委		10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0			
			1			独創性	公平性	受益者の偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0			
評価点	10	7	3	3	1	1	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0			
					_	•		他の見本となり		5, 3, 1, 0			
	評価点 計		25	判定基準	A:事業拡充		維持 C:改			氏の検討			
	(40点満点) ^{刊定签学} D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止 担当課による判定と理由												
				12日休し	よる刊化	- 年田							
n	税・社会の	保障とも	関連があり	情報連換	焦が始まる	と、住民	の方にと・	っては添付	書類を省	略でき			
В			がるもので					10-1/m 1					
						-							

事業番号	<u> 42</u>	事	学 夕	電算管理	(ネット「	フーク関係	3	事業区分	·□新規	一般安計	■継続	
担当課			K11	电并占性		情報政策		事未 匹力		π	■ 小 <u>1</u> 2 1190	
予算区分	款		総務	 費	項		<u>///</u> 管理費		10	電算機管	理費	
		最	終	決算額		事業費財		(千円)				
年	度	予算	算額		国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備	考	
			円)	(千円)	支出金		(収入)	起頂				
平成2		28	3, 689	28, 586	2, 138				26, 448			
平成28年		22///		+ 0.0) / ch /+\	07/ ch /s	±\) / 	00		00	
活動		単位		度 20 標	6(実績)	27(実績	夏) 2 8	3(実績)	29		30	
設定なし				績								
LX1/C 0 0				戊率								
事業の対象									分庁・また	びタウン	• 保育	
(だれに)	園・学校	• 公月	- 館	文化セン	ター・給食	ミセンター	• 総合体	育館)				
声类の口め												
事業の目的	庁内及び!	七牛杉	*関の	ネットワ-	− ク設備 <i>0</i>)維持管理	を行い	安定した。	情報通信環	冒谙を提供	する	
めに)	71 1 1 20 1	-1 JC 1/2	× 1×1 × 2			> 4/E 1/1 E > E	(C 1) (22012	16 TK AE 16 %	KOL C JACIA	<i>,</i> 0°	
		<i>∱</i> / - ∓⊞	/ -		88 <i>1</i> 5 \	I 131-	-01-21	1 	4			
	〇 電算				関係)と 委託料	して、以T 1,006) 美心しま	じた。			
事業の				−ク改修委		5, 299·						
実施状況		使用		一ク以修女	: ቨኒሶት	2, 208						
)\n_n_		借上				20, 038						
		賃借					·					
		Д ID	1-1									
	〔成果〕											
	職	員の	業務遠	を行の一助	となって	いる庁舎内	JLANの安	定稼働を	図るため、	ネットワ	ーク	
	機器	の維持	持管理	₹を行いま	した。							
	鳥	取県ロ	内各自	治体等と	琴浦町役場	場を結ぶ行	う政ネット	・ワークと	して活用	している鳥	引取県	
	情報	ハイ	ウェイ	′の機器に	ついて、	安定稼動す	るよう絲	掛持管理を	行いました	<i>t</i> =。		
					る整備対象	象箇所(本	广舎、分	分庁舎、ま	なびタウ	ン)にWi-	Fi環	
	境の	整備	を行し	いました。								
成果と	〔課題〕			- 144 DD +6 /++	o # m / i-	-	. 7 1. 11	47 Db 1 - 4m	. E. I. S. (· >-	
課題				7機器整備	の費用が	島騰してし	\ るため、	経路に無	駄が無い	か精査する	必要	
	かあ	りま	9 。									
== /= -= ==	ᄽᆂᄮ		1. PA	八元址		ᄽ	先駆性	必要性	住民ニーズ、事		10, 7, 3, 0	
評価項目	必要性	安章	当性	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは		10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0	
=∓ /≖ ⊢	7	-	7	1	2	1	Λ	有効性	目標数値は達成	できたか。	5, 3, 1, 0	
評価点	7	,	7	I	3		Ü	効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効 他の見本となり		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
	評価点 計			10	到中世 海	A:事業拡充	E B∶現状					
評価点 計 (4 O 点満点) 判定基準 A : 事業拡充 B : 現状維持 C : 改善・効率化し継続、委託の検討 D : 規模縮小、終期設定、委託の検討 E : 休止、廃止												
					担当課に	よる判定の	と理由					
В)安定	稼動は職具	員の業務達	を行に必要	であり、	今後も改	善を図りた	いがら継続	する必	
	要があり	ます。										

	の成果及び									一般会	計	
事業番号	1238	事業名	電算管理	(職員用関	り (単)			事業区分	□新規	見	■継続	
担当課	企画情報	課		担当係	情報政策	係						
予算区分	款	2 総務	費	項	1 総務	管理費	ŧ		10	電算管理	費	
		最 終	決算額		事業費財	源内記	R 7	(千円)				
年	度	予算額		国庫	県支出金	その	他	+コ/生	一般財源		備考	
		(千円)	(千円)	支出金	宗又凸並	(収入	()	起債	一般知识			
平成2	8年度	12, 989	12, 454						12, 454			
平成28年	度(明許)											
活動	項目	単位 年	度 26	(実績)	27(実績	責)	28	(実績)	29		30	
			標									
設定なし			績									
		達瓦										
事業の対象								(本庁・党	分庁・また	ょびタウン	/・保育園・学	
(だれに)	校・公民的	館・文化セ	ンター・約	合食センタ	7 一・総合	体育的	官)					
事業の目的	T+1 0		1	- ^ 144 ~ 44	4.14.66.FM.4	<i>,</i> –	<u> </u>	-	• ° 1114 747 1-1 -	- "		
(なんのた めに)	職貝用バ`	ソコン・プ	リンダ・マ	を 合機の 希	‡持官埋を	1丁い、	女	正椓虭及	ひ耒務効学	≌化を図る	0 0	
(۱۵)												
	〇 電算	管理(職員	田関連)	と1.て 1	以下のと‡	いま1	施 I .	ました。				
	O 127	消耗品費			, 589千円	5 / //	JE C	0.0728				
事業の		修繕料		-	139千円							
事業の 実施状況			E 伊立禾託	14:1	665千円							
		職員用端末	下体寸安武									
		借上料			,863千円							
		賃借料		I	, 197千円							
	〔成果〕											
		員が使用す										
		職員用パン	/コンリー	ス…全職」	員が自席で	で使用	する	パソコン	を適正に	管理し、	不具合	
		対応も行い	いました。									
		資産管理サ	トーバ・ソ	フトリー	ス…職員月	パソ	コン	のトラブ	ル解決や	ソフトイ:	ンスト	
		ールをリモ										
		複合機オル								る複合機1	台を適	
		正に管理し						,, ,		Φ Σ I Σ .	12.2	
成果と		正に占在し	, 1 <u>, 7, 1</u>	יווט יטייניע	, & O / L °							
課題	〔課題〕											
		ソコンの係	2字豊田を	2万四×25	50 <i>⇔</i> =5007	5 Φ (σ	\7 K Z	スクいか	おってい	スポ 伊5	2 分 多	
		なることか							-			
		なることが 0年度に保 ⁹										
	など		リの史利時	4知71,/ の	107 C、1英	可以火	〉女	C 9 。 ()**	小はピタ、	、小川水	と 夕く貝 ノー	
	<i>ب</i> 4 ک)										
									T =		40.7.0	
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆	土	必要性 妥当性	住民ニーズ、事 行政必須か、委		10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0	
正顺块日	必女江	女コに	ムナほ	日初江	かギエ	独創	<i>小</i> 十 L	公平性	到 政必須が、安 受益者の偏りは		5, 3, 1, 0	
== /== ==	10	7	4	•	•	1	L	有効性	目標数値は達成	できたか。	5, 3, 1, 0	
評価点	10	7		3	3		L	効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効 他の見本となり		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
	拉布占 钍				Λ・車 楽 トト プ	<u> </u>						
評価点 計 25 判定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 C:及善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止												
	. O M/M/M	<i>'</i>		おみ				. 2400712		-, ,,,,,,,		
				担当誅	による判	止と生	出					
	ᄥᄝᄼᄺ	□ + 	_ 、 _ 。	13.5	\ 	/ 	2 A -	₩ マ⁄ᠵ ᠈ ₩ ,	- 2/4	- 7	. + -1 +	
В)女正核動	ば職員	₹()	耒務逐行(- 必須です	りる。今後	も改善を図り	
	なから継続	続する必要	かあります	₱ 。								

	の成果及び	評価							一般会計			
事業番号	1239	事業名	電算管理				事業区分	□新規	■継続			
担当課					情報政策							
予算区分	款	2 総教		項		管理費		10	電算機管理費			
<i>t</i>		最終	決算額		事業費財		(千円)		/# -b /			
年	芟	予算額	(エ四)	国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考			
平成28	2年度	(千円) 67, 38				87		64, 945				
平成28年		15, 23				07		13, 608				
活動:				(実績)	27(実約	書) 28	3(実績)	29	30			
/11 3/1	χu.				27(>	R/		20				
設定なし			主 績									
			成率									
								分庁・まな	びタウン・保育			
(だれに)	園・字校	・公氏館	文化セン:	ヌー・給食	ミセンター	・総合体	育館)					
事業の目的						-1						
(なんのた めに)	総合行政	システムの	D維持管理	・改修を行	が、安定	稼動及び	業務効率位	上を図る。				
υ/I <i>C</i> /												
	〇 電算		合行政シス					した。				
			システム・		保守委託鴸		3, 196千円					
事業の			システム改				9,521千円					
実施状況			台帳ネット			毛料 2	2,462千円					
			システム共				771千円					
		使用料		千円	消耗品費	-	719千円					
		借上料	32, 422	十円	印刷製本	貫 「	, 126千円					
成果と課題	コ迅 コ迅 強ネ 題 課題 〕	・に行機行す行要平行務性トプ対政器政い政な成政省向ワリ応シのシよシ業28シの上ーンしス不スうス務年スイのク	タ、テ具テにテ処度テンた分一業ム合ム適ム理制ムタめ離等務ハ対ソ時運を度の一、、のを一応フの用専改改ネ端自維常ドをトバ支門正修ッ末治	持にウ行ウー援業対をトか体管安ェいェジ・者応行分ら情理定アまアョシに・・い離の報をし保ンスでいい離の報をしている。	行て守た守アテ託成し関報キい行…。…ッムし28たす持ュまえ窓が行プのま年。るちリしるロー政を年し度が出テーポープのまりである。	こうプレーでは、アンドラスのでは、アンドラスのでは、アンドラスのでは、アンドラスのでは、アンドラスのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	シ理の エ。や に に(USへ) テま詰 一 ッ い っメの イン・ション・ シェン・ シェン・ シェン・ シェン・ シェン・ シェン・ シェン・ シェ	のた応 応 ア 固 りリ続改。や や ッ 定 、制を修 サ シ プ 資 自御行 ア ス 、 産 治、い デ ス 、 産 治、こ	サーバ で ま が で ま で ま で で ま で で で で で で で で で で			
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委	, , ,			
			<u> </u>			独創性	公平性 有効性	受益者の偏りは 目標数値は達成				
評価点	7	3]]	3	3	1	効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効! 他の見本となり				
評価点 計 (4 0 点満点) 判定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止 担当課による判定と理由												
I				担ヨ誄に	よる刊正	C 理出						
С			定稼動、改作 平成33年						との共同調達も			

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	1345	事業	[名	鳥取中部地震	災害対策事業((総務管理費・:	企画情報課)	事業区分	·■新規		コ継続
担当課			-		担当係	企画調整	係				
予算区分	款		総務	費	項	1 総務	管理費		目 13	鳥取中部均	也震対策費
		最	終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)			
年	度	予算		(m)	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備	考
ਜ਼ ਦੇ 0	0.左 由	(千		(千円)	支出金	***************************************	(収入)	, C X		1100 4분 +# 수조	2 000 7 111
平成28年			, 021 , 900	2, 019 3, 554						TZ9 課 起 独 八橋土俵会館解	3,900千円
活動		単位			(実績)	27(実約	事)		3, 554	八個工依宏貼所	30
/白 刬	块口	中世		標	八天限)	27(天前	₹/ Z () (天限)	29		30
設定なし		-	実	積 龙率							
事業の対象	町民		建	<u> </u>							
(だれに)											
事業の目的				災証明事							
めに)	・被災施	設の早	-期復	旧と、周記	辺の安全研	笙保。					
). II 16	En. ► '^		7 AT L-= 1							
				解体設計 一コピー	幾賃借業務	务					
事業の				パソコン							
実施状況											
	①事業の別										
				解体設計				000円			
				ーコピー ^材 パソコン							
				, 384円							
	②課題										
	• 被災施								されている		
成果と									後は、各語 しておくこ		_
課題	10.0. (- (<i>/</i> <u>D</u> , o.	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	_, .,,	1701270	2 (00) =		
評価項目	必要性	妥当	4性	公平性	有効性	効率性	先駆性	必要性	住民ニーズ、事: 行政必須か、委		10, 7, 3, 0
T III 模 I	必女は	女=	3 I.T.	ムーは	日刈江	初午注	独創性	公平性	受益者の偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0
評価点	10	1	0	5	0	0	0	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			25	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮/		維持 C∶改	ズ善・効率化 注討 E:休止	し継続、委詞	
	. O W(\mathred \text{W(\mathred \text{M) \text{ \text{M} \text{M} \text{ \text{M} \text{M} \text{M} \text{M} \text{M} \text{M} \text{M} \text{M} \text{M} \t	,			担当課に	よる判定		_,,		-, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
Ε											
_											

1 事業の成果及び評価 一般会計

	の成果及び	評価										一般会計	
事業番号	1321	事業	名	地方創	創生が	加速化交色	寸金連携事	業(企画	事業区分	□新規	見 ■	■継続
担当課		果				担当係	企画調整						
予算区分	款	2	総務	費		項	1 総務	管理:	費		∃ 7	企画費	
		最	終	決算	額		事業費財			(千円)			
年	度	予算				国庫		その			60.01.00	備	考
		(千)		(千)	円)	支出金	県支出金	(収		起債	一般財源		
平成28	3年度												
平成28年			732		732	732							
活動		単位	年			(実績)	27(実糸	書)	28	3(実績)	29		30
		+12		標			27()	只/		2	20		
婚活セミナ	ーの開	回		績						2			
催			達原						1	100.0%			
				標						2			
婚活ツアー	-の開催	回	実	績						1			
			達原	戊率						50.0%			
事業の対象 (だれに)	中部地区	在住の	独身	男女									
事業の目的 (なんのた めに)	結婚を希望 婚に向ける	望する たフォ	独身	男女(アッ:	こ、鬼プをで	魅力アップ することで	プのための ご、婚姻数	研修(の増	や出 加を	会いの機: 図る。	会を提供す	けるととも	に、成
夫 肔认沉	とした婚え	舌ツア 月に実 ナー: ー:2J	一及 施予 1月3 月4日	びセ: 定でし 0日((土)	ミナー したが 月) ~2	ーと、婚記が、鳥取県 2月5日(E	5支援員等 具中部地震	を対	象と	した研修:	会を実施し	り独身男女 しました。 欠のとおり	
	され活 課害集のまと 関いまと ひが関いまる ひがま ひがま ひがま ひがま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かい	度一 響ずかき	画は、冬周女オー・ション・ション・ラスト	、1月 6組 の 実 短 実 招 ア ま ア ま ア き ア ・ ア ・ ア ・ ア ・ ア ・ ア ・ ア ・ ア ・ ア ・	~カ ををもり を を を を を を を を を か と か と か と か し プ	月に実施が プルが原 なに課題 な話婚活ツ	できまし 立しまし 加者数に が戻では	たた。 もし、	響か。 。 且の:	i出ました カップル	ニ。特に⅓ が成立し	ーとツアー 也元の女性 ましたが 昏につなり	生参加者 、今後
評価項目	必要性	妥当	4性	公平	性	有効性	効率性	先 類 独倉		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	3	}	C)	1	1	1		有効性 効率性	目標数値は達成 コスト・人員効	できたか。 h率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			1	6	判定基準						し継続、委託	5,3,1,0 の検討
,						担当課に	よる判定	と理ら	h				
С	未婚率解》	肖に向	けて	必要怕	生はも					容につい [・]	て検討が必	必要。	

	<u> 1915</u>		坐力	+++	» ∓∓ '+ # # ++''	* 51 /		事業区分	■ ±c+	一般云訂	
事業番号担 当課	1315	事 事 美 理	長石	未来へつなく	※琴浦農業プロ 担当係	企画調整		争耒区为	■新規	兄	□継続
予算区分	款		総務	 費	項		創生事	業費	目 2	地方創生加速化	化交付金事業費
		最	終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)			
年	度		額	(- 7 m)	国庫	県支出金	その他		一般財源	備	考
平成2	0 年 庄	(千	円)	(千円)	支出金		(収入)	1			
平成28年		1	, 000	9, 882	9, 882						
活動		単位			6(実績)	27(実績	責)	28(実績)	29		30
				標				15			
就農体験参	別者数	人		技率				0 0%			
事業の対象			连月	以平				U%			
(だれに)	関西圏										
事業の目的 (なんのた めに)	▪関西圏ℷ	からの)新規	就農希望	者を獲得す	たる。					
事業の 実施状況	番組名	「ジャ	ァルや	るっ!」	組制作業系 (ジャルナ 撮影及びヒ	·農学部Sp		県琴浦町)			
成果と課題	・	務「 ののま レ 負ケケ 99~~ 航名ジ 農告し ビ 契 月月~ 空 キ 第55 番 糸78 233山ラ	7 に	る 力い 作 ココ 金金嵌入ルっ を、 委 月2日 金金嵌入ルー・ 、関 託 月3日 24・1・10 リンメージ が西 料 15日、 ::16日 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	圏からの申 9,676,8 B 8月20日、 55~25:2 55~25:2	、農学 番しの円の円り円り円り円り石でを率にでを率にでを率にでを率にでを率にでをでをでをでをでをでをでをでをでをできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできる	じあ 日 3.0% 2.9% 美西 発	西圏に発信 が、地震の 214,860世 207,698世 大阪、兵庫 205,200円	影響によ ^り 帯) 、奈良)か	リツアーに	は中止
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性		住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	-	7	1	0	0	3	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員交 他の見本となり	できたか。 h率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			21	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		状維持 C∶改 设定、委託の検	χ善・効率化	し継続、委託	
					担当課に	よる判定。	と理由				
С								課題の一つ 力を発信し			

3 - 34

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	1336	事美	Ě名	鳥取中部地			震災害復旧費・		段課)	事業区分	■新規	見	□継続
担当課							企画調整·						
予算区分	款			復旧費	,-	項		災害征			2	鳥取中部	也震対策費
年	r ic	最 予算	終	決算額	組		事業費財			(千円)		/±	考
	支	一个手		(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その (収力		起債	一般財源	1)	与
平成2	3年度	\ 1	119		19	<u>ДП</u>		(1///	· 、		119		
平成28年													
活動	項目	単位		度	26 ((実績)	27(実績	責)	28	(実績)	29		30
=0.451			目	標									
設定なし				績 戊率									
事業の対象			Æ1:	 .									
(だれに)	町民												
事業の目的													
(なんのた	• 被災施	没周辽	2の安	全確保									
めに)													
	・八橋土	俵会	館屋	根ブルー	シー	-ト張り							
事業の													
実施状況													
	①事業の月												
	· 八橋土		館屋	根ブルー	シー	-ト張り	118, 80	0円					
成果と													
課題													
評価項目	必要性	並=	当性	公平性	_# T	有効性	効率性	先駆		必要性 妥当性	住民ニーズ、事 行政必須か、委		10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0
山川山大口	×∵×⊥⊥	۶.=	→ 1 <u>→</u>	Δ ΤΙ.	_	ㅁ씨ഥ	ツナエ	独創	性	公平性	受益者の偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0
評価点	10	1	0	1		0	0	0)	有効性 効率性	目標数値は達成 コスト・人員効		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
			<u> </u>	'		•			•		他の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計			21	2	判定基準	A:事業拡充			維持 C∶改			託の検討
(40点満点	,								・ 委託の検	討 E∶休止	-、廃止	
					1	世ヨ誄に	よる判定の	∠理世	1				
_	14 /// == =			·- ·									
E	被災施設原	割辺σ	安全	確保を	図る	ことがて	ぎきました	0					

(単位:千円)

				<u>位:千円)</u>
(款−項−目−事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ページ)	(備考)
一般会計				
商工観光課	221,069	200,408		
2.総務費	12,538	11,849		
5.統計調査費	660	632		
1.統計調査費	660	632		
基幹統計調査	660	632		事務費
7.地方創生事業費	11,878	11,217		
2.地方創生加速化交付金事業費	11,878	11,217		
地方創生加速化交付金連携事業(商工観光課)	3,878	3.677		事務費
うち繰越分	3,878	3,677		
未来へつなぐ琴浦農業プロジェクト(商工観光課)	8,000	7.540	4-1	
うち繰越分	8.000	7.540		
6.商工費	207,182	188,232		
1.商工費	207,182	188,232		
1.商工総務費	0	0		
人権・同和対策雇用促進協議会	0	0		
2.商工振興費	34.566	34,329		
2.両工版央員	32,061	31,849	4-2	
中小企業小口融資			4-2	事務費
	2,505	2,480		争務負
3.観光費	86,018	69,883	4.0	
まんが王国推進事業	863	854	4-3	
一向平キャンプ場の管理と清掃活動事業	6,227	5,991	4-4	
観光振興事業	31,519	30,557	4-5	
旧中井旅館管理運営事業	245	200	4-6	
船上山さら祭り運営事業	1,800	1,763	4-7	
船上山管理運営	3,363	2,656	4-8	
うち繰越分	80	73		
道の駅ポート赤碕運営管理	3,406	3,132	4-9	
白鳳祭	4,200	4,123	4-10	
物産館ことうら管理運営	34,395	20,607	4-11	
4.地域振興費	86,245	83,677		
きらりタウン・槻下団地定住促進事業	6,800	6,700	4-12	
コトウラ暮らしお試し滞在住宅事業	707	561	4-13	
移住定住促進事業	8,176	7,406	4-14	
交流ネットワーク事業	541	394	4-15	
公共交通対策事業	61,213	60,313	4-16	
国際交流の推進	3.517	3.379	4-17	
三本杉ふるさと分校管理	70	66	4-18	
地域活性化基金	12	11		事務費
日韓友好交流公園管理運営	4,590	4,276	4-19	
八橋ふれあいセンター管理	619	571	4-20	
5.企業誘致推進費	352	342		
企業誘致推進事業	352	342	4-21	
10.災害復旧費	1.229	207	1 41	
2.地震災害復旧費	1,229	207		
2.鳥取県中部地震対策費	1,229	207		
島取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費·商工観光課)	1,229	207		事務費
局取中即地层火音对束争亲\地层火音復口負*尚工観兀牀/ 12.諸支出金	120	120		中仍貝
1.諸費	120	120		
1.国県支出金返納金	120	120		古沙井
国県返納金	120	120		事務費

1 事業の	0成果及0								1 N	рт ірші		
事業番号	1316	事美	Ě名	未来へつ	つなぐ琴浦		ェクー	- 事	業区分	■新規	見	□継続
	商工観光		かってた		担当係	商工係	المالي	- Alle - Ho				
予算区分	款		総務		項		創生事		_	2	地方創生	加速化交付金事業費
年月	度		終 算額 円)	決算額 (千円)	国庫	事業費財	源内記 その (収 <i>】</i>	他	f円) 起債	一般財源		備考
平成28年度	(繰越)	8	3, 000	7, 54	7, 540							
活動項	頁目	単位			26(実績)	27(実統	責)	28 (実	淫績)	29		30
新規販売免	Ē	件		標 績 艾 率				2 200				
事業の対象 (だれに)	首都圏を	中心	とした	と県外の	バイヤーや	消費者等						
事業の目的 (なんのた めに)					町産品の発 の競争力を		圏にお	ける販	路開拓	iを進める	ことで	、琴浦ブラ
事業の 実施状況	開拓を 〇食のる 9/10,1	に販 行い つぼ 1の2	路開が ました 琴浦物 日間、	石コーデ た。 効産フェ 東京新	業 ィネーター アの開催 橋で琴浦フ 000人の来 [‡]	ェアを開作	崖しま	した。				
	や取引商 町が物 また、	拓事 i品の i産フ 同フ	業になった。	ついては などにつ を開催す への出店	なげること ることで、	ができまり 琴浦町の特 舗との新規	った。 寺産品 見常設	をまと 取引が	めて P 成立し	Rするこ たり、招	とがで 待した	引先の開拓 きました。 バイヤーが
成果と 課題	ス	トなど	の条	件も難し	らるが、それ いため、田 ングできる	丁内各事業	者の規					
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆' 独創'		性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性	
評価点	10	_1	0	1	5	3	1	有効 効率 先駆	性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか	5, 3, 1, 0
	平価点 計4 O 点満点			30	判定基準		ヽ、終期	設定、勃		善・効率化 討 E:休止		委託の検討
					担当課に	こよる判定	と理由	1				
В	関東での 出が必要				業者の販路	開拓のき [、]	っかけ	を作る	ため、	当面は行	政によ	る機会の創

4-1

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

	0成果及0	び評価									
事業番号	210	事美	Ě名	商工業0				事業区分	□新規	見	■継続
	商工観光				担当係	商工係					le m #
予算区分	款		商工		項	1 商工			2	商工:	振興費
年月	芰	最 予算 (千	終 算額 円)	決算額 (千円)	国庫支出金	事業費財県支出金	<u>源内訳</u> その他 (収入)	起債	一般財源		備考
平成28	3年度	32	2, 061	31, 84			19, 135		12, 714	基金	繰入金 利子
活動工	項目	単位			26(実績)	27(実績	[] 2 [8(実績)	29		30
新規起業件	牛数	件	実	積	0	1		1	2		2
				戊率 標	<u>0</u> 5	50% 5		50% 5	5		5
育児休業耶 の利用件数		件	実	積	0	10 200%		3 60%	,		3
事業の対象(だれに)	町内事業	所、	及び町	丁内で起	業する又は	町内事業所	近勤務?	する移住者	· ·等	•	
事業の目的 (なんのた めに)	叫小事本				施策を講じ 地域経済の			性の自主的	な努力を	助長3	けることで、
事業の 実施状況	労 小雇 育 販 海	正务見用 · 己名 会改模促 · 休開 不開 · 業拓	助協業奨 ″ 促チ販	会 く 経営成 業ン 大 ま が ま ま が ま が ま が ま が ま が ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	資金利子補 町内) 70名 中部) 3名 金 3名 援事業補助 事業補助金	3分 3分 3分 加金 5件:	706 20, 800 900 400 分 217 分 339	千円 千円			
成果と 課題	いまだ (課題 (課題 (記)	戦場 たと	くり やる 変必	を 推路と にな にな にな にな に の に の まり いっぱい いっぱい かいがい かいがい いんしゅう かいがい いんしゅう かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいが	ることがて など、挑戦 きました。	ききました。 なをする事: 進のため。 きす。	。 業者へ支 の施策か	援を行うで ら人材確保	ことによっ	て、「	い、働きやす 町内商工業の る施策へと、
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能ないか。	e性は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	3	1	1	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどう	
-	評価点 計4 O 点満点			23	判定基準		、終期設定	維持 C∶改 c、委託の検			、委託の検討 -
					担当課に	こよる判定	と理由				

C

商工業の育成強化、地域経済活性化を推進していく上で継続すべき事業です。 町内事業所の現状を把握し、新たな施策を検討したいと考えます。

事業番号	D成果及で 1148	少評価 事第		まんが王	国推進事業	<u>*</u>		事業区分	□新規		■継続	
担当課			<u> </u>	04.0%	担当係			ナルロバ	L 4917;		— 11 € 196	
予算区分	款		商工	費	項	1 商工	費		3	観光費		
			終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)				
年月	芰	予算 (千		(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	ſī	請考	
平成28	年度		863	854		363	57		434	名刺販売	5	
活動項	頁目	単位	年		6(実績)	27(実績	責) 28	3(実績)	29		30	
=0 4 1		hL		標								
没定なし		件	実達									
事業の対象 (だれに)	町内外の	不特別				l.	<u>I</u>					
事業の目的 (なんのた めに)	漫画を通	じて	琴浦田	丁のイメー	-ジアップ	を図る。						
事業の 実施状況	· 今	年度(の町H	Pのアクセ	スランキン	ジで先行掲i ・グでトップ 井書店(ア						
成果と 課題	琴浦町(記課題) マンガ原	のPRI 原作が	に一名	と買い、合名	わせて観光	ラクターとし : :誘客にもそう : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	寄与しまし	<i>t</i> =.		ました。	A. Stevenson	
評価項目	必要性	· 妥当		公平性	有効性	効率性	先駆性 なめ割せ	必要性妥当性	住民ニーズ、事行政必須か、委	業の必要性は。	政権 法教授 10,7,3	
				_ , , ,		, , ,	独創性	公平性	受益者の偏りは	ないか。	5, 3, 1,	
評価点	3	7	7	1	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1,	
	平価点 計4 〇点満点			18	判定基準	D. 規模権力	ヽ、終期設定	維持 C∶改 E、委託の検			託の検討	
	担当課による判定と理由											
Ε	事業の新	規性	がなく	くなったた	:め、平成	28年度をも	もってー <u>!</u>	旦終了とし	ます。			

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

	0成果及で	び評価								4111 6-				
事業番号	217	事業名	名 一向·	平キャ		管理と清掃	活動事業	事業区分	□新規	■継続				
担当課			- 建		担当係		弗			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
予算区分	款		工費	<u>ታ</u> ትፓ	項	1 商工		-	3 観分	七 貨				
 -	÷			算額		事業費財		(千円)		/# *				
年月		予算客		Ε,	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備考				
		(千円) (+	·円)	支出金	<i></i>	(収入)		734777 11131					
平成28	在 使	6, 2	227 5	5, 991		209			5, 782					
1 /2,20	- IX	0, 2	-27	, 001		200			·					
活動項	頁目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	(a) 28	3(実績)	29	30				
			目標		_	74. 8		78. 6	82. 5	86. 6				
年間観光入	、込客数		実績		71. 3	67. 8		65	_	_				
			達成率		_	90. 6%		82. 7%						
県中部観光	∤∖认农		目標		_	220		230	240	250				
数		万人	実績		210	217		_	_	_				
~			達成率		_	98. 6%								
事業の対象	キャンプ	場等の	利用者											
(だれに)	1 1	- 53 () 43	1 1/11 🖂											
めに)	のた 町民の観光レクリエーション活動の場を確保し、中山間地域の振興と活性化を図る。 指定管理者(一向平森林保全協会)による施設の管理運営を行いました。 指定管理料 3,000 千円													
事業の 実施状況	指定管理料 3,000 千円 施設の維持管理を行いました。 修繕料 1,284 千円 各種保守点検等手数料 1,115 千円													
成果と 課題	「成果」 利用者数 27年度 8,979人 28年度 7,201人													
評価項目	必要性	妥当性	生 公3	平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必 行政必須か、委託の可 受益者の偏りはないか	T能性は。 10,7,3,0 つ。 5,3,1,0				
評価点	3	3		1	1	1	1		目標数値は達成できた コスト・人員効率はと 他の見本となりえるた	ごうか。 5, 3, 1, 0 か。 5, 3, 1, 0				
	平価点 計40点満点		1	0	判定基準	D:規模縮小	、終期設定		善・効率化し継 討 E∶休止、廃					
	担当課による判定と理由													
	利用者が の増加を					山開山130	 0年祭と選	連携した新	たな取組みに	より、利用者				

	0成果及1		60 14	ie ron				+ ** - /\			- Abb A+
事業番号	215	事業名	観光	振興		[소마시//조		事業区分	□新規	見 !	■継続
担当課 予算区分	商工観光 款		工費		担当係項	観光係	弗		3	観光費	
了异区 万	示人			5 克西	坦	1 商工			3	観兀貨	
年月	度	最 終 予算額 (千円)	į		国庫	事業費財県支出金	<u>源内訳</u> その他 (収入)	起債	一般財源	備	考
平成28	年度	31, 5	19 30	, 557			16, 000	0	14, 557	基金繰入	 金
活動項	頁目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	[) 2	8(実績)	29		30
1,227,02			目標		_	74. 8		78. 6	82. 5		86. 6
年間観光力	、込客数	万人	実績 ^{建成率}		71. 3 —	67. 8 90. 6%		65 82. 7%	_		_
1月 山 如 知 知	4717安		目標		_	220		230	240		250
県中部観光 数	[八込谷		実績 ^{主成率}		210 —	217 98. 6%		_	_		_
事業の対象(だれに)	一般観光						•			•	
事業の目的 (なんのた めに)	「食える め。	観光」 る	をテーマ	とし	て観光振	興によりる	₹流人口	を増やし地	域経済の	活性化を	図るた
事業の	鳴り石の WTC琴浦 琴浦町観	ブルメde	めぐるけ	フォー			千円				
成果と 課題	WTC 〔課題〕 1 さら = 2 観分	* 鳥 グ か か な 道 り 光 最 い る の の に が 振 い た に り た り た り り り し り り り り り り り り り り り り	県中部地 eめぐる 825人	震 ま ウ う 数 な な な な な な れ	ーク(10/ ち海外71人 を目指し、 での観光窓 が潤う仕組	雪により前 /15) 、 県外10 交流などを ごなの構築	0人、県 の増用図 が話を に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	内654人) 地域経済の 情報発信の ・着地型観ジ	D強化を図 ピメニュー	る。 -の創出を	
評価項目	必要性	妥当性	公平	P性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業行政必須か、委受益者の偏りは	託の可能性は。 ないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	3	5	5	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	平価点 計4 〇点満点		2	4	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		【維持 C∶改 定、委託の検	善・効率化し	し継続、委託	
					担当課に	よる判定	と理由				
C	道の駅「 町内全体				の新たな			あわせ、観	光振興施:	策の改善を	を行い、

1 事業の 事業番号)成果及(1142	ン評価 事業		口由#按4	館管理運営	÷ 幸 **		市	業区分	□新規	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	■継続
			ta I	口中升派		哲学术 観光係		尹	未区万	山和万	兄	■ 祁丕 祁冗
予算区分	款		商工費	ŧ	項	1 商工	費			3	観光費	
- 777			終	決算額		事業費財		<u> </u>	千円)			
年度	麦	予算 (千F	額	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	そのf (収入	也	起債	一般財源	備	i考
平成28	年度		245	200				29		171	使用料	
活動項	目	単位	年月		(実績)	27(実績	[)	28 (実		29		30
	**		目標		_	74. 8		78.		82. 5		86. 6
年間観光入	、込各致	万人	実統 達成		71.3	67. 8 90. 6%		6! 82.		_		
		-	目標	, 午 票		220	1	23		240		250
県中部観光 数	人込各	万人	実統	責	210	217				_		
X 			達成	,率	_	98. 6%)					
事業の対象(だれに)	町民(主	に八村	喬地区	.)								
めに)				光振興及		性化に資す	よる。 					
事業の実施状況	〔成果〕											
	28: 27:	月者数 年度 ↓ 年度 ↓ 観	2, 1	50人(う	ち、観光 ち、観光 は、主に		人)	ェルシ	ジュ事美	業や見学		
	〔課題〕		☆ :★.α	7.48 に 1. マ	- 夕 / 玉ll Œ	コナカテい	+ + *	毎日 い	, – 65 -	スの制田よ	: //> /	並左曲
成果と 課題)場として 減ってい		されてい	よりか	、観プ	6日的(じの利用の	ツなく、	削牛皮。
				-			<u></u> 先駆性	业 必要	性	住民ニーズ、事	業の必要性は。	10, 7, 3,
評価項目	必要性	妥当	i性	公平性	有効性	効率性	独創性	生 公平	性	受益者の偏りは		10, 7, 3, 5, 3, 1, (
評価点	3	7	'	1	1	1	1	有効 効率 先駆	性	目標数値は達成 コスト・人員交 他の見本となり	1率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	平価点 計 10点満点			14	判定基準	D:規模縮기	、終期			:善・効率化 :討 E∶休』		託の検討
					担当課に	よる判定	と理由					
	観光振興 の取組み			用が少な	い。地元	の活性化団	団体と説	重携を	図るな	ど利用者	を増加さ	せるため

	0成果及で			60 1 1 1	/ > Ale - 1 -	T 24		- W -	· · · ·	+r +r		- Aldr A-	
事業番号	411	事第	美名	出上山さ	くら祭り道		-	事業区分	分 口	新規		■継続	
	商工観光			***		地域振興		1		2 14-	.u. ++-		
予算区分	款		商工		項	1 商工			目	3 観	光費		
<u>. </u>	_	最	終	決算額		事業費財					,44	_	
年月	芟	予算		(- 7 m)	国庫	県支出金	その作		一般則	才源	備	考	
		(千	円)	(千円)	支出金		(収入	.)					
平成28	年度	1	, 800	1, 763			1, 5	00	1 :	263 基	金繰入	金	
						/ 1 /							
活動項	頁目	単位			6(実績)	27(実績		28(実績)		29		30	
+ 10 + 44					3, 000	3, 000		3, 000					
来場者数		人	実達		2, 700 90%	2, 612 87%		3, 020 101%					
古世の4年			进几	X 年	90%	0170		101%					
事業の対象(だれに)	町民、町	内事:	業者、	来場者									
								るとともに、 きっかけを [・]			芸能・ブ	文化を継	
事業の 実施状況	船上山さ	〈 ら	祭り多	ミ 行委員会	に対して	補助金を3	を付しる	ました。					
成果と課題	〔課題〕 来均	開催 会場 番番	者	平成2 船上L 3,020	8年4月24日 日万本桜公 人 しているた	日							
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	生 安当性 公平性	行政必須が 受益者の(ぐ、事業の! か、委託の 扁りはない	可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0	
評価点	7	3	3	3	3	3	0	有効性 効率性 先駆性・独創	コスト・ノ	は達成でき 人員効率は となりえる	どうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
	評価点 計 (40点満点) 判定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止												
1					担当課に	よる判定	と埋田						
E						なっており が必要と≉		来必要な住	民の参画	可意識 7	が薄れ [・]	てしまっ	

)成果及(
事業番号	407	事業	名 船_	上山管:		160 44 65		事業区分	□新規	見 ■継続
	商工観光 款		五十井		担当係	観光係 1 商工	弗		 	知业弗
予算区分	秋		所工費 終 │ 決	算額	項	1 商工 事業費財		 (千円)	目 3	観光費
年月	芰	取 予算 (千円	額	(异般 千円)	国 庫 支出金	県支出金	源内訳 その他 (収入)] 护信	一般財源	備考
平成28		3,	363	2, 656			1, 26	60	·	基金繰入金
平成28年原			80	73					73	
活動項	頁目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	責)	28(実績)	29	30
年間観光力	、込客数	万人	目標 実績 達成率		71. 3 —	74. 8 67. 8 90. 6%		78. 6 65 82. 7%	82. 5 —	86.6
県中部観光 数	允込客	万人	目標 実績		_ 210 _	220 217		230	240 —	250 —
事業の対象(だれに)	町民、街	光客等	達成率			98. 6%) [
事業の目的(なんのために)				客につ	なげる。					
	船上山万 船上山公 登山道整	衆トイ			等の維持 理	管理	1, 06	01 千円 69 千円 04 千円		
成果と 課題	28 〔課題〕 大山開	年度 年度 *船上	年祭に	3人 自然の 向け、	家利用者 今後人数備 山道整備	の増加が ³	予想され 美化清掃	· 	Г _о	に気持ちよくご利
評価項目	必要性	妥当	生 公	〉平性	有効性	効率性	先駆性 独創性		住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 10, 7, 3, 0 ないか。 5, 3, 1, 0
評価点	7	7		1	1	1	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。
	平価点 計4 〇点満点			18	判定基準	D:規模縮小	ヽ、終期部	状維持 C∶改 対定、委託の核		し継続、委託の検討 - 、廃止
					担当課に	こよる判定	と理由			
	利用者が 増加を目		向にあ	る。今	後は大山	開山1300年	F祭と連	携した新た	−な取組み	により、利用者の

	0成果及で								_	10.64
事業番号	408	事業名	道の駅7	パート赤碕			事業区分	□新規	見 I	■継続
担当課			- 弗		観光係	弗			知业弗	
予算区分	款	6 商工 最終	- 頁 決算額	項	1 商工 事業費財		 (千円)	3 3	観光費	
年月	隻	予算額 (千円)	(千円)	国庫	県支出金	その他	1 起信	一般財源	備	i考
平成28	年度	3, 406	3, 13	2		2, 72	26		使用料	
活動項	頁目			26(実績)	27(実統	責)	28(実績)	29		30
年間観光 <i>入</i>	、込客数	万人	目標 	71. 3	74. 8 67. 8 90. 69		78. 6 65 82. 7%	82. 5 —		86. 6 —
————— 県中部観光 数	 允入込客	万人	1標 [積		220 217		230	240 —		250 —
士坐のお在	施設利用	•	成率	_	98. 69	0				
事業の目的 (なんのた めに)	観光情報	め 発信及	び地域特	産品の紹介	を通して、	観光振	興及び地域	の活性化	を図る。	
事業の 実施状況	清排	持管理を 帚等(パー 営負担金		<i>†</i> ⊆。 1, 078 1, 829						
成果と	〔課題〕 山阪			30	てもらう	誘客方法	.9 H20 H21 H. 去の形成 とを図る		H25 H26 H	27 H28
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	公平性	住民ニーズ、事: 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 10, 7, 3, 5, 3, 1, 0
評価点	7	3	5	3	3	1		目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。 えるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	平価点 計4 〇点満点		22	判定基準		、 終期認	状維持 C∶改 と定、委託の検			モの検討
				担当課に	こよる判定	と理由				
В	施設の運	営管理の	経常経費	であるため						

1 事業の成果及び評価

	<u> </u>			ᅩᄝᄽ				 		
事業番号	35	事業	名	白鳳祭	10 V 15	TIL T=# T= KB3	1 7.	事業区分	□新規	見 ■継続
担当課	商工観光		商工	弗	担当係	地域振興				知 少 弗
予算区分	秋				項	1 商工 事業費財			目 3	観光費
年度	臣	取 予算 (千)		決算額 (千円)	国 庫 支出金	果支出金	源内訳 その他 (収入)	起債	一般財源	備考
平成28	年度	4	, 200	4, 123			4, 00	0	123	基金繰入金
活動項	頁目	単位	年	度 2	6(実績)	27(実績	(1) (1)	28(実績)	29	30
実行委員会 体数	参加団	団体	実	績	30 29 97%	30 26 87%		30 26 87%		
事業の対象(だれに)	 町民、町	内事	<u>達</u> 原 業者、		9770	0770		0770		
								鳳祭」を開 ・観光の振		とにより、まちの。
事業の 実施状況	実行委開催 会場	日	3	載し、第20 〒成28年8 頁伯総合公	月7日	を開催し <i>†</i>	Ë o			
成果と 課題	た。 〔課題〕 住民参	∳加型	▪協賃	めによる道	置営方針を	、地域の位	必要があ	ります。		会を創出しまし
評価項目	必要性	妥当	_ á性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	受益者の偏りは	き託の可能性は。 はないか。 5,3,1,0
評価点	7	3	}	3	1	1	0	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員対 他の見本となり	か率はどうか。 5, 3, 1, 0
-	平価点 計40点満点	-		15	判定基準		、終期設	犬維持 C∶改 定、委託の検		し継続、委託の検討 Ł、廃止
E)イベント	<u>:よる判定</u> となってお 直しが必要	おり、本		主民の参画	意識が薄れてし

4-10

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	1079	事ま	[名	物産館	ことうら管理	里連宮		事業区分	□新規	見 1	■継続
担当課	商工観光				担当係						
予算区分	款		商工	費	項	1 商工	費		3	観光費	
	•••	最	終	決算額		事業費財		(千円)			
年月	₽	予算		W 1 3 T H2	国庫	1	その他		4	備	考
1 /2	^	(千		(千円)		県支出金	(収入)	起債	一般財源	Mu:	
							(127)				
平成28	年度	34	, 395	20, 60	7		12, 301	6, 400	1, 906	使用料	
・ナチュ	- -	*** / 1	<i>F</i> -		00 (554)	07 /rth/	±\	0 / 	00		00
活動項	貝日	単位	年		26(実績)	27(実績		8(実績)	29		30
<u></u>	*3 (本) 坐 し	- .	<u> </u>			74. 8		78. 6	82. 5		86. 6
年間観光入	人込谷剱	刀人	実		71. 3	67. 8		65 02.7%	_		
			達月			90. 6% 220)	82. 7% 230	240		250
具中部観光	t 入込客	万人	実		210	217		230	Z40		230
数		717	達瓦			98. 6%					
市業の社会			上の			30.0/)				
事業の対象 (だれに)	施設利用	者									
(/2/012)											
事業の目的	60 .I. I+ +0		/ -	&1.1 L b.14	_	-	60 J. I.	D = - - - -		<i>-</i>	
	観光情報	の発	信及し	が地域特	産品の紹介	を通して、	観光振り	興及び地域	の活性化	を図る。	
めに)											
	施設の維	士竺	r⊞ ' ⊊	11世まれ	± 1 +-						
				∈ 舌 でい	み し/こ。	2, 597	±m				
		帚等委									
事業の		水水費				7, 172					
実施状況					』への登録			の再整備等	に着手し	ました。	
	観う	七情報	窓口	等設置エ	事負担金						
	-7	- <i>1</i> -	. じ拗:	去等工事	書	2, 258	千円				
	γ-	/	I'IIX.	A 47 47 47	貝						
				ムサエす			千円				
	ľì										
	『i 〔成果〕	道の駅	案内。	□ への広	告料	800	千円				
	『i 〔成果〕	道の駅	案内。	への広	告料	800	千円 した。				
	『i 〔成果〕 道0	道の駅 の駅登 各種額	案内。 :録に。 観光マ	』への広 よる認知 アップや	告料 度アップか カーナビな	800 [*] 図られま どへの対応	千円 した。 忘等				
	『i 〔成果〕 道0	道の駅 の駅登 各種額	案内。 :録に。 観光マ	』への広 よる認知 アップや	告料	800 [*] 図られま どへの対応	千円 した。 忘等				
	『i 〔成果〕 道0	道の駅 の駅登 各種額	案内。 ・録に。 観光マ	』への広 よる認知 アップや	告料 度アップか カーナビな	800 [*] 図られま どへの対応	千円 した。 忘等				
	『i 〔成果〕 道0	道の駅 の駅登 各種額	案内。 ・録に。 観光マ	』への広 よる認知 アップや	告料 度アップか カーナビな	800 [*] 図られま どへの対応	千円 した。 忘等				
	『i 〔成果〕 道0	道の駅 の駅登 各種額	案内。 ・録に。 観光マ	』への広 よる認知 アップや	告料 度アップか カーナビな	800 [*] 図られま どへの対応	千円 した。 忘等				
	『i 〔成果〕 道0	道の駅 の駅登 各種額	案内。 ・録に。 観光マ	』への広 よる認知 アップや	告料 度アップか カーナビな	800 [*] 図られま どへの対応	千円 した。 忘等				
成果と	『i 〔成果〕 道0	道の駅 の駅登 各種額	案内。 ・録に。 観光マ	』への広 よる認知 アップや	告料 度アップか カーナビな	800 [*] 図られま どへの対応	千円 した。 忘等				
成果と課題	『i 〔成果〕 道0	道の駅 の駅登 各種額	案内。 ・録に。 観光マ	』への広 よる認知 アップや	告料 度アップか カーナビな	800 [*] 図られま どへの対応	千円 した。 忘等				
成果と課題	『i 〔成果〕 道0	道の駅 の駅登 各種額	案内。 ・録に。 観光マ	』への広 よる認知 アップや	告料 度アップか カーナビな	800 [*] 図られま どへの対応	千円 した。 忘等				
	『i 【成果】 道 6 周 i	道の駅 の駅登 各種額	案内。 ・録に。 観光マ	』への広 よる認知 アップや	告料 度アップか カーナビな	800 [*] 図られま どへの対応	千円 した。 忘等				
	『i 【成果】 道 6 周 i 【課題】	道の駅 の駅登 各種種 辺の再	案内。録には観光備に	』への広 よる認知 マッよる集	告料 度アップかカーナビな 客増が見込	800 「図られま どへの対 いまれます	千円 した。 な等 。	.			
	『i	道の駅 の駅登でである。 のの用のの用ののののののののののののののののののののののののののののののの	案内。録光備は	『への広 よっぱるプる したり	作料 度アップかカーナビス である	800 「図られま どへの対応 とまれます らとしての	千円 した。 いちょう ひちゅう のの のの かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし				
	[i] [成果道 課題] 課題] =	道の駅 の	案は一旦の表現を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生を発生されている。	・	告料皮アナップでである。からでは、が見いでは、がはません。からません。	800 「図られ対 とまれます しししたのの商	千円 した。 コード				
	「 「成果道の は課題観 に関題観 に関する に対する。 にがは、	道 から	案 録観整 を館導 活こん	・ はった で	告料カタカタカタカッピラからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからから<l></l>	800 「図へれまが ととし でたき でたき でたき	千 した。	広報の充実			
	「 「成果道の は課題観 に関題観 に関する に対する。 にがは、	道 から	案 録観整 を館導 活こん	・ はった で	告料皮アナップでである。からでは、が見いでは、がはません。からません。	800 「図へれまが ととし でたき でたき	千 した。	広報の充実			
	[i] [成果] (成果) (成果) (成果) (成果) (成果) (成果) (成果) (成果)	道 ひ各辺の 光⇒引⇒の 駅 窓物活観 で	案 録説整 を館導協 活こ人会	・	告料カタカタカタカッピラからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからからから<l></l>	800 図られます ことと理じます の商のイ	千 しな。 認品委べ 円 た等 知開託ン 度発 ト	広報の充写 の実施			
	[] () () () () () () () () () (道 ひ各辺 光→聞→道の 駅本種再 口産力光 で	案 録観整 を館導協と 活こ入会陰	・	(た) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	800 800 800 800 800 800 800 800 800 800	千 しな。 認品委べ 円 た等 知開託ン 度発 ト	広報の充写 の実施			
	[] () () () () () () () () () (道 ひ各辺 光→聞→道の 駅本種再 口産力光 で	案 録観整 を館導協と 活こ入会陰	・	(告料 アナが アナが のを取ると まなば ままな と まな と ままな と ままな と まな と ままな と まま	800 800 800 800 800 800 800 800 800 800	千 しな。 認品委べ 円 た等 知開託ン 度発 ト	広報の充写 の実施			
課題	[] () () () () () () () () () (道 ひ各辺 光⇒聞⇒道⇒ の 駅呑の 窓物活観9接 口産力光 (続)	案 録観整 を館導協して 一条 の	・	(告) おおい では では では できま	800 ぎどま とと理にの携 としてまがす の商のイ駅	千 しな。 認品委べの円 た等 知開託ン連度発 ト携のと 等強	広報の充身 の実施 化 ^{必要性}	住民ニーズ、事		10, 7, 3
	[] () () () () () () () () () (道 ひ各辺 光→聞→道の 駅本種再 口産力光 で	案 録観整 を館導協して 一条 の	・	(告) おおい では では では できま	800 800 800 800 800 800 800 800 800 800	千 しな。 認品委べ 円 た等 知開託ン 度発 ト	広報の充写 の実施 化 ^{必要性} ^{妥単性}	住民ニーズ、事 行政必須か、委	託の可能性は。	10, 7, 3
課題	[T	首 ひろひ 光→引→首→ の 駅各の 窓物活観号接 妥 口産力光 (続) 当	案 録観整 を館導協とへ 性 活こ入会院向 サー	よっに 用との等道け へ	(告) おおい では では では できま	800 800 800 800 800 800 800 800 800 800	千 しむ。 認品委べの 生物 大等 知開託ン連 先独 度発 ト携 駆創 のと 等強 性性	広報の充写の実施化 必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3 5, 3, 1,
課題	[T	道 ひ各辺 光⇒聞⇒道⇒ の 駅呑の 窓物活観9接 口産力光 (続)	案 録観整 を館導協とへ 性 活こ入会院向 サー	よっに 用との等道け へ	(告) おおい では では では できま	800 800 800 800 800 800 800 800 800 800	千 しむ。 認品委べの 生物 大等 知開託ン連 先独 度発 ト携 駆創 のと 等強 性性	広報の充写の実施化 必要性 妥当平性 有効率性 効率性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効	託の可能性は。 ないか。 できたか。 なはどうか。	10, 7, 3
評価項目	[] () () () () () () () () () (首 ひろひ 光→引→首→ の 駅各の 窓物活観号接 妥 口産力光 (続) 当	案 録観整 を館導協とへ 性 活こ入会院向 サー	・	(告) おおい では では では できま	800 ぎどま とと理にの携 としてまがす の商のイ駅	千 した。 認品委べの	広報の充写の実施化 必要性 妥当平性 有効率性 効率性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成	託の可能性は。 ないか。 できたか。 なはどうか。	10, 7, 3 5, 3, 1, 5, 3, 1,
評価項目評価点	[T	道 ひ各辺 光⇒引⇒道⇒ の 駅各の 窓物活観9接 妥 プロ産力光号続 当 プロ	案 録観整 を館導協とへ 性 活こ入会院向 サー	までに いる いよ いる で	### ### #############################	800 「でとま とと理にの携 効 る *** ないでは、	千しな。認品委べの先独大独要別思別思別思別思別現のと等強性性以	広報の充写 の実施 化 必要性 受当平性 対率性 光駆性・独創性 維持 C:改	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員数り 他の見本となり 善・効率化	託の可能性は。 ないか。 できたか。 かなどうか。 えるか。 し継続、委詞	10, 7, 3 5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1,
評価項目評価点言	[] [] [] [] [] [] [] [] [] []	道 ひ各辺 光⇒引⇒道⇒ 駅各の 窓物活観9接 妥 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	案 録観整 を館導協とへ 性 活こ入会院向 サー	よっに 用との等道け へ	(告) おおい では では では できま	800 「でとま とと理にの携 効 る *** ないでは、	千しな。認品委べの先独大独要別思別思別思別思別現のと等強性性以	広報の充写の実施化 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員数り 他の見本となり 善・効率化	託の可能性は。 ないか。 できたか。 かなどうか。 えるか。 し継続、委詞	10, 7, 3 5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1,
評価項目評価点言	(京) (京) (日) (京	道 ひ各辺 光⇒引⇒道⇒ 駅各の 窓物活観9接 妥 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	案 録観整 を館導協とへ 性 活こ入会院向 サー	までに いる いよ いる で	B	800 「でとま とと理にの携 効 る *** ないでは、	千 しな。 認品委べの 先独 B 終 田	広報の充写 の実施 化 必要性 受当平性 対率性 光駆性・独創性 維持 C:改	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員数り 他の見本となり 善・効率化	託の可能性は。 ないか。 できたか。 かなどうか。 えるか。 し継続、委詞	10, 7, 3 5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1,
評価項目評価点言	(京) (京) (日) (京	道 ひ各辺 光⇒引⇒道⇒ 駅各の 窓物活観9接 妥 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	案 録観整 を館導協とへ 性 活こ入会院向 サー	までに いる いよ いる で	B	800 「できます」とと理にの携効を いのますでは、 にしてでは、 なのでは、 ないでは	千 しな。 認品委べの 先独 B 終 田	広報の充写 の実施 化 必要性 受当平性 対率性 光駆性・独創性 維持 C:改	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員数り 他の見本となり 善・効率化	託の可能性は。 ないか。 できたか。 かなどうか。 えるか。 し継続、委詞	10, 7, 3 5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1,
評価項目 評価点	() () () () () () () () () ()	首 ひろ辺 光→引→首→ 小訳各の 窓物活観号接 妥 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 」 「 」	案録観整を館導協して、性のに、予備に、予算に対象のでは、としく、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、対象のでは、ないの	まで、	B	800	千 しな。 認品委べの 生、と と	広報の充写 の実施 化 <u> 必要性</u> <u> 図当平性</u> <u> 物率性</u> <u> 発駆性・独創性</u> 発験性・独創性 発験は・独創性 産、	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益標数値は員 は 人 の見本となり 他の見本となり 善・効率化 計 E:休止	託の可能性は。 ないか。 できたか。 車はどうか。 えるか。 し継続、委言	10, 7, 3 5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1,

	<u> </u>			+ > 11 4	<u> </u>		/0 // 古 //	古米ロハ	l	P	■ 6 00 6±
事業番号 担当課	23	事業	名	さりりタ		下団地定住 地域振興∙		争耒区分	□新規	兄	■継続
予算区分	<u> </u>		商工資	弗	項	1 商工		l F		地域振	an 弗
了异位刀	办人		終	· · 決算額	快	_		(千円)] 4	心状派	哭 艮
年原	支	取 予算 (千F	額	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	ぶり訳 その他 (収入)	起債	一般財源		備考
平成28	年度	6,	, 800	6, 700			5, 600		1, 100	基金繰	入金
活動項	頁目	単位	年		6(実績)	27(実績	2 8	3(実績)	29		30
きらりタウ 地の販売	フン分譲	区画	目 ² 実 達成	績	5 9 180%	5 8 160%		5 9 180%	5		5
事業の対象 (だれに)	きらりタ	ウン・	- 槻下	団地分譲	(地への入	居者等					
事業の目的 (なんのた めに)	ある地域	社会ℓ	の創造	5をますま	す困難に	、都市部へ させている 174区画、	る。都市台	邪からの移	住や交流	促進、	おり、活力 若年層の転 iした。
事業の 実施状況	分詞	譲地入.	居者に	こ対するな	ういました 定住促進奨 主促進謝礼	励金 6.	600 千円 100 千円				
成果と課題	残 き 課期 間	5 リタ 年度 H26 H27 H28	ウンジー		大況 内県外 2 3 0		<u>内町内</u> 6 4 8				1 の区画が
評価項目	必要性	妥当	i性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性にないか。	ま。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	3	10	0	1	0	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員対 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
-	平価点 計4 〇点満点	-		18	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		・ 維持 C∶改 E、委託の検			
					担当課に	よる判定	と理由				
В	現在も	562	区画か	「残ってお	らり、住宅	供給公社と	∶連携を図	図りながら	、継続し	た販売	足進が必要

1 事業の成果及び評価

·	9 MI 12	•										
事業番号 1137	事美	美名 コ	トウラ	暮らしお訳	式し滞在住	宅事	業	事業区	分	□新規	見	■継続
担当課 商工観光	課			担当係	地域振興	係						
予算区分 款	6	商工費		項	1 商工	費			目	4	地域	振興費
	最		算額					(千円)				
年度		算額 円)(·	千円)	国庫支出金	県支出金	その (収		起債	— f	般財源		備考
平成28年度		707	561				109			452	利用	————— 料等
活動項目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	責)	28	(実績)		29		30
		目標		10	10			10		10		
利用者数	人	実績		17	9		12					
		達成率		170%	90%		120%					
		目標		2	2			2				
利用後の移住者数	人	実績		1	5			2				
		達成率		50%	250%			100%				
車業の対象												

事業の対象 | 移住定住希望者

事業の目的 (なんのた めに) 人口増加による活力に満ちた地域づくりを推進することを目的として、県外から琴浦町への移住を希望する者に対し、本町への移住定住促進を図るため、気候、風土、生活が体験できる施設として、お試し住宅を設置する。

滞在期間中は、生活面(病院・店舗等)の確認、住まい・仕事探しなどを行っている。

事業の 実施状況 施設の維持管理及び運営を行いました。 修繕料 111 千円 警備保障等 92 千円



〔成果〕利用実績

利用期	間	人数	利用者住所	備考
5/19~5/21	2泊3日	2	静岡県御殿場市	
7/14~7/19	5泊6日	2	神奈川県茅ヶ崎市	
9/17~9/19	2泊3日	2	大阪府茨木市	
9/28~10/19	21泊22日	2	神奈川県茅ヶ崎市	H29.3転入
11/8~11/10	2泊3日	2	大阪府茨木市	
3/24~3/27	3泊4日	2	静岡県御殿場市	H29.3転入
計	41日間	12		

成果と 課題

[課題]

全国的にお試し住宅の利用料は安価なため、観光目的、ホテル代わりに使用されるケースが問題となっている。

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	3	7	1	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	平価点 計		18	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				その検討

担当課による判定と理由

B H25の事業スタートから延べ29家族、41人が利用され、その内5家族10人が転入へと繋がった。 一定の成果が見込まれるため、引き続き事業を継続するほか、H29からはワーキングホリデー の宿泊場所としても活用していく。

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

В

	の成果を	なび評値				サ未火ス	<u> </u>		T IMI TG	
事業番号		-	業名	移住定住				事業区分	□新規	見 ■継続
	商工観		I	#	_	地域振興				u. 나보는 co #
予算区分	款		商工		項	1 商工			∄ 4	地域振興費
年月	由	最多	終 算額	決算額	国庫	事業費財	<i>源内訳</i> その他	(千円)	l	l 備考
).	又		+ 60	(千円)	国	県支出金	(収入)	起債	一般財源	IIII 75
平成28	8年度		B, 176			2, 115	240		5, 051	交付金返還金
活動」	百日	単位	午			27(実績	E) 29	(実績)	29	30
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	快口	中世		標	10	10	₹/ 20	10	10	30
空き家の登	斧 録	件		績	8	14		14	10	
			達月	戊率	80%	140%		140%		
	<u></u>	,,,		標	10	10		10	10	
空き家の原	灭立	件		積	9	13		10		
		+		<u> </u>	90%	130%		100%		
				績						
				戊率						
事業の対象		住者・	差 望。	¥						
(だれに)										
事業の目的 (なんのた	しく、後	後継者のる	不在につ	つながり、空	き家や遊休	農地の増加は	は深刻な状況	?となってい	る。	の過疎化、少子化は著 いる。若年層の転出抑
めに)				せ、地域資源となってきて		空き家」の積	極的な活用	など、IJI	Jターン者の)受入体制の整備を
事業の 実施状況	空き家 名 名 受	情報登 呈き家購 呈き家提 そ入集落	録制原 構入者 提供者 客(30	度利用者へ 又は利用者 (200千円 千円×4件	の補助金 針(400千 ×4件))	目談等に対 ·交付金を 円×5件) た (500千	交付しま	し <i>た</i> 。	2, 778 2, 920 1, 500	千円
	〔成果	者の状	況	世帯数	人数	1				
		H27年	度	129	173	※内Uタ	ーン者数	52人		
		H28年	度	101	140	※内Uタ	ーン者数	76人		
	〇空き	家ナビ	を利用	用した移住	定住奨励	金実績				
				件数	金額	-				
	_	H27年		6	2, 000,					
	_ <u>_</u> _	H28年		5	2, 000,	000				
成果と		家リフ	オーユ	は補助金実		. 1				
課題	I	비아기左	<u></u>	件数	金額 2, 206,					
	<u> </u>	H27年 H28年		5 3	1, 500,					
	 かき	<u> </u>			1, 300,	000				
	۱∼∓È	かノし	マンバス	五件 <u>級</u> 賃貸	売却	合計				
	⊢	H27年	度	_ _{只 只}	6 6		※内町外	5件		
	ı ⊢	H28年		5	5		※内町外			
	 〔課題						.1\ 1 -1 7	• • • •		
			助成制	削度の競争	·が始まっ	ている。」	ターン剤	6望者から	選ばれる	には、充実した助
						体のブラン				
評価項目	必要性	生 妥	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 10, 7, 3, 0
評価点	7	1	0	1	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	tできたか。 5, 3, 1, 0 h率はどうか。 5, 3, 1, 0
	上 評価点 40点満			25	判定基準			維持 C∶改		し継続、委託の検討
					担当課は	 こよる判定	と理由			
	125 ± 1	-	_ ==·	+m ++ ~		- U - I			++	

将来も安心して琴浦町で暮らし続けるため、また地域づくりの担い手を確保するためにも、継続した粘り強い移住定住施策の取り組みが必要

1 事業の成果及び評価

	0成果及0			去法士		市业		古米広八	+ 0 +0	■■ ぐ \\\\\ ¢ ±
事業番号	414 辛工短火		Ě名	父流不	ットワーク		IT.	事業区分	□新規	■継続
担当課			ᆇᅮ	弗		地域振興			□ 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	+++
予算区分	款		商工		項	1 商工		(T.III)	1 4 地	域振興費
<u>_</u> -	_		終	決算額		事業費財		(千円)		:++ - -
年月	艾	予算		/~ T	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備考
		(千	円)	(千円)	支出金	,,,,,,,,	(収入)	,C 2	7,547,7 111,31	
平成28	2年度		541	20	94				394	
十,火20	十戊		J 4 I]	74				394	
活動耳	頁目	単位	年	度	26(実績)	27(実約	5) 28	3(実績)	29	30
				標	600	600		600	600	
ふるさと係	更販売数	個		績	580	495		492		
		"		戊率	97%	83%		82%		
				標						
		l i	実	!績						
			達月	戊率						
				標						
			実	績						
			達凡	戊率						
事業の対象	琴浦町出	1白.李·	で旧り	人士八十						
(だれに)										
	_	CIY.	ᆸᆙ	מפיתוו	取租。 古	して今浦四	1てなり、	旧果旧则	山牙伯も己の	の今用云を設立
	した。	7 ===	85		12 10 14 IL II	. — ** ** 	누 - 라 - L co	=	10 18 21 18 2 1	. 7 = ~=====
事業の目的	町か抱え	. る課	退とし	して、足	任促進や地	の元産業の育	育 灰 振興、	雇用の傩	保か挙けられ	れる。この課題
										もとより、意見
めに)										设発信、特産品
			さと約	內稅、斡	旋等を通じ	で、町外が	いらの情報	報を提供し	ていただき、	町の活性化に
	つかげて	-117								
	- 1. 2.5	— n+	. 7 -	- 1./≡						
	ことうら						<u> </u>	m		4 = 0 4
事業の	地フ	て特座	品を	詰めめれ	つせたふるる	さと毛思便	を企画し	、則囚外个	>の販売促進	を図りました。
実施状況										
	第11回「	琴浦:	会」『	東日本地	区交流会を	・開催しまし	った。(H	l28. 4. 9)		
	出品	年:会	員他	37名、田	丁関係者 8	3名				
	〔成果〕									
		トラム	= #	ふるさり	: 便利用件数	έ⁄π				
				H26	H27	H28				
		販売数	数	580	495	492				
				560	495	492				
		<u> </u>	- ···							
	琴》	#会会			A = 40.	1			•	
成果と			員数		会員数	赤碕地		伯地区		
成来と 課題		西日	本地区	<u>×</u>	68名	3	7名	3 1 名		
小区		東日	本地区	X	49名	i 1	7名	3 2 名		
			<u></u> 計		117名		4名	63名		
			-				1		1	
	〔課題〕									
		・レ油・	ı+ =	に 主 粉 へ	油小!- L!!	1 エニング	たの制 炉す	患が恰山っ	きなくなって	ています
						、促進が必要	異なはか、	親睦会だ	けとならなし	いよう事業内容
	の見直し	かめ	安とな	よってい	より 。					
			_							
部(本)表口	心曲州	177 V	ᇈᄽ	77. 11. 144	- 	사·수·사	先駆性	必要性	住民ニーズ、事業の必	, , , ,
評価項目	必要性	妥当	コ1土	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委託の 受益者の偏りはない	
		_			.4		_	有効性	目標数値は達成でき	
評価点	3	3	3	0	1	3	0	効率性	コスト・人員効率は	どうか。 5, 3, 1, 0
								先駆性・独創性	他の見本となりえる	か。 5, 3, 1, 0
_	评価点 計			10	判定基準					続、委託の検討
	4 0 点満点	()			117020-1	D:規模縮小	`、終期設足 ————	E、委託の検 ——	討 E:休止、®	発止 ———
					担当課	こよる判定	と理由			
			٠.	18 1 4-		- 3 - 1 - 114 -		. +		

C

ふるさと便は、必ずしも行政が実施すべき事業ではないと考える。 琴浦会については、町のPRを担っていただくなど、事業内容の見直しが必要です。

	成果及で		ь І л ш	 , 	- 1 // /-				+*- /			- Ank At
事業番号担当課	38 帝工細少		名 公共	父迪又	^{対策} 担当係	地域振興係	<u> </u>		事業区分	□新規	₹	■継続
予算区分	款		有工費		項	1 商工			E	4	地域振興	祖書
, , , , , ,	491	取引	≋ 法	算額		事業費財		R	(千円)			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
年度	ŧ	予算額 (千 四)	供	円)	国 庫 支出金	県支出金	その (収)	他	起債	一般財源	1	備考
平成28		61, 2		0, 313		12, 469		684			町内バス	
活動項	目	単位	年度		6(実績)	27(実績			8(実績)	29		30
ショシロカ	· 14.		目標		30, 000	80, 000			80, 000	80, 00	0	
バス利用者	「	ᄉ	<u>実績</u> 達成率	3	37, 853 110%	87, 144 109%	+		78, 979 99%			
			目標	8	000, 000	8, 000, 0	00	8	000, 000	8, 000, 0	000	
バス運行収	八	四	実績		476, 025	8, 604, 8			684, 194	0, 000, 0		
			達成率	,	106%	108%		,	96%			
事業の対象 (だれに)	琴浦町民	、公共	交通利	用者	(通勤・通	学者、観光	客等)					
めに)	り、生活 <u></u> 町営バス	·路線の . (5路)確保を 線) 運	図る。 テ委託	また、交: 料	通空白地に	は、タ		シーの運行 シー利用券 46, 179	助成を行う 千円		推持によ
事業の 実施状況		型乗合 所設置	タクシ 費補助	- (1	路線)運行	費補てん分 示委託料			8, 162 2, 973 1, 193 454	千円		
成果と 課題	上野れる。	法万総 引井倉総 高永線 計海岸 合計 ・ドタク ・中村総	は 19 6 8 22 線 20 78 シー実 は 1	, 780 , 780 , 353 , 973 , 861 , 979 結績(追, 940	単位:人)	更新に要す	⁻る費♪	用負	担が課題で	· す 。		
評価項目	必要性	妥当怕	生公	平性	有効性	効率性	先駆 独創		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委託 受益者の偏りはな	その可能性は。 ないか。	10, 7, 3, 10, 7, 3, 5, 3, 1, 0
評価点	10	3		3	1	3	1	_	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成で コスト・人員効率 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	価点 計		2	21	判定基準	A∶事業拡充 D∶規模縮小			^{元駆性・独劇性} 持 C∶改善・ 委託の検討	効率化し継	続、委託の	
					担当課	による判定	こと理じ	由				
В	車輌の更	新も含	め、今	·後の3		検討してい						

	0成果及で			ロ際ナオ	0 14 14			まやらハ		- Ally 6+
事業番号 担当課	20 - 新工細业		業名	国際交流		地域振興	IT.	事業区分	□新規	見 ■継続
予算区分	割上観九		商工	 費	項	1 商工				地域振興費
3 31 73	7,51		終	決算額		事業費財		(千円)		
年月	隻	予算	算額 円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考
平成28			3, 517						3, 379	
活動項	頁目	単位			6(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29	30
設定なし			里実							
1 A			達原							
事業の対象(だれに)	町民									
										行っている。 の国際意識の高揚
事業の 実施状況	^韓 遊 友好親善 招聘	韓国語 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	講座 と定り 協定が	の講師(4 ての派遣 tの韓国コ ルメ de d 終り(1/2)	毎週火曜日 (年間8件) 原道麟蹄 めぐるウォ	1)) 郡との交⅓ ⊦ーク(10 ほか職員4	売事業を↑ /15)	意識の高 うぎのとお 副郡守ほ	り行いま	
成果と 課題	また る 〔課題〕 都で での	たことが おおに	際交 でき おは	流コーディ ました。 ては外国。 少ない状況	ィネーター 人が急増し 兄です。	-の活動に	より、町 共生社が課	の実現がす 題です。	文化に触	れる機会を提供すいますが、琴浦町
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 10, 7, 3, 0 ないか。 5, 3, 1, 0
評価点	3		3	1	0	2	0	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。 5, 3, 1, 0
	平価点 計40点満点			9	判定基準		、 終期設況	維持 C∶改 定、委託の検		し継続、委託の検討 - 、廃止
D	行政主体	の交	流を2	0年続けて		こよる判定 間主体の3		シフトして	いくこと	が必要。

事業番号	26	事第	美名	三本杉ふ				事業区分	□新規	見 I	■継続
	商工観光		* -	#		地域振興				TIP T=# T= (U)	#
予算区分	款	6 最	商工	_質 決算額	項	1 商工 事業費財		(千円)	<u> </u>	地域振興	賀
年月	ŧ	取 予算		次 异似	国庫		その他		l		考
	~	千		(千円)	支出金	県支出金	(収入)	起債	一般財源	μ η.	
平成28	年度		70	66			(10 4 7 7 7		66		
 活動 ^및	頁目	単位	年	度 26) (実績)	27(実約	責) 2	8(実績)	29		30
			目	標							
設定なし			実								
車業の対象				戊率							
事業の対象(だれに)	主として	古布	庄南部	邓地区住民	:(三本杉	ふるさとタ	· · · · · · · · · · · · · ·	委員会)			
事業の目的	地域住民	.のな:	流生 オ	と図る							
めに)		,0,2,	<i>и</i> п 11 (- E 0 0							
		ı -t z /:			八十年四	エ ロ ヘ 、 /	_ 1 1146		3.24 <i>-</i> 4	<u>+ , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>	
	指疋官埋	!有(.	二本不	うかるさと	分校官埋	委貝会)「	こより他	設の管理選	望宮を行い	ました。	
事業の											
実施状況											
	〔成果〕										
	施討	设利用	者数	3, 14	17人						
	〔課題〕										
			拓化	に伴う修約	並が懸念さ	れる。					
	л	~***	,,,,,	1-11 7194		. 10 00					
成果と											
課題											
評価項目	必要性	<u>57</u> 1	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性	住民ニーズ、事行政必須か、委		10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0
計価項目	必安注	女目	ョュ	ATIL	有刈注	刈平注	独創性	公平性	受益者の偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7)	0	3	3	1	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員対]率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
=	平価点 計			.4.6		V・串条件よ	Z D · 1841	-1	他の見本となり		5, 3, 1, 0
	40点満点			14	判定基準		`、終期設	t維持 C∶改 定、委託の検		し継続、安語 :、廃止	九の快計
					担当課に	よる判定	と理由				
D	施設のあ	り方に	につい	いて方針を	検討する	必要があ ^り	ります				

28 年度 事業成果説明書 兼

事業の成果及び評価

事業番号	415	事	業名	日韓	友好?	交流公園管	曾理運営		事業区	☑分		⋾新規	見	■継続
担当課	商工観光	課				担当係	地域振興	係						
予算区分	款	6	商工			項	1 商工	費		E		4	地域:	振興費
		最	終	決算	額		事業費財		(千円)				
年月	年度 予算額 (千円) (千円				円)	国 庫 支出金	県支出金	その (収	起債	E E	一般	財源		備考
平成28	3年度	2	1, 590	4.	276						4,	276		
活動工	項目	単位		度		(実績)	27(実績		(実績))		29		30
年間来館者	皆数	人	実	標 績 述 率	1	2, 000 1, 341 95%	12, 00 9, 924 83%		2, 000 9, 067 76%					
古米の公布														

事業の対象 町民ほか (だれに)

事業の目的 (なんのた めに)

日韓友好資料館及び日韓友好交流公園「風の丘」を情報発信拠点として、広く日韓交流の現状 及び韓国を理解してもらうことを目的とする。

事業の 実施状況

日韓友好を推進するため、国際交流の象徴ならびに観光資源として有効活用するために施設 の管理運営を行いました。

日韓文化交流促進ウィークを開催し、韓国文化に親しんでいただく機会を創出しました。 10月6日~13日

期日

交流写真展(東伯中と新南中、WTCグルメdeめぐるウォーク麟蹄郡招聘) 内容

シウォレマダン (民団主催)

〔成果〕

日韓友好資料館来館者数

平成22年	31,847 人
平成23年	22,668 人
平成24年	17,438 人
平成25年	15,607 人
平成26年	11,341 人
平成27年	9,924 人
平成28年	9,067 人



成果と 課題

[課題]

年々、来館者数が減少しており、来館者を増加させる工夫が必要です。

	評価点 計		12	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮/		維持 C∶改	(善・効率化し継続、委託	5,3,1,0 tの検討
評価点	3	3	1	1	3	1	有効性 効率性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	·					独創性	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
						# #5.14	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10. 7. 3. 0

担当課による判定と理由

C

韓流ブームが終わり、来場者が徐々に減少しています。 イベントの開催や展示物の充実を図ることにより、リピーターを増やす取組みが必要です。

事業番号)成果及(25	事		八橋ふれ	しあいセン :	ター管理		事業区分	□新規		■継続
	商工観光					地域振興					
予算区分	款		商工		項	1 商工			目 4	地域振興	費
<u>_</u> _	_	最	終	決算額		事業費財		<u>(千円)</u>		,	
年月	支		算額 四)	(.T.III)	国庫	県支出金	その他		一般財源	備	考
		(+	円)	(千円)	支出金		(収入)	1 - 11 -			
平成28	年度		619	57	1				571		
・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・	- -	224 / 1	<i></i>)C /ch/#\	07 / ch 4:	= \) (00	<u> </u>	20
活動功	貝日	単位		度 <mark>2</mark> 標	26(実績)	27(実約	頁)	28(実績)	29		30
設定なし				惊 績							
成人·6 U				龙率							
事業の対象	主として	八橋		•	振興魁の会)			•	•	
(だれに)											
事業の目的 (なんのた めに)	地域住民	,の交	流等を	₹図る。							
事業の 実施状況		·書()			の会)によ 1 千円	り管理運営	営を行い	ました。			
成果超	〔課題〕	没利月	用者数 		877人	念される。					
評価項目	必要性	妥旨	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	安当性		託の可能性は。	10, 7, 3, 0
評価点	7	()	0	3	3	1	公平性 有効性 効率性	受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員交	だできたか 。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	平価点 計	`				A:事業拡充	•	先駆性・独創性 大維持 C:ご	生 他の見本となり	りえるか。	5, 3, 1, 0
	1 0 点満点			14	判定基準			定、委託の根			IVH1
					担当課に	よる判定	と理由				
D	施設のあ	り方	につい	い て方針:	を検討する						

	0成果及で			△₩₩□	h 惟 准 市 世			=	主衆はハ	±£+	8	■ 幺座幺士
事業番号担当課	873 商工観光	事第	卡伯	止耒訪的	対推進事業 担当係	商工係		į	事業区分	□新規	兄	■継続
予算区分	尚上観元 款		商工	書	項	1 商工	費			5	企業誘致	推進費
1 31 [2 /]	495	最	終	· · · 決算額		事業費財		1	(千円)	- 1 5	工不助以	ルルペース
年月	隻	予算	算額		国庫	県支出金	その作	也	起債	一般財源	偱	持
		(千	円)	(千円)	支出金	宗又山並	(収入	.)	起惧	一板別源		
平成28	(在度		352	34	2					342		
						/ /						
活動工	頁目	単位			26(実績)	27(実績	責)	28 (実績)	29		30
┃ 新規企業 <i>0</i>	を動く	件	目 実		0	0			1			
WINDER O	7 1/3 1/3	"	達原		0%	0%		1	00%			
事業の対象	県外の企	**		•							•	
(だれに)	未がり正	未、	天	山仲寺								
事業の目的												
	県外から	企業	を誘致	対るこ	とにより、	町内の雇用	用の場の	の拡:	大を目指	iす。		
めに)										, -		
	県外企業	や関	係者人	つの交流:	会への参加	のほか 1	个業計!	問筌:	を行いま	11.7-		
		ᆞᆞ	,,, LJ C	~ //16.	~ <i>~~ ~ /</i> //		- ^~ 1/1	, ¬T	_ 110 6	J / C 0		
事業の												
実施状況												
	〔成果〕											
		to o	年8.	B #	碕新港にあ	★恙毎埋た						
	⊤ 13	, 	+0.	口外	加利化化	では思物で	7万 大人					
	〔課題〕											
					常に1を起							
成果と					能実習制度			を確	保してい	いる状況も	ある中、	多くの雇
課題	用名	と行う	企業:	誘致は難	しい時代と	こなつてい	る。					
					Ι.	<u> </u>	先駆性	生业	必要性	住民ニーズ、事	業の必要性は。	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	独創性	4 多	子当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは		10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
			$\overline{}$		+ -		4	有	勃性	目標数値は達成	できたか。	5, 3, 1, 0
評価点	3	1	0	1	5	3	1		加率性 ・駆性・独創性	コスト・人員効 他の見本となり		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	平価点 討	-		00	alou ad - d.L. + · ·	A:事業拡充	· B:理			善・効率化		•
	4 0 点満点			23	判定基準	D:規模縮小	1、終期記	設定、	委託の検	音 - 効平に 討 E:休止		10071201
					担当課に	よる判定	と理由					
D	人 ホオ ±. —	終1-:	移転す	トる木針	移転の企業	誘致かどに	士 리=	き結	き推准し	ていきた	LA	
ן ע ן	ハツ	小日1〜~	コシキムソ	ሳ ሌላ ተ	ッ拟の止未	17万以(よこ)	٥, ٦١٥	- 11/10	ご注集し	C 0.012	· · o	

所 属 名 称:税務課

(単位:千円)

(款−項−目−事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ページ)	(備考)
一般会計				
税務課	86,119	81,806		
2.総務費	42,715	39,991		
2.徵税費	42,715	39,991		
1.税務総務費	2,976	2,758		
税務総務	2,976	2,758	5-1	
2.賦課徴収費	39,739	37,233		
課税事務	10,864	9,708	5-2	
徴収事務	17,701	16,933	5-3	
評価事務	11,174	10,592	5-4	
5.農林水産業費	43,404	41,815		
1.農業費	43,404	41,815		
6.地籍調査事業費	43,404	41,815		
国土地籍調査事業	43,404	41,815	5-5	

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	55	事業	集名	税務総	務					事業区分	□新規	見 I	■継続
	税務課					担当係							
予算区分	款		総務			項	2 徴収			E	1	税務総務	費
	_	最	終	決算	額		事業費財	源内	沢	(千円)			
年	芰		算額			国庫	県支出金	その		起債	一般財源	備	考
	· /	(千		(千円		支出金	***	(収)	人)	~ C			
平成28		2	2, 976	2,	758						2, 758		
平成28年		*** / 1			0.0	/ /=\	07 / /-	+\		/ eta Asta \	00		00
活動	貝日	単位		度	26	(実績)	27(実約	頁)	28	3(実績)	29		30
設定なし			中	標 !績									
政定なし				北 率									
事業の対象(だれに)	税務課金	全般	~	~								l	
事業の目的 (なんのた めに)	税務課金	全般 <i>0</i>)管理	事務を	ے د	3 .							
事業の 実施状況	税務課金	全般 <i>0</i>)管理	事務を	ا ځ	り、円滑な	₿税務行政	の遂行	行を	行いました			
成果と 課題	[課題]						の向上及て	の知	識 <i>の</i>				
評価項目	必要性	妥当	当性	公平	生	有効性	効率性	先駆 独創		必要性 妥当性	住民ニーズ、事 行政必須か、委	託の可能性は。	10, 7, 3, 0
		_					_	3.4.15	111	公平性 有効性	受益者の偏りは目標数値は達成		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7		0	5	1	3	5	1		効率性	コスト・人員効他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
(評価点 計40点満点)		31		判定基準		ヽ、終其	明設定	維持 C∶改 ☑、委託の検			その検討
						担当課に	よる判定	と理由	3				
В	法令、	条例等	等を遵	守し、	公平	平公正な詞	果税並び徴	火に	継続	して努める	る必要があ	あります 。	

	の成果及び	評価									一般会計	
事業番号	1258	事業律	名 課税	事務					事業区分	□新規	見 ■	■継続
担当課					担当係	課税係						
予算区分	款	2 総	務費		項	2 徴税	費			2	賦課徴収	費
_		最系	冬 決	算額		事業費財	源内	訳	(千円)			
年	度	予算額 (千円		円)	国 庫 支出金	県支出金	その (収		起債	一般財源	備	考
平成28	3年度	10, 8	364 9	, 707						9, 707		
平成28年		,		,						,		
活動	項目	単位	年度	26	6(実績)	27(実績	事)	28	(実績)	29		30
,,,,,,	***		目標		-	-			-			
確定申告受	で付件数	件	実績 達成率		2, 288 -	2, 351 -			2, 390 –			
事業の対象 (だれに)	個人町.料	民税、法	去人町民	税、	軽自動車税	说、国民健	康保	険税	、介護保))	月高齢者医	療保険
事業の目的 (なんのために)	地方税	法並びに	に関係法	令に	基づく適コ	Eな賦課を	行い	、自	主財源の役	確保を図る	.	
		科	1目		調定済額	額(円)	収力	入済額	額(円)	未収額(円) 備	考
	個人	町民税				949, 540			430, 367	6, 519,		
		町民税				410, 100			980, 500	429,		
事業の		動車税				424, 200		,	149, 880	1, 274,		
実施状況		健康保	険税			198, 500			168, 084	17, 030,		
		保険料				682, 312			973, 875	2, 708,		
			医療保険	继		708, 900			536, 700	172,		
	15.701		<u> </u>	Νη " Ι		373, 552	1		239, 406	28, 134,		
			1 11 1		1, 704,	070, 002	١,	700,	200, 400	20, 104,	140	
成果と 課題	2 (1) (2) (3) 効題確平民未(1) (3) 効題確平民未(1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	務申申のませい 申の司告かを告告確し申図 会度をの公しり定。告し、場合を	ト 里 ス 申 の ま を り り の た 本 の も り り の も の も も の る の も の も の も の も の も の も の も の も の も の も る る る る る る る る る る る る る	。化デけ 精 に場 把	たい機職 しっま 屋脱の 、能員 た すケ まをに 職 。所 す確 の 員 (に 。係	舌者の待機 っては、 を選任し、 主要るため、	時間 作方法 圣験の その 再項) H29	の短いのあるの中代	縮を図り: 事前研修を る職員を同 告を主に対 中に会場(ました。 実施させるこ 応するこ の調査、	した。 、実務指導 とで受付が を計を行い	算を 処理の 、 、 強化
評価項目	必要性	妥当性	生 公	平性	有効性	効率性	先馬 独倉		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	ļ	5	3	3	1		有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効他の見本となり	できたか。 率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計		3	2	判定基準				 維持 C∶改	善・効率化 討 E:休止	し継続、委託	
					担当課に	よる判定。	と理日	<u> </u>				
В					基づき、認るため、総	₹税客体を	適正	かつ			∶が必要で	あり、

1 事業の成果及び評価

_ 一般会計

	の成果及び									一般会				
事業番号	1259	事為	業名	徴収事剤				事業区分	□新	規	■継続			
担当課					担当係	徴収係								
予算区分	款		総務費		項	2 徴税			目 2	賦課徴	(収費			
		最	終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)						
年	度	予算	算額		国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	5	備考			
		(千		(千円)	支出金	県文田金	(収入)		一般財源					
平成28	 B年度	17	7, 701	16, 93	3				16, 93	3				
平成28年			,	,					,					
活動		単位	年月		26(実績)	27(実績	書)	28(実績)	29)	30			
		+14	目		- (入順 /	230. 00		210, 000	190.		180, 000			
滞納繰越額		千円			240, 000	220, 00		194, 000	-	000	-			
(達成率=目	標/実績)	1 1 3	達成		-	104. 5		108. 2%						
			目		_	-	/0	6	8		10			
家宅捜索・	公売の	件	実		_	_		10	_					
実施		''	達成		_	_		166. 7%						
<u> </u>	7 1-1		目		_	_		-						
鳥取中部る		千円			44, 222	39, 14	5	19, 451						
広域連合委	⋛計観		達成		_	_		_						
事業の対象	41													
(だれに)	納棁義	務者	(滞納:	有 町内	3450人、	町外80	人)							
事業の目的														
(なんのた	税等収	入並な	バに町.	民負担の)公平性の配	寉保								
めに)														
	[3 2	77												
	[預金則	_												
			2 5 9	人 調	查金融機関	9件								
	[財産記	周査]												
事業の	滞納	者:2	24人	給与、4	F金、生命	保険								
実施状況				101		実施 3	件							
			~ nE		1 470		11							
			1 6	14										
	[連合]			+-		hi /								
					1, 212									
					3, 458			, 898F] (延滞金	会含)				
		年度行	<u></u>	担金	16,66	0,000) 円							
	[成果]													
	1 滞納	者に対	対して	早期に	交渉を開始	し、滞納客	頁の減少	に努めまし	た。					
	2 財産	調査	を強化	し、家写	包搜索、公	売の実施を	と開始し	ました。						
					るさと広域				- 0					
				_										
出用し	[課題]													
成果と 課題		. 	- N #5	+> = 88 4	요. - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	ナッナ砂ち	21 -12	人改善其	+ +					
休退					内知識やス.									
	2 督促	発送	发の取	組を強化	とし、新規	滞納者を作	Fらない	よっ努めま	す。					
			1				4- EF L	必要性	住民ニーズ	事業の必要性に	#. 10, 7, 3, 0			
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	亞本州		委託の可能性				
			_				独創性	A 구 IE	受益者の偏り		5, 3, 1, 0			
評価点	7	-	7	5	5	5	3	有効性 効率性	目標数値は達	版できたか。 効率はどうか	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0			
计测点	1	4	'	J	1	ן ט	ა		コスト・人員 E 他の見本とな		5, 3, 1, 0			
	評価点 計			00	almi — All sec	A:事業拡充	B:祖y		•		•			
	叶圆点			32	判定基準			大雅技 しょり			スロレンバスロゾ			
					担坐押1-	よる判定		- "						
ı					ルコはい	よる土圧	C 生由							
В	納期内	納税を	か視.	点にたっ	た滞納整理	里に努めま	す。							
			. ,,,,,			22 3	. •							

事業番号	1257	事業		評価事務					事業区	分	□新規			継続
担当課	税務課				担当係	評価係		•						
予算区分	款		総務		項	2 徴税				目	2	賦課	徴収到	貴
		最	終	決算額		事業費財	源内訳	!	(千円)					
年	度		額	(7	国庫	県支出金	その化		起債	— f	般財源		備	考
) / 	(千		(千円)	支出金	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(収入)						
平成28年			, 174	10, 592				-		+ '	0, 592			
活動:		単位	午	<u> </u>	<u> </u> 6(実績)	27(実績	<u> </u>	28	(実績)		29			30
/口到	スロ ローーー	丰四		標	-	- 2八天巾	₹/	20			23			30
新築減免		件		:績	_	_			37					
			達月	贞率	-	_			_					
事業の対象(だれに)	土地・	家屋•	償却	資産につ	いて評価、	課税する	0							
事業の目的 (なんのた めに)				かつ均衡		平価と課税	0							
事業の 実施状況		託に。 GI 公図 標準	より、 S(固 修正す 評価 宅地の	課税業務 定資産土 委託業務委 システム係 の時点修正	を行いま 地評価)シ 託料 で委託料 に係る鑑	内容 /ステム保	守委託	:料				金智	預(円 162,	000 480 600 280
成果と 課題	総地籍 総評価 「I 総延べ うち平月 総課税	固定	資産 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部 一部	(土地) の 田 15,022,608 1,914,274 (家屋) の 木造 1,625,010 7,055 18,881,832 367,648 屋について ⇒ 現地調:	大況 平 一切	38, 397, 049 成28年1月 合計 2, 16	1日現花 23,417. 38. 1日現 7,108 3,881 3,728 な台 は まずい まずい まずい まずい まずい まずい まずい まずい まずい まずい	生 (884 059) 生 (各 (・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	概要調 2,812,4 2,551,6 概 目に : 課一 : 課一 : 説 : 説 : 説 : 説 : 説 : 説 : 説 : 説	書より 130 140 130 140	リ 61,80 43,58 43,58 45 45 45 45 45 45 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47) 2,085 5,224) 逆点 資産 変産 変産が	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	B未満) E し 、て
評価項目	必要性		<u> </u>	公平性	有効性	効率性	<u> </u>	生 #	必要性 妥当性 公平性	住民二 行政』	・ ニーズ、事 必須か、委 者の偏りは	業の必要 託の可能	性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	1	0	5	3	3	1		有効性 効率性 先駆性・独創	目標第コス	数値は達成 ト・人員効	できた <i>!</i>]率はど		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			32	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		状約	推持 C∶	改善・	効率化	し継続		
					担当課に	よる判定。	と理由							
В	法令に す。	従い、	固定	『資産税の		均衡のとれ		i٤	課税を組	継続し	て行う	5 必要	きがあ	りま

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

В

	成果及び								一般	会計
事業番号	191	事業名	国土地籍				事業区分	□新規	見	■継続
担当課					地籍調査					
予算区分	款		水産業費	項	1 農業			∃ 6	地籍	調査事業
.		最終	決算額		事業費財		(千円)			
年	芟	予算額	/ / / m \	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源		備考
 + 0.0) /	(千円)	(千円)	支出金		(収入)		17.005		
平成28		43, 404	41, 815	16, 500	8, 250			17, 065		
平成28年		兴止	 	C (中4)	07/中4	ŧ\ I ο	0 / 中 (主)	29		20
活動: 地籍調査事			E度 2 目標	6(実績) 1.44	27(実績 1.60	₹ /	<mark>8(実績)</mark> 1.90	1. 99		30 2. 17
推進(現地		km 写	1 [1. 44	1. 00		0. 90	1. 99		Z. 17
閲覧)	2 D/9 EL			100.0%	65. 0%		47. 4%			
事業の対象	// C>						''			
(だれに)	弗0火性	工調食事	兼 十固年記	十画面積19	. UUKM					
事業の目的 (なんのた めに)	を実施 産の保	し、地籍図 全を図る。	図及び地籍	簿を整備す	ける。また	、登記完	『了後は地質	籍データを	を管理	により調査 型し、土地財 (面を除く)
事業の 実施状況		調査進捗 6次国土調 調査対象 実施済面 進捗率	·]査事業十行 面積 19. 積 11.	箇年計画 00k㎡ 01k㎡ 7.9%	(H22∼H31))	調査	查事業全 ⁽ 対象面積 済面積 率		121. 12km 51. 72km 42. 7%
成果と 課題	- 1 ⁴ · 2 ⁴ 【	手目工程 手目工程 査状況】 山林 地区の 部 の 部 3年度調 4年度調 4	(現地調査) (閲覧) 消に取り経 地区 の県	4地區 4地區 3地区: 原 3地区: 原	区: 0. 90km 区: 1. 04km 【調 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	情 情 查状況】 宅地 · 認証請	しスケジュ	一ル管理		
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能	能性は。 10,7,3,0 5,3,1,0
評価点	10	10	3	3	3	1	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効	率はどう	5か。 5, 3, 1, 0
	評価点 計 4 O 点満点		30	判定基準					し継続	、委託の検討
	. • MM /PM /TM	•		担当理に	よる判定		_, _, _, _, _,	· FI-M	. ,,,,,,	
				ニコ杯に	ᇰᆔᄹ	_ *エ川				

国土調査法に基く継続事業であり、計画に基き事業推進を図ります。

			直)	单位:千円
(款-項-目-事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ページ)	(備考)
−般会計 農林水産課	811,008	652,565		
2.総務費	42,509	26,159		
1.総務管理費	187	40		
7.企画費	187	40		
鳥取大学との連携事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	187	40	6-1	
7.地方創生事業費	42,322	26,119		
1.地方創生推進交付金事業費	8,321	3,178		
農業プロジェクト	8,321	3,178	6-2	
2.地方創生加速化交付金事業費	34,001	22,941		
未来へつなぐ琴浦農業プロジェクト(農林水産課)	34,001	22,941	6-3	
うち繰越分	34,001	22,941		
5. <u>農林水産業費</u> 1.農業費	755,625 654,185	622,831 526,405		
2.農業総務費	8,902	8,609		
一般事務	108	108		事務費
各種農林融資金利子補給事業	2,169	2,164	6-4	1-12/34
農業研修施設・広場管理	6,625	6,337	6-5	
3.農業振興費	150,358	121,635		
がんばる地域プラン事業	23,814	23,788	6-6	
果樹振興対策事業	25,365	22,588	6-7	
経営所得安定対策推進事業	3,989	3,751	6-9	
耕作放棄地再生推進事業	507	506	6-10	
担い手育成対策事業	469	450	6-11	
地産地消推進事業	370	358	6-12	
<u>農業後継者育成対策事業</u> 農業振興対策事業	33,457 26,267	28,498 24.977	6-13 6-14	
	26,267 1.948	1,913	6-14 6-16	
野菜振興対策事業	25.856	6,498	6-17	
有害鳥獸対策事業	8,316	8,308	6-19	
4.畜産業費	100,423	20,709	0 10	
畜産振興対策事業	100,423	20,709	6-20	
うち繰越分	77,897	0		
5.農地費	367,628	350,626		
しっかり守る農林基盤整備事業	47,015	31,962	6-21	
ため池防災減災対策推進事業	10,000	8,828	6-22	
一般事務	14,557	14,464	6-23	
うち繰越分 県営ほ場整備幹線道路等事業費及び利子補給事業債務負担事業	13,600 57,940	13,597 57,938	6-24	
宗呂は物金曜軒禄旦崎寺争未負及い利丁開和争未頂伤貝担争未 国営かんがい排水事業	10.463	10,438	6-25	
<u>国国がんがいががず来</u> 多面的機能支払交付金事業	76,303	76.278	6-26	
中山間地域等直接支払推進事業	48,710	48,699	6-27	
土地改良事業の推進	78.232	77.678	6-28	
農業体質強化基盤整備促進事業	24,408	24,341	6-29	
8.鳥取県中部地震対策費	26,874	24,826		
農林水産業共同利用施設復旧応援事業	26,874	24,826	6-30	
2.林業費	29,576	24,716		
1.林業総務費	389	382		
一般事務	389	382		事務費
2.林業振興費	29,187	24,334	0.01	
きのこ王国とっとり推進事業 とっとり共生の森森林整備事業	1,606 56	1,556 55	6-31 6-32	
とつとり共生の採採杯登備事業 ふれあい交流会館管理運営	1,066	1,055	6-33	
	1,594	1,520	6-34	
森林病害虫等防除事業	19.675	15.082	6-35	
林業振興対策事業	5,190	5,066	6-36	
3.水産業費	71,864	71,710		
1.水産業総務費	71,864	71,710		
漁村センター管理事業	510	506	6-37	
水産業振興対策事業	71,354	71,204	6-38	
10.災害復旧費	11,088	1,796		
1.農林水産業災害復旧費	10,855	1,564		
1.現年発生農地災害復旧費	1,550	6	0.40	
現年発生農地災害復旧事業	1,550	6 1 551	6-40	
	0.005	1,551	6-41	
2.現年発生農業用施設災害復旧費	9,285 5,927	909	U 41	
2.現年発生農業用施設災害復旧費 現年発生農業用施設災害復旧事業	5,927	808 743	6-42	
2.現年発生農業用施設災害復旧費 現年発生農業用施設災害復旧事業 現年発生農業用施設小災害復旧事業	5,927 3,358	743	6-42	
2.現年発生農業用施設災害復旧費 現年発生農業用施設災害復旧事業 現年発生農業用施設小災害復旧事業 3.現年発生林道災害復旧費	5,927 3,358 20	743 7		
2.現年発生農業用施設災害復旧費 現年発生農業用施設災害復旧事業 現年発生農業用施設小災害復旧事業 3.現年発生林道災害復旧費 現年発生林道災害復旧事業	5,927 3,358	743	6-42 6-43	
2.現年発生農業用施設災害復旧費 現年発生農業用施設災害復旧事業 現年発生農業用施設小災害復旧事業 3.現年発生林道災害復旧費 現年発生林道災害復旧事業 4.単県斜面崩壊復旧費	5,927 3,358 20 20	743 7 7		
2.現年発生農業用施設災害復旧費 現年発生農業用施設災害復旧事業 現年発生農業用施設小災害復旧事業 3.現年発生林道災害復旧費 現年発生林道災害復旧事業 4.単県斜面崩壊復旧費 単県斜面崩壊復旧事業	5,927 3,358 20 20 0	743 7 7 0		
2.現年発生農業用施設災害復旧費 現年発生農業用施設災害復旧事業 現年発生農業用施設小災害復旧事業 3.現年発生林道災害復旧費 現年発生林道災害復旧事業 4.単県斜面崩壊復旧費	5,927 3,358 20 20 0	743 7 7 0		

12.諸支出金	1,786	1,779		
1.諸費	1,786	1,779		
1.国県支出金返納金	1,786	1,779		
国県支出金返納金	1,786	1,779		事務費
農林水産課	20,490	12,551		
1.電気事業費用	12,566	12,551		
1.営業費用	12,566	12,551		
1.水力発電費	12,566	12,551		
船上山小水力発電施設管理運営事業	12,566	12,551	6-45	
2.予備費	7,924	0		
1.予備費	7,924	0		
1.予備費	7,924	0		
予備費	7,924	0	•	事務費

1 事業の成果及び評価 ー

事業番号	1143										■継続							
担当課	農林水産	果			┃ 担当係 ┃農林水産振興係													
予算区分	款	款 2 総務費			項	1 総務管理費				E	7 :		企画費					
年度			と と と と と と と と と と と と と と と と と と と 			事業費財源内訳			(千円	l)								
			額	(国庫	県支出金	その		起 [·]	倩		財源		備	考			
T - 1:00 t- t-		(+	円)	(千円)	支出金	水入田並	(収.	入)	尼良		79.5							
平成28年度			187	40								40						
平成28年度(明許)			<i>i</i>	r i. 1 0	^ / r 1 /= \	07/ 11 6	‡ \	0.0	/ db &=	١		00			20			
			度 <mark>Z</mark>	6(実績)	27(実約	頁)	28	3(実績	()		29			30				
設定なし		_	実			_												
11X XC 16 O		達成率		_	_		_											
事業の対象	自取士学》	+ -	r th \triangle	*														
事業の目的 (なんのた めに)	(なんのた 「知と夫岐の融合」を教育研究の理念としている馬取入子と幅広い方野で建携を11 フェとによ																	
	○以下の	事業を	実施	し、大学の	の力を活用	目したまち	づく	りを	推進し	ノまし	した。	主	な事	集)				
			事業		内容						対象者							
	+±h + =1 :	⊞木□	בוב ⇒	H26	6年度から	□												
	地坝	調査될	夫百	地と								2年生約50名						
	早期	体験的	芝 羽	. —		域の取組み	につ	いて	妥謙	学生	10夕	程度						
事業の	十初	十一河大 -	г ы	の学					义 冊	<u> </u>	1011	往及						
実施状況	地方 学習		汝策体	験 地方創生事業や総合戦略に位置 づけられた事業をテーマとした 現地体験学習														
	その	他事業	ŧ	芝収穫機の開発														
① [成果] 1 鳥取大学を中心とした産学官の連携により長年の課題であった芝収穫機が完成に至りました。 ② [課題] 1 行政側から大学へのニーズは一段落し、今後の連携のあり方を検討していく必要があります。																		
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆 独創		必要性 妥当性 公平性		行政必	ーズ、事 須か、委 の偏りは	託の可能		10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0			
評価点	3	-	7	1	1	3	1		有効性 効率性 先駆性・	独創性	コスト	値は達成 ・人員効 本となり	率はどう		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0			
	評価点 計 40点満点			16	判定基準	A・東業抗力 D・現場維持 O・改善・効変ルし継续 系式の検討						その検討						
					担当課に	よる判定の	と理由	1										
D	連携から1	0年目	を迎	え、ニー					事業の	D見ī	直しア	が必要	きです					

1 事業の成里及び評価

■ 一般会計

	の成果及び									一般会計			
事業番号	1327	事業名	温 農業	プロ					事業区分	□新規	f規 ■継続		
担当課					担当係	農林水産							
予算区分	款		務費		項		7 地方創生事業費 目				1 地方創生推進交付金事業費		
		最 終		草額		事業費財	源内	訳	(千円)			_	
年度		予算額	1	、	国庫	県支出金	その		起債	一般財源	備	考	
— baa		(千円)		円)	支出金		(収	人)	~ ~				
平成2		8, 3	21 3	178	1, 568					1, 610			
平成28年		337.71		1 0/	\	07/=			\	00			
活動	垻 目	単位	年度			27(実統	績) 28		3(実績)	29		30	
死担 計 典 3	≥ 米/₁	l _人 ├─	目標 実績						4	5		8	
新規就農者数			天 _恨 主成率					1	00.0%				
事業の対象	***************************************												
(だれに)													
	• W 元 典 i	き物 笑 を	活田	<i>t-</i> プ r	コ日線によ	- ス新たか	組 米:	充只	<u></u> を開発し、	組 坐 皮 σ	増加を図	コストト	
事業の目的						への利にる	単ルノし	미미	で開元し、		ᅺᆒᇰᅜ	10 C C	
(なんのた	(の目的 した) もに地域経済の活性化を図る。 ・以西地区を拠点とした農業研修の受入体制を整備し、農業の担い手を確保するとともに、移 住定住の促進を図る。												
(۱۵)													
	・ことうら観光商品開発プロジェクト委託業務 2,916千円												
事業の					ため、委託	tを行いま	した。	0					
実施状況	・旧以西/					S _ S +	-1-F	므ᄉ	ナルタゲー		>= <i>1 + √</i> = =	1. 1. 4	
	旧以西								で改修等に	こついて移	(討を行う	ととも	
	一、渕木	茂渕 じ辰	未听修	- J	いくの快か	りを打いま	した	0					
	〔成果〕												
		んなどと	連携し	てこ。	とうらアク	デアゲ串を	開発	L.	物産館こる	とうらで則	東売を開始	ìしまし	
	た。							- •					
	農業研修	多事業を	実施し	ている	る大山町、	安来市を	視察	し、	先進事例	を学ぶこと	ができま	じた。	
	〔課題〕		A+ - 1		v				- 18 4 //	N 1 - 1-			
									みが今後				
成果と			ひ生産	部のき		∳の整備を	早急	に行	い、就農	希望者の確	賃保を行っ	必要が	
課題	あります。												
#11.0C													
							生田	√ \ \\	必要性	住民ニーズ、事	業の必要性は。	10, 7, 3, 0	
評価項目	必要性	妥当性	公 公	平性	有効性	効率性	先 馬 独倉		妥当性	行政必須か、委	託の可能性は。	10, 7, 3, 0	
			-				独創性		公平性 有効性	受益者の偏りは 目標数値は達成		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
評価点	10	7	- :	3	1	3	1		効率性	コスト・人員効		5, 3, 1, 0	
			· ·	-				-	先駆性・独創性	他の見本となり	えるか。	5, 3, 1, 0	
評価点 計 25 判定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:担模統小、終期設定 季託の検討 F:休止 廃止													
(中 0 点侧点)													
					担当課に	よる判定	と理日	<u> </u>					
В				で、‡	也域活性化	こにつなが	る事	業と	して、今行	发も継続し	て取り組	んでい	
	く必要がる	(必要があります。											

1 事業の成果及び評価

一般会計

1 事業の	0成果及0	び評値	5									一般会計	†
事業番号	1317	事	業名	未来へつ	なぐ	琴浦農業プロ	ジェクト(農	林水産詞	課)	事業区分	■新規	見	□継続
担当課	農林水産	課				担当係	農林水産	振興係	Ę.				
予算区分			総務	費		項	7 地方	創生	事業	費	1	地方創生加速	化交付金事業費
		最	終	決算	額		事業費財	源内	沢	(千円)			
年月	茰		算額			国庫	県支出金	その	他	起債	一般財源	俳	青考
		(千	円)	(千円])	支出金	宗义山立	(収)	入)	起頂	一阪別派		
平成28	年度												
平成28年度	(明許)	34	1, 001	22, 9	941	22, 899					42		
活動項	<u></u> 頁目	単位	年	度	26	(実績)	27(実績	責)	28	3(実績)	29		30
				標			5			10	15		
就農体験参	৽加者数	人		!績			3			0			
				支率		_	60.0%	Ó		0.0%			
上世の /上/	. 1±			標						10			
生薬の作作	寸面槓	а		!績 ****					-	15			
				戍率 <mark> </mark> 標		_				308			
芝の作付配	話	ha		际 !績		306				300			
~ V) F 13 E	山作	IIa		式率						97. 4%			
事業の対象	11. 44. 54									07. 1/0			
(だれに)	就農希	望者	、認足	E農業者	首等	の担い手							
	・就典に	向けた	- 農 業 7	研修や単	単業が	木脇笙の判		声:	シャ・	が進む悪業	の担い手の)確保 🕏	住人口の
事業の目的	増加を図		- 灰木	マロック いっか	× 17 1	⊤™∧ प ∨∕ ⋔]	スこ正開し		11110	~ 左も反木	> 1= 0	, 4E IV, VE	上ハロの
(なんのた			連携して	て、芝収	又穫枯	幾の開発・	製作、生薬	₹・機能	性作	物栽培の	推進を行い.	、耕作放到	ほ地の解消 しんりょう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし
めに)	や農業振	興を図	る。										
	• 優良血	統牛導	入に	対する助	力成る	を行い、和	牛農家の負	担軽》	咸を	図る。			
	芝収穫機	開発	製作る	委託料	12	,000千円							
							委託しまし	した。					
							業務 3,8		9				
事業の										管理の業務	を委託し	ました。	
実施状況	就農体験												
	本町へ	の移	住定的	主希望有	者及	び就農希	望者に対し	ノ、体	験:	ソアーを企	画しまし	た。	
	種牛肥育												
	白鵬85	5の3ち	ら百合	白清27	など	の優良種	牛の導入し	こ対し	· 、 ネ	甫助金を交	付しまし	た。	
	①事業の	成果を	・記載で	する。②	2)活動	動項目の結	果を踏まえ	て課題	頃を	記載する。			
	0.11				,,,,,								
	〔成果〕												
		- 学生	ሥ መዝ	車進に	+ 11	サル 雄機	の開発・制	作がっ	でき	長在取	り組んでき	€ ナー リ∇ 薙 イ	ケ 業の機
	械化が図			±1乃1~ 0	ト ソ	人名	のかった 表	IF/J	<i>C C</i>	、以十级	グルログしても	これが受け	ト木の水
				に関し	T1	4. 数種類	試験的に	作付き	を行	い、栽培	暦等の作品	はなど試験	食データ
	の収集が					3.1 3X 1±70	CH-1/3/CH 3 1 -		_ ,,	V 170- E1	L 13 10 11 72	- C - C - C - C - C - C - C - C - C	, ,
	就農体	験ツ	アーク	の開催し	こつ	いては、	中部地震の	り影響	で胃	昇催するこ	とができ	なかった	ため、事
成果と	業未実施	でし	た。										
課題	種牛肥	育事	業につ	ついてに	は、	高騰を続	けていた個	憂良血	統台	上の導入 紹	₹費を一部	助成し、	増頭なら
环烃		Ł血統	牛の田	丁内保留	蛪が	図れまし	た。						
	〔課題〕	- 144 -	·							. .			
		機の	導人?	を促進す	する	ため、機	械の利便性	生など	を生	E産者等に	:周知して	いく必要	がありま
	す。	يا. ملاك فافا	4 <i>11</i> -4-	~ +t + +	. m	·····································	-1 -1 . /		_			- \+ @ T#r =	- + ∞
					i æ#	リタに扱え	くしていく	にめけ	٠,	駅路の催	保や栽培力	」法の唯立	1を凶つ
	ていく必				んミル	t:/ t- =	アレ士 - J	-+- W		┎╬┉╾╾	51十声 类 声	<i>此去經</i> 年	ı 亩 <i>+</i> >
			-				てしまつ/ 図ってい (₹は事業要 □≠≠	什で被和	し、史は
	る中球の	, or ()	(医戊)	ᄪᄳᆛ	// W]	これ田へ	四ノしい	`	\7,±	木起こ ひり	・ ウ ソ 。		
				1	-					心面糾	住民ニーブ 本	業の必要性は	1 10 7 2 0
評価項目	必要性	妥当	当性	公平位	性	有効性	効率性	先駆		必要性 妥当性	住民ニーズ、事行政必須か、委		10, 7, 3, 0
	1 \	_ ^-			.—	1.0001	1 1-	独創	性	公平性	受益者の偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0
= 1 /∓ 上	7	-	7	1		1	3	1		有効性	目標数値は達成		5, 3, 1, 0
評価点	1		/	1		1	ა	I		効率性 先駆性・独創性	コスト・人員対		5, 3, 1, 0
	平価点 計	. †		00		د الله الله المال	A:事業拡充	. B:	現状		善効率化		
-	4 0 点満点	-		20		判定基準					tel %平心 討 E∶休山		HA IVHI
						担当課に	よる判定	と理ら	 				
							3. W 117C		-				
_	芝収箱	機け	完成Ⅰ	1. t- t- x	ф.	今後は普	及推准への	の事業	をそ	テっていく	必要があ	ります。	

В

芝収穫機は完成したため、今後は普及推進への事業を行っていく必要があります。 生薬、新規就農者確保は、今後も取り組みを継続していくことが必要です。

	成果及び								一般会計	
事業番号	142	事業名	各種農林	融資金利子	-補給金		事業区分	□新規		■継続
担当課	農林水産調	果		担当係	農林水産技	振興係				
予算区分	款		林水産業費	項	1 農業			3	農業振興	曹
7 21 - 73		最終		~	事業費財		(千円)		1207143347	.,,
年	-	予算額		国庫			(111)		借	考
+ /	又	(千円)		国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	VĦ	77
			(TD)	又山亚		(42.70)				
平成28	R在使	2, 1	69 2, 164	ıl	1, 078			1, 086		
1 /2.2	J-12	2, 1	2, 10		1,070			1,000		
平成28年	度(明許)									
活動	項目	単位	年度 2	6(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29		30
			目標	_	_		_	_		-
設定なし			実績	_	_		_	_		_
		ì		_	_		_	_		_
事業の対象	農業経営基	基盤強化	資金を借りた	上農家25名	及び平成20	6年度産の	米価格低下	等で緊急を	付策資金:	を借りた
	農家3名		<u> </u>			- 1 22		., .,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		C 111 7 . C
	200									
事業の目的										
(なんのため	利子助用	或により	、資金借入層	農家の経済	的負担の軽	E減を図る	0			
(C)		-								
	1 農業	経営基盤	強化資金利	子事業					2,157千日	円
		助成 23								
	133	-23,24 =1								
事業の										
実施状況	0 ====	ᅂᄯᄨᅕ	· \/ /#+b ; ±	ᄧᄼᇊᆉᄝ	ᇅᇠᅷᆂᇸ	η <u>τ</u>			7 -	
			米価格下落	緊思融貧利]于助成事》	Ę.			7千円	
	利子	助成 3:	名分							
	〔成果〕									
		经学其部	強化資金利	子 重業						
			促進法の農		計画の部号	ウ太巫はっ	これを単字の	2夕が出口	アハス	
								いつか信り	ている	
	農業	栓呂基盤	強化資金の	利于助成し	/、貝担を	全滅できま	こした 。			
武田 1.	2 平成	26年度産	米価格下落	緊急融資利]子助成事業	業				
成果と 課題	需給	緩和によ	る米の価格	低下または	気象上の原	原因により	水稲の被害	害を受け、	収入が	
休退			者3名が借り					T. T. L.		
		さた凝水 ました。		, , ,,, o, c, , , , , , , , , , , , , ,				~~:—TI#%/3		
	〔課題〕	J 0/20								
		の奴当り	ウウナフェ	しが処し増	シニーヘナン	ジェナル	奴带中中	ーウルナナ	 中 大 (
			安定するこ	こ か 裸 上 隕	退退にひばた	いるにめ、	在呂女正	こ回げた文	抜い	
	必要	です。								
						先駆性	必要性	住民ニーズ、事業		10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性	行政必須か、委託		10, 7, 3, 0
						J-4/11311-L	公平性	受益者の偏りはな		5, 3, 1, 0
評価点	7	7	0	3	1	1	有効性 効率性	目標数値は達成で		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
計画法	1	'	0	ا ن				コスト・人員xxx4 他の見本となりえ		5, 3, 1, 0
		<u> </u>								
· ·	評価点計		19	判定基準			ith C∶改善)検討
(40点満点)	1 '	1,227	D∶規模縮小	、終期設定	、委託の検討	E∶休止、∫	発止	
				担当課に	よる判定と	- 理由				
				にコ杯に	O JULIO CO	エエリ				
В	農家の経営	営安定に	寄与するため	め、償還が	終了するま	での支援	を継続する	必要があり	ります。	
					, ,	1/2				

6 - 4

事業の目的 (なんのため 農林水)	5 農	(千円) 25 6,337	項 国 支出金 0 (実績) - - - -	農林水産技 1 農業 事業費取 県支出金 0 27(実績 - 79 - 2,750	費 †源内訳 その他 (収入) 24	(千円) 起債 0 8(実績) 100 85	2 農業 一般財源 6,313 29 150	織務費 備考 30 200
年度 平成28年度 平成28年度(明許 活動項目 白鳳館利用件数 白鳳館利用人数 事業の対象 (だれに) 子育で 事業の目的(なんのために) 農林水(に)	最終額 (千円) 6,62 単位 件 人 世代や高齢	決算額 (千円) 25 6,337 年度 26 目標 実績 巨標 実績 異成率 目標 目標 実績 変 目標 実成率 目標 実成率 目標	国 庫 支出金 0 (実績) - - - -	事業費取 県支出金 0 27(実績 - 79 -	†源内訳 その他 (収入) 24	(千円) 起債 0 8(実績) 100 85	一般財源 6,313 29 150	備考 30
平成28年度 平成28年度(明許活動項目 白鳳館利用件数 白鳳館利用人数 事業の対象 (だれに) 子育で 事業の目的(なんのために) 農林水(こ) 1 各	予算額 (千円) 6,62) 単位 件 人 世代や高齢	(千円) 25 6, 337 年度 26 目標 実績 医成率 目標 実績 医成率	支出金 0 (実績) - - - - -	県支出金 0 27(実績 - 79 -	その他 (収入) 24	起債 0 8(実績) 100 85	6, 313 29 150	30
平成28年度 平成28年度(明許活動項目 白鳳館利用件数 白鳳館利用人数 事業の対象 (だれに) 子育で 事業の目的(なんのために) 農林水(こ) 1 各	(千円) 6,62) 単位 件 人 型 世代や高齢	(千円) 25 6, 337 年度 26 目標 実績 を成率 目標 実績 を成率 に関係 に対している。	支出金 0 (実績) - - - - -	0 27(実績 - 79 -	(収入)	0 8(実績) 100 85	6, 313 29 150	30
平成28年度(明許 活動項目 白鳳館利用件数 白鳳館利用人数 事業の対象 (だれに) 子育で 事業の目的 (なんのため 農林水に)	6, 62 単位 件 人 型	25 6, 337 年度 26 目標 実績 達成率 目標 実績	0 (実績) - - - - - -	27(実績 - 79 -	24	8 (実績) 100 85	29 150	
活動項目 白鳳館利用件数 白鳳館利用人数 事業の対象 (だれに) 子育で 事業の目的 (なんのため に) 1 各 事業の	単位件人の一覧を持ちます。	目標 実績 を成率 目標 実績 で成率	- - - -	- 79 - -	<u>2</u>	100 85	150	
活動項目 白鳳館利用件数 白鳳館利用人数 事業の対象 (だれに) 子育 て 事業の目的 (なんのため に) 農林水	単位件人の一覧を持ちます。	目標 実績 を成率 目標 実績 で成率	- - - -	- 79 - -	2	100 85	150	
白鳳館利用件数 白鳳館利用人数 事業の対象 (だれに) 子育 て 事業の目的 (なんのために) 農林水(こ) 1 各	件人と	目標 実績 を成率 目標 実績 で成率	- - - -	- 79 - -		100 85	150	
白鳳館利用人数 事業の対象 (だれに) 事業の目的 (なんのために) 1 各 事業の	人世代や高齢	実績	_ _ _	-			_	
事業の対象 (だれに) 子育で 事業の目的 (なんのため に) 農林水	世代や高齢	目標 実績 産成 率	_ _ _	_				_
事業の対象 (だれに) 子育で 事業の目的 (なんのため に) 農林水	世代や高齢	実績 達成率	-			85%	_	_
事業の対象 (だれに) 子育で 事業の目的 (なんのため に) 農林水	世代や高齢	達成率	_	7 /5		3, 250	3, 750	4, 250
事業の目的(なんのためにこ) 豊林水(こ) 書業の	世代や高齢			2, 730		1, 873 58%	_	
事業の目的(なんのためにこ) 豊林水(こ) 書業の		者等、施設を		_		30%	_	
事業の目的(なんのため 農林水)(こ)	産課の管理		€利用する.	人全般				
(なんのため 農林水) (こ) 1 各 事業の	産課の管理							
事業の		する公園等の)施設の維持	持管理を行	ið.			
	・逢束島・大父オ・白鳳食	農村公園 農村公園 下地親水公園 官 用料歳入:2	· 1,2 24千円)	690, 536円 147, 958円 707, 037円 287, 098円 091, 756円			4, 925千円	
2 公	·用車維持管	理費等(H28	3年まで)				1,412千円	
成果と 課題 〔課題 1 住	まめな維持ただくこと こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ と に だ く こ と こ と に う こ に う こ こ に り こ し に し し し に し し し し し し し し し し し し し	管理により、 ができました て利用できる 切な修繕を行	た。 るよう、こ	まめな維持	寺管理を維	*続するとと	∶もに、老朽化	
						必要性	住民ニーズ、事業の必要	
 評価項目 必要性	! 挂 妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	妥当性	行政必須か、委託の可能	性は。 10, 7, 3, 0
TIM模目 必安日	女司任	ムナは	日初注	刈午注	独創性	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
_	_			_		有効性	目標数値は達成できたか	-, -, -, -
評価点 7	7	3	1	3	1	効率性	コスト・人員効率はどう	5, 3, 1, 0
							他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
評価点		22	判定基準	A:事業拡充			・効率化し継続、	委託の検討
(40点満	点)					、委託の検討	E∶休止、廃止	
C 継続します。				よる判定と	理出			

	成果及び評									一般会計	
事業番号	560	事業名	さ がんに	ばる地	域プラン事		即反	事業区分	□新規	■継	続
旦 当 課 予算区分	農林水産課款		林水産業	書	担当係項	農林水産振		l F	3	農業振興費	
		最	冬 決算				才源内訳	(千円)			
年	度	予算額 (千円		۵, [国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考	
					又山並						
平成2	8年度	23,	814 23	3, 788		15, 598			8, 190		
活動	項目	単位	年度		(実績)	27(実績		28(実績)	29	30	
ミニトマト	. 北	a	目標 実績		1, 000 900	1, 050 970		1, 100 980			
. — , , ,	ж-п ш <u>т</u> я		達成率		90%	92%		89%			
	一等栽培	a	目標 実績		8, 962 8, 080	11, 114 11, 114		11, 936 11, 940			
積の拡大			達成率		90%	100%		100%			
	↑、新規就 ↓業後継者	<mark>,</mark> ⊢	目標 実績		5 12	5 15		8 12			
音及い辰)確保	未仅配石		達成率		240%	300%		150%			
十世紀梨	!進物用販	%	目標		21	22		23			
割合の回]復		実績 達成率		21 100%	19. 4 88%		21 91%			
事業の対象	琴浦町がん	ばる地域	或プラン!	こ掲げ	るもの	-			•	•	
(だれに)	(琴浦ミニ	トマト:	王産部、	季浦ブ	ロッコリー	-等生産拡大	を考える:	会等)			
(5)	内農業振興 〇本町農業				とおり事業	実施ならび 金額(P		等を交付しま ち補助金(円)		五者	
			県1/3、町			5 10			T		
			ハウスリ ·削井工事			5, 180 14, 600	0,000	2, 590, 000 7, 300, 020	JA芩浦ミ		
			·nnテエ ッ ·ハウス循				5, 500	2, 153, 250		3	
事業の	・ブロ	ロッコリ	一予冷庫), 000		ブロッコリ-		
実施状況			一乗用管 一50馬力		7 <i>1</i> 2 —	2, 110 10, 700	0,000	1, 055, 000 5, 350, 000	生産拡大を	考え H29年 度終了	•
			果1/2、町		, ,	10, 70	, 000	0, 000, 000		/2.11	
		市農村交					2, 019	251, 010			
			'実施事業 支援事業				3, 699), 851	324, 350 200, 426		Ţ	
		ラン検証		:			940	3, 970			
		T. / +b	1 7 0 5		- 4t m t n		6				
	①事業の成 ① [成果]	果を記載	<u>する。②</u> 活	古動項	目の結果を選	沓まえて課題	を記載する	0 0			
	0 4	• 施設整	備等に対	する耳	カ成を行い.	、目標達成(こ向けた取	双組みを支援	し、栽培面積	積の拡大に	
	つなが	がりまし	た。								
	②〔課題〕										
成果と	1 ソフ							を検討する			
課題	2 目標:	達成のた	:め、ミニ	トマー	>栽培面積(の拡大と、新	新規就農者	ずや後継者の i	育成が必要で	です。	
	-							心亜州	住民ニニブ 古坐	たの心亜性は 10	7 2
評価項目	必要性	妥当性	生 公平	性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性	住民ニーズ、事業行政必須か、委託	Eの可能性は。 10,	, 7, 3, , 7, 3,
==:/======	7	_	+ ,	,	2	2	4	公平性 有効性	受益者の偏りはな	! きたか。 5,	3, 1, (
評価点	7	3	3)	3	3	ı	効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効率 他の見本となりえ		3, 1, 0 3, 1, 0
	評価点 計		2	\cap	101 	A:事業拡充	B:現状維持	寺 C∶改善・対	 カ率化し継続、	 委託の検討	
				v	判定基準	D・申益給小	级钳型中	未託の栓針 口	::休止		
((40点満点))	2	<u> </u>				委託の検討 E	∷休止、廃止		
()		0		D: ^{規模縮小、} による判定		委託の検討 E	∷休止、廃止		

	一块	 十尺	于木队不讥叨百	ᅏ	可测量	
1	事業の成果及び評価					一般会計

1 事業の			評価	1 /20			=	T ~ / / / /				HI 1844 E	一般	会計
事業番号		99	-	集名	果樹	振興対	対策事業	Teb II I I			事業区分	□ 第	f規	■継続
当課				# 11	ᇓᆉᆋ	华 建	担当係	農林水産技		Ŕ			<u></u>	* te in #
予算区分	ā	款			水産業		項	1 農業		- n] ;	農	業振興費
年	由			終 算額	决身	算額	国 庫	事業費則			(千円)			備考
	泛			子(日)	(千	円)	国	県支出金	その (山)	ノ他入)	起債	一般財	原	1)用 行
										<i>y</i> 4 <i>7</i>				
平成2	8年度	Ē	25	5, 365	22	2, 588		19, 536				3, 0	52	
平成28年	度(明	許)												
活動	項目		単位		度	26	(実績)	27(実績	(人)	28	3(実績)	2	9	30
П. г '					標									
段定なし					:績 戊 率			1						+
事業の対象	Ι.,							1						
(だれに)	JA	、生產	笙部、	生産	(百									
事業の目的 なんのため に)							か、ブラン E図る。	ド化を目的	」とし	た鳥	取県育成オ	⁻ リジナ	ル新品	占種の早期導 <i>∕</i>
	1	梨生.	産振り	興									17,	606千円
			甘泉					対し補助金						
		JA		・生				、伐根整地						
						11 +⁄≂=л		戈根整地 □ 果樹棚			網かけ他	設 III). 5/ a	a
								・未倒伽 引の育成費			3 0)			
		生産部	* 13				策(3年度 策(改植		又阪	140.	0 a /			
		-/	41*		改植	_		∠ 1,∞/						
					7111		· •							
	2		新品和	重の輝		の栽地	きに必要と	こなるかんフ	k施設	と整備	に対し補助	加金を交)千円 ました。
	3		等の対	共済挂	ン対策 ∲金を 7, 174	支払·	う農業者に	ニ対し、その	り一部	『を助	成しまし <i>†</i>	: 。	1, 3	318千円
	4	ぽろ	たんき	終り支	援事	業(ト	128年度ま	で)					134	4千円
	'			_				トるぽろた <i>/</i>	し祭り	の実	施に係る約	圣費の一		
事業の		補助	金を3	交付し	まし	た。								
事業の 実施状況														
	5						対策事業				-			320千円
									こ要	する箱	全費に対し	、補助:	を交交	付しました。
		籾 日	承:	9304		伙日:	泉:402本	•						
	6	がん	げるこ	٦ I =	与か	自取 3	刨広採 重業	美(H28年度	<i></i> መ፞፞፞፞፞፞፞፞፞)			404	4千円
	ľ	JA	י כי או			_						_ ===		
		071		東京	及びれ	1歌山	」で、直販	イベントを	開催	し、	訳あり商品	の販売	を行い	ました。
		梨農	家	一般	消費者	当への	販売及び	ドライフル	ーツ	への;	加工販売を	行いま	した。	
	I													

〔成果〕

1 梨生産振興

梨産業活性化のため、ブランド化を目的とした鳥取県育成オリジナル新品種の 早期導入とそれに伴う生産基盤の整備を図りました。

- 2 柿・ぶどう等生産振興 新品種(輝太郎)への切り替え支援を行い、経営の安定化を図りました。
- 3 果樹経営安定化対策事業 罹災時の経営安定化と産地維持を図るため、果樹共済への加入を促進する目的で 共済掛け金の助成を行い、負担軽減を行いました。

成果と 課題

4 ぽろたん祭り支援事業

H28.9.18にぽろたん祭りを実施し、ぽろたんについて多くの人に知って頂きました。ぽろたんのPRについて一定の成果を得たため、H28年度をもって終了しました。

- 5 「新甘泉」生産拡大特別対策事業費補助金 梨の新甘泉ジョイント栽培用大苗の育成委託経費を助成し、高単価への品種転換を促進しました。
- 6 がんばろう!元気な鳥取梨応援事業 鳥取県中部地震の影響により落果又は品質低下した梨について、訳あり商品として 販売する取り組み等を支援し、経営の安定化を図りました。 被災支援事業のため、H28年度のみの実施となります。

[課題]

果樹品種の早期多収、経営安定のため、ジョイント栽培などの新技術を活用した本事業の継続は必要ですが、労力低減、後継者の確保等も合わせて考えていく必要があります。

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性		行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	3	3	2	3	3	有効性 効率性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0

担当課による判定と理由

В

主要品目である果樹の産地を維持していくために、必要な事業であると判断します。

一般会計

	の成果及び	評価							一般会計
事業番号	1138	事業名	経営所得:				事業区分	□新規	見 ■継続
	農林水産				農林水産				
予算区分	款		水産業費	項	1 農業			∃ 3	農業振興費
		最終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)		
年	度	予算額	(~ T)	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備考
	\ _ _ _ _	(千円)	(千円)	支出金		(収入)	NC IX		
平成2		3, 989	3, 751		3, 750			1	
平成28年		124 IL 1	<u> </u>	\	07/ 11 6	±\	0 (da 44)	00	1 00
活動			·度 26 標	(実績)	27(実績	頁) Z	8(実績)	29	30
設定なし			[禄						
以近るし			·····································						
事業の対象	# ₩ +⁄			# 40 4th					
(だれに)	農業 首、	、農業法人	、、集洛呂原	農組 職					
事業の目的 (なんのために)		産への意欲 により、地					所得安定:	対策等事業	の事務を円滑に
Ø)(_)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-01 / 1	7-30/IZ X)	W)(C / L L	110 6 12 0	0			
	琴浦町農園	業再生協議	会が行う組	经营所得实	主 定対策事	業の事務	に対し、	補助金を交	付しました。
	/ 111 -1 /DC	.,	·—·· 1 / 1		・ベバネナ	・ト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	= , ,] • (<u></u>	5 5- 5 / 2 6
事業の	補助	金名:琴涧	甫町経営所	得安定対策	策等推進事	工業費補 国	力金		
実施状況		金額:3,7					_		
	内		寺及びパー	ト職員の1	賃金、通信	[運搬費等	宇事務費		
	. ·		=						
	〔成	果〕							
	3.74		寸金の設定	及び経営	所得安定刘	対策等交付	寸金事務の	執行によ	り、農業者の
								与しました	
			数 455						
			類 50,		円				
	〔課	題〕							
								<i>,</i> ます。こ(
成果と		県再生	協議会等の	関係機関	との情報共	も有を行し	ハながら、	引き続き	適切な
課題		需給調整	整を図って	いく必要	があります	t。			
							T	T	
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性	住民ニーズ、事業行政必須か、委	
計画会口	س ا ک نہ	スコユ	→ 1 II	L WIT	が十二	独創性	公平性	受益者の偏りは	ないか。 5, 3, 1, (
評価点	10	7	3	3	3	1	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効	
计测点	10	'	_ ა	ა	၂ ၁	ı		他の見本となり	-, -, -,
	評価点 計		27	Jul 65 ++ 5#	A:事業拡充	E B:現状			ン継続、委託の検討
	40点満点		27	判定基準				:討 E∶休止	
				担当課に	よる判定。	と理由			
					3 J 11/C				
	国による	米の生産数	【量調整が紀	終了し、商	全地交付金	も見直し	が行われ	ることから	、農業者の安定
В		ためエ <i>圧が</i> を支えるた						~	
		0 / 0	. .				0		

م مالد ب		平成	28	年度 事	事業成 集	説明書	兼	評価書	60 0 =1	
事業番号)成果及び 1026		₩ル₩苺፥	也再生推進	車業		事業区分	- □新規	一般会計	■継続
	農林水産		新FIX米J		·争未 農林水産i	に朗区	尹未亾刀	니체제		■ 祁丕 祁冗
予算区分	款		水産業費	項	1 農業			3	農業振興	
1 # 12 /1	491	最終	決算額	-74	事業費則		(千円)	1 0	及不扱力	
年	度	予算額 (千円)	(千円)	国庫支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備	考
平成28	8年度	507	506	0	0	0	0	506		
平成28年										
活動	項目	単位 年		5(実績)	27(実績	2 (8(実績)	29		30
事業費実施 (累計)	再生面積	目 ha 実 達原		_ 21. 11 _	23. 57	'	35 24. 98 71%	40		45 - -
事業の対象(だれに)	農業者、	農業(参入	•	農地中間管	 理機構、農	 農業者組織		<u> </u>	I	
事業の目的 (なんのため に)	病害虫の	発生源とな	るなど周囲	囲の農地や [.]	住民に被害	ぎを及ぼす	おそれがま	ある耕作放	集地の解	消を図
事業の 実施状況	実施 再生	放棄地再生件数7件(面積141.81 改良面積52	(うち新規) la(ブロッ		•	小麦等)		506千円		
成果と 課題	農業	放棄地再生 者が新たに 放棄地の解	:作付を行 :消に寄与		廃農地を	再生するた	とめの経費:	を支援する	ことで、	
	〔課題〕 1 荒廃	(再生前) 農地が発生	廃園とな Eするまで(→ことを促っ		生後) 飼料		July 1	
						生的肿	必要性	住民ニーズ、事業	の必要性は。	10, 7, 3, 0
하/표 급 다	小田州	ᅲᄮ	ᄼᄾᅑᄲ	_ ++ ++	ᆉ	先駆性		ATTL NATIONAL		10 7 2 6

						先駆性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	光 独創性	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
						7五月11五	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
				_			有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
評価点	3	/	1	3	3	3	効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
			_		_		先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点)	20	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小)検討

担当課による判定と理由

В 今後も農地確保のため、継続した事業実施が必要です。

1 事業の成果及び評価

一般会計

1 事業σ	成果及び	· <u>計</u> 1四										一般会	<u>it </u>
事業番号	162	事業	名	担い手育						事業区分	□新規	見	■継続
	農林水産					当係	農林水産		系				
予算区分	款		農林な	水産業費	Ţ	頁	1 農業	費			3 3	農業振	興費
		最	終	決算額	i		事業費財	源内	訳	(千円)			
年月	芰	予算				庫	県支出金	その		起債	一般財源	•	備考
		千)	円)	(千円)	支出	出金	宗义山並	(収	入)	起頂	一阪奶源		
平成28	年度		469	45	0		208				242		
平成28年	隻(明許)												
活動コ	頁目	単位	年		26(実績	責)	27(実績	責)	28	(実績)	29		30
			目							200	200		200
認定農業者	数	人	実		168		171			180			
			達成	译					,	90. 0%			
事業の対象 (だれに)	認定農業	業者 ·	集落:	営農組織	哉・法ノ	等							
事業の目的 (なんのた めに)	農地の <u>?</u> る。	流動化	や地	域農業扱	長興を図	図る <i>t</i> :	≿めの人材	であ	る基	幹的中核	農家の活動	助支援・	育成を図
			事業に	内容	して、		のとおり事	事業を	実施		考		
事業の				の検討			10, 000			検討委員		名分	
実施状況				画の審	査		32, 000		審査		開催)延っ		·
		農業士					28, 000				`×7,000₽		
				会の支	爰		80, 000				金・町単独		
	集落	営農の	D組織	化支援		2	200, 000	片	農業網	经営力向」	上支援事業	• 国10/	′10
成果と 課題		担平経上に管で 〕集の話認参	い成営げれ里き 客乍し宝山手2カにま事ま 営成合農しと8向つで業し 農をい業、	し年上な町にた の前を者自て度支がで取。 組提行協己規中援り1り 織とわ議及	模認事ま本組 化しな会び拡定業しのん 、たけの相大数のたもだ 農集れ活互	や 活。の地 地落ば動の低4用(し域 中でいが研	行利9に湯かを 間のけ停鑚成い借件よ坂な中 管検ま滞をが、入(り営か心 理討せ気深必一等う、農った 事をん味め要	のら集組に抜 、 業進 で農後更落合人き へめ す業	甲斤宮 岩)))) ひとの 比る りょう で営い しょう いんしん いんき かいりん いんしん	そ 行件組 か う け り り り り り り り り り り り り り り り り り り	た。 19件 19円 19円 19円 19円 19円 19円 19円 19円 19円 19円	1組織の農力 1組織の 1 とり 1 と)立ち 引が ラつい 手で 動等に
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有效	効性	効率性	先馴 独倉		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は	, , ,
評価点	10	7	<u> </u>	1	3	3	3	1		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	评価点 計40点満点			25		基準	D:規模縮小	\、終	期設定		:善・効率化 :討 E∶休止		ミ託の検討
					担当	課に	よる判定	と理E	=				
С							必要です。 と進める必	要が	あり	ます。			

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

В

1 事業の	成果及び	評価							一般会計
事業番号	818	事業名	地産地消	推進事業			事業区分	口新規	■継続
担当課	農林水産	果		担当係	農林水産技				
予算区分	款		木水産業費	項	1 農業		E	3	農業振興費
		最 終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)		
年	度	予算額		国庫	県支出金	その他	±コ <i>[</i> 圭	一般財源	備考
		(千円)	(千円)	支出金	宗又山並	(収入)	起債	一板別源	
T + 0	^ - -	0.7	0.5					050	
平成28	8年度	37	0 35	8				358	
平成28年	度(昍許)								
活動		単位	丰度 2	26(実績)	27(実績	雪) 2	8(実績)	29	30
70 30	7.1		目標		27()	R/		20	- 00
設定なし			実績						
			成率						
事業の対象	4 4 4 5	##54			-			•	•
(だれに)	生 座者、原	農 兼団体、	地域住民						
事業の目的	農林水产	坐への 理句	経を深め	おおまま おまま おまま おまま おまま おまま おまま おまま もままま もまままま もまままままま もままままま もまままままま もまままままままま	推進に トロ	直 中 の	農林 水 産業	きをPRする	ことで、地域の特
(なんのため)				^{地座地内の} り、農林水					
(=)	注が及い	心物圧末い	ァルスップ C IAI	7、 成 小 小	注末の工圧	- ドスプロガム	八で促進り	· o o	
	6 /OF	061- △	の プ 屮		シェナ=皮ェ	%H01 1)UU 1 天5 44 11	B I	
事業の				゚ェスティバ			ルリ人か米草	あし、	
実施状況	全体			売上げがあ					
		出展者数	(69団体(うち町関係	団体 13店	舗)			
	〔成果〕								
	過去	最高の来	場者・売上	げであり、	市外・県外	トからの来	場者も多く	〈、農林水	産業のPR、
			進できまし						•
						Name of the last o			
						SECTION			
									and the same of th
						S. Carlon	-	4	
成果と								100 1 9 13	
課題						A SA	J.P.	The same of the sa	
								THE REAL PROPERTY.	
								T same	
									
	〔課題〕								
		して開催	することに	より認知度	が上がって	てきている	ことから、		
				の強化が必		•			
	, , ,			, ,_,,_,					
						사 Ec iv	必要性	住民ニーズ、事業	美の必要性は。 10.7.3.0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	行政必須か、委	託の可能性は。 10, 7, 3, 0
				1		7式 启门土	公平性	受益者の偏りは	-, -, -, -
評価点	7	0	3	3	3	3	有効性 効率性	目標数値は達成 コスト・人員効	
コールス	<i>I</i>	"	oxdot		"	J		他の見本となり	
	評価点 計		4 ^		Δ: 重業坑奈	B:租垛丝	掛 ○ 改善	■効率化Ⅰ維	************************************
	正圖点		19	判定基準			Eff C.改善 、委託の検討		
	/// //-/ ///	,		10 W = 00 c				— `	
				担当課に	よる判定と	: 埋田			

地産地消の推進、農林水産業のPRのため、継続した開催が望まれます。

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

車業の成里及び証価

Ⅰ 尹未の以未及ひ	計叫							似云山
事業番号 1139	事業名	農業後継	首育成対策	事業		事業区分	□新規	■継続
担 当 課 農林水産	課		担当係	農林水産技	辰興係			
予算区分 款	5 農林	水産業費	項	1 農業		E	3 3	農業振興費
_	最 終	決算額		事業費則	排原内訳	(千円)		
年度	予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考
平成28年度	33, 457	28, 498		21, 453	534		6, 511	
平成28年度(明許)								
活動項目			(実績)	27(実績	1 2 2 2 3	3(実績)	29	30
		標				4	5	8
新規就業者数		[績	8	11		4		
	達	成率				100%		
事業の対象認定新規	就農者。研	F修生、農業	養青年会議					

事業の目的 (なんのため (=)

- 新規就農者の就農初期の負担軽減を図る。
- 新規就農者の就農初期の営農経費負担軽減を図る。
 - 農業青年の受け皿となる農業青年会議の活動を支援し、後継者育成を図る。

1 新規就農者の支援施策として以下のものを実施しました。

事業の

実施状況

- ①青年就農給付金 7人 8,988千円 (継続7人)
- ②就農条件整備事業 4人 5,104千円 (乗用モア、電動バサミ、トラクター、ハウス、移植機導入)
- ③就農応援交付金 1人 1,095千円 (継続1人)
- ④親元就農交付金 14人 12,500円

(継続11人、新規3人)

2 農業青年会議に対する活動費助成を行いました。 90千円 定例会、畑作研修(飼料用としてWCSの栽培、ひまわり栽培)、地方創生イベントの 開催等

[成果]

1 新規就農者の定着、初期費用の低減及び経営の安定化を図りました。





成果と 課題

2 農業青年会議の活動経費の助成を行い、農業に対する理解を深めるとともに、農業青年 同士の交流を図りました。

〔課題〕

- 1 各種事業により新規就農者の金銭的負担の軽減を図っていますが、事業終了後も安定し た経営が行えるよう関係機関の連携強化・支援・指導が必要です。
- 2 平成26年より実施している親元就農事業により、新規就農者数は増加傾向にあるので継 続した実施が必要です。
- 3 農業青年会議の活動をPRするための取り組みが更に必要です。

	評価点 計40点満点		30	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				5, 3, 1, 0
評価点	10	10	1	3	3	3		目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
						7五石11工	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
						# EC \#	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0

担当課による判定と理由

В 今後も新規就農者を安定的に確保していくため、継続した事業実施が必要であると判断します。

林水産記 款	里		辰未派兴	対策事業			事業区分	□新規	■継続
	~~		<u> </u>	担当係	農林水産技	振興係			
	5	農林ス	水産業費	項	1 農業		E	3	農業振興費
		終	決算額		事業費則		(千円)		
	予算	額		国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備考
	(千	円)	(千円)	支出金	示义山並	(収入)	起惧	一阪知源	
F度	26	5, 267	24, 977		17, 726			7, 251	
			•	-					
	単位	年	度 20	L 5(実績)	27(実統	事) 2	8(実績)	29	30
	7-1-1			— (J\1)X/			542. 1	542	546
o d WTF	ha	実績	績	_	_		538		
				_				200	200
Ė	he			311	305			<u>308</u>	309
₹	ııa			_	_		98%		
# 世					甲赤七.	##*		· · + + + = :	7°>+ 1
下 条洛、	JA,	今 浦	可贻莀紐包	、辰耒右	、辰耒法人	、、朱洛宮	辰組襭、 之	生座有及	ひ法人
									補助金額
					者が⋃タ−	ーンしたく	なるプラン		5, 557, 260
					農業				
(1)	ウス、	農舎	導入)						6, 000, 000
「杉	山米」	ブラ		立と安定供	給を目指し	して			1, 416, 466
(籾	摺機導								
					計				12, 973, 726
ぽろ 桑洗	たん首 浄機即	古木助 协成	成 291,8 233,333円]	J A 栗ž			.里(交配木	
3 環境	保全型	뷭農業	直接支払	交付金事業					1,734千円
4 農作	業安全	È活動	事業						23千円
					口面積 250)a(12戸 ₁	合計)		9,722千円
	意業 1 2 3 4 5 0 0 1 2 3 4 5 1 2 3 4	目集意業1の本集意業1がまたみはがうばウ山摺産たみ保業がまたみはがうばウ山摺産たみ保業要まがまたみはまま <td< td=""><td>目体年目実房日中中日日<</td><td>目単位年度20品目の作中a日標 日標額 実成標準 実成標準 実成標準 実施標準 実施であると活性化を図る。ま集落、JA、琴浦町酪農組 ・集落、のあと活性化を図る。ま業は 20かんばる農業 ・業の振興と活性化を図る。で ・大の大力のである。 ・大のでき、 ・大の大力のでは、<</br></br></br></br></br></br></br></td><td>目 単位 年度 26 (実績) 目標 一 実績 一 実績 一 実績 一 実績 一 実績 一 実績 311 実板率 一 事業 一 会業 会 意欲のある農業経営体の取り組みや環 農業がよりクター、 会 (トラクター、ハウス、導入) やればできる!親子三代で繋ぐ等がいウス、豊舎導入) 「杉山米」ブランドの確立と安定供(物理機導入) 2 園芸産地活力増進事業 より増進事業 より対機場 2 園芸産地活力増進事業 3 環境保全型農業直接支払交付金事業 4 農作業安全活動事業 5 鳥取芝ブランド化生産振興事業</td><td> 日 単位 年度 26 (実績) 27 (実統 日 日 日 日 日 日 日 日 日 </td><td> 単位 年度 26(実績) 27(実績) 2 日標</td><td> 単位 年度 26(実績) 27(実績) 28(実績) 4 (</td><td> 単位 年度 26(実績) 27(実績) 28(実績) 29</td></td<>	目体年目実房日中中日日<	目単位年度20品目の作中a日標 日標額 実成標準 実成標準 実成標準 実施標準 実施であると活性化を図る。ま集落、JA、琴浦町酪農組 ・集落、のあと活性化を図る。ま業は 20かんばる農業 ・業の振興と活性化を図る。で ・大の大力のである。 ・大のでき、 ・大の大力のでは、 ・大の大力のでは、 ・大の大力のでは、 ・大の大力のでは、 ・大の大力のでは、 ・大の大力のでは、 ・大の大力のでは、 ・大の大力のでは、 ・大の大力のでは、 ・大の大力のでは、 	目 単位 年度 26 (実績) 目標 一 実績 一 実績 一 実績 一 実績 一 実績 一 実績 311 実板率 一 事業 一 会業 会 意欲のある農業経営体の取り組みや環 農業がよりクター、 会 (トラクター、ハウス、導入) やればできる!親子三代で繋ぐ等がいウス、豊舎導入) 「杉山米」ブランドの確立と安定供(物理機導入) 2 園芸産地活力増進事業 より増進事業 より対機場 2 園芸産地活力増進事業 3 環境保全型農業直接支払交付金事業 4 農作業安全活動事業 5 鳥取芝ブランド化生産振興事業	日 単位 年度 26 (実績) 27 (実統 日 日 日 日 日 日 日 日 日	単位 年度 26(実績) 27(実績) 2 日標	単位 年度 26(実績) 27(実績) 28(実績) 4 (単位 年度 26(実績) 27(実績) 28(実績) 29

〔成果〕

1 がんばる農家プラン事業

意欲ある農業者が作成する生産、流通等に関するプランの実現に必要な支援を行い、 農家の負担軽減を図りました。

- 2 園芸産地活力増進事業 遊休農地の解消、中山間地の特産物等育成に係る支援を行い、負担軽減を図りました。
- 3 環境保全型農業直接支払交付金事業 有機農業に取り組む団体に対して交付金を交付することで、環境保全を重視した営農 活動を推進することができました。また、付加価値をつけた収益性の高い農業生産 活動を支援することで、農業者の安定的な農業経営の一助となりました。
- 4 農作業安全活動事業

農作業安全の注意喚起に必要なのぼり旗やステッカーを購入することで、町やJA、 大山乳業の行う農作業安全活動を推進することができました。

成果と 課題

5 鳥取芝ブランド化生産振興事業 芝生産用機械の購入に必要な経費の一部を助成することで、個人農家の芝生産 面積の拡大を後押ししました。

〔課題〕

- 1 規模拡大を図る農業者に対する数少ない支援なので継続実施が必要ですが、 プランの作成に対する労力が大きい為、関係者による作成支援が必要です。
- 3 環境に配慮した農業に取り組む農業者はあるものの、平成28年度から団体のみが対象となったこと、慣行農業と取組基準が馴染まない場合もあり、取り組みが広がりにくいことがあげられます。
- 4 資材を利用した注意喚起以外にも、行政放送や大山乳業・JAの広報誌等で注意喚起を 行っていますが、毎年農作業事故が発生してることが現状です。
- 5 事業により担い手の確保と面積の拡大を後押ししていますが、全体で見ると 高齢化等により農家数も栽培面積も減少傾向にあることが課題です。

	評価点 計40点満点)	26	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小)検討
	•						先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	7	3	l 3	1 3	3	効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
	_	_	_				有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
						1年 启门主	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
						先駆性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0

担当課による判定と理由

В

地域農業の担い手育成、農地の遊休化防止のために継続した実施が必要であると判断します。

━ 一般会計

1 事業の	の成果及び	評価			-					-	一般会計	
事業番号	1237	事業	名 農地	中間領	管理事業				事業区分	□新規		■継続
担当課	農林水産	果			担当係	農林水産	振興係	 ξ				
予算区分	款		農林水産業	養	項	1 農業				3 /	農業振興	費
–	.,,,		終 決算			事業費財		R	(千円)	- - "	20113307	
年月		予算		- 112	国庫		その				借	考
Τ,	×	(千円		田)	支出金	県支出金	(収)		起債	一般財源	VH:	
平成28) 左 庄			913			, , , , ,	957		956		
平成28年		1, ;	940 1	, 9 13				901		900		
		22//	/	0.0	\	07/ ch /	±١	00	/ 	00		00
活動	貝目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	(1)	28	(実績)	29		30
担い手へσ)農地集		目標		00.0	04.0			5. 0	10. 0		15. 0
債		ha	実績		62. 3	24. 3			2. 1			
			達成率									
事業の対象 (だれに)	認定農業	業者、鳥	農事組合注	去人、	新規認定	≅就農者、	農地區	听有:	者 等			
事業の目的 (なんのた めに)	認定農業 る。	業者等の	の担い手に	こ農地	也を集積す	⁻ ることで	、担(ハ手	の規模拡大	大や農地の	荒廃化防	近を図
車業の	(チーム: た。 また、 査等調整 事務	会議) る 農地中間 事務を行 費 執 行	を開催し、 間管理事 行いました	、各分 業業系 た。 913,	分野が持つ 務委託契約 308円(臨	情報を共	有し、 、中li	,今 間管:	後の事業に	間管理事業 展開につい よる農地の 費)	て話し合	いまし
成果と 課題		〇 〇 題〇 〇 即の 〕平具担話間い係状 成体いし	管う機況 理話関な 8 にへい 年集のを 度落集進	のいる把 は等積めみのチ握 、へやて	場をもち、 すること 話山向の は このの地	以、をが を話域が 西今複で 進し農一 地後数き め合業番 の回ま るうをの	な話開し 地場き丘どし催た 区をえ道地合し。 の多ると	域のに情 選くたな)農業を含き 活報共有 間とこ にるこも、 にこも、集	ま後っる 要で落体 しき単的 しき単の しせで話し しせで話し まんのし まんのし まんのし まんのし また まま まんのし まま まんのし まま まんのし まま まんのし	りができる さい手やが い、した。 いう こう	ました。 農地
評価項目	必要性	妥当怕	生 公平	生性	有効性	効率性	先駆 独創	性	妥当性 公平性	行政必須か、委託 受益者の偏りはな	Eの可能性は。 いか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	7	3	}	1	3	5)	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成で コスト・人員効率 他の見本となりえ	≧はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点		2	9	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				善・効率化し 討 E∶休止、		その検討
					担当課に	よる判定。	と理由	1				
В	今後も	事業を持	推進してい	ハき、					を目指し ⁻	ていく必要	がありま	きす。

水 上 水 上 ま 上 ま 上 よ 上 よ 上 よ よ のる年 よ よ よ り 上 り し
款 5 最子(計 単 千 千 及 のる年 定 野 場 を 成 特 定 野 事
野菜 で図8年 特定野菜 で図8年 第一番 で図8年 第一番 で図8年 第一番 で図8年 第一番 で図8年
野菜 で図の 特定野菜 で関いる 特定野菜 で関いる 特定野菜 で関いる 特定野菜 で関いる 特定野菜 で関いる 大阪 で の で の も で の も で の も で の も で と で の も で と で の も で と で と で で と で と で と で と で と で と で と
((((((((((((((
計 単 ボ
計 単 ボ
単作 ・ 手に ・ 手に ・ 手に ・ 単作 ・ 手に ・ でののるのののののののののののののののののののののののののののののののののの
単作 ・ 手に ・ 手に ・ 手に ・ 単作 ・ 手に ・ でののるのののののののののののののののののののののののののののののののののの
野菜及び 場でのあ。 成28年度 特定野菜
野菜及び 場でのあ。 成28年度 特定野菜
野菜及び 場での販 を図る。 成28年度 特定野菜
野菜及び 場での販 を図る。 成28年度 特定野菜
野菜及び 場での販 を図る。 成28年度 特定野芽
場での販 を図る。 成28年度 特定野芽
場での販 を図る。 成28年度 特定野芽
を図る。 成28年度 特定野事
ミニトマ
平成28年 対象農家
平成28年 対象者 ※年度内

〔成果〕

- 1 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業 野菜価格が著しく低落した生産者に対し、価格差補給金を交付することで、農家の 経営安定に寄与しました。
- 2 平成28年度ブロッコリー産地再生緊急支援事業 平成28年9月以降の長雨及び台風の影響によるブロッコリーの病害虫発生防止や 生育を回復させるための緊急防除に要する経費を助成し、営農意欲が減退している 生産者の支援、産地の再興を図りました。 対象者 45戸
- 3 平成28年度雪害園芸施設等復旧対策事業 平成29年1月13日以降の大雪により被害を受けた園芸用ハウス等の復旧にかかる 経費を助成し、被災した農業者の支援を行いました。

成果と 課題

D





〔課題〕

- 1 再度長雨等があった場合、今回のような被害を再び受けることが無いよう、 産地として対策を講じる必要があります。
- 2 再度大雪が降った場合に、同じ被害にあわないよう、定期的な点検や対応が必要です。

							必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
=ਕ/≖-ਨ □	心無性	교 사사	ᄼᅑᄴ	ᆂᄿᆘ	効率性	先駆性	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	│ 妥当性 │	公平性	有効性	刘华 性	独創性	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
	_	_	_		_	_	有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	7	1	3	1	1	効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点)	20	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		持 C∶改善 委託の検討	・効率化し継続、委託の E:休止、廃止)検討

担当課による判定と理由

一時的な対応策としては事業の必要性があるが、同じ被害等を繰り返さないためにも、対策が必要 です。

	成果及び								一般会計	
事業番号	801	事業名	有害鳥獣	対策事業			事業区分	□新規	[I	■継続
	農林水産調			担当係	農林水産排					
予算区分	款		水産業費	項	1 農業			3	農業振興	費
		最 終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)			
年月	变	予算額		国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備	考
		(千円)	(千円)	支出金	宋义山亚	(収入)	起頂	刊文 只7 //示		
ਜ਼ ਦੇ 00	中中	0.01/	0 200		2 405	11	0	4 700		
平成28	1年度	8, 316	8, 308	0	3, 465	11	0	4, 733		
平成28年月	变(明許)									
活動工		単位	F度 2	6(実績)	27(実績	事)	28(実績)	29		30
害鳥獣の打			標	-	330		330	330		_
イノシシ、	ヌート		[績	272	269		401			_
ア、シカ)		達	成率	_	81.5%		121. 5%	_		-
			目標 📗	_	9, 000		9, 000	9, 500		-
入防止柵詞	设置延長		ミ績	6, 895	10, 180		12, 630	_		-
		達	成率	_	113. 19	%	140. 3%	_		-
事業の目的 なんのため (こ) 事業状況	・図1計る息捕イシ侵個 鳥シ実 鳥射製造 りまり製造 りまり対力 をおります対力 をおります<!--</th--><th>習支 被奨シ(を数 被緊隊 捕環害励シ期で減 防捕ノ 者改 音の 強力 を きまん を できまた かんき かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい はいいい かんしょう はいいい はいいい かんしょう はいいい はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい はいいい かんしょう はいいい はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はい</th><th>新費を助ける 対策 期頭 事業 が 264頭 事業 対 合動 獲 整 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</th><th>成すること して以下の トリア11 事業として</th><th>により、有 ものを行い (猟期外) 1頭 (以下の活 捕獲の有資</th><th>i害鳥獣 の いました。 15頭 動へ助。 資格者へほ</th><th>34名 22団体 1団体 成を行いま 7名 14名 助成を行いる 13名</th><th>4,60 2,70 400= : した。 160= 110=</th><th>技術向上 11千円 17千円 千円 千円</th><th>や育成を </th>	習支 被奨シ(を数 被緊隊 捕環害励シ期で減 防捕ノ 者改 音の 強力 を きまん を できまた かんき かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい はいいい かんしょう はいいい はいいい かんしょう はいいい はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい はいいい かんしょう はいいい はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい かんしょう はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はい	新費を助ける 対策 期頭 事業 が 264頭 事業 対 合動 獲 整 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	成すること して以下の トリア11 事業として	により、有 ものを行い (猟期外) 1頭 (以下の活 捕獲の有資	i害鳥獣 の いました。 15頭 動へ助。 資格者へほ	34名 22団体 1団体 成を行いま 7名 14名 助成を行いる 13名	4,60 2,70 400= : した。 160= 110=	技術向上 11千円 17千円 千円 千円	や育成を
成果と 課題	農作 〔課題〕 1 これ なり また	物への被害 まで山間 、集落単位 、有害鳥	害は少なく 部を中心に 立のより効 獣捕獲に従	なりました 出没してい 果的な鳥獣	・ たイノシシ 対策をさら 高齢化し、	ンやシカz らに進め [。] 数年後l	受入防止柵の が平野部できる必要があり こは銃による	も出没する ります。 る殺処分を	ように	
							必要性	住民ニーズ、事業		10, 7, 3, 0
平価項目	必要性	妥当性	公平性	 有効性	効率性	先駆性	妥当性	行政必須か、委託	托の可能性は。	10, 7, 3, 0
						独創性	公平性	受益者の偏りはな		5, 3, 1, 0
	امد	_				۰	有効性	目標数値は達成で	できたか。	5, 3, 1, 0
評価点	10	7	3	3	3	1	効率性	コスト・人員効率	率はどうか。	5, 3, 1, 0
				1			先駆性・独創性	他の見本となり	えるか。	5, 3, 1, 0
	評価点…計		27	判定基準			維持 C∶改善			D検討
(4 0 点満点)					2、委託の検討	E∶休止、∫	廃止	
				担当課に	よる判定と	生生由				
В			くり、農作 要な事業で [・]		防止するこ	ことで、唐	農業者の所得	非を守り、 類	耕作放棄	地の発生

6 - 19

28

	成果及び診											一般会詞	計
事業番号	175	事業	名	畜産振	興対	策事業				事業区分	□新規	₹	■継続
	農林水産課		46. 1.1			担当係	農林水産振						
予算区分	款			K産業	費	項	1 農業				∃ 4	畜産業費	ŧ
/-	#	最多数		決算額	〔千		事業費用			(千円)	T		/# **
牛	度	予算	. 谼	円)		国庫	県支出金	その		起債	一般財源		備考
ᇴᆂ	0左由	(千円	, 526	20	, 709	支出金	11, 536	(収)	人)		0 172		
平成2	0年及	22,	, 320	20,	, 709		11, 556				9, 173		# co cc
平成28年	度(明許)	77,	, 897		0							日 29 標起 千円	遠額 68,56
活動	百日	単位	年	帝	26		27(実績	Ę)	29	L 8(実績)	29	111	30
/ 13	次口	平位	目		۷(一	2八天市	₹/		3, 269	29		30
上牛飼養頭	数	頭	実			_	3, 268			3, 304			
			達瓦	戈 率		_	<u> </u>			101%			
	10		旦			_	_			5, 600			
用牛飼養	頭数	頭	実			_	5, 979			5, 491			
			達月							98% 20, 250			
乳生産量	-	l t	実				20, 223	3		20, 250 19, 266			
小工工工	•	`	達成			_	_	,		95%			
業の対象	m				· 4- *	: 	L業農業協同	140 ^	* *	= +# \# +# ## ##	-		
(=)	〇本町畜産 (主な事:		とし	て、以	下の	とおり事業	美実施ならび	に補助	力金等	を交付しま	した。		
			_	業内容			補助金等	(円)	事:	業実施者	備考		
		酪農振						9, 500		L業農業協同組合			
事業の	2.	乳牛品詞	評会と	出品奨励	劢事氵	業				町酪農組合			
事業の関係		生産基盤								町酪農組			
		鳥取和华						3, 003		4鳥取中央	H29年度	まで	
		和牛品								中生産部			
		肉用牛用				業				鳥取中央			
	7.	養豚経常	呂女ス	E对策	事業		310	6, 470	JA,	鳥取中央_			
	①車業のは	田太司书	ナス	② 注	타 T T	の幼用を味	まえて課題を	10 # 士	Z				
	① (成果)	未で記戦	୯୨ ବ	。区泊里	リリト	の結果を始	まんし味起を	記戦9	ବ				
成果と 課題	整備 を図 2 高騰 ② [課題] 1 概ね	や増頭(りました を続ける 活動項[にかが た。 る和 - 目の目	かる経済 子牛の ² 目標は 3	費を- 導入神 達成し	一部助成し 補助事業を	頭の意欲の。 、生産者のか 新たに設け、 が、生産者が いく必要がな	負担軽 、生産 が高齢	減、 ⁶ 者の1 化し ⁻	町内飼養頭 負担軽減をI	数の維持・引 図りました。	増頭	
評価項目	必要性	妥当	性	公平	性	有効性	効率性	先駆		必要性 妥当性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委託		10, 7, 3, 10, 7, 3,
		^ -	-	'	_			独創	竹王	公平性	受益者の偏りはな		5, 3, 1,
										有効性	目標数値は達成で	きたか。	5, 3, 1,
評価点	10	7		1		3	3	1		効率性	コスト・人員効率	はどうか。	5, 3, 1,
								<u> </u>		先駆性・独創性	他の見本となりえ	るか。	5, 3, 1,
(評価点 計(40点満点)			25	5	判定基準				C∶改善・効薬 託の検討 E	率化し継続、委 休止、廃止	託の検討	
						担当課	による判定	と理由	1				
Α							≝など全国的 こあった支援					で、生産	産者の高齢

1 事業の	の成果及び	一一火 評価			争未以为			計画	— 一般会計
事業番号	180	事業名	しっかり	守る農林基			事業区分	□新規	
	農林水産				農村整備				
予算区分	款		水産業費	項	1 農業			目 5	農地費
年	度	最 終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	国 庫 支出金	事業費財	源内訳 その他 (収入)	(千円) 起債	一般財源	備考
平成28	8年度	47, 015			13, 696			15. 062	H29繰越額14,809千
平成28年	度(明許)	-							
活動	項目			6(実績)	27(実統	責) 2	8(実績)	29	30
. 1			標	_	_		_	_	
定なし			₹績 成率						
業の対象 (だれに)	農業生産		ルー 木道等の新	_ 設、改良、	補修等に	 よる受益	_ :農林業者		
	林業を営む	むうえで必		農林基盤0	D改修・補	修等を行	い、農林	業の振興に	こなっている。 農 に資する。 特に水 ある。
事業の ミ施状況	委託 工事 用地	基盤の改 業務 請負 買収 料費等助	修·補修等	金額(円) 5,969 24,409 192	, 376 水路	::1件、農 ::6件、農 ::1件	対象施設 道:1件、 道:2件、	ため池:54 ため池:24	
成果と 課題	〔課水農業	農村づくさい。 帯に 用施設等	りに寄与し(修前)	ました。 基盤整営農に支	備を行っ	てから3	(改修後	s) が経過し ⁻	業振興及び強い でおり、 補助事業等
平価項目	必要性	妥当性 7	公平性 1	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は違り コスト・人員交	話の可能性は。 10, 7, 3 はないか。 5, 3, 1 むできたか。 5, 3, 1
			<u> </u>					他の見本となり	, , ,
					• • · 	~			
	評価点 計40点満点		24	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮/ よる判定	小、終期設定		Z善・効率化 試 E∶休』	し継続、委託の検討 - 、廃止

量設計等については委託を検討する必要があります。

	の成果及び			•					般会計
事業番号	1298		ため池防:				事業区分	□新規	■継続
担当課			-14 女 世		農地整備				ht #
予算区分	款	5 農林 最 終	水産費	項	1 農業 事業費財			1 5 農	地費
年	度	取 於 予算額 (千円)	決算額 (千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考
平成2		10, 000	,		3, 573			4, 879	_
活動	項目			(実績)	27(実績	5) 2	8(実績)	29	30
設定なし		美	標 :績 		_ 		_	_ 	_
事業の対象(だれに)	ため池受		<u> </u>						
事業の目的 (なんのた めに)									!に資するとと '全に資する。
事業の 実施状況	工期請工期請	事 名間 : 合 事 名間 額 : 負金額 :	か池と化粧 才ノ木た 平成28年 8, 158, 32 化粧川堆 平成28年 669, 600F	:め池浚渫 12月16日 0円 6 積土砂撤 4月21日~	工事 ~平成29年 去工事 <i>そ0</i>	≅3月28日 ○ 2			8,828千円
成果と課題	才復化ま	を図りまり 粧川の堆料 た、 見 〕 の 変 が あ 必 必 必 が あ の が あ り の 変 り の り の も り の り る り の も り る り る り る り る り る り る り る り る り る り	した。 責土の浚渫 こよるため 寺管理に係 ります。	工事を行り 池改修事業	い、環境回業も進めら 化を図り、	可復を図り かれている 水資源	りました。 ます。 確保の認識 句上のため	活基盤としての自まに向けの推進も必要	ナて啓蒙 憂です。
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の 行政必須か、委託の 受益者の偏りはない	可能性は。 10, 7, 3, 0 か。 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	1	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成でき コスト・人員効率は 他の見本となりえる	どうか。 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		28	判定基準 担当課に	A:事業拡充 D:規模縮小 よる判定。	、終期設定		善・効率化し組 討 E∶休止、J	終続、委託の検討 廃止
С	老朽化し; 要です。	たため池の	改修等に。				確保のたる	め、継続した	事業実施が必

1 事業の成果及び評価 一般会記

1 事業(の成果及ひ	一件								一般会計	
事業番号	178		業名	一般事務				事業区分	□新規	1	■継続
	農林水産		`-	12 1.12	担当係	農地整備	玄) × × × × ×	_ 17172		112170
予算区分	表 你		典 ## ·	水産費	項	1 農業			5	農地費	
了异色汀	示人	5			垻				= 5	辰地頂	
	_	最	終	決算額		事業費財		(千円)			
年			算額		国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備	考
		(千	円)	(千円)	支出金	未文山业	(収入)	尼良	川文 共7 //示		
平成2	8年度		957	867					867		
平成28年		13	3, 600	13, 597					13, 597		
活動		単位	-		(実績)	27(実績	<u> </u>	8(実績)	29		30
/口到	次口	丰区		標	一	2八天心	₹/ <u>~</u>				
設定なし			実								
政定なし			達瓦								_
			建凡	X 꾸	<u> </u>			<u> </u>	_		
事業の対象	土地改良	事業関	[係団	体							
(だれに)											
事業の目的		- علاد -		T	• • • • • • • •	# 14 66 TO 1 -	N == 4. LL	41 4 ±6 =	-		
(なんのた	土地改良	事業の)美肔	及ひ施設(の適止な 終	推持管理に	必要な体	制を整え	6 。		
めに)											
				体への負担						327-	千円
	鳥	取県土	-地改	良事業団	本連合会		125, 000)円			
	鳥耳	0県中	部十	地改良事業	美推進協議	養会	16,000				
	_			事業推進的			24, 000				
古米へ					加成五						
事業の	長」	旦古帳	官理	負担金			162, 000	П			
実施状況											
	〇需要	費、役	と務費							540-	千円
	○琴浦	計全地	计批形	図作成業	咯 (H28	明許繰越)				13, 597	千円
	0 7 /111	-1	4-C112	E117%.A.	7) (1120	·// / / / / / / / / / / / / / / / / / /				10, 007	
	/ . Is	. — `									
	し反	果〕									
		土地	改良事	『業の推進	に係る負	担等を行い	ヽ、農業排	振興に寄与	しました。	0	
	/=m										
	し課	題〕									
		持続	可能な	↓農業の確	立を図る	ため、引き	き続き国領	等の土地改	良事業を	要望してい	۸<
	必	要がる	ありま	きす。							
成果と		'									
課題											
小区											
							朱 取 朴	必要性	住民ニーズ、事	業の必要性は。	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性		当性	 公平性		効率性	先駆性	妥当性	行政必須か、委	託の可能性は。	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。ないか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
								妥当性 公平性 有効性	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成	託の可能性は。 ないか。 できたか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価項目	必要性 10		当性 O	公平性 3	有効性	効率性 3		妥当性 公平性 有効性 効率性	行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 ないか。 できたか。 率はどうか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	1		3		3	独創性 1	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	託の可能性は。 ないか。 できたか。 率はどうか。 えるか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10 評価点 計	1				3	独創性 1 B:現状	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C∶改	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり 善・効率化	託の可能性は。 ないか。 できたか。 率はどうか。 えるか。 し継続、委言	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	1		3	3	3 A:事業拡充 D:規模縮小	独創性 1 こ、B:現状 、終期設策	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり 善・効率化	託の可能性は。 ないか。 できたか。 率はどうか。 えるか。 し継続、委言	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10 評価点 計	1		3	3	3	独創性 1 こ、B:現状 、終期設策	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C∶改	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり 善・効率化	託の可能性は。 ないか。 できたか。 率はどうか。 えるか。 し継続、委言	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10 評価点 計	1		3	3	3 A:事業拡充 D:規模縮小	独創性 1 こ、B:現状 、終期設策	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C∶改	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり 善・効率化	託の可能性は。 ないか。 できたか。 率はどうか。 えるか。 し継続、委言	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10 評価点 計 40点満点	1	0	30	3 判定基準 担当課に	3 A:事業拡充 D:規模縮リ よる判定。	独創性 1 こ B:現状 、終期設定 と理由	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C:改 定、委託の検	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり 善・効率化	託の可能性は。 ないか。 できたか。 率はどうか。 えるか。 し継続、委言	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10 評価点 計 40点満点	1	0	30	3 判定基準 担当課に	3 A:事業拡充 D:規模縮小	独創性 1 こ B:現状 、終期設定 と理由	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C:改 定、委託の検	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり 善・効率化	託の可能性は。 ないか。 できたか。 率はどうか。 えるか。 し継続、委言	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10 評価点 計 40点満点	1	0	30	3 判定基準 担当課に	3 A:事業拡充 D:規模縮リ よる判定。	独創性 1 こ B:現状 、終期設定 と理由	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C:改 定、委託の検	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり 善・効率化	託の可能性は。 ないか。 できたか。 率はどうか。 えるか。 し継続、委言	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号		評価										一般会計							
	183	事第	Ě名	県営ほ場	整備幹網	線道路等事業費	及び利子補給事業	業債務負担	事業	事業区分	□新規	見 I	■継続						
担当課	農林水産	課				担当係	農地整備	係											
予算区分	款		農林	水産費		項	1 農業	費		E	∃ 5	農地費							
		最	終	決算	額		事業費財	源内詞	尺	(千円)									
年	度		算額			国庫	県支出金	その		起債	一般財源	備	考						
		(千		(千F		支出金	未又山並	(収)	()	尼貝									
	8年度	57	, 940	57,	938						57, 938								
活動	項目	単位		度	26	(実績)	27(実統	責)	28	(実績)	29		30						
				標		_	_			_	_		_						
設定なし				績		_	_			_	_								
			達局	戊率		_	_			_									
事業の対象	東伯町土地	地改良	区、	赤碕田	t土t	也改良区													
(だれに)																			
事業の目的	車伯町·	十十十八	良区	- 赤花	\$ ATT -	┝₩改良区	Ӡに対して	受益さ	岑 台:	田金の助F	せを行い	妥益者負	担の軽						
ず来の日的	減を図る。			21. Hr	, -, <u>-</u>		_1_/, 0 (~	J .~.	1 W 47 191 1	20 C 11 V V	<u> </u>	() <u></u>						
めに)			げを行	うこと	で、	将来の利	引子負担を	軽減し	ا . ر	財政負担の	の軽減を図	図る 。							
	Den C					13010-0-1		12			12								
	〇補助:											57, 938	3千円						
		町土均					受益者負担			, 744, 059									
事業の	東伯	町土均	也改良	夏区		畑総事業:	受益者負担	旦分	36	5, 193, 819	円								
実施状況																			
	〔成	果〕																	
			土地已	友良区	はご	して受益	者負担分	を交付	する	ことで、	農家の負	担軽減を[図り						
						各土地改良区に対して受益者負担分を交付することで、農家の負担軽減を図り													
	各土地改良区に対して受益者負担分を父付することで、農家の負担軽減を図り 農業経営の安定化に寄与しました。																		
		及不	性占り	り安定・	化に	寄与しま	した。												
		及不	性占り	り安定・	化に	寄与しま	した。												
		及木	性名》	り安定・	化に	寄与しま	した。												
	「鋰		性名り	り安定・	化に	寄与しま	した。												
	〔課	題〕						ひ制減	厂店	1けた検討	が必要で	d							
	〔課	題〕					した。 ど、経費(の削減	に向]けた検討	が必要で	す。							
武田 12	〔課	題〕						の削減	に向]けた検討	が必要で	す。							
成果と	〔課	題〕						の削減	に向]けた検討	が必要で	す 。							
成果と 課題	〔課	題〕						ひ削減	に向	けた検討	が必要で	す。							
	〔課	題〕						の削減	に向]けた検討	か必要で	す 。							
	〔課	題〕						の削減	仁向]けた検討	が必要で	र् ग 。							
	〔課	題〕						ひ削減	に向]けた検討	が必要で	व 。							
	〔課	題〕						の削減	に向	けた検討	が必要で	す 。							
	〔課	題〕						の削減	に向	けた検討	が必要で	ड े.							
	〔課	題〕						の削減	に向	けた検討	が必要で	す。							
	〔課	題〕						の削減	に向]けた検討	が必要で	す 。							
	〔課	題〕						の削減	に向]けた検討	が必要で	व 。							
	〔課	題〕						の削減	に向]けた検討	が必要で	उ .							
課題		題〕 低:	利率の	n ŧ o	への	借換えな	ど、経費の	の削減		必要性	住民ニーズ、事	業の必要性は。	10, 7, 3, 0						
	少要性	題〕	利率の		への				性		住民ニーズ、事行政必須か、委	業の必要性は。 話の可能性は。	10, 7, 3, 0						
評価項目	必要性	題〕 低: 妥当	利率 <i>0</i>	Dもの ⁻ 公平	への 性	借換えな	ど、経費(効率性	先駆 創	性	必要性妥当性	住民ニーズ、事	業の必要性は。 託の可能性は。 ないか。	, , ,						
課題		題〕 低: 妥当	利率の	n ŧ o	への 性	借換えな	ど、経費の		性	必要性性 受当性性 公有効性 効率性	住民ニーズ、 事受益者の 日標数値は連 コスト・ は 員員	業の必要性は。 能託の可能性は。 ないか。 できたか。 か事はどうか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0						
評価項目評価点	必要性 10	題〕 低	利率 <i>0</i>	かもの [・] 公平	〜 の	借換えな	ど、経費の 効率性 3	先 類 1	性性	必要性 妥公平性 有効率性 先駆性・独創性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・となり	業の必要性は。 託の可能性は。 ないか。 できたか。 小率はどうか。 えるか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0						
評価項目評価点	必要性 10 評価点 計	題〕 低	利率 <i>0</i>	かもの [・] 公平	〜 の	借換えな	ど、経費の 効率性 3	先 類 1	性性現状状態	必要性性 受当性 公有効率性 先駆性・独創性 任持 C:改	住民ニーズ、、 電子の連合を 世代政権を での見標を での見本となるの。 では、 では、 では、 では、 では、 でいるの。 では、 でいるの。 でいる。 でいる。 でいるの。 でいるの。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい	業の必要性は。 能託の可能性は。 ないか。 できたか。 内率はどうか。 にえるか。 し継続、委託	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0						
評価項目評価点	必要性 10	題〕 低	利率 <i>0</i>	Dもの ⁻ 公平	〜 の	借換えな 有効性 3 判定基準	が、経費の 効率性 3 A:事業拡充 D:規模額が	先駆創 1 こ、終期	性性現状深	必要性性 受当性 公有効率性 先駆性・独創性 任持 C:改	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・となり	業の必要性は。 能託の可能性は。 ないか。 できたか。 内率はどうか。 にえるか。 し継続、委託	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0						
評価項目評価点	必要性 10 評価点 計	題〕 低	利率 <i>0</i>	かもの [・] 公平	〜 の	借換えな 有効性 3 判定基準	ど、経費の 効率性 3	先駆創 1 こ、終期	性性現状深	必要性性 受当性 公有効率性 先駆性・独創性 任持 C:改	住民ニーズ、、 電子の連合を 世代政権を での見標を での見本となるの。 では、 では、 では、 では、 では、 でいるの。 では、 でいるの。 でいる。 でいる。 でいるの。 でいるの。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい	業の必要性は。 能託の可能性は。 ないか。 できたか。 内率はどうか。 にえるか。 し継続、委託	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0						
評価項目評価点	必要性 10 評価点 計	題〕 低	利率 <i>0</i>	かもの [・] 公平	〜 の	借換えな 有効性 3 判定基準	が、経費の 効率性 3 A:事業拡充 D:規模額が	先駆創 1 こ、終期	性性現状深	必要性性 受当性 公有効率性 先駆性・独創性 任持 C:改	住民ニーズ、、 電子の連合を 世代政権を での見標を での見本となるの。 では、 では、 では、 では、 では、 でいるの。 では、 でいるの。 でいる。 でいる。 でいるの。 でいるの。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。	業の必要性は。 能託の可能性は。 ないか。 できたか。 内率はどうか。 にえるか。 し継続、委託	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0						
評価項目評価点	必要性 10 評価点 計 40点満点	題〕 低: 妥	利率 <i>0</i> 1 1 1 1 1 1 1 1 1	かもの。 公平 3(への 性	借換えな 有効性 3 判定 課に	が、経費の 効率性 3 A:事模縮が よる判定	先独 1 8終理 は、理	性性現状系	必要性 妥当性 有効率性 分駆性・独創性 供持 중託の検	住民ニーズ、、 電子の連合を 世代政権を での見標を での見本となるの。 では、 では、 では、 では、 では、 でいるの。 では、 でいるの。 でいる。 でいる。 でいるの。 でいるの。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。	業の必要性は。 能託の可能性は。 ないか。 できたか。 内率はどうか。 にえるか。 し継続、委託	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0						
評価項目評価点	必要性 10 評価点 計	題〕 低: 妥	利率 <i>0</i> 1 1 1 1 1 1 1 1 1	かもの。 公平 3(への 性	借換えな 有効性 3 判定 課に	が、経費の 効率性 3 A:事模縮が よる判定	先独 1 8終理 は、理	性性現状系	必要性 妥当性 有効率性 分駆性・独創性 供持 중託の検	住民ニーズ、、 電子の連合を 世代政権を での見標を での見本となるの。 では、 では、 では、 では、 では、 でいるの。 では、 でいるの。 でいる。 でいる。 でいるの。 でいるの。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。	業の必要性は。 能託の可能性は。 ないか。 できたか。 内率はどうか。 にえるか。 し継続、委託	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0						

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	185	事美	Ě名	国営かん	がい排水事	事業		事業区分		新規	лхди	■継続
担当課						農地整備						
予算区分	款			水産費	項	1 農業				5	豊地費_	
-		最	終	決算額		事業費財		(千円)			<i>1</i> 4	+ ++
年	芟	予算		(T III)	国庫	県支出金	その他	起債	一般則	才源	偱	持
ਜ਼ਾ ਦੇ ੦	0 左 座	(千		(千円)	支出金	7 000	(収入)	2	1 (CE C		
平成2			, 463 Æ			7,800	982			656 29		30
活動	垻 日	単位		度 ZC 標	(実績)	27(実績	₹ / ∠	8(実績)		<u> </u>		ა <u>ს</u>
設定なし			実		_							_
11X XC 16 O			達原		_	_		_		_		_
事業の対象	主			•								
(だれに)	東伯地区:	工地改	人民区	建台								
事業の目的	同类 但 。	≅∽⊸	, ∓ 11+ /	シャング	ム 秋秋 台と 2 2 49	Eのt ム士	センタルに	- 88 - ナフ 公文 3	典の叫	++	= =	
(なんのた めに)	国呂・宗	呂の力	「利他	設の多囲	的機能発揮	即のため文	抜独化!、	関する経	貸の助	水と	打つ。	
۵۶۱۵۶												
	〇【推	進活重	加】需	用費、役割	务費				276 T	一円		
				東伯地区		☑連合)		10	0, 100 T	一円		
事業の	0【そ	の他】	玉	営かんがし	ハ排水推進	É協議会負	担金		62 1	一円		
実施状況												
	〔成	果〕										
	水	利施	没の多	面的機能	(防災・ I	環境整備)	の充実	、啓発が図	られま	した	. 0	
	〔課	題〕										
	農	業水	利施設	どが持つ多	面的機能	を十分に発	経揮させ	るため、地	域が適	[切・	有効に	活用
	でき	るよ	うな非	農家を含	めた管理(体制づくり	りを促進	していく必	要があ	りま	す。	
成果と												
課題												
== /== -= -=	St		(a. 1.a.	n !:	<u></u>	4, 4, 10	先駆性	必要性			の必要性は。	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当	首性	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性 公平性	行政必須が受益者の係		の可能性は。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
	4.0							有効性	目標数値は			5, 3, 1, 0
評価点	10	1	0	5	3	3	1	効率性 生取性 - 独創性	コスト・人			5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	亚布占 斗			0.0		Λ・車券 ☆ →	Z D · TH 41	先駆性・独創性	•			
	評価点 計 40点満点			32	判定基準	A : 事業拡充 D : 規模縮기		弋維持 C∶改 定、委託の検		^{経化し} 休止、		託の 使討
	. • M/M /M	,			扫坐卸1-	よる判定の		,_, ×,10 v / /×	.,	c1	,,,,	
					担ゴ味に	よる刊走の	に埋出					
	単業が割っ	施設の	心心西	性を広める	スための色	毎田休判べ	し い た /	足進するた。	め 鉛生	4点 1 -	た車業量	≧協が心
В	辰未小利/ 要です。	」也 言文 ∪.	心女	エではめ	のためなり	1年14円 フ	ヽッでル	に低りるに	はノ、 不正で	がに し /	に尹禾ラ	<1四い、光)
	メしり。											

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業の成果及び評価

一般会計

. 1. 2/4 44 1242/494 0														10-10-111
事業番号 786	事業	業名	多面	的機能	能支払交付	寸金事	業			事業	区分		コ新規	見 ■継続
担 当 課 農林水産	課				担当係	農村	整備	係						
予算区分 款	5	農林	水産ӭ	美費	項	1	農業	費			E		5	農地費
	最	終	決算	額		事業	費財	源内部	7	(千F	円)			
年度		章額 円)	(千	円)	国 庫 支出金	県支	出金	そのf (収入		起 [·]	債	一般	財源	備考
平成28年度	76	303	76	, 278		55	, 884					20	, 394	
平成28年度(明許)														
活動項目	単位	年		26	(実績)	27	(実績	責)	28	(実績	()		29	30
広域化へ向けた取		E.	標		2		2			2				
組	組織				0		0			0				
小旦		達瓦	戈率		0.0%		0.0%			0.0%				
														•

(だれに)

農業者のみで構成される活動組織、又は、農業者及び地域住民等で構成される活動組織

(なんのた めに)

我が国の農地・農業用施設等の資源は、近年の農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落 事業の目的 機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつある。ま た、共同活動の困難化に伴い、地域資源の保全管理に対する担い手農家の負担の増加も懸念されている。 このため、地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進し、また、これにより担 い手農家への農地集積という構造改革を後押しする。

事業の 実施状況

0 多面的機能支払交付金として、以下のとおり交付金を実施しました。

活動項目	組織数	面	積	交付金額	
石到項口	小丘小以 安久	田	畑	人门亚创	
農地維持	42 組織	81149 a	14138 a	27, 125, 300	彐
資源向上(共同活動)	27 組織	57173 a	13571 a	10, 194, 688	彐
資源向上 (長寿命化)	40 組織	79428 a	14051 a	36, 799, 474	円
計		217750 a	41760 a	74, 119, 462	囝

〔成果〕

多面的機能を有する農地・農業用施設などの地域資源及び農村環境の保全並びに老 朽化が進む農地周りの農業用施設の長寿命化を図ることができました。

平成28年度には2組織の新規組織の取組みを推進しました。

成果と 課題





[課題]

高齢化等に伴い、集落の当該事業の取組みの継続が危惧されており、集落 の負担を軽減するため、広域活動組織の設立を目指す必要があります。

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	5	5	1	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点		32	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				その検討 しゅうしゅう

担当課による判定と理由

A

農地及び農業用施設の多面的機能を発揮するため地域共同による取組を支援しており、他事 業の削減効果もあるため、取組面積を拡大していく必要があります。

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書 平成

1 事業の	の成果及び	評価	~ <u></u>			*** /%/			рі іш	■ 一般:	会計
事業番号	159	事業名	中山	間地:	域等直接3			事業区分	□新	挸	■継続
担当課					担当係						
予算区分	款		林水産		項	1 農業			■ 5	農地	費
		最終		算額		事業費財		(千円)			
年	度	予算額			国庫	県支出金	その他	起債	一般財源		備考
		(千円		円)	支出金		(収入)				
平成2		48, 7	10 48	, 699	23, 479	11, 622	0	0	13, 598		
平成28年										<u> </u>	
活動	項目	単位	年度	26	6(実績)	27(実績	責) 28	3(実績)	29		30
広域化へ向	コけた取	40 Ath	目標		0	0		0	1		1
組		組織	実績 ^{主成率}		0	0		0			
- w - 116	수 기 : 88 기 :			立夕	0% ************************************	0%	1) 7 5	<u> </u>	**	7 – 1.	<i>+</i> 44 ± 1 +
	中山间地域 集落協定	ツなどの	辰耒生	医余1	午か个利6	・地域にあ	WC. 5	平以上辰:	果を続け ⁄	5 L E	を約束した
(/_/61-)	未冷励化										
事業の目的	中山間:	地域は経	営耕地	面積(の約4割を	と占め、国	の重要な	農業生産:	地域である	るが、	近年、後継
											域を活性化
めに)	するため					,- ,					
	_										
		–			するため			Eした。			
事業の	対象		喜協定	対象	農用地面		, 880 m 1				
実施状況		交付金			46, 373						
		推進事	务費		2, 325	千円					
	【成果】										
	〇 農業	生産にる	下利地で	ある	中山間地域	域の農地を	保全しま	きした。			
					かた1協定				した。		
		NAME OF THE OWNER OWNER OF THE OWNER	ALPA.				and the second	1974		3.7	
		W - 100	A CHANGE OF	The co		1			AT Sheet		
			F	Water Fred	- Telegraphic Control						
					100						
						5	unavanador o	Martin Chillian	4 :		
世田し	ģ.						AULICIANI				
成果と 課題								The state of the		100	
不迟				A parties							
							Man .				
	7-m e= 1	201			PANCE &					2018/2019	
	【課題】	业人 // 、 1上 /	n. 😑 🤝 💤		-	ᆫᆸᆓᆸᄼ	0 7. + Nr 1	 7 1+	レジナ フュ	<u>ч</u> г	T + 0.1+
					不足等に						
					た組織を	宮めて広境	収化等を行	丁い、負担	を軽減す	るため.	の体制
	を整	える必要	せかあり	ます	0						
== /= == =	N			- 12	4-3-1-	41 -4-1.1	先駆性	必要性	住民ニーズ、事		
評価項目	必要性	妥当性	· 公·	平性	有効性	効率性	独創性	妥当性 公平性	行政必須か、引受益者の偏りに		性は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
					_	_		有効性	受益者の偏りに 目標数値は達成		_ , , ,
評価点	7	10		3	0	3	1	効率性	コスト・人員を	物率はどう	か。 5, 3, 1, 0
									他の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計		2	4	判定基準	A:事業拡充					委託の検討
(40点満点	.)						と、委託の検	eal ⊏·1/ 1 /1	∟、廃止	
					担当課に	よる判定	と理由				

В

中山間地域の農地保全を推進する上で継続すべき事業です。 各協定の取組を継続していくため、協定の広域化や事務処理方法を検討する必要があります。

1 事業の成果及び評価 一般会

	の成果及び評価 一般会計														
事業番号	184	事	集名	土地	汝良-	事業の推進	生			事業区分	□新規	見	■継続		
担当課	農林水産	果				担当係	農地整備	係							
予算区分	款	5	農林	水産費	ŧ	項	1 農業	費			5	農地	費		
		最	終	決算	額		事業費財	源内	訳	(千円)					
年月	变		算額			国庫		その			60.01.00		備考		
	~		円)	(千	円)	支出金	県支出金	(収.		起債	一般財源		.,,,,		
平成28	3年度		3, 232		678		34, 830		089		35, 759				
活動		単位		度		(実績)	27(実績			(実績)	29		30		
/0 =//-	7.0	平区		標	20			₹/	20				_		
設定なし]示 !績		_	_			_	_				
政定なし				北 率		_	_			_	_		_		
事業の対象															
争業の対象	東伯町・	赤碕田	丁土地	改良	区及で	ゾ東伯地区	₹土地改良	区連	合						
(/24012)															
事業の目的	車伯町・	赤碕田	┰╅╫	改良[又 乃 7	() 車伯州区	7.十批改良	区連·	合に	対して ・	土物改良於	東野の	維持・管理		
(なんのた	を行うたる						·		цι	λ ₁ υ ι	工地块及加	E DX V			
めに)	٠١١ ١١ ١٠ ١٠	ァノリノ た	三白貝	·少」/火~	ا ا ت	, 0									
	~ 44.44		⊥ ⊢ == 4	·/		ر بــــ بــــ بـــــ بـــــــــــــــــ	10km 1 121 =	L + -	- \- ^		F4 400	- -			
							地区土地改	又良区	建台	î)	51, 160				
	〇土地										24, 055				
事業の	〇基幹	冰利	施設約	維持管	理費	1					2, 463	千円			
実施状況															
	〔成果〕														
			- F L	1 幺日 丝虫	ナス	久十州小口	良区におい	、 ア	*** 甘	般の維持	毎 田 ひ バ	目 📛 -	上地水白		
							ず施設を通	りりし	. 維持	・官埋し	、辰耒生	生基質	登の核で		
	ある	水資	原を有	可効に	沽用	しました。									
	〔課	題〕													
	将	来的	に持続	売可能	な運	営体制の	確立が求め	られ	ます						
成果と															
課題															
HT 123															
								生郎	<u>4</u> γγ.	必要性	住民ニーズ、事	業の必要	性は。 10, 7, 3, 0		
評価項目	必要性	妥当	当性	公平	性	有効性	効率性	先駆 独創		妥当性	行政必須か、委		と性は。 10, 7, 3, 0		
								江后	.) I.T.	公平性 有効性	受益者の偏りは		5, 3, 1, 0		
評価点	10	1	0	5		3	3	1		有郊性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効		. 0,0,1,0		
三三国三二	10	L 1			,	J	U	'			他の見本となり		5, 3, 1, 0		
	評価点 計			2	2	和 宁 4 **	A:事業拡充	В:	現状網		善・効率化	し継続	、委託の検討		
	40点満点			3:	८	判定基準					討 E:休止				
						担当課に	よる判定の	レ理は	Ħ						
						ニコかに	אניד שי יט	_ ~= 4	4						
C	国営造成	施設0)適切	な運営	営に貧	資金を確保	ほし、安定	した	維持	管理を行	行う必要が	iあり	ます。		

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

В

	の成果及び	評価	, » [~		141000		- 7117	A. 1.—.	_ 一般	会計		
事業番号	1157	事業	名	農業体質		Ě備促進事	業		事業区分	口新規	見	■継続		
担当課		農林水	達課		担当係	片	農村整備	请係	7. J.					
予算区分	款	5	農林	水産業費	項	1	農業費	ŧ		5		農地費		
		最	終	決算額		事業費財	源内訳		(千円)					
年	度	予算 (千F		(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他		起債	一般財源		備考		
平成2	8年度	24,	408	24, 341	12, 629	4, 856	1, 9	16	4, 100	840	その	他:地元負担金		
平成28年	度(明許)				·				·					
活動	項目	単位	年月	度 26	(実績)	27(実績	責)	28	(実績)	29		30		
			目标		_	_			_	_		_		
設定	なし	-	実績		-	-			_	-		_		
			達成	率	-	-			-	-		_		
事業の対象 (だれに)	農業経営	の規模	拡大	する農業	者、生産集	基団、集落								
事業の目的 (なんのために)	優良農地の確保と有効利用の促進、農業水利施設の安定的な用排水機能等の確保、農村地域の新たな価値の創出や活性化を行ううえで必要となる農林業基盤の改修・補修等を行い、農林業の振興に資する。 特に水路については、降雨時には、防災・減災を図る上で欠かせない社会生活基盤である。 〇 交付金を活用し、以下の内容にて工事等を実施しました。 費目 実施地区 金額 内容													
	0	交付金	きを活	用し、以	下の内容に	こて工事等	を実施	<u></u> し	ました。					
		費	目								内	容		
事業の	測量	設計委	託費	槻下	、逢束、	別宮			1, 696	千円 設計	業務	一式		
実施状況	工事	請負費	Ì	杉下	、槻下、	光好、八月	豆田		22, 645	千円 水路	·I	L=1, 177m		
成果と 課題	【成果】 ○ 農業従事者の減少や高齢化が進むなか、農業用施設の維持管理の省力化を図り、意欲ある農業者が継続できる環境(基盤)を整備しました。 【着工前】 【完成】 【完成】 【課題】 ○ 国の補助金予算の動向で事業費の変動があり、計画どおりの実施が困難となっています。 地元からの整備要望について精査を行い、計画の見直しを図って行く必要があります。													
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	- 1	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能	能性は。 10, 7, 3, 0		
評価点	10	10)	3		3	1		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成コスト・人員対 他の見本となり	率はどう	うか。 5, 3, 1, 0		
	評価点 計40点満点			27	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小			推持 C∶改 、委託の検			、委託の検討		
					担当課に	よる判定の	と理由							

農業従事者の維持管理の省力化及びする上で継続すべき事業ですが、整備計画の見直しを検 討する必要があります。

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	1369	評価 事業:	名 農林	水産業	美共同利用	用施設復旧成	5.援事業	事業区分		一般会計 見	■継続
	農林水産調		<u>п</u> детт	7,11,11,2	担当係			チボニバ	49179		142196
予算区分	款	5 島	農林水産	業費	項	1 農業			■ 8	鳥取県中部地窟	夏対策費
_				算額		事業費財		(千円)			4.
年) ————		予算額 (千円		円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		考
平成28		26,	874 24	4, 826		0 15, 167		9, 400	259	H29繰越額58 ライスセンタ	千円(北条 7 一分)
平成28年月活動		単位	年度	1 26	(実績)	27(実績	<u> </u>	28(実績)	29		30
/白 判	<u> </u>	甲世	<u>+-段</u> 目標	20	· (天 棋) -	- 27(天前	貝 <i>)</i>	20 (天 限 <i>)</i> -			_
2定なし			実績		-	_		_	-		_
			達成率 目標						_		
			実績		_	-		_	_		_
			達成率		-	_		-	_		-
事業の対象(だれに)	鳥取中央剧	農業協同	司組合、	大山郛	L業農業協	胡同組合					
事業の目的(なんのために)	鳥取県中部	部地震で	で被災し	た農材	水産業に	に係る共同和	∬用施設 <i>0</i>)復旧を支持	爰する。		
事業の 実施状況	2 東伯3 総合4 大山	ライス カント 育苗セ	こかかる: センター リーエレ ! ンター 業協同組	ベーク		57, 3 8, 846, 6	62円				
	被災	した場	所でもこ	れまっ	でどおり	産業にかかる 製造や出荷(ントリーエし	作業等が行	[〒] うことが [∙] −、総合育i	できました	0	
			Γ	補具	助額 国	県補助金					
							玉	県	1	町	
		乳業			72,503	9,758,527	3,547,			<u>5,213,976</u>	
		ライスセン	9-		57,330	35,027			23,027	22,303	
	<u>東伯</u>			8,8	46,667	5,405,370	1,965,			3,441,297	
	育苗	センター		0.4.0	6,462	3,946		000	2,946	2,516	
		計		24,8	82,962	15,202,870	5,525,	000 9,6	77,870 9	9,680,092	
	〔課題〕 1 再度	地震等	が発生し	たとる	きに備え [.]	て、耐震工	事等の検討	対が 必 要で ⁻	す。		
								必要性	住民ニーズ、事業	美の必要性は。	10, 7, 3, 0
						おず性	先駆性	妥当性	行政必須か、委	託の可能性は。	10, 7, 3, 0
評価項目	<u></u> 次要性	並示。	性 小	平性		2711 744 T-T					
評価項目	必要性	妥当	性 公	平性	有効性	効率性	独創性	公平性	受益者の偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0
							独創性	有効性	目標数値は達成	できたか。	5, 3, 1, 0
評価項目	必要性 7	妥当(平性 —— O	1	加 华性	独創性 1	有効性効率性	目標数値は達成 コスト・人員効:	できたか。 率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点		3	(0	0	1	1 B∶現状	有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C:改善	目標数値は達成 コスト・人員効: 他の見本となり ・効率化し編	できたか。 率はどうか。 えるか。 迷続、委託<i>0</i>	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	3	(0	1 A:事業拡充 D:規模縮小	1 B∶現状; 、終期設定	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効: 他の見本となり ・効率化し編	できたか。 率はどうか。 えるか。 迷続、委託<i>0</i>	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7 評価点 計	3	(0	0	1	1 B∶現状; 、終期設定	有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C:改善	目標数値は達成 コスト・人員効: 他の見本となり ・効率化し編	できたか。 率はどうか。 えるか。 迷続、委託<i>0</i>	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0

1 事業の成果及び評価

一般会計

	<u>)成果及び</u>										一般会詞	
事業番号	1310	事業	名きの	こ王		り推進事業			事業区分	■新規	見	□継続
	農林水産					農林水産		系				
予算区分	款		農林水産業	美費	項	2 林業	費			2	林業振り	型 費
		最	終 決算	額		事業費財	源内	訳	(千円)			
年	叓	予算 (千P	額		国 庫 支出金	県支出金	その (収.) 他	起債	一般財源	1	備考
平成28	3年度			, 556		1, 167	(4)	0	0	389		
平成28年		,				·						
活動		単位	年度	26	(実績)	27(実績	責)	28	3(実績)	29		30
鳥取茸王、			<u>- </u>			— (JC4)3	.,		260	270		280
リ115等 栽培量		kg	実績 達成率		_				94 36. 2%			
事業の対象(だれに)	「鳥取茸	E」の:	<u> </u>	望する	る者				OO. 2/0			
	県が平成: 確保支援:						生産	拡大	支援事業(こより、田	すとして:	生産量の
事業の 実施状況	した。	ウス 2	っとり推 <mark>事業内</mark> 棟361.2r 式(2棟分	字 ni	業として、	以下のと <mark>事業費(</mark> 2,957	円)	うち ^さ	実施ならで <mark>補助金(円)</mark> , 556, 000	事業写	実施者	
「成果」 鳥取茸王ハウス及び付随する散水設備の新設整備を助成することで生産量確保が図れました。(JA鳥取中央椎茸生産部で実施し、中部地区生産者5名のうち琴浦町在住は1名。) 「課題」 当事業は鳥取茸王ハウス新設が対象の県間接補助事業ですが、今年度は既生産者の施設整備にとどまったため、新規生産者の参入が課題です。												
評価項目	必要性	妥当	性 公平	性	有効性	効率性	先馴 独倉		必要性 妥当性 公平性 有効性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性はないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	7	()	3	0	1		効率性	目標数値は達成 コスト・人員対 他の見本となり]率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		1	8	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小			維持 C∶改 ≧、委託の検			託の検討
					担当課に	よる判定の	と理ら	<u> </u>				
D	県間接補助	助では	あります	が新規					継続が困動	難です。		

事業番号	<u>)成果及い</u> 864	事第	Ě名	とっとり	共生の森森	集林整備事	· <u></u>	事業区分	□新規	<u>一般云</u> 見	■継続		
担 当 課					担当係	農林水産							
予算区分	款			水産業費	項	2 林業		-	∃ 2	林業振	興費		
—		最	終	決算額		事業費財		(千円)	1		/++ -> /		
年	艾	予算		(T III)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		備考		
平成2	2年度	(千	56	<u>(千円)</u> 55		0	55	0	0				
平成28年			30	33	0	U	J.	0	0				
活動		単位	丘	度 26	6(実績)	27(実績	事)	8(実績)	29		30		
71.43	ΧН	+ -		標	—		_		_		_		
設定なし			実	績	_	_		_	_		_		
			達原	艾率	_	_		_	_				
事業の対象(だれに)	森林管理	理協定	≧に基	づく損害値	保険ジャバ	パン日本興	亜(株)						
事業の目的 (なんのた めに)	(株)と5年間 開始した。	の森	林管理	里協定を締 成26年度7	5結し、平 から5年間	成20年度だ	νら船上ι		生の森に	て森林	きジャパン 保全活動を ジャパン日		
事業の 実施状況													
成果と 課題	今年度は鳥取県中部地震により植栽、下草刈り等、損害保険ジャパン日本興亜株式会社 社員との森林整備共同作業が実施できませんでした。 「課題」 植林後の苗木の定着について、一部の植栽地で土質の影響からか苗木の定着が良くない ため、対応が必要です。												
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性			
評価点	7	7	7	3	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成コスト・人員効	できたか。 率はどうか	5, 3, 1, 0		
	評価点 計40点満点			26	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		維持 C∶改 定、委託の検	善効率化	し継続、	. , , ,		
					担当課に	よる判定の	と理由						
В	森林保全 植栽等森				員保ジャバ	パン日本興		きゅう倶	楽部、県と	≤連携し	,下刈りや		

1 事業の成果及び評価 一般会言

	<u> 成果及で</u>	<u> </u>										一般会計	
事業番号	398	事為	Ě名	ふれる	あい	交流会館管	管理運営			事業区分	□新規	.	■継続
担 当 課	農林水産	課				担当係	農林水産	振興(系				
予算区分	款	5	農林	水産業	養	項	2 林業		-		2	林業振興	費
= //	.,,,	最	終	決算			事業費財		訳	(千円)			
年月	Ė	予算		八五	디딧	国庫		<i>派</i> です				借	考
-+ /3	×.	千(千		(千)	Д)	支出金	県支出金	(収		起債	一般財源	加田	73
平成28	年度		, 066		055		0	(42)	122	0	933		
立式20年月	≒/□□=\r\												
平成28年月		出上	5	由 「	26	(宝建)	97/中4	Ē\ Ι	20) (史廷)	29		30
活動功	見日	単位	年日	標	20	(実績)	27(実績	Į/		3 (実績) 5, 200	5, 400		5, 600
左眼利田夫	<u>د ۱ */-</u>					_	4, 961			6, 092	5, 400	, ;	0, 000
年間利用者	人奴	人	実			_	4, 901						
				支率		_	_			117%	250		400
佐朗山い	米上	I#		標建		_	074			300 278	350		400
年間申込人	、奴	件		績		_	274						
			连力	戊率			_			93%			
事業の対象 (だれに)	子育て世	代や	高齢者	皆など	、施	設を利用	する方々。						
事業の目的 (なんのために)	赤碕ふれ	あい	交流会	会館の	維持	——- 管理のた	— — め。						
事業の 実施状況	1 施設管理費 1,053千円 清掃委託や、消防用設備保守点検により適切に施設管理を行いました。												
成果と 課題	利用	用して	いた	だくこ	ことか	快適な環 ができまし そです。	環境を提供 .た。	ل , ت	<i>t</i> = < †				
評価項目	必要性	妥当	当性	公平	性	有効性	効率性	先馬 独倉		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 ないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	3	3	5	·)	3	3	1	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	平価点 計			2	2	判定基準	D:規模縮小	、終	期設定	์持 C∶改善 ≧、委託の検			D検討
						担当課に	- よる判定	と埋	Щ				
C	利用者が 等の検討						かかる事剤	务負担	∄が多	多くなって	います。	可能な範囲	囲で委託

	の成果及び			-					一般会計			
事業番号	200	事業名	森林整備				事業区分	□新規	見 I	■継続		
担当課			1		農林水産					-th		
予算区分	款		水産業費	項	2 林業			∄ 2	林業振興	費		
/ =		最 終	決算額		事業費財		(千円)		/ ±	: -1 -		
年		予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	1/用	i考		
平成2	0年度	1, 594			1, 456		0 0	64				
平成28年		1, 554	1, 320	0	1, 430	,	0	04				
活動		単位 年			27(実約	善) 2	8(実績)	29		30		
/D 3/J	7.0		- 使			R/				_		
設定なし			[績	_	_		_	_		_		
			成率	_	_		_	_		_		
			竹林所有									
(だれに)	森林整備	地域活動支	援交付金	• • • 森林	木整備地域	活動実施	協定を町	と締結する	林業事業	体等		
車業の日始							幾械化施業 。		川減に不可	「欠な林		
事業の目的 (なんのた	内の路網整備を推進し、間伐施業の拡大と間伐材の有効利用を図る。											
めに)	放置竹林面積が拡大しており、荒廃竹林拡大防止のため竹林の抜き伐り施業を促進することに より竹林の有効利用を図る。											
	より竹林の	カイ 別利用	そ凶る。									
	0 + 1 + + +	# /0 \# + "	 	- N	A ± \ 11 ±	세노 (. > +81 <u></u> L# •	4.人份 4. 4.	-4. 4.	_		
	〇森林整			て、以下0			よらびに補助			た。		
	1 LL		<mark>業内容</mark>				<mark>補助金(円)</mark>					
事業の 実施状況	1. 竹	林整備事	美		1, 580	, 500	500 1, 264, 400		鳥取県中部森			
美旭 仏沈		► ↓↓ ★♭ /++ ↓↓	. - 'アチレート	<u> </u>	050	000	050 000	林組合				
			!域活動支持	发父付金	250	, 000	250, 000	鳥取県中	部 森			
	事業							林組合				
成果と課題	ました。 2 森林 等の整何 「課題」 1 竹林 確保できた	。 整備地域活 備促進がて 整備事業に ない。 金について	s動支援交流 きました。 は鳥取県森 は鳥り、事 に、施業集	付金・・・事。 ・ 林環境保全 業実施の記	業実施に。 È税を財源 調整が必要	より16ha としてい です。	そ行い、荒り 分の森林境 いるため事業	5界が明瞭 業費が要望	化し、間の	伐		
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 ないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0		
評価点	7	7	3	3	3	1		目標数値は達成コスト・人員効他の見本となり	率はどうか。 えるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
	評価点 計40点満点		24	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小 よる判定	`、終期設	代維持 C∶改 定、委託の検			モの検討		
				担コ床に	よる刊化	C 柱田						
В			Eし適正に 迷続するこ			底させ、	森林の持つ	つ多面的機	態能発揮に	資する		

1 事業の	の成果及び	評価							_ 一般会計	
事業番号	196	事業名	森林病害	虫等防除			事業区分	□新規	■継続	
担当課					農林水産					
予算区分	款		水産業費	項	2 林業			2	林業振興費	
年	#	最 終 3) 決算額		事業費財		(千円)		備考	
平,	支	予算額 (千円)	(千円)	│ 国 庫 │ 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	1佣 右	
平成2	3年度	19, 675			11, 225	0	0	3, 857		
平成28年		10, 010	10,002		, ===			5, 557		
活動	項目			6(実績)	27(実績	責) 28	8(実績)	29	30	
=0 -4 -4 - 1			標	_	_			_	_	
設定なし			¥績 龙 率	_	_		_	_		
事業の対象	琴浦町	┗━━━━ <u>━━━</u> 森林整備計		_ _ づく森林症	————— 第害虫対策	_ 松林等				
事業の目的 (なんのた めに)	するため.	、ヘリコフ	『ターによ	る薬剤散布	万及び被害	木の伐倒	の拡大を 駆除を行う 係機関と対	う。	要な松林を保全	
	〇森林病	害虫等防除	事業とし	て、以下の	りとおり事	業実施し	ました。			
		事	業内容		事業費(請負者		
事業の		くい虫特別	別防除(空	中散布、	7, 828	828, 881 (株)ヘリサービス(空中散布)				
実施状況	地上	作業)			7.005	上作業)				
	2.7	トラ枯れ被	害木駆除		7, 205, 760 (有)中本産業、 西日本産商(株)					
								口平庄问《	[1]	
成果と 課題	へま 立し 課 が 前 り は り は り で り り り り り り り り り り り り り り	ん蒸 た な な な た は な で れ で も し に い で を を を を を を を を を を を を を	穿 てよを 対が防力 大生 散害す 協被策が が防シナカシー	末325本 回記こと、囲とか を差が、山大たが、山大た郊のとが、山大た郊のとが、山大た郊の	立木シー 散は要 はでといる でとす。 はて ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない ない	ト被覆を行 をしていた で見られた おと行っていた	テい、一定 るが、散の 協協山と 協議山とが。	の被害抑」 回数の差 見林業試験 での対のは から10km ひ要です。	は枯損木684本 止を図り 異調査結果で き場発表を受け が針に基づき、 が囲内を緊急 息密度低減を	
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 10, 7, 3, (
評価点	7	7	3	3	3	0	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効!	できたか。 5, 3, 1, 0 率はどうか。 5, 3, 1, 0	
	評価点 計40点満点		23	判定基準		`、終期設定		善・効率化し	レ継続、委託の検討	
		弥除は散布 と連携して		更へ、ナラ			プ予防対策	まによる効	=====================================	

1 事業の	D成果及び	評価									一般会計	
事業番号	201	事業4	名 林業	集振興:	対策事業				事業区分	□新規	見 I	■継続
担当課		果			担当係	農林水産	振興係					
予算区分	款	5 農	林水産	業費	項	2 林業	費		E	2	林業振興	費
		最 糸		算額		事業費財	源内部	7	(千円)			
年	度	予算額 (千円		-円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)		起債	一般財源	備	i考
平成2	8年度	5, 1	90	5, 066	0	0		0	0	5, 066		
平成28年	度(明許)											
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	責)	28	(実績)	29		30
			目標		3, 000	3, 000)		5, 000	5, 500)	5, 500
間伐搬出村	才 積	m3	実績 達成率		2, 987 99. 6%	3, 000 100. 0			5, 374 07. 5%			
事業の対象 (だれに)						·(公財)県 鳥取県中				₫		
事業の目的 (なんのた めに)	定と福祉の 戦後植	の向上に 休したオ	こ寄与す マ材が伐	るこの期を	とにより、 むかえる中	湖者年末一 林業労働 マ、材価低 「ることに	者の確迷等に	€保. こよ	及び就労会 る間伐搬と	条件の改善 出量の減少	善を図る。	
	〇林業振り	興対策事	事業とし 事業内		以下のとお	らり負担金 補助額(円)	バニ	補助金をき	交付しまし	た。	
事業の 実施状況	1. 林	業労働	者福祉[—— 句上対	策事業	182, 322						
	2. 舅	 る間代	実施事	業		4, 883	, 831					
成果と課題	め共済年第 2 緊急 を行い、 「課題」 2 町が副 (公財)鳥 ダを活用	金掛金が 認取して ここう こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう いいき いいい ひんしょう いいい いいい ひんしょう いいい いいい いいい いいい いいい いいい いいいい いいいい いい	なび年末 性 と い公な場 の 社 り い い な は り の れ り の れ り の れ り の り り り り り り り り り	(一時: (一時: (本報) (本報) (本報)	金支給の助 ・間伐施 戈搬出量の 営計でまる はできるよ	きが が が が 大が が で が で が で が で で で で で で で で で で で で で	生活たを 計年ま。) 安、か 一般導が	定と福祉(5,374m3 けました。 出作業を 出入 設置する。	の向上に記るの搬出に記事のの搬出に記事のの機は、中のでは、中のでは、中のでは、大きのでは、たらのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、大きのでは、たらのでは、大きのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらいでは、たらのでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たらでは、たら	野与しまし 対 し町が	た。補助・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
評価項目	必要性	妥当性	生公	平性	有効性	効率性	先駆f 独創f	₩	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。ないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	7		5	3	3	3		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			31	判定基準		`、終期			善・効率化 討 E∶休止		托の検討
					担当課に	よる判定	と理由					
В	間伐かさ ₋ ます。	上げ補即	力は中部	34市町	が足並み	をそろえて	て実施	して	 ごおり、継	 続するこ	 とが妥当	――と判断し

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書 平成 一般会計 事業の成果及び評価 1 事業番号 事業名 漁村センター管理事業 事業区分 □新規 ■継続 1225 担 当 課 農林水産課 担当係 農林水産振興係 5 農林水産業費 予算区分 水産業総務費 項 3 水産業費 目 事業費財源内訳 (千円) 最 終 決算額 予算額 年度 備考 国庫 その他 県支出金 起債 一般財源 (千円) (千円) (収入) 支出金 平成28年度 510 506 0 0 0 0 506 平成28年度(明許) 活動項目 単位 年度 26(実績) 27(実績) 28(実績) 29 30 目標 750 800 850 年間利用者数 675 259 人 実績 586 達成率 35% 事業の対象 漁業者や地域住民、施設を利用される方々。 (だれに) 事業の目的 (なんのため 漁業者や地域住民等の研修や交流事業等を行う場を維持管理するため。 (=) 1 施設管理費 506千円 光熱水費等の支払や軽微な修繕等を行うことにより、 適切に施設管理を行いました。 事業の 実施状況 〔成果〕 漁業者や地域住民等の研修や交流事業を行う場を維持管理することができました。 成果と 課題 〔課題〕 施設の老朽化が進んでいることから、譲渡や廃止など今後の方針を健闘する必要が あります。 必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。 10.7.3.0 行政必須か、委託の可能性は。 10, 7, 3, 0 妥当性 先駆性 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 評価項目 独創性 公平性 受益者の偏りはないか。 5, 3, 1, 0 有効性 目標数値は達成できたか。 5, 3, 1, 0 3 1 0 1 1 0 評価点 効率性 コスト・人員効率はどうか。 5, 3, 1, 0 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5, 3, 1, 0 判定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 評価点 計 6 (40点満点)

担当課による判定と理由

今後、漁業等への譲渡も含め、施設の維持管理を検討していく必要があります。

D

中华五口	成果及び									一般会計	
事業番号	203	事業名	水産	業振興	具対策事業			事業区分	□新規	■継続	
	農林水産				担当係	農林水産排	長興係				
予算区分	算区分 款		林水産	水産業費		3 水産業費			1	水産業総務費	
		最 終	決算	算額		事業費財	源内訳	(千円)			
年月	度	予算額 (千円)		円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考	
平成28	3年度	71, 3	54 7 ⁻	1, 204	5, 000	5, 657		0 0	60, 547		
平成28年	度(明許)										
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	(1)	28(実績)	29	30	
			目標		_	235, 50		247, 275	259, 05	0 263, 760	
#魚等売上7	高	千円	実績		-	227, 48	4	209, 446			
		į	【成率		-	97%		85%			
			目標		_	11, 500)	12, 075	12, 650	12, 880	
忽菜売上高			実績		_	32, 73	1	32, 292			
5.51150 — 1-3	175—1		<u>人</u> 【成率		_	285%	•	267%			
		Į.	<u> </u>	 	_	8, 000		8. 400	8, 800	8, 960	
江本生!		_~			_			,	0, 000	0, 900	
行商等売上	司		実績	ļ	_	4, 071		2, 800			
		į	成率		-	51%	igspace	33%	00.00	01 000	
hi 구 ÷ * ÷	ᆫᅔ	_~	目標	ļ	_	37, 000		38, 850	30, 800	31, 360	
加工事業売_	上尚		実績			33, 640		32, 195			
事業の対象		Į	直成率		_	91%		83%			
	対象 2 栽培	活動経 漁業ビジ	藻場保 費の一 ネスプ	全活動部を3	動グループ 支援しまし 推進事業	た。		:入及び食害			
	3 栽培ジ 4 漁漁漁 5 漁漁 対対	漁業地域 ハタ11、 近代化資 近代済 計 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	支援対 90尾利金 金 軽減り11	策事類 種補約 乗 業 乗 業	業 購入経費の 事業 ナている10	一部を支持 件(7名分	受しました) の利子	部を支援しる た。 補給を行い			
	6 漁業	驳争保到		عللد	17型	6件、しい	ら漬2件				
重業の	一部 7 6次產	者5名が を支援し 全業化総	ました 合支援	ナてい 。 事業	る漁業経営	営財務基盤	強化緊急	対策資金の			
事業の 実施状況	一部 7 6次度 赤碕 8 水産	者5名が何を支援し を支援し を業化総つ 町漁協加 養殖企業	昔り受(ました 合支援 エ所の 立地支	ナてい 。 よ よ よ よ も 、 ま も も も も ま も も も も も も も も も も も	る漁業経営 さ、加工品 業	営財務基盤	強化緊急	対策資金の			

〔成果〕

1 水産多面的機能発揮対策事業

18.000円

藻場の造成活動を支援し、水産資源の確保に努めました。

2 栽培漁業ビジネスプラン推進事業

959, 374円

- アワビ及びサザエの種苗購入経費の一部を助成し、水産資源の確保に努めることで 漁師の経営安定に寄与しました。 3 栽培漁業地域支援対策事業 1,376,4
- 3 栽培漁業地域支援対策事業 高級魚のキジハタの種苗購入経費の一部を助成することで、魚価の低迷等により変化 する漁師の経営安定に寄与しました。
- 4 漁業近代化資金利子補給事業 漁業経営財務基盤強化資金借受者の利子助成をすることにより、漁師が船や漁具を 購入する際の資金面で支援ができました。
- 5 漁獲共済掛金軽減事業

157.750円

赤碕町漁協組合員の共済掛金を助成することで、組合員の共済加入促進ができました。

6 漁業緊急保証対策事業 漁業経営財務基盤強化資金借受者の保証料を助成することにより、漁師の資金面の 支援ができました。

7 6次産業化総合支援事業 5,870,325円 赤碕町漁協に対し、機器設備や販売促進事業にかかる経費を助成することにより、 販売事業の拡大が支援できました。

成果と 課題

8 水産養殖企業立地支援事業

60,000,000円

鳥取林養魚場の新設に係る稼動経費の一部を支援することで、新たな事業を進めて いく上での後押しができました。

9 省エネ漁業推進事業

1,611,332円

漁業者が省エネ化により漁業経営改善を図るための購入経費の一部を支援し、漁業者の 経営安定に寄与しました。

2名

- ・エンジン、サテライト 1,319,999円
- ネットローラー 291,333円

〔課題〕

漁業の担い手支援及び、そのための指導者の育成が必要です。

	評価点 計40点満点)	22	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		持 C∶改善 委託の検討)検討
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	7	1	3	1 1	3	効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
							有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
計៕垻日	必安性	女ヨ注	公平注	有劝注	劝 牵注	独創性	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	ノし 河丘 工	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
							必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0

担当課による判定と理由

B 水産業の衰退に歯止めをかけるためにも、継続した支援が望ましいと思われます。

事業	4 1 11 11	\ 	半	28	牛皮 =	事業队が	未 訳明-	青	評価書	ոռ ⇔ ≞⊥
担当係 上野 上野 上野 上野 上野 上野 上野 上				現在発生	豊 地 巛 宝 和	包旧事業		事業区分		
1 東本佐東 米東 東京							 係	于木匠刀	山利茂	■ ₩₩ 490
年度				復旧費				复旧費	1 現年	F発生農地災害復旧費
(子円) (子円) 支出金 東文山家 (収入) 起版 一般明潔 上記 一般明潔 上記 一般明潔 上記 上記 上記 上記 上記 上記 上記 上			最 終			事業費財	源内訳	(千円)		
で	年	变		(~ m)	国庫	県支出金		起債	一般財源	備考
下成28年度(明許) 単位 年度 26 (実績) 27 (実練) 28 (実績) 29 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	 + `0() /-				жхпш	(収入)	Æ K		\ <u>^</u>
活動項目 単位 年度 26 (実績) 27 (実績) 28 (実績) 29 30 30 30 30 30 30 30 30			1, 550	6					6 H2S	J裸越額1,530十h
設定なし			当 位 年	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(宝結)	27(宝統	雪) 29	3(宝績)	29	30
実稿	70 30	7 L				- Z/(天市	R/			
事業の引き (だれに) 被災した農地の災害復旧による受益農業者 事業の目的 (なんのために) の	設定なし		美	経	_	_		_	_	_
東来の目的 (なんのために)			達	成率	_	_		_	_	_
事業の目的 (なんのために) おおびまに被災した農地について、国庫補助を受け復旧を行い、もって農業の維持を図り あわせて、その経営の安定に寄与する。		被災した	農地の災害	『復旧によ	る受益農業	美者				
「はんのた あわせて、その経営の安定に寄与する。	(/_////_/									
あわせて、その経営の安定に寄与する。	事業の目的	白然巛	主に被災し	た農地に・	ついて ほ	唐補助を	必 け復旧	を行い	±.って農業の	維持を図り
事業の 実施状況							メリタロ	٠, ١١٥ ټ	しって成木の	作用 () () () () ()
事業の実施状況 発注を行いました。なお、災害復旧工事については平成29年度へ繰越して実施します。 着工年月日:平成29年3月31日 請負金額:1,188,000円 [成果] 災害復旧工事の早期発注を行い、水田機能の回復を図り、継続可能な農業の確立に寄与しました。 (被災状況) 可き続き他事業と連携して、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。 発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。 評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性 独創性 独創性 公平性 受害性 受害者の原りはないか。 (ショセ ・ 「安全者の原りはないか。」 5.3、表的 を対性 ・ 「会社のの見本とりえるか。」 5.3、表的 の原本との見なよりえるか。」 5.3、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、	α <i>)</i> [<i>–</i>]	• .								
事業の実施状況 発注を行いました。なお、災害復旧工事については平成29年度へ繰越して実施します。 着工年月日:平成29年3月31日 請負金額:1,188,000円 [成果] 災害復旧工事の早期発注を行い、水田機能の回復を図り、継続可能な農業の確立に寄与しました。 (被災状況) 可き続き他事業と連携して、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。 発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。 評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性 独創性 独創性 公平性 受害性 受害者の原りはないか。 (ショセ ・ 「安全者の原りはないか。」 5.3、表的 を対性 ・ 「会社のの見本とりえるか。」 5.3、表的 の原本との見なよりえるか。」 5.3、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、										
事業の 実施状況					豪雨によ	り被災した	大父地区	☑農地につ	いて、災害復	复旧工事の
(成果)										
請負金額 : 1, 188,000円 「成果」		な					三度へ繰起	越して実施	します。	
「成果]	美施状况									
び書復旧工事の早期発注を行い、水田機能の回復を図り、継続可能な農業の確立に寄与しました。			請貝金額	: 1, 1	88, 0	00円				
び書復旧工事の早期発注を行い、水田機能の回復を図り、継続可能な農業の確立に寄与しました。										
び書復旧工事の早期発注を行い、水田機能の回復を図り、継続可能な農業の確立に寄与しました。		لم ا	. 果]							
確立に寄与しました。		(1)		日工事の早	期発注を	行い、水田	日機能の回	回復を図り	」、継続可能な	は農業の
成果と 課題				-						
課題			(被	災状況)						
課題								1		
課題						400				
課題				100	Section 1					
課題										
課題	成里と			A STATE OF THE PARTY OF THE PAR			-			
日き続き他事業と連携して、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。 野価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性 没当性 行政必須か、委託の可能性は。10.7 受当性 行政必須か、委託の可能性は。10.7 公平性 受益者の偏りはないか。5.3 公本性 受益者の偏りはないか。5.3 対率性 コスト・人員効率はどうか。5.3 対率性 コスト・人員効率はどうか。5.3 対率性 コスト・人員効率はどうか。5.3 に悪性・独創性他の見本となりえるか。5.3 に悪性・独創性他の見本となりえるか。5.3 に対し、対策を持続に対象に対し、対策を対象に対し、対策を対象に対し、対策を対象に対し、対策を対象に対し、対策を対象に対し、対策を対象に対し、対策を対象に対し、対策を対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対象に対								1 200		
引き続き他事業と連携して、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。				等 中外线	7 SA					
引き続き他事業と連携して、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。								178		
引き続き他事業と連携して、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。 評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性 変当性 行政必須が、委託の可能性は。 10,7 公平性 受益者の偏りはないか。 5.3、有効性 目標数値は達成できたか。 5.3、有効性 コスト・人員効率はどうか。 5.3、 クラッキ カッキ ロスト・人員効率はどうか。 5.3、 クラッキ カッキ ロスト・人員効率はどうか。 5.3、 クラッキ カッキ ロスト・人員効率はどうか。 5.3、 クラッキ カッキ ロスト・人員が変化し継続、委託の検討 (40点満点)				*						
引き続き他事業と連携して、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。				MEI IV		建 4 4				
引き続き他事業と連携して、災害の発生防止を図るとともに、災害発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。				Difference Surface Co	A STATE OF THE STA	No live of the live of				
		〔課		- →	 146 1	<i>,,,</i> , , , , , , , , , , , , , , , , , 	w			
評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性 独創性 必要性 付政必須か、委託の可能性は。 10,7 公平性 独創性 受益者の偏りはないか。 5,3,3 対率性 コスト・人員効率はどうか。 5,3,3 対率性 コスト・人員効率はどうか。 5,3,5 大駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,5 大駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,5 大駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,5 大取性・独創性 人の見満に対し、 5,3 大取性・独創性 と 5,4 大取性・知能・不成性・不成性・不成性・不成性・不成性・不成性・不成性・不成性・不成性・不成性				- . -					:もに、災害	
評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 元配性 独創性 妥当性 公平性 受益者の偏りはないか。 受益者の偏りはないか。 10,7 評価点 10 10 5 3 1 有効性 列率性 コスト・人員効率はどうか。 15,3, 効率性 コスト・人員効率はどうか。 5,3, 大駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3, 大駆性・独創性 他の見本となりるるか。 5,3, 大駆性・大駆性・大駆性・大駆性・大駆性・大駆性・大駆性・大駆性・大駆性・大駆性・			光生 時の カ	迷やかな対	心かり形	は作削しく	、りか必多	そじり。		
評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 九融に 独創性 妥当性 行政必須か、委託の可能性は。 10,7 公平性 10,7 公平性 受益者の偏りはないか。 5,3, 有効性 目標数値は達成できたか。 5,3, 効率性 コスト・人員効率はどうか。 5,3, 効率性 コスト・人員効率はどうか。 5,3, 元駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3, 元駆性・独創性 他の見本となりるか。 5,3, 元ឃ性・経験性・企業・効率化し継続、委託の検討を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を							华 取性	必要性	住民ニーズ、事業の	必要性は。 10, 7, 3, (
評価点 10 10 3 3 1 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 (4 0 点満点) 評価点計 (4 0 点満点) 32 判定基準 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性		妥当性		可能性は。 10, 7, 3, (
注収		4.0	4.0	_	_				目標数値は達成でき	たか。 5, 3, 1, 0
評価点 計 (4 O 点満点) 判定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検i D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止	評価点	10	10	5	3	3	1			-, -, -, -
(40点満点) 32 ^{刊定基準} D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E∶休止、廃止		平価占 計		00		Δ:重業址本	R 用件:			
田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・田・				32	判定基準					
世 1 試による刊足と任田					担当課に	よる判定の	と理由			
						. 5 11/0				

B 突発的に発生する自然災害に対して必要な事業です。

]年度 事業成果説明書

1 事業の	の成果及び	評価									 — 般	会計
事業番号	354	事業名						事業区分	□新規	見	■継続	
担当課						農村整備						
予算区分	款		信復旧費		項		k産業災			1 1	現年多	E E E E E E E E E E E E E E E E E E E
/ =		最 終		額	- +	事業費財			(千円)			/#
年	吳	予算額 (千円)		- \	国 庫 支出金	県支出金	その(収入		起債	一般財源		備考
平成28	2年度	5, 92		808	又山亚		(427	()		808	H29繰越額5, 100千	
平成28年		0, 32	1	000						000	IIZJης	未吃饭,100 1
活動		単位	年度	26	(実績)	27(実約	書)	28	(実績)	29		30
70 30	д Ц		目標				rt /					_
設定なし			実績		_	_			_	_		_
		這	成率		_	_			_	_		_
事業の対象	被災した	豊業用施	砂の災害	₹復 IF	1によるそ	を益農業者						
(だれに)	1220727	X/\/\;	~~~~	1 12 1-	11-01-02							
事業の目的 (なんのた めに)	自然災 持を図り、						国庫袝	甫助	を受け復	日を行い、	ŧ.	って農業の維
事業の 実施状況	の発	注を行い お、災害 着工年月	ました。 復旧工 日:平月	事につ 成 2:		平成29 ^年 31日			2区排水路		、災	害復旧工事
成果と 課題	に寄 〔課題〕 引	与しましりがある。	た。 :況) 事業と	重携(して、災害		5止を1		を図り、	、災害発:	生時	
評価項目	必要性	妥当性	公平	性	有効性	効率性	先駆 独創		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可ないか。	能性は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	5		3	3	1		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はど	
	評価点 計40点満点		32		判定基準	D:規模縮小	ヽ、終期	設定	維持 C∶改 ≧、委託の検			、委託の検討 止
-					担当課に	よる判定	と理由					
В	突発的	こ発生す	る自然災	害に	二対して必	必要な事業	です。					

1 事業の成果及び評価

一般会計

_1 事業の	の成果及び	評価						-	-般会計
事業番号	669	事業名	現年発生	農業用施訂	设小災害復	旧事業	事業区分	□新規	■継続
担当課	農林水産	课		担当係	農村整備	係			
予算区分	款	10 災害	復旧費	項	1 農林2	k産業災害	復旧費	目 1 型	見年発生農地災害復旧費
		最 終	決算額		事業費財	·源内訳	(千円)		
年	度	予算額		国庫	1	その他		60.04.05	備考
	-	(千円)	(千円)	支出金	県支出金	(収入)	起債	一般財源	
平成2	8年度	3, 358						743 H	29繰越額2,500千円
平成28年		3, 555						,	
活動		単位 年	度 20) 6(実績)	27(実統	書) 2	8(実績)	29	30
70 30	7. 1		標			R/			
設定なし			!績	_	_			_	_
12,20.0				_	_		_	_	_
事業の対象	同床提出	事業体の力	色しかご	#>1 > 1\ +B +#	* + > 曲 ** ==	±c≡no≪	(宝須川に	レフ亞光曲	₩ #
(だれに)	当 俾佣助÷	争耒寺の刈	家となり!	ない小規修	と は 辰 耒 用	他設の外	(吉俊川)。	よる受益農	耒有
	± 50 /// 0	÷,_ , ,,,,	·// L	W. CO 15 - C 1				. 	W. L. A. J. J. 1 4044
事業の目的									当しない小規模
(なんのた めに)								的機能の確	保を行い、もっ
(۱۵۱۵	て農業の	維持を図り	、めわせ	て、その私	全呂の女正	に奇与す	る。		
	O 1	現年発生是	農業用施設	小災害復日	旧事業				
	_					こより被気	炎した丸尾	地区用水路	るび三本杉
		用水路の災						,-0 == /13/3/42	
								て実施しま	
事業の	٦,	の、火吉	12011年	1 2010	は十成と	9 牛皮	、旅巡し	と 夫心しま	9 0
実施状況	0	Ⅲ ** m+ 曲 *	ᄬᇚᆉᄧᄼ	7か/ロ + +並	+ 마 스 <i>i</i>	. 5	⇒₩⊥ +⊥	_	
	2	琴浦町農第 災害名					夫肔しまし	· /こ。	
				数 4 /4	補助金額				
		台風 1 6		4 件	313, 82				
		災害採択	禾 満	5 件	398, 02	3 円			
		果〕	+ au - · · ·						
		現年発生農							
									A及び三本杉
	地区	用水路の質	災害復旧事	業の準備	を行い、st	受益者の	支援を図り	ました。	
	2	琴浦町農業	業用水緊急	確保支援	補助金				
	取	水が困難と	となった防	火用水を	兼ねる農業	美用水の 🤅	可川取水口	の用水確保	∤作業を支援し
_b m .		者の負担軸							
成果と 課題									
沐 超									
	〔課	題〕							
			事業と連携	して、災	害の発生院	5止を図る	るとともに	、災害発生	:時
		やかな対応							-
						先駆性	必要性	住民ニーズ、事業	の必要性は。 10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	光 独創性	妥当性	行政必須か、委託	の可能性は。 10, 7, 3, 0
						から二十	公平性 有効性	受益者の偏りはな 目標数値は達成で	
評価点	10	10	5	3	3	1	効率性	コスト・人員効率	
						•	先駆性・独創性	他の見本となりえ	.るか。 5, 3, 1, 0
	評価点計		32	判定基準					継続、委託の検討
(40点満点)					正、委託の検	討 E:休止、	廃止
				担当課に	よる判定	と理由			
В	突発的	こ発生する	自然災害	に対して心	%要な事業	です。			
	><>0 H J1	,,,,,,,		· -,	- ^ ^	- / 0			

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	668	事第	美名	現年発生	林道災害復	复旧事業			事業区分]新規			l継続
担当課	農林水産	果			担当係	農村整備	係							
予算区分	款		災害	復旧費	項		k産業3	災害復	夏旧費		3	現年発	生林道	災害復旧費
		最	終	決算額		事業費財	源内	訳	(千円)					
年	度	予算			国庫	県支出金	その		起債	一般	財酒		備	考
		(千		(千円)	支出金	示义山业	(収)	入)	尼良	I)IX.				
平成2			20	7							7			
平成28年					<u> </u>									
活動	項目	単位			(実績)	27(実績	責)	28	(実績)		29			30
-1.0-1-1				標	_	_			_		_			_
設定なし			実	棋 戊率							_			_
古世の4名				•	_	_			_		_			_
事業の対象 (だれに)	被災した。	農地σ)災害	復旧による	る受益農業	美者								
(/2/15/12/														
事業の目的	白 炔 巛 5	宇ィーカ	F <<< 1	た林道につ	ついて ほ	日底は出た	平山	後 1口	た 行い	± ~ 7	- 11 3	⊭ഗേ⊯	はた!	छ। ।।
(なんのた				たが迫に 涵養機能等						もつし	· 作引	ミリンが圧	f す で	凶り、
めに)	0017EC.	, ζυ.	ノノハルホ	/四伐/灰化-	ተረዝሃሳ	シ 木木 1个 マン 木	±1~7	可一	9 0 0					
	〇 本年	由1+4	公宝を	能生箇所が	あいま艹	4.でl +-								
		皮は	人古牙	6工 固 川 か	めりまぜん	ひじした。								
古米の														
事業の 実施状況														
天心认儿														
	<u>с</u> -њ	m \												
	L灰	果〕	- -	, L/// 🖶 2%	⊥ /// =		, _							
		本	牛皮	は災害発	生固所か	ありませ	んで	した	0					
	〔課	題〕				•	_							
				き他事業							: もに	こ、災	害	
		発生	時の	速やかな	対応が可	能な体制	づく	りか	「必要です	t。				
成果と														
課題														
					l		<i>μ</i> σ-	7 .1.41-	必要性	住民二-	-ズ. 事:	業の必要性	#は。 「	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆 独創		妥当性			託の可能		10, 7, 3, 0
								JΊΞ	公平性			ないか。		5, 3, 1, 0
評価点	10	1	0	5	3	3	1		有効性 効率性			できたか 率はどう		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
H I IIM MV	10		•		<u> </u>		•		先駆性・独創性	他の見る				5, 3, 1, 0
	評価点 計			32	判中世海	A:事業拡充		現状			率化	し継続、	、委託	の検討
(40点満点)		٥Z	判定基準			胡設定	、委託の検	討 E	∶休业	、廃止		
					担当課に	よる判定	と理由	3						
D	n+n 3√. ± L +	- 50 il		古趾似中,	-41 - 1	, 								
В	突発的(こ発生	する	自然災害	こ対して必	少安な事業	です。	•						

1 事業の成果及び評価

	成果及び											一般会計	
事業番号	1338	事業	美名	鳥取中部地	震災害	学対策事業(地	震災害復旧費・)	農林水産認	果)	事業区分	□新規		■継続
	農林水産					担当係	農林水産技						
予算区分	款	10	災害	复旧費		項		災害復			2	鳥取県中部地震	愛対策費
		最	終	決算額	湏		事業費財			(千円)			
年月	芰 ————	予第		(千円)	国 庫支出金	県支出金	その [.] (収 <i>入</i>	他	起債	一般財源	備	考
平成28	3年度		233	2	232	0	0		0	0	232		
平成28年月	度(明許)												
活動	頁目	単位	年		26 ((実績)	27(実績	Į)	28	(実績)	29		30
		-	目			_	_			-	_		-
没定なし		-				_	_			-	_		_
			達成	火 平		_	_			_	_		_
事業の対象 (だれに)	農林水産	業に係	る施	設の利用	用者								
事業の目的 (なんのため に)	鳥取県中部	部地震	で被	災した <u>原</u>	農林	水産業に	係る施設等	の復旧	日を 行	行う。			
事業の 実施状況	地震	で被害	膏のあ	った八	橋農	村公園ト	イレの屋材	艮瓦葺 :	き替	えを行いる	ました。 だ	232千円	
成果と 課題	八稿	展 竹 4	(2) 国(2)	F1 V	座根	さで 信し	、早急に征	夏日でき	さま	U/E。			
	〔課題〕 次の	地震に	に備え	.て対策	等の	検討が必	要です。						
										必要性	住民ニーズ、事業		10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当	4性	公平性	_#	有効性	効率性	先駆:		妥当性	行政必須か、委託	その可能性は。	10, 7, 3, 0
山川山久口	2. 3 11	<u> </u>	4 14	471	_	ㅁ씨ഥ	が十二	独創	性	公平性	受益者の偏りはな	ょいか 。	5, 3, 1, 0
		_		-		_	_	-		有効性	目標数値は達成で	できた <u></u> か。	5, 3, 1, 0
評価点	7	10	0	1		3	1	1		効率性	コスト・人員効率	はどうか。	5, 3, 1, 0
	=	Ī				=	-	-		先駆性・独創性	他の見本となりえ	えるか。	5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			23		判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				・効率化し継 E:休止、F		検討
					_	担当課に	よる判定と	理由					
E	中部地別 えます。	震の影	響で	被害がる			繕を行いま		Ñ. Á	継続的な事	業実施の劇	必要性は何	氐いと考

	の成果及び		7,00			~	3-2147742	1411					管理特別会計
事業番号	1244	事第	Ě名	船上山	発電		管理運営事			事業区分	□新規	見	■継続
担当課			= =		_		農地整備						2v. == #
予算区分	款			事業費用		項	1 営業		==		1	水力	発電費
年	度	最 予算 (千	終 解 田)	決算額 (千円		国庫支出金	事業費財県支出金	源内 その (収	D他	(千円) 起債	一般財源		備考
平成28	3年度		2, 566			7			551				
活動		単位		度		(実績)	27(実績			(実績)	29		30
設定なし			実			_	_ _			_	_		
事業の対象(だれに)	船上山発	電所。		<u> </u>	地改		<u> </u>	気保	安協	<u>-</u> 会	_		
事業の目的 (なんのために)	土地改良が る。	施設に	再生	可能工	ネル	シギー発電	意装置を設	置し	、±:	地改良施詞	設の維持領	查理	と で
事業の 実施状況	発	山発電 電実紅 電収 備費	漬入	557,	214 30, 8		ミした 。					1.	2, 551千円
成果と課題	平 売 〔課	電収益 題〕 初計區	益の収画した	双入によ <売電額	: り、 [26,	. 土地改」 500千円(はし、発電 良施設の管 に対行って	ぎ理に実績	:係る iが77	経費の軽%と目標にがありま	こ達してい す。	いない	<i>た</i> め、
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	ŧ	有効性	効率性	先馬 独倉		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りに	き託の可 はないか。	能性は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10		0	5		1	3	1		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員交 他の見本となり	事はど	うか。 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			30		判定基準		\、終	期設定	維持 C∶改 !、委託の検			、委託の検討 止
В	引続き、	発電所	f の管	理運営			よる判定。 ②収入の増			よう、運	転を継続し	ンます	- 0

(単位:千円)

			<u>(È</u>	<u> 単位:千円)</u>
(款-項-目-事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ページ)	(備考)
一般会計	200.010	222.24		
町民生活課	883,642	866,017		
2.総務費	28,570 835	26,955 822		
1.総務管理費 12.諸費	835 835	822		
消費者対策	835	822		事務費
3.戸籍住民登録費	27,735	26,133		尹仂其
1.戸籍住民登録費	27,735	26,133		
個人番号交付事務	6.464	4.944		事務費
戸籍住民登録事務	21,271	21,189		事務費
3.民生費	654,468	645,325		1.12.5
1.社会福祉費	654,468	645,325		
1.社会福祉総務費	164,048	162,336		
国保財政基盤強化対策繰出金	164,048	162,336		事務費
2.社会福祉事業費	233	173		
定住外国人に対する支援事業	233	173		事務費
5.国民年金事務費	2,335	2,064		
国民年金·敬老福祉年金事務	2,335	2,064		事務費
7.特別医療費助成事業費	127,362	122,531		-t- 75 -th
特別医療費助成事業	127,362	122,531		事務費
8.心身障がい者医療費	4,527	4,250		
心身障がい者医療費	4,527	4,250	7-1	
9.障がい者福祉費	23,885	22,811		古沙井
自立支援医療事業	22,932	21,873	7.0	事務費
腎臓機能障がい者交通費助成事業	953	938	7-2	
12.後期高齢者医療費 後期高齢者医療事務	332,078	331,158 331,158	7-3	
使别向即在区狱争伤 4. 衛生費	332,078 199,488	192,622	7-3	
1.保健衛生費	16,808	15,647		
1.保健衛生総務費	105	73		
净化槽法事務	105	73		事務費
2.予防費	362	11		予勿良
未熟児養育医療費給付事業	362	11		事務費
4.環境衛生費	16,341	15,563		1 12 2
こどもエコクラブ活動支援事業	480	438	7-4	
家庭用発電設備等設置事業	385	385	7-5	
環境保全	1,039	833	7-6	
斎場管理	11,831	11,521	7-7	
省エネルギー対策事業	992	972	7-8	
電気自動車急速充電器設置事業	1,263	1,192	7–9	
動物愛護	351	222	7-10	
2.清掃費	182,680	176,975		
1.じん芥処理費	155,138	149,437		
ごみ減量対策	2,787	2,213	7-11	
じん芥処理	149,015	144,297	7-12	
公共水域環境保全事業	2,706	2,362	7-13	
不法投棄廃棄物処理事業	630	565	7–14	
2.し尿処理費 し尿処理対策	27,281	27,278	7-15	
3.鳥取県中部地震対策費	27,281 261	27,278 260	7-15	
3.扁 以乐中即电展对束其 鳥取中部地震災害対策事業(清掃費·町民生活課)	261 261	260		事務費
后	1,116	1,115		于1カ貝
1.諸費	1,116	1,115		
1.国県支出金返納金	1,116	1,115		
国県返納金	1,116	1,115		事務費
国民健康保険特別会計(事業勘定)	.,	.,		52
町民生活課	2,550,307	2,535,633		
1.総務費	20,502	19,344		
1.総務管理費	20,476	19,323		
1.一般管理費	18,797	17,645		
一般管理	18,797	17,645		事務費
2.連合会負担金	1,679	1,678		
一般管理	1,679	1,678		事務費
2. 徵税費	0	0		
1.賦課徵収費	0	0		井 7 5 井
一般管理	0	0		事務費
2.滞納処分費	0	0		古沙井
一般管理	0 26	<u>0</u> 21		事務費
3.運営協議会費 1.運営協議会費	26	21		
一般管理	26	21		事務費
	20	21		平仂貝

			(単位:千F
(款-項-目-事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ページ)(備考
2.保険給付費	1,596,061	1,583,999	
1.療養諸費	1,383,791	1,372,636	
1.一般被保険者療養給付費 給付事業	1,327,113 1,327,113	1,316,435	
2.退職被保険者等療養給付費	46,541	1,316,435 46,144	<u> </u>
<u>4. 医概数体按有导源使和过度</u> 給付事業	46,541	46,144	事務
3.一般被保険者療養費	6,051	5.992	717
給付事業	6.051	5.992	事務
4.退職被保険者等療養費	125	119	
給付事業	125	119	事務
5.審査支払業務費	3,961	3,946	
一般管理	3,961	3,946	事務
2.高額療養費	205,330	205,330	
1.一般被保険者高額療養費	197,013	197,013	
給付事業	197,013	197,013	事務
2.退職被保険者等高額療養費	8,317	8,317	古水
<u>給付事業</u> 3.出産育児諸費	8,317 5 000	8,317 5,040	事務
3.出座有児間質 1.出産育児一時金	5,880 5,880	5,040	
	5,880	5,040	事務
4. 葬祭諸貴	700	660	子仂
1.葬祭費	700	660	
給付事業	700	660	事務
5.移送費	0	0	
1.移送費	0	0	
給付事業	0	0	事務
2.退職被保険者移送費	0	0	
給付事業	0	0	事務
6.高額介護合算療養費	360	333	
1.一般被保険者高額介護合算療養費	300	278	
一般被保険者高額介護合算療養費 2.退職被保険者高額介護合算療養費	300 60	278 55	事 務
	60	55	事務
3.後期高齡者支援金等	256,596	256,595	717
1.後期高齢者支援金等	256,596	256,595	
1.後期高齢者支援金	256,578	256,578	
後期高齢者支援金等	256,578	256,578	事務
2.後期高齢者関係事務費拠出金	18	17	
後期高齢者関係事務費拠出金	18	17	事務
4.前期高齢者納付金等	185	185	
1.前期高齢者納付金等	185	185	
1.前期高齢者納付金	165	165	市 7 6
前期高齢者納付金	165	165	事務
2.前期高齢者関係事務費拠出金 前期高齢者関係事務費拠出金	20 20	20 20	事務
5.老人保健拠出金	10	10	事 伤
1.老人保健拠出金	10	10	
1.医療費拠出金	0	0	
一般管理	0	0	事務
2.事務費拠出金	10	10	
一般管理	10	10	事務
6.介護納付金	84,804	84,804	
1.介護納付金	84,804	84,804	
1.介護納付金	84,804	84,804	± 25
<u>一般管理</u> 7.共同事業拠出金	84,804 565,277	84,804 565,274	事務
7.共同争某拠山並 1.共同事業拠出金	565,277 565,277	565,274 565,274	
1.高額医療費共同事業拠出金	67,972	67,971	
<u>「同報体源員六円学未拠山並</u> 一般管理	67,972	67,971	事務
2.保険財政共同安定化事業拠出金	497,303	497,303	7 12
保険財政共同安定化事業	497,303	497,303	事務
3.保険財政共同安定化事業事務費拠出金	1	0	
保険財政共同安定化事業事務	1	0	事務
4.その他の共同事業拠出金		0	<u>-</u>

(単	位	:	千	円)

			(単位:千円 <u>)</u>
(款−項−目−事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ページ)(備考)
一般管理	1	0	事務費
8.保健事業費	13,570	12,298	
1.保健事業費	111	110	
1.保健事業推進費	111	110	
エイズ予防等啓発	111	110	7-16
4.1八子初刊合允 4.4 中央			7-10
2.特定健康診査等事業費	10,502	9,806	
1.特定健康診査等事業費	10,502	9,806	
特定検診実施等事業	10,502	9,806	7–17
3.人間ドック事業	2,957	2,382	
1.人間ドック事業	2,957	2,382	
人間ドック事業	2,957	2.382	事務費
			事份 其
9.諸支出金	13,300	13,124	
1.還付金	4,581	4,412	
1.一般被保険者分	4,531	4,374	
一般管理	4,531	4,374	事務費
2.退職被保険者分	50	38	
一般管理	50	38	事務費
			尹彻其
2.還付加算金	50	44	
1.一般被保険者分	50	44	
一般管理	50	44	事務費
2.退職被保険者分	0	0	
一般管理	0	0	事務費
3.諸費	8,669	8,668	于初具
1.国庫支出金等返納金	8,669	8,668	→ 7 <i>L</i> ++-
一般管理	8,669	8,668	事務費
10.基金積立金	1	0	
1.基金積立金	1	0	
1.財政調整基金積立金	1	0	
一般管理	1	0	事務費
			事协 具
11.公債費		0	
1.公債費	1_	0	
1.利子	1	0	
一般管理	1	0	事務費
12.予備費	0	0	
1.予備費	0	0	
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1			
1.予備費	0	0	
予備費	0	0	事務費
後期高齢者医療特別会計			
町民生活課	196,862	195,034	
1.総務費	1,328	1,295	
1.総務管理費	1,191	1,178	
1.一般管理費	1,191	1,178	
一般管理費	1,191	1,178	事務費
2.徴収費	137	117	
1.徵収費	135	117	
徴収費	135	117	事務費
2.滞納処分費	2	0	于177 具
			古沙曲
滞納処分費	2	0	事務費
2.後期高齢者医療広域連合納付金	195,024	193,606	
1.後期高齢者医療広域連合納付金	195,024	193,606	
1.後期高齢者医療広域連合納付金	195,024	193,606	
後期高齢者医療広域連合納付金	195,024	193,606	事務費
3.諸支出金	309	133	7-10190
1.還付金及び還付加算金	308	133	
1.保険料還付金	308	133	
保険料還付金	308	133	事務費
2.繰出金	1	0	
1.他会計繰出金	1	0	
他会計繰出金	1	0	事務費
	-		于 /力貝
4.予備費	201	0	
1.予備費	201	0	
1.予備費	201	0	
予備費	201	0	事務費

	の成果及び									
事業番号	572		心身障がし					事業区分	□新規	見 ■継続
担当課				担当係	保険係					
予算区分	款	3 民生		項		福祉費			8	心身障がい者医療
		最 終	決算額		事業費財	源内記	尺	(千円)		
年月	芰	予算額		国庫	県支出金	その		起債	一般財源	備考
		(千円)	(千円)	支出金	示义山亚	(収力	()	起頂	川又只加木	
17. € 00	中中	4 507	4 050						4 050	
平成28	4度	4, 527	4, 250						4, 250	
活動項	10000000000000000000000000000000000000	単位 年	度 26	(実績)	27(実績	青)	28	(実績)	29	30
7123	<u> </u>		標	_		, ,		-	_	-
設定なし			績	-	-			-	_	_
			戊率	-	-			-	-	_
事業の対象	身体障害	者手帳3	4級また	は療育手	帳Bまたに	よ精神	障害	者手帳2編	及で本人非	 課税かつ滞納の
		後期高齢を					–			
										保持が困難な場合
							医療	寮費の助成	を必要と	する者の病気の重
めに)	度化を防	ぎ、健康の	の保持及び	生活の安	定を図る。					
	\bigcirc	- 米h . 白 『- 立へ	1 4 KTL 00 4	b 床 本 。	E#ED 104	> \rightarrow \ri	ትዙ ሳ	ፈ ኬ ባር <i>ኳ</i>		
		数:身障3		白、濴肎于	⊢ITED I39	口、栯	仲乙	級 36名		
di:	 の給付金	:額:4,249	り, 645円							
事業の										
実施状況										
	〔成果〕									
		を 書の本人	負担金を当	≟額助成す	ることで	、安心	- يا د	て医療にか	いかる機会	€を提供し、
		は者の健康						с <u></u> ,,,, _,,	0 122	(), (), ()
							- 重	終が移告さ	sわたこと	で、円滑に
		n 色点、高 合決定を行				/LIM I	1	1373 13 E C	. 1012	. C (1 1/F) C
						Z 11 7	, L -	去甘一百二	1 色 扣 人 恕	[および助成金
			力法にし7:	- E C .	対象者の	利(里)	EOJ	可上おより	/文稻事務	の簡素化を図
成果と	りま	ました。								
課題										
环烃										
							Let	必要性	住民ニーズ、事	業の必要性は。 10.7.3.
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆		必要性 妥当性	行政必須か、委	, , , ,
			_ , , ,			独創	1至	公平性	受益者の偏りは	ないか。 5, 3, 1,
≕准上	7	7	1	3	3	1		有効性 効率性	目標数値は達成	
評価点	<i> </i>	/		ა	၂ ၁	1			コスト・人員効	
	评価点 討		00	alm) === ±1 ***	A:事業拡充	r R:Ŧ	現状 4			し継続、委託の検討
	正圖点 司 40点満点		22	判定基準				性好 し・改		
				担当理/-	よる判定					
				ルコはし	- み 句刊化	こ、注は	4			
_	ᄴᆂᄪᆉ	・1一 十 米五 小川	た車業が	七口 亚	公子の 生ご	千甘 船	Φ-	_如し! テ	中羊レア	ハスー しかこ ぜ
				めり、文	稲有の生活	古	–رں	一部として	足宿し (いることから、瑪
_	1人唯持と	しました。								

	0成果及0	乄評佃												
事業番号	1312	事第	[名	腎臓機能			通費助成	事業		事業区分	□新	規	■継続	
担当課			<u>о</u> 4 :	#	担当任	糸	保険係	수는 수리 글	±.			Π . Φ. <i>L</i> .δ		
予算区分	款		民生:		項			福祉費		(TID)	9	草刀	い者福祉費	
年月	隻	最 予算 (千		決算額(千円)	国	車	事業費財 県支出金	源内語 その (収力	他	起債	一般財源	Ę.	備考	
平成28	年度		953	938							938	3		
活動,	頁目	単位	年		6(実績))	27(実績	責)	28	(実績)	29		30	
設定なし			目 実 達原		- - -		- - -			-	- - -			
事業の対象(だれに)	自宅から	医療	機関る	きでの距离	単が2キロ	口以	上の人工	透析網	療法	を受けるす				
事業の目的 (なんのた めに)	交通費を	·助成 [·]	するこ				ナるため〕 咸を図る。		た場	帚合に、自	宅からの	通院	距離に応じて	
	○対象者数:34名 ○給付金額:937,500円 本人非課税 本人課税													
	通院距離 助成金額(月額) 通院距離 助成金額(月額)													
事業の		2=	F口以	上5キロ未	:満	1,0	00	2+	口以	上5キロ未	:満 1	,000		
実施状況		5キ	·口以.	上10キロオ	−満	3,0	00	5キロ		上10キロ末	€満 1	,500		
				上15キロ		5,0			10-	キロ以上	2	,000		
				上20キロ		7,0								
				上25キロ		9,0								
		25-		上30キロ 2 Fロ以上		11,0 12,0								
			30-			12,0	000							
成果と 課題						_	3回程度 減を図り	まし <i>た</i>	-0	診する必 要	をがある。			
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	生	効率性	先駆 独創		必要性 妥当性 公平性	行政必須か、 受益者の偏り	委託の可信はないか。	能性は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0	
評価点	3	-	7	1	3		1	1		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達 コスト・人員 他の見本とな	効率はど	, , ,	
	平価点 計4 〇点満点			16	判定基	:华		ヽ、終期	設定	維持 C∶改 ☑、委託の検		こし継続 止、廃.	i、委託の検討 止	
					担当記	果に	よる判定	と理日	8					
В	タクシー	·料金	助成哥	事業等との)統合 ·	整理	理を将来的	りに検	討し	ていく必	要があり	ます	0	

	の成果及び												
事業番号	866	事業	名	後期高齢	者医療事績				事業区分	□新規	₹	■継続	
担当課					担当係	保険係							
予算区分	款		民生		項		福祉費		E	12	後期高齢	者医療費	
			終	決算額		事業費財	源内部	R	(千円)				
年原	芰	予算			国庫	県支出金	その		起債	一般財源	債	持	
		(千円	円)	(千円)	支出金	未又山亚	(収入	()	起頂	川又 只7 //示			
T + 00		000	070	004 450		47,000	0.0	000		077 040			
平成28	4 度	332,	078	331, 158		47, 080	6, 8	860		277, 218			
活動項	百日	単位	年	帝 2	6(実績)	27(実績	善)	28	(実績)	29		30	
/口到?	Д П	丰山	目:		- (大限)	- 2八天心	艮/	20	一				
設定なし			実		_	 			_				
政定なし		-	達成		_	_			_	_		_	
事業の対象				•									
争業の対象	後期高齢	者医 療	紧被保	R 険者									
(/2/10/2)													
事業の目的	44. II= ILA		_ ,, ,, _4			_							
(t: 4.0) t-					運用を図					_			
めに)	被保険者	の疾症	5の早	4期発見及	なび健康増	進を図るカ	こめに	健診	%を実施す	6			
						<u> </u>						<u> </u>	
	〇後期高齢者健康診査受診者数:812名(対象者数3,403名) 〇後期高齢者人間ドック実施人数:27名(対象者数269名)												
	〇後期高齢者人間ドック実施人数:27名 (対象者数269名)												
事業の	〇訪問指導実施人数: 20人												
実施状況	O初 1拍导夫虺人数:20人 												
JC//16 JC//J6													
	広域連合	負担金	きへ の)負担金等	その義務的 しんりょう しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しん	経費は除る	きます。	0					
	〔成果〕												
	1 被俘	保険者	を対象	象に特定	診査を実施	ōし、生活 [:]	習慣病	なる	ど異常の早	期発見や	訪問指導	1	
						う。、二.c. fい、重症 [.]							
		った。		H/ H/J.		· · · 上州	, 191						
			-76	祟 <i>にか</i> る・	キーがし ァ	医療機関	でのし	問	ドック弗甲	日の一部を	助成オス	<u>L</u>	
								\ H	・フノ東川	7 or □	1911/K 9 6	,	
	I – d	トツ、1	水 木	火白 の(健)	求体持に発	がました。	0						
成果と	/=== == >												
課題	〔課題〕	۸ ۱ ۰۰ -	=	L		-100/1-:	., .	LAIA A	4 IZ 5		L /- 1: -	\ 	
_				恃足健診	と比較し約	10%低いた	こめ、ホ	機会	を捉えて	受診勧奨 る	を行なう	心 安	
		ありまっ											
						ゝましたが				〈受付初日	で定員に	達	
	して	こしまし	い、り	定員を増ん	やして欲し	いとの要	望があ	らりま	ました。				
	1		1		I		<u>д</u>	.lul.	必要性	住民ニーズ、事業	業の必要性は.	10. 7. 3. 0	
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有効性	効率性	先駆付		妥当性	行政必須か、委			
	· ~ · ! —						独創的	1生	公平性	受益者の偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0	
=17./≖ 上	7	7		3	1	3	1			目標数値は達成		5, 3, 1, 0	
評価点	<i>I</i>	/		ა	1	ა			効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効 他の見本となり		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
=	评価点 討	-		^^		A:事業拡充	z D.I	目什名		善・効率化し			
	许伽总 司 40点満点			22	判定基準					善・効率10.0 討 E∶休止		ロレジが失計	
(.	. U M/M/M	• /			+□ ×V =⊞ 1 -				, AHUVIX	-, - · M	. , ,,,,,,,,		
					担当課に	こよる判定	と埋田	1					
			_ ,	- 1	■ (I I I I I I I I I I	<u></u>				184. 17.17			
				ですが、高	齢者の健	康維持・増	胃進を	目的	ことするな	ど公益性	が高いた	め、現状	
ן	維持とし	ました	٥.										

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

	0成果及1	- ,	_	_ 18.1 _		7 = 1 - 1 	- 4114	-	± 445 / \				- A 1/1/A
事業番号	909		Ě名	こともエ		舌動支援事		-	事業区分	口新	規		l継続
担当課			(由- 止 ;	#		環境衛生		_			TⅢ 14	冶-	b.
予算区分	款		衛生		項		衛生費		(T.B.)		塓項	衛生費	
年原	ŧ	最多	終算額	決算額	国庫	事業費財	源内部		(千円)		-	備者	性
1 7.	×		円)	(千円)	支出金	県支出金	(収入		起債	一般財源	Ī.	מוא .	, ,
平成28	年度		480	438		219				219	9		
活動工	頁目	単位			6(実績)	27(実績	責)	28	(実績)	29			30
こどもエコ	コクラブ			標	007	000			000				
活動支援事		人	実達原		837	989			668				
			Æ /s	<u>~Т</u>									
事業の対象(だれに)	エコクラ	ブ活	動を行	う町内 <i>の</i>)各保育園	・こども園	園の園	児、	職員・各	小中学校	をの児	童、生	徒、職員
事業の目的 (なんのた めに)	幼少期に	おけ	る環境	竟教育を行	iうことに	より、将き	まにお	ける	環境意識	の高揚に	繋げ	る。	
事業の 実施状況	実約 		人あた 4 4	<u>:り:70</u> 校 1 校 3	O円)(県1 園 計	こども園、 1/2補助) · 8 3 7人 · 9 8 9人 · 6 7 6人	5 8 6 9	5, s 2, s	に補助を 900円 300円 200円	行いまし	,t:.		
成果と 課題	〔成 果〕 1 〔課 1 2	町児 補助 そ補助	達の流の仮のののののののののののののののののののののののののののののののの実	5動を支援 使用用途が がある実 申請・まの管 情報告の管	しました 「学校など が有り事 報告が繁	の備品購え 業の継続に 雑でありり る必要がす	費・いしまり	消てなす	品費に当のこ 当のこ	てられて検討をすども園、	いべ保育	り 考え 園 が 多	ます。く
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆' 独創'	性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、 行政必須か、 受益者の偏り	委託の可 はないか。	能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	7	7	1	0	0	0	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達 コスト・人員 他の見本とな	効率はど	うか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	评価点 計4 O 点満点			15	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		見状維	推持 C∶改	善・効率化	こし継続	、委託	
					担当課日	こよる判定	と理由	3					
E						環境教育に きと考える		中学	校・こど	も園、倪	幹 南園	で行わ	れてい

1 事業の	0成果及0		***	0	十戊	尹未戍之	たみだり		秋 :	:干川山 言	=	
事業番号	707	事業		用発電	電設備等詞	20世事業		事業区	☑分	□新規	₹ ■	■継続
	町民生活		•			環境衛生	係	1				
予算区分	款		衛生費		項		衛生費		目	4	環境衛生	費
年月	度	最 予算 (千)			国庫支出金	事業費財県支出金	源内訳 その他 (収入)			般財源	備	考
平成28	年度		385	385		192				193		
活動項	頁目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	• (1)	28(実績))	29		30
太陽光発電 帯に占める		%	目標 実績 達成率		2% 2. 51% 25. 50%	2% 2. 61% 130. 50		2% 2. 61% 130. 50%				
燃料電池シ	ノステム	件	目標 実績 達成率		- -	3 1 33.3%)	3 0 0.0%				
薪ストーフ	j	件	目標 実績 達成率		- -	3 4 133. 3	%	3 1 33. 3%				
事業の対象 (だれに) 事業の目的 (なんのために)	琴浦町住		ルギーの導	拿入促	進を図り	、環境負荷	苛低減に	:努める				
事業の 実施状況	補具	陽光勢 助実績 127 128	発電設備等 太陽光系 8 1		置希望す 燃料電 1 0		献助を行 ストーブ 4 1	ì e	言。 計 13 2			
成果と 課題	地の地 再 災 家 題 固買 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	括求 生 書 き をなべれ に暖 能 強 中 格格	性 に 図対 ネ 地 に 取当用 は 取りでする。 で で で で で で の で の の の の の の の の の の の の の	しか ー く レ のH24:	t 5用する機 -の多様化 双価格の低 42円 H2	器を補助 を進め、 下から、 28:33円)	すること 効率的で 導入意欲	で災害に対象が停滞	球温暖 強い地	化対策 域を整	へ貢献し	ました。
評価項目	必要性	妥当	á性 公□	平性	有効性	効率性	先駆性 独創性		行政		業の必要性は。 託の可能性は。 ないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	3	7	0	5	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		19	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮/				その検討

担当課による判定と理由

D

太陽光発電は、買取価格や維持管理計画の提出義務化により、需要が低下しています。災害 (停電)時でも電気が使用できる機器(エネファーム・エコウィル)や薪ストーブを普及啓発 していきたいです。

	0成果及							I — 1111 — 12	_ +< 10		- Aut A-		
事業番号担 当課	116	事業	名 均	環境保全	担当係	環境衛生	TV	事業区分	□新規		■継続		
予算区分				7	項		<u>术</u> 衛生費		3 4 ∃	環境衛生			
1 11 12 /1	497	最		決算額	7.	事業費財		(千円)	- - /	ж от (+) <u>—</u> .	F.		
年月	芰	予算 (千P	額	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	次の他 その他 (収入)	起債	一般財源	備	考		
平成28	年度	1,	039	833			405		428				
活動項		単位	年度		(実績)	27(実績	(a) 28	3(実績)	29		30		
環境審議会	•	141	目標		3	3		3					
(公害防』 協議)	C計画書	件	実績達成		0 0. 0%	3 100. 09	6 1	3					
河川水水貿			目標	票	14	14		14					
工場排水板	全	回	実績		14	14		14					
岸海水汚染	と 調査		達成	半	00.0%	100.09	6	00.0%					
事業の対象(だれに)	事業者	(新規・	施設	設備の変	更等)								
事業の目的 (なんのた めに)	10个用叫话用法主法例1. 林 10 15用法主、参公子供第11)												
事業の 実施状況	 環境審議会の開催 環境審議会を1回開催し、公害防止計画について3件審議を行いました。 水質検査等の実施 河川の水質検査を行うとともに、赤碕港の沿岸の生態等の調査を行い、身近な生活環境の 調査を行いました。 事業委託 コトウラ環境リサイクルの会に委託し、ごみ減量化やリサイクル活動を普及啓発しました。 												
成果と 課題	新 環河し事コ浄育 題 町果 地 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	計 1。 環組組 利は 境保画 6 境むも 意調 保持 一	っ環境 () イもて 環難 しい でき がっぱい かんしん でいま かんしん でき かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	□ 場排水 (は で は で は で で で で で で で の で で の で で の で の	(1事業所) (1事業所) により、 により、、 いる状況で	田で 新す 小あ	海水汚染記を活用したの生ごみを計画による	審議会で審論 語を会で審論 で表示のである。 を発し、 を発し、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	巻)の調 理やプー 肥料にし について 将来にわ	査を実施 ルの水質 て野菜を 、経済効		
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委託 受益者の偏りはな	Eの可能性は。 いか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0		
評価点	7	7		3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成でコスト・人員効率 他の見本となりえ	≅はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
	评価点 言 40点満点			24	判定基準		、終期設定		善・効率化し 討 E∶休止、		その検討		
			_		担当課に	よる判定	と理由						
В	住民から いと考え		青(相)	談)は、	臭いや音	に関する事	耳項が増え	えている。	地道な普及	ბ 啓発活動	助しかな		

	0成果及で		<i>p</i> [-÷-⊥	D 66 TO				1 	5 (1)		- Abb A+		
事業番号担 当課	114	事業	名 京「	易管理	担当係	環境衛生	<u></u>	争業	区分	□新規	■継続		
予算区分	款		首生費		_ <u>担当床</u> 項		広 衛生費	,		4 環	—————————— 境衛生費		
, , , , ,	791	-		算額	- 7	事業費財				1 7	- 7,11 - 7		
年月	吏	予算額 (千円	額	千円)	国 庫 支出金	県支出金	その((収入	也		投財源	備考		
平成28	年度	11, 8	830 1	11, 519			4, 0)66		7, 453			
活動項	頁目	単位	年度	26	(実績)	27(実統	責)	28(実績	責)	29	30		
斎場業務		ль 📙	目標		300	300		300					
(火葬業務	务)	件	実績 達成率		277 92. 3%	284 94. 79	/	302 100. 7	0/2				
事業の目的	琴浦町住 斎場の管				ことによ	り、利用者	香の利(更性向上	き図る。				
事業の 実施状況	2 維持管理業務 施設・設備の維持管理を行い、利用者が気持ちよく安心して使用できました。												
	火葬 2 維持 待名 を行	寺管理業 3室タイ	美務 イルカー	-ペット	・更新、オ ミ務を行し	いました。	パウン)更新等の修繕 2		
	13713		H27	26			5	0	0	6	284		
成果と			H28	26			2	1	1	9	302		
課題	会社 を受 2 15~ 3 災害	± (メーカ・ そけてし ・20年後 新場に紛 言時の遺	−)の宮 ヽます。 後の団切 充合なと	宮本工業 斎場は 鬼の世代 ご)をも く葬にて	 新から 1 同料の値 はの需要其 は討して、 のいて、	号炉のレ 重上げにつ 月を経過し 3く必要が	ンガ積 いて、 た時の ありま	替検整すが	P成32 5時明 1年年 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日	年(1,00 きていま え、大規 は、50年 るように	模修繕やふるさ) 業務継続計画の		
評価項目	必要性	妥当怕	生 公	〉平性	有効性	効率性	先駆† 独創†	生 <u>妥当性</u> 公平性	行政; 受益 ²	ニーズ、事業の。 必須か、委託の 者の偏りはない	可能性は。 10, 7, 3, 0 か。 5, 3, 1, 0		
評価点	7	3		3	3	3	1		コス・独創性 他の!	数値は達成でき ト・人員効率は 見本となりえる	どうか。 5, 3, 1, 0 か。 5, 3, 1, 0		
	平価点 計4 0 点満点			20		し・別(天相)	、小公共	议 化、 女 i	C∶改善・ その検討	効率化し総 E:休止、/	続、委託の検討 廃止		
I					担ヨ誄「	こよる判定	C理出						
В	当分の間 耐用年数 等検討し	の近づ	< 15∼	20年後		え・大規	莫修繕	・統合((廃止)(の選択肢の	の中で修繕費用		

	0成果及7		<u> </u>			L 1110				- 400 64			
事業番号	1192	事業	名 省:	エネルコ	ギー対策等		IT:	事業区分	□新規	■継続			
担 当 課 予算区分			新生費		担当係 項	環境衛生) 衛生費		1 4 環	————————— 境衛生費			
了异位刀	示人			- 算額	块	事業費財		<u> </u> (千円)	3 4 環	児用工 貝			
年原	度	取 予算 (千P	額	千円)	国庫支出金	県支出金	源内訳 その他 (収入)		一般財源	備考			
平成28	年度		992	972					972				
活動項	頁目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	(表)	28(実績)	29	30			
設定なし			目標 実績 達成率	<u> </u>	- - -	- - -		- - -	- - -				
事業の対象 (だれに)	琴浦町役	場職員	(住民	!)									
事業の目的 (なんのた めに)													
事業の 実施状況	1 電気自動車リース業務 電気自動車の普及啓発のため、公用車として利用しました。												
成果と課題													
評価項目	必要性	妥当	性 4	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の 行政必須か、委託の 受益者の偏りはない 目標数値は達成でき	可能性は。 10,7,3,0 か。 5,3,1,0			
評価点	7	7		3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効率は	どうか。 5, 3, 1, 0			
	平価点 計 4 O 点満点			24	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				継続、委託の検討			
					担当課に	よる判定	と理由						
В	町民の生	活環境	 竞保全意	識の普	及啓発の	ため、継続	売して事	業実施する	必要があり	ます。			

	0成果及で		<u> </u>		+ 2 + =	= nn = n = n - +	· alle	1 + ** /\			- Aut A+	
事業番号	1070	事業	名	三 気目動 5		電器設置事		事業区分	□新規		■継続	
担 当 課 予算区分	町民生活 款			,		環境衛生] A T!	 環境衛生	弗	
	ऱ				項		衛生費	-	1 4 五	^{東児} 間生:	〔	
年月		最 予算		決算額	国庫	事業費財	源内訳 その他	(千円) 上債	如 8+35	備	考	
		(千円	9)	(千円)	支出金	宗文凸金	(収入)	起復	一般財源			
平成28	年度	1,	263	1, 191					1, 191			
活動項	頁目	単位	年度		(実績)	27(実績	5) 2 8	8(実績)	29		30	
急速充電器	器利用回		目標		1500	1500		1500				
数			実績達成		1708 13. 9%	1477 98. 5%		1431 95. 4%				
事業の目的		記器を設	氢角重	動車利用	者(観光)	旅行者)			非出抑制を行	行い、地	球温暖	
事業の 実施状況												
成果と 課題	ポた電 地 題 急るけ 県 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	ー 気 求 まうて 内の赤子の	奇の車 化 器現す 町に悪の 防 が在。 村設か普 止 処の が	ったタッ 及 選 の 二 対策の 二 分制限期 場所から	・チパネル 一酸化炭素 間間の8年 間の駅 電の駅 急速充電	の更新を 削減の普 に近づいて の浦に移	行い B A S S S S S S S S S S S S S S S S S S	た。 できまし <i>†</i> 多繕費もか です。民間	かります。 引事業者から きがあるので	国の補助ら有利なで、様子	団金があ 提案を受 を見なが	
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性 有効性	住民ニーズ、事業で 行政必須か、委託 受益者の偏りはな 目標数値は達成で	の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
評価点	7	3		0	1	3	1	効率性	日標数値は達成で コスト・人員効率 他の見本となりえ	はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
-	平価点 計40点満点	-		15	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		維持 C∶改	善・効率化し 討 E∶休止、	継続、委託		
					担当課に	 よる判定	と理由					
	地球温暖要があり		きだけ -	ではなく				繋げていけ	れるように	検討して	こいく必	

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業 0 事業番号	D成果及0 113	び評価 事業	· 夕		動物	愛護		1	事業区分	□新規	■継続		
担当課	110	町民生			担当係		環境衛			山利坑	■ 小性 炒し		
予算区分	款		<u>-/山</u> 衛生費		項		衛生費		` [∃ 4 ∃			
			終	決算額		事業費財			(千円)				
年月	芰	予算 (千F		(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その ⁽ (収入		起債	一般財源	備考		
平成28	年度		350	221		20	2	201					
活動項	頁目	単位	年月	度 26	(実績)	27(実績	[)	28	(実績)	29	30		
狂犬病予	防事業	頭	目 実 達成	責	647	623		8	678 587 86. 6%				
飼い主のし 対策補		頭	目标 実統 達成	票 漬					4				
事業の対象(だれに)	琴浦町民	<u>;</u>											
事業の目的 (なんのた めに)													
事業の 実施状況	下記のとおり狂犬病予防注射を実施しました。 実績												
成果と 課題	〔成 1 2 〔課 1	犬し新対 のまたし の度 の度	た飼補防知	主のいな金を交付射の接種	い猫の のました 率は 県の で 電話で	妊・去勢 <i>0</i> 。	手術	費用注象が	の補助金を受けて	いない飼し 。	け、4件の申請に い主に対して		
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有効性	効率性	先駆' 独創'	性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委討 受益者の偏りはな	Eの可能性は。 10, 7, 3, 0 にいか。 5, 3, 1, 0		
評価点	7	10)	1	1	3	0			目標数値は達成で コスト・人員効率 他の見本となりえ	型はどうか。 5, 3, 1, 0 とるか。 5, 3, 1, 0		
	評価点 計40点満点			22	判定基準		、終期	設定		善・効率化し 討 E∶休止、	継続、委託の検討 廃止		
				_	担当課に	こよる判定	と理由	1					
С	中部地区	の他市	ち町に	比べても	接種率が	低く業務・	飼い	主の	意識の改	善を行う必	必要があります。		

事業番号	D 放果及(120	事第		ごみ洞	量	対策				事業区分	}	□新規	₹	■継続
	町民生活						環境衛生					_		
予算区分	款		衛生		b¥	項	2 清掃		-		且	1	じん芥	処理費
年月	ŧ	最 予算	終	決算	좭		事業費財			(千円)				備考
— 平 //	Z	了		(千円	1)	国 庫 支出金	県支出金	その (収		起債		般財源		湘石
ਜ਼ ਦੇ 20	左由				213	又田业		(12.	<u>/\/</u>			2 212		
平成28			., 787									2, 213		
活動項	頁目	単位		度標	26	(実績)	27(実績	責)	28	(実績)		29		30
」 ごみ減量対	 		実											
	3014 3 014			艾率										
事業の対象(だれに)	琴浦町民	:												
事業の目的 (なんのた めに)	鳥取県の	推進 [·]	する4	1R (R	efu	se, Reduc	e, Reuse, R	есус	le)	に則り、	ごみ	みの減量	量を図る	ため。
事業の 実施状況	回収量	実績 古編 金属		H 487 9	126 , 282 , 953	2 kg 55 3 kg 1	じて報償st H27 1,625 kg 0,825 kg 9,709 本	35	H28 6, 46 8, 10	いました。 0 kg 0 kg 3 本				
成果と 課題	〔成 果 1 〔課 題 1 2	資 〕 可向 事業:	ごみと に努め 系の-	こしてが かること 一般ご <i>る</i>	処分とが	されるも 必要です。 は紙類が		は紙や 美所に ます	・ もし -。	であるこ	こと	から、	リサイク	ウル意識の
評価項目	必要性	妥当	当性	公平	生	有効性	効率性	先馴 独倉		妥当性 公平性	行政	ー へ、事。 対必須か、委 性者の偏りは	託の可能性に	#. 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	3		5	3	1		有効性 効率性 先駆性・独創!	コス	製値は達成 スト・人員効 (見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	平価点 計4 O 点満点			29		判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小	\、終	現状制設定	維持 C∶d	女善	· 効率化 l	し継続、	 委託の検討
						担当課に	よる判定	と理	由					
В	資源 <i>ごみ</i>	回収	団体に	こよる、	回	収量は多	く今後も哥	事業を	続け	けていく』	必要	があり	ます。	

1 事業の成果及び評価

		4										
事業番号 119	事美	Ě名	じん	芥処 ³	理				事業区分	□ 第	折規	■継続
担 当 課 町民生活	課				担当係	環境衛生	係					
予算区分 款	4	衛生:	費		項	2 清掃	·費			∄ 1	1 じ	ん芥処理費
	最	終	決算	額		事業費財	源内	訳	(千円)			
年度		算額 円)	(千)	円)	国 庫 支出金	県支出金	その (収	-	起債	一般財	源	備考
平成28年度	149	, 015	144,	297			51,	683		92, 6 ⁻	14	
活動項目	単位	年	度	26	(実績)	27(実糸	責)	28	(実績)	2	9	30
ごみ収集運搬(委			標		, 165, 199	3, 077			, 062, 931			
託分) 可燃ごみ	kg		績		, 108, 420				, 054, 620			
			戈率	(98. 2%	100. 5		Ć	99. 7%			
資源ごみ回収量			標		524, 938		, 437		546, 145			
(古紙類)	kg		績		487, 282		, 625		356, 460			
(口拟块/		達瓦	戈率	(92. 8%	103. 0	%	6	65.3%			
車業の対象												

事業の対象 | 琴浦町民

事業の目的 (なんのために)

廃棄物の適正な分別、保管、収集運搬、処分を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に資 する

下記の表のとおり廃棄物の収集運搬を行いました。

事業の 実施状況

家庭のごみ収算				
区分	H27収集量	H28収集量	前年度比	収集形態
可燃ごみ	3, 093, 870	3, 054, 620	-39, 250	週2回
不燃ごみ	107, 050	112, 720	5, 670	月1回
ビン類	123, 540	118, 180	-5, 360	月1回
缶類	42, 040	40, 680	-1, 360	月2回
可燃性粗大	63, 560	61, 650	-1, 910	年3回
不燃性粗大	18, 050	22, 080	4, 030	年3回
合計	3, 448, 110	3, 409, 930	-38, 180	

〔成果〕

1 ごみ収集委託業務

家庭ごみを円滑に収集運搬し、生活環境の保全に貢献しました。

①指定ごみ袋の作成(購入)

成果と 課題

	規格(大)	規格(小)	合計(枚)
H27	510, 000	70, 000	580, 000
H28	535, 000	190, 000	725, 000



指定ごみ袋の販売

規格	売捌き数量(袋)
大(50枚入り)	9, 510
小(50枚入り)	2, 190
大(10枚入り)	9, 250
小(10枚入り)	5, 950

評価項目	必要性 7	妥当性 10	公平性	有効性	効率性 3	独創性 1	公平性 有効性 効率性	受益者の偏りはないか。 目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	" ≅/≖- ⊨ =∪		3 3 3 1				他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0	
	評価点 計 40点満点		27	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				モの検討

担当課による判定と理由

Α

家庭ごみ (一般廃棄物) は、市町村が責任を持って処理しなければなりません。生活環境の保全のためにも、災害時でも円滑に収集運搬・処理できるように行政が日頃のごみ処理 (分別・リサイクル) についてより一層関与 (推進) していく必要があります。

	0成果及7		I	10 A -1- 111			1						
事業番号	122	事業名	公共水域		T⊞ 1 立 仏- 仏	 	事業区分	□新規	■継続				
担 当 課 予算区分	町氏生活 款		弗	担当係項	環境衛生			1	じん芥処理費				
了异位刀	示人	4 衛生 最 終	<u>및</u> │ 決算額	垻	┃ 2 ┃清掃 事業費財		<u> </u> 「 (千円)	1	しん介拠性負				
年月	吏	予算額(千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	<u>源内訳</u> その他 (収入)	起債	一般財源	備考				
平成28	年度	2, 706	2, 363		2, 244			119					
活動項	頁目			(実績)	27(実績	2 (8(実績)	29	30				
海岸清排	帚活動	美	標 経績 戊 率										
事業の対象 (だれに)	海岸清掃	委託団体	及び沿岸自	治体									
事業の目的 (なんのために)	のた 海岸清掃を行い美化を図るとともに沿岸環境、景観を保全する。												
	下記の表の通り、海岸漂着物を処理しました。												
事業の実施状況	処	^{理里} 不燃	だごみ だごみ の他	H26 12. 9 t 6. 0 t 38. 7m		98 t	H28 18. 879 t 3. 202 t 6. 978 m						
成果と課題	〔成 果〕 1 〔課 題〕 1	また、多れた。	数のボラン 実施後の廃 る場合もあ	ディア団 乗物の収 ります。 活動後に	体による!!!	らり石の が で通常ので	兵、海水浴 ごみ収集運 み(ペット ⁷	場の清掃 搬業務の3 ドトル) なと	ぎをそのままにし				
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委託 受益者の偏りはな 目標数値は達成で	Eの可能性は。 10, 7, 3, 0 いか。 5, 3, 1, 0				
評価点	7	10	1	3	3	3	有効性 効率性	コスト・人員効率	≝ はどうか。 5, 3, 1, 0				
	平価点 計 4 O 点満点		27	判定基準	A∶事業拡充 D∶規模縮小		維持 C∶改	^{他の見本となりえ} 善・効率化し 討 E∶休止、	継続、委託の検討				
				担当課に	よる判定	と理由_							
В	町内海岸	の環境、	B 町内海岸の環境、景観保全に必要な事業であり今後も継続していくべきです。										

	0成果及0		_						1			*****
事業番号	121		業名	不法投	E廃棄物処 3			事	事業区分	□新規	見	■継続
担当課			1.5.4.			環境衛生					13 / 44 55	-m -th
予算区分	款	4		<u>芥処理</u>	項	2 清掃		-		1	じん芥処	.埋質
<i>_</i>		最	終	決算額		事業費財			(千円)		,44	- +-/
年月	芟		額	(国 庫	県支出金	その		起債	一般財源	僱	考
		(+	円)	(千円)	支出金	717711	(収入	.)	,C X	134713 11131		
平成28	往度		630	56	4	116				448		
1 750,200	/ - /X		000									
活動耳	頁目	単位			26(実績)	27(実約	責)	28 (実績)	29		30
不法投棄隊	医奎物机			標								
理事業				績								
_ • · · · ·			建 力	戊率								
事業の対象(だれに)	町内全域	ţ										
(/2/11/2)												
事業の目的	不法也奔	(安 森	₩₼₽	3 钟 & 目	及び撤去を	宝饰 1 +	httः ᄪ	きのね	空会 ひが	き ル 太 図	Z	
めに)	コルスス未	沈禾	100 OJ =	ᄀᅍᆝᄍᄶ	人し取みで	一人心し、「	山水水	シモマノド	ホエ双い	ᄌᄔᄼᅜ	O O	
			• • • •	期発見								
					月2回の/							
事業の	再多	も防止	った	めに、看	板・監視力	リメラの設	置を行	いま	した。			
実施状況	_											
				物の撤去								
	発見	きされ	た廃	棄物は、	県の補助金	きも活用し	ながら	撤去	しました	- 0		
	〔成 果〕											
				.								
	1				と連携し町							-
	2				ラを購入し		り多発質	暂所、	、災害ご	みの仮置	場などで	不法投棄
					揮しました							
	3				らの報告、	住民からの	り通報な	などに	こより不	法投棄廃	乗物の早!	期発見
		処理	を行し	いました	0							1000
成果と										The sales		
課題											D-ELYST	
HALVE.					と棄された!	ブラウン管	テレ				加入 人员	
				ビ、酒の	つ空瓶			4				No.
	〔課 題〕									1800		
								1	A 34.50	de la		
	1				投棄事案は							きなどの
					つ為、関係							
	2				は1台では						っていま	せん。
		継ぎ	目の無	無い監視	を行う上で	監視カメラ	ラの台数	数がス	不足して	います。		
		1	1			1		. 180	西州	仕口ニュブー	类の心面性は	10720
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	エ 豆		住民ニーズ、事 行政必須か、委		10, 7, 3, 0
F. M. X.	1 \	^-			13.7931-		独創性	至公	·平性	受益者の偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	1	0	3	0			目標数値は達成コスト・人員効		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
一一二二二二	/		v	'		ل ا	╚			コスト・人員別 他の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計	H		21	判定基準	A:事業拡充	E B∶現	1状維	持 C∶改	善・効率化	し継続、委	託の検討
	4 0 点満点			21	刊足基华			設定、	委託の検	討 E∶休止	、廃止	
					担当課に	こよる判定	と理由					
В	不注机弃	i+±	ナミュー さ	巨安が登	生し アヤロ	継結し ブラ	車 ❤ / − □	To 1.1 4	組まい込 亜	がたしせ		
ן ט ן	小広技業	小人	/こ1〜号	申未が発	生しており	心で ししき	₱ 未 ┡₽	ひりお	直で 必安	いのりま	y 0	

平成 1 事業の成果及び評価

	0成果及0			1 Pho ***	D				古米ロハ	+r		■ 4小 4士
事業番号	123	事第	長名	し尿処理		世中在生	IT.		事業区分	□新	規	■継続
担 当 課 予算区分	町民生活 款		衛生	费	担当係項	環境衛生2 清掃					し尿処	T 甲
了异位刀	办人	- 最	終	· 決算額		事業費財		R	(千円)	<u> </u>	し水処	生
年月	芰	予算	額	(千円)	国庫支出金	県支出金	ポドゴ その (収.	他	起債	一般財源	į	備考
平成28	年度	27	', 281	27, 27	8					27, 278	8	
活動項	頁目	単位			26(実績)	27(実統	責)	28	3(実績)	29		30
設定なし			実	標 績 太 率	_ _ _				- - -	_ _ _		- - -
事業の対象(だれに)	琴浦町住	民、	事業原	沂 (下水	道整備が済	Fんでいなし	,\地区	等)				
事業の目的 (なんのた めに)	し尿の適	i正処:	理を写	€施し、:	生活環境の)保全及び:	公衆律	ī生σ	の向上に資	きする		
事業の 実施状況												
成果と 課題												
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆 独創		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事行政必須か、 受益者の偏りに	委託の可能性(はないか。	\$\ \begin{pmatrix} 10, 7, 3, 0 \\ 5, 3, 1, 0 \end{pmatrix}
評価点	7		7	3	3	3	1		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員を 他の見本とな	効率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計4 0 点満点			24	判定基準	D· 規模縮/	N、終其	明設定	維持 C∶改 E、委託の検			委託の検討
,					担当課(こよる判定	と埋日	<u> </u>				
В	町民の生	活環	境保≤	Èのため.	、継続して	事業実施で	する必	要力	があります			

事業の成果及び評価 国民健康保険事業会計 事業番号 事業名 エイズ予防等啓発 事業区分 □新規 ■継続 担 当 課 町民生活課 担当係 保険係 予算区分 1 保健事業費 保険事業推進費 款 8 保健事業費 項 1 決算額 事業費財源内訳 (千円) 最 終 年度 予算額 備考 玉 庫 その他 県支出金 起債 般財源 (千円) (千円) 支出金 (収入) 110 38 72 平成28年度 111 活動項目 単位 年度 26(実績) 27(実績) 28(実績) 29 30 目標 設定なし 実績 達成率 事業の対象 琴浦町民 (若年層) (だれに) 事業の目的 エイズは一度罹患すると生涯高額な医療費が必要となり、また感染のリスクも高いことから、 (なんのた 若年層への予防啓発を実施している。 めに) 例年同様、下記の2事業を行い、若年層へのエイズ予防啓発を行いました。 (1) エイズ予防啓発講演会 東伯中学校、赤碕中学校で各校年1回実施(対象は3年生、保護者) 事業の 実施状況 (2) 成人式でのエイズ予防啓発パンフレットの配布 [成果] 人生の節目となる時期に啓発活動を行うことで、若年層に対して自らの行動に対する自覚を促すこと ができました。 [課題] 事業の内容上、事業対象者には国保被保険者以外の人も多く含まれます。今後も国保事業と して限られた財源の中で実施していくならば、これ以上の事業規模の拡大は困難です。 現在も人生の節目となる時期を狙って効果的な事業実施を進めていますが、同様の事業を長 成果と 年続けていることもあり、新たな手法の模索も必要と思われます。 課題 必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。 10. 7. 3. 0 先駆性 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 行政必須か、委託の可能性は。 評価項目 妥当性 10. 7. 3. 0 独創性 公平性 受益者の偏りはないか。 5. 3. 1. 0 有効性 目標数値は達成できたか 5, 3, 1, 0 7 1 3 7 評価点 効率性 コスト・人員効率はどうか 5, 3, 1, 0 先駆性・独創性 他の見本となりえるか 評価点 A:事業拡充 B:現状維持 C∶改善・効率化し継続、委託の検討 22 判定基準 (40点満点) D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止 担当課による判定と理由 В 継続的な啓発活動が必要であり、事業拡大も困難なため、現状維持としました。

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

	0成果及0	び評価							国民健康	保険事業	会計	
事業番号	825	事業	(名	特定健康				事業区分	口新規	見	■継続	
担当課				- JII, -11-	担当係							
予算区分	款			事業費	項		康診査等		1	特定健康語	诊査等事業 費	
/ r		最		決算額		事業費財		(千円)	1	1-	# +	
年原	芟	予算 (千)		(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	1)	⋕考	
平成28	年度	10	, 502	9, 806	2, 562	2, 562			5, 150	国、県支出金 は29年度に返	のうち各234千円 納予定	
活動項	頁目	単位	年	度 26	(実績)	27(実績	[] 2 [8(実績)	29		30	
<u> </u>	2 = < 広			標 50		55		60	60		_	
持定健診受 ※人間ドック受診		%	実		38. 6	38. 7		34. 3	_			
			達月		77. 2% 50	70. 4% 55)	57. 2% 60	60			
保健指導受	砂診率	%	実		28. 9	21.0		33. 8	- 00			
※人間ドック受診		^0	達瓦		57. 8%	38. 2%		56. 3%				
事業の対象 国民健康保険被保険者												
(だれに)	当氏健康	1休快作	坟1禾的	快有								
事業の 実施状況	111 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1											
「成果]												
評価項目	必要性	妥当	_	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事芸行政必須か、委	託の可能性は ないか。	5, 3, 1, 0	
評価点	7	7	!	3	1	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
_	平価点 計4 〇点満点			22	判定基準		、終期設定	・ 維持 C∶改 定、委託の検			託の検討	
					担当課に	よる判定	と埋田					
В	受診率向 た。]上が⁴	今後₫)課題では	あるが、	制度自体に	は義務的な	なものであ	るため、	現状維持	きとしまし	

7-17

(単位:千円)

(款-項-目-事業名称) (最終予算額) (決算額) (ページ) 一般会計 福祉あんしん課 1,408,337 1,288,967 2.総務費 8,515 5,942 7.地方創生事業費 8,515 5,942 2.地方創生加速化交付金事業費 8,515 5,942 ことうら健康寿命延伸活動(福祉課) 8,515 5,942 8-1 うち繰越分 8,515 5,942 8-1 うち繰越分 8,515 5,942 3.民生費 1,377,597 1,260,799 1.社会福祉費 1,018,480 923,620 2.社会福祉事業費 28,754 26,259 8-2 社会福祉事業費 28,754 26,259 8-2 6.老人福祉費 23,107 18,572 老人福祉事業 17,796 15,102 8-4 高齢者支援サービス事業 5,311 3,470 8-6 9.降がい者福祉費 498,102 481,412 障がい者福祉費 7,535 6,493 8-7 障がい者福祉費 7,535 6,493 8-7 障がい者福祉費 7,535 6,493 8-7 降がい者福祉費 7,535 6,493 8-7 降がい日本管子援事業 6,99 379 8-10 自立支援給付事業 449,825 437,202 8-11 特別障がい者等手当支給事業 11,176 11,175 8-12	(備考)
福祉あんしん課1,408,3371,288,9672.総務費8,5155,9427.地方創生事業費8,5155,9422.地方創生加速化交付金事業費8,5155,942ことう健康寿命延伸活動(福祉課)8,5155,942うち繰越分8,5155,9423.民生費1,377,5971,260,7991.社会福祉費1,018,480923,6202.社会福祉事業費28,75426,259社会福祉事業費28,75426,2596.老人福祉費23,10718,572老人福祉事業17,79615,1028-4高齢者支援サービス事業5,3113,4708-69.降がい者福祉費498,102481,412障がい者福祉費498,102481,412障がい者福祉費7,5356,4938-7障がい児者を育てる地域の支援体制整備事業2,0361,7258-9重度障がい児者等支援事業6993798-10自立支援給付事業449,825437,2028-11特別障がい者等手当支給事業11,17611,1758-12	
7.地方創生事業費8,5155,9422.地方創生加速化交付金事業費8,5155,942ことうら健康寿命延伸活動(福祉課)8,5155,942うち繰越分8,5155,9423.民生費1,377,5971,260,7991.社会福祉費1,018,480923,6202.社会福祉事業費28,75426,259社会福祉事業費28,75426,259老人福祉費23,10718,572老人福祉事業17,79615,1028-4高齢者支援サービス事業5,3113,4708-69.障がい者福祉費498,102481,412障がい月者を育てる地域の支援体制整備事業2,0361,7258-9重度障がい児者等支援事業6993798-10自立支援給付事業449,825437,2028-11特別障がい者等手当支給事業11,17611,1758-12	
2.地方創生加速化交付金事業費8,5155,942ことうら健康寿命延伸活動(福祉課)8,5155,942うち繰越分8,5155,9423.民生費1,377,5971,260,7991.社会福祉費1,018,480923,6202.社会福祉事業費28,75426,259社会福祉事業費28,75426,259老人福祉費23,10718,572老人福祉事業17,79615,1028-4高齢者支援サービス事業5,3113,4708-69.障がい者福祉費498,102481,412障がい者福祉費7,5356,4938-7障がい月者を育てる地域の支援体制整備事業2,0361,7258-9重度障がい児者等支援事業6993798-10自立支援給付事業449,825437,2028-11特別障がい者等手当支給事業11,17611,1758-12	
ことうら健康寿命延伸活動(福祉課)8,5155,9428-1うち繰越分8,5155,9423.民生費1,377,5971,260,7991.社会福祉費1,018,480923,6202.社会福祉事業費28,75426,259社会福祉事業費28,75426,2596.老人福祉費23,10718,572老人福祉事業17,79615,1028-4高齢者支援サービス事業5,3113,4708-69.障がい者福祉費498,102481,412障がい者福祉費7,5356,4938-7障がい児者を育てる地域の支援体制整備事業2,0361,7258-9重度障がい児者等支援事業6993798-10自立支援給付事業449,825437,2028-11特別障がい者等手当支給事業11,17611,1758-12	
うち繰越分8,5155,9423.民生費1,377,5971,260,7991.社会福祉費1,018,480923,6202.社会福祉事業費28,75426,259社会福祉事業費28,75426,2596.老人福祉費23,10718,572老人福祉事業17,79615,1028-4高齢者支援サービス事業5,3113,4708-69.降がい者福祉費498,102481,412障がい者福祉費7,5356,4938-7障がい見者を育てる地域の支援体制整備事業2,0361,7258-9重度障がい児者等支援事業6993798-10自立支援給付事業449,825437,2028-11特別障がい者等手当支給事業11,17611,1758-12	
3.民生費 1,377,597 1,260,799 1.社会福祉費 1,018,480 923,620 2.社会福祉事業費 28,754 26,259 社会福祉事業費 28,754 26,259 8-2 6.老人福祉費 23,107 18,572 老人福祉事業 17,796 15,102 8-4 高齢者支援サービス事業 5,311 3,470 8-6 9.障がい者福祉費 498,102 481,412 障がい見者を育てる地域の支援体制整備事業 2,036 1,725 8-9 重度障がい児者等支援事業 699 379 8-10 自立支援給付事業 449,825 437,202 8-11 特別障がい者等手当支給事業 11,176 11,175 8-12	
2.社会福祉事業費28,75426,259社会福祉事業費28,75426,2598-26.老人福祉費23,10718,572老人福祉事業17,79615,1028-4高齢者支援サービス事業5,3113,4708-69.障がい者福祉費498,102481,412障がい児者を育てる地域の支援体制整備事業7,5356,4938-7重度障がい児者等支援事業6993798-10自立支援給付事業449,825437,2028-11特別障がい者等手当支給事業11,17611,1758-12	
社会福祉事業費28,75426,2598-26.老人福祉費23,10718,572老人福祉事業17,79615,1028-4高齢者支援サービス事業5,3113,4708-69.陣がい者福祉費498,102481,412障がい児者を育てる地域の支援体制整備事業7,5356,4938-7重度障がい児者等支援事業6993798-10自立支援給付事業449,825437,2028-11特別障がい者等手当支給事業11,17611,1758-12	
6.老人福祉費23,10718,572老人福祉事業17,79615,1028-4高齢者支援サービス事業5,3113,4708-69.障がい者福祉費498,102481,412障がい児者を育てる地域の支援体制整備事業7,5356,4938-7重度障がい児者等支援事業6993798-10自立支援給付事業449,825437,2028-11特別障がい者等手当支給事業11,17611,1758-12	
老人福祉事業 17,796 15,102 8-4 高齢者支援サービス事業 5,311 3,470 8-6 9.障がい者福祉費 498,102 481,412 障がい者福祉費 7,535 6,493 8-7 障がい児者を育てる地域の支援体制整備事業 2,036 1,725 8-9 重度障がい児者等支援事業 699 379 8-10 自立支援給付事業 449,825 437,202 8-11 特別障がい者等手当支給事業 11,176 11,175 8-12	
高齢者支援サービス事業5,3113,4708-69.陣がい者福祉費498,102481,412障がい者福祉費7,5356,4938-7障がい児者を育てる地域の支援体制整備事業2,0361,7258-9重度障がい児者等支援事業6993798-10自立支援給付事業449,825437,2028-11特別障がい者等手当支給事業11,17611,1758-12	
9.障がい者福祉費498,102481,412障がい者福祉費7,5356,4938-7障がい児者を育てる地域の支援体制整備事業2,0361,7258-9重度障がい児者等支援事業6993798-10自立支援給付事業449,825437,2028-11特別障がい者等手当支給事業11,17611,1758-12	
障がい児者を育てる地域の支援体制整備事業2,0361,7258-9重度障がい児者等支援事業6993798-10自立支援給付事業449,825437,2028-11特別障がい者等手当支給事業11,17611,1758-12	
重度障がい児者等支援事業6993798-10自立支援給付事業449,825437,2028-11特別障がい者等手当支給事業11,17611,1758-12	
自立支援給付事業449,825437,2028-11特別障がい者等手当支給事業11,17611,1758-12	
特別障がい者等手当支給事業 11,176 11,175 8-12	
地域生活支援事業 18,111 16,484 8−13	
手話通訳者派遣事業 104 36 8-14	
<u>療養介護医療費事業</u> 8,616 7,918 8-15	
10.介護保険事業費 311,444 307,709	古水井
介護保険事業311,444307,70911.いきいき健康センター運営費403291	事務費
11.いさいさ健康センター連当員 403 291 8-16	
13.臨時福祉給付金給付事業費 156,670 89,377	
臨時福祉給付金給付事業 156,670 89,377 8-17	
うち繰越分 78,612 72,349	
2.児童福祉費 94,013 93,584	
1.児童福祉総務費 80,903 80,764 特別児童扶養手当支給事業 70 70 8–18	
特別児童扶養手当支給事業 70 70 8-18 児童扶養手当支給事業 80,833 80,694 8-19	
4.母子福祉費 6,814 6,811	
入学支度金 250 250 8-20	
母子福祉事業 6,564 6,561 8-21	
5.児童措置費 6,296 6,009	
障がい児通所給付事業 6,296 6,009 8-22 3.生活保護費 252,196 230,875	
3.生活保護費 252,196 230,875 1.生活保護総務費 2,329 2,159	
生活保護総務事業 2,329 2,159 8-23	
2.生活保護扶助費 249,867 228,716	
生活保護扶助事業 249,867 228,716 8-24	
4.生活困窮者自立支援費 12,908 12,720	
1.生活困窮者自立支援費 12,908 12,720	
自立相談支援事業 12,851 12,720 8-25 住居確保給付金 57 0 8-26	
12.諸支出金 22,225 22,223	
1.諸費 22,225 22,223	
1.国県支出金返納金 22,225 22,223	
国県返納金 22,223 22,223	事務費
福祉あんしん課 2,252,768 2,166,371 66,375 67,702 66,375	
1.総務費 69,792 66,355 1.総務管理費 63,896 60,688	
1.一般管理費 25,857 24,020	
一般管理 25,857 24,020 人	.件•事務費
2.連合会負担金 5,213 4,533	
一般管理 5,213 4,533 - 20,105 - 2	事務費
3.包括支援センター運営費32,82632,135包括支援センター運営費32,82632,135人	.件•事務費
2. 微収費 647 529	11 予协具
1.賦課徵収費 645 529	
一般管理 645 529	事務費
2.滞納処分費 2 0	+ ==
一般管理 2 0	事務費
3.介護認定審査会費 5,209 5,104 1.介護認定審査会費 3,853 3,852	
1.月 腰部と音目云真 3,003 3,002 一般管理 3,853 3,852	事務費
2.認定調査等費 1,356 1,252	一小沙貝
一般管理 1,356 1,252	事務費
4.計画策定委員会費 23 22	
1.計画策定委員会費 23 22	

一般管理	00	00	8-27	
- 一般日母 5.包括支援センター運営協議会費	23 17	22 12	0-21	
1.包括支援センター運営協議会費	17	12		
一般管理	17	12	8-28	
2.保険給付費	2,009,991	1,933,571		
1.介護サービス等諸費	1,804,423	1,741,978		
1.介護サービス等諸費 給付事業	1,804,423	1,741,978	8-29	
2.介護予防サービス等諸費	1,804,423 87,724	1,741,978 80,313	8-29	
1.介護予防サービス等諸費	87,724	80,313		
給付事業	87,724	80,313	8-30	
3.その他諸費	3,000	2,622		
1.審査支払手数料	2,400	2,109		
給付事業	2,400	2,109		事務費
2.介護給付費請求書電算処理システム料	600	513		古沙井
<u>介護給付費請求書電算処理システム料</u> 4.高額介護サービス等費	600 45,100	513 40,658		事務費
1.高額介護サービス等費	45,100	40,658		
1.同頃月度り ころず貝 給付事業	45,100	40,658	8-31	
5.特定入所者介護サービス等費	69,744	68,000	0 01	
1.特定入所者介護サービス等費	69,744	68,000		
給付事業	69,744	68,000	8-32	
3.地域支援事業費	28,606	24,906		
1.介護予防事業費	25,111	22,117		
1.二次予防事業費	8,655	8,358 3,560	0.00	
通所型介護予防事業 二次予防事業評価事業	3,684 4.903	4.785	8-33	人件費
<u>一次了份事本計画事</u> 未 介護予防二次予防高齢者施策事業	4,903	13		八ा貝
2.一次予防事業費	16,305	13,625		
介護予防一次予防高齢者施策事業	11,391	10,239	8-34	
地域介護予防活動支援事業	2,425	2,022	8-35	
介護ボランティア事業	703	657	8-36	
総合事業	1,786	707	8-37	
3.総合事業費精算金	151 151	134 134		事務費
総合事業費精算金 2.包括的支援事業·任意事業費	3,495	2,789		争務負
1.任意事業費	1,666	1,253		
任意事業	1,308	1,109	8-38	
成年後見制度利用支援事業	214	0		
介護給付等費用適正化事業	144	144	8-39	
2.総合相談事業費	30	22		
総合相談事業 6.生活支援・介護予防サービスの基盤整備事業費	30 1,799	22 1,514		
生活支援・介護予防サービスの基盤 室順事未 賃 生活支援・介護予防サービスの基盤整備事業費	1,799	1,514 1.514	8-40	
在宅医療・介護連携推進事業	128	1,514	8-41	
4.基金積立金	69.547	69,547	0 11	
1.基金積立金	69,547	69,547		
1.介護給付費準備基金積立金	69,547	69,547		
一般管理	69,547	69,547	8-42	
5.公債費	16,334	16,333		
1.公債費 1.元金	16,334 16,333	16,333 16,333		
一般管理(元金)	16,333	16,333		事務費
2.利子	1	0		1-1005€
一般管理	1	0		
6.諸支出金	58,299	55,657		
1.償還金及び還付加算金	43,598	43,530		
1.第1号被保険者保険料還付金 一般管理	250 250	183 183		事務費
2. 償還金	43,348	43,347		尹伤質
一般管理	43,348	43,347		
2.繰出金	14,701	12,127		
1.一般会計繰出金	14,701	12,127		
繰出金	14,701	12,127		事務費
7.予備費	199	0		
1.予備費	199	0		
1 .予備費 予備費	199 199	0		予備費
	20,490	12,551		上川貝
	20,790	12,001		

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

)成果及び														
事業番号	1318	事業名	こと	うら	建康寿命延				_	事業	区分		I新規	₹	□継続
担当課	福祉あん	しん課			担当係	地域包	.括.	支援も	ン	<u>ター</u>			_	111 - 11 - 11 - 11	1->+ // -
予算区分	款	I I -	務費		項			創生事			E	∄		地万割生 付金事業	加速化交 費
<i>/</i>		最終		額		事業費	財			(千日	円)			/±	± .+z .
年	支	予算額 (千円)		四)	国 庫 支出金	県支出	金	その (収 <i>)</i>		起	債	一般則	才源	1/1	考
								(12)	<u> </u>						
平成28年月	度(明許)	8, 5	15 5,	, 942	5, 942										
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27 ((実績			29		30
// ID ~ ** =			目標				200			7, 250 7, 300)	7, 350	
体操の普及	ζ		実績 達成率				150 0. 09			5, 450 213. 09					
人誰又吐-		,	目標				80	/0		180	/0		180		200
介護予防ス ムへの参加		人	実績				26	.,		166					
_	=	ì	達成率			125	5. 0	%		92. 0%)				
事業の対象 高齢者 (だれに) 高齢者															
(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,															
事業の目的 (なんのた 高齢者がいつまでも健康で過ごせるよう、普及啓発等を実施する。 めに) めに)															
	〇新わく														
					牧作成しま										
	サーク <i>!</i> 〇介護予!				操リーダー	-19人を	と育	八、ゴ	也现	での1	本架は	ひ 普及	. 啓角	きを行いる	こした。
事業の					ニング・ヤンター	で閏催	Ι.	認有□	症化	- 関す	· ろ講	油レコ	ነታ* - ፡	サイス゛ 辛斤	わくわく
実施状況															
	〇ヘルスツーリズム創設														
地震のため、未実施です。											0 1				
	〇パワーリハビリ機器導入 ※ ※ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・														
	総合体育館トレーニングルームにパワーリハビリ機器3台を導入しました。 〇新わくわく琴浦体操														
				ᅲ모ᄼ	への体操普	▶ 丙 政 承	×1-	軽がし	l ‡	1 <i>t-</i>					
					し、更に										
	CHARAS				要があり		,		1.1.12		69	VI			
															The state of
	〇介護予[
					ズの普及						. . —			L	
	し課題」	会場に関	引しては	、米	場者来年	度以降:	会均	易を冉	検討	すする	必要	かあり	りま [、]	す 。	
成果と	Oヘルス ¹	ツーロブ	/、創設												
課題				んで	したが、・	今後に	向(-	+ た事	業格	計に	繋が	りまし	.t		
					制を再検						212.0	, , ,	, , ,	,	
					予防事業						けに	用いる	るの [.]	ではなく	•
		観光振り	興等別分	野で	活用して	いく方	法を	上探っ	てし	ヽく必	要が	ありる	ます。	o	
	o		TVIV DE	_											
	〇パワー	-			11-11-11	11+4K PD 1		ه د ۱۰ م	+ ==	\$ 7 .	m-		≠⊯	出	
	し、八米」	総合体に繋がり			ーム(こりハヒ゛)	が成ると	עז _	ツト ミル	でき	∳八し	、 四]	大の位	连尿]	占 進	
	〔課題〕			-	高まりつ	つあり	<u>,</u> , ,	- 卜 * .	ソフト	の充写	実が草	望まれ.	てし	ます。	
	- m110000	,			,, 0. , , ,		• • •	. `		- / - /	<u>-</u>	_ 5,0	- •	J. 7 0	
評価項目	必要性	妥当性	公平	7件	有効性	効率性	生	先駆		必要性 妥当性				業の必要性は。 託の可能性は。	10, 7, 3, 0
計画項目	少女!注	女ヨ世	. X+	一上	11以1	刈华门	エ	独創		公平性		受益者の	偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	7	5	;	3	3		3		有効性 効率性				できたか。 率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
и г јиц /м				,	U						独創性	他の見本			5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		2	8	判定基準	D:規模	縮小	ヽ、終期	設定					し継続、委 、廃止	託の検討
担当課による判定と理由															

C

町総合戦略の方向性に沿った事業ですが、実施方法のブラッシュアップが必要です。東伯総 合公園の運用、ヘルスツーリズムの実施方法等検討が必要です。

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

	業の成果及び評価												
事業番号	568	事美		社会	福祉					事業区分	□新規	見	■継続
	福祉あん					担当係	生活支援		====		1 1 2	11. ^	1-11 - 11 + 11
予算区分	款		民生:		z 4:X	項	1 社会				2	社会	:福祉事業費
年		最 予算	終	決算	科組	国庫	事業費財	源内 その		(千円)			備考
+	<i>i</i> 文	千(千		(千	円)	支出金	県支出金	(収		起債	一般財源		畑つ
平成2	8年度	28	3, 754	26	, 259		130		11		26, 118		
活動	項目	単位		度	26	(実績)	27(実統	責)	28(実績)		29		30
社会福祉区補助金交付		円	実達原	標績 本	28,	519, 900	26, 745,	26, 745, 150		468, 430			
戦没者追悼	走式	円	実達原		32	22, 185	294, 91	2	24	16, 344			
民生児童委員活動 費支弁		円	実達原	戊率		_			2, (645, 000			
外国人高的 別給付金	命者等特	円	実	標績薬	42	25, 000	475, 00	00	30	00, 000			
事業の対象(だれに)											望安貝協議		
事業の目的 (なんのために)		事業σ)実施	や福祉			って、地域 加金の交付						る。 目互扶助によ
事業の実施状況	1 補助金交付事業 【社会福祉協議会】 21,454,930円 (1)人件費補助金:総務課職員(6名)の人件費の1/2を補助しました。 (2)施設管理費補助金:社会福祉センターの管理・運営にかかる費用の2/3を補助しました。 (3)ふれあいのまちづくり事業補助金:心配事相談員費用弁償及び相談員研修費用弁償の金額を補助しました。 (4)さわやか福祉基金事業補助金:さわやか給食事業費から事業に伴う収入額及び県社協がらの補助金を控除した額の1/2を補助しました。 (5)マイクロバス購入費補助金:琴浦町社会福祉協議会バス購入の補助を行ないました。 【原爆被害者協議会】 10,000円 原爆被害者協議会【10,000円 全国戦没者追悼式、鳥取県護国神社例祭、鳥取県戦没者追悼式・遺族大会、会員相互の交流事業にかかる経費について、15万円を上限に補助しました。 【社会福祉法人 立石会】 195,500円 立石会に対して、みどり園増設に伴う借入れ金の利子返還の補助を行ないました。 【民生児童委員協議会】 588,000円											関用弁償の全 なび県社協かいました。 は相互の交流	
	日常活	動に係	系る経			用弁償) <i>σ</i> のため、費	D支給 費用弁償と	して	日常	活動費を3	支給しまし	た。	
	3 戦没者追悼式 先の大戦で亡くなった1091柱の慰霊のため、参列者に遺族会遺族のほか来賓を招き執り行い ました。												

(1)中部民生児童委員協議会負担金 (2) 鳥取県社会福祉協議会負担金

4 負担金

5 外国人無年金者等特別給付金 1件 300,000円 年齢など一定の要件を満たす公的年金の受給権を有しない外国人住民に対して給付金の支給 を行ないました。

【成果】

〇 社会福祉団体事業補助金交付

社会福祉協議会をはじめ、民生児童委員協議会、遺族会など福祉関係団体への補助を行い、地域福祉の推進を図りました。

琴浦町補助金交付規則、交付要綱に沿って適正に事務を進めました。

〇 琴浦町戦没者追悼式

先の大戦で亡くなった1091柱の慰霊のため、遺族137人、来賓26人が参列し、 執り行いました。

遺族の高齢化が進み、参列者が減ってきています。29年度は遺族会と協議しより設備の整った会場に変更して実施しました。

成果と 課題

〇 民生児童委員活動費支弁

民生児童委員に対し、日常の相談、支援活動にかかる経費の支弁として活動費を支給し活動の負担軽減が図れました。平成27年度までは補助金でしたが、町からの直接払いとすることで事務が簡素化できました。 年2回に分けて支給するため適正に執行しました。

O 外国人高齢者等特別給付金 法に基づき適正に執行しました。

評価点 計 (40点満点) 22					判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				の検討
	評価点	7	7	1	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0

担当課による判定と理由

В

社会福祉協議会をはじめとした福祉関係団体の活動基盤の安定化を図り、連携しながら地域福祉を推進する必要があります。

1 事栗 の 事業番号	D成果及び 83	事業	名	老人福	차	事業				事業区分	□新規	₽	■継続
	 福祉あん			心八油	, _{ПТ} =		高齢福祉	系		于木伫刀	니제시	, i	■ 小企 小儿
予算区分	款	民生費								6	老人	.福祉費	
		最終 決算額		事業費財源				(千円)					
年	度	予算 (千P	額	(千円		国 庫 支出金	県支出金	その (収		起債	一般財源		備考
平成2	17, 796 15, 102						<i>,</i> ,		12, 407				
活動	項目			26	(実績)	27(実約	[)	28	(実績)	29		30	
单位高齢者	首クラブ	数	見: 実績 達成	漬		39	38			37			
事業の対象 (だれに)	1 単位高額 2 部落単位 3 経済的 4 75歳以_	立に開 ・身体	ラブs 催され 的・3	会員・ れる敬 環境的	老会事第	会に参加し 美により在	_{ンた75歳以} E宅生活が	上の 困難	高齢 な高	者 齢者で養詞	隻老人ホ−	-ムに 受け	- - 入所した方 ナた方
事業の目的 (なんのた めに)	援するこの 2 高齢 を寿ぐ。 3 身体、 る。	とで高 者を対 、環境	齢者(象に 、 、 経	の健康 敬老会 斉的事	増進への情に	進を図りた)助成や、 こより在宅	t会貢献を 88歳到達	促す 者・ 難な	。 100歳 高齢:	は以上の長 者を養護	寿者に祝 と人ホーム	品を	忧労活動を支 贈呈し、長₹ 昔置入所す : する。
事業の 実施状況	補 福 2 部ま 部まし 敬	を位齢齢齢ルー単た老行高者者者が、位。祝い齢クククーーにまい	い。 オラララ人 開た助高クブブブ材 催じ成	齢ラ連連支セ さ満金 者が過会愛タ る歳	活助営健活一 敬と1	動支援を行 37分 補東動運 きの 37金 り 37金 り 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37 37	助金	·。 以上 :祝6	の高i 品を贈	1, 453 836 705 600 5, 350 齢者に対し 第呈して長 3, 291	700円 000円 000円 000円 000円 000円 大補助を	行し	١
	措置 老 4 75歳」 受けた	費を負 人福祉 以上で た方に	担し 上施設 世帯: 対し	ました 入所措 全員が て、施	:。 計置: 町月 祈費	事業委託網	J 在宅生活 料 1件 党世帯の方 『を助成し 7人	では	IJ •	1, 803 きゅう・ ⁻	, 057 円	ジを	
成果と課題	・生 い への 〔課題〕 1	者 き い 功 も 道 し 道 し う き る う き る う る う る う る う る う る う る う る	vづ気 : 元気り : 齢者	りや家 に暮ら た クラフ	t労 っせ こ。 での:	活動を支持 るよう支持 会員が減っ	り活動の3 援しました か。 前期 記 がは29年度	: で、 : 。 ま 「齢者	高齢 た、 fの加	渚が閉じ 町内の長 I入促進が	こもりに; 寿者を祝り	ならっ ハ永 ⁴	ず、

評価項目	必要性 妥当性		公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0				
評価点	10	7	3	5	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0				
	評価点 計 40点満点)	31	判定基準	川定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止								
担当課による判定と理由													
B 今後も高齢者の生きがいづくり等支援がますます必要となってきます。													

	の成果及び	評価												
事業番号	695	事業名	高齢	者支	援サービス				業区分	□新規	見	■継続		
担当課	福祉あん	しん課			担当係	高齢福祉 ター	係・包:	舌支	援セン					
予算区分	款		生費		項		福祉費		E	1 6	6 老人福祉費			
年	度	最 終 予算額 (千円)	į	算額 円)	国庫支出金	事業費財県支出金	源内訳 その他 (収入	の他 おは		一般財源	備考			
平成2	8年度	5, 3	11 3	, 470						3, 470				
活動	項目	単位	年度		6(実績)	27(実績			実績)	29		30		
生活管理排 遣利用者数		人 	目標 実績 達成率		1, 230 1, 119 91%	1, 230 1, 042 85%		8	230 59 0%					
事業の対象(だれに)														
事業の目的 (なんのた めに)														
事業の 実施状況	0 0	指導員派遣事業利用者:延べ859人 短期宿泊事業利用者:延べ4人 〇 外出支援サービス事業 利用延べ人数:685人												
成果と 課題	 【成果】 ○ 生活管理指導員派遣事業・短期宿泊事業 指導員派遣:家事等に困っている高齢者宅へヘルパーを派遣しました。 短期宿泊:家事等に困っている高齢者ヘケアハウスへの宿泊サービスを提供しました。 高齢者の自宅での生活補助や、介護する家族の負担軽減に繋がりました。 ○ 外出支援サービス事業 公共交通機関の利用が困難な高齢者を医療機関等へ送迎しました(社協補助金)。 高齢者が安心して通院を行うことができる体制構築につながりました。 ○ 買物支援員派遣事業 買物に困っている高齢者が安心して暮らせる環境作りが行えました。 〔課題〕 ○ 生活管理指導員派遣事業・短期宿泊事業 利用者は減少傾向にあるため、事業のPRを積極的に行う必要があります。 ○ 外出支援サービス事業 高齢者の移動手段に関するニーズが高まりつつあります。 ○ 買物支援員派遣事業 利用者が増えていないため、PR方法について見直す必要があります。 													
評価項目	必要性	妥当性	公立	平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	<u>公</u>	平性	受益者の偏りは		5, 3, 1, 0		
評価点	7	3	3	3	1	効	効性 率性 駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0				
	評価点 計40点満点		2	0	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小 よる判定	ヽ、終期記			善・効率化 討 E∶休止		 託の検討		
					ニコ杯に	みる刊化	- 性田							
В	各サー 他課事業 [・]				限現状維持 用も含めて						ごスについ	いては、		

	<u> </u>		Π± <i>L</i> ≥	· · · += ·	· · · · · ·				古米ロハ	— +r+i		■ 4\\\ 4±	
事業番号担 当課			陣か	章がい福祉費 事業区分 担当係 障がい福祉係						□新規 ■継続			
予算区分		3 民生費			項 1 社会福祉費				目 9 障がいる			- い者福祉費	
7 71 - 73	327	最 終 決算額 予算額 (千円) (千円)		算額					(千円)			- 1111111111111111111111111111111111111	
年	度			円)	国庫 県支出金 その (収入			起債	一般財源	財源 備考			
平成28年度		7, 53	7, 535 6, 49			385				6, 108			
活動	項目		年度	26	(実績)	27(実約	責)	28	(実績)	29		30	
障がい者~			目標 実績	28名	20工田	23名 35	エロゥ	64	37千円				
エンザ接種	重率		天順 成率	201	20 7 1	2040 00	T [] 2	υ 1	3/ -				
障がい者3 成	交通費助		目標 実績 13名 達成率		854千円	17名 943	千円 1	9名	891千円				
重度障がし			目標実績	108名	743千円	89名 835	5千円 9	3名	827千円				
シー料金則		适	成率			ССД			02. 11.				
重度在宅障	•		目標 実績	52.42	1 066조끄	51名 1,03	1 1	7タ	894千円				
児・者福祉	止手当		成率	004	1, 000 〒 [7]	J1-13 1, U3	4	/ 10	004 [[]				
事業の対象(だれに)	各種障がし												
事業の目的 (なんのた めに)	自立促進、	生活改	善、社	会参加	叩を増進す	トるため							
事業の実施状況													
成果と 課題	化(い負)((の)(を課現ま担) 障成作支課題ではが、少い)所を課題業	ルニ ー な者 こ行 の会 エと 旦今い 交 通い 賃参 ンが 病後方 通 所ま 金加 ザで 院は法 費 すし は及	予き で高を助 るた 一防ま 費齢考成 人。 般接し 用者え に 就	種た。 を 大る 対 に 対 に は に に に に に に に に に に に に に	が成を行う いが など なが を で の あ が る で で の あ で で の あ で で の あ で で で の る で で で で で で で で で で で で で で で	うことによ の 重券 の の の の の の の の の の の の の	ためにに病院成する	201	場に申請詞 ヶ所で手約 とで、交通 所の負担I	書等を提出 売きが済む 重費の負担	さよう 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	章がいの重症 しても らな る で も の は は は は は は は は は は は は は は は は は は	

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0				
評価点	10	10	3	3	3	5	有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0				
рт ішілік	10	10	J	0	J)	効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0				
							先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0				
	評価点 計 40点満点		34	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小	E B∶現状: ヽ、終期設定	維持 C∶改 ≧、委託の検	善・効率化し継続、委記 討 E:休止、廃止	氏の検討				
				担当課に	よる判定。	と理由							
В	担当課による判定と理由 国の制度では十分対応できない部分の支援を行い、対象者の福祉の充実を図る必要があります。												

	の成果及び						1211 11 11							
事業番号	1222	事業	名 障が	い児		る地域の支		事業区分	口新規	見	■継続			
担当課			1			障がい福		1 -		7女 よミュ・エ				
予算区分	款		民生費	ケッエ	項		福祉費	_	9	障がい者	福祉 實			
年	度	最 予算額 (千円	額	算額 円)	国庫支出金	事業費財県支出金	<u>源内訳</u> その他 (収入)	起債	一般財源	俿	請考			
平成28	8年度	2, 0	036 1	, 725		862			863					
活動:	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	5) 2 (8(実績)	29		30			
重症心身随 者等受入事 護師配置等	業所看		目標 実績 達成率				1,	173千円						
事業の対象 (だれに)	重度の心:	身障がし	ハのある	人に礼	冨祉サーヒ	ごスを提供	する事業	所						
事業の目的 (なんのた めに)	対象者がを整える		る福祉事	業所(こ助成をす	けることで	、より安	心安全に	サービス和	川用ができ	きる環境			
事業の 実施状況	○在宅生活支援給付費 552,860円 (重症心身障がい児者等受入れ事業所医療機器購入助成補助金) 対象者が利用している事業所に対し、受入れに必要な機器の購入助成を行いました。 (内訳) 体位変換器 54,432円 屋内用リクライニング車いす 234,000円 吸引器 76,788円 車いす体重計 272,160円 酸素濃度計測器 39,744円 ○重症心身障がい児者等受入事業所看護士配置等補助金 1,173,040円 事業所に基準以上の看護師を配置した事業所に助成を行いました。 (看護師1名 9,460円×124日)													
成果と 課題	(成果) (成果) り (成果) り (取せい、) (要せい。) の重症心。	事者安1 た 身事者 が所になまる が所になまる ががに	これけいのいこれがいいます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます一、対象ができます<l< th=""><th>用所利の補受上の</th><th>こ角が成が 事情をある ままれる とるでま 看を 所師 まままる まままる かいき かいしょう かいしょう かいしょう ままる かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう</th><th>医療で境利ん 士置が環 かままり これ </th><th>入の助成りまります。 身体動動 補助金</th><th>を行うこ。 、本人や 状況の変</th><th>家族の負担 化に伴い、</th><th>⊒等を軽源 新たな様</th><th>越し、よ 機器が必</th></l<>	用所利の補受上の	こ角が成が 事情をある ままれる とるでま 看を 所師 まままる まままる かいき かいしょう かいしょう かいしょう ままる かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	医療で境利ん 士置が環 かままり これ 	入の助成りまります。 身体動動 補助金	を行うこ。 、本人や 状況の変	家族の負担 化に伴い、	⊒等を軽源 新たな様	越し、よ 機器が必			
評価項目	必要性	妥当怕	性 公3	平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	5, 3, 1, 0			
評価点	10	10	, ;	3	5	3	5	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0			
	評価点 計40点満点		3	6	判定基準		、終期設定	維持 C∶改 È、委託の検			託の検討			
T					担当課に	よる判定の	と埋田							
В	県の補助:		を活用し	、事	業所の環境	竟を整備す	るとこで	利用しや ⁻	すい環境を	を整えるこ	ことがで			

	の成果及び	評価										
事業番号	1223	事業名	重度障が	い児者等す			事業区分	□新規	見 I	■継続		
	福祉あん				障がい福							
予算区分	款	3 民生		項	1 社会	福祉費		9	障がい者	福祉費		
		最 終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)					
年	度	予算額		国庫	県支出金	その他		一般財源	備	考		
		(千円)	(千円)	支出金	不 人山业	(収入)	尼良	川又 兴 川 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小 小				
平成2	0年度	699	379		189			190				
十八人	0十尺	03.	013		103			130				
活動	項目			6(実績)	27(実統	責)	28(実績)	29		30		
重症心身障			標									
当等支援 事	F 業補助			80千円	623千日	7	379千円					
£ ********			成率									
事業の対象(だれに)	重度の心:	身障がいる	Dある人に	福祉サーヒ	ごスを提供	する事業	業所					
事業の目的	重度の障	がい児者の)利用受入:	れを実施し	している事	業所に対	対し、支援に	にかかる費	費用を助成	さするこ		
(なんのた めに)	とでサー	ビス利用な	ができる環:	境を整えて	てもらうた	め。						
	 ,	7+ ch n + '	 1= ··· ·	#1# E: ^	15 0-0							
			等支援事業				-,,,					
事業の	重度障?	かい児者の) 受人れを	行つ爭業凡	竹に対して	助成を	行いました。	o				
実施状況												
	(<u>+</u> =)											
	(成果)		7回コムナ:	⁄- : - + + =	::	·	- = - 1.1-		ロセのエも	· 小士垣		
							ううことに、		用有の活男	の文法		
	(課題)	佚の貝担?	『小女を軽』	別し、 和月	fl有の又抜	7年市リリンプ	充実を図り	ま <i>した</i> 。				
		介護 が必3	重か対象者	の日由活動	か場の確	保が困事	誰な状況の	山 重業詞	F 終力によ	い受え		
							が地域で暮					
			を拡大して							C 112170		
成果と												
課題												
		ı					ᄼᆂ	4-2- → +	*の心事場・	10 7 2		
≣∓/∓⊤∓□	ᄽᆓᄮ	꼬개뉴	\\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		꾸러 각고 바꾸	先駆性	必要性	住民ニーズ、事		10, 7, 3,		
評価項目	必要性	妥当性	公平性 	有効性	効率性	独創性	安当性	行政必須か、委		10, 7, 3,		
			1	1	-		公平性	受益者の偏りは		5, 3, 1, 0		
==:/ = : =	10	10	4	F	0	2	有効性	目標数値は達成		5, 3, 1, 0		
評価点	10	10	1	5	3	3	効率性 た野地 XL会地	コスト・人員効		5, 3, 1, 0		
							先駆性・独創性	他の見本となり	えるか。	5, 3, 1, 0		
	評価点 計		20	小中井 洋	A:事業拡充	t B∶現丬	犬維持 C∶改	善効率化	し継続、委託	モの検討		
評価点 計 32 判定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 C:根底満点) りに規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止												
				担当理に	<u> </u> :よる判定	と押山						
				にコ麻に	よると	- 生田						
В						ある人が	が安心して:	地域で暮ら	らしていく	ことが		
ם	できるよ	う事業の糺	迷続が必要	だと考えま	ます。							

	の成果及び		_											
事業番号	1251	事業		自立	支援	給付事業	I=+ .			事業区分	□新規		■継続	
担当課				#			障がい福		#			D ナノミュ・ナ		
予算区分	款		民生		安石	項	1 社会				9	障がい者	倫	
年	度	□ 取 □ 予算 □ (千[決算 (千I		国庫	事業費財	その	D他	(千円) 起債	一般財源	備	考	
平成28	 8年度		, 825			<u>支出金</u> 227, 716	113, 858	(収	<u>人)</u>		95, 628			
活動	<u>項目</u>	単位	年	度	26	(実績)	27(実統	責)	28	3(実績)	29		30	
	A / I =#5			標	000		405 004		400	001-7-				
自立支援約	合付費		実達原		392,	887千円	405, 964	- - 	433	, 091千円				
				標										
補装具給付	寸費		実達の	績	3, 2	227千円	2, 957∓	·円	3,	467千円				
事業の対象(だれに)	各種障がし	い者手		•	難犯	 病患者、精	- 青神通院患	者						
事業の目的 (なんのた めに)	在宅、施	設等で	· の福	祉の同	う上で	を図るため	Ò							
事業の 実施状況	○自立支援給付費 利用人数553人 433,091,170円 (内訳) ※主なもの ・居宅介護 27人 5,618,472円 ・療養介護 10人 28,891,940円 ・生活介護 75人 144,475,636円 ・施設入所 39人 49,464,941円 ・規同生活援助 37人 49,617,996円 ・就労継続支援A型 8人 12,406,690円 ・就労継続支援B型 72人 113,521,440円 ○補装具給付費 31人(内訳:障がい者25人、障がい児6人) 3,467,556円													
成果と 課題	福祉の向の会議がある。 (課題) はまままでは、まままままままままままままままままままままままままままままままま	居上 続り必 給 宅を 支、要 付 援新が 費	護り のしあ	した。 用者で 仕事で ます。	で能っ への ^ス	力があって 下安もあっ	ても一般就 ったりする	労よ 修理	踏みの を行	出せない。で、不安を	援を行い、 人もあり除き 舌や就業生	₹す。現状 ÷一般就労 注活の安定	に満足 への支 を図り	
評価項目	必要性	妥当	性	公平	性	有効性	効率性	先馬 独倉		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0	
評価点	10	1(0	3	}	5	3	1		有効性 効率性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	できたか。 率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
	評価点 計40点満点			3	2	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小			 維持 C∶改	善・効率化し 討 E∶休止	ン継続、委言		
						担当課に	よる判定	と理	Ħ					
В	法律に基金を図るため		-				その家族に	対し	必要	な支援を行	行うことで	₹日常生活	の安定	

	の成果及び	評価											
事業番号	1254	事業名	特別障害				事業区分	口新規	見 I	■継続			
担当課					障がい福								
予算区分	款	3 民生		項		福祉費		∃ 9	障がい者	福祉費			
		最 終	決算額		事業費財		(千円)						
年	度	予算額	,,	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備	考			
		(千円)	(千円)	支出金	ホ スロ亚	(収入)	AC IX	132,763,1115					
平成2	R 在 使	11, 176	11, 175	8, 381				2, 794					
活動	項目			6(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29		30			
特別障害者	手当支		標		50 5 10 10								
給事業				12,8/5千円	52名12, 492	2千円 46名	11, 175千円						
事業の対象			成率										
争業の対象	在宅生活	において常	時の介護	を必要とす	ける重度の	障がいの	ある人						
事業の目的	安庭で生	注している	重度の障が	がいがねる	ストの終文	的 特地	的色切の	区域た図 2	St-10				
めに)	か 歴 し土	, C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	主及切焊	7.0.W.Q) @	ソハツ社が	山ツ、 个月 个9	ロッタだい	tr/MC 凸る) /_ UJ				
			事業 46										
事業の			10名 /										
実施状況	•特別	障害者手当	36名)	月額26,83	0円								
	, b == \												
	(成果)	エマ エフコ		+ + + + 7 +	/ //=> /-	411 —	4+ D4 7 + +	+ - 11 /12	·	T 1/1			
			度障がいる		す(児)に	対して、	特別障害	首手当(隨	言児福祉	(手当)			
		、倫他の項	創進を図り:	ました。									
	(課題)	生のこ ナントン 人	、に対しての	ひけおがぶ)、西です								
	ナコで	加りないグ		ハカ牧りが	少安です。								
成果と													
課題													
						牛的肿	必要性	住民ニーズ、事	業の必要性は。	10, 7, 3, 0			
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	行政必須か、委	託の可能性は。	10, 7, 3, 0			
						加加工	公平性	受益者の偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0			
							有効性	目標数値は達成	できたか。	5, 3, 1, 0			
評価点	10	10	3	5	3	1	効率性	コスト・人員効	率はどうか。	5, 3, 1, 0			
	. •					•	先駆性・独創性	他の見本となり	えるか。	5, 3, 1, 0			
	評価点:計		32	判定基準			維持 C:改			その検討			
(40点満点	.)		门た坐牛	D∶規模縮小	、終期設5	定、委託の検	討 E∶休止	、廃止				
				+□ 1/ = ⊞ / -		ᇈᅖᅭ							
				担当課に	よる判定	と埋田							
	法律に基 [・]	づいた事業	€であり、 7	在宅生活を	を送る上で	、本人や	介護をする	る家族の即	政的な支	援と			
В		るので必要			_~		J. 12. C. /						
	- -												

В

1 事業(の成果及び		戊	<u> </u>	十戌 =	サ未以え	不可	דנשי	首 ボ	計川山			
事業番号	1255	事業	名 地域:	生活	支援事業	n+ 1 × 1 . ±=	1.1 <i>IT</i>		事業区分	□新規	見	■継続	
	福祉あん 款		· 民生費			障がい福		弗	E	9	『辛よ 》	小老短礼弗	
予算区分	示人	3 医最 系		百安百	項	1 社会 事業費財			<u> </u> (千円)	9	はおい	い者福祉費	
年	度	□ 取 □ □ 予算額		子台只	国 庫		20			<i>t</i> = = 1.		備考	
•	~	(千円		円)	支出金	県支出金	(収		起債	一般財源		MID - 3	
平成2	0年度	181, ⁻	111 16	, 484	3, 965	3, 699				8, 820			
		,											
活動	項目	単位	年度 目標	26	6(実績)	27(実約	責)	28	(実績)	29		30	
日常生活月	月具給付		実績	4	275千円	4, 202千	Щ	4 8	842千円				
費			達成率	•,	2,0	1, 202		.,	012 1				
	⊢+∞ · ++×		目標	0		0 000-	_	4	1467 11				
日中一時习	2抜争果		実績 達成率	Ζ,	528千円	3, 680千	· -	4,	146千円				
事業の対象	夕種陪が			## 4	———— 病患者、精	生地洛陀虫	*						
(だれに)	合性呼が	い白ナツ	依川 行 伯、	. 美田 1	内忠白、和	9件地忧忠	1日						
事業の目的 (なんのた	対象者の	自立促治		· 改善.	社会参加	ー ロを増進す	るた	め					
めに)									=7 1 → 1 ¹	L			
	〇県甲部(ひ1市4		Ħを1	負担し事業	ミ所にサー				٥.		ا بدار جمان الم	
	► 4L ±n -±	:±11 = 3	事業名						事業所等			支出額(円)	
		- 1 1-2 11	養成研修			日本赤十						43,787	
	手話奉作 相談支持		養成研修			鳥取県職			T協会 注活支援	セカンター		360,376 2,033,600	
			白力古塔塔	7 詳 △	運営委託料				生的文版		_	947,078	
			上活支援			鳥取県聪				- 义 1 反 协 时	法云	316,160	
	意思疎遠			尹木		鳥取県聪						1,322,336	
	尽心坏	四人 顶。	# <i>*</i>			<u> </u>	N 50 14		m Z			5,023,337	
事業の実施状況	〇日ス 日本 〇日事 〇日事 〇日事 た の 移り か り り り り り り り り り り り り り り り り り	活用具終 等の日常 時支援事 で 援事業	給付事業 常生活用! 事業費 4 や入浴の3	4, 8 具を組 1, 146 支援、	、レクリコ 2, 892円	ノた。 ニーション	など	をお	こなう日ロ	中活動の均	易を摂	≹供しまし	
成果と 課題	外出の支援を行い、地域での自立及び社会参加を促進しました。 (成果) 障がい児者の自立促進・生活改善・社会参加を増進するために日中一時支援、日常生活用具の給付、相談支援、意思疎通支援事業等を行い、対象者やその家族が生活の安定を図りました。 (課題) 町内の事業所で行っている、日中一時支援は現在送迎を行っていないため、家族が送迎を行えない場合の利用ができない状態です。今後、送迎を実施してもらえるよう事業所に働きかけていく必要があります。												
評価項目	必要性	妥当性	生 公平	性	有効性	効率性		区性 削性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能ないか。	能性は。 10, 7, 3, 5, 3, 1, 0	
評価点	10	10	3	3	3	3		3	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効	率はど	うか。 5, 3, 1, 0	
			^		steet see	A:事業拡充	ř. B	:現状		他の見本となり 善・効率化		<u>5,3,1,0</u> 、委託の検討	
	40点満点		3		判定基準	D:規模縮小	ヽ、終	期設定	こ、委託の検				
					担当課に	よる判定	と理						

対象者やその家族に対し必要な支援を行うことで日常生活の安定を図るためにも必要な事業です。

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

	の成果及び					11100			_						
事業番号	1275	事業名	手話通訳				事業区分	分 □新規	見	■継続					
担当課					障がい福										
予算区分	款	3 民生		項		福祉費		目 9	障がい者	福祉費					
		最終	決算額		事業費財										
年	度	予算額	(7 m)	国庫	県支出金	その他		一般財源	備	考					
		(千円)	(千円)	支出金	,,,,,,,,	(収入))	732773443							
平成2	8年度	104	36					36							
活動	項目			6(実績)	27(実績	責)	28(実績)	29		30					
手話通訳者	等派 遣		標												
事業	- ·, /// / /		E積		10		3回								
事業の対象			成率												
(だれに)	聴覚障がし	い等により	り、音声に	よる意思政	東通が困難	な人									
事業の目的 (なんのた めに)	聴覚障がい	いのある丿	、が町主催(の事業に参	参加できる	環境を	整備するた	<u>:</u> め							
事業の 実施状況	・と ・介	手話通訳者等派遣事業 3回 36,480円 ・とうはく部落解放文化祭 ・介護予防フォーラムinことうら ・人権・同和教育講演会													
成果と 課題	(成果) ・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・														
== / = == ==	St == 1.01		0 44		±1 ± 14	先駆性	必要性	住民ニーズ、事		10, 7, 3, 0					
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	独創性	安当性	行政必須か、委		10, 7, 3, 0					
							公平性	受益者の偏りは		5, 3, 1, 0					
== /= -	7	10				_	有効性	目標数値は達成		5, 3, 1, 0					
評価点	7	10	3	3	3	5	効率性	コスト・人員効		5, 3, 1, 0					
	評価点 計40点満点		31	判定基準			 状維持 C∶i	性 他の見本となり 改善・効率化 検討 E:休止	し継続、委詞	5,3,1,0					
				担当理/-	<u> </u> :よる判定。	レ理由									
				ニコ味に	O TIKE	<u>- т</u> ш									
В			₫が困難な! : 要約筆記:					€に参加し ヤ €す。	5すい環境	を整え					

	の成果及び													
事業番号	1311	事業	名 療養	於介護	医療費事業				事業区分	□新規	見	■継続		
担当課					担当係									
予算区分	款		民生費		項		会福祉		E	9	障がい者	福祉費		
_	_	最		算額		事業費	財源内		(千円)		,			
年	芟	予算: (千円		千円)	国 庫 支出金	県支出		の他	起債	一般財源		考		
平成28	 B年度			7, 918		1, 97		入)		1, 980				
活動	百日	出上	 年度	26	<u> </u> 6(実績)	27(写	巨(書)	20	3(実績)	29		30		
		単位		20	八天限)	∠ / \ J	と 不良 /	20	(天限)	29		30		
療養介護 箆	逐療給付		実績	10名	8, 301千円	10名8.2	247千円	10名	7. 907千円					
費			達成率		,				,					
事業の対象 (だれに)	医療的ケ	アを必	要とする	障が	いがあり、	常に介	·護を必	要と	する人					
	医療型入 付し、経済				能訓練、療 るため。	§養上の	管理、	看護	、医療ケ	ア、介護に	こかかる費	用を給		
事業の 実施状況	療養介護医療給付費 対象者 10名 給付費 7,907,629円													
成果と 課題	(成果) 利用者(的な負担 [:]				去、あるし	いは機能	回復の	ため						
評価項目	必要性	妥当'	性 公	平性	有効性	効率性	先馬 上	沤性 訓性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事: 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0		
					1				有効性	目標数値は達成	だできたか。	5, 3, 1, 0		
評価点	10	10)	3	5	3	-	1	効率性	コスト・人員効]率はどうか。	5, 3, 1, 0		
	. •	'		-				-	先駆性・独創性	他の見本となり	えるか。	5, 3, 1, 0		
	評価点 計 40点満点		,	32	判定基準	D:規模約	宿小、終	期設定	維持 C∶改 ≧、委託の検					
					担当課に	よる判	定と理	由						
	法律に基 [.] 要な制度 [.]		事業であ	5り、1	医療ケアか	が必要な	重度の	障が	いがあるタ	対象者やそ	その家族に	対し必		

1 事業の成果及び評価 事業番号 574 事業名 いきいき健康センター運営費 事業区分 □新規 ■継続 担 当 課 福祉あんしん課 担当係 高齢福祉係															
事業番号					いきし	ハき					事業区分	□新規	1	■継続	
予算区分	款	X.		民生		- 安石	項	1 社会				12	いきいき健康	センター運営費	
年	슡		最 予算	終	決算	- 谼	国庫	事業費財	7-1	<u>訳</u> D他	(千円)		佶	考	
	汉		千(千		(千)	円)	支出金	県支出金		入)	起債	一般財源	VF	77	
平成2	8年度	:	· ·	403		291	XII II		· ix	<i>,</i> , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		291			
活動	項目		単位	年	度	26	(実績)	27(実統	責)	28	3(実績)	29		30	
いきいき仮ター利用ノ		ン	人	実	標 !績 或率	1	1, 188	748			990				
事業の対象(だれに)	高齢	者													
事業の目的 (なんのた めに)	高齢	者のか	介護予	防、	生きた	パしい	括動支援 <i>σ</i>)拠点とし	てい	きい	き健康セン	ンターを選	営する。		
事業の 実施状況	0	高齢者の介護予防、生きがい活動として下記のとおり利用がありました。													
成果と 課題	【課	民生 の介 題】 高齢	児童領護予修 番の介	委員協力を表する。	協議会 いきが 予防・:	活動 い活	、介護予原動の拠点の 動の拠点の がい活動	防教室、町 となりまし 支援として	ンた。 に無料	斗で旅	≣設を提供 5ると思わ		すが、今行	後は	
評価項目	必要	更性	妥当	当性	公平	性	有効性	効率性		区性 創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 ないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0	
評価点	7	7	(3)	3	3		3	3	1	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
	評価点 40点				20	0	判定基準	D:規模縮小	`、終	期設定		善・効率化し 討 E∶休止		託の検討	
							担当課に	よる判定	と埋E	<u> </u>					
В	処分f	制限其	期間ま	では	:現状で	を維持	寺していく	(必要があ	りま	す。					

	成果及び					, , 11,			I — 1112 — 23			_ 165 t-L	
事業番号担 当課	1240	事業名	5 臨時 ³	福祉和	給付金給付	寸事業 生活支援	TT.		事業区分	□新規	見 I	■継続	
予算区分		しん _味 3 民	- 牛 費		<u>担ヨ除</u> 項		欣 福祉뤃	\$		13	臨時福祉給付金	給付事業	
1 7 E 71	491	最終		額		事業費財			(千円)	1 10		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
年	变	予算額 (千円		円)	国 庫 支出金	県支出金	その(収)		起債	一般財源	備	考	
平成28	3年度	156, 6	70 89	, 377	89, 377						H29繰越額(60,992千円	
 平成28年度	(明許)	78, 6	12 72	. 349	72, 349								
活動		単位	年度	26	(実績)	27(実績	<u>(</u>	28	3(実績)	29		30	
————— 臨時福祉約			目標	4	4, 032	4, 250			4, 008				
定者数	113 亚火	ᅵ시	実績		3, 786	3, 362			3, 377				
— IFA — — I		7	達成率 目標	,	93.9%	79. 1% -)		84. 3% 2, 478				
高齢者向け 決定者数	「給付金	人	実績		-	-			2, 350				
	左公立	3	達成率		-	_			94. 8%				
障害・遺族 給者向け約			目標 実績		_				98 93				
定者数	111 75 //		達成率		-	-			94. 9%				
	住民税()												
(だれに)	ただし、1	王民税	(均等割)	が言	果棁されて	こいる者の	扶養業	見族	等・生活の	呆護の被係	₭護者を除	₹< 。	
事業の 実施状況	高齢障害 【成果】	福祉給付 者向け終 ・遺族な 報、ホー	寸金〔支 合付金〔 年金受給 -ムペー	給支者 ジ	3,000円〕 額30,000 け給付金	対象者4, 円〕対象者 〔支給額1 行ない、対	\$2, 478 5, 000	8人	中支給決员 対象者98	E者2, 350. 人中支給;	決定者93.	.	
成果と課題	N = 14	FF 11-1-1		7. 444		*** **** ***			必要性	住民ニーズ、事		10, 7, 3, 0	
評価項目	必要性	妥当性	E 公平	华性	有効性	効率性	独創		妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは	ないか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0	
評価点	7	10	()	0	0	0		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員数 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
	評価点 計40点満点		1	7	判定基準		ヽ、終期	設定	維持 C∶改 ≧、委託の検			氏の検討	
ı					担当課に	よる判定	と埋由						
D													

1 事業 (事業番号	<mark>0成果及び</mark> 582	評価 事業	名 !	特別児童:	扶養手当习	5給事業			事業区分	□新規	<u> </u>	■継続
ずれ留う 担 当 課				, , ,,,,,, <u>, , , , , , , , , , , , , ,</u>		障がい福	补係		F 不 产 //	<u> </u>	,,	— 11± 1176
予算区分	款		民生費		項	2 児童		費	F	1	児童福祉	総務費
	.,,,		終	、 決算額		事業費財			(千円)	'	, , , , , , , ,	
年	度	予算 (千P	額	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その(収))他	起債	一般財源	備	考
平成2	8年度		70	70	69					1		
活動	 項目	単位	年月	变 26	(実績)	27(実績	責)	28	(実績)	29		30
寺別児童技 支給事業	夫養手当		目 実 達成	漬 5	58千円	67千円	3	7	0千円			
事業の対象 (だれに)	20歳未満の	の精神	又は!	身体に障が	がいを有す	ける児童の	保護	者				
事業の目的 (なんのた めに)	対象児童(きを円滑)				ために支糸	合される特	別児』	童扶	養手当のほ	申請窓口と	こして、事	務手続
事業の 実施状況	特別児童: (内訳)	消耗	品費	給事業 7 (ファイ) 切手等)	ル等) 5	7, 000円 3, 000円						
成果と 課題												
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有効性	効率性	先駆 独創		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 10, 7, 3, 5, 3, 1, 0
									有効性	目標数値は達成	できたか。	5, 3, 1, 0
評価点	10	10)	3	5	3	1		効率性	コスト・人員効	率はどうか。	5, 3, 1, 0
	. •	'`		•			•		先駆性・独創性	他の見本となり	えるか。	5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			32	判定基準		ヽ、終其	胡設定	維持 C∶改 ☑、委託の検	善・効率化 討 E∶休止	し継続、委詞 二、廃止	ı
					担当課に	よる判定	と理由	3				
В	法律に基	づいた	事業	であるたと	の現状維持	きだと考え	ます。	·				

1 事業の成果及び評価

	の成果及び				I	- alle				_	
事業番号	1185	事業名	1 児童打	夫養-	手当支給事		I -r	事業区分	□新規	見	■継続
担当課			+			生活支援				旧车	ᅙᆀᄵᅏᆂ
予算区分	款	3 民		安石	項	2 児童			目 1	児里1	福祉総務費
年	度	最 終 予算額 (千円)	[国庫支出金	事業費財県支出金	源内訳 その他 (収入)	起債	一般財源		備考
平成2	8年度	80, 8		694			(10 40 47		53, 789		
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	責)	28(実績)	29		30
設定なし		;	目標 実績 達成率					- - -			
事業の対象(だれに)	父母の離り	婚等によ	り父又は	は母と	と生計を同	じくして	いないり	見童を監護	してる父又	スは母	
		家庭(ひ	とり親家	(庭							童を養育さ 成長を願っ
事業の 実施状況	○対象者 全部支持 ○支給月 ○現況届	給 85人 : 4, 8, 12	、一部艺			第2子加算	75人、	第3子加算	25人		
成果題	した。 ・児童扶 制度を周 【課題】	養手当 養手当 知しま 児童扶	の新規 ^印 現況届達 現況届達 した。 養手当 <i>0</i>	申請、 送付日 ひ新規	、廃止手 時に、ひ 規申請、	とり親家	庭への	各種助成制	制度パンプ	アレッ	を徹底しま トを同封し 票の確認と
評価項目	必要性	妥当性	公平	性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事: 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能ないか。	性は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	10	1		0	0	0	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどう	, , ,
	評価点 計 40点満点		18	В	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		犬維持 C∶改 定、委託の検			委託の検討
					担当課に	よる判定の	と理由				
В	ひとり親る			ĒŁΕ	自立を援助	かし、児童	の健やが	いな成長を	促進するた	- とめ事	業を継続す

8 - 19

	の成果及び										
事業番号	92	事業名	入学支原				事	事業区分	□新規	Į I	■継続
担当課				担当係	生活支援						
予算区分	款	3 民生		項	2 児童				4	母子福祉	費
		最 終	決算額	į	事業費財	源内部	5 ((千円)			
年	度	予算額		国庫	県支出金	その何		起債	一般財源	備	考
		(千円)	(千円)	支出金	未又出业	(収入	()	尼良	川又共门川ホ		
ਹੁਸ਼ c lt 0	0左座	0.5	0 01	- 1					250		
平成2	0平及	25	0 20	50					250		
活動	項目	単位	手度	26(実績)	27(実績	青)	28 (実績)	29		30
			目標	12 3 12 11			•				
入学支度st	文稿人		実績		18		2	25			
数		達	成率								
事業の対象	小学校・「	中学校にん	入学するリ	記童を養育し	している配	偶者の)いな	い者(仏	旦し生活保	護受給者	及び住
(だれに)	民税におり	いて非課	党のもの)								
事業の目的											
	母子父子	世帯の経済	斉的自立と	: 生活の安定	定を図る。						
めに)											
	上記計争。	老1~5+1	7 学士 🛚	度金(児童-	_ 1 !- へき) 10 0	ንሰለ ጦ	た士仏	士 +-		
	工記刈家· 平成28年			文立 (冗里	人にフさ) IU, C	JUUM	で又和し	しました。		
	十八八八	z ∠00, (יטטן								
事業の											
実施状況											
	【成果】										
		中学校/	こ入学する	る児童を養育	育している	配偶者	ずのい	ない者	(生活保護	及び住民	税を納
				し、ひとり新							
	で支度金						_				
>											
成果と											
課題											
5x /= -z =	N == L1	and the lat	A - 12	4-4-6	4) 4- to	先駆性	-	要性	住民ニーズ、事業		10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	独創性	サージ	当性 ·平性	行政必須か、委 受益者の偏りは		10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
		. =	+ -				Д	効性	安益者の偏りは 目標数値は達成		5, 3, 1, 0
評価点	7	10	1 0	3	3	0		率性	コスト・人員効		5, 3, 1, 0
			——						他の見本となり	えるか。	5, 3, 1, 0
	評価点…計		23	判定基準	A:事業拡充		見状維持		善・効率化し		モの検討
(40点満点)	1 20	刊化基华	D:規模縮小	ヽ、終期	設定、	委託の検	討 E∶休止	、廃止	
				担当課に	よる判定	と理由					
	入学時に「	ま多額の	各金が必3	更であり、で	アトリ親多	庭の経	各洛的	支援に集	とがること	から継続	するこ
В	とが必要			~ ~ W 7 ~ (」 こうれる	・水二 マノ 小土	- 1⁄1 H.)	人」及にき	™ .0 _ C	19 つきを	, a C
	こり必要	ニったみ	0								

	の成果及び								- ×111×					
事業番号	1141	事業名	母子	福祉		I.i.— I I—			事業区分	□新規	見	■継続		
担当課			+ 建			生活支援		#			ロフたい	古典		
予算区分	款	3 民		左 克舌	項	2 児童			-	∄ 4	母于 福仙	- 争質		
年	ri	最 終 予算額		早街	国庫	事業費財	源内 その		(千円)		佶	去		
 -/	又	(千円)		円)	支出金	県支出金	(収		起債	一般財源	VF	∄ 7 7		
平成28	8年度	6, 56	64 6	, 561		1, 091				1, 712	母子福祉事費 備考 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30			
活動	項目		年度	26	(実績)	27(実績	責)	28	(実績)	29		30		
高等職業訓 給付金	∥練促進	人	目標 実績		<u> </u>				2					
母子生活支	援施設		を成率 目標 実績		<u>—</u> — 3				<u>–</u> – 1					
措置委託		這	E成率		_	_			_					
事業の対象(だれに)	母子世帯	及び父子	世帯											
	母子家庭》 的とする。		家庭の	経済的	的自立を図	図ること、	また	就労	支援および	び生活支援	爰を行うこ	ことを目		
事業の 実施状況	□ ○高等職業訓練促進給付金 2件 2,100千円 就職の際に有利で生活の安定に資する資格の取得を促進するため、1年以上養成機関で修業する場合、給付金を支給しました。 □ ○母子生活支援施設措置委託料 1件 4,441千円 支援が必要な母子等に対し、母子生活支援施設で保護するとともに自立の促進のための生活													
		必要な母	子等に	対し、	母子生活			護す	るとともロ	こ自立の仮	建進のため	りの生活		
成果と 課題	児行い 【課題】 ・ 看護 を 〇母子生	師の資格 扶養手当 ました。 師の資格 重に行う	を目指 現況届 は負担 必要が	し通があり	に「ひと きく中途 [・] ます。	り親家庭の	しお	9]	を同封し	、事業の	割知を			
	H29. 【課題】 · 措置	3月末で	自立し、)町負担	退剂	斤となりま	生活支援が こした。 、施設で <i>の</i>	自立	に向]けた母子	への支援し		110 7 2 7		
評価項目	必要性	妥当性	公立	严性	有効性	効率性	先馬 独倉	11 11/4	必要性 妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 ないか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0		
評価点	7	7			3	3	()	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
	評価点 計 40点満点		2	1	判定基準					善・効率化↓ 討 E∶休止		託の検討		
					担当課に	よる判定。	と 理E							
В		生活支援	施設措	置委	託は必要な	資格取得に ¢支援を高								

	成果及び							_	
事業番号	1140	事業名	障がい	児 <mark>通</mark> 所給付署	事業		事業区分	□新規	■継続
担当課		しん課		担当係	障がい福	祉係			
予算区分	款	3 民生	費	項	2 児童	民生費	E	5 児	童措置費
_		最 終	決算額	Į.	事業費財	源内訳	(千円)		
年月	芰	予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考
平成28	3年度	6, 296	6, 0	09 3, 431	1, 715			863	
活動:	項目	単位	F度	26(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29	30
障がい児通	际经什		標						
牌がい元題 費	ュアル ホロ ソソ	写	€績	7,621千円	5, 428千	円 5,	962千円		
		達	成率						
事業の対象 (だれに)	身体・知ら	的・精神に	こ障がいく	のある児童、	発達障が	い及び難	養病をもつ!	見童	
	集団生活へ い、日常					活能力向]に必要な詞	訓練等の専門	引的支援を行
事業の 実施状況	○障がい! (内訳)	・児童発 ・医療型 ・放課後 ・保育所	達支援 児童発達 デイサー 等訪問支	支援 2人 ゼス 6人	1, 812, 65 110, 59 3, 287, 78 37, 47	6円 2円 2円 6円			
成果と 課題	訓練、生活 (課題) 子ども(舌能力向」 の通所サ-	このため! -ビスをタ	こ必要な訓練	東を行いま 賃者も多い	した。			世学療法・機能
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の 行政必須か、委託の 受益者の偏りはない	O可能性は。 10, 7, 3, 0 かか。 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	3	5	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成でき コスト・人員効率は 他の見本となりえる	どうか。 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		34	判定基準	D:規模縮小	、終期設2		善・効率化し総 討 E∶休止、∫	^{迷続、委託の検討} 廃止
				担当課に	よる判定	と理由			
В								ことで今後の 行う必要が <i>あ</i>)発達にも大き らります。

1 事業 の 事業番号	<mark>)成果及び</mark> 1132	学 事業名												
	<u></u> 福祉あん		1-70	不 (支)	担当係	生活支援	系	尹木位7.		. № 小座 小沙U				
予算区分	款	3 民生	<u></u> 上費		項		広 保護費		目 1 :	生活保護総務費				
		最 終	決算	算額		事業費財		(千円)						
年	度	予算額 (千円)	(千	円)	国 庫 支出金	県支出金	その他(収入)	起債	一般財源	備考				
平成28	3年度	2, 32		, 159		507	(,		1, 306					
活動	項目		年度	26	(実績)	27(実績	(1)	28(実績)	29	30				
L >~ /□ =#+ 1	7 = de Met		目標			40		0.4						
主活保護相	自談致		実績 成率		41	43		34						
			目標											
生活保護申	⋾請数		実績		14	20		16						
			成率 目標											
レセプト点	検件数		口惊 実績		2966	2942		3063						
		達	成率											
	①事業の成	は果を記載	する。(2)活動	項目の結り	果を踏まえ ^っ	て課題を	記載する。						
事業の対象 (だれに)	被保護者													
1 - 1 - 7	日本国憲法第25条に規定する理念に基づき、国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困 窮の程度に応じ必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長 することを目的とする。													
事業の目的	窮の程度	に応じ必	要な保	-										
(なんのた めに)	すること	を目的と [*]	する。											
·	9 ることを目的と 9 る。													
● ○嘱託医審査(医科256件・歯科0件・精神21件) ○レセプト点検(毎月1回、ニチイ学館に委託)														
						に委託)								
	〇生活保					亭止4件・原	▼11-20仕							
事業の 実施状況	〇中明文:	生计数10	T \ 1711	<i>></i> □ <i>/</i> \\ <i>/</i>	יידודי וי	r-ш-т-г-	£ILZVIT							
夫 肔仏沈														
	【成果】													
									た実を行いる	ました。				
		ト点検を	毎月実	施し、	医療費の)適正な執	行に留意	意しました	0					
	【課題】	のねらめ	スね鉄	1 – 5 1 1	たでキスト	- み 知談	支 控目	计公子语	昌レの浦堆	が必要です。				
									いく必要が					
										必要がありま				
中田 1.	す。													
成果と 課題	・必要な	者には保	建指導	• 栄養	養指導を行	うい医療費	の抑制に	こ努めます	0					
HALL														
		ı			I			心而糾	住民=ブ ==**	cの必要性(+				
評価項目	必要性	妥当性	公立	平性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性	住民ニーズ、事業行政必須か、委託					
	!						独創性	公平性	受益者の偏りはな	ないか。 5, 3, 1, (
評価点	7	10	-	1	0	3	1	有効性 効率性	目標数値は達成で	率はどうか。 5, 3, 1, (
				-			•	先駆性・独創性						
	評価点 計 40点満点		2	2	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小			女善・効率化し 負討 Ε∶休止.	ノ継続、委託の検討 ・ 廃止				
		. /			担当課に	よる判定		~ × × 10 × 71:	. н. — . к. т.	. ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
						て国会で	も度々耳	反り上げら	れており、	重要施策として				
ט	継続して	取り組む	必要が	ありる	ます。									

	の成果及び	評価	<i>17</i> 0 L		~		14120		- 7117			
事業番号		事業		生活保護		1,,			事業区分	□新規	見	■継続
担当課				B.	担当係 項	生活支援		3			 上江井 I	h 弗
予算区分	示人			· 決算額	块	3 生活 事業費財			 (千円)	2	生活扶	列 頁
年	度	 な 者 憲度と 助助助助助所立 】条】者ず 第四 は	額	(千円)	国庫支出金	県支出金	ポドリア その・ (収入	他	起債	一般財源	1	備考
平成2	8年度	249,	867	228, 716	170, 308	3, 800	(668		53, 940		
活動	項目	単位	年月		6(実績)	27(実績	責)	28	(実績)	29		30
生活保護受 年度末件数			目標 実統 達成	責 1124	牛、148人	113件、1	53人 1	08化	‡、139人			
事業の対象(だれに)	被保護者						•				•	
事業の目的 (なんのた めに)	窮の程度に	に応じ を目的	必要な とする	な保護を る。	行い、その)最低限度	の生活	ぎを	保障すると	とともに、	その自	、その困 立を助長
事業の 実施状況	生医住介教生出葬施就扶扶扶扶扶扶扶扶扶扶扶 斯助助助助助助助所立	145, 4, 11,	, 113, 179, , 571, 861, 537, 659, , 885,	207円(961円(301円(400円(248円(0円(932円(408円(病家介養技出葬務院賃護務能産式護務能産式ににいる。いいのでは、いいのでは	要な費用) 人所者への	る単用用就 生活 生活	9)理教教高 助	費用) 送費など) 材費、給1等学校就会 、事務費、	食費、学級 学に必要な 施設管理	發費など ☆学用品 閏費))
成果と 課題	【課題】 高齢者、	、とり; 、扶養	わけ 義務す	拖設入所 [。] 者(子、.	者(ケアノ	ヽウス、グ	ルーコ	プホ·	一 ム)がst	∓金だけて	がは最低	生活を維
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有効性	効率性	先駆' 独創'	₩	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は ないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	10)	1	0	3	1		有効性 効率性	目標数値は達成 コスト・人員効		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	'			•					先駆性・独創性	他の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			22	判定基準		、終期		維持 C∶改 ∴委託の検			き託の検討 ニュー
					担当課に	よる判定	と理由					
В	生活困窮 ³ 継続して!					,て国会で	も度々	双取	り上げられ	れており、	重要施	策として

8 - 24

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業 0 事業 番号	<mark>0成果及び</mark> 1249	評価 事業名		日言火士	支援事業				事業区分	□新規	 B	■継続		
担当課				日砂ス		生活支援	区		尹未凸刀	니치시	π	■ 市区市党		
予算区分	款	3 民生	費		_ <u>坦当际_</u> 項	4 生活		者白	立支!	1	生活	困窮者自立支援費		
1 1 1 1 1 1	491	最終	· <u>···</u> 決算	額		事業費財				- '				
年	度	予算額 (千円)	(千円		国 庫 支出金	県支出金	<i>その</i>)他	起債	一般財源		備考		
平成2	8年度	12, 851	12,	720			, , ,			2, 339				
活動	項目		度	26	(実績)	27(実統	責)	28	(実績)	29		30		
相談件数		人	標質		_	39			19					
事業の対象(だれに)	生活困窮		成率											
	困窮者自:	立相談支援	選事業の	実施	拖、生活团	国窮者住居	確保	給付	金の支給、	その他生	E活团	自治体は生活 国窮者に対す		
事業の 実施状況	【必須事業】 ・自立相談支援事業 相談件数19件、生活保護に繋いだ件数1件、プラン作成件数7件、緊急小口資金貸付4件 ・住宅確保給付金 0件 ・被保護者就労支援事業 実支援者数2人、延支援回数40回 【任意事業】 ・就労準備支援事業 実支援者数2人、延支援回数20回 ・被保護者就労準備支援事業 実支援者数2人、延支援回数7回 ・診療報酬明細書点検等の充実 委託によるレセプト点検の実施12回 ・多機関の協働による包括的相談支援体制構築事業 (琴浦町社会福祉協議会に委託) ことうらあんしん相談支援センターを設置し、単独の相談機関では十分に対応できない複合的な課題を抱える者等に対し、多機関の協力を得て総合的な相談に応じ、包括的な支援システムを構築しました。ケース会議 3件、フードサポート事業 3件													
成果と課題	【・を【・・て 2【・ロ・町【・・成事支課困平生 多成個一担づ課町実果業援題難成活 機果別チ当く題内態関、事す者り】の調のし、	中ま 例年窮 hk 例る会・ 生査核し が度者 働 を体議シ 活かとた 増はの μ 通制にス 困らな。 え相把 に しが地テ 窮明 よ でき損 よ できり しゅう	う こめと る こきばっ ひって き件と 包 関備のづ 状に相 て数早 括 係で民く 態におか期 活 機き生り をな	らが用 的 幾年三月 とよいり減対 村 関ま児の 把ついる しょう 扱た	りた。 談 がっきき 屋と 関しの 談 相た委っ す問	見 c 整 制 携 祉な 実 の関え 築	、(く 僕 と にた をため	門務と 家課が そ し 必ボ	に、必 れ て 要う おま、 かい	言が必要でいる 事門 と で 、 ます。	です。 資会等 つって で 心 し	弱からの自立 (子) と連携し (子) 子 マ 春 に 必 要		
評価項目	必要性	妥当性	公平	性	有効性	効率性	先馴 独倉		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能	能性は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0		
評価点	7	7	1		0	3	3	}	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はど	うか。 5, 3, 1, 0		
	評価点 計 40点満点		21		判定基準					善・効率化 討 E∶休止		記、委託の検討 止		
					担当課に	よる判定。	と理日	a						
В						舌困窮者の 狙む必要が			:全体の課題	匪として国∶	会でも	も度々取り上げ		

1 事業の成果及び評価

1 事業 の 事業番号	<mark>)成果及び</mark> 1250	評価 事業	<i>₽ \\</i>	主宅確保約	<u>۸</u>			事業区分	□新規	8	■継続
担当課			10 12	工七唯体		生活支援	区	尹未凸刀	니치스	π	本本 特に
予算区分	款		民生費	}	_ <u>坦当床_</u> 項		<u>床</u> 困窮者自3	7支摇 [1	生活困窮	各白立支持
, , , , , ,	491			決算額	-74	事業費財		(千円)		1 10 10 30	111/
年	度	予算	額	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備	i考
平成28	8年度		57	0					0		
活動	項目	単位	年度	麦 26	(実績)	27(実績	き) 2	8(実績)	29		30
主宅確保約数	合付金件	件	目標 実績 達成	責		1 0 0.0%		1 0 0.0%			
事業の対象 (だれに)	生活困窮	者									
	困窮者自:	立相談	支援事	事業の実施	拖、生活团	國窮者住居	確保給付	れを受け福 金の支給、 番の自立の	、その他生	E活困窮者	
		ができ	るよう	有限で家		ιの高い生 質を支給し		fに対し、 f	安定的に京	尤職活動 を	
成果と課題	【課題】 · 他市町	村で住り	居確保	朶給付金 0		ごきないケ		.居物件が , との連携、			
評価項目	必要性	妥当'	性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 10, 7, 3, 5, 3, 1,
評価点	7	10)	1	0	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	できたか。 率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			22	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		維持 C∶改 定、委託の検	善効率化	し継続、委	
					担当課に	よる判定の	と理由				
						生活困窮者の り組む必要?		国民全体の記 け。	果題として	国会でも度	を取り」

8-26

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書 事業の成果及び評価 介護保険特別会計 一般管理(計画策定委員会) 事業番号 事業名 事業区分 □新規 ■継続 505 担 当 課福祉あんしん課 担当係 高齢福祉係 予算区分 総務費 4 計画策定委員会費 項 目 計画策定委員会費 款 1 1 決算額 事業費財源内訳 (千円) 終 最 年度 予算額 備考 国庫 その他 県支出金 起債 -般財源 (千円) (千円) 支出金 (収入) 23 22 22 町繰入22千円 平成28年度 活動項目 単位 年度 26(実績) 27(実績) 28(実績) 29 30 目標 計画策定委員会 実績 4 100% 100% 100% 達成率 事業の対象 事業計画策定委員 (だれに) 事業の目的 (なんのた 第6期介護保険事業計画の検証を行い、第7期計画策定に活かす。 めに) 平成29年3月3日(金)に委員会を開催しました。 委員 16名出席 事業の 実施状況 [成果] 第6期介護保険事業計画で掲げた目標と事業実績を報告し、7期計画策定に向けての 意見交換等をしました。 〔課題〕 第7期介護保険事業計画策定に活かすため、介護、医療連携はもとより、障がい者計画、 地域福祉計画などとの整合性を確認しながら進めていきます。 成果と 課題 住民ニーズ、事業の必要性は。 10. 7. 3. 0 必要性 先駆性 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 評価項目 行政必須か、委託の可能性は。 妥当性 10. 7. 3. 0 独創性 受益者の偏りはないか。 公平性 5. 3. 1. 0 有効性 目標数値は達成できたか 5, 3, 1, 0 3 5 3 3 10 10 評価点 効率性 コスト・人員効率はどうか 5, 3, 1, 0 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 評価点 計 A:事業拡充 B:現状維持 C∶改善・効率化し継続、委託の検討 34 判定基準 (40点満点) D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止

担当課による判定と理由

В

より良い計画策定のため、委員に関係機関、関係者を委嘱し計画の方向性など的確なアドバイ ス等をいただく委員会です。

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書 事業の成果及び評価 介護保険特別会計 一般管理(包括支援センター運営協議事業区分 事業番号 事業名 □新規 ■継続 812 担 当 課福祉あんしん課 担当係 高齢福祉係 包括支援センタ 包括支援センター 予算区分 款 総務費 項 目 運営協議会費 運営協議会費 事業費財源内訳 決算額 (千円) 最 終 年度 予算額 備考 国庫 その他 県支出金 起債 -般財源 (千円) (千円) (収入) 支出金 平成28年度 17 12 12 町繰入12千円 活動項目 26(実績) 27(実績) 29 30 単位 年度 28 (実績 目標 運営協議会開催 実績 達成率 100% 100% 100% 事業の対象 協議会委員、運営委員会 (だれに) 1 包括支援センター運営協議会 地域包括ケアの基盤整備や地域の関係者間のネットワーク構築を行うなど、 地域包括支援センターの運営や活動を支援し、事業の適性運営を資する。 事業の目的 2 地域密着型サービス運営委員会 (なんのた こと、サービス地域密着型サービスの指定に関すること、指定基準及び介護報酬 めに) の設定に関するの質の確保、運営評価等に関して協議し、事業運営へ反映させる。 平成29年3月3日 (金) 委員会を開催しました。 事業の 実施状況 〔成果〕 包括支援センター運営協議会 地域包括支援センターの運営実績等について報告し、委員に指摘事項などを受けました。 2 地域密着型サービス運営委員会 新規指定事業所はなかったが、地域密着型サービス事業所の運営報告等を行いました。 〔課題〕 事業所の適正な運営ができるよう必要に応じて開催します。 成果と 課題 住民ニーズ、事業の必要性は。 必要性 先駆性 評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 10, 7, 3, 0 行政必須か、委託の可能性は。 妥当性 独創性 公平性 受益者の偏りはないか。 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 有効性 目標数値は達成できたか 3 5 5 10 10 評価点 効率性 コスト・人員効率はどうか。 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 評価点 計 34 判定基準 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止 (40点満点) 担当課による判定と理由

包括支援センター等の適正な運営に資するため必要な協議会です。

В

	成果及び									特別会計	
事業番号	506	事業名	給付事		介護)			事業区分	□新規	現	■継続
担当課					担当係	高齢福祉					
予算区分	款		険給付費		項		サービス等		1	介護サー	ごス等諸費
-	. .	最終				事業費財		(千円)		,,,	. ++
年月	芟	予算額			国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備	考
		(千円)	(千円	4)	支出金		(収入)	,.	10.200701110		
平成28	3年度	1, 804, 4	23 1, 741,	978	319, 311	246, 764	1, 175, 903			町繰入金2	217, 722千
		*** ***	<u> </u>	00/5	-	07/=	+\ 0/		00	円	00
活動」	負目	単位	年度		実績)	27(実約		3(実績)	29	40	30
居宅介護サ	ービス	千円	見込 実績		, 880 , 292	938, 71 917, 22	0 9	11, 647 68, 375	926, 4	40	
費			全成率		. 1%	97. 7%		95. 3%			
		,	見込		, 000	629, 33		87, 761	620, 00	00	
施設サービ	え費		実績		, 140	592, 73		72, 320			
		ì	達成率		. 3%	94. 29		97. 4%	010 7	00	
地域密着型	サービ	千円	見込 実績		, 000 , 152	290, 83 290, 33		05, 015 01, 283	316, 70	00	
ス費			天 根 達成率		, 132 . 4%	99. 8%		98. 8%			
	①事業の成					<u></u>					
古世の4名											
(だれに)	要介護認知	正百									
事業の目的	A+-		A				/m = 0	<i>- -</i> -			
(なんのた めに)	安介護	認定者が	介護サー	-ヒス	を利用し	した場合の	保険給付	を行う。			
(۱۵)											
	要介	進認定者	が介護サ	ナービ	スを利用	用した場合	に保険給	付(公費	9割 8割)	を行いま	1.+
	271		75 71 112 7		~ C 117	13 0 72 731 11		11 (4)	0111	C 110 0	0720
	〇 介護	サービス	、等諸費	1 74	1 978-	£Щ		○要介護	認定者数	827人	
		ナービス			· <u>·</u> ··································			区分	認定者		
		宝宅サー			86, 472	1 千円		要介護1	166		
		こと を設サー			72, 321			要介護2	203		
事業の	礻	晶祉用具.	購入		1, 218			要介護3	188		
実施状況		住宅改修	養		4, 072			要介護4	152		
	サ	ービス計	一画費		76, 613			要介護5	118	人	
	地垣	密着型サ	ービス	3	301, 282	千円	平成	29年3月ラ	ҟ現在の※	 第1号被保	険者
						<u>_</u>	6,208人	D13.3%			
							*65歳以.	上の介護初	せ保険者		
	〔成果〕										
	要介	護認定者	が利用す	する介	護サー	ビスの給付	すを適正に	こ行いまし	た。		
	〔課題〕										
成果と						会に給付け	内容の審査	を委託し	適正な給	付執行がつ	できる
課題	よう	に職員0)資質の「	句上が	課題で	す。					
				Г		1		沙西地	 ←	**の心悪性は	1070
評価項目	必要性	妥当性	公平	性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性	住民ニーズ、事行政必須か、委	業の必要性は。 き託の可能性は。	10, 7, 3, 0
71 A X H	~ ^ 1	~ 1 1		·-			独創性	公平性	受益者の偏りは	はないか。	5, 3, 1, 0
評価点	10	10	3		5	3	1	有効性 効率性	目標数値は達成		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
コー川川流	10	10				J	I		他の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計		20)],	中生港	A:事業拡充	 B∶現状	推持 C∶改	(善・効率化	し継続、委託	氏の検討
	40点満点		32	_ +	定基準			と、委託の検	討 E∶休山	L、廃止	
				担	当課に	よる判定	と理由				
D	古野老人	<u></u>	ビュゲム	· +e /4 -	+ 7 <i> </i>	ᆸᄼᆄᄱᄔ	心声マム				
D	尚断有の:	小護サー	こ人寺を	: 提供	9 る体制	別の催保は	必要です	0			
В	高齢者の含	介護サー	ビス等を	提供で	する体制	制の確保は	必要です	0			

	の成果及び		/ ~ [- 	T ~ /%/	₩ μ/υ	·711		介護保険		
事業番号	506	事業		給付	丰業	(介護予院				事業区分	□新規	見	■継続
担当課						担当係							
予算区分	款			給付費		項		予防サ			1	介護予防	サービス
			終	決算	額		事業費財			(千円)			L
年		予算		/ T F	п\	国庫	県支出金	その		起債	一般財源	1/1	青考
		(千F	'])	(千F	1)	支出金		(収)	人)				
平成2	8年度	87	, 724	80	313	16, 015	10, 037	54,	261			町繰入金	10, 037 ∓ F
江田	- = -	224 1.L	<u></u>	应	0.0	(中4)	07/ =	ŧ١	00	/由徳	29		30
活動		単位	<u>年</u> 見			(実績) 3,877	27(実約 84,94			(実績) 5, 724	58, 60	0	30
居宅介護力	ナービス	千円				3, 300	82, 60			8, 344	30, 00	0	
費		' ' '	達瓦			99.4%	97. 39			91. 4%			
地域密着型	リ サ ード		見			2, 278	2, 700)		2, 000	3, 600)	
ス費	= 7 L	千円	実			1, 588	0			1, 969			
			達瓦	【半	(69. 7%	0. 0%		,	98. 5%			
事業の対象(だれに)	要支援認定	定者											
(/2./012/													
事業の目的	要支援認定	中老が	↑誰	子(片+	+	ブフた利日	日1 た坦今	の保険	全 ം	付を行う			
めに)	女人]及心	C 11 13.	ソロ支	י נען ינ	, ,	- ハ e イ゙リバ	10 /こ物 ロ	07 IA 15	大小口	נו ביוו אינו)		
		爰認定	者が	介護引	5防+	ナービスを	を利用した	場合に	こ保	険給付(?	公費9割、	8割) を行	うしゝ
	ました。			s	- 44 -44-								
					渚費	80, 313	千円		ĺ		認定者数		
alle		ナービ				給付額	- m			区分	認定者		
事業の 実施状況		宝宅サー				65, 789				要支援1		스 -	
天旭 仏沈		量祉用。 住宅改				2, 457	千円	-		要支援2			1 17 🛧
		<u>任七の</u> ービス				9, 286				29年3月末 8人の3.49		弗 亏傚は	快有
		密着型				1, 970				○人の3. 45 歳以上の介		· *	
	20-9	, Ш / II Т	- /			1, 370	111		UJĄ	成以上())	設似体)	1 11	
	〔成果〕												
		援認定	官者が	·利用·	する	居宅介護·	サービス酮	& 、福	祉用	具購入費	· 貸与、	住宅改修	費、
							密着型サー						
	を適	正に行	ういま	こした。	0								
成果と													
課題	〔課題〕												
							会に給付り	容の	審査	を委託し	適正な給	付執行が	できる
	よう	に職員	の資	質の	句上	が課題で	す。						
	1		ı				1			心 更性	住民ニーズ、事	堂の必要性(+)	1 10 7 2
評価項目	必要性	妥当	i性	公平	性	有効性	効率性	先駆		必要性 妥当性	住民—一人、事 行政必須か、委		10, 7, 3, 0
								独創	土	公平性	受益者の偏りは 目標数値は達成		5, 3, 1, 0
評価点	10	10	0	3		5	3	1		有効性 効率性	日標剱値は達成 コスト・人員効		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
			_					•			他の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計			32	2	判定基準	A:事業拡充			維持 C∶改 弦表託の検			託の検討
	40点満点	,				+D 714 ≅⊞ 1 −				、女託の快	L WI	-、光工	
						担ヨ誄に	よる判定	⊂埋比	1				
В	高齢者の含	介護サ	ービ	ス等を	と提供	共する体制	川の確保は	必要で	です	0			

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書 事業の成果及び評価 介護保険特別会計 事業番号 事業名 給付事業(高額介護サービス等費) 事業区分 □新規 ■継続 506 担 当 課福祉あんしん課 担当係 高齢福祉係 予算区分 2 保険給付費 4 高額介護サービス等 高額介護サービス等 項 目 1 決算額 事業費財源内訳 (千円) 最 終 年度 予算額 備考 国庫 その他 県支出金 起債 -般財源 (千円) (千円) 支出金 (収入) 平成28年度 45, 100 40,658 8, 132 5, 081 27, 445 町繰入金5,081千円 活動項目 単位 年度 26(実績) 27(実績) 28(実績) 29 30 38, 500 見込 38, 856 40, 500 38, 400 高額介護サービス 千円 実績 38, 457 36, 038 35, 756 費 達成率 89.0% 92.9% 99.0% 12, 641 見込 7, 000 6, 600 6,000 高額医療・高額介 千円 実績 10, 553 6,036 4, 902 護サービス費 83.5% 達成率 86.2% 74.3% 事業の対象 介護サービス自己負担額が各所得段階別に定められた一定額を超えた方 (だれに) 介護サービス自己負担額が各所得段階別に定められた一定額を超えた場合に支給し、 事業の目的 利用者負担が過度にならないようにする。 (なんのた めに) 35, 756, 024 円 高額介護サービス費 高額医療・高額介護合算 4, 902, 485 円 事業の 実施状況 [成果] 介護サービス費利用者負担額が高額にならないように、一定額を超えた利用者に

負担軽減ができました。

〔課題〕

成果と 課題

自己負担額が高額にならないように低所得者に配慮した制度であり、今後も 実施します。

						先駆性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性		妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
	5, 3, 1, 0								
評価点 10 10 3 5 3 1 有効性 目標数値は達成できたか。 5 効率性 コスト・人員効率はどうか。 5	5, 3, 1, 0								
	5, 3, 1, 0								
	. •	. •				-	先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
	評価点 計		00		A:事業拡充	E B∶現状	維持 C∵改	善・効率化し継続、委詞	その検討
	40点満点	1	32	判定基準	D:規模縮小				
(4 0 尽闹尽	,	• –		し・別代刊	、 心	E、女司0719	高 亡 你正、廃止	

担当課による判定と理由

B

低所得者に配慮した制度であり、継続して実施が必要です。

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

介護保険特別会計 事業の成果及び評価

	<u> 765</u>		坐力	性中っ	記土	♪誰ヰ	_ L" -	, 生	,		事業区		<u>介護</u>				公 业 女士
事業番号	765	事業		村正人		介護サー					争耒区	刀 `	L]新規	兄		継続
担当課	福祉あん	しん説	k			担当係	高断	福祉		ナ へ・	#				性宁	7 EE-	¥∧:#
予算区分	款			給付費	5.T	項	5		ビス	等費		E		1	特定ノサート		皆介護 等費
<i>j</i>	中	最	終	決算額	_		事業	養財			(千円))				/±± -	t×.
年		予算 (千		(千円		国 庫 支出金	県支	出金	その (収		起債		一般	財源		備	Ħ
平成2	8年度		9, 744			10, 443	8	3, 500		, 057					町繰入	金8,	500千円
活動	項目	単位	年	度	26 (実績)	27	(実績	責)	28	(実績)			29			30
特定入所名		. ,	見	込	65	, 000	6	7, 000	0	6	9, 744		6	9, 50	0		
付定人別で	ョリ 岐	千円	実			, 545		6, 23			7, 979						
			達月			7. 8%		98. 9%)	(97. 5%	_		ΕO			
特定入所都	§支援	千円	見実			50 4		50 7			50 21			50			
サービス		' ' '	達成		8	. 0%		7 14. 0%)	-	42. 0%						
事業の対象(だれに)	介護	認定者				~ 3 段階											
	所得に	応じた	_負担	限度額	まで	自己負担	∃ し、	基準	費用	額と	の差額	を	「特定	三 入瓦	斤者介	護	
事業の目的									-								
(なんのた)		ビス費」として支給し、低所得者の方でも施設利用が困難とならないようにする。															
事業の				サービ			67	, 979,									
実施状況	特定	入所	者支援	サービ	゛ス			21,	070	円							
IF 177 B																	
	(-4-57)																
	〔成果〕 ~ **	: 	3 =r ~	(M) 不 ^	_ #	☆ ¼#'		au	1 #2 15	1 <u>1</u>	7 L\$	<i>I</i> = -	=	± ~ ·	+ 18+	1.8.1	-
						宿泊費に											
						よう、戸のひに										支紐(<u>e</u>
	設定	. U 、	収及符	さで迎え	し/こ首	『分は差額	识しし	ししめ	く不可し	八、其	地蛇冰	.Z	凶り	まし.	に。		
	〔課題〕																
		負扣額	額が高	額にな	こらた	よいように	こ低す	听得老	針(こ酢	l慮 L	た制度	で	あり	今後	も実施	iしま	す。
成果と	"	J-C 1 T	ID	, ₁₁ , , ~ · O	ه. ر,	, , , , , , , ,	- 1201	, 1 1,3 E	- 111	- nex -	, C 11-1X		<i>-,</i>	, ,,			, 0
課題																	
		1			-			-			心事业		A-P-	* *	**・シェッ	F1+ T	10 7 2 2
評価項目	必要性	妥当	当性	公平的	生	有効性	効器	率性	先馬		必要性 妥当性				業の必要性 託の可能		10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0
	~ ^ _	^-	- · -	I					独倉	川生	公平性		受益者 <i>σ</i>	つ偏りは	はないか。		5, 3, 1, 0
評価点	10	1	0	3		5	(3	1		有効性 効率性		コスト・	・人員効	できたか. 率はどう		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	気体上 も						۸ · +	·₩₩₩		IE /L·	先駆性・独					表 子	5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			32		判定基準	D∶規		、終	期設定	維持 C ?、委託 <i>0</i>				し継続、 こ、廃止		の快訶
					ŧ	担当課に	よる	判定。	と理目								
В	低所得者(こ配慮	ました	制度で	あり	、継続し	て実	を 施が だんがん かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ	必要	です	0						
							-										
	<u> </u>																

28 年度 事業成果説明書

	成果及び				~	140000			介護保険	 特別会計	F
事業番号	1178	事業名	通所到		予防事業			事業区分	□新規	見	■継続
担当課			4 + 122 + .			地域包括				1 - 1 - 2 B	上声光串
予算区分	款		支援事		項		予防事業		1 1	一次予以	方事業費
年	变	最 終 予算額 (千円)			国 庫 支出金	事業費財県支出金	源内訳 その他 (収入)	起債	一般財源	ſ	備考
平成28	3年度	3, 68	3,	560	813	407	2, 340)		町繰入4	07千円
活動	項目		年度	26()	実績)	27(実績	5) 2	8(実績)	29		30
ヽ゚ヮ゠゙゚゚゚゚゚ヮ゠゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	参加宝人		目標		60	60		60	60		60
数	J 77-3(7 (実績		58	55		59			
古 类 の 号 色	其木チェ		[成率		. 6% いった?	91.6% ′5以上該≦		98.3% な運動架の	 	があい	心声には
事業の対象 (だれに)						ろび上級=					必安にル
(なんのために) 事業の 実施状況	の自立に [*] 〇パワー 【実施方 [*] 【委 託 [*]	つ リ は い い り り り り た れ れ り れ れ り れ れ り れ り れ り れ り	よう取り 教室 引に1回 外科・開 が (5月名	リ組む。 開始、 期始経外 種経外和	期間は3 外科医院 科医院/	パワーリハ	回で合計	-24回)1ク			迎あり
成果と 課題	・・・・・ 〔・ ま人みのかっかった。 まんみのかっい題月だだが 日ンにではがったが ロン	た家はればけたがけませい。族な相がに行いり身外来へく談実、動いは一体出るの、が実自変いをやか	アン家クトロト宅容 判動人が のした族 うこでが 終かと、 よしト うまの見 アすの課 うまに ラ(り背)を 後時注し なし	ようり、 なっ と も と で で で で で で で で で で で で で で で で で	身ら検い両し 常取機。 が、 身ら検い開た 生り会 良そ 的見でし。 活入を いれか	iられて、 Fる Nの i	平価に 見も 見も り に り に 顔 を	改善が見られた。計が見られたはしたり	ました。 ました。 可きになれ 、何かにま	。本人のたことを挑戦する	
評価項目	必要性	妥当性	公平	性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、多 受益者の偏りに	き託の可能性は はないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	3	3		3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員家 他の見本となり	効率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		20		定基準		、終期設定	維持 C∶改 定、委託の検			託の検討
				担	当課に	よる判定。	と埋由				
С	業務の効薬	率化のた	め、委託	£内容(の検討が	が必要です	0				

8 - 33

か か で 護啓対す 護象容 べ事れAS 果の で まれ で まま で まま で で まま で まま で まま で まま で	最予(単一人)要に地正を教知週圧腔人(参10年) (大) と (大) を (大)	域を負) 89 年目実成 認 たお理。 防「、なら、社は上 働	事算 F 0, 239	担 国支 実 (大) (532 (大)	事	支予源で((((((((((((((((((((((((((((()ととままままままままままままままままままままままままままままままままま	費(大)(大	B 2 - 般財源 - 29 7,300	一次予防事業 備考 町繰入1,144千 30 0 7,350 こ関する知識の まちづくり 頭の体操、
か か で 護啓対す 護象容 べ事れAS 果の で まれ で まま で まま で で まま で まま で まま で まま で	3 最予(単 人 要 に地正を教知週圧腔人(参10 前 算)	冬頁) 91 年目実達 器 けこう うりご繰り 捕針人 ニター・ 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で は で なり で 大 で 大 で し で で はる、 「転れ康」)・ 「人 か	算 F 0,239 G 15	項 国支 実200 1,664% なる介取 閉2、 みき診計 でしまする 、・ク ・・1 医 ・・・ の ・・	1 事 東 1,144 27(実配 4,85) 67%	予源 そ(6)(7)(2)事訳他)(6)(7)(7)事訳他)(7)(7)(7)事訳他)(8)(7)(7)(8)(7)(7)(7)(8)(7)(7)(7)(8)(7)(7)(7)(8)(8)(7)(7)(8)(8)(7)(7)(8)(8)(7)(7)(8)(8)(8)(8)(9)(9)(9)(9)(10)(10)(10)(10)(11)(11)(12)(12)(12)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12)(13)(12)(12)(12) <t< td=""><td>費(大)(大</td><td>一般財源 一般財源 7,300 介援し 介援をて を 支込し シ 海を を を を も を も も も も も も も も も も も も も も</td><td>備考 町繰入1,144寸 30 0 7,350 こ関す。まちづくり 弱の体操、 動の体操、 また。 また。 また。</td></t<>	費(大)(大	一般財源 一般財源 7,300 介援し 介援をて を 支込し シ 海を を を を も を も も も も も も も も も も も も も も	備考 町繰入1,144寸 30 0 7,350 こ関す。まちづくり 弱の体操、 動の体操、 また。 また。 また。
が で が が で で で で で で で で で で で で で	最予(単一・方やる動方忍毎血コル所でを頂表予千1)位一 支に地正を教知週圧腔人(参10前の第四)3 (一一)	冬頁) 91 年目実達 器 けこう うりご繰り 捕針人 ニター・ 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で 大 で は で なり で 大 で 大 で し で で はる、 「転れ康」)・ 「人 か	算 F 0, 239 G 15	国支 2, 312	事	源 マ () () () () () () () () () ()	(千日) (1) (1) (1) (1) (1) (2) (3) (4) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	一般財源 一般財源 7,300 介援し 介援をて を 支込し シ 海を を を を も を も も も も も も も も も も も も も も	備考 町繰入1,144寸 30 0 7,350 こ関す。まちづくり 弱の体操、 動の体操、 また。 また。 また。
か 介 護啓対す 護象容 べ事れAS 果の まの である まの まま で	予(単 人 要 に地正を教知週圧腔人(参10 前算円 1, 位 支 向域し行室症1測体数琴加点 野額円 3 援 けにいう 予回定操】浦者以 に	頃) 91 年目実成 認 たお理。 防「、なら、社は上 働 (度標績率 定 取け解 、は健ど25協6の き 組る、 転れ康 リ・ド人 か	FP)0,23926(0,239でで0,239での0,239での0,239での0,239のの0,2	支(実2001,63264%1,63264%1,63264%1,63201,632 <td>県 支 1,144 27(実総 7,200 4,85% 者 会に、 が お が お が お もにく り回く に の 資認 り回く に の の の の の の の の の の の の の</td> <td>そ収6,783意)2を活に必が操町のつ町のつが操町ごまは大ごま</td> <td>起債 8(実績) 7,250 4,079 56% し成も 実り 会り 1と施</td> <td>一般財源 29 7,300 介援し が接て を を を を を を を を を を を を る た る た る た る た</td> <td>町繰入1,144千 30 0 7,350 こ関する知識の まるまちづくり 頭の体操、 ました。 また。</td>	県 支 1,144 27(実総 7,200 4,85% 者 会に、 が お が お が お もにく り回く に の 資認 り回く に の の の の の の の の の の の の の	そ収6,783意)2を活に必が操町のつ町のつが操町ごまは大ごま	起債 8(実績) 7,250 4,079 56% し成も 実り 会り 1と施	一般財源 29 7,300 介援し が接て を を を を を を を を を を を を る た る た る た る た	町繰入1,144千 30 0 7,350 こ関する知識の まるまちづくり 頭の体操、 ました。 また。
か 介 護啓対す 護象容 べ事れAS 果の まの である まの まま で	単 人 要 に地正を教知週圧腔人(参10 前で) では、 一 では、 このは、 このは、 このは、 このは、 このは、 このは、 このは、 この	年目実成 認 たお理。 防「、なり、社は上 働度標績率 を 組る、 転れ康 リ・デ人 か	26(7)7)4)7)け 実主防予れェ寿ご専るるる	(大200 1,632 1,632 1,64% い すなる 、 ・ ク ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	27(実統 7,200 4,857 67% 高 社 高 社 高 会 高 社 高 会 高 社 高 会 高 社 高 会 高 と も に も り 回 く し い し い し い し い し い し い し い し い し い し	(a)(b)(b)(c)	8 (実績)	7,300 介護を 予接して を を も も も も も も も も も も も も も も も も も	30 7,350 30 7,350 30 7,350 30 30 30 40 50 50 50 50 50 50 50 5
か 介 護啓対す 護象容 べ事れAS 果の加 護 予発す活 予】 参業ば検 〕前	・ けらる動 方忍毎血コル所のを 頂、人 要 に地正を教知週圧腔人(参10 前 支 向域し行 室症1測体数琴加点 野 一 一 、 援 けにいう 予回定操】浦者以 に	 	T 4 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	「 200 「 632	7,200 4,85% 67% 者 の資認 動 社院の もにく り回く に対した は下の がある。 もにく の資認 の資認 の資認 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	集る症のき体が操町のっがない」、がよのき体のきのきのきのきのきはのきはのきのきはのきはのきはのきはのきはのきはのきはのきはのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのきのき<	7,250 4,079 56% C成も に成も タファーファー 1 1 にし と施	7,300 介護を 予接して を を も も も も も も も も も も も も も も も も も	0 7,350 に関する知識の するまたづくり 頭の体操、 ました。 またしました。
介 護啓対す 護象容 べ事れAS 果の	・ けらる動方忍み血コルがった 質要 に地正を教知週圧腔人(参10 前支 向域し行室症1測体数琴加点 野ぼ 援 けにいう 予回定操】浦者以 に	達 まままで まれまで しょうしゃ まれまで リ・ド人 か	世 受 を自予 倒ばチ 大百ご専 る で 施的す 防」ッ 苑と門 音	1.632 64% い すなる 、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	4,857 67% 高が 者 るが 者 会に、 り回く もにく り回く に者 の資認 ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので ので	築る症 のき体 町ごま では、	4,079 56% し成も 大 ク 7 T ま は、 マ 施コ 会り は と施	介護を暮られた。 が接てる。 ないで実検 ないのでは、 ないので	に関する知識の する。また、認 せるまちづくり 頭の体操、 ました。 たしました。
介 護啓対す 護象容 べ事れAS 果の	・ けらる動方忍み血コルがった 質要 に地正を教知週圧腔人(参10 前支 向域し行室症1測体数琴加点 野ぼ 援 けにいう 予回定操】浦者以 に	達 器 けこいう き回ご繰 前首人 二郎 窓 たお理。 防「、なり社は上 働率 を 知ら解 、は健ど25協6の きを 組る、 転れ康 ジ・5人 か	世 受 を自予 日ばま 人 百ぱ け 実主防 予れェ 寿ご専 る	64% な る介取	67% 67% 67% 1	築る症 のき体	56% しか しがも とが ファイト カース・ラル は、ラリース・ラル は、ラルー は、ラルー は、ラルー は、ラース・ラルー は、ラース・ラルー は、ラース・ラルー は、ラース・ラース・ラース・ラース・ラース・ラース・ラース・ラース・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン	支援を 実 を も も も も も も も で い ま を も も も も も も も も も も も も も も も も も も	する。また、認り せるまちづく 頭の体操、 頭の体操、 ました。 !施しました。
護啓対す護象容で事れAS果の下発す活予】 参業ば検 〕前のでは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これをは、これを	・ けらる動 方忍み血コル所のを 関東 に地正を 教知週圧腔人(参10 前支 向域し行 室症1測体数琴加点 野援 けにいう 予回定操】浦者以 に	そ	. 受 を自予 (に bot た	 	る症 のき体 い 部 が操 町 で ま れ い た に り き は り た り た り た り た り た り た り た り た り た り	とうで オーレース・ライン カース・ライン カーター フェー・ファイン ファイ ファイ まり は かんしん こう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	支援を 実 を も も も も も も も で い ま を も も も も も も も も も も も も も も も も も も	する。また、認り せるまちづく 頭の体操、 頭の体操、 ました。 !施しました。
啓対す 護象容 ベ事れAS 果の の の の の の の の の の の の の の	やる動 方忍毎血コル近れを 傾地正を 教知週圧腔人(参10 前域し行 室症1測体数琴加点 野にいう 予回定操】浦者以 に	これの ちょう おきは これ お理。 防「、なり、社は上 働けの さいまま はほど 25協 6の きる、 転れ康 ジ・チ人 か	自予 倒ばチ 人 百 は け 音	かった。 かった。 大 なる	Rice Applies	る症 のき体 い 部 が操 町 で ま れ い た に り き は り た り た り た り た り た り た り た り た り た り	of たっぱい では で で で で で で で で で で で で で で で で で で	支援を 実 を も も も も も も も で い ま を も も も も も も も も も も も も も も も も も も	する。また、認り せるまちづく 頭の体操、 頭の体操、 ました。 !施しました。
象字 ベ事れ体 果のAS 果の	忍事血コロ近れを 知週圧腔人(参10 前症1測体数琴加点 前ででいた。 前ででは、前ででは、前ででは、前ででは、前では、前では、前では、前では、前では、	可「はれ康 「、な 259 が 育社は6 の き か た た た た た た た た た た た た た た た た た た	いばれ」 ・ 人 ・ 人 ・ 月 ・ け る ・ け ・ け ・ け ・ は ・ け ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ も ・ は ・ も ・ は ・ も ・ も ・ も ・ も ・ も ・ も ・ も ・ も	・2週間 ・2週間 ・2、新さい ・いの ・いの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	間に1回「U つくわく琴 リ園)に委 い参加者U 家(評価の	いきがい _. 浦体操、 託、町内 は1年ご。 会)を実	実施 レクリコ 17会場 とにTD に TD	エーション、 易で実施しる AS検査実 した。	ました。 !施しました。
の前頭					草などを取	り入れた	:教室を閉	開催し、生き	きがいと社会参
の参加 予防教	nを拒否 枚室の周	らされる 引知が不	方が多 「十分な						
要性 7				有効性 1	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性	行政必須か、 受益者の偏りは 目標数値は達成	長託の可能性は。10,7はないか。5,3はできたか。5,3
<u>'</u>			<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>			
点 計点流流		1			all the second s				
				判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小 よる判定	ヽ、終期設況	維持 C		し継続、委託の検
/	i 計	3	3	3 3	3 3 1	3 3 1 3	安全 女 当性 公平性 有効性 効率性 独創性	Et 妥当性 公平性 有効性 効率性 光配性 独創性 妥当性 公平性 3 3 1 3 1 3	型性 妥当性 公平性 有効性 効率性 光線性 妥当性 行政必須か、委 独創性 公平性 受益者の偏りに 有効性 日標教値は達成

|総合事業との併用について検討が必要です。

1 事業の	の成果及び	評価	****		,~	140000	1422		介護保険	_ 特別会計	=
事業番号	1180	事業		地域介護	予防活動。			事業区分	□新規	見	■継続
担当課						地域包括					
予算区分	款			支援事業	項		予防事業		∃ 2	一次予防	事業費
			終	決算額		事業費財		(千円)			
年	度	予算	1.	,,	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	l li	構考
		(千)	円)	(千円)	支出金	ベスロ 並	(収入)	AC IX	13X X1 1/1X		
平成2	8年度	2	, 425	2, 022	506	253	1, 263	3		町繰入2	53千円
活動	項目	単位	年		6(実績)	27(実約	責) 2	8(実績)	29		30
			目		70	75		80	85		90
サークル数	\$	団体	実		76	87		89			
			達成	「平	108%	116%		111%			
事業の対象(だれに)	サーク	ル活動	して	いる高齢	者						
事業の目的 (なんのた めに)	及•啓発	や地域	にお	ける自主	的な介護予	予防に資す	る活動の]として、:)育成・支 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	援を実施す	ける。	
事業の 実施状況	また、新7 4月・8月	たなサ	ーク	ルの立ち	上げ支援も	継続して	行ってし	i進支援を います。)支払いを			
成果と 課題	生きがい。 要援護高 〔課題〕 サーク。	活動におおおおおおおおおおおいます。	参加 閉じ は活 にの	すること こもりの 発に行わ	により、お 解消と社会 れているか	S互いの介 会参加や仲 が、参加メ	護予防や間づくり	: 地域住民: ウ支え合い: フにつなが ・ 増やすこ: ウル活動の:	活動を推過 りました。 とに苦労し	進し、	
評価項目	必要性	妥当	1性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は ないか。	5, 3, 1,
評価点	10	10	0	5	5	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			36	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小			善効率化		
					担当課に	よる判定	と理由				
В	身近な地域	或で介	·護予	防を推進	するうえて	•		ぎです。			

			平成	28	年度	事業成果	説明書	兼	評価書	
1	事業0	の成果及び	於評価						介護保険特別	会
事:	業番号	1184	事業名	介護ボ=	ランティア	7事業	車業	区分	口新規	

	の成果及び					T- /K///	/С H)О-) 1			特別会計	
事業番号	1184	事業名	介護	ボラ	ンティア事		-	事業区分	□新規	見	■継続
担当課			나	F 44		高齢福祉		· # [· /a 로 대·	古光曲
予算区分	款		域支援署		項		予防事業		∃ 2	一次予防	事 兼實
年	度	最 終 予算額 (千円)	į		国 庫 支出金	事業費財県支出金	源内訳 その他 (収入)	起債	一般財源	備	考
平成2	8年度	7	03	657	164	128	365	5		町繰入12	8千円
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29		30
介護ボラン 登録者	ノティア	人	目標 実績 達成率		50 33 66. 0%	50 35 70.0%		50 30 60. 0%			
事業の対象 (だれに)	40歳以.	上の町民	でボラ	ンティ	ィア登録さ	された方、	受入介護	事業所			
事業の目的 (なんのた めに)	に、介記	護や医療	が必要を	な状態	態に陥らな	いように	するため)希薄化が)、元気高 介護予防・	齢者を増り	っす活動と	して
	れぞれ介記	護ボラン	ティア 金する	舌動? 制度	を実施した です。	≿際、実施	時間に応	防事業実 じてポイ け入れ事	ント付与し	ン、年度末	
成果と 課題	暮らが 〔課題〕 「本」	しがで りました ンティフ 周知して	きました。 * 登録者 * 登録者	た。 の を 増	また、介 齢化によ やしたい	護事業所 り、登録を	等の地域	することに 或住民との る方が出て	の交流活動	動にも	
評価項目	必要性	妥当性	公平	生性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	7	3	3	5	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員対 他の見本となり	本はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		2	9	判定基準	D:規模縮小	、終期設5	維持 C∶改 定、委託の検			氏の検討
					担当課に	よる判定。	と理由				
С	事業の内? など検討?			。社会	会福祉協諱	養会のボラ	ンティア	'センター	との融合も	や対象範囲	の拡大

1 事業の成里及び証価

	の成果及び	評価								介護保険	特別会計	
事業番号	1304	事業		総合事業					事業区分	■新規	見	□継続
担当課		しん課			担当係	地域包括	支援セ	:ン!	ター			
予算区分	款		地域支	援事業費	項	1 介護	予防事	業:	費	2	一次予	方事業費
			終	決算額		事業費財	源内部	R	(千円)			
年	度	予算			国庫	県支出金	その		起債	一般財源	1	備考
		(千F	円)	(千円)	支出金	示义山亚	(収力	()	心良	川又 只7 //示		
平成28	3年度	1,	786	707	160	80	4	467			町繰入8	0千円
活動	直 日	単位	年月	度 2	6(実績)	27(実績		28	(実績)	29		30
		7 2	自		-	240			960	960		
ちょこっと リ教室	リハヒ	人	実		_	_			228			
リ叙主			達成					2	23. 8%			
短期集中す	接訪問		目			60			120	180		
たがポープ 看護事業	(1/4 201)	人	実			_			0			
			達成	ペート 一					0. 0%			
事業の対象 (だれに)	リハビリ	を希望	する	高齢者								
事業の目的 (なんのた	高齢者のこ	方の運	動機的	能向上を	目的とする	5.						
めに)				— :		- •						
	Oちょこ	っとリ	ハビ	リ教室								
					はくに事業	業委託を行	い、1	クー	-ル3ヶ月[間、週2回	コリハヒ゛リ を	実施
古 * ^	しました。											
事業の 実施状況	9月~1月	までに	2クー	-ル実施、	利用実人	数20人、和	训用延	人数	女438人。			
大心认沉	〇短期集	中支援	訪問:	介護事業								
	利用希	望者、	対象	者がなく	、未実施。							
		, . ,	•	· ·	=0							
	Oちょこ	っとリ	ハビ	リ教室								
	〔成果〕											
	以前よ	り実施	して	いたパワー	リハヒ゛リテーショ	ン事業の利	用が糞	催し :	かった事業	業希望者が	バリハビ	リを
					き、介護				_			
					機能の改善				,			
					導が入るこ				スタッフ(カスキルブ	アップに	
	繋がり			,, H	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			~///			, , , -	
	〔課題〕	0,0,0	O									
		゛リテーシ	ョン事意	業に比べ	、受入れる	T能人数が	小なし	١為	事業拡-	大が凩難で	です。 今:	後
成果と					、又ハイレー があります		J .60	י צייוני	, TAM/	1/2 LIXE \	- / 0 /	·~ `
課題					マシーン台数カ		会話は	ייונם	の数字にっ	なってしま	よう傾向:	が
			_		の検討が必		ムロコ	٠٠٠,	ジが土に	6 J C U d	トノ映門。	,,, ·
	らる。	、刈禾	н J 'Ф-	ひまり合	~) パロスロッル・火	少女にり。						
	〇短期集	山支 採	訪問。	介護 重業								
	〔成果〕	· 人.IQ	, נייו	八以子不								
		施休制	が慗ι	(八 対象	者の受入∤	1.が可能レ	なりす	ΕI	t- <u>.</u>			
	〔課題〕	ניווי ידין בונ	.o ⊥E\	- \ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	1 · · × / · · ·	- 10 C	5 / 6		-0			
		民字介	護士	援事業所	や病院、中	中部圏域の	病院に	:事:	業説明やタ	利用者の紹	7.介依頓	
					保が困難で		/L3 15/P 17		ハトロンレクノバイ	いい ロマンか	山川川八八八	
		U- 7 /J'	· \\13	◇ □ ♥ノ 単生		- / 0						
					Ι.		 先駆 ¹		必要性	住民ニーズ、事	業の必要性は。	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有効性	効率性	独創	l/I	妥当性	行政必須か、委		. 10, 7, 3, 0
					+				公平性 有効性	受益者の偏りは目標数値は達成		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	3		1	3	3	3		効率性	コスト・人員効]率はどうか。	5, 3, 1, 0
	評価点 計					△·車業丗五	x D.I			他の見本となり 善・効率化		<u> 5,3,1,0</u> ミギの検討
	計画点 前 40点満点			23	判定基準					善・効率化 討 E∶休止		てロレジグスです
					担当課に	<u> </u> よる判定。	と理由					
	教室対象	者の受	入れ、	人数を増	やせるよう	う、新たな	委託事	業	所の検討 ²	や受入れな	★制の整	備を行う
/ \	必要があ						. = •			• •	_	· ·

)成果及び	評価							介護保険	特別会計
事業番号	793	事業名	任意	事業				事業区分	口新規	見 ■継続
担当課	福祉あん	しん課			担当係	高齢福祉				
予算区分	款		域支援		項	└ 任意	的支援事 事業費	ŀ	1	任意事業費
年	度	最 終 予算額 (千円)	į 🏻 🗀	算額 円)	国 庫 支出金	事業費財県支出金	·源内訳 その他 (収入)	起債	一般財源	備考
平成28	8年度	1, 30	08 1	, 109	408	204	497			町繰入204千円
活動	項目	単位	年度	26	6(実績)	27(実績	28	3(実績)	29	30
緊急通報装	美置設置	人 	目標 実績 重成率		38	43		23		
事業の対象(だれに)		治医意見	書に尿							要介護者の条件と 印症高齢者自立度
事業の目的 (なんのた めに)	在宅で	介護して	いる介	護者の	の負担軽減	域を図り、	福祉の増	進に寄与 ⁻	することを	を目的にする。
事業の実施状況	の助原 家 〇緊急通 75	宅で要介 或券を交 族介護 報装置設 歳以上 <i>0</i>	護者を 付し支 用品事業 ひとり	介護 す。 結 暮ら	ただし、申 9名 し高齢者(申請月によ	って、助 395, 823F &害時なと	成券の交付 円 ごの緊急時	付枚数が昇	等(48,000円) 異なります。 つ適切な対応を
成果と 課題	〇緊急通導 〔成果〕 高齢者 〔課題〕	介護して 報装置設 が住み慣	いる介 置事業 れた家	護者ので安々		或を図りま らせるよう ます。	支援でき		MR	参の改事がは 110 7 2 0
評価項目	必要性	妥当性	公3	平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	e託の可能性は。 10, 7, 3, 0 はないか。 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	,	3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	か率はどうか。 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		3	0	判定基準		ヽ、終期設定	維持 C∶改 ≧、委託の検		し継続、委託の検討 L、廃止
В	高齢化社会	会である	琴浦町	で安川		とで暮らせ		援の必要性	性は高くな	こります。

	の成果及び				, , ~	, ,,,,,,,	14455 75	— 7117	介護保険		計
事業番号	1181	事業	名 介護	給付		窗正化事業		事業区分	□新規	現	■継続
担当課						高齢福祉	係 的支援事	**			
予算区分	款		地域支援	事業	項		事業費	·*	目 1	任意	事業費
4 -		最		算額	-	事業費財		(千円)			/# */
年	支	予算額 (千円		一円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	į	備考
平成28	3年度		144	144		26	67	7		町繰り	入38千円
活動	項目	単位	年度	26	5(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29		30
	- 1	事業	目標		8	8		8			
ナアプラン	/快	所	実績 達成率		8	8					
事業の対象 (だれに)	第1号・第	2号被任	呆険者、	町内:	介護事業所	f	•		•		
事業の目的 (なんのた めに)		種適正伯	と事業を					っことで、: きを高め、:			化を図る。 護保険料の
事業の 実施状況	じて事業所 〇居宅 成が出来 回)	所への 介護支持 るよう ほ	指導を行 援事業所 助言しま	いま を対 した。	した。 象に、ケア	7プラン点 <header-cell>業所(複</header-cell>	検事業を 数ケアマ		自立支援/ 回、一人	こ向け	、必要に応 たプラン作 ネ:年2
成果と課題	必 作 事 題 ケ	に 宅が 護所 ア	で 支る 出意 出意 と は は かんしゅう はんしゅう はんしゅん はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅん はんしゅう はんしゅん はんしゅう はんしゅん はんしん はんし	斤 美力 座奐 はの をし 直を 短	助言がで、 対象した。 営実 期間での	きました。 ケアプラン 認定調査率 した。	ィ点検事 [≨] ≅アップ、 ∳できなし	認定調査	、自立支 €の事後点 ′マネジャ	援に向の介の資	けたプラン 護 質
評価項目	必要性	妥当怕	生公	平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、引 受益者の偏りに	委託の可能	生は。 10,7,3, 5,3,1,0
評価点	10	10		3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員数 他の見本となり	効率はどう:	
	評価点 計 40点満点		(30	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		は維持 C∶改 定、委託の検			委託の検討
			-		担当課に	よる判定の	と理由				
С	ケアマネ	ジャーの	の資質向	上に	向けては、	短期間で	効果は期	持できず	、今後も糺	繰り返	し継続して

ケアマネジャーの資質向上に向けては、短期間で効果は期待できず、今後も繰り返し継続していく必要があります。

1 事業(の成果及び		. ,,,,			. ~				_ '	介語	隻保険	_ 特別会計	
事業番号	1265			生活支援	・介		ービスの基盤					口新規	見	■継続
担当課							地域包括				<u> </u>			
予算区分	款			支援事業		項	2 包括的				<u>目</u>	6	生活支援・介語	隻予防サービスの
_			終	決算額	頁		事業費財			(千円)				LL.
年			額	/ 	,	国庫	県支出金	その		起債	— A	段財源	[持
		(+	円)	(千円)	支出金	***	(収	人)	,	/3	~,,,,,,,,,		
平成2	8年度	1	, 671	1, 5	14	590	295		629				町繰入29	5千円
活動	項目	単位		度	26	(実績)	27(実統	責)	28	(実績)		29		30
生活支援:	ューディ			標			1			1		1		1
エース版 -		人		!績			0			1				
-1· / F			達原	戊率 📗			0.0%		1	00.0%				
事業の対象 (だれに)	高齢者													
	IFA 71	- \ <u>\</u>	- 11	^ l+ ++			. <i> </i>		 155	/ \$ 3/ TT	4.		L _L	
事業の目的							J多様な高							* » = -
	個々の二・	ーズを	上把握	し、サ	— t	こスの調整	Ěや、改善	、不	足す	る生活支	援サ	ーピス	くの開発だ	心安で
めに)	す。													
	7 B F G	上午	女垤-	ューディ	, <u>+</u>	タた	1名配置し	查	龄士	サー クル	わ即	区 協言	D 民党/	▶■雑
	支援事業							、 同	田山田	, , , , ,	で因	水心直	x、 冶七)	1 11支
±*.	又抜争未	「リ、 D	安土力	貝守乙	ひりた	里捞で凶り	りました。							
事業の 実施状況	<u>+</u> 4 -	┷┷	4 小 古		حلا مادا	++-/7	7 4 4 6 = T		₩	/17 =¥ / 1	١ _	-n. - 2 /		· # # ^
夫肔仏沉							るための話		の場	(協議体) ()	設直に	こ同けての)準備会
	を社協と	連携し	ノ月1回	回、連携	会	議を開催	しました。							
	〔成果〕													
	・民間を	含む生	E活支	援サー	ビフ	スの情報収	収集に努め	活動	集の	作成を行	いま	した。		
	• 地域力	フェゴ	エち上	げ支援	にる	より、町戸	内に3箇所の	の交流	充拠点	が出来す	ました	٥-		
	社協と	の連携	きを強	化し、	地垣	返福祉を推	推進するた	め、	月1回	回の連携会	会議を	·開催	しました	0
	〔課題〕													
		の連携	. 会議	を発展	ナ ナ	ナ. 住民自	自身が自分	ナナち	の thi	域課題を	考え	る場	(協議体)	
成果と	を作る				•	- \	12,70 11/1	,_ ,	.,.		.,,_	رودس	(IXX) Haze I. I	
課題	C 1F W.	.	(U) /	O 7 0										
				ı			T			N = 14	I		* ~ > = !	1 10 7 0 0
評価項目	必要性	亚 2	当性	公平性	_±	有効性	効率性	先馬		必要性 妥当性			業の必要性は。 託の可能性は。	10, 7, 3, 0
可顺为口	必女任	女 :	⊒ IT		-	TI W H	かもに	独創	削性	公平性		か偏りは		5, 3, 1, 0
57: / L	10	4	$\overline{}$			Г	2	-	<u>, </u>	有効性			たできたか 。	5, 3, 1, 0
評価点	10		0	5		5	3		5	効率性 先駆性・独創性		・・人員刻 本となり	h率はどうか。 l ぇるか	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	郭布卡 型						A · 击 ** 比 ~	× ¬	·IB·IF·					•
	評価点 計 40点満点			36		判定基準	┃A∶事業拡充 ┃D∶規模縮ノ						し継続、委 - 、廃止	さい 使 討
	- し 示 心 示	. /				+0 1/ =0 /-				- 、 女	× 113	<u>-</u> . МЛ	-、元业	
						担当課に	よる判定	と埋	Ħ					
	3 1 6 64				_	1.1.1.15 %	, u 1=		۷,		L = ·	_ \	۰. ساتت	
В			ーテ・イネ	ニューによ	る	、地域づ	くり支援を	を実施	也し、	任民主体	本の生	E沽支	援サービ	スの創出
	に繋げま	9 。												
İ														

	の成果及び	評価									介護			会計	
事業番号	1305	事業名	名 在宅	医療	・介護連携	隽推進事業			事業	区分		新規	1		■継続
担当課	福祉あん	しん課			担当係	地域包括	支援·	セン	ター						
予算区分	款		.域支援事		項	_	支援事業]	6	生活支持 の基盤素	爰・介護 と備事業	予防サービス 費
			冬 決算	額		事業費財	源内	訳	(千	円)					
年	度	予算額 (千円		円)	国 庫 支出金	県支出金	そ <i>0</i> (収		起	債	一般則	 財源		備	考
平成28	8年度	1	128	0											
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実統	責)	28	(実統	責)		29			30
			目標			6			6			12			12
地域ケア会	È議	回数	実績 達成率			33. 0%	,)		2 33. 0%	6					
地域包括グ	ア会議	回数	目標 実績 達成率						1 -			1			1
事業の対象(だれに)	町民		<u> 连队卒</u>												
事業の目的	係機関の	連携を図 ア会議 列を対象	図る。			が住みなれ 3 (7月15)					い生活	舌がá	続けi	5 n ē	るよう関
成果と	介護支持 ・個別ケー が出来 ・ に課題〕 ・困難事	介護等の 援専スしました。 例を優労	の自立 課題から た的に取	支援/ 見え ⁻ り上/	こ資するケ てきた地域 ず事例検討	令者の個別 アマネージメント 或課題の掘 対を行った	の実 り起 が、	践こし	を高がで	める; き、 ^は	ことが 地域に	出来必要	まし な資	た。 源の	把握
課題	困難事件検討を行うつ地域包括・28年度	列だけで 行い自立 活ケア会 未実施と	ごなく、2 立支援に 会議 こなって	29年 資する るが、	度より開始 るケアマネシ゛メ 29年度に	ってしまい台となる総分の実施を対の実施を対し、「「」	を図り	業まず高齢し	ナ。 ^{令者か} ます。	「住み	なれた	た地域	域で	自立し	た
評価項目	必要性	妥当性	生 公平	怪性	有効性	効率性	先馬 独倉		必要性 妥当性 公平性		住民ニー: 行政必須 受益者の	か、委 偏りは	託の可能 ないか。	性は。	10, 7, 3, 10, 7, 3, 5, 3, 1, 0
評価点	7	10	3	3	1	3		3	有効性 効率性 先駆性	• 独創性	目標数値 コスト・ 他の見本	人員効	率はどう		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点		2	7	判定基準	A:事業拡3 D:規模縮/	`、終	期設定							の検討
					担当課に	よる判定	と理E	<u> </u>							
Α	定期的に	会議を閉	ーーー 昇催する	- ح ت	 で、地域包	 回括ケアシ	ステ	ムの	構築	につれ	なげて	いき	ます		

」年度事業成果説明書 兼

1 事業の	D成果及び	評価							介護保険	特別会計	
事業番号	511	事業名	一般	管理	(介護給作	寸費準備基	金)	事業区分	□新規	現 I	■継続
担当課	福祉あん	しん課			担当係	高齢福祉	係				
予算区分	款		金積立		項		積立金		目 1	介護給付 積立金	準備基金
		最終		算額		事業費財		(千円)			
年	度	予算額		_,	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備	考
		(千円) (1	円)	支出金	水入田並	(収入)	AC IX	13X X1 1/1X		
平成2	8年度	69, 5	6 47	9, 547			69, 547	,			
活動	項目	単位	年度	26	6(実績)	27(実績		8(実績)	29		30
± ^ *+ 1			見込		2	79, 30		69, 547	72, 65	0	
基金積立		千円	実績 達成率		<u>1</u> 50. 0%	79, 300 100. 00		69, 547			
古世の社会				,	50. U%	100.0	/0	100. 0%			
事業の対象(だれに)	介護被保障) ————									
事業の目的 (なんのた めに)	第1号保障	険料の余	剰金を	基金。	として積立	なて基金醸	成に努め	る			
	第1号保	険料の	余剰金を	を基金	として積	み立てまし	った。				
	介護	給付費	準備基金	È		69, 547,	, 000 円				
事業の											
実施状況											
	〔成果〕										
	第1 5				責み立てま						
		介護給何	寸費準備	基金	保有額	148, 859, 7	57円(H2	9.5.31現	在)		
成果と	〔課題〕										
課題	一時	的な余類	則金であ	59、	今後の保	険料算定等	手慎重に料	青査が必要	です。		
					1	1		N ###	<u> </u>	*******	10700
評価項目	必要性	妥当性	/ //	平性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性	住民ニーズ、事行政必須か、委		10, 7, 3, 0
н м.жп	~>1	A - 1-			117911	~~1±	独創性	公平性	受益者の偏りは	はないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	10		5	3	5	1	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
計Ш从	1	10] ;	J	၂ ၁	ן ט ן	ı		コスト・人員分 他の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計		3	:1	判定基準	A:事業拡充 D:規模統則			▼ 【善・効率化 〕討 E∶休』		
	40点満点	,		•				と、安託の快	(市) C·1小山	上、廃止	
					担当課に	よる判定の	と埋田				
В	一時的なま	余剰金で	あるが	30年月	变保険料 改	女定時に活	用します				
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					,.		-			

(単位:千円)

			(单	鱼位:千円)
(款−項−目−事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ページ)	(備考)
一般会計				
子育て健康課	943,945	921,945		
2.総務費	4,775	2,731		
7.地方創生事業費	4,775	2,731		
2.地方創生加速化交付金事業費	4,775	2,731		
ことうら健康寿命延伸活動(健康対策課)	4,775	2,731	9-1	
うち繰越分	4.775	2,731		
3.民生費	811,577	799,468		
2.児童福祉費	811,577	799,468		
1.児童福祉総務費	419,501	413,780		
ファミリーサポートセンター事業	2,079	1,965	9-2	
教育・保育施設型給付事業	112,000	110.267	J Z	事務費
子ども・子育て支援事業	45	16	9-3	予切員
子育で三世代同居住宅リフォーム助成事業	500	200	9-4	
丁月で三世代向店住宅リフォーム助成事業 児童手当支給事業	268,725	268,480	9-4	
第3子以降出産祝金交付事業				
	4,150	3,800	9-6	
乳児家庭保育支援給付事業	5,800	5,400	9-7	
放課後健全育成事業	25,760	23,468	9-8	
要保護児童対策事業	442	184	9-9	
2.保育所運営費	391,381	385,515		-t- 7/r -th
しらとりこども園	23,100	22,607		事務費
ふなのえこども園	14,847	13,843		事務費
やばせこども園	20,095	19,911		事務費
安田保育園	7,144	6,735		事務費
琴浦保育園	11,829	11,319		事務費
特別保育	33,500	33,339	9-10	
保育所運営(配分外)	265,022	262,138	9-11	
<u> </u>	15,844	15,623		事務費
6.鳥取県中部地震対策費	695	173		
鳥取県中部地震対策事業(子育て健康課)	695	173		事務費
4.衛生費	114,014	106,169		
1.保健衛生費	114,014	106,169		
1.保健衛生総務費	7,449	6,539		
一般管理	6,549	5,939		事務費
救急医療対応事業	900	600	9-12	
2.予防費	65,731	62,230		
献血推進事業	135	120	9-13	
小児慢性特定疾患児支援事業	61	0	9-14	
食生活改善推進事業	1,264	1,108	9-15	
精神保健福祉事業	74	32	9-16	
母子保健事業	18,251	16,960	9-17	
予防接種	45,946	44,010	9-18	
3.健康づくり推進事業費	40,834	37,400		
まちの保健室事業	450	414	9-19	
健康教育	367	303	9-20	
健康診査	39,514	36,441	9-21	
健康相談	43	35	9-22	
若い世代の健康づくり対策	125	22		事務費
訪問指導	335	185	9-23	
12.諸支出金	13,579	13,577		
1.諸費	13,579	13,577		
1.国県支出金返納金	13,579	13,577		
国県返納金	13,579	13,577		事務費

1 事業の成果及び評価 一般会計

1 事業の	の成果及び	評価									一般会計
事業番号	号 1319 事業名 ことうら健康寿命延伸活動 (健康対策課) 事業区								事業区分	■新規	見 □継続
担当課	課 子育て健康課 担当係 健康推進係								•		
予算区分	款		総務費		項	7 地方	創生	事業	費	2	地方創生加速化交付金事業費
	•••	最		算額		事業費財			(千円)		
年	度	予算		7F H.X	国 庫		<i>そ</i> σ.				備考
	~	(千)		千円)	支出金	県支出金	(収.		起債	一般財源	
平成2	2年度	\ I	0	0			(1/4,	, ,		0	
平成28年		1	_	2, 731						731	
							ŧ۱ I	0.0	/ 由4:		1 20
活動		単位	年度	26	6(実績)	27(実績	夏)	28	3(実績)	29	30
健康寿命到		ᄺ	目標		_	0. 2			0.4	0. 6	0.8
H26:81.83		歳	実績		0	-0. 13			0. 12		
⇒H30 : 82	. 63歳		達成率		0	-65. 0º	%		30.0%		00
VEL 축도 20 MB 년	- ** - * -	0/	目標		-	- 07.4			40	50	60
運動習慣定	ご	%	実績		36. 8	27. 4			36. 9		
			達成率		_	_			92. 3%	0.5	
事業所カルテ			目標		_	0			15	35	60
んぽ作成)の)改善(]項	所	実績			0			40		
目以上)			達成率		_	0.0%			267. 0%		
事業の対象	全町民										
(だれに)	,,										
事業の目的	介護を要	しない	町尺を増	負わす:	ことで町屋	の健康毒	命 1 :	歳延	伸を日指	すととまに	、町民ひとりひ
(0 0 00 / 2	ノロが広り	医の甲	出発目	タカリ	ム ないがい とうだい とうない とうしょう しょうしょ しょうしょ とうしゅう しょうしゅう しょうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しょうしゅう しゅうしゅう しょうしゅう しょうしゃ しょうしゃ しょうしゃ しょうしゃ しょうしゃ しょうしゃ しょうしゃ しょうしゃ しゅうしゅう しょうしゃ しゃしゃ しゃ	がたない	を上	スニ	アニトロ	、ここ ひに 矢椿 書削に	ずを目指します。
めに)	こ ソルガオ	マン十	一加元元	十岁/	口沢ひこ巡	ュッパ・コリシ	ے ک	۔ س ب	こにみり	△况貝別們	*で口泪しみり。
			- 10 4								
	Oことう										
	交付	商品差	斧枚数	512木	攵						
	毎日	の健康	東づくり	舌動等	参加者	179人					
事業の			-			けし受検費	田を	ᆎᆎ			
実施状況		-				」 しては負 リ優遇制度		911%			
大心が									145=¥ 1 -		
	_										の結果、鳥取銀行
	協会	けんに	ぽの間で	建康経	営取り組む	み事業所に	三対す	る金	注利優遇制	度が実現し	しました。
	〇健康経:	営に関	するニ-	-ズ調	査 平成	は29年1月~	~2月	に調	査を実施	しました。	
	〔成果〕										
		多診察	1 全位	と的に	立成27年度	モント酔し	迪加	傾向	上かけ :	雷動習慣完	≧着率も落ち込んだ
			ました。	-10 H	1 19421 7 13	2 C 11+X O	*H /JII			生划日頃人	1個十0分のだがに
					, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	- ^- ^- 0 88	17±1	 //⊽	<u>₩</u> ↔ № ± .	₩ =r ı _ + 1 _	- フ 人 エロノ宮 ン田
						以銀行の间	じ健	埭砼	呂美践争:	耒州に対す	「る金利優遇
	といった	た事業	へと繋が	バりま	した。						
	健康	経営推	進に向け	けたア	ンケート訓	間査では、	事業	所の	ニーズ等の	の把握がて	ごきました。
	〔課題〕										
成果と		全体の	健康毒品	≥狐仲1	ーあってに	+ 働き成	ll M	۸۸~	50年代の	建事づくし	りが重要とし、
-							90).	+0.	ひの成としてひた	姓塚 フィッ	が主安とし、
沐遐	健康経営の					ŭ					
						りることが		-	-		
	また、	協会け	んぽ加ノ	、事業店	听にあって	こは、連携	した	取り	組みで広り	げられてい	\るものの、加入
	していなり	い事業	所につい	いては、	同じよう	なサービ	スを	提供	されずに	いるため、	その受け皿と
		-			われます。			,, <u>,</u> ,	C , - , .	0,21,	
							油 惟	ı +_	+ = + _	明保み マ	フンケートを踏ま
							建捞	した	セミナー	刑惟つ、ア	フグートを始ま
	スた施策(か 検討	「か必要で	ごある。	と思われま	ॱ ज 。					
=- /	N 1		. 14		4.1119		先駆	水性	必要性	住民ニーズ、事業	, . , . , .
評価項目	必要性	妥当	首性 公	平性	有効性	効率性	独創		妥当性	行政必須か、委	
									公平性 有効性	受益者の偏りは 目標数値は達成	
評価点	10	10	0	3	3	3	5	5	効率性	コスト・人員効	
									先駆性・独創性	他の見本となり	
	評価点 計) /I	和中井 沖	A:事業拡充	B:	現状	— <u>——</u> 維持 C∶改	善 効率化し	し継続、委託の検討
	40点満点			34	判定基準					:討 E∶休止	
,					担坐押1-	よる判定。	上田口	6			
					にコ体に	らる 立一子	ᅩᄹᄗ	Ц			
	ᄽᄼ	- /L ==			7 古	- []	<i>01</i> 4.1±	. .	14.		
						りり、現状	維持	をし	つつ、拡	允に向け旅	西策検討・企画を
	進める必	安かあ	ると考え	しよす。							

	事業の成果及び評価 - 般会計 番号 1062 事業名 ファミリーサポートセンター事業 事業区分 □新規 ■継続										
事業番号	1062	事業名	ファミリ				事業区分	□新規	■継続		
担当課					子育て応						
予算区分	款	3 民生		項		福祉費		1	児童福祉総務費		
_		最 終	決算額		事業費財		(千円)				
年	塻	予算額	(7 m)	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備考		
ਜ਼ ਹ ੋ ਹ	0.左 庄	(千円)	(千円) 1,965	支出金 655	655	(収入)		655			
平成28年		2, 079	1, 900	000	000			000			
活動		単位 年	L 度 20	<u> </u> 6(実績)	27(実績	生 \	3(実績)	29	30		
/D 到·	快口		- 反	一	- 2八天小	₹/ Z (一	23	30		
設定なし			2績	_	_		_				
				_	_		_				
事業の対象(だれに)	子育て世代	代の保護者	ή								
事業の目的 (なんのた めに)	センター	を設置、ア	' ドバイザ·	ーを配置し	ン、援助活	動の調整	に関する	業務を実施	します。		
事業の 実施状況	啓発		った。(健語	诊会場、子	一育て支援	センター	、保育園、	こども園	養者へ事業説明や の保護者会など) ました。		
成果と 課題		提依両合 利 児 会保供頼方 用 童 員護 負負員計 数 ラ はの	209 23 291 47 ブ・保育所 手々増加し	名 名 件 (昨 の送迎な ているが、	、利用件数	Dサポー 対は昨年度 う 周知・喜	客発を継続	しています します。			
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 10, 7, 3, 0 ないか。 5, 3, 1, 0		
評価点	7	10	1	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。 5, 3, 1, 0		
	評価点 計40点満点		25	判定基準	し・ 祝保船り	`、終期設定	維持 C∶改 È、委託の検		ン継続、委託の検討 、廃止		
				担当課に	よる判定の	と埋田					
В	子ども・ -	子育て支援	養事業の一 [・]	つであり、	継続して	実施する	必要があり	ります。			

1 事業の成果及び評価 一般会計

	<u>)成果及び</u>								一般会計	
事業番号	1198	事業名	子ども	・子育て支持	援事業		事業区分	□新規	新規 ■継続	
担当課	子育て健康	東課		担当係	子育て応	援室				
予算区分	款		生費	項		福祉費		1	児童福祉総務	費
		最 終		1	事業費財		(千円)			
年	度	予算額		国庫		その他		,	備考	
•	~	(千円)			県支出金	(収入)	起債	一般財源	, m	
平成2	2年度			16		(16		
平成28年			10	10				10		
		単位	左	26 (中純)	07/中4	 主\	0 / 中 (主)	29	30	
活動	児 日			26(実績)	27(実統	貝 <i>)</i>	8(実績)	29	30	
設定なし			目標 実績		<u> </u>		<u> </u>			
政定なし			大 傾 を成率		_					
±** 0.114		Æ	E以 作		_		_			
事業の対象(だれに)	子育て中の	の世帯								
(/2/11/2)										
事業の目的 (なんのた					子育て支持	爰事業計i	画・次世代	育成支援	事業行動計画) (=
めに)	基づき、	子育で 事	美を推進し	ン ます。						
	O 子	ども・子	育て会議	を開催し、	琴浦すくす	ナくプラン	ン(琴浦町-	子ども・子	育て支援	
	_			支援事業行						
事業の	7.	J		i~ ~ II		/ / / /	121 / 101	1.	, . 0. 0 / 20	
事業の 実施状況										
ᆺᆙᄭᄊ										
	〔成果〕									
	7	ども・子	育てに関	わる委員に	より構成さ	された「-	子ども・子	育て会議	」を開催し、	
				て、今後の						
	大心	ハヘルロエ川	1 - 0)17 -	こ、フロの	」 FI C X II	反/心水1〜	ン U・C 0.71円	יטון בים.	o 01-0	
	〔課題〕									
	平	成29年	度開設す	る「子育で	世代包括3	と援セン?	ター」と連	携し、よ	り子育て支援	
				必要があり		= -				
成果と	ne x			×10 00 9	J 7 0					
成果と 課題										
										
== /= -= -=	St are bit		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	4.10	41 4 14	先駆性	必要性	住民ニーズ、事		7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	. 有効性	効率性	独創性	妥当性	行政必須か、委		7, 3, 0
		_		_	_		公平性 有効性	受益者の偏りは 目標数値は達成		3, 1, 0 3, 1, 0
評価点	7	10	5	5	3	1	効率性	コスト・人員効		3, 1, 0
							先駆性・独創性	他の見本となり		3, 1, 0
	評価点 計		21	小子 井 洋	A:事業拡3	· B:現状	維持 C∶改	善・効率化	し継続、委託の樹	負討
	4 0 点満点		31	判定基準			定、委託の検			
,				担当理に	よる判定					
				ニコ詠い	- 6 る土) 化	に仕口				
В	計画事業	期間中で	あり、継絡	売した取り約	旧みが必要	です。				
ש		A11-1 1. C	~> > \ \ \max	,, C , C ¬A , / //	· / · × L) · 54	/ 0				
l l										

1 事業の成果及び評価 一般会計

	A PARA CANADA O MI IN													
事業番号														
	子育て健康					子育て応								
予算区分	款		民生費	-	項		福祉費		E	1	児童福祉総務費			
		最	終	決算額		事業費財	源内部	R	(千円)					
年	度	予算		<i>(</i> :	国庫	県支出金	その		起債	一般財源	備考			
	0 - -	(千		(千円)	支出金	ハヘロ业	(収入	()	C IR					
平成2			500	200						200				
平成28年					(<u> </u>		-		/					
活動	項目	単位	年月		(実績)	27(実績	(表)	28	(実績)	29	30			
=n. 🕁 🚣			目標		_	_			_					
設定なし			実統達成			_								
古サのとな				•	_	_			_					
事業の対象(だれに)	新たに三	世代同	居を如	始める世 ^特	带									
(/_////_/														
事業の目的														
(なんのた	家庭の子	育てた	を高め	めることを	を目的とし	 します。								
めに)														
	〇 6月に要綱を設置し、町内設計事務所に対し、事業開始及び事業内容について周知を													
	-			킐し、墹ア	y設計事務	別に対し	、争系	闸	畑及ひ事 乳	ド内谷につ	いて向知を			
古 米 へ	行い	ました	' = 0											
事業の 実施状況	│ ○ 町ホームページに掲載し、事業の周知をしました。													
夫 他认况	│ ○ 町ホームページに掲載し、事業の周知をしました。 │													
	(-4-5-)													
	〔成果〕	m1 - 15 1	Irl ster	4111										
		助成	件数	1件 200	千円									
		転入	し、新	たに三世	代同居を	始める家族	を支	援し	した。					
	〔課題〕													
		町外口	に在住	している	希望者へ	の事業周知	:Π							
成果と														
課題														
			T					州	必要性	住民ニーズ、事	業の必要性は。 10, 7, 3, 0			
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	光 独創 ¹		妥当性	行政必須か、委	託の可能性は。 10, 7, 3, 0			
								1-1	公平性 有効性	受益者の偏りは 目標数値は達成				
評価点	7	7	7	0	3	3	1		効率性	コスト・人員効				
					_				先駆性・独創性	他の見本となり				
	評価点…計			21	判定基準	A:事業拡充					し継続、委託の検討			
(40点満点)		41					こ、委託の検	討 E∶休业	廃止			
					担当課に	よる判定の	と理由							
<u></u>	事業初年	度であ	5り、-	一定期間3	実施後の見	見直しが必	要でも	ある	が、移住	• 定住施領	をとして事業を実			
	施した方							_						
		•												
	i													

━ 一般会計

1 事業の	の成果及び	評価			=					一般会計	-	
事業番号	581	事業	名 児童	手当.	支給事業			事業区分	□新規	見	■継続	
担当課	子育て健康	康課	•		担当係	子育て応	援室					
予算区分	款	3 月	是生費		項	2 児童	福祉費		1	児童福祉	総務費	
		最系	冬 決	算額		事業費財	源内訳	(千円)				
年	度	予算額			国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備	請考	
	<u> </u>	(千円		円)	支出金		(収入)	AC IX				
平成2		268,	725 268	8, 480	186, 620	41, 068			40, 792			
平成28年							-					
活動	項目	単位	年度	26	6(実績)	27(実績	責) 20	3(実績)	29		30	
2定なし			目標 実績		_	_						
文化なし			天 根 達成率		_			_				
事業の対象												
(だれに)	中学校終	了までの	り児童を	養育	する者							
業の目的	四本七举:	*	. 7 +/-	10	T W + + 4	۸ <u> </u>		⇔	ムロフ 止い	T 0 + + 1		
なんのた						合すること					-奇与す	
めに)	るととも	こ、火作	ての社会	を担	つ児里の仮	建やかな成	長に貧す	ることを	目的として	(います。		
	〇 児童	手当を	支給しま	きした	0							
	児童	手当(平成28年	∓2月 ~	~平成29年	₹1月分の3	支給)					
		·	児童手	当支持	4区分		手当月額	〔(円) 延児	見童数(人)	1		
	0~3	歳未満	(被用者引	受給)			1	5, 000	3, 138	1		
			(非被用者)		15,000 683					
						第1・2子		0,000	9, 464			
事業の	3歳~	· 小学校	修了前(被用者	音受給)	第3子以降		5, 000	2, 009			
実施状況						第1・2子		0, 000	2, 241			
	3歳~	·小学校·	修了前(非被用	月者受給)	第3子以降		5, 000	580			
	中学	生				おり」以降		0, 000	5, 352			
	特例							5, 000	332			
	נילו פיר	נוםיה		合計				0,000	23, 799			
									25, 133]		
	- 1 1 - 1											
	〔成果〕											
	1 児童	手当をえ	を給し、	子育'	て世帯の育	育児や教育	に関して	経済面で	の支援を図	図りました	Ξ.	
	2 子育	て中のタ	家庭への	経済的	的支援を行	テうことで	、子ども	を安心し	て育てらオ	ιる環境を	を整える	
成果と	ことが	できまし	った。									
課題												
							上	必要性	住民ニーズ、事	業の必要性は。	10, 7, 3,	
評価項目	必要性	妥当怕	生 公	平性	有効性	効率性	光 融 独創性	妥当性	行政必須か、委		10, 7, 3,	
							コムルリーエ	公平性 有効性	受益者の偏りは目標数値は達成		5, 3, 1, 5, 3, 1,	
評価点	7	10		1	3	3	1	効率性	コスト・人員対		5, 3, 1,	
a— an				<u> </u>					他の見本となり		5, 3, 1,	
	評価点 計) 5	判中甘淮	A:事業拡充	 B∶現状	——— 維持 C∶改	(善・効率化	し継続、委	託の検討	
	40点満点		4	25	判定基準				討 E:休山			
					担当課に	よる判定	と理由					
					ph	5. W 117C						
					_							
В	法定受託	事務のカ	こめ継続	とし	ます。							

1 事業の成果及び評価

一般会計

	の成果及び	評価					一般会計								
事業番号	1228	事業名	第3子以	降出産祝郐			事業区分	□新規	·見I	■継続					
	子育て健康			担当係	子育て応										
予算区分	款	3 民生		項		福祉費		1	児童福祉	総務費					
		最 終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)								
年	度	予算額		国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備	考					
		(千円)	(千円)	支出金	示义山亚	(収入)	起頂	川文 只7 //示							
平成2		4, 15	0 3, 800		250			3, 550							
平成28年	度(明許)														
活動	項目			6(実績)	27(実約	責) 28	8(実績)	29		30					
			目標	25	25		25	25		25					
支給件数			実績	27	25		33								
		達	成率	108. 0%	100.0	%	132.0%								
事業の対象	世帯の3人	、目以降の	出産												
(だれに)															
事業の目的															
争未の日的	人口減少	対策及び・	子どもが地	域の宝とし	して祝福さ	れる意識	を醸成し	ます。							
めに)		12,122	0.0 -0		DOIM C	, - W (11)		0							
			出産に対し												
	第	3子:2	4件、第4	子:8件	、第5子:	: 1件									
事業の															
実施状況															
	[成果]														
		・	代を担う児童	音の増加を ほ	図る取組み	としてPRI	33件の国		ました						
			ら比較する						J. 0/20						
	事术 册第	ロナスハ	したまみの	<u>と、第3万</u> │ 平成26年		<u>生は増加し</u> 式27年度	□ でいまり □ 平成28年								
	由≢	/ 什 米h		27件		<u>以27年及</u> 25件									
		件数	フ山さルツ				33件								
			子出産件数			28件	29件								
		末0歳児		134人		110人	114人		18± 11 1	L					
			日までが申)年度が異	なること	があります	Γ.					
	転	人後1年5	⊧満の出産 Ⅰ	は祝金の対	才象となり	ません。									
成果と															
課題															
	〔課題〕														
	少子化:	対策として	ての効果の	検証が必要	更です。										
			1	1	1	# Ec. in	必要性	住民ニーズ、事	業の必要性は	10, 7, 3, 0					
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	妥当性		業の必要性は。 託の可能性は。	10, 7, 3, 0					
	·=	_ ,, ,				独創性	公平性	受益者の偏りは	はないか。	5, 3, 1, 0					
郭振占	7	10	1	3	3	3	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効		5, 3, 1, 0					
評価点	1	ΙU	1	ا ن	ا ا	ა		コスト・人員の 他の見本となり		5, 3, 1, 0					
										0.0 1 11					
	証価占 針		^_		∧·車娄\thu	2 日・珀什	維持 へ・ゴ	・ かっまん	継結 禾=	5,3,1,0 fの給討					
	評価点 計40点満点		27	判定基準			維持 C∶改 È、委託の検								
	評価点 計 40点満点		27		D:規模縮小	ト、終期設定									
			27			ト、終期設定									
(40点満点)		担当課に	D:規模縮力 よる判定	と理由	定、委託の検	討 E∶休山	上、廃止	その検討					
(40点満点近隣市町)	27 事業であり	担当課に	D:規模縮力 よる判定	と理由	定、委託の検	討 E∶休山	上、廃止	その検討					
	40点満点)		担当課に	D:規模縮力 よる判定	と理由	定、委託の検	討 E∶休山	上、廃止	その検討					

	- 事業の成果及び評価 一般会計 業番号 1309 事業名 乳児家庭保育支援給付事業 事業区分 ■新規 □継続										
事業番号		事業	名 乳児乳	家庭保育	支援 約	給付事業		事業区分 ■新規 □継続			
担当課	子育て健康	康課		担	当係	子育て応					
予算区分	款	3 医	尺 生費		項	2 児童	福祉費		1	児童福祉総務費	
		最《	終 決算	額		事業費財	源内訳	(千円)			
年	度	予算額	額	亘	庫	県支出金	その他	起債	向几日十3店	備考	
		(千円]) (千)	円)	出金	宗又山並	(収入)	延惧	一般財源 		
平成2	8年度	5, 8	800 5,	400					5, 400		
平成28年		,	,						,		
活動		単位	年度	26(実	2績)	27(実統	青) 7	28(実績)	29	30	
711 233	<u> </u>		目標			- (50)	-	_			
設定なし			実績	_		_		_			
			達成率	_		_		_			
事業の対象	乳児(6ヶ			家庭で保	育して	ている保護	者			.	
								B以降の最	初の3月3	1日までの間	
			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
事業の目的	在空で苔!	日をする	ス家庭にも	저 1 終付	全たす	5終する -	トートル	1 经落的	支採及び	乳児との愛着形成	
(なんのた)、性別的. 目的としま [.]		心儿との支相が以	
めに)		列及では	△ ツ 、 チレン	しり姓土	- ′ひ 円 パ	ぬに良りる		ם אינו כי בי	9 0		
		点 /37	*100 -	3\ ~_ _	- ، - ا- ا	- -		\ +	· _L		
	041家)廷(处	へ180ヶ月	りの在	七首片	記家廷に対	し、支給	きを行いまし	した。		
事業の											
実施状況											
	〔成果〕										
	(1%/K)										
	計争	家庭:	41家原	ᅺ							
				_	松山	仝 む士級 L	级文字	的士授大网	11.1 ± 1. #		
	住毛	じ目児	どりの豕	庭に刈し	ンで行行	亚で又稲し	ノ、ベア	的支援を図	ッました	0	
	て=田 日本)										
	〔課題〕					-	- 14 - 1 4				
	対象	.年齡(現行満1歳	ままで)	の延長	長について	の検討が	「必要です。)		
成果と											
課題											
表现/亚子子 口	·›› 프···	20 W.T	д , -		- ** + **	꾸는 것을 보다	先駆性	必要性	住民ニーズ、事		
評価項目	必要性	妥当怕	性 公平	-1± f	勃性	効率性	独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは	話の可能性は。 tないか。 5, 3, 1, 0	
	_	4.0			_			有効性	目標数値は達成		
評価点	7	10) 1		5	3	5	効率性	コスト・人員効	率はどうか。 5, 3, 1, 0	
								先駆性・独創性			
	評価点計		3	判	定基準	A:事業拡充				し継続、委託の検討	
(40点満点	.)	J			し・祝侯稲久		定、委託の検	i討 E:休山	_、廃止 	
				担	当課に	よる判定	と理由				
ם	保育所利	用にかれ	かわらず	すべて	の子育	育て家庭に	対してす	を接ができ	ました。H	29年度から県補助	
В					の子育	育て家庭に	対してま	を援ができ	ました。H	29年度から県補助	
В	保育所利が始まる				の子育	育て家庭に	対してま	支援ができ	ました。H	29年度から県補助	

	の成果及び									一般会計
事業番号	576	事業	名 放課	後健:	全育成事業			事業区分	□新規	見 ■継続
担当課						子育て応				
予算区分	款		生費		項		福祉費		1	児童福祉総務費
-		最系		算額		事業費財		(千円)	ı	/++ + / /
年	芟	予算額		ш,	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備考
ਜ਼ ਦੇ 0	0 左 座	(千円		·円)	支出金	7 606	(収入)	2	0. [10]	
平成28		25,	/60 Z	3, 468	7, 636	7, 636	5, 68	3	2, 513	
平成28年		34 / T	左帝	0.0	<u> </u>	07/ = 16	≜\ ∩	00 /中44\	00	1 20
活動	<u> </u>	単位	<u>年度</u> 目標	20	100	27(実績 100	₹ /	.8(実績) 100	29 100	30 100
申込者数に	対する	%	実績	100 (1:	32名中132名)	99(165名中1	64名) 96(100	100
入所者数			達成率	100 (11	100%	99. 3%		96. 1%		
事業の対象	小学校に			が放						 置。同居の親族が
	保護する							у. С Ди. Су	3 10 0 30 3	
事業の目的 (なんのた めに)	保護者が発用して適何	労働等に 切な遊び	こより昼 ゾや生活	間家原の場	庭にいなし を与えて、	∖小学校児 健全な育	童に、技成を図り	受業終了後1 リます。	こ小学校の)余裕教室等を利
事業の 実施状況		・浦安 ・八橋 ・聖郷 ・船上	放課後」 放課後」 放課後」 放課後」	記童ク 記童ク 記童ク 記童ク	ラブ(多 ラブ(八 ラブ(聖	ラブを開設 世代交流が 橋小学校) 郷小学校) の う 園)	芭 設)	ます。		
成果と 課題	报 ※船 ※赤 ((課題) 1	川用 定 導 見 り り り り り り り り り り り り り り り り り り	クラブに かって だっこう だい だり ラブ 援事業の 込が増か	浦安72709つは効 傾か0り0	ては、平J 会福祉法 員40人) を検証し、	人赤碕保育 補助 、拡充等に	f園が放 金 4,00 こついて り見直し		全育成事 ^章 す。 必要があ	ります。
評価項目	必要性	妥当怕	生 公	平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 10, 7, 3, 0 ないか。 5, 3, 1, 0
評価点	10	3	,	5	1	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		2	25	判定基準 担当課に		`、終期設	^代 維持 C∶改 定、委託の検		し継続、委託の検討 こ、廃止
					ニコ环に	らる がん	- 生田			
С	利用ニーだ			、利用	用要件等 <i>0</i>	の見直し等	を行うと	≤、現在のカ	施設や指導	拿員数では対応で

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

	の成果及び					17120 70		н і інч і	_ 一般会計	-			
事業番号	839	事業名	要保護児				事業区分	□新規	見	■継続			
担当課					子育て応				10 ÷ 1= 11	40.75 H			
予算区分	款	3 民生		項		福祉費	(T.III)	1 1	児童福祉	総務實			
左	#	最 終 子質類	決算額		事業費財		(千円)		/±	± 1 ×			
年	吳	予算額 (千円)	(千円)	国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	1) F	請考			
平成2	2年度	442	184	2山並	0	(4270)		184					
平成28年		442	104	U	U			104					
活動		単位 年	度 26	(実績)	27(実績	5) 2	8(実績)	29		30			
71.43	ХП		標				_	20		00			
設定なし		実	!績	_	_		_						
		達用	成率	_	_		_						
事業の対象(だれに)	要保護児童	童、要支援	児童、特別	定妊婦とそ	その世帯								
事業の目的 (なんのた めに)	要保護児ュ	童等の発生	∶予防、早∮	期発見、早	₽期対応及	び再発防	正のための	の自立支援	爰を行いる	きす 。			
事業の 実施状況	(代表者会議1回、実務者会議2回、ケース連絡会4回) [成果]												
成果と 課題	定期的に情報共有を行うほか、緊急的な対応協議を行い、支援方法などについて、 関係機関の連携を図り対応しました。												
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 ないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0			
評価点	7	10	1	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0			
	評価点 計 40点満点		25	判定基準		、終期設定	維持 C:改 定、委託の検			託の検討			
				担当課に	よる判定。	と理由							
A							す支援拠が 整備等が必			えめられ			

1 事業の成果及び評価

一般会計

	学の成果及び評価 一般会計													
事業番号	91	事業	名	特別保育				事業区分	□新規	見 ■継続				
担当課					担当係	子育て応								
予算区分	款		民生	費	項		福祉費		2	保育所運営費				
		最		決算額		事業費財	源内訳	(千円)						
年	度	予算			国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備考				
		(千F	円)	(千円)	支出金	宗又山並	(収入)	起恨	一板知源					
平成2	8年度	33,	500	33, 339	8, 685	12, 507			12, 147					
平成28年	度(明許)													
活動		単位	年	度 2	6(実績)	27(実績	2 (8(実績)	29	30				
				標	_	_		_						
設定なし				!績	_	_		_						
			達原	戍率	-	_		_						
事業の対象	打造保套	割のユ	じ+	. ヹ゙゙゙゙゙゙ヹ゙゙゙	支援事業、	性则伊玄	生におす	てが出						
(だれに)	松丛休月	型の丁	ک تی	. 上目 (义抜争未、	付加休月	守に刈り	る無別						
事業の目的	/n /* /8 % :	 -	<u> </u>	ᆈᄮᄱᅀ		<u>-</u>	△ +1+							
(なんのた めに)	保育か必	安な家	延の	乳靭児の	受入、保育	ョーースへ	の対応							
(۱۵)														
	〇国	. 埠 σ)補品	カ事業筌♂)活用によ	り、公立・	私立問ま	つず 利田	者に同等	のサービスを				
					かるを交付		14111111	- / \ 11/11	, ₁₁ , - 1-1 17	/ -/ -/ -				
車業の	1Æ IX	, , 0/-	_ ~/ 、	山山王川市内	1 T C X 1	0 6 0 120								
事業の 実施状況														
天心八儿														
	〔成果〕													
								つず、利用	者に同等	のサービスを				
					子育て支援		した。							
	み	どりほ	育 園	園・赤碕こ	ども園へ	の補助金								
		<子と	ヹも・	子育てま	支援交付金	>	25,	696千円						
			一時	預かり事	業 地域	子育て支持	爰拠点事	業 延長	保育	病後児保育				
					集化促進事			69千円	-	· · · ·				
				い児保育		乳児保育								
					デス 设保育士等		-	3 74	17千円					
成果と					R			,						
成果と 課題		-	「原义プ	い休月エ	. 此	179.04.0	. II-U/	こ物ロ切開	IJ					
不 退														
	!						 先駆性	必要性	住民ニーズ、事	10,7,0,				
			Let	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性 公平性		を託の可能性は。 10, 7, 3,				
評価項目	必要性	妥当	忙	公平注						はないか。				
評価項目	必要性	妥当	性	公干注			34714		受益者の偏りは日標を					
評価項目				1	3	3	1	有効性 効率性	豆益者の偏りに 目標数値は達成 コスト・人員交	tできたか。 5, 3, 1, (
	必要性 7	妥当		1	3	3	1	有効性 効率性	目標数値は達成	なできたか。 5, 3, 1, 0 か率はどうか。 5, 3, 1, 0				
評価点	7 評価点 計	3		1		A:事業拡充	1 5 B∶現状	有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C:改	目標数値は達成 コスト・人員交 他の見本となり (善・効率化	tできたか。 5,3,1,0 h率はどうか。 5,3,1,0 Jえるか。 5,3,1,0 し継続、委託の検討				
評価点	7	3		1 18	3	A:事業拡充	1 5 B∶現状	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員交 他の見本となり (善・効率化	tできたか。 5,3,1,0 h率はどうか。 5,3,1,0 Jえるか。 5,3,1,0 し継続、委託の検討				
評価点	7 評価点 計	3		1	判定基準	A:事業拡充	1 5. B∶現状 、終期設∑	有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C:改	目標数値は達成 コスト・人員交 他の見本となり (善・効率化	tできたか。 5,3,1,0 h率はどうか。 5,3,1,0 Jえるか。 5,3,1,0 し継続、委託の検討				
評価点	7 評価点 計	3		1	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小	1 5. B∶現状 、終期設∑	有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C:改	目標数値は達成 コスト・人員交 他の見本となり (善・効率化	tできたか。 5,3,1,0 h率はどうか。 5,3,1,0 Jえるか。 5,3,1,0 し継続、委託の検討				
評価点	7 評価点 計 40点満点	3		18	判定基準担当課に	A:事業拡充 D:規模縮/ による判定。	1 5 B:現状 、終期設策 と理由	有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C:改 定、委託の検	目標数値は達成 コスト・人員多 他の見本となり 善・効率化 討 E:休山	tできたか。 5,3,1,0 h率はどうか。 5,3,1,0 Jえるか。 5,3,1,0 し継続、委託の検討				
評価点	7 評価点 計 4 O 点満点 子ども子	3	援事	1 18 業は31年	判定基準担当課に度までの記	A:事業拡充 D:規模縮が よる判定。	1 5 B:現状 、終期設況 と理由 、継続と	有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C:改 定、委託の検	目標数値は達成 コスト・人員窓 他の見本となり 善・効率化 討 E:休山	tできたか。 5,3,1,0 h率はどうか。 5,3,1,0 Jえるか。 5,3,1,0 し継続、委託の検討				
評価点	7 評価点 計 4 O 点満点 子ども子	3	援事	1 18 業は31年	判定基準担当課に	A:事業拡充 D:規模縮が よる判定。	1 5 B:現状 、終期設況 と理由 、継続と	有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C:改 定、委託の検	目標数値は達成 コスト・人員窓 他の見本となり 善・効率化 討 E:休山	tできたか。 5,3,1,0 h率はどうか。 5,3,1,0 Jえるか。 5,3,1,0 し継続、委託の検討				

1 事業の成果及び評価 一般会計

1 事業の	その成果及び評価 一般会計 一般会計 「一般会計												
事業番号													
担当課	子育て健康	東課			担当係	子育て応	援室						
予算区分	款		民生費		項	2 児童		事	E	2	保育所運	堂書	
7 57 12 77	491	最		算額	- 7	事業費財			(千円)	- -	PK 17/1 X.		
年	度	予算	額	チャ (チャップ)	国庫	県支出金	その(収)	他	起債	一般財源	備	i考	
平成2	R在度	265,		2, 138		57, 603				105, 152			
平成28年		200,	022 20	2, 100	12, 020	07, 000	00,	000		100, 102			
		** / T	左岳	26	(中4)	07/中枢	±Ι	20	/中体\	29		30	
活動	垻 日	単位	年度	20	(実績)	27(実績	貝/	20	(実績)	29		ა0	
設定なし			目標 実績 達成率		_								
事業の対象(だれに)	公立保育	園の共記		維持領	 管理								
事業の目的	子どもを					± Ħ							
事業の 実施状況	○ 公立保育所の臨時保育士の確保、共通維持管理経費の支出を行いました。○ 町内の私立保育園に保育を委託しました。○ 広域保育について、関係自治体と連携し、保護者ニーズに対応しました。												
成果超	質 2 3 こ (課題) 1	の・・・ 公ふ琴 私と・・・ 老向特1研 立な浦 立に町町町 朽上別県修 施の保 保よ内外外 化	に保の実 設え育 育り私私公 施努育保 のこ園 園公立立立 設め(育 維ど屋 ・立保保保 の	ま障556 持も根 也・育育育 維しが士回 管園修 市私所所所 持たい配 理ト繕 町立	。 児保国を 402名 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の	対象児回る4	·童23 ·.5:	3名 加配 1配置とし より算出	した委託* ことができ	20名 料を支払 きました。	Ō	
評価項目	必要性	妥当怕	性 公	平性	有効性	効率性	先駆 独創	州	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委託 受益者の偏りは ⁷	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0	
評価点	7	10		1	3	3	1		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効率 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
	評価点 計 40点満点			25	判定基準					善・効率化し 討 E∶休止			
					担当課に	よる判定	と理由	1					
В	公立施設の	の運営な	および私	ム立保育	育園、広垣	或入所の <i>た</i>	めに	必要	な経費のカ	ため			

事業番号	800 事業名 救急医療対応事業								事業区分 □新規 ■継続				■継続		
担当課			/h= +1 :				健康推進							/D /== /==	L 40 75 H
予算区分	款		衛生		-z	項	1 保健			/		1	1	保健衛生	生総務費
年	+	最 予算	終	決算額	摂	国庫	事業費財	源内 その		(千円					備考
т.	×	(千		(千円)	支出金	県支出金	(収		起	責	一般	財源		ш. <u>.</u>
平成2	3年度		900		00								600		
平成28年															
活動	項目	単位		度	26	(実績)	27(実績	責)	28	(実績	(i)		29		30
設定なし			<u>日</u> 実	標績											
放んな			達原			_	_			_					
事業の対象 (だれに)	町民														
事業の目的 (なんのた めに)	心肺停止管 け早く行・	等一亥 う体制	』を争 』を整	う事 態 えるこ	に値とて	請え救急車 ご、町民の	重両に医師)命を守る	を同 こと	乗さ を目	せるこ 的とし	ことに	こより す。	医療	聚行為を	できるだ
事業の 実施状況	〇平成284	年度実	淫績	0件	‡										
成果と課題	〔成果〕 24時間体報 平成28年原				車に	こ同乗し救	坟急指定病	院ま	で搬		5体#				
評価項目	必要性	妥当	4性	公平的	生	有効性	効率性	先馬 独倉		必要性 妥当性 公平性		行政必須 受益者σ	gか、委 D偏りは		5, 3, 1, 0
評価点	3	7	7	1		0	0	()	有効性 効率性 先駆性・	独創性		人員効	できたか。 率はどうか。 えるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			11		判定基準	A∶事業拡充 D∶規模縮小	ヽ、終!	期設定						託の検討
						担当課に	よる判定。	と理E	a						
E	今後は、り と考えま ^っ		入す	るドク	ター	-ヘリに移	多行するこ	とに	より	本事第	美を原	廃止し	ても	特段問	題はない

1 事業の成果及び評価

一般会計

	<u> </u>													— H1
事業番号	99	事美	業名	献血	推進					事業区分] (コ新規	見	■継続
	子育て健児	康課				担当係	健康推進	係						
予算区分	款	4	衛生:	費		項	1 保優	衛生	費		目	2	予防	費
		最	終	決算	額		事業費則	វ源内	訳	(千円)				
年	度		章額 円)	(千	円)	国 庫 支出金	県支出金		D他 (入)	起債	一般	財源		備考
平成28	3年度		135		120							120		
平成28年	度(明許)													
活動	項目	単位	年	度	26	(実績)	27(実績	漬)	28	3(実績)		29		30
			B	標		_	_			_				
設定なし			実	績		_	_			_				
			達原			_	_			_				
事業の対象	m 모 B 7 시	ᄠᇄᅖ	ᆂ	1一 出1 3	タナ :	۲ ۷								

事業の対象(だれに)

町民及び町内事業所に勤務する者

事業の目的 (なんのた めに)

安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律第5条の規定に基づき血液製剤の安定した供給を図ることを目的とします。

事業の 実施状況

○ 平成28年度は5.5日、延べ22事業所で400mlの全血献血を行いました。 その結果、274人・109.6リットルの協力をいただくことができました。

〔成果〕

- 1 平成28年度は、5.5日の実施
- 2 県が掲げる、協力者数215人を大きく上回る延べ274人の献血協力が得られました。
- 3 優良協力事業所表彰制度を導入し、大きく成果を上げた事業所がありました。

[課題]

献血車の配車台数の減と1台1日あたりの採血者数の目標が高くなったことにより、 より効率的な事業所のみの配車となる傾向にあり、協力者の固定化が見られ、将来の献血 協力者の確保に不安が生じています。

成果と 課題



事業所献血の様子



成果のあった事業所に感謝状を贈呈

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	7	3	3	3	1	効率性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		24	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				モの検討

担当課による判定と理由

B 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律に基づき、計画献血の推進にあっては市町村は目標達成に努めることとされており、今後も現状維持で事業の継続をすることが適当と考えます。

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	7 <u>成未及び</u> 1217	事業	美名	小児慢性	特定疾患」	見支援事業			事業区分		□新規		■継続
担当課	子育て健康					健康推進							
予算区分	款		衛生	費	項	1 保健	衛生費	į	E		2	予防費	•
		最		決算額		事業費財	源内部	7	(千円)				
年	度	予算		,,	国庫	県支出金	その		起債	— #	段財源		備考
- P.O.	٠ <u>-</u>	(千		(千円)	支出金		(収入	()	Æ JK	73.			
平成2			61	0		0					0		
平成28年		14 IT	左	帝 2	C (中4)	07/中4	έ\	20) / 中 (主 \		29		20
活動	坝 日	単位		度 2 標	6(実績)	27(実績	₹ <i>)</i>	20	3(実績)		29		30
 日常生活用	具給付	件		績	0	0			0				
	324413	''		龙率									
事業の対象 (だれに)	小児慢性	持定疫	病児										
事業の目的 (なんのた めに)	在宅療養(す。	こ要す	⁻ る用	具の給付	を行い、係	保護者の介	護量♂)軽	減及び経済	斉的;	負担σ)軽減を	図りま
事業の 実施状況	して その 対象	いま ^で 都度、 の可能	すが、 利用 能性か	該当者は 引実績なし [、] ある児の	これまで で報告し 保護者に	日常生活用 ありません 、交付金の は事業の お っておりま)。)返納る 記明を1	を行 行っ	_{すっていま}	す。			<i>₹</i>
成果と課題	〔課題〕 小児	慢性物	寺定疫	€患を診断		りません。 が対象とな 護者に説明							ます。
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆' 独創'		必要性 妥当性 公平性	行政必		業の必要性に 託の可能性 ないか。	
評価点	7	1	0	1	3	3	0		有効性 効率性 先駆性・独創性	コスト		できたか。 率はどうか えるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			24	判定基準		`、終期		維持 C∶改 ≧、委託の検				委託の検討
					担当課に	よる判定の	と理由						
В	該当になん	る対象	者が	今後現れ	 る可能性も	もあるため	、継続	もし	ていくべ	き事	 業です	0	

_ 一般会計

	の成果及び	評価	'-									一般	会計	
事業番号	102	事業	(名	食生活	5改記	善推進事業	ŧ			事業区分	□新規	見		■継続
担当課		康課				担当係	健康推進							
予算区分	款	4	衛生殖	費		項	1 保健	衛生費		F	2	予防	費	
		最	終	決算	額		事業費財			(千円)				
年	度	予算 (千I		(千F	円)	国 庫 支出金	県支出金	そのft (収入	_	起債	一般財源		備	考
平成2	8年度	1	, 264	1,	108		39		94		975			
平成28年	度(明許)													
活動	項目	単位	年	度	26	(実績)	27(実績	長)	28	(実績)	29			30
			目			70. 0	70. 0			70. 0	70. 0			70. 0
朝食喫食率		%	実			65. 3	57. 4			60. 7				
3歳児のい	る义税		達瓦			93. 3	82. 0			86. 7				
食生活改善	5#4#14日		目	標		85	85			85	85			85
配置部落の		部落	実	績		81	80			77				
配旦部洛り	ノ培加		達成	戈率		95. 3	94. 1			90.6				
事業の対象(だれに)	町民(子。	ども~	高齢	者)										
事業の目的 (なんのた めに)	すべての! るととも! す。													
車業の			生活	の改善	善 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		から高齢	図りま	し 回数		参加者数			を行
事業の 実施状況		ᅔᄆ								.5 32		31		
大心认沉		期				どもクッ								
						及啓発講習			3	30		72		
			家庭			る減塩の批	進				9軒			
				各地	区公	民館祭			(9	6	70		
成果と課題	2 の 3 つ 食 題食 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	意栄の訪る活惟 活識養高問と改進 改 講まにと善計 善善	向座りよも推画 推上は、るに進を 進	や食体味、員策 員行生調噌地養定 を	からぎ上ばばん かいき 変を理塩づ講、 部落	容がみられるというない。 という	たいでは、取 、き食よかつこ担新り 食世育いけなとった組 育代教効とがにてにむ 推に	果なっよい16理 進がりてりま名念 体得、い、すをや 制	ら毎ま健。養事 の	れ年すます。 は は は が は が は が は が は の に が と に の に を と の に の に の に り の に り の に り の に り の に り に り	す。 れる部落で 氐い方へ <i>の</i> た。 たまを 必要があ	ごは食)アプ もした りま	生活 パロー :。 :す。	改善へ
評価項目	必要性	妥当	1性	公平	性	有効性	効率性	先駆性 独創性		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能ないか。	能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	3	}	3		3	3	3		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどう	oか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			25	5	判定基準		、終期記		維持 C∶改 営、委託の検				の検討
						担当課に	よる判定の	と理由						
В	実施後ににい食生活の	は、こ の定着	ども	や保護 け、維	養者等 迷続的	デー 等の参加者 りな実施に	た行動変 よる意識	 容がみ 付けが	ら必	ーー れ、よい3 要です。	―― 効果が得ら	られて	いま	す。よ

9-15

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

	の成果及び							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		- 一般会計
事業番号	105	事第	美名	精神保健		T		事業区分	□新規	■継続
担当課			/ h= /l			健康推進				→ m. +h
予算区分	款		衛生:		項		衛生費		∄ 2	予防費
<i>⊢</i> -			終	決算額		事業費財		(千円)		/# **
年		予算		(T III)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)		一般財源	備考
平成2	0 左 庄	(千	74	<u>(千円)</u> 32	又山並		(4又人)	'	32	
平成28年			/4	32				_	32	
活動		単位	午	度 26	<u> </u> 5(実績)	27(実統	丰/	28(実績)	29	30
		中世		模 標	<u>入入限)</u> 21. 2	27 文 亦 20. 7	良/	20(天順) 20.7	20. 7	20. 7
自殺率		人	実		17	16. 6		22. 4	20. 1	20. 7
(人口10					24. 7%	124. 6		92. 4%		
ストレス角				標						
持っている		%			71. 7%	74. 49	Ó	71. 7%		
合が増える	S .		建	戊率						
事業の対象 (だれに)	町民									
(/_161-)										
事業の目的	自死を	図った	-人の	75%に精	神障がいた	があり、そ	のおよ	そ半数が「	うつ病」の)状態にあったと
(なんのた	いう調査	結果が	゙ある	ことから.	うつ病の	Dサインで				、適切な治療や
めに)	関わり方	につい	て啓	発し、自	死予防を図	図ります。				
	〇 睡眠	ㄴ	・スか	健康につい	\ア ±+	,白龙之叶	1-01	て 車業託	ᅛᄴᅜᄼᅮᄝ	とを対象に健康
										で対象に健康 行いました。
声楽の										にいました。 に、自死予防
事業の 実施状況								ークに取りた 意識啓発を		
大心がル	合発ハ	イルを	1又场	万古に展れ	示し、日々	化アルガニン	U C 0),	思調合光で	けいました	0
	ツた左	↑ +□	- M 📥	五老粉十	ਜ਼ ਦੇ ੧੨੬	= 中 の し -	<i>-</i> -	・1- ・1- トレケリ	-0 11 14	+ 1 4
	※近年	の本画	か日	死有致は、	. 平成23年	干度の9人で	ェヒーク	た、近年は	、3,4人 で推	E 移。
	〔成果〕									
	〔风采〕									
			項	<u> </u>		催回数		参加者数等	Ę	
				<u>口</u> 健康講座	in	5回		68人	T	
			講演			2回		147人		
		からだ		スタ の健康相記	光	6回		1人		
						月12日		<u>東伯アプ</u>	_	
		睡眠	キャ	ンペーン		77.12日 3月1日		マルイ上井		
						-,,. H		172 1	<u>"</u>	
成果と										
課題	〔課題〕									
	*****	選択し	.Tl.	まう前に	踏みとる	ビまること	ができ	るよう、幅」	大い世代へ	の相談先の周知
	_									専門相談機関等
						売が必要で		.,	->	31 11422 2000
	- 0. (, ,	•	22/74	7112 ° 7 11 = 1.		, 0			
== /	S 1::		ia Lei	—		4, 4, .	先駆性	必要性	住民ニーズ、事業	10, 1, 0, 0
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	独創性		行政必須か、委 受益者の偏りは	
			^			_		有効性	目標数値は達成	, , , ,
評価点	7	1	0	3	1	3	1	効率性 生駆性 - 独創性	コスト・人員効果	
	ママン マングログ マングログ マングログ マングログ マングラ マング	L				A . == ================================			他の見本となり	-, -, -, -
	評価点 計 40点満点			25	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		状維持 C∶改 设定、委託の検		し継続、委託の検討 ・ 廃止
	ナリボ河が	R /			也不是			、た、女心の快	нт г. и.	、
					担白誄に	よる判定	⊂理出			
_	1 🗆 +8 +#	よぎ /l、ユ	- 1 \ +	마소나요:	コボヘムっ	1.1- / /	妆스/e=	売いなっし 。	ア名に増加	コノー 市二 I ・ ス ー し +
В				町では傾向した対策が			社去 情	労守によつ	(忌に増加	1に転じることも

1 事業の成果及び評価

_ 一般会計

	の成果及び									一般	会計			
事業番号	100	事業	名 日	子保健	事業			事業区分	□新規	見	■継続			
担当課	子育て健康	康課			担当係	健康推進	係							
予算区分	款		衛生費		項	1 保健	衛生費	E	2	予防:	費			
		最	終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)						
年	度	予算	額		国庫	県支出金	その他	+7 /±	60.04.2天		備考			
		(千F	円)	(千円)	支出金	宗文出金	(収入)	起債	一般財源					
平成2	8年度	18,	, 251	16, 960		80			16, 880					
平成28年	度(明許)			·					•					
活動		単位	年度	26	(実績)	27(実績	青) 2	8(実績)	29		30			
育児にストレ			目標		_	44	-	46	48		50			
ていない保護		%	実績		40. 6	49.8		47. 1			-			
(1歳6ヶ月]児健診)		達成			113. 2	%	102. 4%						
育児にストし	ノスを抱え		目標		_	54		56	58		60			
ていない保護		%	実績		50. 4	45. 4		35. 2						
(3歳児健診	>)		達成四	率		84. 1%	Ó	62. 9%						
事業の対象	妊婦及び	出归	到幼児	レそのほ	早謹老及7	(家佐								
(だれに)	X1 XIII XX O 1.	ייייייייייייייייייייייייייייייייייייייי	70-9170	, _ (0)		7. 3V 11V								
事業の目的(なんのために)	(なんのために) おいに生まれ有ち、また子育で中の保護者や家族が安心して子育で出来ることを目指します。 ○母子保健事業は年間を通じて各健診・相談事業を行っています。 乳児健診:6回(隔月で実施) 乳児相談:12回(毎月実施) 離乳食講習会:6回(隔月で実施) 2歳児子育て相談:6回(隔月で実施) 歯みがき教室:4回(3ヶ月に1回実施) 遊びの教室:11回 1歳6ヶ月児健診:7回 3歳児健診:7回 5歳児健診:8回 ○乳児家庭訪問は、琴浦町で出生された乳児に全戸訪問を実施しています。 ○支援・継続フォローを要する家庭への訪問も随時行っています。 ○ 今天不妊治療費助成事業は随時相談を行い、申請者があれば助成手続きを行います。 ○産後ヘルパー派遣事業は、母子手帳交付時に全妊婦へ事業の説明をしています。													
○支援・継続フォローを要する家庭への訪問も随時行っています。 ○特定不妊治療費助成事業は随時相談を行い、申請者があれば助成手続きを行います。														
評価項目	必要性	妥当	4性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性 有効性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成	託の可能ないか。	性は。 10,7,3,0 5,3,1,0			
評価点	10	10	0	3	1	3	1	カンE 効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効	率はどう				
	評価点 計40点満点			28	判定基準		ヽ、終期設5	維持 C∶改 定、委託の検			、委託の検討			
					担当課に	よる判定	と理由							
		今後も	町の子								は増加傾向 続していく			

9-17

В

当 課 子育で健康課		の成果	及び				,		1110					般会計	
	事業番号				子 学院	接種					事業区分		新規		■継続
年度															
平成28年度	予算区分	,	欠				項						2 予	防費	
平成28年度	_					算額		事業費則			(千円)				
平成28年度	年	度						県支出金	その	他	起債	 般	財源	備	考
下の									(収入	人)	2				
括動項目 単位 年度 26(実績) 27(実績) 28(素積) 29 30 別字防接種全体 福車			-	45, 9	46 4	4, 010		22				43,	988		
関予防接種全体 96 <u>目標 ― 71.7 84.6 84.6 96 連続 東着 71.7 84.6 96 連続 でかった。 17.7 84.6 1 71.7 84.6 1 71.7 84.6 1 71.7 84.6 1 71.7 84.6 1 84.</u>			許)				(- 	07/-	<u> </u>						
京の対象 (大れに) 京談 (東橋 上京	活動	項目		単位		26	(実績)	27(実績	漬)	28					
	官期予防持	接種全	体				_		,			8	37.3		95
下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	接種率						_	/1./			84. 0				
**	事業の対象 (だれに)	町民			连队卒_										
助成を行いました。また、接種率の維持向上のため、各対象者へ接種動奨を行いました。接種種別 延べ対象者数 延べ接種回数 接種率 接種語	事業の目的 (なんのた めに)	防、	感染	症のまん	延防止	.を図	ります。								
接種種別 延べ対象者数 延べ接種回数 接種率 44種混合 345 475 101.4 34種混合 - 0 - 下活化ポリオ - 2 - 8型肝炎 440 104.8 104.3 104.3 104.3 104.3 104.8 105.5 105.6 105.5 105.6 105.5 105.6 105.5 105.6 105.5 105.6 105.5 105.6		_				-	-			-					
本種混合 345 475 101.4 3種混合 - 0 - - - -		^助	以で			/= \ 1							光で打	いまし	1-0
事業の 「成果 「成果 「成果 「成果 「成果 「成果 「大野性 大野性 大							左 * / 3 3								
東来の 東東の 東京の 東京								-				-	(亚毗?	8年帝	蒸 Ⅰ)
事業の								_		_		_			
上づ 345 480 104.3 104.3 104.3 104.8 104.3 104.8 104.3 104.8 1								345				42 6			
東東の 中価項目 必要性 安当性 公平性 有効性 公乗性 ○元 (元元) 元元) 元元 元元 元元 元元 元元													、⊤1火2	.0 — 10,	ם לנדלוני
東本の					抽 松 球 i	卣									
事業の bi			-		叫火坏区	ഥ									
接接 麻しん風しん混合2期 141 142 100.7 水痘 246 238 96.7 日本脳炎1期 372 467 125.5 日本脳炎2期 232 120 51.7 2種混合 144 101 70.1 子宮頸がん - 0 - 高齢者用肺炎球菌 1,226 481 39.2 高齢者インフルエンザ 6,280 3,876 61.7 任子ともインフルエンザ - 1,960 -			_			△1 邯					1				
1			127												
日本脳炎1期 372 467 125.5 日本脳炎2期 232 120 51.7 2種混合 144 101 70.1 70.1 7 3 7 3 3 2 3 3 2 3 3 2 3 3					いしん庇	百2期									
日本脳炎2期 232 120 51.7 2種混合 144 101 70.1	美他状况		梩		,L, 1 #0										
2種混合															
子宮頸がん															
高齢者用肺炎球菌 1,226 481 39.2 高齢者インフルエンザ 6,280 3,876 61.7 任 子どもインフルエンザ - 1,960 - 意 おたふくかぜ - 154 - 182 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 1								144				/U. I	/ 1 ± 1 + 1	LL 14 TE	ᄄᄦᅀ
高齢者インフルエンザ 6,280 3,876 61.7 任 子どもインフルエンザ - 1,960 - 1 意 おたふくかぜ - 154 - 1						##	1	-		•		20. 0			
任 子どもインフルエンザ							_		^			<u> </u>	差し∄	望え中.)
意			1-				6	, 280				01./			
接						ニンザ		-	1,						
種 成人麻しん・風しん								_							
1 赤ちゃん訪問時、乳幼児健診などの機会を捉えた接種勧奨や、保育園と連携した未接種者への接種勧奨を行い、子どもの定期接種の接種率向上へと結びついたことから、感染症の発生が抑制できました。 2 任意予防接種費用の助成を行うことで、ロタウイルス感染症などの重症化予防に繋がりました。 2 任意予防接種費用の助成を行うことで、ロタウイルス感染症などの重症化予防に繋がりました。 2 課題 予防接種の必要性について、広報等の活動や、医療機関等との連携・強化が必要です。 特に、小学校就学以降に接種開始となる予防接種は接種率が低く、積極的な接種勧奨が必要です。 中価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 対率性 公要性 日本の必須が、委託の可能性は。 10,7.3 公平性 安連性 日本の必須が、委託の可能性は。 10,7.3 公平性 日本の必須が、委託の可能性は。 10,7.3 公平性 日本の必須が、委託の可能性は。 10,7.3 公平性 日本の必須が、委託の可能性は。 10,7.3 公平性 日本の経過は達成できたが。 5.3.1 対象性 日本の経過は達成できたが。 5.3.1 対象性 コスト・人員効率はどうか。 5.3.1 大駆性 コスト・人員効率はどうか。 5.3.1 大駆性・独創性 日本の経過に必定できたが。 5.3.1 大駆性・独創性 日本の経過に必定できたが。 5.3.1 大駆性・独創性 日本の経過に必定できたが。 5.3.1 大駆性・独創性 日本の経過度に対してきたが、 5.3.1 大駆性・独創性 日本の経過度に対してきたが、 5.3.1 大駆性・独創性 日本の経過度に対していた。 5.3.1 大駆性・対していた。 5.3.1 大駆性・対していたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいたいた								-							·
「成果			植	成人麻	しん・原	臥しん		-		10					妾種率
1 赤ちゃん訪問時、乳幼児健診などの機会を捉えた接種勧奨や、保育園と連携した未接種者への接種勧奨を行い、子どもの定期接種の接種率向上へと結びついたことから、感染症の発生が抑制できました。 2 任意予防接種費用の助成を行うことで、ロタウイルス感染症などの重症化予防に繋がりました。 〔課題〕 予防接種の必要性について、広報等の活動や、医療機関等との連携・強化が必要です。特に、小学校就学以降に接種開始となる予防接種は接種率が低く、積極的な接種勧奨が必要です。 特に、小学校就学以降に接種開始となる予防接種は接種率が低く、積極的な接種勧奨が必要です。 「神価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性 変質性 (日民ニーズ、事業の必要性は、10.7.5 公平性 (独創性 (公平性) 受益者の偏りはないか。 5.3.1 公平性 (公平性) 受益者の偏りはないか。 5.3.1 有効性 目標数値は達成できたか。 5.3.1 有効性 目標数値は達成できたか。 5.3.1 表駆性・独創性 (他の見本となりえるか。 5.3.1 表駆性・独創性 (他の見本となりえるか。 5.3.1 表駆性・独創性 (他の見本となりえるか。 5.3.1 発駆性・独創性 (他の見本となりえるか。 5.3.1 発展・発展・発展・発展・発展・発展・発展・発展・発展・発展・発展・発展・発展・発													84. 6	%	
評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性 独創性 空当性 行政必須か、委託の可能性は。 10,7,7 公平性 受益者の偏りはないか。 5,3,1 行政必須か、委託の可能性は。 10,7,7 公平性 受益者の偏りはないか。 5,3,1 有効性 目標数値は達成できたか。 5,3,1 有効性 コスト・人員効率はどうか。 5,3,1 会駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1 会駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1 会取性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1 会取性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1 会取性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1 会取性・独創性 の見本となりえるか。 5,3,1 会取性・独創性 の見本となりえるか。 5,3,1 会取性・独創性 の見本となりえるか。 5,3,1 会取性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1 会取性・独創性 他の見本となりるなり、会取せ・企業を表現する。 5,3,1 会取せ・独創性 他の見本となりるなり、 5,3,1 会取せ・独創性 他の見本となりるなり、 5,3,1 会取せ・独創性 他の見本となりるなり、会取せ・企業を表現する。 5,3,1 会取せ・独創性 他の見本となり、会取せ・企業を表現する。 5,3,1 会取せ・企業を表現する。 5,3,1 会取せ・企業を表現する。 5,3,1 会取せ・独創性 他の見本となり、会取せ・企業を表現する。 5,3,1 会取せ・企業を表現する。 5,3,4 会取せ・企業を表現する。 5,3,1 会取せ・企業を表現する。 5,3	成果と 課題	1 へ発 0 課 予	赤安とはた題がまた。	種勧奨を 抑制でき 予防接種 種の必要	行い、 まました 重費用の E性につ	子ど。 助成。 いて、	もの定期技 を行うこと 、広報等 <i>0</i>	接種の接種 ごで、ロタ D活動や、	率向 ₋ ・ウイル 医療	上へルス	と結びつい 感染症な。 等との連	いたこ どの重 携・強	とから症化予	、感染防に繋です	症の がりす 。
評価点 7 10 5 3 3 1 有効性 目標数値は達成できたか。	———— 評価項目			妥当性	上 公	——— 平性	有効性	効率性		7.1 .					
評価点 7 10 5 3 1 効率性 コスト・人員効率はどうか。 5.3.1 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5.3.1 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5.3.1 た取性・独創性 他の見本となりえるか。 5.3.1 た取性・独創性 他の見本となりえるか。 5.3.1 たりに対している。 5.3.	- 1 Iped - 25	د نه	~ ı -	A -		, 1-	112011	~~J~ II	独創	性	公平性	受益者の	偏りはない	か。	5, 3, 1
評価点 計 (40点満点) 判定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止	評価点	7	7	10		5	3	3	1		効率性	コスト・	人員効率は	どうか。	5, 3, 1
(年の点調点) - リンが技術が、特別など、安化の技術と、先生						29	判定基準			現状網	維持 C∶改	善・効	率化し継	続、委託	
世当課による判定と埋田 		4 0 5	は神兄	.)	ئسا						、安託の快	ăy ⊏	· 1/1 III 、 19	光	
		I					担当課に	よる判定	と埋田	1					

市町村長は、予防接種法に基づく定期接種を実施することとされています。任意接種についても、感染症のまん延や重症化予防のため継続して実施していきます。

1 事業の成果及び評価

_ 一般会計

1 事業 <i>0</i>	D成果及び	評価								一般会計
事業番号	1306	事業	名	まちの保	健室事業			事業区分	■新規	見 □継続
担当課	子育て健康	康課			担当係	健康推進	係			
予算区分	款		衛生費	ŧ	項	1 保健	衛生費		∄ 3	健康づくり推進事業費
			終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)		
年	度	予算			国庫	県支出金	その化		一般財源	備考
		(千F	円)	(千円)	支出金	宗义山並	(収入)		一阪別が	
平成28	8年度		450	414		207			207	
平成28年	度(明許)									
活動	項目	単位	年月		6(実績)	27(実績	責)	28(実績)	29	30
			目標		_	_		1	1	1
実施地区を	と増やす	地区	実					1		
がなか	4の別人		達成			_		100.0%	10	20
継続参加者 が増える	の割合	%	目標			_		6. 5	10	20
い増んる (年間2回以上	- 参加)	70	達成					0. 0		
			目標		_	_		12	12	12
建康教室開		部落	実統					4		
数が増える	o .		達成					33. 3%		
事業の対象	下细地区	八尺的	TA フドも	4. 区分足	を対象にモ	ニニュめに	宇佐			
(だれに)	I 기사가 나 C	ムスは	スいり	四四八八	ころろにて	- / /レロリー	大心			
めに)	〇 下郷	地区公	民館、	下郷地	区健康づく	くりリーダ	ーと協	づくり活動 力し、健康 養大学と協同	チェックと	と講話をセット
事業の										
実施状況	教室	開催り	犬況							
		実施[回数	参加者網	総数 39歳	以下 40~	64歳 65	歳以上		
		6[1	203	_ 24	人 78	人	81人		
					•					
	得ており、	、教室 報提供	に継糸	・ 売して参	加される力	ちも出てき	てます	。健康チェ	ックや講詞	とに対して好評を 舌等で健康に 建康づくりに
	同時開催 今後、	でない 事業の	回は参 普及や	参加者が や運営に	少なく、-	-人ひとり (の方に関	に声か わって	けが必要な	現状があり	方は、イベント時と ります。 ⊠の健康づくり
評価項目	必要性	妥当		公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性		住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りに 目標数値は達成	き託の可能性は。 10, 7, 3, 0 はないか。 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	U	1	3	3	5	効率性	コスト・人員交	か率はどうか。 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			32	判定基準	D:規模縮小	ヽ、終期詞		善効率化	し継続、委託の検討
					担当課に	よる判定	と理由			
	地域の方(着と、他)					きえること	ができ	る機会であ	り、今後、	下郷地区での定

1 事業の成果及び評価

一般会計

1 事業の	D成果及び	評価										一般	会計	
事業番号	107	事業	く は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	教育					事業区分		□新規	見		■継続
担当課	子育て健康	東課			担当係	健康推進	係		•					
予算区分	款	4	衛生費		項	1 保健	衛生:	費			3	健康	づくり	推進事業發
		最	終決	拿額		事業費財			(千円)		_			
年	度	予算			国 庫			-					備	考
•	~	(千)		円)	支出金	県支出金	(収.		起債	一般	財源		17113	-
平成2	8年度	`	367	303		143	, , , ,				160			
平成28年						110					100			
活動		単位	年度	26	(実績)	27(実績	ŧ)	20	(実績)		29			30
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	<u> </u>	甲亚	<u>+ 及</u> 目標	20	35	27 (美 和 35	₹/	20	35		35			35
部落健康教	效室の開	回	<u>日保</u> 実績		21	29	-		26		30			30
催		▎╚┤			60	83			74					
			目標		8	8			8		8			8
事業所健康	長講座の		実績		5	2			4					
開催			達成率		63	25			50					
事業の対象	全町民		22/24							ı				
(だれに)	王则以													
事業の目的(なんのために)		受診や す。 予防や	生活習慣生活習慣生活習慣	改善 ^領 病に原 延伸る	等健康管理 関する正し を図るため	型への意識 い知識の か、健康教	普及育を	め ・ 客施	町民の健原 発及び、2 しました。	東寿1	命の発習慣等	延伸を	目的	として
実施状況			 集	項 団健	目 康教育	実施回数 4])	延参加者 9!	数(57	(人)			
成果と課題	推のた 事で課 がと 進定。 働業い 題健大な 健し着 き所ま 〕 康変り 康	て等(世です) 教だま 講理おの(代の。)室かす 座由り普)の健()をら。 をが	、及方康実実た講施とたあからからさたありまよたよよたよよこよよ <th>落が 健催 な意 なげっこう ままり いまり いまり いまり いき かいき かいき かいき かいき かいき かいき かいき かいき かいき</th> <th>は健た く進 部が 事像と にて 固あ が</th> <th>高寺こ すゝ ミリ みこまのよ すま 化、 くのりたり るす し他 、協をめ、 関。 て事 勤議感の来 心定 い業 務を</th> <th>受年 を着 まで 体診度 高し す集 制</th> <th>の以 めて 。ま の必降 、い 実ら 多</th> <th>要性、 集部 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学</th> <th>舌た いで いの 客智</th> <th>関施 だ、 由乗 ののに く健 と開 た</th> <th>見胡 こ東 し雀 ら直待 と意 て等 時しか を諳 はの 間</th> <th>、 が持 目は 、 工 が 調 で 的 高 『 夫 取</th> <th>動ま にま 人が り習し 、っ 集必 にめ め く</th>	落が 健催 な意 なげっこう ままり いまり いまり いまり いき かいき かいき かいき かいき かいき かいき かいき かいき かいき	は健た く進 部が 事像と にて 固あ が	高寺こ すゝ ミリ みこまのよ すま 化、 くのりたり るす し他 、協をめ、 関。 て事 勤議感の来 心定 い業 務を	受年 を着 まで 体診度 高し す集 制	の以 めて 。ま の必降 、い 実ら 多	要性、 集部 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	舌た いで いの 客智	関施 だ、 由乗 ののに く健 と開 た	見胡 こ東 し雀 ら直待 と意 て等 時しか を諳 はの 間	、 が持 目は 、 工 が 調 で 的 高 『 夫 取	動ま にま 人が り習し 、っ 集必 にめ め く
評価項目	必要性	妥当	4性 公 ³	平性	有効性	効率性	先馴 独倉		必要性 妥当性 公平性	行政必 受益者	ーズ、事 須か、委 の偏りは	託の可能ないか。	能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	7	' ;	3	3	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	コスト	値は達成 ・人員効 本となり	率はどう	うか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		2	9	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小			^{元駆任・独劇任} 維持 C∶改 E、委託の検	善・多	効率化	し継続	、委託	
					担当課に	よる判定	と理日	b						
В					進事業等 <i>σ</i>)取組を広 よ継続した	く町	民に				<u>د</u>	に、	地域づ

1 事業の成果及び評価 一般会

1 事業の)成果及び	評価								•	一般会計	
事業番号	109	事業	名	健康診査					事業区分	□新規	ļ l	■継続
担 当 課	子育て健康	東課	_		担当係	健康推進	係					
予算区分	款	4 1	氧生費	ŧ	項	1 保健	衛生殖	費	E	3 1	健康づくり	推進事業費
		最	終	決算額		事業費財			(千円)			
年月	叓	予算		., .,, .,,	国庫		その			60.04.70	備	考
		(千円		(千円)	支出金	県支出金	(収)		起債	一般財源		
平成28	3年度	39.	514	36, 441		547		281		35, 613		
平成28年		,		,						,		
活動		単位	年月	专 26	(実績)	27(実績	事)	28	(実績)	29		30
		7-1-	目標		_	35			40	45		50
各種がん様	(彰学彰	%	実統		_	28. 8			29. 2			
率 (平均)			達成		_	82. 3%			73%			
事業の対象	1045 N. I.											
(だれに)	19歳以上の	の則氏										
事業の目的 (なんのた めに)										疾病の早期 を目的とし		·期治療
事業の 実施状況	及び医療 〇 大腸7	療機関 がん検 及び健	委託権診につ	検診、部落 ついては5	喜巡回結核 受診率アッ	ጷ・肺がん √プ対策と	検診 して、	を実	施しました 持役場窓「	予防のため た。 コで検診受 を実施し、	付・検体	容器
成果と課題	が 目が 名平が 今 問 記 子 が は ま 子 が は ま 子 が も で に ま う に ま う に ま う に ま う に ま う に も に も に に も に も に も に に も に に も に に に に に に に に に に に に に	検がん受検もがいがんという (4) (4) (5) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	診8%、 お野球で 1000	平 均 が 受 な の で る の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で が め が め が が が が が が が が が が が が が	、 第 6%、 38.6%、 全ではら92. 特密受受 特の 90.9%、 手 を すの 手 を を の の の の の の の の の の の の の	28.8%から 乳がん:20. 全てのがん 0%へでは も受に努め 乳がん:92. 520歳他の年	29. 2 3% 検 は が ま % き 増 ん す 、 き に い ま い ま い ま に い ま に り る り に り る り に り る り に り た り に り と り と り と り と り と り と り と り と り と	%大こ加の。大善率比ぐへ腸お・早・腸・がべた	増加: 28. 増加: 28. がて、 要し見 が くい の の の の の の の の の の の の の	7%、子宮か 率が増加し	べん:28.8 ており、 いため、 いた:1009 夫の発症 が必要症 が必要症	%) !です。 !は
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有効性	効率性	先駆 独創	LI M	妥当性 公平性	行政必須か、委託 受益者の偏りはな	その可能性は。 ないか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	10)	3	1	3	1		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成でコスト・人員効果 他の見本となりを	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			28	判定基準		ヽ、終其	明設定		善・効率化し 討 E:休止		その検討
					担当課に	よる判定。	と理由	3				
В	町民の健児	東増進	•疾症	丙予 防施5	- 策として必	必要であり	、継	続す [.]	べきである	ると考えま	す。	

9-21

1 事業の成果及び評価

━ 一般会計

	の成果及び	評価			_						一般会計	-
事業番号	108	事業	名 健	康相談				事業	区分	□新規	見	■継続
担当課		康課			担当係	健康推進	係					
予算区分	款		氧生費		項	1 保健	衛生費		E	3 3	健康づくり	推進事業費
				 上算額		事業費財	源内訳	一(千)	円)			
年	度	予算			国庫	県支出金	その化		債	一般財源	婧	考
		(千円	円) (千円)	支出金	宗义山立	(収入]貝	一阪別源		
平成2			43	35		7				28		
平成28年	度(明許)											
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	(美)	28(実統	責)	29		30
参加者の原	1. 市 七 二		目標		_	_				1.1		1. 1
参加省の// 濃度を下げ		%	実績					1. 2				
版文と「い	7 %		達成率	<u> </u>				- 10				F.0
ᄻ	¬ 14.L		目標		-	-		40		45		50
健康相談回	山 致		実績	-				41	0/			
			達成率	2				102. 5	%			
事業の対象(だれに)	町民											
(/2/11/2)												
事業の目的 (なんのた めに)	民の健康I 〇 毎月(こ対す の定例 ^の	る不安 健康相	の軽減 ^っ 談の実績	や町民の優 施、健康教	と等が対応 建康管理及 数室や栄養 に関する相	び健康 講座、	増進を まちの ⁶	図り: 保健:	ます。 <u></u> 室の機会に		
	健康	相談開	催状況									
			J	回数		参	加者数					
事業の	年	度	()内は		相談の数	()内は定位			65歳:	未満(再掲)		
実施状況	H	26	() [] []	26 (12			5 (45)	10000		27		
		27		45 (12			1 (37)			71		
	-	28		41(12)			8 (40)			135		
			F/+ ‡ た			L TO	- (/			100		
	* 11	20-12	(100)	小水灶	主(切姓)	*100% (* 6	. 0					
成果と 課題	ています。 ことでくき ただくき・ 〔課題〕 65歳以	。また 則定結: っかけ 上の利	、部落 ⁶ 果にり 者が、	健康教3 いて相i ました。 であ	室や栄養 談をされた り、まち <i>0</i>	ta は は は は は は は は は に の に に に に に に に に に に に に に	の保健 の血圧 外では	室等のなや塩分	機会(摂取) の利(こ合わせて 量などに関 用が少なく	〔健康相詞 関心を持つ	炎を行う ってい
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	公平性		住民ニーズ、事: 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	7		1	3	3	1	有効性 効率性 先駆性	・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			22	判定基準		ヽ、終期:			善・効率化 討 E∶休止		託の検討
					担ヨ誄に	よる判定。	∠理出					
	町に相談村実施しまっ		あるこ	とにより	り、日々の	D健康管理	や不安	の解消	に繋っ	がるため、	今後も糺	迷続して

━ 一般会計

1 事業の)成果及び	評価			-					一般会計	
事業番号	110	事業	名	訪問指導				事業区分	□新規	見 I	■継続
担当課	子育て健康	隶課			担当係	健康推進	係				
予算区分	款	4 1		 費	項	1 保健	衛生費		3	健康づくり	推進事業費
		最	終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)			
年	叓	予算			国庫		その他	1	60.04.10	備	考
		(千円		(千円)	支出金	県支出金	(収入)		一般財源		
平成28	3年度		335	185		11			174		
平成28年											
活動		単位	年	度 26	(実績)	27(実績	青)	28(実績)	29		30
訪問指導第		7 12	自			45	R/	50	55		60
紹介状返去		%	実		_	50		41.4			
60%(最終			達成		_	111.1	%	82. 8%			
事業の対象						事 事該当	者で血	糖值・HbA 1	c値の高	い人、腎	幾能低下
	推進しま [・] 〇 がんれ 必要に ¹	す。	密検、保質	查未受診 健師、看 這施状況 訪 表診勧奨等	者、慢性腎 獲師による 問内容		尿病重を行い	訪問指導を 症化予防訪 ました。 <u>訪問件数</u> 34 29			· · · -
	検化〔1 無関も 7 を 1 を 1 を 1 を 1 を 2 を 2 を 2 を 3 を 3 を 3 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4 を 4	で繋 윷返ずと結、医い 査信、考果経療で 未が医えか過	機い 受な療まら観関き 診か機す血察	に 繋が。 者っ関。 液の 大が を を で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も で も に で も に に に に に に に に に に に に に	ました。 stand おいました。 stand おいまり かいまかい カコントロ	き後も、継 の際持った ルイン でいる でいまい かいしょ かいてい かいてい はいない はいない かいない かいない かいない かいない かいない かいがい かいがい か	続 検よわ がいて 紹周る 受一	全訪 介知人 けス も が も も も も も も も も も も も も も	行い、 の で は ま療 い が か か か が か が か が の の に の の の の の の の の の の の の の	E 医療・たれた協 から う 理 状 沢 か が と 大 大 た た た に は に た に は に は に に は に は に は に は	症の、もカを
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性		住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。ないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	10)	1	1	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			26	判定基準		ヽ、終期記	状維持 C∶改 设定、委託の検			モの検討
					担当課に	よる判定	と理由				
В	町民の疾	_ 病予防	・重	—— 症化予防力	— — 施策として		べきで	あると考え	 _		

(単位:千円)

				位:千円)
(款−項−目−事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ページ)	(備考)
一般会計				
建設課	1,029,610	706,970		
7.土木費	1,026,610	706,664		
1.土木管理費	5,365	5,276		
1.土木総務費	5,365	5,276		
土木総務事業	5,365	5,276	10-1	
うち繰越分	3,570	3,563		
2.道路橋梁費	749,620	523,989		
1.道路維持費	66,642	56,279		
道路維持管理事業	66.642	56,279	10-2	
2.道路新設改良費	636,819	421,874		
町道等改良整備事業	636,819	421.874	10-3	
うち繰越分	8,730	8,717		
3.除雪対策費	44.659	44.580		
除雪対策事業	44.659	44,580	10-4	
4.鳥取県中部地震対策費	1,500	1,256	10 1	
鳥取県中部地震対策事業(建設課)	1,500	1,256	10-5	
3.河川費	157,600	86,947	10 0	
1.河川維持費	6.600	2,854		
河川維持管理事業	6.600	2,854	10-6	
2.河川新設・改修費	151,000	84.093	10 0	
フナガケ川改修事業	151,000	84.093	10-7	
4.都市計画費	,	4,149	10-7	
1.都市計画総務費	4,313 1,570	1,533		
一般管理費	1,570	1,533	10-8	
2.公 園費	2,743	2,616	10-0	
2.公园页 小公園管理事業			10-9	
	2,743	2,616	10-9	
5.住宅費	109,712	86,303		
1.住宅管理費	50,980	43,920	10 10	
住宅管理事業	26,111	20,404	10-10	
うち繰越分	370	340	10 11	
コーポラスことうら管理事業	24,869	23,516	10-11	
2.住宅建設費	56,732	40,397	40 10	
公営住宅等整備事業	56,732	40,397	10-12	
3.鳥取県中部地震対策費	2,000	1,986		
鳥取中部地震災害対策事業(住宅費・建設課)	2,000	1,986	10-13	
10.災害復旧費	2,999	305		
2.地震災害復旧費	2,999	305		
2.鳥取県中部地震対策費	2,999	305		
鳥取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・建設課)	2,999	305	10 - 14	
12.諸支出金	1	1		
1.諸費	1	1		
1.国県支出金返納金	1	1		
国県支出金返納金	1	1		事務費

1 事業の成果及び評価

	の成果及び												
事業番号	222	事	業名	土木	総務		Λ4. 1±. 66. ₹Π	I -		事業区分	□新規	見 I	■継続
担当課		-		#			維持管理		#			1 40 34	曲
予算区分	款	- 最	<u>土木</u> 終	負 決算	5 安石	項	1 土木 事業費財			<u> </u> (千円)	1	土木総務	貧
年.	度	予算	彩 算額 ·円)	八子		国庫支出金	事未貢 <u></u>	源内 その (収	D他	起債	一般財源	備	考
平成2	R午使		1, 795		713	又山亚		(48	638	400	675		
平成28年度			3, 570		563				582		181		
活動		単位		度	,	(実績)	27(実績	書)		(実績)	29		30
設定なし		7 12	月実	標 !績		- -	- 7 (3 (4)						
事業の対象(だれに)	土木組	総務	连F	戊率_									
事業の目的 (なんのた めに)	急傾急	斜地崩	崩落対	策事	業の排		総合整備等 リ、安全な					かを実施す	·る。
事業の実施状況	2. 道路 3. 全国 4. 海岸	地区 関係期 治水	 急傾斜 明成会 砂防協 湾関係	負担金 協会鳥 系協会	道取県負担	支部負担: 金	進期成同盟			体)	59 千円 110 千円 20 千円 48 千円 300 千円		
成果と課題	 2. 各げ公平 題急は社 1. (1) 傾相会 	道こ地28年 斜応資本	関が急度 崩負整係で傾に 壊担備 対抗	ひき 斗操 が 浴 対す 対す 対す 対す ままま ままま ままま ままま ひき おまま きょう おまま かく おいま きょう かい	会た壊て 業る付	通じて国際 事用道路の 調、 で で で で で の で の の の の の の の の の の の の	の関 整の 量はが国 動係 備現 のあ減へ き機 推状 段る少の が関 進復 階が傾要	デ こ日	冥 、残 益まる活 施す 者で中	動を行い では かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい でまれ かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	整り 生て獲す路 はし 、まにかせ向り	系予算の教育の教育の教育の教育の教育の教育を表現である。 ここの おいまい まんしん かいきん かいきん かいきん かいきん かいきん かいきん かいきん かいき	だとして 記すまで 記動は重
評価項目	必要性	妥当	当性	公平	~性	有効性	効率性	先馬 独倉	게사	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。ないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	1	0	1		3	3	1	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			2	8	判定基準		\、終	期設定		善・効率化 討 E∶休止		
						担当課に	よる判定	と埋日	Ħ				
В		の要う	星が多	く整値			きの高い急 は、国庫交					ら算確保に	おいて

1 事業の成果及び評価

	ノ队未及し	<u> </u>										
事業番号	226	事	業名	道路維持	管理事業			事業区	分 [コ新規	見	■継続
担当課	建設課				担当係	維持管理	!係					
予算区分	款	7	土木	費	項	2 道路	橋梁費		П	1	道路	維持費
		最	終	決算額		事業費則	排原内訳	(千円))			
年	度		算額 ·円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	. その他 (収入)	起債	一般	財源		備考
平成28	8年度	66	6, 642	56, 279)	77	32, 000)	24	, 202	H29繰	越額9,750千円
平成28年度	(明許)									0		
活動	項目	単位			6(実績)	27(実統	漬) 2	8(実績)		29		30
LED街路灯	新設・取		旦	標	200		230		00		150	
替	191 112 -12	基		績	241		225		82			
			连点	戊率	120. 5%	į	7. 8%	91.	U%			
事業の対象(だれに)	町道	施設及	及び付	属物								
事業の目的 (なんのた めに)	町道(る。	の歩行	亍者、	通行車両	の安全を図	図るため、	道路、街	i灯、安全	全施設等	等の約	推持修	繕を実施す
		灯LEI	D取替	-	佫線側溝修	 逐繕工事			10, 130 8, 343			

【成果】

事業の

実施状況

成果と 課題

В

- 1. 街路灯LED灯具への更新177基、新設5基を行い、通行者の利便性及び防犯能力向上に寄与することができました。
- 2. 町道の舗装、側溝、安全施設等の修繕や更新を行い、道路機能の保全を図りました。



5. カーブミラー及び防護柵等安全施設の設置・修繕(19箇所)

3. 町道鳴り石の浜線舗装新設工事

4. 町道槻下法万線ほか区画線工事

7. 道路台帳整備業務

6. 道路の老朽化等に伴う補修・修繕等対応

町道鳴り石の浜線舗装工事



2,574 千円

2,348 千円 2,516 千円

10,758 千円

6,264 千円

町道坂ノ上部落線側溝修繕工事

【課題】

- 1. 町道の老朽化や破損箇所はパトロールや住民からの通報で発覚することが多く、数値目標の設定は困難です。
- 2. 昭和30年代〜40年代にかけて町道認定した路線を数多く抱えており、橋梁や舗装、道路側溝の老朽化が進んでいます。道路施設の老朽化に加えて住民の安全意識向上により、数多くの地元要望を受けているが、予算を無尽蔵に投入することは困難であり、高まる要望に対応が追いついていません。

	評価点 計40点満点		30	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				その検討
計画点	ט	10	ა	ა	၁			他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	2	2	9	1	有効性 効率性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
						独創性	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性		妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
						先駆性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0

担当課による判定と理由

町道は、国道・県道から続く毛細血管的な役割を果たし、住民生活の移動手段だけでなく、物流面からも欠かすことができない施設であるため、永続的に機能を保持することが必要です。

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業の成果及び評価

· +~~/////	~~ ·	DI IM															
事業番号 2	228	事美	Ě名	町道:	等改」	良整備事業	Ę				事業	区分]新規	見	■継続	į
担 当 課 建設	決課					担当係	土木	系									
予算区分	款	7	土木:	費		項	2	道路	橋梁	費		E		2	道路	新設改良鄧	貴
_		最	終	決算	額		事業	費財	源内	訳	(千F	円)					
年度			算額 円)	(千	円)	国 庫 支出金	県支は	出金	そ0 (収	D他 入)	起 [·]	債	一般	財源		備考	
平成28年月	芰	628	3, 089	413	, 157	228, 207			52	, 900	125,	600	6,	450	H29繰	越額207, 700	千円
平成28年度(明	月許)	8	3, 730	8	, 717	4, 613	1,	040			2,	800		264			
活動項目		単位	年		26	(実績)	27	(実績	Į)	28	(実績	()		29		30	
社会資本整備総合		3	且			455,000		000,		762	, ,				, 000	504, 000,	000
金(目標:事業費額、実績:配分額	(安望 j)	円	実達原			, 455, 000 63. 3%		650, 6. 4%			5, 179 <u>,</u> 59. 9%			6. 5%	, 000 6		
ま ** の共存																	

事業の対象 (だれに)

ICアクセス、通学路整備、改良事業、橋梁修繕、側溝修繕

事業の目的 (なんのた めに)

基幹町道の改良、通学路の安全確保、物産館ことうらへのアクセス道路、橋梁の耐震補強等 を実施する。

【主な実施内容】

〇社会資本整備総合交付金実施事業(町単独実施分含む)

事業の 実施状況

> 成果と 課題

1. ICアクセス整備

199,997 千円 (H29繰越額22,800千円) 2. 道路改良 52,560 千円 (H29繰越額20,000千円) 3. 通学路安全対策 48, 193 千円 (H29繰越額19, 800千円) 4. 橋梁老朽化対策

5. 防災・安全対策

36,617 千円 (H29繰越額37,530千円) 62,388 千円 (H29繰越額97,200千円)

【成果】

1. 道路改良や修繕を実施し、主要な施設へのアクセス改善や通学路の安全対策のほか、大規 模修繕により、道路機能の向上または保全を図ることができました。



ICアクセス整備(町道別所中線道路改良工事)



通学路安全対策 (町道八幡坂線道路改良工事)

【課題】

- 1. 国交付金を活用しながら事業を推進しており、配分により計画の進捗が左右されます。
- 2. 道路施設の老朽化に加え住民の安全意識向上により、地元から数多くの改良等要望を受け ているが、交付金の配分が低下している中で、事業未着手の路線が増加しています。 交付金の配分率を上げることによって事業進捗を加速させるため、特化メニューによる重 点配分を受けられるよう整備内容等、事業計画を見直していく必要があります。

	評価点 計)	32	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮/				その検討
評価点	10	10	3	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
== /== == ==	. .	61	45 1d		-1 Li	先駆性		住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0

担当課による判定と理由

町道は、国道・県道から続く毛細血管的な役割を果たし、住民生活の移動手段だけでなく、物 В 流面からも欠かすことができない施設である。道路交通のあり方も代わってきているため、主 要路線については随時改良が必要と思われます。

	の成果及び								
事業番号	787	事業名	除雪対策				事業区分	□新規	■継続
担当課		- 11-	#	担当係		上手 : 加 井		7 1 0 180	5.4.1 佐 弗
予算区分	款	7 土木 最 終		項	2 道路			3 除	雪対策費
年	度	版 終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	国庫支出金	事業費財	源内訳 その他 (収入)	起債	一般財源	備考
平成2	8年度	44, 659			2, 778	(10 40 47		41, 802	
活動	項目			(実績)	27(実績	2	8(実績)	29	30
設定なし		美	標 注 技 本						
事業の対象(だれに)	町道 2	260路線、!		5路線					
事業の目的 (なんのために)	積雪時(る。	こおける通	i勤・通学□	時や緊急車	車両の交通	を確保し	ノ、住民の <u>'</u>	安全・安心な	生活に資す
事業の実施状況	2. 融雪	施内容】 除雪車両章 装置管理委 事業所保存	季託料				1	, 194 千円 , 227 千円 , 862 千円	
成果と 課題	2.課.2.3.4.b 建題降場現る町す除るが設雪合在故内る雪が	で課 量が、障事必車 はあ町も業要 両 減る有多者がが して 少たのくへあが がしたのくであります。	こ余 頭の余なをり入りの 高い こう	運転 が上台いて 路勢の (本語) が上台の (本語) が (大語) では (大語) できます (大語) が (大語) できます (大語) が	及び	で で で で は で き で で さ で き で き で き の に は で き の の の に は で き の に の に の に の に の に の に の の に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に 。 。 。 に 。 。	かて1名の? でのがある。 あいのはありでである。 のがのできる。 のがのできる。 のがのできる。 ではいできる。 ではいていていています。 ではいます。 ではいまな。 ではなな。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。 ではな。 では	育成を図るこ 一度に大量の く そいく、次世代 あり、次世代	の育成を支援 へるところであ 、行政への
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委託の可 受益者の偏りはない。	可能性は。 10, 7, 3, 0 か。 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できた コスト・人員効率は、 他の見本となりえるが	どうか。 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		30	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小			善・効率化し継 討 E∶休止、阝	
				担当課に	よる判定の	世理由			
В	除雪体制的	は継続して	維持しては	ハく必要だ	 があります	0			

	の成果及び	評価	'		-	*** ****					limi E		
事業番号		事業名	名 鳥取	中部均		策事業(果)	事業区分		■新規	見	□継続
担 当 課予算区分		7 ±	:木費		担当係項	維持管理 2 道路	<u>係</u> 橋梁3		l F]	4	色取值	中部地震対策
了开口刀	办人		- 小 貝 冬	額	内	事業費財			(千円)	- 1	4	河水水	中叩地辰对宋
年	度	予算客 (千円	湏		国 庫 支出金	県支出金	デストリー その (収.	他	起債	一般	財源		備考
平成2	8年度	1, 5	500 1	, 256						1,	256		
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実統	責)	28	(実績)		29		30
道路災害復	夏旧	箇所	目標 実績 達成率					1	3 3 00. 0%				
事業の対象(だれに)	町道等												
事業の目的 (なんのために)	鳥取県	中部地震	夏により	被災し	した町道を	·緊急修繕	する。)					
事業の 実施状況	2. 町道	平和開 松井線		工事		繕			1		千円 千円 千円		
成果と 課題		した。	他 Z 向 AO 3 方向	発生工前		果中部地震				完		を終え	こることがて
評価項目	必要性	妥当性	生公平	生性	有効性	効率性	先駆 独創	<u>【性</u> 】性	必要性 妥当性 公平性	行政必须 受益者の	頁か、委 D偏りは		性は。 10, 7, 3, 5, 3, 1,
評価点	10	10	3	}	3	3	1		有効性 効率性 先駆性・独創性	コスト・	人員効	できたか 率はどう えるか。	, , ,
	評価点 計40点満点		3	0	判定基準	A∶事業拡充 D∶規模縮小			維持 C∶改 ご、委託の検			し継続 、廃山	、委託の検討 :
			•		担当課に	よる判定	と理由	3					
В	町道機能	の保持を	を行うたる	め、纟	災害により	り破損した	箇所(こつ	いては復	日が必	必要で	ぎす。	

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業の成果及び評価

事業番号 231	事業名	河川維持	管理事業			事業区分	□新規	見 ■継続
担 当 課 建設課			担当係	維持管理	係			
予算区分 款	7 土オ	費	項	3 河川	費		∄ 1	河川維持費
	最 終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)		
年度	予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考
平成28年度	6, 60	2, 85	4				2, 854	H29繰越額2,900千円
活動項目			26(実績)	27(実約	き) 28	3(実績)	29	30
道路災害復旧	箇所 第	目標 				3		
	達	成率			1	100.0%		
事業の対象 淮田河	川 並活:	न ।।।						

(だれに)

準用河川、晋通河川

事業の目的 (なんのた めに)

河川の機能保全のため維持管理を行う。

【主な実施内容】

1. 浦安地区水路改修工事 八橋1区水路蓋修繕工事 1,508 千円 994 千円

事業の 実施状況

> 成果と 課題

【成果】

1. 水路の改修のほか河床及び河岸の保護を行い、排水性の向上及び河川の保全に資すること ができました。



浦安地区水路改修工事



八橋1区水路蓋改修工事

れることから、河川機能の保全及び費用対効果を勘案しながら改修していく必要がありま

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点)	30	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				氏の検討

担当課による判定と理由

В

河川・水路は生活や農業生産活動等に欠かすことができないため、永続的に機能を保持するこ とが必要です。

1 事業の成果及び評価

_ 于 未以从未及U										
事業番号 1271	事業	名	ヲナガケ	川改修事業	集		事業区分	□新	規 ■継続	売
担 当 課 建設課				担当係	土木係					
予算区分 款	7 :	土木貴	ŧ	項	3 河川	費		目 2	河川新設・改	修費
	最	終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)			
年度	予算 (千F		(千円)	国庫支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考	
平成28年度	151,	000	84, 093				84, 000	93	H29繰越額66, 210	0千円
活動項目	単位	年月		6(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29	30	
		目標		-						
設定なし		実績		-						
		達成	率	-						
事業の対象 # 四、一		187.								l

事業の対象 (だれに)

準用河川ヲナガケ川

事業の目的 (なんのた めに)

ヲナガケ川下流域において、浸水被害が度々生じていることから、駅南エリアから西側に分水し 2級河川月の輪川に放流することで、浸水被害の防止を目的とする。

【主な実施内容】

- 1. ヲナガケ川排水路整備工事
- 2. 下水道施設移転補償

74,635 千円 (H29繰越額54,300千円)

8,481 千円(H29繰越額11,910千円)

事業の 実施状況

成果と 課題

【成果】

1. 3ヵ年での整備計画のうち、2年目の整備が完了しました。 町道梅田撰果場線の区間で暗渠(BOXカルバート)埋設を行いました。



3工区BOXカルバート据付中



3工区完成

【課題】

1. 次の工区は特殊工法による施工であるため、一層の安全確保等の現場管理が必要です。 次年度が整備計画の最終年となるため、完成供用開始を目指します。

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0
	ì	۲ ا	1	137711	/// II	独創性	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
	1	4.0	•				有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
評価点	/	10	3	3	I 3		効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
	-	. •				-	先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		27	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				その検討

担当課による判定と理由

В

ヲナガケ川下流域で特に花見地区は、ヲナガケ川の越流による浸水被害に長年悩まされていた ため、事業完了後は被害軽減の効果が期待されます。

	の成果及び	評価	· <u> </u>] — / Z =	1. \(\mathbb{N}\)	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		рт іші і			
事業番号		事業名	一般管理				事業区分	□新規 ■継続			
担 当 課予算区分	建設課款	7 土 オ	- 弗	担当係項	住宅係 4 都市	計画費	l E	■ 1	都市計画総務費		
1 # 6 /1	1151	最終	<u>`</u> 決算額	7,	事業費財		(千円)	- '	即仍即自他勿矣		
年	度	予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	^{県支出金} その他 (収入)		一般財源	備考		
平成28年度 1,570			1, 533	752	373			408			
活動	項目			6(実績)	27(実績	2 (8(実績)	29	30		
設定なし			3 標 実績 成率	- -							
事業の対象(だれに)	業の対象をおおきは、おおりは、おおりは、おおりは、おおりは、おおりは、おおりは、おおりは、										
	都市の健全な発展と秩序ある整備を図るために都市計画を定め、都市計画関連事業の実施、都 市計画審議会の運営を行う。 た は字・建築物の耐雲化を促進し、町民の生命・財産を守るため、耐雲診断、改修費用の財成を										
事業の 実施状況		施内容】 計画審議 等耐震診		1 回 6 件			16 千円 1,509 千円				
成果と 課題											
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 10, 7, 3, 0		
評価点	10	10	3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。 5, 3, 1, 0		
	評価点 計40点満点		30	判定基準		、終期設5	維持 C∶改 定、委託の検		し継続、委託の検討 、廃止		
				担当課に	よる判定の	と理由					
В	都市計画	道路の見ī	直しを行っ:	た。耐震化	と対策にお	いては、	更なる推議	進が必要で	ぎす。		

	の成果及び						I —					
事業番号	234	事業名	小公園管3		公古 左		事業区分	分 □新規 ■継続				
担 当 課 予算区分	建設課款	7 土木	弗	担当係項	任 毛 係 4 都市	計画弗		2 2				
了异位刀	水人	/ <u>上</u> 小 最 終	· 決算額	块	4 filili 事業費財		区具					
年	度	予算額		国庫	県支出金	その他	(千円) 起債	一般財源	備考			
	0 4	(千円) 2,743	(千円)	支出金	***************************************	(収入)	22					
,			,		07/55/	±\		2, 616				
			.度 26 標	(実績)	27(実績	(1) (2)	3(実績)	29	30			
設定なし		実	[集] [積] 戊 率	_ 								
			園、徳万久						い広場(逢束海			
事業の目的 (なんのた めに)	公園の管理を適正に行い、町民の公共の福祉に資する。											
事業の 実施状況	【主な実施内容】 1 公園施設清掃、植栽剪定 904 千円 2 公園遊具点検 156 千円 3 公園施設修繕 1,036 千円											
成果と課題	【成果】 1. 公園遊具の点検や除草清掃等の維持管理を行い、憩いの場を提供することができました。ポート赤碕ふれあい広場ほか ・公園施設清掃、植栽剪定 ・公園遊具点検 ・公園施設修繕 【課題】 1. 公園施設、遊具が老朽化しているため、年次的に更新及び修繕を行う必要があります。											
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業(行政必須か、委託受益者の偏りはな	の可能性は。 10, 7, 3, 0 いか。 5, 3, 1, 0			
評価点	10	10	5	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成で コスト・人員効率 他の見本となりえ	はどうか。 5, 3, 1, 0			
	評価点 計40点満点		32	判定基準		、終期設定		善・効率化し 討 E∶休止、	継続、委託の検討 廃止			
				担当課に	よる判定。	と理由						
В	都市計画(の中で都市	──~ 公園等とし	—— して維持し	—— てゆく必	要があり	 ます。					

1 事業の成果及び評価

	の成果及び									
事業番号	237	事業名	住宅管理				事業区分	□新規	見	■継続
担当課					住宅係					
予算区分	款	7 土木		項 5 住宅費				1	住宅管理	費
		最終	決算額		事業費財		(千円)			
年	度	予算額		国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備	考
		(千円)	(千円)	支出金		(収入)	起惧	川文 只7 //示		
平成2	8年度	25, 741	20, 064	565	831			19, 008	H29繰越額	[5, 260千円
平成28年度	(明許)	370	340	565	831			19, 008	H29繰越額	[5, 260千円
活動		単位 年	度 26	(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29		30
1,122	~		標	-			- 15 4 1547			
設定なし			:績	_						
			戊率	_						
事業の対象	m- 24 /2 /5 /	244= #+#	カハ 4 ほぞ	· / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			15日公司1		<u>-</u>	
(だれに)	町営住宅344戸、特定公共賃貸住宅28戸、改良住宅30戸、町民住宅1戸、県営住宅34戸									
事業の目的										
	町営住宅.	、特定公共	賃貸住宅、	改良住宅	2、町民住	宅、県営	住宅の適	Eな維持管	管理を行う	0
めに)										
	【主な実活	-								
	1 住宅	通常修繕		2031	牛	11	1,756 千円			
	2 東伯	団地ポンプ	プ取替え			1	1,623 千円			
事業の		保険料					1,611 千円			
実施状況		·体质杆 ·委託料等					1,020 千円			
	5 光熱	水費	697 千円							
	〔成果〕									
	1	町営住宅等	等の維持管	理を行い	ました。					
			住宅344月			全28日	i 改良住	字30百	町民住宅	21百
					ム六貝貝	エースログ	, WKI		コル圧て	-17 -
	_		住宅34戸		1/4 ᄼᇛ	1 =====	・ ナー ・			
	2	滞納 对策	として、滞	·納局額有	件の明波	し訴訟に	.看手しま	して。		
世田し										
成果と	/=== R= >									
課題	〔課題〕									
	1	家賃滞納	が増加傾向	にあり、	引き続き対	対策が必要	要です。			
						先駆性	必要性	住民ニーズ、事		10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性	行政必須か、委		10, 7, 3, 0
						ンサルリーエ	公平性 有効性	受益者の偏りは 目標数値は達成		5, 3, 1, 0
評価点	10	10	3	3	3	1	有郊性 効率性	日標致値は達成コスト・人員効		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
н іш ж	10							他の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計		20	ded de de ser	A:事業拡充	F. B:頭状	 :維持 C∶改	- 効率化	し継続 季	チの検討
	40点満点		30	判定基準			になる話の検			10 77 17 01
	411. (I-3 4))			おお 神 1-	よる判定					
				担ヨ誄し	よる刊疋	C 垤田				
В	低所得者:	等の住民の	ため、居住	主確保を行	テう必要が	あります	-			
		·, ·, i_ \(\)	·/\ /□	<u> т в т М</u> С Т	. , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	J / J J	J			

1 事業の成果及び評価

1 事業の成果及び評価												
事業番号	1028	事業名	コーポラ		う管理事業		事業区分	□新規	. ■継続			
担 当 課 予算区分	建設課	7 土木	弗	担当係項	任宅係 5 住宅	弗		目 1 住宅管理費				
了异位刀	款 7 土木費 最 終 決算額			块	<u> </u>		<u> </u> (千円)	1 住宅管理費				
年	度	・ 取 ・ 心 予算額 (千円)	(千円)	国庫	県支出金	その他	■起債	一般財源	備考			
平成28	3年度	24, 869				(収入) 23,516						
活動		単位 年	度 26	(実績)	27(実績		8(実績)	29	30			
設定なし			標 績 龙 率	- -								
事業の対象 (だれに)												
事業の目的 (なんのた めに)	か コーポラスことうらの適正な維持管理を行う。											
事業の 実施状況	【主な実施内容】 1 住宅修繕 55件 2,687 千円 2 駐車場借上げ 1,080 千円 3 光熱水費 718 千円 4 コーポラスことうら基金積立 18,740 千円											
	[成果] 1 2 3		スことうら を行い、入 として、明	居促進を	行いました	· . 。	象者2件					
成果と課題	【課題】 1 家賃滞納が増加傾向にあり、対策が必要です。											
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委託 受益者の偏りはな	その可能性は。 10, 7, 3, 0 ないか。 5, 3, 1, 0			
評価点	10	3	3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成で コスト・人員効率 他の見本となりえ	率はどうか。 5, 3, 1, 0			
	評価点 計40点満点		23	判定基準		ヽ、終期設定	維持 C∶改 足、委託の検		継続、委託の検討 、廃止			
ı				担当課に	よる判定の	と理由						
В	雇用促進	事業団から	事業承継し	したコーオ	ポラスこと	うらを、	維持管理	を行う必要	があります。			

1 事業の	の成果及び		火	<u> </u>	十戌	ア木ル	人不	רלי שנם		木	計画计			
事業番号	828	事業名	公営 公営		整備事業事業区分						□新規 ■継続			
担当課			1 -45			担当係 住宅係 <u> </u> 項								
予算区分	款		:木費	- 47	項							2 住宅建設費		
年	度	最 予算額 (千円	湏		国庫支出金	事業質 県支出	全	内訳 その他 収入)	(千円 起信		一般財源		備考	
平成28	8年度	56, 7		397				28, 705	4,	200	2, 622	H29繰越額13,397千円		397千円
活動項目		単位	年度	26	(実績)	27()	実績)	28	3(実績)	29		3	0
設定なし	設定なし		目標 実績 達成率	- - -										
事業の対象(だれに)	町営住宅等の建替え又は改修、下水道接続													
事業の目的 (なんのた めに)	町営住宅領	等を適正	Eに維持す	する#	ため、町営	住宅等	₹の建	替え又	は改修	を行	ゔ゙ゔ。			
事業の実施状況	1 とう 2 とう 3 船望 4 成美	2 とうはくハイツ外壁補修工事監理料 702 千円 3 船望台公共下水管接続工事 1,298 千円 4 成美団地改修工事設計 2,376 千円												
成果と 課題	[成果] 1 とうはくハイツ外壁補修工事を行いました。 2 船望台団地を公共下水道排水管接続工事を行いました。 とうはくハイツ 「課題] 1 改良住宅成美団地の改修工事が地盤診断により、中止となりました。 今後の団地のあり方検討を要します。													
評価項目	必要性	妥当性	生 公平	性	有効性	効率性		先駆性 は創性	必要性 妥当性 公平性		住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能ないか。	b性は。 10 5	0, 7, 3, 0 0, 7, 3, 0 , 3, 1, 0
評価点	10	10	3	}	3	3		1	有効性 効率性 先駆性・3	独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどう	が。 5	, 3, 1, 0 , 3, 1, 0 , 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		3	0	判定基準		縮小、	終期設定			善・効率化 討 E∶休止			検討
					担当課に	よる判	定と	理由						
В	中止事業もあったが、今後も改修工事を順次行います。													

10-12

1 事業の成果及び評価

	成果及び								Lat	_	
事業番号	1358	事業名	鳥取中部地震		業(住宅費	・建設課	₹)	事業区分	■新規	見	□継続
担当課					住宅係						
予算区分	款	7 土木		項	5 住宅				3	鳥取県中部	地震対策費
<u>. </u>		最終	決算額		事業費財			(千円)		,	
年	芟	予算額	(* m)	国庫	県支出金	その		起債	一般財源	備	考
		(千円)	(千円)	支出金		(収力	()		132 447 5 413		
平成28	3年度	2, 000	1, 986						1, 986		
		·			07 / ch /:	±\		/ 			00
活動	<u> </u>			(実績)	27(実績	頁)	28	(実績)	29		30
設定なし		日	標 !績								
政定なし			· 戊率	_							
事業の対象	————— 町営住 [:]		<u>~+ </u>								
(だれに)											
事業の目的 (なんのた めに)	鳥取県「	中部地震に	より被災し	した町営信	主宅等を緊	急修綿	善する	3.			
事業の 実施状況	2 いな 3 一里	施内容】 はくハイツ り団地地別 松団地地震 団地地震緊	夏緊急修繕 夏緊急修繕					17 千円 719 千円 861 千円 297 千円			
成果と 課題	[成果]	鳥取中部均	也震災害受	けた町営	住宅の修			じた。 ^{必要性}	住民ニーズ、事	業の必要性は	I 10. 7. 3. 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆 ¹ 独創 ¹	性	妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0
評価点	10	10	3	3	3	1	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり]率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		30	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小	E B:I	見状約 設定	推持 C∶改 、委託の検	善・効率化 討 E∶休止	し継続、委 、廃止	 託の検討
				担当課に	よる判定	と理由					
Е	小規模の対	地震災害対	策はH 2 8								

1 事業の	の成果及び		-)火 [20	十尺	尹未 火。	木武	ר נעי		計画		
事業番号	1339	事業	名	鳥取県中部地	震災害対策	事業(地震災	害復旧	費)	事業区分	■新規	見	□継続
担当課					担当係							
多算区分	款			复旧費	項	2 地震				目 2	鳥取り	県中部地震対策費
年	度	最 予算 (千F		決算額 (千円)	国庫支出金	事業費財票支出金	7-0)他	(千円) 起債	一般財源		備考
平成2	8年度		999	305			, ,	305			H 29#	繰越額2,690千円
活動	項目	単位	年月	度 26	(実績)	27(実統	責)	28	(実績)	29		30
没定なし			目標 実績 達成	績	1 1							
事業の対象 (だれに)	町営住宅	等					•					
事業の目的 (なんのた めに)	鳥取県中	部地震	によ	り被災した	って 対対 と 対対 は 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対 対	2等の緊急	.修繕	以外	の修繕を	行う。		
事業の 実施状況	【主な実施 1 松ヶ	丘団地	也等地	震修繕が大きか	ったため	に、本格値	多繕は	大翌 年	305 千円 車度に繰起	引成しました	o	
【成果】 1 鳥取中部地震災害受けた町営住宅の修繕を行いました。 松ケ丘団地 地震後 養生後												
成果と 課題			地震	後						養生後		
評価項目	〔課題〕 1 必要性	修繕か 妥当	1	3一円にあ	り、年度 有効性	内に間に1	先馴	区性	越事業と 必要性 _{妥当性}	となりまし 住民ニーズ、事 行政必須か、委	業の必要	, . , . , .
評価点	业 女 庄 10	# = 1(3	_{年効圧} 5	3	独倉 1]性 	公平性 有効性 効率性	受益者の偏りは目標数値は達成コスト・人員効	ないか。 できたが	5, 3, 1, 0 to 5, 3, 1, 0
	評価点 計			32	判定基準	A:事業拡3			先駆性・独創性 維持 C:3	性 他の見本となり 女善・効率化	えるか。 し継続	5,3,1,0 t、委託の検討
(40点満点)		<i>52</i>					、安計の検	€討 E∶休山	- 、	ш
					但日酥に	よる判定	こ理は	Ц				
В	地震災害	対策は	, н	2 9 年度/	こも繰り起	越し対応し	ます	0				

			(月	<u> </u>
(款−項−目−事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ページ)	(備考)
一般会計				
上下水道課	566,777	560,276		
4.衛生費	11,330	4,830		
1.保健衛生費	1,546	1,546		
4.環境衛生費	1,546	1,546		
合併処理浄化槽設置整備事業	1,546	1,546	11-1	
3.上水道費	9,784	3,284		
1.上水道費	9,784	3,284		
	8.704	2,204		事務費
水道事業会計繰出金			44 0	<u> </u>
専用水道・飲料水供給施設等修繕補助事業	1,080	1,080	11-2	
5.農林水産業費	224,207	224,206		
1.農業費	224,207	224,206		
7.農業集落排水事業費	224,207	224,206		
農業集落排水事業繰出金	217,290	217,290		事務費
農業集落排水事業推進基金積立金	6,917	6,916		事務費
7.土木費	331,240	331,240		
4.都市計画費	331,240	331,240		
3.公共下水道事業費	331,240	331,240		
下水道事業推進基金積立金	1.749	1.749		事務費
公共下水道事業繰出金	329,491	329,491		事務費
				争伤其
上下水道課	264,148	263,523		
1.事業費	45,169	44,546		
1.処理施設費	45,169	44,546		
1.施設整備事業費	45,169	44,546		
農業集落排水施設維持管理	45,091	44,468	11-3	
うち繰越分	350	341		
農業集落排水整備事業	78	78		事務費
2.公債費	218,979	218,977		
1.公債費	218,979	218.977		
1.元金	168,075	168,074		
農業集落排水施設維持管理	168,075	168,074	11-4	
2.利子	50,904	50,903		
農業集落排水施設維持管理	50,904	50,903	11-5	
辰未未冷弥小	1,646,601	1,446,242	11-0	
上下水道課	1,646,601	1,446,242		
1.下水道費	1,283,515	1,083,157		
1.下水道費	1,283,515	1,083,157		
1.下水道整備費	1,200,104	1,001,497		
公共下水道事業	605,693	475,700	11-6	
うち繰越分	62,900	57,100		
特定環境保全事業	594,411	525,797	11-7	
うち繰越分	112,070	108,509		
2.下水道維持管理費	83,411	81,660		
赤碕処理区	39.871	38.744	11-8	
東伯処理区	43.540	42.916	11-9	
2.公債費	363,086	363,085	11 0	
1.公債費	363,086	363,085		
1.元金	247,845	247,844	11 10	
事業債償還金元金	247,845	247,844	11-10	
2.利子	115,241	115,241	44	
事業債償還金利子	115,241	115,241	11-11	
水道事業会計	591,234	550,970		
上下水道課	591,234	550,970		
1.水道事業費用	264,013	258,531		
水道事業	264,013	258,531		事務費
1.資本的支出	327,221	292,439		
水道事業	327,221	292,439		事務費
うち繰越分	56,629	56,269		ナルス
介護保険特別会計	2,252,768	2,166,371		
<u> </u>	۷,۷۵۷,100	۷, ۱۷۵,۵/۱		

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業番号	<mark>0成果及び</mark> 118	事業	名	合併処理》		置整備事業		事業区分	□新	規	■継続
	上下水道		+- /L -11	5	担当係	下水道係	/h- /L ===		<u> </u>	TEM 1 + 7 + 1	#
算区分	款	-	敦生費		項		衛生費		目 4	環境衛生	- 質
年	由	最 予算		決算額		事業費財		(千円)	<u> </u>		請考
-+-	支	(千円		(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	į l	# 15
平成28	8年度		546	1, 546	<u>文田业</u> 147	535	(427)		864		
	度(明許)	.,		.,				1			
活動		単位	年月	度 26	(実績)	27(実績	(a) (b)	28(実績)	29		30
·併処理			目標		2	2		2	2		2
化槽設置	<u></u>	基	実統達成		2 00. 0%	50. 0%		2 100.0%			
業の対象					00.0/0	30.0/0		100.0/0			
(だれに)	下水道事	業計画		14の個人							
	浄化槽を	設置する	る個丿	人に対して	て設置費の	ばの水質改)一部を補 fたに設置	助する。				小へ合 値
	補助しまっ 日本成28年月 合併浄化本 設置 国県町	す。 まは2件 きま きま まい まい で おい で おい たい で れい こ れい で れい で れい で れい で れい たい たい たい たい たい たい たい たい たい たい たい たい たい	‡の合に対す に対す 訳 13%〜 23%	併浄化槽する補助は	設置に対は、現在年	して補助し ≡間2件を言 %を補助金	っました 十画して	。います。			
	下水使用	道事業 基数(补	注計画 補助設			曹使用率が 曹設置状況 H27 33 17		8 増減 5 2	-	ました。 	
				人口(人)	Α	155	15			-0.6%	
成果と				口(人) B		481	47			-1. 9%	
課題	合併	浄化槽	使用	率(%)	A/B	32. 2	32.	6 0.4	1 1	·	
					あり、下z 要します。	水道事業計	-画区域:	外の全住月			
評価項目	必要性	妥当'	性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	行政必須か、 受益者の偏り		5, 3, 1
評価点	10	10)	1	3	3	0	有効性 効率性	目標数値は達成の		5, 3, ¹ 5, 3, ¹
				•	•				性他の見本となり		5, 3,
	評価点 計40点満点			27	判定基準		、終期設	状維持 C∶d 定、委託の根			託の検討
					担当課に	よる判定と	と理由				
В						こは合併浄 かは必要不			下水道事	業計画区均	或内との

11 - 1

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

平成 事業の成果及び評価

事業番号	1126	事美		専用水道	・飲料水供料		善補助事	業	事業区分		新規	AZZII	■継続
担 当 課 予算区分	エト小垣 款		衛生	書	担当係項	上水道係 3 上水	道費			1	1 1.	上水道費	
		最	終	決算額		事業費財		5	(千円)				
年月	支		章額 円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その((収入		起債	一般則	材源		考
平成28	年度	1	, 080	1, 080						1,	080		
活動工	頁目	単位			6(実績)	27(実約	責)	28	(実績)		29		30
補助金の	の交付	千円	実達成	績	313 —	申請な	L	1	, 080 —		_		_
事業の対象(だれに)	専用水道	また		•	施設を管理	運営する月	月水組1	合(上水道区	域以外	外)	<u>'</u>	
事業の目的 (なんのた めに)	水道施設	めの修	理費₫)一部をネ	甫助するこ	とで、用フ	火組合 (の負	担軽減を	図る。)		
	●用 <u>水組</u>				るため、補								
車業の			<mark>組合数</mark> 水組合		<mark>交付額(円</mark> 1,080,0				<mark>施設</mark> パ、水位計	L .		備考	
事業の 実施状況		2円/	八祖 口		1, 000, 0		AX /IV /IV	<u> </u>	、小江山				
	①事業の	成果を	記載す	ける。②活	動項目の結	果を踏まえ	て課題	を記	己載する。				
	[成果]		- 1.34	4 L		16-50-66-6-6			L 48			I I. \44.	
		_			炊料水供給 貴の一部を			宮す	る用水組	<u> </u> 合か「	営埋す	「る水道)	施設
	[課題] ●今後	、老	朽化し	た水道が	拖設が増加	し、修理	貴助成額	額が	増加する	ことが	が考え	えられま ⁻	す。
成果と													
課題													
		I	Ī			ī	1	<u>д</u> [л	必要性	住民二一	ズ、事業	の必要性は。	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	生 生	妥当性 公平性	行政必須 受益者の	か、委託偏りはな	Eの可能性は。 いか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7		7	1	1	1	1	3	有効性 効率性 先駆性・独創性		人員効率	≅はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	平価点 計4 0 点満点			18	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小						·継続、委詞	氏の検討
					担当課に	よる判定	と理由						
В	老朽化が	ぎ進む	中、修	§繕費助 _原	뷫は今後二	ーズが高る	まる事績	業で	す。				

___年度 事業成果説明書 兼

事業の成果及び評価

農業集落排水事業特別会計

	<u>D成果及び</u>	評価								京排水事業特別会計		
事業番号	481	事業	名 農業	集落	排水施設約	推持管理		事業区分	□新規	見 ■継続		
担当課	上下水道	課			担当係	下水道係		•				
予算区分	款		事業費		項		施設費		1	施設整備事業費		
	4,7,1			算額		事業費財		(千円)		NO DECEMBER OF PROPERTY.		
年	度	予算		ᅏᄱᄌ	国庫	1	その他	1	T	備考		
1	<i>,</i> ×	(千円		円)	支出金	県支出金	(収入		一般財源	ני מון		
平成2	2年 使			4, 468			44, 1		341			
平成28年度		40,	350	341			44, 17	- /	341			
		224 /T			(中4主)	07/==4	ŧΙ	00 (中華)		1 20		
活動	坝 日	単位	<u>年度</u>		(実績)	27(実約		28(実績)	29	30		
水洗化率		%	目標実績		85. 0 85. 6	86. 0 86. 1		87. 0 87. 0	88. 0	89. 0		
小龙儿华		90	達成率		00. 7%	100. 1)/	100.0%				
			目標		5, 000	45, 45		45, 900	46, 30	0 46, 700		
 使用料収 <i>]</i>	l	千円	実績		5, 000 5, 205	45, 45		45, 900	40, 30	40, 700		
		1 1 1	<u>天恨</u> 達成率		00.5%	99. 6%		100.0%				
			目標		50. 0	51.0		52. 0	54. 0	55. 0		
経費回収率	<u>x</u>	%	実績		47. 0	46. 2		53. 5	34.0	33.0		
作员四次一	_	/0	達成率		94.0%	90.6%		102. 9%				
事業の対象								102.0/0				
争業の対象	農業集落	排水処	理区 供	用人「	コ3,681人	(H29. 3. 3	1現在)					
(,_,,,,,,												
事業の目的	m_ = = = :L		~ _	14 - × 1	- 0. 11. 1.1-	4 a 1.55-1	* + -	7		1.45=0 o x = 4.44		
(t: 4.0) t-	町人のエ		の同上、	並び	こ公共水均	びの水質改	善を凶	るため、農	莱集洛 排刀	k施設の適正な維		
めに)	持管理を	行う。										
	適正な汚れ	水処理	のため9億	箇所の	農業排水	処理施設(り維持管	理に努めす	きした。			
適正な汚水処理のため9箇所の農業排水処理施設の維持管理に努めました。 ※()は供用開始年月。												
念 (Ла (Д Я Я Я Я Я Я Я Я Я Я Я Я Я Я Я Я Я Я												
	古布圧北 (H12. 4) 、古布圧南 (H14. 4) 、山川木地 (H17. 6) 、以西 (H19. 4)											
事業の	→ +> 4# +± :	- 年 - 中	は下 ≒コの	L + 1	ロズナ			+	(五表)	山太 m m te		
実施状況	主な維持は					d	N.	#	(ST 142)	·崎処理場		
	①汚泥:			2, 596						下等、約1,000人		
	②電気			9, 069						水を処理)		
	③保守.	点検業	務	9, 068	千円							
	4機器	等修繕	料	7, 190	千円	TOTAL STREET						
	⑤警報:			609	千円							
	[成果]											
		小家(豊集接続	λП/	加理区域 (カレロ)が	前年度	土0. 9ポイン	/ト増加し	ました		
	71///	, IU \/.	及不良机	<u>/ </u>	H27		H28	<u>増減数</u>	増減率			
	典作	+女《生 】	、口(人)		3, 213		203	-10 ↓	-0. 3%			
								•		-		
		内人口			3, 731		681	-50 ↓	-1. 3%	↓		
		化率(9			86. 1		37. 0	0.9				
成果と		料収入	、か45, 92	I千円	となり、「	前年度比1	. 4%の増	収となりま	した。			
課題	[課題]											
	1 経費	回収率	☑使用料	収入/	污水処理	費)が100%	δを大き	く下回って	います。			
	\Rightarrow	水洗化	∠率を向_	トさせ	、使用料	収入を増加	ロさせる	必要があり	ります。			
		接続	売人口を比	曽やす	ため未接	続世帯へき	日き続き	接続勧奨を	行います	0		
	⇒				抑制しま							
							が増加し	ています。				
								, C いるす。)低減を図り	1 = ナ			
		口口巴	· H J 'O II의	□ C I J	v· / 1 /	7 1 7 1V -		N 14	/ み 9 。 住民ニーズ、事	業の必要性は。 10,7,3,0		
評価項目	必要性	妥当	性 公	平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	行政必須か、委	託の可能性は。 10, 7, 3, 0		
							1年月1日	公十任	受益者の偏りは			
評価点	7	7		1	3	0	0	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効			
コールス	<i>'</i>	· /		1	ا ا	'	U		他の見本となり			
	評価点 計			0	abot at 11 and	A: 事業抗す	B:理			し継続、委託の検討		
	开圖点			8	判定基準			次には、委託の格				
•					担当種に	よる判定						
					にコホト	みる世代	二性田					
	开江理坛	ጥ⇔ ∟	ひょくい ユ	-10 1 -11 4	カルぼるニ	ミカナ ルル	心冊子	可欠火束光	でま 佳 B	日始11万~7575701		
С									じり。 (関月	月料収入の確保と		
	推持官埋	買の低	滅に努め	栓 質	当収率を Γ	リエさせる	必安か	あります。				

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書 事業の成果及び評価 農業集落排水事業特別会計 事業番号 490 事業名 農業集落排水施設維持管理 事業区分 □新規 ■継続 担 当 課 上下水道課 担当係 下水道係 予算区分 公債費 元金 1 公債費 項 目 1 決算額 事業費財源内訳 (千円) 終 最 年度 予算額 備考 国庫 その他 県支出金 起債 -般財源 (千円) (千円) 支出金 (収入) 168, 075 168, 074 平成28年度 168, 074 平成28年度(明許) 26(実績) 27(実績) 29 30 活動項目 単位 年度 28(実績) 目標 千円 実績 元金償還 162, 797 167, 501 168, 074 達成率 事業の対象 財務省、地方公共団体金融公庫ほか (だれに) 事業の目的 農業集落排水事業の整備に係る事業債の元金の償還を行う。 (なんのた めに) 事業の 平成8年度から元金償還を行っています。 平成28年度は168,074千円の元金償還を行いました。 実施状況 [成果] 1 農業集落排水事業の施設整備に係る事業債の元金償還を行いました。 [課題] 1 平成33年度まで元金償還額はゆるやかに増加します。 元金償還金の推移(平成28年度末現在) (千円) 180,000 成果と 課題 120,000 60,000 0 H28 H32 H36 H40 H44 H48 H24 住民ニーズ、事業の必要性は。 必要性 先駆性 妥当性 公平性 効率性 行政必須か、委託の可能性は。 評価項目 必要性 有効性 妥当性 独創性 公平性 受益者の偏りはないか。 5. 3. 1. 0 有効性 目標数値は達成できたか。 5, 3, 1, 0 3 3 7 10 1 0 評価点 コスト・人員効率はどうか。 5. 3. 1. 0 効率性 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5. 3. 1. 0 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止 評価点 24 判定基準 (40点満点)

B 農業集落排水事業の施設整備に係る事業債の元金償還であり、必要不可欠な事業です。

担当課による判定と理由

28 年度 事業成果説明書 兼 平成 評価書 事業の成果及び評価 農業集落排水事業特別会計 事業番号 事業名 農業集落排水施設維持管理 事業区分 口新規 ■継続 担 当 課 上下水道課 担当係 下水道係 予算区分 公債費 2 利子 項 1 公債費 目 決算額 事業費財源内訳 (千円) 最 終 年度 予算額 備考 国庫 その他 県支出金 起債 -般財源 (千円) (収入) (千円) 支出金 50. 904 平成28年度 50, 903 1.687 49, 216 平成28年度(明許) 27(実績) 活動項目 26(実績) 28(実績) 29 30 単位 年度 目標 利子償還 千円 実績 58, 550 54, 778 50, 903 達成率 事業の対象 財務省、地方公共団体金融公庫ほか (だれに) 事業の目的 |農業集落排水事業の整備に係る事業債の利子の償還を行う。 (なんのた めに) 平成4年度から利子償還を行っています。 事業の 実施状況 平成28年度は50,903千円の利子償還を行いました。 [成果] 1 農業集落排水事業の施設整備に係る事業債の利子償還を行いました。 「課題] 1 利子償還額のピークは過ぎましたが、多年にわたり利子償還が続きます。 利子償還額の推移(平成28年度末現在) (千円) 80,000 60.000 成果と 課題 40.000 20,000 0 H24 H28 H32 H36 H40 H44 H48 住民ニーズ、事業の必要性は。 必要性 先駆性 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 評価項目 行政必須か、委託の可能性は。 10, 7, 3, 0 妥当性 独創性 受益者の偏りはないか。 5. 3. 1. 0 公平性 目標数値は達成できたか 有効性 5, 3, 1, 0 7 10 1 3 3 0 評価点 コスト・人員効率はどうか 5<u>, 3, 1, 0</u> 効率性 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5, 3, 1, 0 評価点 計 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 24 (40点満点) D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止

担当課による判定と理由

B 農業集落排水事業の施設整備に係る事業債の利子償還であり、必要不可欠な事業です。

	の成果及び								下水	 道事業特	別会計		
事業番号	600	事業	名 公共	下水	道事業			事業区分	□新規	見	■継続		
担当課						下水道係							
予算区分	款		水道費		項	1 下水			目 1	下水道	怪備費		
Æ	_	最多		組		事業費財			ı		# *		
年		予算額 (千円		円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)		一般財源	1	備考		
平成2	Q 任 使		693 475				19, 37		25 200	H20繰越嫁	123, 518千円		
平成28年度		62,		, 700 , 100			3, 20				Į120, 010]		
活動		単位	<u>年度</u>		6(実績)	27(実績		28(実績)	29		30		
71 23	ХН	T Z	<u>- / (2</u> 目標		91	92		93	94		96		
進捗率		%	実績		91	91		94					
			達成率		100%	99%		101%					
事業の対象(だれに)	東伯処理[玄 計画	画人口6,7	700人									
事業の目的 (なんのた めに)	町民の生活	舌環境(の向上、	並びロ	こ公共水均	域の水質改	善を図る	るため、下	水道施設 <i>0</i>)整備を	行う。		
事業の 実施状況	実施状況 主な建設改良費												
	工事請負費 411, 215 千円 業務委託料 19, 688 千円 上水移転補償費 17, 736 千円												
	下水	道管き		に整		もしました とに伴い、 H27		積が9.9ha:]理区域[内人口		
		管きょ	延長(km)			50. 8	54.	0 3. 2	1				
成果と		整備面				56. 5	266.		-				
課題		処理区	域内人口	(人)	6	, 254	6, 32	28 74	1				
2 進捗率(処理区域内人口/計画人口)が94%となりました。 [課題] 1 下水道未普及地域の早期解消のため、事業のスピードアップが必要です。													
評価項目	必要性	妥当怕	生 公平	座性	有効性	効率性	先駆性 独創性		住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は ないか。	5, 3, 1, 0		
評価点	7	10) 1		3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
	評価点 計 40点満点		2	5	判定基準			伏維持 C∶改 対定、委託の核			託の検討		
					担当課に	よる判定の	と理由	_	_				
В	担当課による判定と理由 下水道未普及地域を解消するため、継続すべき事業です。クイックプロジェクト等を採用し事業の効率化を図り、早期に整備を完了する必要があります。												

1 事業の	の成果及び		<i>,</i> ,,,,			140000	, , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		V V	下水	一 道事第	美特別会計
事業番号	595	事業	名	持定環境ſ				事業	区分	□新規	見	■継続
担当課					担当係							
予算区分	款		下水追		項	1 下水			E	1	下水	道整備費
				決算額		事業費財			円)			
年	度	予算		(- - - - - -	国庫	県支出金	その		債	一般財源		備考
— - b.o.	<u> </u>	(千円		(千円)	支出金		収入	.)	-			+11+704 040-
平成2				525, 797				33 260			H29繰	越額61,640千円
平成28年度					44, 995			65 57		349		00
活動	項目	単位	年月		(実績)	27(実績	į)	28 (実績	貢)	29		30
進捗率		_%	目標 実統		91 90	92 90		93 92		94		96
進抄竿		%	達成		99%	97%		99%				
事業の対象				•		J 1 /0		33/0				
ず未の対象(だれに)	赤碕処理	区計	画人口	コ5, 700人								
事業の目的 (なんのた	町民の生活	活環境	の向」	と、並びに	こ公共水均	域の水質改	善を図	るため	、下៸	k道施設 <i>0</i>)整備	を行う。
めに)												
	1 平成	30年中	የ ውኙ	水冶敕件	空マカロ・	標に管きょ	. 丁吏≠	と宝佐し	+	+ -		
						ほに言さる 出上、赤磁				/ - 0		
						山土、小垣 実施しまし		ולזנית	141			
		-		プ研表後 地域:尾		ベルじしみし	//_0					
						継ポンプ場	4人白は	2	/借道	λ I ‡ I ·	t-	
					•	極ハクラッ 気設備更新			、畑 寺	ハしょし	_ 0	
					_	ス設備受る 地域の詳紛			宇施	 		
事業の		_					א ום אם ו	K171 TT C	大心	0 & 0 12	0	
実施状況	デスジー 詳細設計実施地域:太一垣、佐崎、勝田 詳細設計実施地域:太一垣、佐崎、勝田 6 下水道工事に支障となる上水道管の移転に必要な補償費を支払いました。											
		_				別所、出上 別所、出上		m IR R C	7 11	0 6 0 12	0	
	12	7411115	25200).]	. 12 11 7	,,,,,,,	- ,0					
	主な建設	改良費										
	工事請			381.	788 千円							
	業務委			88,	664 千円							
	上水移	転補償	費	20,	914 千円							
	[成果]											
	1 新た	:1=3.2k	kmの下	水道管さ	きょを整備	しました。	0					
					備したこ	とに伴い、	整備配	面積が9.	7ha增	曽加 し、奴	理区	域内人口
	<u>は15</u>	0人增加	加しま	きした。								
						H27		128	増減			
成果と		管きょ				52. 4		6. 6	3. 2	-		
課題		整備面		•		20. 9	230		9. 7	-		
		処埋区	≤璵闪	人口(人)	5	, 104	5, 2	54	150	T		
	0 7# TIP	- / bp 7	I	<u> </u>	/=1 =	1) /800a/ I	4-11-4	<i>.</i>				
	2 進捗	平(処)	埋区填	以内人口/	が 計画人口	1) が92% と	こなりま	にした 。				
	[- 田 8품기											
	[課題]	· ` * + **	ታ TL J.L.	t# ᄉᄆᄪ	初出のも	ム 古坐の	\ 7	Ľ , z "	⊸≁ଽ	心亜不士		
	ı 下水	□不音 I	汉型	以い早期	丹り日 ひり /この	め、事業 <i>の</i>		N 1d	ノか	必 安 じ 9 。 ^{住民ニーズ、事}		性は。 10.7.3.0
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	エ 妥当性		行政必須か、委	託の可能	と性は。 10,7,3,0
	五十日 文面100帰りはないが。 J, J, I, O											
評価点	7	10)	1	3	3	1	効率性		コスト・人員効	率はどう	が。 5, 3, 1, 0
				_	_					他の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			25	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小						、委託の検討 ^L
(+ U 忌酒忌				+D 가(== 1 -			以化、安良	ルジ仮	ы с.м.	- 、)発士	
					担当謀に	よる判定。	2 埋田					
_	エルドナ	<u>해</u> ┰丠.	#ポナル	辺治士フィ	- H 444	ますぐま声	サッナ		., A -	プロミシーチ	, L 🗠	た切田し古
В						πゥヘさ争 トる必要が			ツツ・	ノロンエク	/ 卜寺	を採用し事
	木いが干	in C IA	7 ·	アカハ〜正川	א כיורים א	での方文化	ひりみ	7 0				

11 - 7

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

··__ 下水道事業特別会計

1 事業の	の成果及び	評価							下水道	直事業特別会	≥計
事業番号	494	事業	名 赤碕	処理[<u>×</u>			事業区分			迷続
担当課	上下水道				担当係	下水道係					
予算区分	款		下水道費		項	1 下水	道費		3	下水道維持	管理費
				額		事業費財					
年	度	予算			国庫		その他	h	的几日十二五	備考	
		(千円		円)	支出金	県支出金	(収入)		一般財源	•	
平成28	8年度			, 744			38, 74		0		
平成28年		,					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
活動		単位	年度	26	(実績)	27(実績	責)	28(実績)	29	3	0
			目標		69. 0	71. 5		74. 0	76. 0	78	. 0
水洗化率		%	実績		67. 7	71. 7		74. 3			
			達成率		98. 1%	100. 39		100. 4%			
			目標		3, 400	66, 00		69, 000	72, 000	0 75,	000
使用料収 <i>入</i>		千円	実績		52, 132	65, 330		69, 275			
			達成率		98. 0%	99.0%		100. 4%	04.0	0.5	^
汉弗局岭	,	_,	目標		81.0	82. 0		83.0	84. 0	85	. U
怪費回収率	<u>*</u>	%	実績		81. 3 00. 4%	83. 7 102. 1 ⁰		81.3			
丰 # @ + #			達成率		UU. 4%	10Z. I	/0	98. 0%			
事業の対象 (だれに)	赤碕処理[区 供	用人口5, 2	254人	(H29. 3.	31現在)					
	を行う。 適正な汚れ 公共下水						≿赤碕浄	・化センター	-をはじめ	特定環境保全	<u> </u>
事業の 実施状況	主な維持 ①保守, ②機器 ③電気 ④汚泥。	点検業 等修繕 代 処分費	務 14 料 8 6	, 225 , 924 , 886 , 828	りです。 千円 千円 千円 千円 千円						
	[成果] 1 水洗	化率(-	下水接続。	. 🗆 /	処理区域 に	カ人口) が	前年度l	北2. 7ポイン	・ト増加しま	≢ 1. <i>t</i> ~。	
	. 711///	, <u> </u>	1 1247017	, —,	H27		H28	<u> </u>	増減率		
	下水	接続人	.口(人)		3, 658		906	248 ↑	6. 8%		
			人口(人)		5, 104		254	150 ↑	2. 9%	-	
		化率(9			71. 7		74. 3	2.7	_, 0,0	•	
成果と				千円				レンファイン U	1.7		
課題	[課題]	-1-1-1-2-2-1	.,, 50, 270		<u> </u>	1.1 T.1X 100	· · /0 · / · / · / · / · / ·	· ^ - 6 7 6	· • / • 0		
HALL		同収率	(信田料)	D λ /	モ水加理!	费) が1000	るを下回]っています	-		
				,				必要があり	-		
	~							シピテルのり 接続勧奨を			
	_					祝世帝へら 必要があり		対が割突を	いまりっ	0	
	→							ニキャナル	国の目まれ	ᅌᄼᅷᅜᄱ	=
										命化支援制度	-
	1	寺を沽	田し効準	的な	設備更新	を打い、こ		N TE LL		<u>を図ります。</u>	
評価項目	必要性	妥当	性 公立	F性	有効性	効率性	先駆性 独創性	女 当性	住民ニーズ、事業行政必須か、委	託の可能性は。 1(0, 7, 3, 0 0, 7, 3, 0
							1出 启川社	ムー圧	受益者の偏りは		3, 1, 0
評価点	7	7	1	1	3	3	0	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
п і шілі		′				U			他の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点		2	1	判定基準			状維持 C∶改 设定、委託の検		し継続、委託の	
					担当課に	よる判定。	と理由				
						きのために せる必要が			です。使用	料収入の確	保と

			平成	28	年度	事業成果説明書	事	評価書	
1	事業の	の成果及び	(評価		•			下水道事業	Ě特別 [·]
由	坐 中 口	402	古坐夕	市边加珊	7		古坐はハ	다 xc +a	

	の成果及び		•							 直事業特別	会計	
事業番号	493	事業名	東伯	処理	_			事業区分	□新規	見 ■	■継続	
	上下水道				担当係	下水道係						
予算区分	款		水道費		項	1 下水			2	下水道維持	寺管理費	
年	度	最 彩 予算額 (千円	Į į	算額 田)	国庫	事業費財県支出金	源内訳 その他 (収入)	(千円)	一般財源	備者	考	
平成2	8年度	43, 5		. 916			42, 916	3	0			
平成28年		10, 0	10 12	, 0.0			12, 010					
活動		単位	年度	26	5(実績)	27(実績	2 (8(実績)	29		30	
水洗化率		%	目標実績		70. 0 68. 9	72. 0 73. 1		74. 0 73. 8	76. 0	7	78. 0	
<u> </u>			達成率		98. 4%	101. 5º		99. 7%	00.00	0 10	2 000	
使用料収力		千円 ;	目標 実績 達成率	8	35, 000 33, 382 98. 1%	88, 400 88, 98 100. 79	1 9	92, 000 92, 644 100. 7%	96, 00	0 10	0, 000	
経費回収率	<u> </u>	%	目標 実績 達成率		88. 0 86. 4 98. 2%	90. 0 88. 5 98. 3%		92. 0 93. 3 101. 4%	94. 0	(95. 0	
事業の対象(だれに)	東伯処理Ⅰ				. (H29. 3.			. √ 1.				
±**004	町民の生活 を行 う 。	活環境の)向上、:	並びに	こ公共水均	域の水質改	善を図る	ため、下れ	水道施設 <i>σ</i>)適正な維	持管理	
適正な汚水処理のため平成15年4月に供用開始した東伯浄化センターをはじめ 公共下水道施設の維持管理に努めました。 主な維持管理費は下記のとおりです。 ①保守点検業務 15,305 千円 ②汚泥処分費 7,732 千円 ③機器等修繕料 7,683 千円 ④電気代 7,663 千円 ⑤薬品費等 960 千円												
成果と 課題	[成果] 1 水 下処水使 2 題 1 課 1 費	化接域率以 以洗接水设 化 人口 人口 人口 人口 人口 人工	コ(人) 人口(人) が92,644 使用向を 軽を口費の 理費化によ	人 ロ/ H 入さや加り に は に に に に に に に に に に に に に	型理区域 H27 4,572 6,254 73.1 と 汚、使め制が ボル押未する要	4, 6, 前年度比4. 費)が100% サンスで増かる場 が要所が増 必のである。	H28 670 328 73.8 1%の 中 せ続す ローラー リーカー		増減3 2.1% 1.2% した。 。 ます。 行います。 国の長寿	▲ ↑ ↑ ↑ ↑ · · · · · · · · · · · · · · ·		
評価項目	必要性	妥当性	公立	平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0	
評価点	7	7	-	1	3	3	0	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
	評価点 計40点満点		2	1	判定基準	D:規模縮기	、終期設2		善・効率化	 し継続、委託		
					担当課に	よる判定の	と理由					
В						きのために せる必要が			——— です。使用	料収入の	 確保と	

28 年度 事業成果説明書 平成 兼 評価書 事業の成果及び評価 下水道事業特別会計 事業番号 496 事業名 事業債償還元金 事業区分 □新規 ■継続 担 当 課 上下水道課 担当係 下水道係 予算区分 公債費 項 1 公債費 元金 目 1 決算額 事業費財源内訳 (千円) 最 終 年度 備考 予算額 国庫 その他 県支出金 起債 -般財源 (千円) (千円) 支出金 (収入) 247, 845 247, 844 247, 844 平成28年度 平成28年度(明許) 単位 26(実績) 27(実績) 29 30 活動項目 年度 28(実績) 目標 元金償還 千円 実績 233, 203 216, 892 247, 844 達成率 事業の対象 財務省、地方公共団体金融公庫ほか (だれに) 事業の目的 下水道事業の整備に係る事業債の元金の償還を行う。 (なんのた めに) 平成11年度から元金償還を行っています。 事業の 実施状況 |平成28年度は247,844千円の元金償還を行いました。 [成果] 1 下水道事業の施設整備に係る事業債の元金償還を行いました。 [課題] 1 平成40年度頃まで元金償還額の増加が続きます。 元金償還金の推移(平成28年度末現在) (千円) 400,000 300,000 成果と 課題 200,000

	C	H24 H2	8 H32	H36 I	H40 H44	1 H48	H52	H56	H60	H64	H68
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	行政必	ーズ、事業の 須か、委託の の偏りはない	の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	10	1	3	3	0	有効性 効率性 先駆性・独)	コスト	値は達成でる ・人員効率に 本となりえる	まどうか 。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点		24	判定基準	A∶事業拡3 D∶規模縮/				効率化し終 ∃∶休止、		その検討

担当課による判定と理由

B 下水道事業の施設整備に係る事業債の元金償還であり、必要不可欠な事業です。

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書 事業の成果及び評価 下水道事業特別会計 事業番号 事業名 事業債償還利子 事業区分 □新規 497 ■継続 担 当 課 上下水道課 担当係 下水道係 予算区分 公債費 利子 項 公債費 2 目 1 決算額 事業費財源内訳 (千円) 終 最 年度 予算額 備考 国庫 その他 県支出金 起債 -般財源 (千円) (収入) (千円) 支出金 115, 241 平成28年度 115, 241 78, 683 36, 558 平成28年度(明許) 26(実績) 27(実績) 29 30 活動項目 単位 年度 28(実績) 目標 利子償還 千円 実績 118, 647 117, 925 115, 241 達成率 事業の対象 財務省、地方公共団体金融公庫ほか (だれに) 事業の目的 下水道事業の整備に係る事業債の利子の償還を行う。 (なんのた めに) 事業の 平成9年度から利子償還を行っています。 平成28年度は115.241千円の利子償還を行いました。 実施状況 [成果] 1 下水道事業の施設整備に係る事業債の利子償還を行いました。 [課題] 1 利子償還額のピークは過ぎましたが、多年にわたり利子償還が続きます。 利子償還額の推移(平成28年度末現在) (千円) 120,000 成果と 課題 80.000 40,000 0 H28 H32 H52 H56 H24 H36 H40 H44 H48 H60 H64 H68 住民ニーズ、事業の必要性は。 10, 7, 3, 0 必要性 先駆性 妥当性 公平性 評価項目 必要性 有効性 効率性 行政必須か、委託の可能性は。 妥当性 独創性 公平性 受益者の偏りはないか。 5. 3. 1. 0 有効性 目標数値は達成できたか。 5, 3, 1, 0 3 3 7 10 1 0 評価点 効率性 コスト・人員効率はどうか。 5. 3. 1. 0 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5, 3, 1, 0 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止 評価点 24 判定基準 (40点満点)

担当課による判定と理由

B 下水道事業の施設整備に係る事業債の利子償還であり、必要不可欠な事業です。

所 属 名 称:出納室

(単位:千円)

(款-項-目-事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ページ)	(備考)
一般会計				
出納室	4,531	4,127	•	•
2.総務費	4,531	4,127		
1.総務管理費	4,531	4,127		
4.会計管理費	4,531	4,127		
会計管理事務	4.531	4.127	12-1	

1 車業(の成果及	半 及 び 延 価	28]年度 =	事業 灰き	未 訳明	書 兼	は一部	'曲	手 一般:	会計	
事業番号	13	事業名	会計管理	事務			事業区	分 [コ新規		■継続	
担当課	出納室				出納係							
予算区分	款	2 総務	·費	項	1 総務	管理費		目	5	会計	管理費	
		最 終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)					
年	度	予算額	/>	国庫	県支出金	その他	起債	船	財源		備考	
	0 /= 	(千円)	(千円)	支出金		(収入)						
平成2		4, 531	4, 127	0	0)	0 4	, 127			
平成28年			- 由 1 2/	2 / 中 (主)	07/中4	±\ I o	0 /中4主\		29		30	
活動	<u></u> 垻日		E度 <mark>20</mark> Ⅰ標	3(実績)	27(実績	夏) <u>【</u>	8(実績)		<u> </u>		30	
設定なし			 [_							
			成率	_	_		-		-		-	
事業の対象	今町足7	及び事業者等	•									
(だれに)	王叫氏》	X U	F									
事業の目的(なんのた	我当 乃 7 賞 4	料等の収納と	・ 車	- 伛ょ去む	た海正に	<i>行</i> 1、加.珥	オス					
めに)	北及いる	イ 寸 0ノ4X ハヤ1 C	. 尹木貝寸!	これの文章	とに関すって	110.201	= 9 O o					
	0		及び特別会	計の決算	書を各8() 部作成	し、図書	館等に	も配	架しま	ミした 。	
	_	経費105千 犯提共等		.τ. ΓΕ Ο	. / 101 0	^^+ <i>-</i>	÷ 1 + 1 +	4 ∇ ≢	81 C'	71 - 11	1	
	0		「角2」及 関における							/4 † †	1	
			判にあいる 手数料 2,		U) AX 1X U 11	十致は下記	にいての	9 6 9	0			
		金融機関		各期		件数		平成2	7年	度	増減	
				上期分	29	210	件 3	30, 204	<u>{</u>	±.	△994	
		山陰合同銀	∴行 ——	下期分				26, 365	<u>'</u>		111	
				上期分		995	<u> </u>	9, 193	<u>'</u>		△198	
		鳥取銀行	•	下期分			·· 件	7, 999	<u>'</u>		52	
		/ ^	_	上期分			·· 件	1, 429	<u>'</u>		△90	
		米子信用金	庫 —	下期分		228	<u>件</u>	1, 179	<u> </u>		49	
事業の 実施状況		合士后田会	Œ	上期分	2,		件	3, 038	<u> </u>		△168	
天心1人儿		倉吉信用金	P	下期分	2,		件	2, 631	<u> </u>		△29	
		鳥取中央農	拉	上期分				20, 547	化		△824	
				下期分	17,			4, 728	4		2, 679	
	鳥	財果信用漁	業協	上期分			件	679	<u>4</u>		△74	
	_	同組合		下期分			件 //-	555	<u> </u>		△44	
		ゆうちょ銀	行 —	上期分			件	7, 625	<u> </u>		△313	
	_			下期分 上期分			件 件	5, 012 3, 928	<u>1</u> 4		1, 546 429	
		コンビニ					件 件	2, 244			295	
				上期分				76, 643	<u> </u>		$\triangle 2, 232$	
		各期合計		<u>工物力</u> 下期分				30, 713	<u>'</u>		4, 659	
				1 701 / 1				,			·	
		総合計			139	, 783	件 1	37, 356	¥	‡	2, 434	
	_				ı							
	〔成果〕											
		平成28年度	から封筒の	管理を行	っています							
成果と		口座振替及	ゾコンビニ	による納付	付が増えま	ミした。						
課題	〔課題〕											
		口座振替に。	よる収納及	び口座振	込みによる	5支払を持	隹進し、 🤅	窓口業	務の変	効率化	を図	
	る	必要があり	ます。	1			N are to	In =		ult	1 10 7 2	
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性			業の必要性 託の可能	, , ,	
и іш д і	~ > 1	274		1179117	**3 1 	独創性	公平性	受益者(の偏りは	ないか。	5, 3, 1,	
評価点	評価点 7 10 3 3 1 有効性 目標数値は達成できたか。											
P 1 Im 1///					<u> </u>	•	先駆性・独創				5, 3, 1,	
	評価点		27	判定基準	A:事業拡充						委託の検討	
(40点満	点)			D:規模縮小		ど、委託の	検討 E	∶∶休止	.、廃止	-	
				担当課に	よる判定の	と理由						
C	突口に	よる収納事務	スた浦こし	次口类型	なのが歩ん	太回て心	あがもし	1 士 士				
0	心口に	トの収削事務	って心りし、	、心口未然	かい刈竿化	で図の光	女りのり	ノボり。				

所 属 名 称:農業委員会事務局

(単位:千円)

(款−項−目−事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ページ)	(備考)
一般会計				
農業委員会事務局	22,688	21,542		
5.農林水産業費	22,688	21,542		
1.農業費	22,688	21,542		
1.農業委員会費	22,688	21,542		
規模拡大農業者支援事業	5,876	5,772	13-1	
国有農地対価徴収	17	17		事務費
農業委員会組織関係	16,274	15,252	13-2	
農業者年金業務	516	496	13-3	
農地中間管理事業の特例事業	5	5	13-4	

1 事業の成果及び評価 -

1 事業(D成果及び	評価							一般会計
事業番号	623	事業名	規模拡大	農業支援事	事業		事業区分	□新規	見 ■継続
担当課	農業委員:			担当係					
予算区分	款		水産業費	項	1 農業	費		1	農業委員会費
		最終	決算額		事業費財		(千円)		
年	度	予算額	10 101 100	国庫	1	その他		45.51.55	備考
		(千円)	(千円)	支出金	県支出金	(収入)	起債	一般財源	
平成2	8年度	5, 876						5. 772	交付金事業
平成28年		3, 3.3	3,					٠, ـ	21122 1120
活動		単位 年	度 26	(実績)	27(実績	事) 2	8(実績)	29	30
711 233	7,1		標	100	100	-	100		
交付金の対	付象面積			62. 6	89.8		72. 1		
			戊率	63%	90.0%		72%		
事業の対象(だれに)	=30 古 曲 ※ :	<u></u>	•						•
(だれに)	認疋辰耒*	百							
事業の目的	農地の流	動化を促進	すること	で、農業に	こおける坦	い手の粗	模拡大を+	曽准Ⅰ. ₩	也域農業の担い手
(なんのた		郭 心 き 促足 率的な経営							2. 24/DC 2/C 42 122 V 1
めに)	_ 5 0 ///	5.41	.,, ,,,,,,,	,	. , ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
事業の	10056	:り、8, (2 0 0 m						
		- り、 0 ,		1 h a					
大心へん	刈豕扫	044	付 / 4.	ına					
成果と 課題	再設定が 「課題」		規設定も紀	継続的に設	没定されて	います。			< うな交付金の嵩
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委受益者の偏りは	託の可能性は。 10, 7, 3, 0
	10	10	4	_			有効性	目標数値は達成	できたか。 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	1	3	3	3	効率性 - 独創性	コスト・人員効	, , ,
							先駆性・独創性		
	評価点 計		30	判定基準					し継続、委託の検討
(40点満点	.)					と、委託の検	引 上 怀止	- 、
				担当課に	よる判定	と理由			
A	利用権設力	定年数によ	り、差が <u>st</u>	主じるのは	は(農地中	間管理事	業等)検討	対が必要で	きす。

1 事業の	の成果及び	評価			-				-	-般会計
事業番号	126	事業名		委員:	会組織関係	系		事業区分	□新規	■継続
担当課					担当係					
予算区分	款		林水産		項	1 農業] 1 月	農業委員会費
-		最終		算額		事業費財		(千円)		/++ -> /
年		予算額		ш,	国庫	県支出金	その他		一般財源	備考
ਹਾ ।	0 左 庄	(千円)			支出金		(収入)		11 020	
平成20年		16, 2	74 15	, 252	3, 422				11, 830	
平成28年		** / T	左安	26	(中(主)	07/中枢	ŧΙ	00 /中(主)	20	20
活動	垻日	単位	<u>年度</u> 目標	20	35 35	27(実約 35	Į)	28 (実績) 35	29	30
遊休農地面	. 1 主	ha	<u>日保</u> 実績		38. 4	65. 9		66		
姓 怀辰地區	山作		<u>大恨</u> 主成率		91. 1%	53. 1%		53. 0%		
		,	<u>=/%,+</u> 目標	'	850	850	,	850		
農地の利用	集積面	ha	実績		612. 1	603. 1		628		
積					72. 0%	71.0%		73. 9%		
		7	達成率_		7Z. U%	/1.0%)	73.9%		
事業の対象 (だれに)	農地所有	者、農業	経営者							
事業の実施状況	図る。	2 3 名臨	5時職員	2名(の予算によ	こり、事業	の推進	を行いまし	t= .	
成果と 課題	haとなり 「課題」 耕作放るのか、	24. 棄地の発 意向調査	9 ha増加 生防止 してい	うしま ・解え ますか	した。 肖を促す <i>た</i> が、回答率	−め、農地	利用状 め検討 りが必	況調査を行 が必要です。 要です。	い、遊休農	責を行い、628 地を今後どうす ^{の必要性は。} ┃10.7.3.
評価項目	必要性	妥当性		P性	有効性	効率性	先駆性 独創性	亚当性	行政必須か、委託 受益者の偏りはな 目標数値は達成で	の可能性は。 10, 7, 3, 0 いか。 5, 3, 1, 0
評価点	10	7		3	1	3	3	効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効率 他の見本となりえ	はどうか。 5, 3, 1, 0 るか。 5, 3, 1, 0
(評価点 計40点満点)	2	7	判定基準		ヽ、終期部	状維持 C∶改 设定、委託の検		継続、委託の検討 廃止
					担コ味に	よる刊化	上垤田			
С	事業内容	が増える	が、人	員的に	こ限られた	∠内容対応	となっ	てしまいま [.]	す。	

1 事業の成果及び評価 一般会計

	の成果及び	評価											一般会計	-
事業番号	131		事業名 │農業者年金業務							見	■継続			
担当課		会事剂				担当係	農地係							
予算区分	款	5	農林	水産業	費	項	1 農業	費		E	3	1	農業委員	会費
		最	終	決算	額		事業費則	掠内	訳	(千円)				
年	度		算額			国庫	県支出金		の他	起債	фл	財源	備	考
		(千	円)	(千F	9)	支出金	米 人山亚	(収	(人)	起頂	גניו	(只)//示		
平成2			516		495				495					
平成28年	度(明許)													
活動	項目	単位	年	度	26	(実績)	27(実紀	漬)	28	(実績)		29		30
				標		6	6			5				
農業者年金	验加入者	人		績		1	4			7				
			達原	戊率		17%	67. 0	<u></u>		140%				
事業の対象	国民年金	の被係	保険者	である	急農業	業者								
(だれに)		1,541,			,,,,,,									
事業の目的	O #					٠								
(なんのた	少辰禾日													
めに)	②農業者	年金引	≩₹を	通じた	:農乳	₹担い手の)催保							
事業の	曲坐之左。	<u> </u>	п <i>I</i> IV	+ 仁口	. 4	·⊓≕₩∧亡↓	- L-t-n 1 -#	د م +#	`# ı –	女とより				
実施状況	農業者年	並の切	们修云	を176	١, ۶	山畝の川ユ	こと加入を	が推	進に	労めた。				
成果と 課題	「課題」 農業者	年金文	才象者	が少な	こしいナ		者を増や			生進し、7º 難しいで ⁻		加入者	旨がありま	ミした 。
評価項目	必要性	妥当	当性	公平	性	有効性	効率性		駆性 訓性	必要性 妥当性 公平性	行政必	須か、委	業の必要性は。 託の可能性は。 ないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
= 	7		7	4		4	2		1	有効性	目標数	値は達成	えできたか。	5, 3, 1, 0
評価点	7		7	1		l	3		I	効率性 先駆性・独創性		・人員効 本となり	h率はどうか。 l ぇるか	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			20		判定基準	A:事業拡;			^{九曜日・福剛日} 維持 C∶改 3、委託の検	善・対	加率化	し継続、委	
	- 0 示画品	. /				担当課に				-、女心が快	H.) [- · W	-、元工	
						担ヨ酥に	よる刊正	こ理	#					
В	対象者が	少なく	(、加	入者も	限	られます。								

1 事業の成果及び評価 一般会計

1 事業の	の成果及び	評価	·		-							一般:	会計		
事業番号	130	事業名	農地	中間的	管理事業の	の特例事業			事業区分		コ新規	見		継続	Ē
担当課	農業委員:	会事務局			担当係	農地係									
予算区分	款	5 農	林水産業	€費	項	1 農業	費				1	農業	委員会	₹費	
		最 終	決算	額		事業費財	源内	沢	(千円)						
年	度	予算額 (千円)		円)	国 庫 支出金	県支出金	その (収.		起債	一般	財源		備	与	
平成2	8年度		5	5				4			1				
平成28年	度(明許)														
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実約	責)	28	(実績)		29			30	
農地売買	/ 其般		目標			8			8						
法)の受討			実績			2	,		1						
727 0721	011 20	į	達成率			25. 0%)	Ī	12. 5%						
事業の対象(だれに)	認定農業	者・担い	手農家												
事業の目的 (なんのた めに)	農地中間 ⁶ る。	管理機構	からのき	受託	事務で、認	忍定農業者	をは	じめ	とする担い	ハ手島	豊家に	こ農地	の集 [:]	漬を	図
事業の 実施状況	受託件数	は、1 件													
成果と 課題	「課題」 農地中I が必要で [・]		業の特値	∮ 事∮	業を活用し	ノて、農地			機構からの			生進 し		くこ。 10.7	
評価項目	必要性	妥当性	公平	性	有効性	効率性	先駆 独創	1性 性	妥当性 公平性	行政必须 受益者(頂か、委 の偏りは	託の可能はないか。	性は。	10, 7, 5, 3,	3, 0 1, 0
評価点	10	7	3	}	1	3	3		有効性 効率性 先駆性・独創性	コスト	・人員効	できたか 率はどう えるか。		5, 3, 5, 3, 5, 3,	1, 0
	評価点 計 40点満点		2	7	判定基準		ヽ、終其	朋設定	維持 C∶改 、委託の検					の検討	寸
					担当課に	よる判定	と理由	1							
D	農地中間'	管理機構	からのき	受託	事務を進め	りることが	でき	ません	んでした。						

				位:千円
(款-項-目-事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ページ)	(備考
般会計				
教育総務課	291,204	279,747		
9.教育費	285,147	279,075		
1.教育総務費	72,691	71,632		
1.教育委員会費	1,928	1,912		
教育委員会	1,928	1,912	14-1	
2.事務局費	70,763	69,720		
インクルーシブ教育システム推進事業	1,128	1,128	14-2	
スクールソーシャルワーカー活用事業	2,700	2,673	14-3	
教育委員会事務局費	55,420	54,740	14-4	
語学指導外国青年招致事業	8,930	8,637	14-5	
地域で育む学校支援ボランティア事業	1,489	1,449	14-6	
麟蹄郡中学校交流事業	1,096	1,093	14-7	
2.小学校費	141,621	138,887		
1.学校管理費	103,429	101,277		
一般経常経費(浦安小)	3,471	3,219	14-8	
一般経常経費(聖郷小)	2,829	2,706	14-9	
一般経常経費(赤碕小)	3,390	3,269	14-10	
一般経常経費(船上小)	2,690	2,560	14-11	
一般経常経費(配分外)	87,113	85,673	14-12	
一般経常経費(八橋小)	3,936	3,850	14-13	
2.教育振興費	38.192	37.610		
一般教育振興費(浦安小)	2,468	2,419	14-14	
一般教育振興費(聖郷小)	1,572	1.522	14-15	
一般教育振興費(赤碕小)	2,126	2.000	14-16	
一般教育振興費(船上小)	1,903	1.870	14-17	
一般教育振興費(配分外)	27,010	26,788	14-18	
一般教育振興費(八橋小)	2.119	2.055	14-19	
総合的な学習	880	858	14-20	
通級指導教室	114	98	14-21	
3.中学校費	70,835	68,556		
1.学校管理費	38,212	36,790		
一般経常経費(赤碕中)	2,925	2,560	14-22	
一般経常経費(東伯中)	4.271	3.590	14-23	
一般経常経費(配分外)	31.016	30.640	14-24	
2.教育振興費	32,623	31,766	1121	
一般教育振興費(赤碕中)	3.213	2.980	14-25	
一般教育振興費(東伯中)	4.396	4.178	14-26	
一般教育振興費(配分外)	24.669	24.306	14-27	
総合的な学習	308	270	14-28	
<u> </u>	37	32	14-29	
10.災害復旧費	6.057	672	14 23	
2.地震災害復旧費	6.057	672		
2.鳥取県中部地震対策費	6.057	672		
			14.00	
鳥取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費·教育総務課)	6,057	672	14-30	

	の成果及び	評価									一般会計	
事業番号	243	事業名	4 教育	委員:	会費			事業	区分	□新規	見	■継続
担当課					担当係	庶務係、			Ŕ			
予算区分	款		育費		項	1 教育	総務費			1	教育委員	会費
		最終		額		事業費財	源内訳	! (千)	円)			
年	度	予算客			国庫	県支出金	その他		倩	一般財源	備	考
		(千円			支出金	水人田並	(収入) /2	良			
平成28		1, 9	28 1	, 912						1, 912		
平成28年												
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	責)	28 (実績	(1)	29		30
=0 4 - 1			目標									
設定なし		-	実績 達成率									
古世の4名												
事業の対象 (だれに)	教育委員:	会の運営	(教育	委員!	5名)							
	地域の教育 事務執行)方針・計	画を策	定する。	とと	もに、教育	育長及び事	罫務局の
事業の 実施状況			おり開催 総合 教育 教育	* 実 教育: 委員: 委員:	員会定例: 施しました 会議等名称 会議 会定明会 会臨時会 訪問・保育	t= 。 		• 実施回 1	数 2回 2回 2回		問を	
成果と 課題	教育ビジャック を	ジョ会 を ま ま 生 生 を 生 を も も も も も も も も も も も も も	が成に役 度改正 。 涯教育	立 て よ を 見 担 る 必 る	行事 ま ま ま 新 え が 接 数 で あ 教 て あ 教 る も え が 教 る も も も る も る も る う る も る う る る る る う る る う る う	長が平成28 ±会教育や ∈す。	年10月 就学前	に就任	し、 ⁱ 保育	教育委員会	会も新たな	(体制が
評価項目	必要性	妥当性	公立	区性	有効性	効率性	先駆性 独創性	公平性		受益者の偏りは	き託の可能性は。 はないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	,	3	3	3	1			目標数値は達成コスト・人員交他の見本となり	n率はどうか。 リえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		3	0	判定基準 担当課に	A:事業拡充 D:規模縮小 よる判定	ヽ、終期!			(善・効率化 注討 E∶休』		託の検討
В	教育委員:	会の運営	さのため	に必要				き事業・	です。	o		

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

	の成果及び					,					一般多	
事業番号	1219	事業	《名	インクル-		ラシステム	推進事	業	事業区分	□新規	₹	■継続
担当課			#4 	±	担当係		かな ま				市沙口	9
予算区分	款	9 最	教育		項		総務費		(T III)	2	事務局	可賀
年	由	取 予算	終	決算額	国 庫	事業費財	源内部 その何		(千円)			備考
+ ,	又	(千		(千円)	支出金	県支出金	(収入		起債	一般財源		かっ
平成2	3年度		, 128	1, 128	\	752	()///	•/		376		
平成28年			,	.,								
活動		単位	年	度 26	(実績)	27(実績	(美)	28	(実績)	29		30
			目									
設定なし			実									
			達瓦	以 平								
事業の対象(だれに)	地域支援:	コーデ	゙゙ィネ	ーター 1 4	5配置(町	丁内の保育	園・こ。	ども	遠園・小中	学校を対	象)	
(/2/012)												
事業の目的												ーズにあっ
(なんのた めに)	_	教育的	〕支援	を通常の	学級におし	ヽて行う共	生社会	きの	形成に向り	けた教育シ	ノステ.	ムを構築す
(۵)۱۵	る。											
	〇年	間の流	舌動内	容は以下	のとおり [.]	です。						
	J	1				活	動内容					
			学校	訪問、保育	園・こと	も園訪問						
	4	月				合理的配	慮の提	供、	. 特別支援	餐教育主任	の	
事業の				割について								
実施状況				専門員の巡							* 1	
		月				て支援に				₩修会への	参加	
	1 0	月~				指導教材				、 十位		
	1 2	月~				保護者へ						
	2	月				<u>カウンセ</u> 協議会開 ^を		21	刊用した 書	●例快討~		
		Л	今州	可付加又加	3 分月连扬	加俄女用	1住					
	【成果】	ᅩᅥᇙᅪ				→ W LL	/n -t-	_	_ 18.4 ==	- 11 4.1+		·
						くる学校、 ノ、継続支				への体制数	≧備に1	糸句
						ィ、継続又 アップ、引				旦什!	記録ルリ	ı –
				催し、又が ました。	友。连拐丶	()) (51	をつり) /太	守で旧批が	正伏し、チ	・「戊」し「	J
	₹17 'O'	//		5 U/L:								
	【課題】											
		支援教	育コ	ーディネ-	-ターの訂	5問・支援	相談時	間	に制約がる	あります。		
成果と	2 発達	偉がい	や、	合理的配原	10回りまする	保護者の	理解へ	の	啓発活動?	を進める必	必要がる	あります。
課題												
							<u></u> 先駆怕	性	必要性	住民ニーズ、事	業の必要性	, , ,
評価項目	必要性	妥当	4性	公平性	有効性	効率性	独創性		妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは		生は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
	10	_	,						有効性	支益者の偏りは 目標数値は達成		
評価点	10	7	<i>!</i>	3	3	3	3		効率性 先取性・狆創性	コスト・人員効 他の見本となり		か。 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計			00		A:事業拡充	z P·II	目址				委託の検討
	正圖点			29	判定基準				確持 0.00 ☑、委託の検			女ロレジ1大司
					担当課に	よる判定の	と理由					
						- J 17C						

特別支援学級だけでなく、通常学級にも発達障がい等支援が必要な児童生徒は増加傾向にあり、学校の体制作り及び教職員の理解、指導力を高めるため、町として学校を支援していく必 要性が高まっており、継続すべき事業です。

В

1 事業の成果及び評価 一般会員

事業番号	<u>7成未及び</u> 1186	事業		スクール	ソーシャノ	レワーカー	·活用事業	事業区分	□新規		■継続
担当課					担当係						
予算区分	款		教育		項		総務費		∄ 2	事務局費	}
左			終	決算額		事業費財		(千円)	1	<i>l</i> ≠	±
年	支	丁手	算額 円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	1) F	請考
平成2	8年度		700	2, 673		1, 782	(1274)		891		
平成28年			,	,		,					
活動	項目	単位			(実績)	27(実績	28	3(実績)	29		30
				標							
設定なし				積 戊 率							
事業の対象(だれに)	スクール	ソーシ			の配置(東	· 頁伯中学校	に配置し	、町内各	 学校等のホ	目談に対応	<u>5)</u>
事業の目的 (なんのために)	れた様々な	な環境	に働		支援を行	テうスクー					
事業の実施状況	①不登校	2 C 暴力 教職員 寺 4)件]行為 i等と i件	、非行等(の関係の[の問題行動	カ 2件 ‡	⑥家庭環 ⑦心身の ⑧発達障 ⑨その他	境の問題 健康・保(害等に関	健に関する		1件
成果と 課題	できま 2 スク- 【課題】 1 スク- 教育委員	した。 ールン ールと 員会と	ノーシ ノーシ : の情	ャルワー; ャルワー; 報共有・;	カーの役害 カーの配置 共通理解か	- ス会議に で 大変 がった はい で 大変 がった がつ 常勤	の教に面、大学のである。 かんだい かんかい かんかん かんがん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん	の理解が 式(東伯中 ります。	進みまし <i>†</i> ¤学校)の <i>†</i>	こめ、 こめ、 すがありる	
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	-	7	3	3	5	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり]率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			31	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		維持 C∶改 E、委託の検			託の検討
					担当課に	よる判定の	世理由	_			_
A	家庭環境に対して、	こ課題 . スク	夏を抱 ≀ール	える児童st ソーシャ	生徒は増加 ルワーカー	ロしており -の必要性	、教育分 は高まっ	野だけでし ているたと	は課題解》 め、継続す	やが難しい けべき事業	ヽケース 美です。

」年度事業成果説明書 兼

	の成果及び			A = 25 D =	*		I = 44 = 1		 一般会i	
事業番号	245	事業名	教育委員:			<u> </u>	事業区分	□新規	見	■継続
担当課			弗		庶務係、		指導係		古数日書	ŧ
予算区分	示人	9 教育 最 終	^貝 決算額	項	1 教育 事業費財	総務費	(T m)	2	事務局費	(
年	度	最 終 予算額 (千円)	(千円)	国庫支出金	事未負別 県支出金	源内訳 その他 (収入)	起債	一般財源	ſ	備考
平成2	8年度	55, 420			3, 716	3, 723		47, 301		
平成28年		00, 120	0 1, 7 10		0, 1.0	0,720		,		
活動		単位 年	度 26	(実績)	27(実糸	責) 28	(実績)	29		30
			標							
設定なし			:績 述 率							
事業の対象(だれに)	小学校 5 村	校 児童数	873名、	中学校 2	校 生徒数	:498名	、教職員	数171名	3	
事業の目的 (なんのた めに)	教育委員:	会事務局及	び学校全船	股に係る事	罫務を処置	する。				
	O以	下のとおり	リ、奨学金	の貸付を	行いまし <i>た</i>	50				
事業の		奨学会	6名称	貸付件	数 貸	寸金額(F	9)			
実施状況		林原育药	英奨学金	2 件		540	, 000			
成果と 課題	2 中中3 定 保か校少4 課 特別1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	学校の大規の大人ででは、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一番では、一	器) 整備 ・ つす 置 ・ よ必	策・対応マ 園、小・中 る働できまし が教 は は は は は は は は は り の の の の の の の の の の	マニュアル □学校の連 けに取り組 いた。 単級経営の	を 携む 負 実 化と を 今 日	、緊急時(図り、子のに、地域)減できまり	の具体的な どもたち- に開かれた した。(3	i対応方 - 人一人 l - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性はないか。	. 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	7	3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員対 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		24	判定基準		、終期設定	維持 C∶改 ≧、委託の検			託の検討
				担当課に	よる判定	と埋田				
В	教育委員: 業です。	会事務局お	よび学校会	全般に係る	る事務処理	!を行う上	で必要不可	可欠であり	リ、継続 ⁻	すべき事

1 事業の成果及び評価 一般会語

1 事業の	業の成果及び評価 一般会計											
事業番号	246	事業名	語学指導	外国青年护	召致事業		事業区分	□新規	■継続			
担当課				担当係	学務係							
予算区分	款	9 教育	費	項	1 教育	総務費	E	2	事務局費			
		最 終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)					
年	度	予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考			
平成2	0年度	8, 930		ХШЖ		(1271)		8, 637				
平成28年		0, 950	0,007					0, 007				
活動		単位	F度 26		27(実統	書) 2	8(実績)	29	30			
/口 刼	欠口		F/C C			貝/ 4		23	30			
設定なし		多	₹ [
事業の対象(だれに)	外国語指導		LT)2名	各中学校	交に配置							
事業の目的		徒が外国語 として、耳	語や異文化!	 こふれ、国	国際感覚を	身につけ し、また	「るように 上町内各小 ^を	英語圏より 学校や地域	招致し、外国語 との国際交流に			
NI	〇町	内各園・	小学校へ以					1				
事業の		1177					年度計					
実施状況							Eベ47回					
		小	学校 24	回 33	3回 22	回	正べ79回					
成果題	配置で 2 町内 【課題】	きました。各園・小草		⊂A L T t	が出向き国	際交流を	図ることが	ができまし	ぞれの中学校にた。			
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業(行政必須か、委託 受益者の偏りはな	の可能性は。 10, 7, 3, 0			
評価点	10	3	3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成で コスト・人員効率 他の見本となりえ	はどうか。 5, 3, 1, 0			
	評価点 計 40点満点		23	判定基準		N、終期設5	維持 C∶改 定、委託の検		継続、委託の検討 廃止			
				担当課に	よる判定	と理由						
В	英語教育(の低年齢化	とが進んでる	おり、ニー	-ズも高ま	っている	ため、継	続して行う [.]	べき事業です。			

事業番号	<u>7成果及び</u> 1125	事	坐夕	地域で苔	八学技士科	₹ # = \. =	ノマ車業	事業区分	□新規	一般云	■継続
担当課			F1	地域で自	担当係		1 / 尹禾	尹未囚刀	니체시	π	■ 市本市党
予算区分	款		教育	書	項		総務費		2	事務局	事
–		最	終	決算額		事業費財		(千円)		1 1551153	
年	度	予算	算額 円)	(千円)	国庫支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	1	備考
平成2	8年度		. 489	1, 449	<u> </u>	1. 208	(1271)		241		
平成28年			,	.,		,, =					
活動	項目	単位	年	度 26	(実績)	27(実績	28	3(実績)	29		30
				標							
設定なし				績							
事業の対象	小中学校	 7 校		<u> </u>	 コーディネ	L ベーター9	L 名				
(だれに)	3 1 3 12	, IA	.,,,		_						
事業の目的 (なんのた めに)		支援	や学習	冒支援、 環	境整備、	地域文化(の伝承や多		ールなど	、学校と	協力によ : 地域が協
事業の 実施状況	各小中学れた。 ・登下れ ・読み ・デ環境	校の見 聞かも 支援	見守り <u>t</u>	、以下の	とおり地垣	載のボラン	ティアに	よる教育3	支援活動力	・ 実施で	きまし
成果と 課題	2 子ど ³ 学力「 【課題】 1 地域(も達か 句上 <i>の</i> の創生	が地域)一助 ∈に関	の人たち(になりま われるよ	の支えを実 した。 うな仕掛け	戦が向上き けつる地域 があいましま がまる かままま がままま かままま かままま かままま かままま かままま	した。 必要です	展的な活動			
評価項目	必要性	妥铂	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は ないか。	5, 3, 1, 0
評価点	10	-	7	3	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			29	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		維持 C∶改 ≧、委託の検	善・効率化	し継続、勃	. , , ,
					担当課に	よる判定の	と理由				
В				生徒の学だき事業で	カ向上につ			職員の長	诗間労働角	解消の一	助なるた

1 事業の成果及び評価

事業番号	1247	事業	Ě名		·学校交流事業 事業区分				分 □新規 ■継続		
担当課						学務係			- 11.1.		
予算区分	款		教育	費	項	1 教育	総務費	E	2	事務局費	
			終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)			
年	度		額	(- m)	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備考	
π (* 0	0 左 曲		円)	(千円)	支出金		(収入)				
平成28年		I	, 096	1, 093					1, 093		
活動:		単位	年	度 26	(実績)	27(実糸	吉) 29	8(実績)	29	30	
/口 利	スロ	平四		模 標			貝/ 4		23	30	
設定なし			実								
			達原	艾率							
事業の対象 (だれに)	訪問142	名、招	3聘 1	5名							
(なんのた	的•言語的	的理解	翼、国	江原道新 際的感覚 12月11日	を育み、タ	え好と交流	を促進す		学生達 <i>0</i>)未来的・文化	
事業の 実施状況		間:平 容 介(相 動(自	で成 2 目互に 目己紹					ました。			
成果と 課題	2 訪韓【課題】1 現地32 テレ	した生 交流を ビ会請	E徒に 活か 養等で	した日常的 の交流方法	発表により かな活動が まを検討し	リ、他の生 ^バ 困難です していく必	徒に還元 。 要があり	できました ます。 傾向があり	ります。		
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 10, 7, 3, 0 ないか。 5, 3, 1, 0	
評価点	3		7_	0	1	0	0	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。 5, 3, 1, 0	
	評価点 計40点満点			11	判定基準	A∶事業拡3 D∶規模縮√		維持 C∶改 と、委託の検		し継続、委託の検討 こ、廃止	
					担当課に	よる判定	と理由				
D				生徒との間ットの活月					ます。費用	月対効果を考慮し	

評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 元配性 独創性 独創性 受益者の偏りはないか。 受益者の偏りはないか。 ラ、3、1、0 評価点 7 10 5 3 1 有効性 効率性 目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 ラ、3、1、0 5、3、1、0	1 事業の	事 業の成果及び評価 一般会計 一般会計											
予算区分 数 数 数 項目 1 学校管理費 1 1 1 1 1 1 1 1 1	事業番号	258	事業名	一般経常	経費 (浦多	安小)			事業区分	□新規		■継続	
子質区分 数 教育費 項 2 小学校費 目 1 学校管理費 年度 予算額	担当課	教育総務	果		担当係	庶務係、	学務係	Ŕ. ‡	 指導係				
年度										1 !	学校管理	曹	
年度	, ,, , , ,	491						R		- '	7 10 17		
平成28年度 3,471 3,219 3	左	由		人子 积		尹未良別			(TD)		/ #	*	
平成29年度 3,47 3,219 3,219 3,219 30 30 30 30 30 30 30 3	平.	泛		(T III)		県支出金			起債	一般財源	1/用	与	
平成28年度(明許) 単位 年度 26 (実統) 27 (実績) 28 (実績) 29 30 30 30 30 30 30 30 30		• 			文出宝		(4又ノ	()		2 2 4 2			
活動項目 単位 年度 26 (実績) 27 (実績) 28 (実績) 29 30 日標			3, 4/1	3, 219						3, 219			
日標	平成28年	度(明許)											
日標	活動	項目	単位 年	度 26	(実績)	27(実績	責)	28	(実績)	29		30	
実施					_	_			_	_		_	
達成率	設定なし				_	_			_	_		_	
#集の目的 (たれに)	mx.c 0.0				_	_			_	_		_	
事業の目的 (なんのた 的に) 投資が安心して生活できる学校の施設管理をする。	古类の社会												
#業の目的 (なんのた 的に) 「皮膚が安心して生活できる学校の施設管理をする。	争耒の対象 (だねに)	浦安小学	校 児童2	24人、耳	哉員 27丿	く 学級	数 1 3	3 学	級(うちキ	恃別支援学	:級 4 学級	:)	
実施状況	事業の目的(なんのた	児童が安々校舎の老板	心して生活 朽化に伴い	できる学材、破損等に	交の施設管 こ対応し <i>た</i>	管理をする ≿校舎内外	。 の環均						
・毎月1回、教職員が管理担当場所の安全点検を実施することにより、早い段階での修繕等の対応ができました。 ・水道管の漏水が修繕できたことにより、光熱水費を削減できました。 ・備品(石油ストーブ、ポールストレッチャー(担架)、担架収納袋)の購入により、児童が安心安全な環境で学校生活を送ることができました。 【課題】 ・校舎の老朽化に伴う突発的な修繕・補修箇所が増えています。(S41.2建設) 「課題】 ・校舎の老朽化に伴う突発的な修繕・補修箇所が増えています。(S41.2建設) 「課題」 ・校舎の老朽化に伴う突発的な修繕・補修箇所が増えています。(S41.2建設) 「課題」 ・校舎の老朽化に伴う突発的な修繕・補修箇所が増えています。(S41.2建設) 「課題」 ・校舎の老朽化に伴う突発的な修繕・積修箇所が増えています。(S41.2建設) 「課題 「行政必須か、受託の可能性は、10.7.3 (公平性 受益者の何りはないか。 5.3.1 (公平性 (公平性) 日報報は表できたか。 5.3.1 (公平性) 日報報は表できたか。 5.3.1 (公平性) 日報報に表できたか。 5.3.1 (公平性) 日報報に表でも対えるか。 5.3.1 (公平性) 日報報に対して、「公産・効率化し継続、委託の検討」 5.3.1 (公平性) 日報報に対して、「公産・効率化と観検、委託の検討」 5.3.1 (公平性) 日報報に対して、「公産・効率化し継続、委託の検討」 5.3.1 (公平性) 日報報に対して、「公産・効率化し継続、委託の検討」 5.3.1 (公平性) 日報報に対して、「公本・日報報報、「公本・日報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報報		【整備備。	品】 保健	室用備品	(担架・担	望収納袋)、石	油	ストーブ	等 金額	額 355,	252 円	
評価項目 必要性 安当性 有効性 効率性 独創性 受益者の偏りはないか。 5,3,1,6 評価点 7 10 5 3 1 有効性 同様数値は達成できたか。	,,,,,,,	· 毎月1[対道管(・ 構心安全 ・ 課題】	で の 活 は が ト で と 大 大 に 修 一 で に に 修 一 で に に に に に に に に に に に に に	。 繕できた。 ブ、ポール 学校生活	ことにより レストレッ を送ること	リ、光熱水 ∪チャー(⊆ができま	費を削した。増えて	削減・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	できました 担架収納 ます。(S4	た。 茂)の購入 11. 2建設)	により、		
評価点 7 10 5 3 1 有効性 月 別	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性		小十				10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0	
評価点 計 (40点満点) 判定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止 担当課による判定と理由	評価点	7	10	5	3	3	1		有効性 効率性	目標数値は達成で コスト・人員効果	できたか。 率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
				29	判定基準								
					担当課に	よる判定	と理由	1					
<u> </u>	В	児童が安心	心して生活	できる学					可欠であり	り継続して	行うべき	です。	

事業番号	259	事第	美名	一般経常	経費(聖組	郎小)		事業区分] (コ新規	見 R	■継続		
担当課					担当係	指導係								
予算区分	款		教育		項	2 小学			<u>目</u>	1	学校管理	費		
/	#	最	終	決算額		事業費財		(千円)	1		/ -11	: -1 z		
年		予 (千	額四)	(千円)	国庫	県支出金	その他 (収入)	起債	一般	財源	1厘	i考		
平成2	8年度		2, 829	2, 706			(42,70)		2	. 706				
平成28年			., 023	2, 700	<u>'</u>					., 700				
活動		単位	年	度 2	6(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)		29		30		
	77.			標	_	_		_		_		_		
設定なし				績		_				_		_		
- W - 116				戊率	_	_		_		_		_		
事業の対象 (だれに)	聖郷小学	交 児	見童数	108人	、教職員数	女18人	学級数	(8学級(うち特	寺別支	接学級 2	学級)		
(/2/10/2)														
事業の目的														
(なんのた	小学校の	運営を	丹滑	にするた	めに、施設	段維持及び	整備、環	境整備を	行う。	•				
めに)														
	学校の維持	寺管理	Įとし	て、以下	の備品を雪	を備しまし	た。							
		_ =				_				,				
事業の	【整備備。	品】オ	ージ	オメータ	一、保健月	月ワゴン	等 金	2額 188	8, 842	円				
実施状況														
	【成果】													
	・毎月の安全点検により、破損・不良箇所の早めの発見、対応に努めました。													
	h 1 / 1 0 / 1	ヘエハ		6) , HX	K I KE	3171 07 — 07	0 776763	ハリルい (〜)」	W) 60 (0720				
	【課題】													
	校舎は	建築か	いら2	O年が経	過しており	J、破損等	、老朽化	に対応し	た校領	舎内タ	トの環境整	経備に努		
	める必	要があ	5りま	す。(H7.	10建設)									
s <u> </u>														
成果と														
課題														
			1		1			心而是	I → □ −	-y -	**の心悪場・	10 7 0 0		
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性			業の必要性は。 託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0		
	—						独創性	公平性		の偏りは		5, 3, 1, 0		
評価点	7	1	0	5	3	3	1	有効性 効率性			できたか。 率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
			_		_		•	先駆性・独創性	他の見	本となり	えるか。	5, 3, 1, 0		
	評価点 計			29	判定基準	A:事業拡充		:維持 C∶改 定、委託の校			し継続、委託	氏の検討		
(40点満点)						と、安託の位	R E I	- · 1小工	:、廃止			
					担当課に	よる判定	と埋田							
_														
												l l		
В	児童が安々	ひして	生活	できる学	校の施設管	管理のため	、必要不	可欠であ	り継続	売して	行うべき	です。		

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	378	事第		一般経常	経費 (赤砧	奇小)		事業区分	□新規		■継続
担当課	教育総務	果			担当係	庶務係、	学務係、	指導係			
予算区分	款		教育		項	2 小学			1	学校	管理費
/		最	終	決算額		事業費財		(千円)			/ ** +⁄
年	芟	予算 (千		(千円)	国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		備考
平成2	2年度		390	3, 269	又山亚		(427)		3, 269		
平成28年			, 000	0, 203					0, 200		
活動		単位	年	度 26	(実績)	27(実績	5) 2 8	8(実績)	29		30
				標	_	_		_	_		_
設定なし				績 艾 率	_	_		_	_		_
事業の対象							W			- AT 0	—
(だれに)	亦倘小字	交 児	2重2	04人、耳	哉貝25人	字級	数 12字	:級(うち特	侍別文援 写	学級は	(字級)
事業の目的 (なんのために)	小学校の記	運営を	子円滑	にするたる	かに施設約	挂持及び整	備、環境	i整備を行 [・]	う。		
事業の 実施状況	学校の維 【整備備。			て、以下 <i>(</i> クリーナ-					金額	412,	, 214]円
成果と課題	全よで 課設定増学 関係 はままま は は は ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	が繕し のない境の毎箇た 老点まの お おす整	引 た	ぐに見つい	れた教室及 することが すが、プリ	、でき、児 リンター等	童の安全 、学校設		、学業集中	いに努	いた。それに、 そめることが な故障が
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能	能性は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	5	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどう	, , ,
	評価点 計40点満点			29	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		維持 C∶改 定、委託の検			i、委託の検討 止
					担当課に	よる判定の	と理由				
В	児童が安々	 ひして	生活	できる学	交の施設管	- 管理のため	、必要不	可欠であり	り継続して	行う	うべきです。

14-10

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	<u>7成来及び</u> 379	事業	美名	一般経常網	怪理 (船」	上小)		事業区分	□新規	見り	■継続
担当課	教育総務					庶務係、	学務係、				
予算区分	款		教育	費	項	2 小学			1	学校管理	費
			終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)			
年	度	予算		(* m)	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備	考
₩ + 0	0 左 由	(千		(千円)	支出金		(収入)				
平成28年		Z	, 690	2, 560					2, 560		
活動		単位	年	度 26	(実績)	27(実績	生〉 20	 	29		30
/白 刬	块口	中心		模 ZO	一大限	2 / 文 羽	₹ <i>)</i> 2 (人大限			_
設定なし			実		_	_		_	_		_
			達原		_	_		_	_		_
事業の対象 (だれに)	船上小学	交 児	童数	140人、	教員数 2	2 1人	学級数8	学級(うっ	ち特別支援	受学級2学	:級)
事業の目的 (なんのた めに)	小学校の泊	軍営を	円滑	にするため	かに施設維	掛け 及び整	備、環境	整備を行	う。		
事業の実施状況				て、以下の レッダー			<i>t</i> c。 864 円				
成果と 課題	安全·5 【課題】 ·旧成美/	安心に 小学校 備品 <i>の</i>	学習 の改	を行うことできる環境 築から20st 化により、	竟を整え <i>る</i> 手以上が紹	ることがで 経過し、統	きました合生じるこ	。 じ校舎をf とが非常f	使用してい	いるために っています	。
評価項目	必要性	妥当	1性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性	住民ニーズ、事 行政必須か、委		10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0
							7五后川工	公平性 有効性	受益者の偏りは目標数値は達成		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	5	3	3	1	カット 効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			29	判定基準		ヽ、終期設定	維持 C∶改 E、委託の検	ː善・効率化 ː討 E∶休止		その検討
					担当課に	よる判定。	と理由				
В	児童が安心	ひして	生活	できる学校	交の施設管	管理のため	、必要不	可欠であ	り継続して	行うべき	です。

]年度 事業成果説明書

	成果及び		40 4 7 24	· · · · ·	t-1 \				 一般会	
事業番号	256	事業名	一般経常	経費(配分		₩ 7h IT	事業区分	□新規	見	■継続
担当課			#		庶務係、				5477 W	工田典
予算区分	款	9 教育		項	2 小学		(7 III)	1	学校管	[性質
年	度	最 終 予算額	決算額	国庫	事業費財	その他	(千円) 上債	一般財源		備考
T +0	\ - - -	(千円)	(千円)	支出金	***	(収入)				
平成2		87, 113	85, 673			8, 000		77, 673		
平成28年		単位 年	由 26	(中설)	07/中华	±\	0 /中(主)	29		30
活動	垻 日		度 26 標	(実績)	27(実績	貝 <i>)</i> 乙 (8(実績)	Z9		30 —
設定なし			績	_	_		_	_		_
LX1/C 0 0			艾率	_	_		_	_		_
事業の対象 (だれに)	町立小学	交 5 校	対象児童数	数895名	3					
事業の目的 (なんのた めに)	小学校の泊	運営を円滑	にするたと	かに施設約	推持及び整	備、環境	整備を行	ō 。		
事業の 実施状況	・印刷機の	施設維持及 修繕、ラン 具修繕、通	チルーム	入り口通路	各改善工事	、職員室	!黒板取替.	L事、 金額	11, 7	757, 967]円
		施設剪定防 レバス運行			设備委託 料	、電気設	:備保守委詞	托料、 金額	18, 3	363, 757]円
成果と 課題	屋外遊り	教育環境圏	の実施			₺ (校舎・強				
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性 有効性	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成	託の可能性ないか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	5	3	3	1	効率性	日標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		32	判定基準		、 終期設定	維持 C∶改 ピ、委託の検			委託の検討
				担当課に	よる判定	と埋田				
В		運営を円滑 必要があり		め、継続し	、て行うべ	きです。	また、災	害時の避難	≝所とし	_ン ての機能

事業番号	257	事第	集名	一般経常	経費 (八村	喬小)		事業区分	□新規		■継続
担当課	教育総務	果			担当係	庶務係、	学務係、	指導係			
予算区分	款		教育		項	2 小学		-	1	学校管理	费
_	<u></u>		終	決算額		事業費財		(千円)		,	
年			額	(T III)	国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備	考
平成2	0年度	(千	円) 3, 936	(千円) 3,850	又凸並		(収入)		3, 850		
平成28年		J	, 930	3, 030					3, 630		
活動		単位	年	度 26	(実績)	27(実績	1 2 2 2 3	3(実績)	29		30
71.43	ХН	+ -		標	—		-	_	_		_
設定なし				績	_	_		_	_		_
			達用	戊率	_	_		_	_		_
事業の対象(だれに)	八橋小学	校 児	建全	05人、耳	哉員24人	学級	数13学	級(うち	持別支援学	单級5学級	t)
	小学校の	運営を	·円滑	にするため	かに施設約	単持及び整	備、環境	整備を行	う。		
めに)											
	学校の維持	持管理	⊉とし	て、以下の	の備品を割	≧備しまし	た。				
事業の	【整備備	見】 自	上集計	、角椅子、	ガスコ、	√□ 給食	和睦台	笙	全	額 518	. 681 円
実施状況		4H # >	1 1201	· /3/19/1 ·	7777	一、心及		শ	317	ng 010	1 1
	7										
	【成果】	中心 し	ア中	全な学校会	上汗太兴了	く - レがで	キストニ	ロ頃から	达全.垃 ₩	ᇄᇝᄎᇖᇅ	11
				王な子校とて施設設は							
				会と連携し					71244 70	313CE 771 C	. 1 7731 -
				科室ガス:		ご購入から	年数が経	過した備	品を年次的	りに整備し	.、有効
	活用する	ること	こがで	きました。							
	【課題】										
		備の老	5朽化	が進んでる	おり、破損	や故障、	不具合な	ど突発的に	に起こるこ	ことが多く	なりま
成果と	した。	(S44.	12建訂	殳)	-						
課題											
					-			-	_		
評価項目	必要性	妥当	 当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性	住民ニーズ、事: 行政必須か、委		10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0
日間外日	× 1⊥ × 1⊥	Χ-	-	⊅ 1 I⊥	ㅁ씨ഥ	ツナエ	独創性	公平性	受益者の偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	5	3	3	1	有効性 効率性	目標数値は達成 コスト・人員効		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
							•	先駆性・独創性			5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			29	判定基準		ヽ、終期設定	維持 C∶改 È、委託の検	:善・効率化 :討 E∶休止		その検討
					担当課に	よる判定の	と理由				
В	児童が安々	i) . 7	′牛汪	できる学	☆の施設管	き理のため	必要不	可欠であ	り継続して	「行うべき	です
	ルエル・メ		- <u>-</u> / D	C 071		3 ~ <u>1 47 (</u>	<i>、™</i> ⊻11	-374 - 007	> 11±1196 € €	. 11 / 'C	- 7 0

」年度事業成果説明書 兼

	成果及び		60 40 -1- 1				<u></u>		_ 一般会計	
事業番号	264	事業名	一般教育			₩ 75 IT	事業区分	□新規	見	■継続
担当課			±		庶務係、				北本年四	曲
予算区分	款	9 教育		項	2 小学			2	教育振興	· 貧
年	度	最 終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	国 庫 支出金	事業費財	源内訳 その他 (収入)	起債	一般財源	俳	請考
平成2	R在度	2, 468				(-1227)		2, 419		
平成28年		2, 400	2, 410					2, 110		
活動		単位 年	度 26	(実績)	27(実績	1 2 2 2 3	3(実績)	29		30
		目	標	_	_		_	_		_
設定なし		実産		_	_			_		_
事業の対象	浦安小学	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		ー 無員 ク フ よ	一 学級	数 1 2 学	 級(うち	<u> </u>		— B)
(だれに)	州女小子1	又 儿里 2	2 4 八、4	以只 と / /	一一一	.数10子		可加又1及1	一级牛士小	X /
事業の目的 (なんのた めに)	教育振興(のため、教	材・図書等	等の整備を	を行い学力	向上を図	る。			
	教育振興(のため、以	下について	て実施及び	が整備しま	した。				
事業の	• 知能検	査、学力検	査等の実施	包	金	額 531	, 540 円			
実施状況			w			±= 400	450			
	・児童用	・特別支援	字級用図	書等の整備	童 金	額 466	, 459 円			
成果と 課題	の整備(・学力検索 ・学力検索 【課題】 ・優先順(必まを 立 立	実した授詞問題点を明題点を明題点を明題点を明報を明明を明明を明明を明明を明明を明明を明明を明明を明明を明明を明明を明明を	業や学力向 月確にして 業を行って	列上につな で学力向上	げましたげ、まだ不	。 ました。 足してい ^を	る教材等も	らあるため	か、計画
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	10	1	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成コスト・人員対他の見本となり	できたか。 率はど う か。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		25	判定基準		ヽ、終期設定	維持 C∶改 ≧、委託の検		し継続、委 :、廃止	託の検討
				担当課に	よる判定	と埋田				
В	教育振興(のための学	習環境整個	⋕を継続し	って行うべ	きです。				

1 事業の成果及び評価 一般会計

	「業の成果及び評価 一般会計 「日本学者」												
事業番号	265	事業名	一般教育	振興費(雪	聖郷小)		事業区分	□新規	見	■継続			
担当課	教育総務	課	•	担当係	庶務係、	学務係、	指導係						
予算区分		9 教育	費	項	2 小学			2	教育振興	.費			
		最終	決算額		事業費財		(千円)						
年	度	予算額	/\ JF ux	国庫		その他			借	考			
	12	(千円)	(千円)	支出金	県支出金	(収入)	起債	一般財源	ν π	1.0			
ᇴᆂ	0左座	1, 572				(1271)		1, 522					
平成2		1, 3/2	1, 322					1, 522					
平成28年							l						
活動	項目			6(実績)	27(実績	5) 2 8	3(実績)	29		30			
]標	_	_		_	_		_			
設定なし			ミ績	_	_		_	I –		_			
		達	成率	_	_		_	_		_			
事業の対象	田口 407 八、244。	+÷ 10 * *	** 1 O O I	******	# 1 O I	214 617 ₩F	0 #4 ML /	5 + 4+ DII +	⊢₩₩₩₩	~~~~~~			
(だれに)	聖郷小学/	恔 児里翁	数108人。	、	以18人	子似致	8学級(つ ら特別ス	え抜子似 2	(子級)			
事業の目的	*L *L (G)	л ьк :	· == +> +/- ++	□ 1 ₩ 4	5 献	224	I + 1501 7						
(なんのた めに)	叙育振興(いため、火	必要な教材	• 凶青寺()	7発偏を行	い子刀问	エを凶る。	•					
α)(<u>-</u>)													
	数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	0+4 "	リエにへい	ア中地です	(動/出) 十	1 +							
	叙育振興(いため、り	以下につい	(美他及(♪発備しま	した。							
					-								
事業の	・知能検	査、学力権	食査等の実施	沲	金	額 255	, 920 円						
実施状況													
	・児童用	•特別支持	爱学級用図	書等の整備	# 金	額 231	, 286 円						
	/												
	「 # 田 1												
	【成果】	m	***	= hr ~ 10 -1			1.						
	┃• 教育振	興のため、	教材・図	書等の教育	育環境を整	備しまし	た。						
	【課題】												
		位の高い#	ものから備っ	品の整備す	を行ってい	く必要が	あります。	,					
	交 ノし 川沢	> 101 0 " (J - 2 / J IMI I	-H TE NHI (_ 1,1 > C 0 .	\ ~ × N	J / J J (,					
成果と													
課題													
						₩ #₽₩	必要性	住民ニーズ、事	業の必要性は。	10.7.3.0			
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	妥当性	行政必須か、委		10, 7, 3, 0			
			ļ			独創性	公平性	受益者の偏りは		5, 3, 1, 0			
=	7	10	4	<u></u>	9	1	有効性	目標数値は達成		5, 3, 1, 0			
評価点	7	10		3	3	ı	効率性 先取性・狆創性	コスト・人員効 他の見本となり		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0			
	L ≘∓/≖_⊨ =≀	<u> </u>			л. — мил —	- 5 · -							
	評価点 計		25	判定基準	A: 事業拡充	ì B∶垷状 、丝坤•∿□	維持 C∶改 ≧、委託の検	「善・効率化	し継続、委託	: おの検討			
	40 E # F	.)			1 17. 块焊桶儿	1、 70字册 100 刀	上、安託の筷	I— 1A II	_、溌坕				
	40点満点	()						: B) L: WI					
	40点満点	()		担当課に	よる判定			: H1 C · PN II					
	40点満点	()		担当課に				(a) C · P/L					
(L よる判定。	と理由		(H) C - PVI					
			学習環境整		L よる判定。	と理由		(a) C · P/C					
(L よる判定。	と理由		(a) C · P/V					

)以朱及ひ												云訂	
事業番号	382	事美	美名	教育振興				事業区	分	[コ新規	見		■継続
担当課					担当係	庶務係、		、指導係						
予算区分	款		教育		項	2 小学			E		2	教育	振興	費
		最	終	決算額		事業費財	源内訳	. (千円))					
年	度	予算	額		国庫	周 士山 人	その他	b +1/±		фП			備	考
		(千		(千円)	支出金	県支出金	(収入			一般	財源			
平成2	3年度		. 126							2	, 000			
平成28年		_	.,	_,							,			
活動		単位	年	度 26	(実績)	27(実統	書)	28(実績)			29			30
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	快口	丰山		標	人大恨/	2八天小	貝 <i>/</i>	20 (天根)			23			
設定なし			実											
政定なし				版	_	_								_
古世の社会) 注:	~+										
事業の対象 (だれに)	赤碕小学	交 児	建全	04人、耳	哉員25丿	学級 学級	数12	学級(うっ	5キ	寺別3	支援学	₽級 3	学級)
(/_////_/														
古巻の口が														
事業の目的 (なんのた	教育振 酮(nt-x	为	材・図書等	年の整備す	と行い学力	向トを	図ス						
めに)	秋月派兴	<i>,,,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<i>7</i> 、 3 X	77 四百 7	サツ正洲で	, 110. <u>1-</u> 01	ے ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	മ ഗ ം						
	教育振興(א -t ת	נט ל	下について	て実施及7	「整備しま	1. +-							
	スロスズ	, _ 0.		, ,		, IE IM O 6	J / L 0							
車業の	. 4⊓乨+◆3	本 产	÷++÷	査等の実施	伍	<u> </u>	額 4	35, 860 円						
事業の 実施状況	- 叫肥快]	且、子	一ノ」作	且守い天	ᄜ	<u> 17</u>	6月 4	55, 600 H						
天心认沉	旧女中	4+ ~	u — 155	24 00 CC CC C	## a # "	. ^	ф д Г	01 010						
	・児童用	・特別	リ支援	学級用図書	書等の整備	新 金	額 4	21, 012 円						
成果と課題	ができる 【課題】 ・消耗品 っ後充	舌ま 費用実の紙し	関。実イく	充、れ クでる 実新に 等あ必 をろ要	児童全体 八するだけ ICT機	‡の運動能 けでも、配	力を底 当予算	上げする。 の大部分	こと を占	とにつ	つなか てしま	ヾりま ミって	: した : いま	。 す 。
==/===	N == 44		14.14	/\ 44	* +1 .h4	÷1 ::: 141	先駆性	必要性			-ズ、事			10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	独創性		\dashv		須か、委 の偏りは		ど性は。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
				_		_		有効性	\dashv		の偏りは 値は達成		١,°	5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	1	3	3	1	効率性		コスト	・人員効	率はどう		5, 3, 1, 0
			_	•				先駆性・独創	創性	他の見	本となり	えるか。		5, 3, 1, 0
	評価点 計			25	判定基準	A:事業拡充		状維持 C						の検討
(40点満点)		ZÜ	刊上左华	D:規模縮小		没定、委託の						
					担当課に	よる判定	と理由							
						ישונו שייט	<u></u>							
В	教育振興(のため	の学	習環境整個	備を継続し	って行うべ	きです	0						

1 事業の	業の成果及び評価 一般会計											
事業番号	383	事業		一般教育				事業区分	□新規	■継続		
担当課		教育絲				庶務係、						
予算区分	款	9		文育費	項		小学校費		2	教育振興費		
年	度	最 予算 (千I	額	決算額 (千円)	国 庫 支出金	事業費財県支出金	源内訳 その他 (収入)	起債	一般財源	備考		
平成2	8年度		. 903	1, 870	<u> </u>		(1, 870			
平成28年			,	,,					,,			
活動	項目	単位	年		(実績)	27(実績	麦) 2 8	3(実績)	29	30		
設定なし			実	績	_			_				
事業の対象(だれに)	蚁 上小学;		達成		<u>ー</u> 数員数 2	<u> </u>	学級数 2	一 一 一 一 一	<u>ー</u> と特別支援	 学級2学級)		
事業の目的 (なんのために)	教育振興(のため)、教)、以	材・図書等	等の整備を	そ行い学力	した。					
事業の 実施状況				査等の実肪 学級用図語				<u>, 160</u> 円 , 481 円				
成果と 課題	たでこら 課題上が ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	饺 究惟 と要統。以 を進 しで合児来 通が てすに童	、 し図 の。よの なり	じ講師 (ス 地域の教育 ました。 師の指導ス 教材備品る	大学教授) 育力を活か 力と学 ち寄った を持ち寄った。	から指導いし、子どの上を図るっています	助 も た が教 た か	ていただい 地域の宝 が続して講師	いているこ として育て	ことがさます の必要性は。 10.7.3.0		
評価項目	必要性	妥当	1性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委託 受益者の偏りはな	Eの可能性は。 10, 7, 3, 0 にいか。 5, 3, 1, 0		
評価点	7	10	0	1	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成で コスト・人員効率 他の見本となりえ	率はどうか。 5, 3, 1, 0		
	評価点 計40点満点			25	判定基準	D:規模縮小	、終期設2		善・効率化し 討 E∶休止、	.継続、委託の検討 、廃止		
					担当課に	よる判定の	と理由					
В	教育振興(のため	の学	習環境整値	⋕を継続し	,て行うべ	きです。					

	の成果及び				'								一般	会計		
事業番号	262	事美	美名	一般教	育	振興費(配					事業区分	□新規	見		■継続	Ĉ
担当課			10 <u>-</u>			担当係					指導係		101 -			
予算区分	款		教育		5 7	項		小学				∄ 2	教育	振興:	費	
Æ			終	決算	狽		- 事業	費財			(千円)	ı		/±		
年		下身	額四)	(千円	1)	国庫 支出金	県支	出金	そ0 (IID)他 入)	起債	一般財源		備	与	
平成2	8年度		'. 010	26,						. 300		25, 017				
平成28年			, 010	20,	, 00	771				, 000		20, 017				
活動		単位	年	度	26	(実績)	27	(実績	責)	28	(実績)	29			30	
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			目	標		_		_			_	_			_	
設定なし			実			_		_			_	_			_	
			達原	文率		_		_			_	_			_	
事業の対象(だれに)	町立小学	校 5	校	対象児	童	数895名	<u> </u>									
事業の目的 (なんのために)	小学校教 滑な実施			ため、	必多	要な施策を	き講じ	るこ	とに	より	、小学校	教育の充実	€と義	務教	育の	円
						以下の補					<i>t</i> =。	備考				
				金の名	小小	金額(P			対象者 丁教育		町数杏豆	<u> </u>	数字	TII vira :	千計	
事業の	教育	研究:	会補助	金		315	, 000		究会			九云が11 . 成すること				
実施状況	224 1.1		- /- 1- 1 - 1-1	L A		1 700	41.4	П	丁学校			負担軽減、!				
	子校	給食	寺舗り] 壶		1, 720	, 414	給	食会	長		足進するこ				
	修 学	佐行る	日本之	補助金	1/	70	, 352		丁小中			おける児童				
	沙丁	ינואוגי.	JI 1- 1-	1 THI UJ A	<u>.</u>	73	, 002	与	之校長	Ę	全確保を	図ることを	目的	に実	包	
成果と 課題	とともに、 ・情報機器 に沿って 【課題】	、就学 につい 実施し	援助費 いては しまし <i>†</i>	費の支約 、PC、 た。	合にプロ	よる経済的 1ジェクタ、	りな支 無線L	援を -ANの	行い、	教育	fの機会均 E了し、教育	着と教育が 等を図りま 質用タブレッ 進める必要	した。 小端え	末を素	E備計	
評価項目	必要性	妥当	当性	公平	生	有効性	効率	∞性	先馬 独倉	区性 削性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能		10, 7, 10, 7, 5, 3,	3, 0
評価点	10	1	0	1		3	3	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどう	_	5, 3, 5, 3, 5, 3,	1, 0
	評価点 計40点満点			30		判定基準		模縮小	\、終	期設定		善 · 効率化 討 E∶休止			の検討	तं
						担当課に	よる	判定。	と理E	<u> </u>						
В	学習指導 備してい						育振興	のた	め、	教育	備品・教	材等を計画	画的に	継続	して	整

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	263	事第	美名	一般教育	振興費(丿	(橋小)		事業区分	□新規	見り	■継続
担 当 課					担当係	庶務係、:					
予算区分	款		教育		項	2 小学		•	1	教育振興	費
_	_		終	決算額		事業費財		(千円)		144	_
年	艾	予算		(T III)	国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備	考
平成2	2年度	(千)	(119) (119)	(千円) 2,055	又山並		(4又人)		2, 055		
平成28年			., 119	2, 000					2, 000		
活動		単位	年	度 26	(実績)	27(実績	1 2 2 2 3	3(実績)	29		30
1,1,2,3	X-1			標	_			_	_		_
設定なし				績	_	_		_	_		_
			達原	戊率	_	_		_	_		_
事業の対象(だれに)	八橋小学村	交 児	建全	05人、耳	哉員24人	学級	数13学	級(うち物	持別支援 学	ዾ級5学級	()
(/2/012)											
事業の目的	#/ (rm	_ , .,	بىد				<i></i>	_			
(なんのた めに)	教育振興(ひため)、教	材・図書等	手の整備を	で行い字カ	同上を図	る。			
(۵/۱۵											
	教育振興(のため)、以	下について	て実施及び	が整備しま	した。				
	£= 66 18 =	<u> </u>	£ 1 14		_		ф т	0001-			
事業の	• 知能検	査、字	力検	査等の実施	笹	金	額 46/	, 660 円			
実施状況	- 旧辛田	- 井土 口:	十七	当级中回:	事体の動は	金	安百 111	, 000 円			
	* 况里用	* 特別	リ又抜	学級用図書	青寺の登1	東 並	領 444	, 000 円			
	【成果】										
				必要な教							
				着と向上に	こつながり	りました。	また、児	重凶書等?	を購入し、	児童の学	'習環境
	を整備し			消耗品費力	が維持され	1. 児童が	使田する	田紙代 日	11刷用品件	けはすべて	公費で
				き、継続し						(10)	ΔĄ C
		_		_ , _,,,							
	7 = 田 日本 1										
成果と	【課題】	卫笙介	は乗り	にあたっっ	とけ在が計	∔両を立て	年年 数	職員が借	旦敕珊たⅠ	て羽右州	心にた確
課題				活用できる						ノ C 近 円 10	ルだ推
	шо , о .	`	. 13773	74713 4 6	J J , J //				, 0		
	\		ie Lei	—		41 4	上	必要性	住民ニーズ、事		10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは		10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
=a:/π: ►	7	4	Λ	1	•	2	1	有効性	目標数値は達成	できたか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	1	3	3	ı	効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効 他の見本となり		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計			25	和中 4 %	A:事業拡充	E B∶現状	————— 維持 C∶改	善効率化		
	40点満点			25	判定基準				討 E∶休止		
					担当課に	よる判定の	と理由				
В	教育振興(のため	の学	習環境整備	備を継続し	て行うべ	きです。				
			-		•	· - •	, ,				

1 事業の	の成果及び	評価] - 	于不从人	~ D/C ~) =	AK.	рт іші і	■ 一般	会計
事業番号	269	事業名	総合的な				_	美区分	□新規	₹.	■継続
担当課					庶務係、					#1 -	le m #
予算区分	款	9 教育		項	2 小学		1 / 7	<u> </u>	2	教育	振興費
年	夿	最 終 予算額	決算額	国庫	事業費財	源内部 その		一円)			備考
	IX.	(千円)	(千円)	支出金	県支出金	(収入		己債	一般財源		υ π ~⊃
平成2	8年度	880				() ()			858	市町村倉	生交付金対象事業
平成28年	度(明許)										
活動	項目			6(実績)	27(実績	責)	28(実	績)	29		30
設定なし			書標 ■ 標	_	_				_		_
改定なし			^{天頓} 成率		_				_		
事業の対象	町立小学		対象児童	数895名	<u>. </u>						
(だれに)	-1-77-1-1-1	× 0 1×	ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハ	<u> </u>	-						
	興味·関/	心等に基7		ど創意エヺ	きを生かし						習や生徒の 考える力な
事業の 実施状況	子ど	もたちが	告体験学習 琴浦町の主 とともに、	要農産物	である二+	-世紀3		音体験	学習を通		農業への をしました。
	きか ・農産 【課題】 ・学習	ける児童 琴浦町マ 物の栽培 二十世紀 効果を高	人がッ体梨 めいおおう 大が かいまれ あておん かいまれ かいまい かんじょう かんじょう かんしょう しょう しんしょう しんしょう いんしょう いんしょう いんしょう いんしょう いんしょう いんしょう しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう しんしょう かいしん	ています。 サケの飼 て、琴浦 、特別栽 、学校行	。 育・放流、 町の特産品 培米作り 事や教科と	海の 品を知る など など :関連で	主き も も せ を な を な た に た に た た た た た た た た た た た た た た た	調査な	なりました な実施が となってし	た。 求めら	られます。 け。
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆 [†] 独創 [†]	生 公平性	± ±	住民ニーズ、事事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能 ないか。	E性は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	3	5	3	3	有効性 効率性 先駆性	±	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどう	, , ,
	評価点 計40点満点		34	判定基準					善・効率化 討 E∶休止		、委託の検討 L
				担当課に	よる判定	と理由					
В			票(地域になりと愛着のP							うくり	ビジョン

14-20

	0成果及び		II. 6		** 				I — 111 — 12		一般会		
事業番号	1056	事	集名	通級指導	尊教室(小学		111 →	-	事業区分	□新規	見 <u></u>	■総	Ě続
担当課			1 ±1 =±-			庶務係、		糸、	指導係		+11 - 1- 15	- ron ===	
予算区分	款		教育		項	2 小学			-	∄ 2	教育振	費	
/ -		最	終	決算額		事業費財			(千円)			/ ++ - + z	
年			額	(国庫	県支出金	その		起債	一般財源		備考	
T + 0	^ 	(+	円)	(千円)			(収.	人)					
平成2			114	,	98					98			
平成28年						27 / - /	- \			2.2			
活動	項目	単位			26(実績)	27(実績	責)	28	3(実績)	29		30)
				標	_	_			_	_		_	-
設定なし				!績 戊率	<u>_</u>	_				_			_
古世の社会) 连	火 牛	_	_			_	_			
事業の対象(だれに)	八橋小学	校通級	及指導	教室(田	丁内全小学校	校対象)							
(/2/012)													
事業の目的	八橋小学	校内に	2発達	障がい	通級指導教 望	を開設し	、町	内児	童を中心	に、通常の)学級(こおけ	る指
(なんのた					がいのあるり								
めに)	細やかな	教育を	行う	ための教	数室の運営!	こ必要な維	持管	理及	び環境整	備を行う。			
	in ᅔᄼᅷ	46		L	/ <u>337</u> = 0 1 · · · · -	- 22 - 12 - 1 - 1 - 1	. 	- -	1 4. 11 +4	··· · · · ·			
	児童の実	態に台	うわせ	た楽しく	〈学ぶための	ソ字省教材	を以	トの	とおり整	痛しました	٥-		
		- 4			0	v == 1,,			<u> </u>	100			
事業の	漢字力·	ード、	読解	カアップ	プのための賞	P省教材等	,	金	額 51,	180 円			
実施状況													
	【成果】		_										
					って学習して								
					態に合わせて								
					ぶための学習	『教材、教	材備	品を	多様に整備	備すること	こで、3	紀実し:	た通
	級指導	ができ	きまし	た。									
	7 =田 旦古 ¶												
	【課題】	学长月	トエブ	ヘナギョ	きや困り感か	ぶちて旧会	の罪	晒 太	か美し 古!	犯している	' +_ * h I	- 1+	(E) Pil
成果と					兄に応じた教						. 1501	-I&, '	凹力!
成未と 課題	の又抜	Z11 v	`、旭	14 WAX	ガルル した名	※例・教具	で筆	1)用 9	る必安か	めりまり。			
环烃													
表现在于 口	ᅶᆂ	, co.	12 hA-	V 40 14	<u>+</u> +,	ᄽᅑ	先馬	区性	必要性	住民ニーズ、事			7, 3, 0
評価項目	必要性	女 姜	当性	公平性	有効性	効率性	独倉		妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは			, 7, 3, 0 3, 1, 0
	4.0		_	_	—				有効性	目標数値は達成		5,	3, 1, 0
評価点	10	1	0	1	3	3	3	3	効率性 社会社	コスト・人員効			3, 1, 0
	==:/=: = : :								先駆性・独創性				3, 1, 0
	評価点 計			30	判定基準	A:事業拡充		頭状	維持 C∶改 ≧、委託の検	゙善・効率化		委託の	検討
(40点満点	.)							と、安託の快	□ □ 1小皿	.、廃止		
					担当課に	よる判定	と理E	<u> </u>					
В				,童につい	ハて、個々の	り障がいの	種類	• 程	度に応じ	た教育を行	ううたと	かに継	続し
ן ט	て行うべ	きです	۲。										

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	386	事業		一般経常	経費 (赤砧	奇中)		事業区分	□新規			継続
担当課	教育総務	果			担当係	庶務係、	学務係、	指導係				
予算区分	款		教育		項	3 中学			1	学校的	管理	貴
		最	終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)				
年	度	予算		(- m)	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源		備	考
T +0	\ _ _ _ _	(千		(千円)	支出金	***	(収入)	IC IX				
平成2		2	, 925	2, 560					2, 560			
平成28年		22/ LL	<i></i>		\	07/ 11 6	= \	0 /ch/st\	00			20
活動	垻日	単位		度 26 標	(実績)	27(実績	夏) Z (8(実績)	29			30
設定なし			実		_	_			_			
IX.A. 6				龙率	_	_		_	_			_
事業の対象(だれに)	赤碕中学	交 生		203人、	教職員数	女29人	学級数	1 0 学級(うち特別を	5援学	級3	 学級)
事業の目的 (なんのために)	生徒が安々	ひして	学校	生活を行う	えるよう学	₽校施設の	維持・管	理を行う。	o			
事業の実施状況	学校の維持 【整備備。			て、以下(≗備しまし	た。金額	224, 7	08]円			
成果と課題	【課題】 ・施設管 ³ よる修 ³	理にて	いて ごもし	は過誤に。 ています。	よる破損な しかし、	ょどが減る 設備の老	よう努力 朽化によ	な学校運 する は る は る は は る で る で る で る で う で う で う で う で う う う う	もに、できる人	きる ・ さは 後 能 継	囲を続が、	た ず 、 望まれ
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、多 受益者の偏りは	託の可能		10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	5	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員交 他の見本となり	えできたか 1率はどう		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			29	判定基準	A∶事業拡充 D∶規模縮小			善・効率化			
					担当課に	よる判定の	と理由					
В	生徒が安々	ひして	生活	できる学		•		可欠であ	り継続して	で行う	べき	です。

14-22

1 事業の成果及び評価 一般会計

1 事業の	集の成果及び評価 一般会計 号 278 事業名 一般経常経費(東伯中) 事業区分 □新規 ■継続												
事業番号	278	事業名	一般経常	経費(東個	白中)		事業区分	□新規	■継続				
担当課	教育総務	课	_		庶務係、	学務係、	指導係						
予算区分	款	9 教育	費	項	3 中学			1 学	学校管理費				
		最 終	決算額		事業費財		(千円)						
年	度	予算額		国庫		その他		60. B土 255	備考				
		(千円)	(千円)	支出金	県支出金	(収入)	起債	一般財源					
平成2	8年度	4, 271	3, 590					3, 590					
平成28年		,						,					
活動		単位	F度 20	5(実績)	27(実績	i 2	8(実績)	29	30				
7,2,7,3	X-1		標	_			_	_	_				
設定なし			ミ績	_	_		_	_	_				
			成率	_	_		_	_	_				
事業の対象(だれに)	東伯中学	交 生徒数	女297人.	、教職員数	数32人	学級数	711学級	<u></u> (うち特別支	援学級2学級)				
事業の目的			いして生活 [・]				きする。						
事業の 実施状況	学校の維持 【整備備。		ノて、以下(イトボー				金額	<u>632, 784</u> P	3				
成果と 課題	また突然に有効で に有効で 【課題】 ・体育館を ず社会の	発的におっ です。 管理につい	る破損に いて、長期 使用してい	迅速に対応	できるこ な状態を維	とは、安持するたからも、	が安全な ^を ない。 かには、 ^を 業者によった。	学校教育では	て、日常的に、 の視点から非常 の使用のみな布を 剥離並び塗布を				
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の 行政必須か、委託 受益者の偏りはな	の可能性は。 10, 7, 3, いか。 5, 3, 1, (
評価点	7	10	5	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成で コスト・人員効率 他の見本となりえ	はどうか。 5, 3, 1, (
	評価点 計40点満点		29	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		維持 C∶改 定、委託の検		継続、委託の検討 廃止				
				担当課に	よる判定。	と理由							
В	生徒が安心	心して生活	舌できる学		•		可欠であ	り継続して行	行うべきです。				

14-23

) 成果及び		W ==	An //2 24	AT # / TT 1	E.I.V		1 ± 44 = 11		一般云	
事業番号	277 ** ** *** **	事業	養名	一般経常	経費(配分			事業区分	□新規	見	■継続
担 当 課 予算区分	教育総務 款		拟立 :	弗		学務係	拉弗		1	半块体	III 弗
了异区河	示人	9 最	教育	_更 決算額	項	3 中学 事業費財			1	学校管	连 复
年	由		終 算額	次 异积	国 康			<u>(千円)</u> T			備考
	艾	千(千		(千円)	国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		1佣 行
平成2	R在使		, 016	30, 640	-		5, 000)	25, 640		
平成28年		01	, 010	00, 040			0, 000	1	20, 010		
活動		単位	年	度 26	(実績)	27(実績	5) 2	8(実績)	29		30
(12.73	X-1			標	_			_	_		_
設定なし			実	績	_	_		_	_		_
			達原	戈率	_	_		_	_		_
事業の対象(だれに)	町立中学	交 2	2 校	対象生徒数	数 514	4名					
事業の目的 (なんのた めに)	中学校の教 維持管理を							や必要なな	物品及び旅	拖設設備	情の整備と
事業の実施状況	▪通級指導 教室等無網	鼻教室 線 L <i>A</i>	ミエア	コン設置ご 置工事	工事、保倾 等		用カーテ	・ンレール	金額		76, 267]円
成果と 課題	【課題】								等)の経費:		っています。
評価項目	必要性	妥铂	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性ないか。	は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	1	0	5	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり]率はどうか	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			32	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		維持 C∶改 定、委託の検			委託の検討
					担当課に	よる判定の	と理由				
В	中学校のi も備える <i>i</i>				め、継続し	 って行うべ	きです。	また、災	害時の避難	#所とし	ての機能

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	281	事美		一般教育	振興費(え	赤碕中)		事業区	分	□新規		■継続
担当課						庶務係、		指導係				
予算区分	款		教育		項	3 中学			且	2	教育振興	.費
/-		最	粉點	決算額		事業費財		(千円))		,,,	- +⁄
年			額田、	(T m)	国庫	県支出金	その他 (収入)	起債	— ;	般財源	備	考
平成2	0年度	(千	3, 213	(千円) 2,980			(42.7)			2, 980		
平成28年		U	, 210	2, 300	<u>'</u>					2, 300		
活動		単位	年	度 2	6(実績)	27(実績	青) 2	8(実績)		29		30
70 30	7.1	+ 12		模 標		<u> </u>	R()					_
設定なし			実	績	_	_		_		_		_
			達原	戊率	_	_		_		_		_
事業の対象(だれに)	赤碕中学	交 生	:徒数	203人	、教職員数	女29人	学級数	10学級	(うち	特別3	を援学級3	学級)
(/_101_)												
事業の目的												
(なんのた	教育振興(のため)、必	要な教材	·図書等 <i>0</i>)整備を行	い学力向	上を図	る。			
めに)												
	教育振興(のため)、以	下につい	て実施及び	が整備しま	した。					
事業の	• 学力検	査等σ	実施			金	額 683	, 870 円				
実施状況												
	・児童用	•特別	刂支援	学級用図	書等の整備	黄 金	額 702	, 000 円				
	【成果】											
		調のた	- め の	学型语语	整備を行し	、	旦を活田	1- 坪==	業の充	宇たほ	ภเม ≠ เ <i>+</i> -	_
					ェ偏で刊り 業は生徒へ							-
					ネルエル 習が進めら			7 & 0 /	-	/_ \ T		人人和门
	0,72		_ ()//	7 4 3 0 3		349 6 0 0	, 0					
	【課題】											
	授業に	関する	環境	整備は年	次ごとに糺	継続的に進	めていく	必要が	ありま	す。特	寺に I C T	関係の
	ものは、	. 活用	頻度	も高く耐	用年数が短	豆い傾向に	あるため	さらなん	る更新	が必要	更になって	います。
成果と												
課題												
					_			_				
評価項目	必要性	妥当	5件	公平性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性			業の必要性は。	10, 7, 3, 0
11 四・天日	~>1		<u></u>	I	117911	~~J — I —	独創性	公平性	受益:	者の偏りは	はないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	1	3	3	1	有効性 効率性			tできたか。 h率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
. III /III	'		<u> </u>	•	<u> </u>		•	先駆性・独創		見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計			25	判定基準	A:事業拡充					し継続、委託	託の検討
(40点満点)				D:規模縮小		E、安計0.	ク使討	□・1不山	- 、廃止 	
					担当課に	よる判定	と埋田					
_												
В	教育振興(のため	の学	習環境整	備を継続し	って行うべ	きです。					

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	281		Ě名	一般教育	振興費 (夏		¥ 75 15	事業区分	□新規	見 I	■継続
担 当 課 予算区分	教育総務語		教育	弗	担当係 項	庶務係、 3 中学				教育振興	弗
了异位刀	水人		終	^艮 決算額	枳	事業費財			1 2	教育派典	貝
年	度		額	八开识	国庫		その他		60.04.00	備	考
·			円)	(千円)	支出金	県支出金	(収入)	起債	一般財源		-
平成2		4	, 396	4, 178					4, 178		
平成28年					(()	27/-	-	/ / \	22		22
活動	項目	単位		度 26 標	(実績)	27(実績	复) 28	3(実績)	29		30
設定なし			実								_
1347C 0 0				艾 率	_	_		_	_		_
事業の対象(だれに)	東伯中学	校 生	€徒数	297人、	教職員数	女32人	学級数	11学級((うち特別)	支援学級	2学級)
(/2/01-)											
事業の目的	教育振興(nt-x	> 数	材。図書等	生の整備す	そ行い学力	向上を図	る			
(なんのた めに)	新学習指述										
(۵/۱۵											
	教育振興(のため)、以	下について	て実施及び	ド整備しま	した。				
市業の	• 学力検	本生の	・中佐			金	安百 1	, 008, 570	l m		
事業の 実施状況	* 子刀快]	直守()	ノ夫加			<u> </u>	렍	, 006, 570	17		
J 180 D 180	• 児童用	• 特別	∥支援	学級用図	書等の整備	金	額	935, 506	H		
	70±713	1373			= ·, · · · · · //	. —		,	l. •		
	【成果】	생 모그 효	+ / ± 1−	L (1 - ")	``	+ ++ + +	:>>	ショカは	ᄑᄯᆕᄮᆡ	. +> II ±/	- hT 1847
								科書の使用 りました。		こなり、豹	「師かれて
								で、支障を		・となく揺	業 並び
				とができ			1, ,		e c /c / c		. * # 0
	【課題】										
		機器に	こつい	て、整備	目標をたて	年次的に	購入また	は更新して	ていくこと	:が重要と	なりま
成果と 課題	す。										
示 因											
	Se are be	<u> </u>	14.44	7. 1.1	<u> </u>	41 4 14	<u></u> 先駆性	必要性	住民ニーズ、事		10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	安旨	当性	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは		10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	1	3	3	1	有効性	目標数値は達成コスト・人員効	できたか。	5, 3, 1, 0 5. 3. 1. 0
- 一川川	1		v	<u> </u>	J	J	ı		他の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計			25	判定基準	A:事業拡充	E B:現状	維持 C:改	善・効率化	し継続、委託	モの検討
(40点満点	.)						≧、委託の検	ay ⊏·1个Ⅱ	.、発工	
					担ヨ誄に	よる判定の	2 理出				
				77 -m · + + · ·	<u> </u>						
В	教育振興(ひため	の学	省環境整 (備を継続し	て行うべ	きです。				

	の成果及び												一般	会計		
事業番号	280	事第	美名	一般	り 育 !	振興費(配					事業区分	□新規	見		■継続	
	教育総務					担当係			L#h				40, 4	le m	**	
予算区分	款		教育		Ф.	項		中学			-	∄ 2	教育	振興:	貫	
年	由	最 予算	終	決算	- 観		事業	費財			(千円)			備	*	
	泛	『手		(千)	Д)	国庫 支出金	県支	出金	その(収)		起債	一般財源		NH.	75	
平成2	8年度		. 669		306			153		000		16, 922				
平成28年			<u></u>	,					,			,				
活動	項目	単位		度	26	(実績)	27	(実績	()	28	(実績)	29			30	
=0.4				標		_		_			_	_			_	
設定なし			実達原								_					
事業の対象	m					u – .										
(だれに)	町立中学	校 2	2 校	対象生	E従到	数 514	1名									
事業の目的 (なんのた めに)						要な施策を 教育の円滑					遠距離通	学に対する	6補助	か就	学援助	助
371-7																
				興の <i>†</i> 金の名		以下の報 金額(F			施しる 対象者		<i>t</i> =。	備考				
								サム			请距離 通 :	<u> </u>	の保	護者(D負	
事業の	遠距	離通	学生很	ŧ補助 [。]	金	2, 048	, 400)保護		担軽減を	図ることを	目的	に実施	包	
実施状況	学校	給食	等補助	力金		932	, 742	学校	給食	会長		負担軽減、! 足進するこ				
	中学	!校部;	舌動補	助金		448	, 200	中	学校县	Ę		である部活!				
成果と課題	図り、学器 教年度の ・前 ・ 記 題 記 り と 説 り に 数 に り に り に り に り に り に り に り に り ら う し ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	カ向上 学につい ブレッ の学 ミング	に努いいのでは、これでは、これでは、日本のでは、日本には、日本のでは、日本には、日本のではは、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本には、日本	めるこ 、PC kの採 や対応	とが「たが」とが「たいない」とが「たいない」という。	できました 1ジェクタ、 整備計画1 伴い、中学 の目的意詞	。 携帯ス こ沿の 単校の 戦を高	スクリ・ て実 教師!	ーン、 施しま 用指導 必要が	教材 した 事書 ⁴ があり	†提示装置 。 等の整備を リます。	D定着と教 、無線LAN そ行いました 教材の整備	Nの整 こ。	(備を	完了し	~
評価項目	必要性	妥当	当性	公平	性	有効性	効率	뚇性	先駆 独創	⊻1± ₩	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能		10, 7, 10, 7, 5, 3, 1	3, 0
評価点	10	1	0	1		3	3	3	3	}	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどう	_	5, 3, 1 5, 3, 1 5, 3, 1	1, 0
	評価点 計40点満点			3)	判定基準	D∶規	模縮小	、終其	明設定		善・効率化 討 E∶休止			の検討	†
						担当課に	よる	刊正(二埋日	1						
В	学習指導: 備してい						育振興	のた	め、	教育	備品・教	材等を計画	画的に	継続	して彗	

1 事業の	の成果及び		750[,	14.000			A. I.— .	- 一般会計	
事業番号	285	事業	名	総合的な	•			事業区分	□新規	見■継網	涜
担当課						庶務係、					
予算区分	款		教育		項	3 中学			2	教育振興費	
年	中	最 予算	終頭	決算額	同度	事業費財		(千円)		備考	
	又	千八十八		(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	V⊞ 75	
平成2	8年度		308	270					270	市町村創生交付金対象	事業
平成28年											
活動	項目	単位	年		(実績)	27(実績	1 (2)	28(実績)	29	30	
設定なし			目実			_					
政定なし		_	達成		_	_		_	_	_	
事業の対象	町立中学	办 2			数 514	. 夕				-	
(だれに)	叫五十十	义 2	TX	对	双 514	+ 12					
		心等に	基づ	く学習なる	ど創意エ規					な学習や生徒 「自ら考えるカ	
事業の 実施状況	地域	生活を	を支え	.る様々な					額 <u>53,</u> 触れ合い [。]	900 円 や地域への愛え	
	を再 ・ 農産 【課題】	認識 Ū わくれ 物のま そばま	ン地域 つく 東 伐培体 我培	tへの愛着 ፱伯、ワク [、] 験を通じ	を深める ⁵ ワク赤碕 て、地域(学習機会と 、社会人詞 の主要な角	: なって! 講話 なと 賃業であ	います。 -	る機会とフ	琴浦町のよさ なりました。 あります。	
評価項目	必要性	妥当	i性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 10, 7 ないか。 5, 3	7, 3, 0 7, 3, 0 8, 1, 0
評価点	10	10	0	3	5	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。 5,3	3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			34	判定基準		、終期設	犬維持 C∶改 定、委託の検		し継続、委託の検 、廃止	 i討
					担当課に	よる判定。	と理由				
В								を を を を を を を を を を も こと こと こと こと こと こと こと ころ ころ ころ ころ ころ ころ ころ ころ ころ ころ ころ ころ ころ		うくりビジョン	,

事業番号	<u>700条及び</u> 1302	事業		通級指道	教室(中学	.校)		事業区分	} □新規	一般云言	■継続
担当課			N'II	でが10寸		庶務係、	学務係、			у .	- 17E-17E
予算区分	款		教育	費	項	3 中学			目 2	教育振興	費
		最	終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)	•		
年	度		額	(- m)	国庫	県支出金	その他		一般財源	仿	青考
ਜ਼ ਦੇ 0	0 左 曲	(千		(千円)	支出金	***************************************	(収入)				
平成28年			37	32	<u>′</u>				32		
活動		単位	任	度 2		27(実績	善)	28(実績)	29		30
/D 3/J	7.0	平位		模 標		- Z/(文 /)	R/				_
設定なし			実	績	_	_		_	_		_
			達原	大率	_	_		_	_		_
事業の対象(だれに)	東伯中学	交通級	及 指導	教室(中部	常管内の中	学校生徒)					
事業の目的 (なんのた めに)	導だけで	ま不十	-分な	発達障が	いのある生	E徒につい	て、個	生徒を中心 々の障がい 及び環境整	の種類・私	星度に応し	
事業の 実施状況					せた学習教	女材を以下 金		り整備しま 1,930 円	した。		
成果と 課題	・通級指導 とりの物 向上を 【課題】	算教室 犬況に 図るこ	≊に通 □合わ □とが	う個々の せたきめ できまし	生徒のつま 細やかな排 た。	まずきの状 旨導を行い	況を把 、通常(、 学 し 級 学 が あ り ま ま ま ま ま も ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	内容を工規学習に対応す。	きするなる	適応力の
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 ないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	1	0	1	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 性 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			30	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		状維持 C∶d 设定、委託のt		し継続、委 - 、廃止	託の検討
					担当課に	よる判定。	と理由				
В	発達障がしべきだと				て、個々の)障がいの	種類・	程度に応じ	た教育を行	ううために	こ継続す

14-29

	の成果及び	評価	750					1420	•		A1 II— I	_ 一般会	
事業番号	1340	事業	美名	鳥取中部	地震災		震災害復旧費・	教育総務	务課)	事業区分	■新規	見	□継続
担当課			<i>///</i> 🖶	/ <u>- </u>		担当係	庶務係	<i>///</i> 	·				1
予算区分	款			復旧費		項	2 地震				2	馬取県中	部地震対策費
年	度	最 予算		決算		国庫	事業費財県支出金	その	他	(千円) 起債	一般財源		備考
ज ।	0左由	(千	円) , 057	(千円	4) 672	支出金		(収.	人)			H20左	モノー 4品 土出 1
平成28年		0	, 057		0/2					200	412	пин	まに繰越し_
活動		単位	丘	度	26	(実績)	27(実績	事)	28	(実績)	29		30
71143	ХН	712		標						_	_		_
設定なし			実達原	績 戊率		_	_			_	_		_
事業の対象(だれに)	小学校 5 相 中学校 1 相				聖組	郎小学校、	八橋小学	校、	赤碕	小学校、船	沿上小学 材	交)	
事業の目的 (なんのために)	鳥取県中	部地震	によ	り被災	₹ <i>し†</i>	と小・中学	ዸ校施設の	修繕	を行	う。			
	地震に。	より被	害を	受けた	:以7	下の学校旅	西設の修繕	を行り	いま	した。			
		学校名	1			施設名	7			(千円)		考	
		安小学					ランチル	, — ム			平成29年		
事業の		郷小学		校舎、			0				平成29年		
実施状況		橋小学				引教室棟、					平成29年		_
		骑小学			1本 i	育館、プ−	-ル			1, 377 322	平成29年	度まで	_
		上小学 伯中学		校舎	5 E	昇降棟、部	切穴抽				平成29年	由士で	_
						<u># 阵 傑、 </u>				1, 102	千成29年	及まじ	
成果と 課題	【課題】 · 大規	浦安/ 模災要 が	小学校 書時に	交、聖 ジ こ 人 り ま す。	郡小 波害	学校、八 を最小限(・中学校旅 橋小学校、 こ抑えるた 明器具の落	赤碕 - めの	施設	を校、船上を整備を、	小学校、		
評価項目	必要性	妥当	á性	公平	性	有効性	効率性	先駆 独創		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性	, . , . , .
評価点	10	1	0	5		3	3	1		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			32	2	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小			維持 C∶改 ☑、委託の検			委託の検討
						担当課に	よる判定の	と理由					
E	被災したカ	 施設 <i>の</i>)修繕	は平成	₹29£	手度に完了	"する予定	です。	- -				

(抽 古 口 古类なな)	/自幼子体好\	/ >L &F &F \	(単位:千円)
(款-項-目-事業名称) 会所款項目 事業列3	(最終予算額) 予算額	(決算額) 決算額	(ページ) (備考) 列1 列12
一般会計 一般会計	了 异钡	大井镇	7111 7111Z
社会教育課	517,342	299,147	
2.総務費	16,650	14,148	
7.地方創生事業費	16,650	14,148	
1.地方創生推進交付金事業費	1,940	1,934	
健康寿命プロジェクト	1,940	1,934	15-1
2.地方創生加速化交付金事業費	14,710	12,214	
ことうら健康寿命延伸活動(社会教育課)	14,710	12,214	15-2
うち繰越分	14,710	12,214	15-2
9.教育費	496,578	283,657	
4.社会教育費 1.社会教育総務費	233,353 8,166	230,641 7,606	
ことうら10秒の愛~やさしさの貯金~	354	335	15-3
家庭教育支援推進事業	172	145	15-4
次世代ことうらっ子育み推進事業	1,131	1.059	15-5
社会教育振興	3,875	3,654	15-6
寿大学	81	61	15-7
青少年育成啓発事業	839	730	15-8
男女共同参画推進事業	458	404	15-9
文化活動事業	1,058	1,023	15-10
無盡庵管理	199	195	15-11
2.公民館費	44,071	43,450	15 10
安田地区公民館活動事業 安田地区公民館管理事業	458	447	15-12 15-13
	468	462	
以西地区公民館活動事業 以西地区公民館管理事業	461 466	428 437	15-14 15-15
一般管理	34,315	33,968	15-16
浦安地区公民館活動事業	646	625	15-17
浦安地区公民館管理事業	554	553	15-18
下郷地区公民館活動事業	544	541	15-19
下郷地区公民館管理事業	652	625	15-20
古布庄地区公民館活動事業	490	480	15-21
古布庄地区公民館管理事業	516	506	15-22
上郷地区公民館活動事業	331	320	15-23
上郷地区公民館管理事業	421	420	15-24
成美地区公民館活動事業	479	473	15-25
成美地区公民館管理事業 赤碕地区公民館活動事業	822	818	15-26 15-27
赤碕地区公民館管理事業	680 480	615 460	15-2 <i>1</i> 15-28
八橋地区公民館活動事業	701	686	15-29
八橋地区公民館管理事業	586	586	15-30
3.文化財保護費	77,691	77,302	10 00
赤崎台場跡保存·活用推進事業	249	229	15-31
大高野遺跡保存・活用推進事業	70,023	69,906	15-32
うち繰越分	64,651	64,639	15-33
町誌編さん事業	51	23	15-34
町内文化財保護事業	6,529	6,417	15-35
民俗資料館管理	839	727	15-36
4.埋蔵文化財発掘調査費 国道9号線別所地区交差点改良事業に伴う発掘調査事業	16,406	16,286	15_27
国道9号線別所地区父左原以及事業に行う先掘調査事業 町道別所東線道路改良工事に伴う発掘調査事業	3,771 11.372	3,768 11.267	15-37 15-38
町内遺跡発掘調査事業	1,263	1,267	15-36
5.生涯学習センター運営費	26,009	25.480	.5 00
生涯学習センター管理費	26,009	25,480	15-40
7.カウベルホール運営費	61,010	60,517	
カウベルホール運営	61,010	60,517	15-41
5.保健体育費	263,225	53,016	
1.保健体育総務費	11,223	11,219	
一般管理	11,224	11,219	15-42
2.体育振興費 スポーツ少年団育成強化	10,210	9,689	15-43
スパープ少年団育成強化 運動習慣定着推進事業	987 171	943 131	15-43 15-44
選到目頃足相推進事業	298	176	15-45
郡・県・全国体育大会選手派遣	4,797	4,582	15-46
社会体育指導及び推進	1,792	1,748	15-47
町体育協会育成及び各部奨励	2,165	2,109	15-48
3.体育施設費	241,791	32,108	
勤労者体育センター管理運営	624	589	15-49
社会体育利用施設管理	733	700	15-50
赤碕総合運動公園管理	6,053	5,689	15-51
東伯総合公園管理事業	20,735	12,658	15-52
東伯総合体育館耐震対策事業	205,550	4,700	15-53

農業者トレーニングセンター運営	3.761	3.654	15-54
平岩記念会館管理運営	503	485	15-55
閉校管理事業	3,832	3,633	15-56
10.災害復旧費	4,115	1,342	
2.地震災害復旧費	4,115	1,342	
2.鳥取県中部地震対策費	4,115	1,342	
鳥取中部地震災害対策事業(地震災害復旧費・社会教育課)	4,115	1,342	15-57
図書館	35,581	34,635	
9.教育費	35,581	34,635	
4.社会教育費	35,581	34,635	
6.図書館費	35,581	34,635	
図書館活動費	35,581	34,635	15-58

28 平成 年度 事業成果説明書 兼 評価書 -般会計 事業の成果及び評価 事業番号 事業名 健康寿命プロジェクト 事業区分 1328 ■新規 □継続 担 当 課 社会教育課 担当係 社会体育係 予算区分 2 総務費 7 地方創生事業費 款 項 地方創生推進交付金事業費 目 1 決算額 事業費財源内訳 最 終 (千円) 年度 予算額 備考 国庫 その他 県支出金 起債 一般財源 (千円) (千円) 支出金 (収入) 1, 940 平成28年度 1, 934 967 967 平成28年度(明許) 26(実績) 27(実績) 29 30 活動項目 単位 年度 28(実績) 目標 81.6 81.3 健康寿命 歳 実績 81.3 82 (便宜上女性) 達成率 100.0% 100.4% 事業の対象 町民全般 (だれに) 健康寿命延伸取組の一つとして、地方創生推進交付金を活用し、平成29年度以降に予定する運 事業の目的 動支援中核拠点(東伯総合公園)の機能強化・高齢者地域活動活性化・子どもと高齢者の交流に (なんのた めに) よるふるさと愛涵養につながる取り組みに向けて、町民意識調査を行う。 下記の2調査を鳥取大学に委託実施しました。また、子どもの外遊び等活動実態、遊具ニーズ 調査においては調査検討委員会を設置し、調査への住民ニーズの反映に務めました。 ○琴浦町内高齢者の活動実態、健康遊具ニーズ調査(対象:高齢者) 事業の 実施状況 委託料 1,000,000円 〇子どもの外遊び等活動実態、遊具ニーズ調査(対象:子ども・保護者) 900,000円 委託料 〔成果〕 子どもの外遊び実態・遊具ニーズ調査検討委員会を設置、町民の声を反映したアンケ ートを、鳥取大学に委託して行い、遊具ニーズの大きさなどを確認しました。 また、高齢者の活動実態調査・健康遊具ニーズについて、鳥取大学に委託して調査を実 施しました。 [課題] 成果と アンケート結果及び住民意見を反映した、平成29年度以降の適正な事業推進 課題 が必要です。

I	評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	元 11年	必要性 妥当性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0
ı							独創性	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
ſ		7	7	^		•	_	有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
ı	評価点	10	/	3	3	3	•	効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
l			-			•	•	先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
		評価点 計 40点満点)	29	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				托の検討

担当課による判定と理由

В 遊具に対する町民ニーズは極めて高く、強力に推進すべきです。

1 事業の	の成果及び		/ % [+ ~ / ///	V 11/0-23		рт іш		会計
事業番号		事第	美名	ことうら健		₱活動(社 会		事業区分	■新	涀	□継続
担当課						社会体育					
予算区分	款		総務費		項		創生事業		∄ 2	地方創	生加速化交付金事業費
		最	終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)			
年	度	予算		,,	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源		備考
		(千	円)	(千円)	支出金	- 水人田亜	(収入)	Æ JA	/3×7×1 m/s		
平成2											
平成28年			, 710	12, 214							
活動	項目	単位	年		(実績)	27(実績		(実績)	29		30
健康寿命		ᅭ	日		_	81.3		81. 6			
(便宜上が	女性)	歳	実		_	81.3		82			
N/ 11 /2			達成	(平)	_	100.0	% l	00. 4%			
事業の対象(だれに)	町民全般										
(/_////											
事業の目的											けることによ
(なんのた		の運動	か習慣!	定着を促り	し、介護予	5防と健康	寿命延伸	に寄与し、	、健康寿命	命日本	一の町を目
めに)	指す。										
	○総合体	育館 ト	· [2—]	ニングル-	- Lのリ -	ニューアル	を行いす	1. <i>t</i> -			
	・エア				1 07 7 -	-	5110.0	0720	7 08	4, 80	ΛШ
事業の			-	配置 健康	事づくりょ	・レーニン	グ数字間	侔		1, 73	
事業の	Oウォー:				-	·	ノ扱主所	IE.	7, 23	1, 70	01.1
大心れた						、囲=ル ┕	ᄪᅲᄼᄴ	区への畑口	まべ ノロ・	5	ナンガ
		フォー ス開発		ク 協会認力	Eコースの)開設と、	可内9地	区への傾		フォー3、20	
		人用用	5						90	is, 20	VF3
	5 - 15 FF 3										
	[成果]		»					75. - 1. 1		I	7.07
						-アル前の					話野の
						≧の効果が					
	〇町内各	所にけ	7オー:	キングコ-	ースが新た	こにでき、	身近な場	所での活	用が期待る	きれて	こいます。
	[課題]										
						掌体制を整					
	〇各地区	公民館	との	連携で自己	主的に活動	カできるウ	ォーキン	グ人口を	増やすこ。	ヒが必	必要です。
成果と	-			-			- 69	2 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	1 200		
課題	- 111	1		1 100	150				I TOTAL	- 1	
				3 11 1						-	
	16			N.EN	4			A COL			
			10				PA		100	-	
	.13			A)				24/			
			WI				1	2			
	100		Y								
							3.1	1 /20		31	
	トレ	ッド	ミル・	エアコン			プロ	のトレー	ナーによ	る指導	
≑ਗ /≖ ਜਨ □	少無些	TT 1	∠ 1/4L	ᄉᄼᇷᄺ	╆╬╬	ᄽᆇᄮ	先駆性	必要性	住民ニーズ、事		
評価項目	必要性	妥当	37生	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性 公平性	行政必須か、引 受益者の偏りに		, . , . , .
	10	_	,	^				有効性	目標数値は達成	丈できた;	か。 5, 3, 1, 0
評価点	10	1	/	3	5	3	3	効率性 生取性 - 独創性	コスト・人員交		-, -, ., -
	一一 エー・コ					۸ · + * + + -	. D. 70.15	先駆性・独創性			
	評価点 計 40点満点			31	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小	C B 現状に い、終期設定	維持 C∶改 ≧、委託の検			記、委託の検討 止
	- MV Med VIIV	.,			担当課に	よる判定					
					ニーサー	י אניו שייי	<u>-</u>				

В 町民の健康寿命延伸に資する新たな取り組みであり、継続が必要です。

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

		評価							一般会計	
事業番号		事業名	3 ことう)愛~やさしる		事業区分	□新規	見	■継続
	社会教育				係 生涯学習					= . = .
予算区分	款		育費	項		教育費		1	社会教育	総務費
_		最終			事業費則		(千円)			L _L.
年	度	予算客			庫 ┃県支出金	その他	起債	一般財源	頒	青考
- ha	0 	(千円				(収入)				
平成2		3	354	335	0 0	1	0 0	335		
平成28年										
活動	項目	単位	年度	26(実績)	27(実	績) 2	28(実績)	29		30
研修への語	生師派遣		目標				_	10		
可数		回	実績				_			
-			達成率							
事業の対象 (だれに)	保護者、:	地域のオ	て人、小口	中学生 等						
(/2/11/2)										
事業の目的										
くなんのた					の10秒ほと			でも子ども	と向き	ううこと
めに)	を推進し	、大人の)子ともと	こに対する。	意識の向上を	日指す。				
					である、仲島					
	翌22	日に赤硝	う中学校 と	= 東伯中学	校へ訪問し、	中学生を	E対象とした	た講演会を	そ行ないる	きした。
事業の										
実施状況	また、	定期的に	三10秒0	0愛実行委!	員会を開催し	しました。				
	〔成果〕									
		の憂講語	宝全を行力	こい ナキ	な反響があり	l = l <i>t</i> -				
	-				は及音がめて 職場研修へも			害体描がも	z Z ナ> ビ	⊞ r ch <i>b</i> l
				ょか正来の』 つあります。		大11安月	その 神 中 川 川()	単似根がの) a a c .	ш] Р Э71
	T AX O	回かいに	ユルッ フ・	Jめります。)					
	5	10秒0番	フォーラム	n D		- 1996	1000 000			
		10490732	77 74		-					
			STATE OF THE PARTY OF	7				// 2	235	
	1 編 1	THE .	31111111				Service .	10*		
成果と						A Second	2 - 2 -	I I U	(0)	
課題				- CONTRACT						
	-32	-		I loss and	7 -	,	# 3			
					/ ~ · ·		# 3	3		
	9	40	-00				E d	- FREED		
			-					- FIEL		
	「理題)	4	-					- FEL		
	〔課題〕	の悉を日	1万章: 計	T+4.5	とう、政祭に	Fat O T =	とが必要で			
	10秒				よう、啓発活			す。		.
	10秒				よう、啓発活職場において			す。		- °
	10秒							す。		۲.
	10秒							す。		۲.
	10秒					も取り糸	且みを拡大 [・]	す。 すること <i>t</i>	心要です	
評価項目	10秒		ごけでなく	(、地域や	職場において	も取り糸		す。	、必要でで 素の必要性は。	10, 7, 3
評価項目	1 O 秒 今後は	、家庭た	ごけでなく	(、地域や脚	職場において	も取り糸	Bみを拡大・ 必要性 妥当性 公平性	す。 することか 住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	*必要です。 *必要です。 ※の必要性は。 話の可能性は。 ないか。	10, 7, 3 10, 7, 3 5, 3, 1,
	1 O 秒 今後は 必要性	、家庭た 妥当性	さけでなく	、地域やII 性 有効f	職場において	も取り糸 先駆性 独創性	Lみを拡大・ 必要性 妥当性 公平性 有効性	す。 住民ニーズ、事 受益者の偏りは 同標数値は達成	*必要性は。 業の必要性は。 注の可能性は、 ないか。 できたか。	10, 7, 3 10, 7, 3 5, 3, 1, 5, 3, 1,
評価項目評価点	1 O 秒 今後は	、家庭た	ごけでなく	、地域やII 性 有効f	職場において	も取り糸	Lみを拡大・ 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性	す。 することか 住民ニーズ、事 受益者を 目標数に 日標本のは 日標スト・ 日間スト・	*必要性は。 ** の必要性は。 * だの可能性は。 ないか。 できたか。 率はどうか。	10, 7, 3 10, 7, 3 5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1
評価点	1 O 秒 今後は 必要性 7	、家庭た 妥当性 7	さけでなく生 公平5	、地域や関係特別有効性3	職場において 性 効率性 3	先駆性 独創性 3	Bみを拡大・ 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性	す。 住民ニーズ、 で 受益者の偏りは 目標スト 也の見本となり	*必要です。 *必要です。 *託の可能性は。 ないか。 できたか。 率はどうか。 えるか。	10, 7, 3 10, 7, 3 5, 3, 1 5, 3, 1 5, 3, 1 5, 3, 1
評価点	1 O 秒 今後は 必要性 7 評価点 計	、家庭た 妥当性 7	さけでなく	、地域や関係特別有効性3	職場において 性 効率性 3	も取り糸先駆性 独創性3充 B:現れ	Lみを拡大・ 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性	す。 住民政会を 住民政会領のは 長工の領の領は 長本教的・大本 で表表数・大本 である。 は人とな ののは ののは のは ののは のは のは のは のが のが のが のが のが のが のが のが のが のが	* www. w	10, 7, 3 10, 7, 3 5, 3, 1 5, 3, 1 5, 3, 1 5, 3, 1
評価点	1 O 秒 今後は 必要性 7	、家庭た 妥当性 7	さけでなく生 公平5	、地域や関係有効性3割判定基	職場において 性 効率性 3 A:事業拡 D:規模縮	も取り糸 先駆性 独創 3 充、終期設	且みを拡大・ 必要性 公妥性 公妥当性 不効率性 充駆性・独創性 大駆け・独創性 大能持 C:改	す。 住民政会を 住民政会領のは 長工の領の領は 長本教的・大本 で表表数・大本 である。 は人とな ののは ののは のは ののは のは のは のは のが のが のが のが のが のが のが のが のが のが	* www. w	10, 7, 3 10, 7, 3 5, 3, 1 5, 3, 1 5, 3, 1 5, 3, 1
評価点	1 O 秒 今後は 必要性 7 評価点 計	、家庭た 妥当性 7	さけでなく生 公平5	、地域や関係有効性3割判定基	職場において 性 効率性 3	も取り糸 先駆性 独創 3 充、終期設	且みを拡大・ 必要性 公妥性 公妥当性 不効率性 充駆性・独創性 大駆け・独創性 大能持 C:改	す。 住民政会を 住民政会領のは 長工の領の領は 長本教的・大本 で表表数・大本 である。 は人とな ののは ののは のは ののは のは のは のは のが のが のが のが のが のが のが のが のが のが	* www. w	10, 7, 3 10, 7, 3 5, 3, 1 5, 3, 1 5, 3, 1 5, 3, 1
評価点	1 O 秒 今後は 必要性 7 評価点 計 4 O 点満点	、家庭た 妥当性 7	きけでなく 生 公平 5 28	(、地域や語有効付3割担当部	職場において 性 効率性 3 A:事業拡 D:規模縮 果による判定	も取り糸 先駆性 3 充・、 と理由	Bみを拡大・ W要性 SE S	す。ことがは民ニーズ、東受性民政会者を通り、日本の原は、日本の原は、日本の原は、日本の原は、日本の原本のの日本のの日本のの日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本	* W 要 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	10, 7, 3 10, 7, 3 5, 3, 1 5, 3, 1 5, 3, 1 5, 3, 1
評価点	1 0 秒 今後は 必要性 7 評価点満点	、家庭た 妥当性 7 (i)	生 公平 5 28 28 28	(、地域や野なり)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本)(本	職場において 性 効率性 3 A:事業拡 D:規模縮	も取り 先独 3 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Bみを拡大・ W要性 SE S	す。ことがは民ニーズ、東受性民政会者を通り、日本の原は、日本の原は、日本の原は、日本の原は、日本の原本のの日本のの日本のの日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本	* W 要 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	10, 7, 3 10, 7, 3 5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1,

1 事業の	の成果及び	評価							一般会計
事業番号	586	事業名	家庭教育	支援推進			事業区分	□新規	見 ■継続
担当課					生涯学習				
予算区分	款	9 教育		項		教育費		1	社会教育総務費
年	度	最 終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	国 庫 支出金	事業費財	源内訳 その他 (収入)	(千円) 起債	一般財源	備考
平成2	8年度	17			96	(427)		49	対象経費の2/3県補助
平成28年		.,,	<u> </u>						7 3 53 11 2 5 4 4 7 4 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
活動	項目	単位 :	年度 2	26(実績)	27(実約	責) 2	8(実績)	29	30
アンケート			目標				90		
で「大変的			実績		75		85		
た」の割台 事業の対象 (だれに)			成率 の子どもを	もつ保護者	】 皆		94. 0%		
事業の目的(なんのために)		の悩みの							D発達段階におけ いにより家庭教育
事業の 実施状況	講座 〇家庭教 各小	て支援セ 内容: 育講座 中学容:性	ガ、リト: の連携に。	D共催によ ミック、ベ より5回実: 子育ての悩 等	ビーマッ+ 施しまし <i>†</i>	ナージ、 <i>:</i> こ。(累詞	メディア対 +228名参加	策等	
成果と 課題	2家家各題子万座のの変発欠	、 育校 支形定 育段るリ 講い 援式が 講階とト 座ず 講の必 座に思まる。	ック等子。 も 請演の に な き る き る も あ る る る う の が う の う る う る う る う る う る う る う る う る う る	異なること 包括的な	いです。 ため、参加 は自然なこ	口者が参加	们したくな が、講座全 ことにより	るような! 体の統一! 、講座に#	内容 感に 統一
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事: 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 10, 7, 3, 0 ないか。 5, 3, 1, 0
評価点	7	7	3	1	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。
	評価点 計40点満点		22	判定基準	D:規模縮小	ヽ、終期設5	維持 C∶改 定、委託の検		し継続、委託の検討 こ、廃止
				担当課に	よる判定	と埋出			
В			る現代では 継続が必要		育について	学ぶ機会	が減少し ⁻	ているため	り、その機会を提

_ 一般会計

	<u>)成果及び</u>	評価									一般会詞	`
事業番号	309	事業名	次世	代こ		ア育み推進			事業区分	口新規	見	■継続
担当課					担当係	生涯学習						
予算区分	款	9 教			項	4 社会				1	社会教育	育総務費
		最 終		算額		事業費財	源内	訳	(千円)			
年	度	予算額 (千円)		円)	国 庫 支出金	県支出金	その (収.		起債	一般財源	1	備考
平成28	8年度	1, 13	31 1	, 059	0	822		0	0	237	1. 対象事業	費の10/10県補助
平成28年	度(明許)										2. 対象事業費	02/3県・国補助
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	責)	28	3(実績)	29		30
			目標			_			105			
子どもパー 申込者数/			実績 ^{産成率}			132		1	105 00. 0%			
事業の対象(だれに)	1.ことう 2.放課後						生生				•	
事業の目的 (なんのた めに)	きる力の 深る。 2. 放課後 場所)を 記	育成、ふ すること 子供教 ・ 登け、地 ひで、地	るで を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を 変技 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	する心の酒 析や科学を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	比の進行、 課後や週末	まる保護にポ	た、欲 お子一	ものづく や関心を 就労形態 も文化活動	りの知恵さ 育むことを の多様化が 安全・域域 動、地域係	やおもし と目指 と ど 、 活 き 民 と が な た と の た り た り た り た り た り た り た り た り た り た	ろ実 とか と と が を に が で に た に た に た に た に た に た に た に た に た に
事業の 実施状況	ことうり しました 参加児 2. 放課 毎週水町	ら子ども た。 (童数:年 参子ども 瞿日の放	パーク 草木染 間延べ 教室 課後・:	運営3 め、3 420人 週末1	ェコクラフ (H27: 484, 204 こ地域住員	き託し、も 7ト、サバ 315人)	イバ. 得て:	ル体	験等、年	間19回開作	崔)	o
成果と 課題	愛するが 2. 放課後 子どもまり できまり 〔課題〕	くり等海 ききを養 きたし そうしょう イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イン・イ	通じた: を図る 教室 全・安・ マーや講	交流(ことが 心な	ができまし 舌動拠点	そどもの想 した。 (居場所) の発掘をX	を設進め、	ける 教室	ことが 室の継続性	**************************************		
評価項目	必要性	妥当性	公平	严性	有効性	効率性	先駆 独創		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性はないか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	7	3	3	5	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり]率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		2	8	判定基準				維持 C∶改 産、委託の検	善・効率化	し継続、雰	_
					担当課に	よる判定。	と理点	8				
В	町内での記				り、定員を	·超える教			つつあり	ます。地域	或振興及	び社会教

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書 平成[

	の成果及び		•	_	于木沙	- H)U-)]			1 11111	一般会計
事業番号		事業名	社会教育		Lunevan	<i></i>	事業区分	} [コ新規	見 ■継続
担当課			建	担当係	生涯学習				-	公公女 你要
予算区分	款	9 教育 最 終		項		教育費	(T III)	目	ı	社会教育総務費
年		取 予算額	決算額	国 庫	事業費財	源内訳 その他	(千円)			備考
	泛	(千円)	(千円)	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	県支出金	(収入)	起債	一般	財源	NH3.√⊒
平成2	8年度	3, 87				(10 17		3	, 654	
平成28年		,							,	
活動	項目			(実績)	27(実約	責) 2	8(実績)		29	30
	<i>t.</i>		標							
設定	なし		₹績 成率							
事業の対象										
(だれに)	町民全般	(自治会、	地域団体	• 個人等)						
	F 224 8	<u> </u>					. \	A 4/1 -4	L	
事業の目的										おける地方公共団体
(なんのた めに)			そめいの突』 し生〕のイン				一円 リスト	j なり合う	ノ(茂児	運の醸成〕と生涯学
. , _,	ロの年心	(豆1/1/4)	\ \	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	マグレでロ	1 117 0 /				
										S申を受けて取組の
事業の										かれませい派遣を行った。
実施状況			ョコンテス i 主民主役のナ						I云邻	対育関係団体に補助
	亚飞又的	し、地域に	エ氏王汉の『	心以于日元	助性性で	光咖 5 饭	切しよし	1-0		
	〔成果〕									
		育関係団 (本育成を诵し	こて発掘さ	れた人材	が幅広く	地域活動	を行れ	oħ.	地域づくりに
	貢献して									
	〇女	性団体連	絡協議会か	らの女性	委員登用	11名				
	〇安	田地区地	域活性化協	議会発足		4月				
	〔課題〕									
成果と			匀年齢が高く							
課題			会生涯学習の							[]
	すなわ	り「子省の	と実践の循環	泉の傩立」	推進をよ	り凶る必	安かあり	ます 。		
== /= -= □	ᄼᆂᄮ	교고교	ᄼ	┺ ╬┠┢╙	ᄮ	先駆性	必要性			業の必要性は。 10,7,3,0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性 	効率性	独創性	妥当性 公平性		頁か、委 の偏りは	託の可能性は。 ないか。 5,3,1,0
=₩ /# -	7	7	3	3	3	1	有効性	目標数値	直は達成	できたか。 5, 3, 1, 0
評価点	/	/	<u>ა</u>	၂ ၁	၂ ၁	I	効率性 先駆性・独創!			率はどうか。 5, 3, 1, 0 えるか。 5, 3, 1, 0
	評価点 計		24	判定基準	A:事業拡充					し継続、委託の検討
	40点満点			刊足基华	D:規模縮小					
				担当課に	こよる判定	と理由				
В	社会教育	舌動振興(の基礎をなる	す取り組み	⊁であり、 :	継続が必	要です。			

1 事業の成果及び評価

一般会計

	の成果及び	評価									一般会計	
事業番号	300	事業	名 寿	大学					事業区分	□新規	見	■継続
担当課	社会教育	果			担当係	生涯学習	係					
予算区分	款		教育費		項	4 社会	教育	貴		1	社会教育	総務費
		最	終			事業費財	源内	沢	(千円)			
年	度	予算	額		国庫	県支出金	その	他	起債	一般財源	婧	青考
		(千円	9) (千円)	支出金	宗义山並	(収)	入)	起頂	一阪別が		
平成2	8年度		81	61						61		
平成28年	度(明許)											
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	責)	28	3(実績)	29		30
専門コース	7		目標						130	135		140
寺]コー/ 者数	、秘豆邨	人	実績		130	122			128			
1 数			達成率	<u> </u>								
事業の対象(だれに)	60歳以.	上の琴	浦町民									
事業の目的 (なんのために)	7 性 两 庄 ()意識をも がいづく			がいを見り 。	出すことを	を支援する	る。ま
事業の 実施状況	実施 ○専門コ- 各コ	委員会 内容: ース ースの	:及び 開講式 自主歴 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、レク I営によ	リエーシ: り、月 1・ 道 (21) [ョン、映画 ~4回の <i>^</i>	画鑑賞 ^ペ ース	、町で実	♪た(累計 J内外研修 ≷施しまし 2)音楽(、講演会、 た (総登)	、閉講式 録者128名	í)
成果と 課題	機能 〇専門コー以外 [課題] 一般	会し ーーに 教	「修等でた。」 た。 「主体性会」 「一スは	を持った提供	て活動で できました 主体にな ²	きました。 た。	歴史	= -	高齢者の交 -スを一般 専門コー	公開とし、スの活動を	、学級生を促す等	
評価項目	必要性	妥当	性(公平性	有効性	効率性	先駆 独創		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 ないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	3		3	1	3	1		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			18	判定基準	D:規模縮小	ヽ、終其	月設定	維持 C∶改 ≧、委託の検			託の検討
					担当課に	よる判定。	と埋由	1				
С	対象者へ(す。一方、								数確保し [*] させてい・			

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

В

1 事業の	成果及び	評価				• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				_ 一般会計	
事業番号	303	事業名	青少	年育月	戓啓発事業			事業区分	□新規	見 ■	■継続
担当課						生涯学習					
予算区分	款	9 教			項	4 社会			1	社会教育	総務費
-	. .	最終		算額		事業費財		(千円)		/++-	-1 -2
年月	芟	予算額 (千円)		円)	国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備:	考
平成28	年度		39	730	0	0	0	0	730		
平成28年月	度(明許)										
活動」	頁目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	5) 2 (3(実績)	29		30
中高生サー	-クルの	団体	目標 実績			1 0		1			
設置数			達成率			0. 0%		0. 0%			
琴浦大山署			目標		_	_		27			
非行検挙・ 数の減少	補導者		実績 ^{全成率}		37	30		45 △60%			
車業の社会	地域住民、	子ども	会、保	護者			•				
めに)	少年育成	員の活動	推進、			也域におけ ₹援、ジュ				「るため、	
	O子ども: ・子ど: 平成2 ・モデ. 「子。	頭 会も会 3月1 3月1 5 5 5 7 7 7 7 7 7 7 7	どの青 接 ・ ダー研 1日(土 会 による・	修会 <u>-</u>)に 子ど=	開催しま	した。(参	参加者:- 、子ども	子ども61人 が主体的1	、育成者 こ行事を言	回、育成員 47人) 十画、活動	
	さ見 どそど ・次行 モ企 ・・企	或つら 会も度こル会員あれ 活会のと子議活りて 動リ子でどや動まい 支一ど子も活	推すま 援ダ もど 会 動 進。せ 一 会も で のすり会 子	年の 修 一活 ど も が も が も が も	可内パトローと育成者の充実を図ったまの 積極		、青少年 研修や情 。 的な行動	の深夜徘徊	回や喫煙等	する機運が 等の問題事	
				. —		付して、電グ要となっ		. 0		等、街頭巡	
評価項目	必要性	妥当性	公立	平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	7	(3	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	できたか。 率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		2	6	判定基準				善・効率化	し継続、委託	
					担当課に	よる判定の	と理由				

15-8

青少年の健全育成に資するため継続が必要です。

1 事業の	の成果及び	評価	_		•						一般会	計
事業番号	27	事業	(名	男女共同参	廖画推進事	業			事業区分	□新規	見	■継続
担当課	社会教育	課			担当係	生涯学習						
予算区分	款	9	教育	費	項	4 社会	教育費	ŧ		1	社会教育	育総務費
		最	終	決算額		事業費財	源内記	R	(千円)			
年	度	予算			国庫		その		+7/=	60.0土2天		備考
		(千)		(千円)	支出金	県支出金	(収え		起債	一般財源		
平成28	3年度		458	404				16		388	その他:TCCミニド	ラマ作成北栄・湯梨浜町負担金
平成28年												
活動		単位	年	度 26	(実績)	27(実統	青)	28	(実績)	29		30
固定的性別			百;		_				55			
分担意識に		%	実		_	_			53. 9			
割合			達成	本	_	_		g	98.0%			
事業の対象	m- ㅁ ᄉ án.			・士 イ/2 ユ カ = 芒 /			· ル ヘ ==	<u> </u>		•	•	
(だれに)	町 氏全般、	、女性	団体	連絡協議会	:、男女共	同麥囲雅	進会語	支				
事業の目的 (なんのた めに)	男女共同	参画社	:会の	形成を促進	≛する。							
事業の 実施状況	①琴浦· ②男女共[③啓発講] ④男女共[⑤男女共[北学・ 司安会 司参 司参画	湯週(9 道) 道) 道) 道) 道) 道) 道) 道) 道) 道) 道) 道) 道)	発活 3 会 子 名 会 子 名 会 子 名 会 子 名 議 み の 中 の 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明	i、TCC作り i) ドルホール Ĕ支援	成の男女夫 /参加者45	名、9	月2	22日赤碕均			60名)
成果と 課題	他地域が行 講演会 また、あ の声もあ 〔課題〕 平成282	行 等 度 に を 度 に	い 定 T 定 下 定 実 施	をい参 C 手 さ 要 さ み ま う る み ま う ま か が あ あ り り ま す ま す ま す ま す ま ま す ま す ま す ま す ま	yを行ってり うマにおい で 共同参	います。)、参加者 いては「あ います。	アンクれ、面の結果	「一直白し	トの結果: ハからみ ⁻ 受けて、 I	も比較的好てみない」	子評であ という! ↓視点で	り、 町民 の啓発
評価項目	必要性	妥当	1性	公平性	有効性	効率性	先駆 独創	性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事: 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は ないか。	5, 3, 1, 0
評価点	10	10	0	3	3	5	3		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			34	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小	ヽ、終期	設定		z善・効率化 st計 E∶休」	し継続、勃 上、廃止	長託の検討
					担当課に	こよる判定	と埋日	Ц				
В	持続可能	な地域	づく	りの鍵の一	-つであり	、今後も	継続カ	〝必∮	要です。			

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号 311
予算区分 款 9 教育費 項 4 社会教育費 目 1 社会教育費 事業費財源内配 (千円) 東成28年度 1,058 1,023 1,0
(元年)
年度 予算額
(千円) (千円) 支出金 県 文田金 (収入) 起頃 一般財源 平成28年度 1,058 1,023
(千円)
平成28年度
平成28年度(明許) 単位 年度 26(実績) 27(実績) 28(実績) 29 出展者数 団体 /人 事業6 達成率 37団体/23人 40団体/16人 36団体/10人 36団体/10人 事業の対象 (だれに) 町民 事業の目的 (なんのために) か(なんのために) 作品を発表する機会の提供により、文化活動の活性化を図ると共に、高齢化が進むの後継者の獲得を目指す。 11月4日~6日に第11回琴浦町文化祭をまなびタウンとうはくで開催しました。期間中、文化活動体験講座を開催し今年度は4団体(陶芸教室、折り紙教室、水墨細工教室)が参加しました。 事業の実施状況 「成果] ・会場を総合体育館からまなびタウンに変更し、さらにパネル設置を業者委託する人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま、文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新た体験者を獲得した団体もありました。 「課題] ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
活動項目 単位 年度 26(実績) 27(実績) 28(実績) 29
出展者数 団体
出展者数
来場者数
来場者数 本業の対象 (だれに) 町民 下品を発表する機会の提供により、文化活動の活性化を図ると共に、高齢化が進むになんのた の後継者の獲得を目指す。 11月4日~6日に第11回琴浦町文化祭をまなびタウンとうはくで開催しました。 期間中、文化活動体験講座を開催し今年度は4団体(陶芸教室、折り紙教室、水墨細工教室)が参加しました。 また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。 新た体験者を獲得した団体もありました。 [課題] ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
事業の対象 (だれに) 町民
事業の対象 (だれに) 町民
「作品を発表する機会の提供により、文化活動の活性化を図ると共に、高齢化が進むにの後継者の獲得を目指す。
「作品を発表する機会の提供により、文化活動の活性化を図ると共に、高齢化が進むにの後継者の獲得を目指す。
事業の目的 (なんのた めに) には、の後継者の獲得を目指す。
(なんのために) の後継者の獲得を目指す。 11月4日~6日に第11回琴浦町文化祭をまなびタウンとうはくで開催しました。 期間中、文化活動体験講座を開催し今年度は4団体(陶芸教室、折り紙教室、水墨細工教室)が参加しました。 事業の実施状況 「成果」 ・会場を総合体育館からまなびタウンに変更し、さらにパネル設置を業者委託する人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新た体験者を獲得した団体もありました。 「課題] ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
(なんのために) の後継者の獲得を目指す。 11月4日~6日に第11回琴浦町文化祭をまなびタウンとうはくで開催しました。 期間中、文化活動体験講座を開催し今年度は4団体(陶芸教室、折り紙教室、水墨細工教室)が参加しました。 「成果] ・会場を総合体育館からまなびタウンに変更し、さらにパネル設置を業者委託する人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新たは体験者を獲得した団体もありました。 「課題] ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
の後継者の獲得を目指す。 11月4日~6日に第11回琴浦町文化祭をまなびタウンとうはくで開催しました。 期間中、文化活動体験講座を開催し今年度は4団体(陶芸教室、折り紙教室、水墨細工教室)が参加しました。 実施状況 「成果」 ・会場を総合体育館からまなびタウンに変更し、さらにパネル設置を業者委託する人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新た体験者を獲得した団体もありました。 「課題」 ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
11月4日~6日に第11回琴浦町文化祭をまなびタウンとうはくで開催しました。 期間中、文化活動体験講座を開催し今年度は4団体(陶芸教室、折り紙教室、水墨細工教室)が参加しました。 11月4日~6日に第11回琴浦町文化祭をまなびタウンに変更は、12日本のでは、19年間では、
事業の 実施状況 「成果」 ・会場を総合体育館からまなびタウンに変更し、さらにパネル設置を業者委託する 人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま ・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新たな体験者を獲得した団体もありました。 「課題」 ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
期間中、文化活動体験講座を開催し今年度は4団体(陶芸教室、折り紙教室、水墨細工教室)が参加しました。 [成果] ・会場を総合体育館からまなびタウンに変更し、さらにパネル設置を業者委託する人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新た体験者を獲得した団体もありました。 [課題] ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
事業の 実施状況 「成果」 ・会場を総合体育館からまなびタウンに変更し、さらにパネル設置を業者委託する 人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま ・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新た 体験者を獲得した団体もありました。 「課題」 ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
事業の 実施状況 「成果」 ・会場を総合体育館からまなびタウンに変更し、さらにパネル設置を業者委託する 人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま ・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新た 体験者を獲得した団体もありました。 「課題」 ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
実施状況 「成果」 ・会場を総合体育館からまなびタウンに変更し、さらにパネル設置を業者委託する人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新た体験者を獲得した団体もありました。 「課題」 ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
[成果] ・会場を総合体育館からまなびタウンに変更し、さらにパネル設置を業者委託する人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新た体験者を獲得した団体もありました。 [課題] ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
・会場を総合体育館からまなびタウンに変更し、さらにパネル設置を業者委託する 人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま ・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新た 体験者を獲得した団体もありました。 「課題」 ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
・会場を総合体育館からまなびタウンに変更し、さらにパネル設置を業者委託する 人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま ・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新た 体験者を獲得した団体もありました。 「課題」 ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
・会場を総合体育館からまなびタウンに変更し、さらにパネル設置を業者委託する人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新た体験者を獲得した団体もありました。 [課題] ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
・会場を総合体育館からまなびタウンに変更し、さらにパネル設置を業者委託する 人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま ・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新た 体験者を獲得した団体もありました。 「課題」 ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
・会場を総合体育館からまなびタウンに変更し、さらにパネル設置を業者委託する 人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま ・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新た 体験者を獲得した団体もありました。 「課題」 ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
人的経費を削減しました。また、今年度は監視協力を教育委員会職員のみとしま・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新た体験者を獲得した団体もありました。 [課題] ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新た 体験者を獲得した団体もありました。 [課題] ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
・文化活動体験講座を開催し、来場者に文化活動を体験していただきました。新た 体験者を獲得した団体もありました。 [課題] ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。
体験者を獲得した団体もありました。 [課題] ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。 成果と
[課題] ・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。 成果と
・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。 成果と
・文化祭運営に係る文化協会の協力体制の見直します。 成果と
成果と
,
サービス かん かいまた は 大 田内 かん し 必要性 は 民ニーズ、事業の必要性
· 河馬頂目 心重性 호포性 八重性 方為性 為索性 兀馳性 _{호포선} 등표표표표 중 중 중 중 중 중 중 중 중 중 중 중 중 중 중 중 중
3出別11 公平性 受益者の偏りはないか。
□ オープ コープ コープ 日標数値は達成できたか。
評価点 7 7 1 3 5 1 効率性 コスト・人員効率はどう
評価点 計 24 割定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、
評価点 計 (40点満点) 24 判定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止
(40点満点) 24 ^{判定基準} D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止
(40点満点) 24 ^{判定基準} D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止 担当課による判定と理由
(40点満点) 24 ^{判定基準} D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止
(40点満点) 24 ^{判定基準} D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止 担当課による判定と理由

1 事業の成果及び評価 一般会記

事業番号	587	事第		無盡庵管	理			事業区	₹分	□新		■糸	継続
担 当 課					担当係	学芸文化							
予算区分	款		教育		項		教育費		目	1	社会教	教育総:	務費
-		最	。 。	決算額		事業費財		(千円	<u> </u>			/++ - -	
年		予算		(7 III)	国庫	県支出金	その他	起侵		一般財源	į	備考	
ज ।	0 左 庄	(千	199	<u>(千円)</u> 195	支出金		(収入)			10	=		
平成28年			199	190				-		19)		
活動		単位	午	度 26	<u> </u> 5(実績)	27(実績	<u> </u>	28(実績)		29		2	30
/ 1月 到 :	快口 ローーー	中世		標	八大帜/	2八大小	₹/	20 大帆	,	23		J	U
設定なし				績									
				戊率									
事業の対象 (だれに)	町内住民、	活用	月希望	者									
事業の目的 (なんのた めに)	地域住民(の交流	での場	を提供すん	3 .								
事業の実施状況	施設の管理			のため、5 119人	定期的に現	見状確認を	行いまし	した。					
成果と課題	[課題] • 管理人z	が不在	Eのた	め、職員な	が定期的に	里を行いま に様子を確 き及びまな	認する』	少のみ)	٥				
評価項目	必要性	妥当	占性	公平性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性		主民ニーズ、 行政必須か、			0, 7, 3, 0 0, 7, 3, 0
山 川川 八 川	~ > 1	Д -	→ , ∸	T - I	117911	IT	独創性	公平性	5	受益者の偏り	はないか。	5	5, 3, 1, 0
評価点	3	3	3	1	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・狙	=	目標数値は達 コスト・人員 也の見本とな	効率はどう:	か。 5	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			14	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		大維持 C	∷改割	善・効率(委託の	, , ,
					担当課に	よる判定。	と理由						
В	活用方法	が未確	筐定の	ため、維持	寺管理を維	迷続して行	う必要な	がありま	゙す。				

15-11

1 事業の成果及び評価

-一般会計

)成果及び	評価							一般会計
事業番号	684	事業名	安田地区	公民館活重	事業		事業区分	□新規	■継続
担当課	社会教育	果		担当係	生涯学習	<u>係</u>	•		
予算区分	款	9 教育	費	項	4 社会	教育費		a 2	公民館費
		最 終	決算額		事業費財		(千円)		
年	度	予算額(千円)	(千円)	国庫支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考
平成28	3年度	458	_					447	
平成28年		100	1						
活動		単位 年	度 26	(実績)	27(実統	善) 28	3(実績)	29	30
70 30	χц		模 I標		3	K/	5	3	3
自主運営サ	ークル数		績	_	2		8		
			成率				60. 0%		
事業の対象(だれに)	町民全般	(自治会、	地域団体	• 個人等)		•			
事業の目的 (なんのた めに)		教養を高ぬ	うあうようだ						「自ら実生活に即し 化の振興、地域課
事業の 実施状況	し、各種 境を醸成	教育事業展 しつつ、信		て、地域住 の向上、生	民が自ら 活文化の	実生活に 振興等を	即した文4 図りました	化的教養を	館長・主事を配置 高め得るような環 557人
成果と 課題	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	サ呆.でとよ深・一角世A、でりまが発し、新りがしたまが、からしていまりがある。	s動が地域の 合や支援セン 可成のためい でを招かかき で女性教室で こ女性教室で	のレこ文参見 人タも化加察 と一よ活が研 を 子のり動あ修 よ よりを よりした よりした より より もり より もしい は まり もしい もしい もしい もしい もしい もしい もしい もしい もしい もしい	では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	護保と・場が 考要と者っ子も者 えで	交士いもっ業 の地すづい設 ・ Step	としてと の人と りなど で う う う う う う う う う う う う う う う う う う	を画し実行 さついて学び ト活動 の様子
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 10,7,3,0 ないか。 5,3,1,0
評価点	7	7	3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効: 他の見本となり	率はどうか。 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		24	判定基準	D. 祝侯稲石	、 終期設定		文善・効率化 検討 E∶休止	し継続、委託の検討 :、廃止
				担当課に	こよる判定	と理由			
	地域におり 続が必要 ⁻		枚育活動振 身	興の中心を	担う取り	組みであ	り、地域	教育力維持	向上のためにも継

В

-一般会計

1 事業の	の成果及び	評価		_					一般会計
事業番号	675	事業名	安田地区	公民館管理	事業		事業区分	□新規	見 ■継続
担当課	社会教育	果	•	担当係	生涯学習	係	•		
予算区分	款	9 教育	費	項	4 社会	教育費		a 2	公民館費
		最 終	決算額		事業費財		(千円)		
年	度	予算額 (千円)	(千円)	国庫支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備考
平成2	8年度	46				59		403	その他:公民館使用料
平成28年									
活動		単位	F度 26	(実績)	27(実統	青) 28	(実績)	29	30
設定		E	目標 尾績 成率						
事業の対象 (だれに)	町民全般	(自治会、	地域団体	• 個人等)					
		教養を高る	かあうよう た						が自ら実生活に即し 文化の振興、地域課
事業の 実施状況	し、社会	教育活動(こ琴浦町公月 D拠点として 民館年間利月	C公民館の	適正な管	理を推進	しました。		館長・主事を配置 4人
成果題	館外の利用者[課題]	清掃、花材 へポスタ-	ンチを譲りる ・ で ・ で ・ お ・ を ・ お ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	宮内には生 施設維持	E花を飾り 持経費の削	環境美化 減を促し	を推進しま ました。 手前	ました。	を行いました。 学に木のベンチ スペース(本棚6)
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	E託の可能性は。 10, 7, 3, 0 はないか。 5, 3, 1, 0
評価点	7	7	3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	物率はどうか。 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		24	判定基準				女善・効率化 食討 E∶休」	し継続、委託の検討
				担当課(:	_ よる判定	と理由			

地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継 続が必要です。

-一般会計

1 事業の)成果及び	評価									一般会計	
事業番号	686	事業	名	以西地区的	公民館活重	事業			事業区分	□新規	見 ■継	続
担当課	社会教育	果			担当係	生涯学習						
予算区分	款	9	教育	費	項	4 社会	教育費	ŧ		2	公民館費	
			終	決算額		事業費財	源内記	尺	(千円)			
年	度	予算 (千P		(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その (収 <i>)</i>		起債	一般財源	備考	
平成28	8年度		461	428						428		
平成28年												
活動		単位	年	度 26	(実績)	27(実績	事)	28	(実績)	29	30	
1820	X-1		目		_	3			5	3	3	
自主運営サ	ークル数	団体	実施達成	績	_	2		1	8 60. 0%			
事業の対象 (だれに)	町民全般	(自治:			・個人等)				, ,		•	
事業の目的 (なんのた めに)		教養を	高め	あうような							「自ら実生活に て化の振興、地	
事業の 実施状況	し、各種 境を醸成	教育事	業展 、住	開を通じ ⁻ 民の教養の	て、地域住	民が自ら 活文化の	実生活 振興等	5に 字を	即した文(図りまし <i>†</i>	じ的教養を	館長・主事を 高め得るよう	
成果と 課題	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	利動与たの の思云ッパ の思云ッパがでた いど 護る	少はり でも 者ま掘内な、中 はの のすり容	め以高 の西生 キ加 用 こ魅 類 し力 を を を を を を を を を を を を を	かたう コナ が がるをとう 一こ 滅 らもの て 次にして 次にしま かんしょう かんしょく かんしゃく かんしん かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしゃく かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	連携で小中 での場を設け地域 たのでで、 せ代に繋げ	料学け の。 更 る保理生る 方 変に き護さん きぎょう	が発り うこと 先生 人西 - かい	足しで は に と が さ く け で 生 に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	か重の て	ドウして さい さい さい でいし がい とう いっと いっと いっと いっと かい はい かい まい かい まい かい まい かい	か
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有効性	効率性	先駆 独創		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 10, ないか。 5,	7, 3, 0 7, 3, 0 3, 1, 0
評価点	7	7		3	3	3	1		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。 5,	3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			24	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小			 維持 C∶改		し継続、委託の検	
	- MY Jeel MY	•			担业部1-	 こよる判定				= FI'-	· ·	
					担当床	- よる刊正	と生	디				
	地域におり 続が必要		会教	育活動振り	興の中心を	担う取り	組みて	゙ あ「	り、地域都	教育力維 持	特向上のため に	も継

	<u>D成果及び</u>	評価										一般的	드리
事業番号	677	事美	集名	以西均	地区な	公民館管理	事業			業区分	□新規	見	■継続
担当課	社会教育	課				担当係	生涯学習	係					
予算区分	款	9	教育	費		項	4 社会	教育費	-		目 2	公民館	'費
		最	終	決算	額		事業費財	源内訴	1	(千円)			
年	度	予算	算額			国庫	県支出金	その何	也	+7 /主	60.日土 2年		備考
		(千	円)	(千	円)	支出金	県文出金	(収入		起債	一般財源		
平成2	8年度		466		437				66		371	その他	:公民館使用料
平成28年													
活動		単位	年	度	26	(実績)	27(実終		28	(実績)	29		30
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	~~		自			12 4 1247				15 4 154			
設定	なし		実										
			達瓦	戈率									
事業の対象(だれに)	마모스!!!	(白出	۵۵	ᄔ	3 /+	(田 1 生)							
(だれに)	町 氏 王 校	(日)	云、	地場自	到1本 -	' 他人守/							
	—		- , .,		<u> </u>		W == -L -W			-			,
事業の目的													生活に即し
(なんのた めに)					よって	よ 境で関	! 成しつつ	、任氏	(()	教養の同	上、生沽ス	て化の扱	長興、地域課
(۵)(題の解決	等に貨	ほする	0									
	<u>↓</u>	△ >+ +	トッドュー	∓∓ : ± π	ᅲᄼ	140夕/日本	\#\=\!-\#	ゴ キい	 1	we ve	ᄼᄼᆉᆕᇝᆓ	&⇔ ≡	ナホナ町里
事業の)					貼 技	主事を配置
事業の 実施状況	し、社会会	拟月元	り到り	拠品(公氏館0.	/適正4号	理で推	進	しました	0		
关旭仏儿	7 151 7	ᄪᇸ	アルR	命年月	坦利日	月状況】	利田田は	120 EI	+	利田子米	なのべ1, 78	<i>1</i> I	
	【以	역 1만 년		18年1	目がけ	11人/汇】	利用凹冲	। ७७ जि	平、	利用有贫	XUJ-~1, 10	4人	
	[成果]												
	11b 1-12 /-2- 1				16								· ☆ : ☆ へ
	地璵仕」	氏の社	I会教	育沽頭	助の扱	心点として	[、幅広い	年齢層	1=	も利用し	ていただく	(地域σ)父流の
	地球性!										ていただく	(地域 σ)交流の
	場として	利用Ĺ	, やす	い環境	竟づく	くりを進め	ることが	できま	Lt	t= 。			
	場として その結	利用し 果、公	, やす	い環境	竟づく	くりを進め	ることが	できま	Lt	t= 。	さいただく		
	場として	利用し 果、公	, やす	い環境	竟づく	くりを進め	ることが	できま	Lt	t= 。			
	場として その結! 増えてい	利用し 果、公	, やす	い環境	竟づく	くりを進め	ることが	できま	Lt	t= 。			
お田と	場として その結 増えてい [課題]	利用し 果、2 ます。	ンやす 公民館	い環は利用が	竟づく があま	くりを進め まりない男)ることが 引性の利用	できま も少し	しずず	た。 つ増えて	きて性別問	引わずの)利用が
成果と 理期	場として その結 増えてい [課題] 小学校	利用します。	ンやす 公民館 後、青	い環 ^は 利用が 少年の	_{竟づく} があま の利用	くりを進め きりない男 目ならびに	うることが 引性の利用 こその保護	できま も少し 者の利	しずっ	た。 つ増えて 頻度が少	きて性別間 なくなって	引わず <i>の</i> ています)利用が - 。
成果と 課題	場として その結 増えてい [課題] 小また、	利果ま (((((((((((((や民というでは、ままれば、大きのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	い環 ^は 利用が 少年の	うがあ 利こと	くりを進め まりない男 なら で、更に こで、更に)ることが 引性の利用 こその保護 三利用者の	できま も少し 者の利	しずっ	た。 つ増えて 頻度が少	きて性別問	引わず <i>の</i> ています)利用が - 。
	場として その結 増えてい [課題] 小学校	利果ま (((((((((((((や民というでは、ままれば、大きのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	い環 ^は 利用が 少年の	うがあ 利こと	くりを進め まりない男 なら で、更に こで、更に)ることが 引性の利用 こその保護 三利用者の	できま も少し 者の利	しずっ	た。 つ増えて 頻度が少	きて性別間 なくなって	引わず <i>の</i> ています)利用が - 。
	場として その結 増えてい [課題] 小また、	利果ま (((((((((((((や民というでは、ままれば、大きのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	い環 ^は 利用が 少年の	うがあ 利こと	くりを進め まりない男 なら で、更に こで、更に)ることが 引性の利用 こその保護 三利用者の	できま も少し 者の利	しずっ	た。 つ増えて 頻度が少	きて性別間 なくなって	引わず <i>の</i> ています)利用が - 。
	場として その結 増えてい [課題] 小また、	利果ま (((((((((((((や民というでは、ままれば、大きのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	い環 ^は 利用が 少年の	うがあ 利こと	くりを進め まりない男 なら で、更に こで、更に)ることが 引性の利用 こその保護 三利用者の	できま も少し 者の利	しずっ	た。 つ増えて 頻度が少	きて性別間 なくなって	引わず <i>の</i> ています)利用が - 。
	場として その結 増えてい [課題] 小また、	利果ま (((((((((((((や民というでは、ままれば、大きのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	い環 ^は 利用が 少年の	うがあ 利こと	くりを進め まりない男 なら で、更に こで、更に)ることが 引性の利用 こその保護 三利用者の	できま も少し 者の利	しずっ	た。 つ増えて 頻度が少	きて性別間 なくなって	引わず <i>の</i> ています)利用が - 。
	場として その結 増えてい [課題] 小また、	利果ま (((((((((((((や民というでは、ままれば、大きのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	い環 ^は 利用が 少年の	うがあ 利こと	くりを進め まりない男 なら で、更に こで、更に)ることが 引性の利用 こその保護 三利用者の	できま も少し 者の利	しずっ	た。 つ増えて 頻度が少	きて性別間 なくなって	引わず <i>の</i> ています)利用が - 。
	場として その結 増えてい [課題] 小また、	利果ま (((((((((((((や民というでは、ままれば、大きのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	い環 ^は 利用が 少年の	うがあ 利こと	くりを進め まりない男 なら で、更に こで、更に)ることが 引性の利用 こその保護 三利用者の	できま も少し 者の利	しずっ	た。 つ増えて 頻度が少	きて性別間 なくなって	引わず <i>の</i> ています)利用が - 。
	場として その結 増えてい [課題] 小また、	利果ま (((((((((((((や民というでは、ままれば、大きのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	い環 ^は 利用が 少年の	うがあ 利こと	くりを進め まりない男 なら で、更に こで、更に)ることが 引性の利用 こその保護 三利用者の	できま も少し 者の利	しずっ	た。 つ増えて 頻度が少	きて性別間 なくなって	引わず <i>の</i> ています)利用が - 。
	場として その結 増えてい [課題] 小また、	利果ま (((((((((((((や民というでは、ままれば、大きのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	い環 ^は 利用が 少年の	うがあ 利こと	くりを進め まりない男 なら で、更に こで、更に)ることが 引性の利用 こその保護 三利用者の	できま も少し 者の利	しずっ	た。 つ増えて 頻度が少	きて性別間 なくなって	引わず <i>の</i> ています	O利用が -。 tを捉え
課題	場としては、増えては、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	利果まの統保習用、すの合育機	ン	い利の少く供をし	竟が かる図 かる図	(り	さることが 語性の に で の 用す。	できま も少し 者の利	しず・用物・用物・用物・用物・用物・用物・用物・用物・用物・用物・用物・用物・用物・	た。 つ増えて 類度がれる _{必要性}	きて性別になくなってのので、様々	引わずの ています なな年代	O利用が -。 さを捉え ^{★。} 10, 7, 3, 0
	場として その結 増えてい [課題] 小また、	利果まの統保習用、すの合育機	や民というでは、ままれば、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、大は、	い環 ^は 利用が 少年の	竟が かる図 かる図	くりを進め まりない男 なら で、更に こで、更に)ることが 引性の利用 こその保護 三利用者の	でも 者滅 の少が	しず 用影	た。 つ増 度 が れ の 要 性 性 性 と も る そ の も の も の も の も の も の も の も の も の も の	きて性別に なくな、 なで、 様々 「行政必須か、事	引わずの こいます なな年代 ^{業の必要性に} ^{業のの可能性}	O利用が -。 さを捉え ta 10,7,3,0 ta 10,7,3,0
評価項目	場とそれでは、「は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	利果ま 統保習 ター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いな 後園会 当 性 す館 青な提	い利・少く供・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	竟が のる図 性	() E	。 ること利 こと利 の用す。 効 本性 効 変性	でも 者滅	しず 用影	た。 つ増えて 類度がれる _{必要性}	きて性別になくなってのので、様々	関わずの でいます でな年代 ^{薬の必要性に} ^{でののでのでは} はないか。	O利用が -。 さを捉え ^{★。} 10, 7, 3, 0
課題	場としては、増えては、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	利果ま 統保習 ター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ン	い利の少く供をし	竟が のる図 性	(り	さることが 語性の に で の 用す。	でも 者滅	しず 用影	た。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	きて性別になくで、 くで、 は民政益標を 一一須の偏は人 、、、、、、、、のは は別のはは人	明わずの こいます なな年代 まの必要性に ないののか。 ではいたかった むできはどうか	O利用が -。 たを捉え *** 10.7,3,0 (は。 10,7,3,0 5,3,1,0 5,3,1,0 *** 5,3,1,0
評価項目評価点	場とそれ (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記)	利果まの統保習の関係である。 後属会 コープログラ はない きょうしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かいしん かい	いな 後園会 当 性 す館 青な提	い利・少く供・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	竟が のる図 性	() E	る こ さ こ た 利 ま な か 本 で の 用 す 。 か 率 性 の 本 の に で の に で が の に 。 に に に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	でも 者滅 先独 取 和 1	しず・用野	た。 増 を で を を を を を を を を を を を を を	きて性別に なくな、 くで、 様 に 民政・ 経民の で の で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 、 、 、 、 、 、 、	引わずの でいな まな ののののか。 を可能性 はなできばなか。 が下さまるか。	O利用が -。 さを捉え *** 10,7,3,0 は。10,7,3,0 5,3,1,0 5,3,1,0 。 5,3,1,0 。 5,3,1,0
評価項目評価点	場とそえ (記)	利果まで統保習の場合である。 後属会 いっぱい はいしん はいまい はいしん はいまい はいしん はいしん はいしん はいしん はいしん はいしん はいしん はいし	いな 後園会 当 性 す館 青な提	い利・少く供・公・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	竟が のる図 性 と必	() E	ることが用 こと利 の保者。 効 本 は す る ・ 事業拡 が る ・ も も も も も も も も も も も も も も も も も も	でも 者滅 先独 Bill Bill Bill Bill Bill Bill Bill Bill	しず 用予 性生 状況	た。 増 度さ がれ 世性性性 性性性性・ 全当平の効率を持 で 少る	きて性別にない。 住民政益標本の一一須の個は人とで 「大学のでする。 一一須の個は人とで 「大学のでする。 では、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	明わずの まないな 素託なできばる。 があった。 でのののいただう。 でですれ でですれ でですれ でですれ でですれ でですれ でですれ でですれ でですれ ででする。 になる。 経れ ででする。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 になる。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな	O利用が -。 さを捉え *** 10,7,3,0 は。10,7,3,0 5,3,1,0 5,3,1,0 。 5,3,1,0 。 5,3,1,0
評価項目評価点	場とそれ (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記) (記)	利果まで統保習の場合である。 後属会 いっぱい はいしん はいまい はいしん はいまい はいしん はいしん はいしん はいしん はいしん はいしん はいしん はいし	いな 後園会 当 性 す館 青な提	い利・少く供・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	竟が のる図 性 と必	(le	る性の る性の の用す。 効率性 る **模が A : 規模が A : 規模が	でも 者減 た少 の少 先独 B終 IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	しず 用予 生生 規設	た。 増 度さ がれ 世性性性 性性性性・ 全当平の効率を持 で 少る	きて性別にない。 住民政益標本の一 「大学ででするでするです。 住民政益標本のでするでは、 「大学では、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な	引わずの でいな まな ののののか。 を可能性 はなできばなか。 が下さまるか。	O利用が -。 さを捉え *** 10,7,3,0 は。10,7,3,0 5,3,1,0 5,3,1,0 。 5,3,1,0 。 5,3,1,0
評価項目評価点	場とそえ (記)	利果まで統保習の場合である。 後属会 いっぱい はいしん はいまい はいしん はいまい はいしん はいしん はいしん はいしん はいしん はいしん はいしん はいし	いな 後園会 当 性 す館 青な提	い利・少く供・公・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	竟が のる図 性 と必	(le	ることが用 こと利 の保者。 効 本 は す る ・ 事業拡 が る ・ も も も も も も も も も も も も も も も も も も	でも 者減 た少 の少 先独 B終 IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	しず 用予 生生 規設	た。 増 度さ がれ 世性性性 性性性性・ 全当平の効率を持 で 少る	きて性別にない。 住民政益標本の一 「大学ででするでするです。 住民政益標本のでするでは、 「大学では、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な	明わずの まないな 素託なできばる。 があった。 でのののいただう。 でですれ でですれ でですれ でですれ でですれ でですれ でですれ でですれ でですれ ででする。 になる。 経れ ででする。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 になる。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな	O利用が -。 さを捉え *** 10,7,3,0 は。10,7,3,0 5,3,1,0 5,3,1,0 。 5,3,1,0 。 5,3,1,0
評価項目評価点	場とそえ (記)	利果まで統保習の場合である。 後属会 いっぱい はいしん はいまい はいしん はいまい はいしん はいしん はいしん はいしん はいしん はいしん はいしん はいし	いな 後園会 当 性 す館 青な提	い利・少く供・公・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	竟が のる図 性 と必	(le	る性の る性の の用す。 効率性 る **模が A : 規模が A : 規模が	でも 者減 た少 の少 先独 B終 IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	しず 用予 生生 規設	た。 増 度さ がれ 世性性性 性性性性・ 全当平の効率を持 で 少る	きて性別にない。 住民政益標本の一 「大学ででするでするです。 住民政益標本のでするでは、 「大学では、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な	明わずの まないな 素託なできばる。 があった。 でのののいただう。 でですれ でですれ でですれ でですれ でですれ でですれ でですれ でですれ でですれ ででする。 になる。 経れ ででする。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 になる。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな。 にな	O利用が -。 さを捉え *** 10,7,3,0 は。10,7,3,0 5,3,1,0 5,3,1,0 。 5,3,1,0 。 5,3,1,0
評価項目評価点	場 増 に は は は は は は は は は は は は は	利果まの統保習のフログのの後属会の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の	・	い利 少く供 公 2 2	竟が かる図 性 3 4	(le	Set	でも 者滅 <u>先独 たいと</u> き少 の少 先独 B終理 B終理 B B B B B B B B B B B B B B B B	しず 用予 性性 規設 開	たっ 類則 必要公有効果性性 独 この を 要当平効 年 に の を 要当 平 が れ の を 要当 平 が れ の を 要当 平 が れ の た に の れ の た に の れ の た と の れ の れ の れ の れ の れ の れ の れ の れ の れ の	きて性別に なの くで、くで に民政益標外に 三必須の値は人と 三の項の値は人と で 大が偏に達員ない を計 というのでは、というのはは、というのはのが というのがでする。 というのができる。 というのができる。 というのができる。 というのがでする。 というのができる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というでも。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というでも。 というでも、 というでも、 というでも、 といる。 というでも、 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。	明わずの まないます でいな まないではない。 ではないではない。 がいないではない。 ないではない。 がい。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいるい。 がいるい。 がいるい。 がいるい。 がいるい。 がいるい。 がいる。 がいる。 がいる。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい	O利用が -。 さを捉え *** 10,7,3,0 は。10,7,3,0 5,3,1,0 5,3,1,0 。 5,3,1,0 。 5,3,1,0
評価項目評価点	場 増 に は は は は は は は は は は は は は	利果ま 統保習 ―――――――――――――――――――――――――――――――――――	・	い利 少く供 公 2 2	竟が かる図 性 3 4	(le	Set	でも 者滅 <u>先独 たいと</u> き少 の少 先独 B終理 B終理 B B B B B B B B B B B B B B B B	しず 用予 性性 規設 開	たっ 類則 必要公有効果性性 独 この を 要当平効 年 に の を 要当 平 が れ の を 要当 平 が れ の を 要当 平 が れ の た に の れ の た に の れ の た と の れ の れ の れ の れ の れ の れ の れ の れ の れ の	きて性別に なの くで、くで に民政益標外に 三必須の値は人と 三の項の値は人と で 大が偏に達員ない を計 というのでは、というのはは、というのはのが というのがでする。 というのができる。 というのができる。 というのができる。 というのがでする。 というのができる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というでも。 というのできる。 というのできる。 というのできる。 というでも。 というでも、 というでも、 というでも、 といる。 というでも、 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。	明わずの まないます でいな まないではない。 ではないではない。 がいないではない。 ないではない。 がい。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいない。 がいるい。 がいるい。 がいるい。 がいるい。 がいるい。 がいるい。 がいる。 がいる。 がいる。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい	O利用が -。 たを捉え *** 10,7,3,0 は。10,7,3,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0

1 事業の成果及び評価

-一般会計

	<u>)成果及び</u>		40 44				- 4b - ·		一般会計
事業番号	320	事業名	一般管理	カック	· · · ·	IT.	事業区分	□新規	見 ■継続
	社会教育		: 曲		生涯学習				ハロ砂曲
予算区分	款	9 教育		項		教育費		目 2	公民館費
Æ	#	最 終	決算額		事業費財				/# **
年		予算額	(TIN)	国 庫 支出金	県支出金	その作		一般財源	備考
ज्य 🕂 १०	0 左 垚	(千円)	(千円)			(収入	.)	22 060	
平成28		34, 315	33, 968					33, 968	
平成28年		124 / L 1-1	 -	/ /+\	07/ ch #	+ \	00 (中4本)	00	
活動	リ 日			(実績)	27(実約	Į)	28(実績)	29	30
自主運営サ	力 川 米ケ		標 <u> </u> 積		3 2		<u> </u>	3	<u> </u>
日土建呂り	一ケル奴		成率	_			160. 0%		
古世の共名		(年)	火平				100.0/0		
事業の対象(だれに)	町民全般	(自治会、	地域団体	·個人等)					
(724012)									
事業の目的 (なんのた めに)									E生活に即した文化 長興等に資する。
	配置し、名な環境を関	各種教育事	事業展開を追 つ、住民の教	通じて、地 牧養の向上	域住民が	自ら実		た文化的教	设置、館長・主事を 対養を高め得るよう
	環境醸成した。 には、 は、 は	に取り組ん づくりや協 齢化・技 齢 よ取り組 生取り組	Jで来ており R働・自立の R族化による F行い、亡 Jに伴う「J	リ、学習環の人 る人間関係 る人の教拠点 也域の拠点	環境整備や いに資する の希薄化 を活文くり	、こ・振の ・ 振の	にで カ資がる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	学す 人が。 Aが。 推進が必 が必	必要です。
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆† 独創†	生 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 10, 7, 3, 0 ないか。 5, 3, 1, 0
評価点	7	7	3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		24	判定基準	D. 規模権力	`、終期	設定、委託の村		し継続、委託の検討 L、廃止
				担当課に	こよる判定	と理由			
	地域におり 続が必要 [・]		女育活動振 頻	興の中心を	担う取り	組みで	あり、地域	教育力維持	寺向上のためにも継

1 事業の												一般会	₹ aT
事業番号	688	事業名	浦安地区公	公民館活動	事業			事業区	分		コ新規		■継続
3 当 課	社会教育	果		担当係	生涯学習	係							
算区分	款	9 教育	費	項	4 社会	教育	費		E		2	公民館	費
年原	变	最 終 予算額 (千円)	決算額 (千円)	国庫 支出金	事業費財県支出金	源内記	他	(千円 起債		一般	財源		備考
平成28	3年度	646	625								625		
平成28年原	度(明許)												
活動項	項目	単位 年	度 26	(実績)	27(実統	責)	28	(実績))		29		30
主運営サ	ークル数	団体	標 績 戊 率		3 2		11	5 8 60. 0%			3		3
事業の目的	浦安地	区内各自治	地域団体・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	_{ンた教育・}									
		教養を高め 等に資する)あうような)。	ジ環境を 醸	(成しつつ	、住臣	民の	教養の	向上	上、生	上活文	と化の振	興、地域認
	し、各種類 境を醸成り	教育事業 展	三琴浦町公月 開を通じて 三民の教養の	て、地域住 D向上、生	民が自ら	実生活	舌に耳	即した	文化	<mark></mark> 上的教			
			・昭田田田子 オ	€ ■講座状	、況】 開	催回数	数56[回、参	加者	皆数 <i>σ</i>	つべ2	, 105人	
成果と 課題	ま健通・課題	広く問題 振 変では、笑 楽しみな	では、想象 起すること いがもたら がら学んで	E 外がすい ので心た ・災 き とだ 教 を 健 柱落 は は に が す の で れ た が り た り り り り た り り り た り り た り り り り	に に に に に に に に に に に に に に	日頃の ついて きまし !」(H の笑し (H29	の危机 で、 F した。 いの記 0.1.2	幾管理 日本の 7.3) 話と 22) →	(伝統	ご、子 充文化	とであ	から高ある落語	**************************************
成果と 課題	防ま健通に関する。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	広 座 楽 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	想にはするという。 はまから学 、	E c o c o c o c o c o c o c o c o c o c	にいて (にしのこ (はいので (u))))) (u)) (u)) (u)) (u)) (u)) (u)) (u)) (u))	日 切き いました の (H29	の危材 て、た。 H28. いの1.2 いの5. k	幾管理 日本の 7.3) 話2) よる 少 よる学	など伝統	ご、子依文化のなが、	子どもとであ	らから高 ある落語 との終 と点とな	iを i i i i i i i i i i i i i i i i i i
成果と 課題	防ま健通に関いては、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いでは、関いで	な な で 楽 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	では、想え は、ることで はから学 が が りな 状 に が に が に が に が ら で る た る た る た る た る に が ら る に る に に る に に る に る に る に る に る に る	E かい	に に に に に に に に に に に に に は に は と に に は に は と に に は に は に に に に に に に に に に に に に	日 つき :」 の (観館 H29 たま)	の た た た い り り り り り り り り り り り り り り り り	幾管理 日本の 7.3) 話と → り よる学	など、気を	ご 充 文	子 ど も と か 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	から ある 落語 のと のと のと のと のと のと のと のと のと のと	また を は は は は は は は は は は は は は

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	7	3	3	3	1	効率性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点)	24	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				氏の検討

担当課による判定と理由

地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継 続が必要です。 В

	の成果及び	計価								一般会詞	•		
事業番号	679	事業	名	浦安地区公		里事業		事業区分	□新規	見	■継続		
	社会教育課												
予算区分					項	4 社会教育費			1 2	公民館費			
		最 終 🥻		決算額		事業費財源内訳		(千円)					
年度					国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	機財源 備考 302 その他:公民館使用料			
				(千円)	支出金	示义山业	(収入)	足良					
平成28年度			554	553			251		302				
平成28年度(明許)													
活動項目		単位	年	度 26	(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29		30		
設定なし			目										
			実										
			達瓦										
事業の対象	町民全般	(白治	会.	地域団体·	個人等)								
(だれに)	177	\			107117								
± ** • □ **	業の目的 浦安地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実									ぶ白に宝は	· 洋/- 町 I		
事業の目的	た文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課 題の解決等に資する。												
めに)													
	~=~m~~;;=,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,												
	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき浦安地区公民館を設置し、館長・主事を配												
事業の 実施状況													
	置し、社会教育活動の拠点として公民館の適正な管理を推進しました。												
	【浦安地区公民館年間利用状況】 利用団体586団体、利用者数のべ6,361人												
	[成果] 地区住民が安心して学習できる環境整備や、施設維持経費の削減に努めました。												
	地区は広が女心して子白でさる垜児笠哺や、他政権付在負の削減に労めました。												
	[課題]												
	施設の老朽化が著しく、利用される地区住民にとって安心かつ安全な環境整備が ***********************************												
s — .	必要です。創意工夫を凝らし、施設維持経費の削減を図りつつ行う必要があります。												
成果と													
課題													
							先 取性	必要性	住民ニーズ、事		10, 7, 3, 0		
評価項目	必要性	妥当	1性	公平性	有効性	効率性		妥当性	行政必須か、委	託の可能性は。	10, 7, 3, 0		
評価項目							先駆性 独創性		行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0		
評価項目	必要性 7	妥当		公平性 3	有効性	効率性		妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効	託の可能性は。 ないか。 できたか。 かなばどうか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
	7	7					独創性 1	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	託の可能性は。 ないか。 できたか。 かなどうか。 えるか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
評価点	7 評価点 計	7		3	3	3 A:事業拡充	独創性 1 E B:現料	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員数 他の見本となり 文善・効率化	託の可能性は。 ないか。 できたか。 をはどうか。 えるか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
評価点	7	7				3 A:事業拡充	独創性 1 E B:現料	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員数 他の見本となり 文善・効率化	託の可能性は。 ないか。 できたか。 かなどうか。 えるか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
評価点	7 評価点 計	7		3	3	3 A:事業拡充	独創性 1 B:現場 N、終期設	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員数 他の見本となり 文善・効率化	託の可能性は。 ないか。 できたか。 をはどうか。 えるか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
評価点	7 評価点 計	7		3	3	3 A:事業拡充 D:規模縮小	独創性 1 B:現場 N、終期設	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員数 他の見本となり 文善・効率化	託の可能性は。 ないか。 できたか。 をはどうか。 えるか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
評価点	7 評価点 計 4 0 点満点	7		3	3 判定基準 担当課に	3 A:事業拡充 D:規模縮列 こよる判定	独創性 1 た B:現れ い、終期設 と理由	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性 注維持 C:ひ 定、委託のも	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり 文善・効率化 (計 E:休」	託の可能性は。 ないか。 できたか。 車はどうか。 えるか。 し継続、委 上、廃止	10,7,3,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0		
評価点	7 評価点 計 4 0 点満点	7		3 24	3 判定基準 担当課に	3 A:事業拡充 D:規模縮列 こよる判定	独創性 1 た B:現れ い、終期設 と理由	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性 注維持 C:ひ 定、委託のも	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり 文善・効率化 (計 E:休」	託の可能性は。 ないか。 できたか。 車はどうか。 えるか。 し継続、委 上、廃止	10,7,3,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0		

亚成 28 在度 事業成里説昭書 善 評価書

1 事業の)成果及び	平成	28	年度	事業成界	 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	明	書 兼	<u>=</u>	肾価:	_	设会計	
事業番号	689	事業名	下郷地区公	公民館活動	事業			事業区分		コ新規			■継続
担当課	社会教育				生涯学習	系							
予算区分	款	9 教育	費	項	4 社会		貴	[3	2	公民	館費	
		最 終	決算額		事業費財	源内詞	尺	(千円)					
年月	芰	予算額 (千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その (収)		起債	一般	財源		備	考
平成28年) 平成28年)		544	541							541			
活動		単位 年	度 26	(実績)	27(実績	事)	28	(実績)		29			30
711 3/17	ДЦ	目			3	₹/		5		3			3
自主運営サ	一クル数		績	_	2		1	8 60. 0%		-			-
事業の対象 (だれに)	町民全般	(自治会、	地域団体・	個人等)									
	た文化的	区内各自治 教養を高め 等に資する	あうような										
事業の 実施状況	し、各種類 境を醸成り	育法並びに 教育事業展 しつつ、住 郎地区公民	開を通じて 民の教養の	、地域住)向上、生	民が自ら 活文化の	実生活 振興等	舌に見 手を図	即した文化	化的教 た。	枚養を	E高 <i>d</i>)得る	
	て地区住! 各種公!	民の生活課 民の親睦・ 民館事業を りで発表す	交流を図り 通じて地区	リ公民館教 区住民の親	(室活動か 睦、交流	らサ- が図オ	ークノ ኂてし	レ活動への います。 ā	の移行 また、	テにナ 教室	」を入	れま	した。
成果と 課題				へ繋	l1.1パッチ がり、今で レープの特	は週に	こ1 回						
	[課題] 各種行事の参加者数のさらなる増加を図りたいと思います。 公民館教室からサークル活動への移行をより促進することが重要です。												
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆 独創		必要性 妥当性 公平性	行政必须	須か、委	業の必要 :託の可能 :ないか。	能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	7	3	3	3	1		有効性 効率性	目標数化コスト	直は達成 ・人員効	できたた 率はどう えるか。)、 うか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		24	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小			推持 C∶改	き・多	効率化	し継続	· 、委託	
				担当課に	 よる判定	と理	<u> </u>						

В

地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継 続が必要です。

	事業の成果及び評価・一般会計・												
事業番号	680	事業	名	下郷地区:	公民館管理	里事業		事業区分	□新	ī規	■継続		
担当課						生涯学習							
予算区分	款		教育		項		教育費		目 2	公民館	費		
		最	終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)					
年	度	予算		,,	国庫	県支出金	その他	TC1=	一般財源	頁	備考		
		(千)		(千円)	支出金	水入田並	(収入)	KE IX					
平成2			652	625					62	5			
平成28年													
活動	項目	単位	年		(実績)	27(実績	責)	28(実績)	29)	30		
==	4. 1		目										
設定	なし		実										
			達成	(平									
事業の対象(だれに)	町民全般	(自治	会、	地域団体	• 個人等)								
(/_101-)													
事業の目的	下郷地[区内各	·自治	会と連携し	」た教育 •	学習事業	の展開る	を通じて、:	地域住民	が自ら乳	実生活に即し		
											長興、地域課		
めに)	題の解決					-							
	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき下郷地区公民館を設置、館長・主事を配置												
										、館長	・主事を配置		
事業の	し、社会	教育活	動の	拠点として	て公民館の	適正な管	理を推議	進しました。	o				
実施状況	r — /			&스 /- 88 14 5			000 	. Tum +v 44	- 0 0 5				
	[N	邸地区	公氏	館年間利用	月状况】	利用団体	299団体	、利用者数	₹ <i>0</i>) ~ 3, 5	川人			
	[成果]												
	地区住	民が安	心し	て学習でき	きる環境整	経備や、施	設維持網	怪費の削減	に努めま	した。			
	[課題]												
	施設の	老朽化	が著	しく、利用	目される地	区住民に	とって	安心かつ安:	全な環境	整備が			
	必要で	す。創	意工	夫を凝らし	、施設維	持経費の	削減を	図りつつ行	う必要が	あります	t. I		
成果と	22	, , ,,,		, C ., C .	מויגעם מי	233,4230,00	111//20 C F		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	0, , 0, ,	, 0		
課題													
		I	1		1		u ==-:	. 必要性	住民ニーブ	事業の必要性	t. 10, 7, 3, 0		
評価項目	必要性	妥当	┪性 ┃	公平性	有効性	効率性	先駆性	O 17 MH		季託の可能性			
	·= - · · ·			· · !—			独創性	ムーは	受益者の偏り		5, 3, 1, 0		
評価点	7	7	,	3	3	3	1	有効性 効率性	目標数値は達	i成できたか。 i 効率はどうか	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
		L_ ′		<u> </u>				先駆性・独創性			5, 3, 1, 0		
	評価点 計			O A	业中 # #	A:事業拡充	E B∶現	状維持 C∶d	女善・効率	化し継続、	委託の検討		
	4 0 点満点			24	判定基準			定、委託の根					
	担当課による判定と理由												
					, with	3. W 137L	- · - H						
	地域におり	ける針	会数	育活動振!	里の中心を	おう取り おおり おり おり おり おり かいりょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	組みでる	あり、地域:	数育力維	持向上の	りためにも継		
В	続が必要		. 		< ₹ ₹₹ 11.4 □ 1. €	. <u> </u>	49Ta V. C. (・ノ・ハービーグ・	ントロンコル氏	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	こうこのとし 一		
	,,,,,,, ,,, ,,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	- / 0											

	の成果及び	評価								一般会計			
事業番号	691	事業	名	古布庄地				事業区分	□新規	見 ■	■継続		
	社会教育					生涯学習							
予算区分	款		教育		項	4 社会			目 2	公民館費			
_	rd-		終	決算額		事業費財		(千円)		144	+		
年.	度	予算		(7 m)	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備:	考		
	0 /- 	(千日		(千円)	支出金		(収入)		400				
平成2			490	480					480				
平成28年		22/1	<i></i>	 1 00	/ = #=\	07/ ch #	±\		00		20		
活動	<u> </u>	単位	年		(実績)	27(実績	頁) 2	8(実績)	29		30		
自主運営サ	カ 11.米5	田休	目:		_	3 2		<u>5</u> 8	3		3		
口工庄百人	7 10 35		達成					160. 0%					
事業の対象	A 45	(•	/= 1 <i>f-f-</i> \			, ,					
(だれに)	町氏全般	(日冶	会、	地域団体	• 個人等)								
		ul. — —	<i>h</i>	· ^ ^ L >± 4	#	- ** 77 +	* ~ = =		111.1-12.12		L >T 1 = 00		
事業の目的										見が自ら実生			
(なんのた めに)	課題の解				ノは琼児を	一番成しつ	ノ、仕氏	の叙養の	可上、生活	舌文化の振興	4、 地		
371-7	木地の一件	大寺に	貝 9	७ 0									
	- ↓_	<u> </u>	71.1-	またかったり	3 45 夕 15 1 ~	·++ ++	~* + - + -	- 	ᄆᄼᅼᆠᆖᇟᅋ		⊢ at ≁ ≖¬		
	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき古布庄地区公民館を設置、館長・主事を配 置し、各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような												
事業の								iic即した. 手を図りま		まな回め)はる	ひような		
実施状況	ス・元 C 田の	火 し フ	٥,	正氏の教室	支 ひ ノ トリュー、	エルヘル	U) 1/K 30 1	гсыуд	U/L:				
	【古:	布庄地	区公	民館開催	事業・講座	*状況】	開催回数	な52回、参え	加者数の~	\$2.349人			
	•	.,		- ()	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			_,			
	[成果]												
								あげての	事業に集落	喜ごとに協力	して		
				力を発揮す			-						
										バできました			
	•下郷•.	上郷・	古布	庄3地区7	で連携し青	少年の事	業を取り	組みの内	容を充実で	ごきました。			
					47 .	3							
					10			#		18.4			
成果と				Winds		←		携事業「た					
課題				1		1				AG」を行い			
							の防災	足について	意見交換:	を行いました	t= 。		
	r=m ====												
	[課題]	ナエル	4 >↓-	+7 + 15 to	f 1= 1= 11 1	*+ 7 ± 11	Øhli ⊅≠ ୬ i	al = 1 . 1 . 1		. 7 4.4	+ -		
	_				きに偏りが	あるため	、継続的	リにかかわ	つてもらえ	こるような鬼	立力		
			. –	要です。			4.1 ~ 1# ##	1 11344	u /	- - -			
								をより進ん					
	• 局齡化	二件い	リー	メーとなる	5ような人	、材の催保	・育灰カ	ぶより難し	くなってし	います。			
		I			1		:	心更性	住民ニーズ、事	業の必更性(+	10, 7, 3, 0		
評価項目	必要性	妥当	i性	公平性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性	任氏—一人、事 行政必須か、委		10, 7, 3, 0		
							独創性	ムーは	受益者の偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0		
評価点	7	7	,	3	3	3	1	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
н і іш лік	<i>'</i>			<u> </u>			•		他の見本となり		5, 3, 1, 0		
評価点 計													
((40点満点) 24 → D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止												
					担当課に	よる判定	と理由						
В			会教	育活動振卵	興の中心を	担う取り	組みであ	り、地域	教育力維持	特向上のため	りにも継		
ן ט ן	続が必要	です。											

15 - 21

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	682	事業:	名 古布	庄地区	区公民館管	理事業		事業区分		□新規	見 ■継続		
担当課					担当係	生涯学習							
予算区分	款		女育費	<u>አ</u> ታ	項		教育費		<u> </u>	2	公民館費		
年	r ic	最 系		算額		事業費財		<u>(千円)</u>	1		備考		
	 文	(千円		円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般	財源)用 行		
平成2	8年度		516	506	<u>ДП</u>		(1274)			506			
平成28年													
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)		29	30		
設定	なし		目標 実績 達成率										
事業の対象(だれに)	町民全般	(自治会	会、地域	団体・	個人等)		•		•				
事業の目的 (なんのために)		的教養を	を高めあ								が自ら実生活に即 ま文化の振興、地域		
事業の 実施状況	置し、社会	会教育活	舌動の拠	点とし		の適正な	管理を推	ī庄地区公↓ 進しまし; 体、利用者	t=.		乱、館長・主事を配 109人		
成果と 課題													
評価項目	必要性	妥当怕	性 公	平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	行政必須	須か、委 の偏りは			
評価点	7	7		3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	コスト		できたか。 5, 3, 1, 0 率はどうか。 5, 3, 1, 0 えるか。 5, 3, 1, 0		
	評価点 計 40点満点			24	判定基準	A∶事業拡充 D∶規模縮小		弋維持 C∶改 定、委託の検			し継続、委託の検討 こ、廃止		
					担当課に	よる判定	と理由						
	担当課による判定と理由												

1 事業の	の成果及び				一尺:	サ木火ス	ベロルツフ		ᇒ	可叫	画 一般会計
事業番号		事第		上郷地区	公民館活動	事業		事業	区分	口新規	
	社会教育			<u> </u>	担当係	生涯学習					
予算区分	款		教育		項	4 社会			目	2	公民館費
		最	終	決算額		事業費財	源内訳	(千円	月)		
年	度		算額		国庫	県支出金	その他	起	唐 —	·般財源	備考
		(千		(千円)	支出金	ボス山业	(収入)	اقام	具		
平成2			331	320)					320	
平成28年											
活動	項目	単位			(実績)	27(実績	5) 2	8(実績	()	29	30
5 子 军 兴 山	L <i>b</i> u */-	□ /±	目		_	3		<u>5</u> 8		3	3
日土理呂で	トークル数	凹ሎ	実達成			2		8 160. 0%	4		
事業の対象								100.0/	0		
(だれに)	町民全般	(自治	会、	地域団体	・個人等)						
業の目的											が自ら実生活に即し
なんのた					な環境を醸	「成しつつ	、住民の	教養₫)向上、	生活ス	文化の振興、地域認
めに)	題の解決	等に資	ぎする	0							
											館長・主事を配置
事業の											を高め得るような環
事業の 実施状況	境を醸成	しつつ)、住	民の教養の	の向上、生	活文化の	振興等を	図りま	きした。		
	.		-	A	uz =++- -	.	/ - 1		x 4_ 4- 4-	L ~ ^ .	007.1
	[上	郷地区	公民	郎開催事	業・講座状	况】 開	催回数45	凹、参	∞加者数	双のべ1	,937人
	·他地区: ·学校·	公民館 地域と	さと共 : 連携	催し、活動 し、協力	間交流・住 動内容を検 しあいなか	討しなが いろ子ども	ら事業を の体験活	充実さ 動を推	させまし 生進でき	した。 きまし#	÷.
					生別問わず	*様々な方	の参加が	あり、	健康均	曽進と3	交流を深める
	ことが	できま	ミした	0							
				1/10/							
成果と											
課題				474		₩ ←H:	28. 12. 5	開催	せいご	うキッ	ズ(もちつき体験)
				The state of	11,4						館・聖郷小学校共作
				The same of the sa	45	M					
	「豊田 旦五 7				10.0						
	[課題]	当ル	(11	カルルン	カ砂丝ナレ	これのよ	Z - 1. 48	(重要で	5 		
					の啓発をよ ・地域特性					ハレギュ	5 + +
											ぇょぅ。 ・チラシ等)
	「住氏に)	א א ניא	ムスス	, 邱尹未內1	かい同知法	いいこりは	るエズル	'少安(- 9 o	以及	・ノノ守/
		I		1			# EC M	必要性	住民	ニーズ、事	業の必要性は。 10,7,3,
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	行政	対必須か、委	ミ託の可能性は。 10,7,3,
							7五月11土	公平性 有効性		を者の偏りに 要数値は達成	-, -, -,
評価点	7		7	3	3	3	1	効率性			が カ率はどうか。 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
							•	先駆性・	独創性 他の)見本となり	
	評価点計			24	判定基準	A:事業拡充					し継続、委託の検討
(40点満点)				D:規模縮小		正、委託	tの検討	E:休」	止、廃止 —————————
					担当課に	こよる判定	と理由				
	1.1.1.4.				n a		40 1			- \(\) \(\) \(\)	
В			I会教	育沽動振り	興の中心を	(担つ取り)	組みであ	り、地	鸣飒教育	了刀維持	寺向上のためにも維
_	続が必要	C 9 。									

- 船会計

1 事業の成果及び評価 一般会計 一般会計													
事業番号	} 681 事業名 上郷地区公民館管理事業 事業区分 □新規 ■継続												
担当課	社会教育	課		担当係	生涯学習	係							
予算区分	款	9 教育	費	項	4 社会	教育費		2	公民館費				
		最 終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)						
年	度	予算額		国庫		その他	+7/=	60.日土 21五	備考				
		(千円)	(千円)	支出金	県支出金	(収入)	起債	一般財源					
平成2	8年度	42	420					420					
平成28年													
活動		単位	度 26	(実績)	27(実績	書) 28	3(実績)	29	30)			
71.43	<u> </u>		標	()()()	(50)		1541007						
設定	なし		· // · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										
			成率										
事業の対象	m- O 스 án.	/ 古 2/5 △	115 1 -15 () (-1-	/E //-\	•	•		•					
(だれに)	町氏全般	(日冶会、	地域団体	• 個人寺)									
事業の目的									「自ら実生活に				
				は環境を醸	張成しつつ.	、住民の	教養の向.	上、生活文	化の振興、地	域課			
めに)	題の解決	等に資する	5 。										
						.		==					
									館長・主事を	配置			
事業の	し、社会	教育活動の)拠点として	て公民館の)適正な管	理を推進	しました。						
実施状況													
	【上郷地区公民館年間利用状況】 利用団体412団体、利用者数のべ2,980人												
	[成果]												
		51温儿攸丝	善工事後、	2心中全に	・利田が山	並て母事	曲准レ汗	ナルに軽も	いました				
									いりました。				
	* 幺 関 允 (ひ化 他 て、	グラウン	トの登偏に	- 労(り)、京 [・]	観を保つ	ことか出	米ました。					
	[課題]												
	・施設の	維持経費	削減が必	要です。	(省エネ	等)							
	公民館	利用者のす	マナー徹底を	を図ります	•								
成果と													
課題													
			T <u>_</u>	T		先 馭性	必要性	住民ニーズ、事乳		, 7, 3, 0			
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	行政必須か、委	託の可能性は。 10	, 7, 3, 0			
評価項目						先駆性 独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 10 ないか。 5,	, 7, 3, 0 3, 1, 0			
評価項目	必要性 7	妥当性 7					妥当性	行政必須か、委	託の可能性は。 10 ないか。 5, できたか。 5,	, 7, 3, 0			
			公平性 3	有効性	効率性		妥当性 公平性 有効性 効率性	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成	託の可能性は。 10 ないか。 5, できたか。 5, 率はどうか。 5,	, 7, 3, 0 3, 1, 0 3, 1, 0			
評価点	7 評価点 計	7	3	3	3 A:事業拡充	独創性 1 む B:現状	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C∶♂	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり て善・効率化	託の可能性は。 10 ないか。 5, できたか。 5, 率はどうか。 5,	7, 3, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0			
評価点	7	7			3 A:事業拡充	独創性 1 む B:現状	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり て善・効率化	託の可能性は。 10 ないか。 5, できたか。 5, 率はどうか。 5, えるか。 5,	7, 3, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0			
評価点	7 評価点 計	7	3	3	3 A:事業拡充	独創性 1 & B:現状 \、終期設策	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C∶♂	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり て善・効率化	託の可能性は。 10 ないか。 5. できたか。 5. 率はどうか。 5. えるか。 5. し継続、委託のも	7, 3, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0			
評価点	7 評価点 計	7	3	3	3 A∶事業拡充 D∶規模縮小	独創性 1 & B:現状 \、終期設策	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C∶♂	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり て善・効率化	託の可能性は。 10 ないか。 5. できたか。 5. 率はどうか。 5. えるか。 5. し継続、委託のも	7, 3, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0			
評価点	7 評価点 計 4 O 点満点	7	3 24	3 判定基準 担当課に	3 A:事業拡充 D:規模縮が こよる判定	独創性 1 このは、終期設定 と理由	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C:改 E、委託の材	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり ズ善・効率化 設計 E∶休山	託の可能性は。 10 ないか。 5. できたか。 5. 平はどうか。 5. えるか。 5. 人継続、委託の柱上、廃止	7, 3, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 意討			
評価点	7 評価点 計 4 O 点満点	7) ナる社会教	3 24	3 判定基準 担当課に	3 A:事業拡充 D:規模縮が こよる判定	独創性 1 このは、終期設定 と理由	妥当性 公平性 有効性 効率性 先駆性・独創性 維持 C:改 E、委託の材	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり ズ善・効率化 設計 E∶休山	託の可能性は。 10 ないか。 5. できたか。 5. 率はどうか。 5. えるか。 5. し継続、委託のも	7, 3, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 3, 1, 0 意討			

1 事業の成果及び評価

一般会計

	<u>)成果及び</u>									一般会計		
事業番号	685	事業	名	成美地区组	公民館活動	加事業費		事業区分	□新規	見 ■継続		
	社会教育				担当係	生涯学習	係					
予算区分	款		教育		項		教育費		2	公民館費		
			終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)				
年	度	予算 (千F		(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)		一般財源	備考		
平成28	8年度		479	473					473			
平成28年	度(明許)											
活動	項目	単位	年月	度 26	(実績)	27(実糸	責)	28(実績)	29	30		
			目		_	3		5	3	3		
自主運営サ	ークル数	団体	実		_	2		8				
			達成	【举				160.0%				
事業の対象 (だれに)	町民全般	(自治	会、	地域団体・	個人等)							
事業の目的 (なんのた めに)		教養を	高め	あうような						が自ら実生活に即し 文化の振興、地域課		
事業の 実施状況	し、各種 境を醸成	教育事しつつ	業展 、住	開を通じて	、地域住)向上、生	民が自ら 活文化の	実生活に 振興等を		化的教養を た。	館長・主事を配置 を高め得るような環 , 907人		
「成果] - 公民館祭かくし芸大会では、地域活動グループから多数の参加を得ることができました。 - 学校地域戦略会議の定期的な開催で小学校・公民館・文化センター・地域が密に連絡を取り合い連携が進んでいます。 - 地域を見直す取り組みとして、川合清丸没後100年講演会を開催し、地域の偉人について新たな世代への伝承を進めることができました。 - 水曜道くさクラブでは、参加者が増えたためボランティアも増やして対応し、子どもたちが放課後を有意義に過ごすことができています。 川合清丸没後100年記念講演会(H28.6.26)												
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 10, 7, 3, 0 ないか。 5, 3, 1, 0		
評価点	7	7		3	3	3	_ 1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。		
	評価点 計40点満点			24	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		伏維持 C∶改 対定、委託の検		し継続、委託の検討 上、廃止		
					担当課に	_ よる判定	と理由					
	地域におり続が必要		会教	育活動振興	興の中心を	∵担う取り	組みです	あり、地域	教育力維 持	寺向上のためにも継		

1 事業の	の成果及び	評価								一般:	会計		
事業番号	676	事業名 成美地区公民館管理事業費 事業区分 □新規 ■継続											
担当課						生涯学習							
予算区分	款	9	教育	費	項	4 社会	教育費		目 2	公民館			
		最		決算額		事業費財	源内訳	(千円)					
年	度	予算			国庫	県支出金	その他	起債	一般財源		備考		
		(千)	円)	(千円)	支出金	示义山亚	(収入)	起頂	刊文 只7 //示				
平成2			822	818			142		676	その他	:公民館使用料		
平成28年	度(明許)												
活動	項目	単位	年	度 26	(実績)	27(実統	責) 28	3(実績)	29		30		
			目										
設定	なし		実										
			達成	【率									
事業の対象	町民全般	(白治	会	地域団体・	個人等)								
(だれに)	~1 X/ ± //X	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	Δ,	-С-» Щ IT.	四/(1/								
事業の目的											ミ生活に即し _{長興、地域課}		
	に又化的な題の解決				・垛児で閉	対人しノノ	、正氏の	叔食の円.	工、工冶〉	くていりが	x央、 ^地 以床		
• /	心とリガチバー	サート貝	. 7 W	0									
					·				·				
社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき成美地区公民館を設置、館長・主事を配置													
事業の	事業のし、社会教育活動の拠点として公民館の適正な管理を推進しました。												
実施状況													
	【成	美地区	公民	館年間利用	状況]	利用団体	455団体、	利用者数	てのべ7,66	9人			
	[成果]												
		早の計	- 会 数	育の拠点と	・」て公民	2館の答理	を行い	住民が気息	軽に利田!	7			
				施設内や旅					FI (~ 1.1711)				
				心改と 設定温度を					新電ができ	s = 1 <i>t</i>	-		
				政定温及で 座などのチ									
				座なるのう 寄付しても		-				じ天しる	C/20		
	・小安にん	ように	. 本で	台刊 しても	ラウい、 L	に一の凶	音コー)	一か兀夫	しました。				
# ₩ L	「豊田 日石]												
成果と 課題	[課題]	.v /⊥ /¤	- 4	、施設の老	لا ما <i>ا</i> ⊤4	- 400 400 400 400 400 400 400 400 400 40	ひがけだ	心而不士					
环因	净16僧/	小山石	. 卜寺	、他設のそ	5个716 " 坦	盟盤沈下へ	の対しいがい	必安じり。					
						_							
評価項目	必要性	妥当	,, _∤ , T	公平性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性	住民ニーズ、事 行政必須か、委				
計圖現日	必安住	女目	打工	五十注	有刈江	劝学注	独創性	公平性	行政必須か、妥 受益者の偏りは		5, 3, 1, 0		
== ' '	7	-	,	^	^	^	4	有効性	目標数値は達成	できたか。	5, 3, 1, 0		
評価点	7	7	'	3	3	3	l	効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効 他の見本となり		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
	延備占 针			0.4		A·車樂標力	z D·珀(t						
評価点 計 24 判定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止													
	担当課による判定と理由												
					担日試入	- よる刊正	C埋出						
_	+14 + =1 1 − + > 1	1 7 1 1	△ ₩	女江科卡马	! Λ + ∴ +	出る時に	知っ テナ	ſ│ ╽ ╟ ┃	外女 4 # +	±亡 ∟々	7+- 141- + 6NI		
	地域におり続が必要		云钗	月冶剔恢界	もの中心を	担つ拟り	祖かじめ	ツ、地場	双月 刀維持	すい上の	つためにも継		
_	心の必要	C 9 o											

-一般会計

1 事業の成果及び評価 一般会計												
事業番号	683	事業名	赤碕地	也区グ	公民館活動	事業			事業区分	□新規	見	■継続
担当課	社会教育	果			担当係	生涯学習	係					
予算区分	款	9 教育	育費		項	4 社会	教育費	Ì		2	公民的	館費
		最 終	決算	額		事業費財	源内訴		(千円)			
年	度	予算額 (千円)	(千F		国庫支出金	県支出金	その((収入	也	起債	一般財源		備考
平成28	2年度	68		615			(-122)	•/		615		
平成28年		00	<u> </u>	010				_		010		
活動		単位	 	26	(実績)	27(実績	丰)	28 ((実績)	29		30
/1 到 /	快口		<u>+ /2</u> 目標	20	大恨/	27(文 市 3	艮/	20 (文 植)	3		3
自主運営サ	ークル数	団体	実績の本			2		16	8	0		<u> </u>
事業の対象 (だれに)	町民全般	(自治会,	、地域団]体・	個人等)							
		教養を高	めあうよ									実生活に即し 振興、地域課
事業の 実施状況	し、各種 境を醸成	教育事業人 しつつ、イ	展開を通 住民の教	値で な養σ	7、地域住	民が自ら 活文化の	実生活 振興等	に即を図	『した文化 』りました	上的教養を	高め	・主事を配置 得るような環
成果と 課題	・・・・ 課人身の近く・・・・・ 課人身の近く・・・・・・ 課人身の近く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	舌動援室で 動援室で りばで がでず がで推	り庭ンし 尊進かまけ育ィお なる、。	民環・、 つとー	司志が問題 問題 記 記 記 記 記 記 記 会 る る 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	り、 が も 支 識 を 地 移 は そ し る 強 援 の 踏 域 行 く く う く う く う く う く う く う く う く う く う	活るこが 、ながと会ん 会る	進が等で 教強展で、い 育強	⊌できる。 しき多す 基でしいした。 本では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	ます。 た。 ちが公民館 こおいての くことが	宮でボン生涯でを生要を	ランテ 学習を でより
評価項目	必要性	妥当性	公平	性	有効性	効率性	先駆† 独創†	生生	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能ないか。	性は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	7	3		3	3	1	菜	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどう	
	評価点 計 40点満点		24	1	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				【善・効率化 注討 E∶休』		、委託の検討 L
					担当課に	よる判定	と理由					
	担当課による判定と理由 B 地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続すべき事業です。											

) ル 果 及 し					L11,						技芸訂	
事業番号	674	事業	€名	赤碕地区			-		事業区分	□新規	見	■継続	Ċ
担当課						生涯学習		+-				A± ±5	
予算区分	款		教育:		項		教育			∄ 2	公氏	館費	
_			終	決算額		事業費財			(千円)	T		144 4 -	
年		予算		(* m)	国庫	県支出金	その		起債	一般財源		備考	
b.o.	<u> </u>	(千		(千円)	支出金	/////	(収え	()					ded
平成2			480	460				1		459	その	他:公民館例	き用料
平成28年		*** * * *			/ 	07/+	+\		/ &\	0.0			
活動	項目	単位	年		(実績)	27(実績	貢)	28	(実績)	29		30	
=n.⇔	<i>+</i> ~ 1		目:										
設定	なし		実達										
古类の社会				•									
事業の対象 (だれに)	町民全般	(自治	会、	地域団体	·個人等)								
(12)													
事業の目的												実生活に即	
					は環境を醸	 	、住民	そのま	教養の向.	上、生活ス	て化の)振興、地垣	樣
めに)	題の解決	等に貧	きする	0									
	社	杏油盐	781-	要油町ハE	2館冬個の	相守に其	ベキま	一六十	wich 도	始た記署	台上	・主事を配	黑
事業の				参加の公式 拠点として							路卫	₹ · 工尹で日	一百
実施状況	O, HA	7 H /L	13/10/	Jem C O	A 10,000	<u>, ге</u> т. с. е	-I G 1		0 6 0 12)			
J 100 D 100	【赤衫	奇地区	公民	館年間利用	月状況】	利用団体	578団	体、	利用者数	のべ6, 97	1人		
	L > 1 ·	,		AH 1 1-3 1 37		13713			13713 12 22	, , , ,	.,,		
	[成果]												
		仿事業	· 子首	育て支援事	業など、お	各年齢を批	マネケー	牛涯	学習の場	を提供し	_		
				で幅広い年						, _ ,,,,,,	`		
				交との連携						ます。			
	[課題]		. ~ ++		L = = = 1						=	- ''	
出田し				になりつつ						-			
成果と 課題		地域で	:推進	することで	ご、人と人	、・地域の紫	そかり	の短	くする取	組を進め	る必	要かあり	
11个 化五	ます。	= 4± ±	. 《业《士	していし	よ かんかん かんかん こうしょう しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅう	如去 上口	ኍኍፘ	ה עה ב	亜がも ロ・	± +			
	・亦何の	五杌で 宙ハギ	でをかれて	していく流公民館とな	5到へのり	(祖でより)	進める	3 火火 5	安かのりる	より。 めませ			
	一番しいい	文し、ド	90.	ム以貼こん	7 0 C C C		、日七	± UJ /	木にて延り	<i>y</i>)			
			1		1	1			心亜州	住民ニーズ、事	業の必要	性は。 10.7.	3 0
評価項目	必要性	妥当	4性	公平性	有効性	効率性	先駆		必要性 妥当性	住氏ーース、争 行政必須か、委			
				- · · · ·	,		独創	王们	公平性	受益者の偏りは		5, 3,	1, 0
評価点	7	7	,	3	3	3	1		有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効			
加川山川		<i>'</i>	'	<u> </u>					先駆性・独創性 ・独創性	他の見本となり			
	評価点 計			2.4	判中甘淮	A:事業拡充	₹ В∷	現状網	 維持 C∶改		し継続	. 委託の検討	
	評価点 計												
					担当課に	_ _よる判定	と理日	<u> </u>					
D	地域におり	ナる社	会教	育活動振興	側の中心を	担う取り	組みて	ごあ	り、地域	教育力維持	寺向 上	このためにも	継
В	続が必要						* •						

1 事業の	の成果及び	評価									一般:	会計
事業番号	687	事業	名 八橋	地区な	\民館活動				事業区分	口新規	見	■継続
	社会教育				担当係	生涯学習						
予算区分	款		教育費		項		教育			∄ 2	公民館	<u>.</u>
年	度	予算	額	算額	国庫	事業費財	その	他	(千円) 起債	一般財源		備考
 + 0	0 / 	(千円		-円)	支出金		(収)	()		000		
平成28年			701	686						686		
活動:		単位	 年度	26	(実績)	27(実約	±Ι	20	(実績)	29		30
/白 划 ·	供日	甲亚	<u>+- 及</u> 目標	20	(天祖)	27 (美 和 3	₹ <i>)</i>	20	5	3		30
自主運営サ	ークル数	団体	実績		_	2			8			
			達成率					1	60.0%			
事業の対象 (だれに)	町民全般	(自治:	会、地域	団体・	個人等)							
事業の目的 (なんのた めに) パ橋地区内各自治会と連携した教育・学習事業の展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即し た文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課 題の解決等に資する。												
事業の 実施状況	「八橋地区公民館開催事業・講座状況」 開催回数88回、参加者数のべ4,728人											
成果と 課題												
	[課題] ・自主運; ・より広	営学習 く学習	人材情報	づくり 収集に	リをより強 ニ努め、生	化するの 涯学習の 会や場所	大切さ を広く	を 提	発信しなが	がら、地域	域住民か です。	ŗ.
評価項目	必要性	妥当	性公	平性	有効性	効率性	先駆 独創		妥当性 公平性 有効性	行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成	託の可能性ないか。	, . ,
評価点	7	7		3	3	3	1		効率性	日標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり]率はどうか	
	評価点 計40点満点		2	24	判定基準	D:規模縮小	ヽ、終期	設定		෭善・効率化 ミ討 E∶休⊥		委託の検討
					担当課に	よる判定	と理由	3				
	担当課による判定と理由 地域における社会教育活動振興の中心を担う取り組みであり、地域教育力維持向上のためにも継続が必要です。											

続が必要です。

1 事業の成果及び評価 一般会詞

1 事業(S Plane (VAP) AND BY IN												
事業番号	678 事業名 八橋地区公民館管理事業 事業区分 □新規 ■継続												
担当課						生涯学習							
予算区分	款	9 教	育費		項	4 社会	教育費		目 2	公民館			
		最 糸		草額		事業費財	源内訳	(千円)					
年	度	予算額			国庫	県支出金	その他	起債	一般財源		備考		
		(千円)(千	円)	支出金	未又山並	(収入)	尼良					
平成2		5	586	586				9	577	その他	:公民館使用料		
平成28年													
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実統	責)	28(実績)	29		30		
=n -4-	4. 1		目標										
設定	なし		実績										
w - 114			達成率										
事業の対象 (だわに)	町民全般	(自治会	€、地域[団体・	個人等)								
(/2/012)													
事業の目的	八橋地[区内各自	治会と	連携し	た教育・	学習事業	の展開を	通じて、	地域住民だ	が自らす	ミ生活に即し		
											長興、地域課		
めに)	題の解決	等に資す	^ト る。										
	11 A 4/1 -	-	*		1 Ath & 151 A	40 4 2 / _ ++	->	5 II	A	A =	~ * * * 		
± ** ~										館長	・王爭を配直		
	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき八橋地区公民館を設置、館長・主事を配置 (業の し、社会教育活動の拠点として公民館の適正な管理を推進しました。 施状況 【八橋地区公民館年間利用状況】 利用団体781団体、利用者数のべ10,511人												
夫肔认沉													
	L / \1	同地区で	(大明十)	印介リ月	11人/汇】	利用凹冲	/01四本	、利用有宽	χυ) ~ 10, 5	11人			
	- n												
	[成果]		16a 6 6.			· 18 1 1			Leuri		0 L &L.		
								い年齢層に					
								望できる環					
									(水道光熱費	夏)の削減	城が図れました。		
	・グリー	ンカーラ	・ンなど	を利用	引して維持	経費の削	減に努め)ました。					
	[課題]					,_,							
成果と						の周知を図							
課題	・新規の公	:民館利	用者へ最	終確	認(掃除、電	電気、冷暖	房、日誌	の記入、戸	「締り)等の	徹底が	必要です。		
									•				
評価項目	必要性	妥当性	± //\7	平性	有効性	効率性	先駆性		住民ニーズ、事行政必須か、委				
正 画項目	心女性	女二]]	T 7	1- IX	カが注	が生は	独創性	公平性	受益者の偏りは		5, 3, 1, 0		
=== /== ⊢	7	7)	o	2	4	有効性	目標数値は達成		5, 3, 1, 0		
評価点	/	/	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	3	3	3	ı	効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効 他の見本となり		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0		
	評価点 計			4	alout with the same	A:事業拡充	· B:理						
	評価点 計 24 料定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 C:依法・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止												
担当課による判定と理由													
					ニコ味に	- 0 O TIVE	こ・左田						
ъ	地域におり	ける針台	≥数音活	動振馬	∄の山心を	拍う取り	組みでも	ちり +物1誌:	数音力維持	幸向 トの	oためにも継		
В	続が必要		3 TA H /U =	沙川水 子	- 47 - 1-10° C	J= 74X 7	400 CO	ノ / 、 <i>ト</i> じ <i>や</i> が	マン 口 ノン小庄]	·, լ-, V	ノノこびノー しか座		
_	おりに たい・ル・ファー												

	の成果及び									一般会計
事業番号	1261		業名	赤崎台	場跡保存・			事業区分	□新規	見 ■継続
担当課	社会教育				担当係	学芸文化	係			
予算区分	款	9	教育	費	項	4 社会	教育費		3	文化財保護費
		最	終	決算客	Į.	事業費財	源内訳	(千円)		
年	度	予算	算額		国庫		その他	+¬ /=	60.84%	備考
		(千	円)	(千円	支出金	県支出金	(収入)	起債	一般財源	
平成2	8年度		249	2	29				229	
平成28年										
活動		単位	年	度	26(実績)	27(実紀	青) 2	8(実績)	29	30
				標	(50)	-: (50)	20,	1		
追加指定記	己念講演	回		績				1		
会の開催				戈率				100.0%		
				標				1		
説明看板の	D設置	基		績				1		
			達原	艾率 📗				100.0%		
事業の対象	町民、町名	外住兵	4							
(だれに)	-120(-17	/ I I I I	<u> </u>							
(なんのた		崎台場 る。			・場跡に追加要な整備の					施する。 C史跡の適切な保存活
事業の 実施状況	開会主共内 氏【県ま【3月曜 展立し説に 展立し説に 3月 の 元 の 元 の 元 の 元 の 元 の 元 の 元 の 元 の 元 の	3月87琴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	日生教教「「話絵」	学委委取末 等 る会会 等 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	は、から、 まな、場合は、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	びタウンと 教育委員会 跡と絵図の 情-西洋式:) 各町が所有	うはく4 ()比較から 築城法輸 「する写真	階研修室 う」 講師 入の背景と	中原斉氏 その影響 展示し、名	-」 講師 冨川武史 S-台場跡の紹介を行し
成果と 課題	3町 水だ 説赤と 説赤と 説赤と 関 い は い に に に に に に に に に に に に に	講ら場と板場き、遺本、ま演のだに設跡た、跡方浦すの。のの	ながます。 かまま かまま かまま かまま かまま かまま かまま かまま かまま かま	きもくる もくる 指 活る、 指 活る、 用 必 は	、 三と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	D注目の高 注でま し 行がの た い 行がの な 、 各 た た た り 策 も た り 、 の た る 、 の た り 、 り た り た り り り り た り た り た り た り た	さる をこ をこ の の は に を に に に に に に に に に に に に に	ました。 5、町内外(置により、! 舌用計画を 1つては、鳥! 1つであれる	の多くの7 史	は鳥取市、倉吉市など を表表して、 を表示でする。 は鳥取市、倉吉市などである。 はたいできます。 はいのではいるできます。 はいのではいるできます。 はいのではいるできます。 はいのではいるできます。
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	受益者の偏りは	計の可能性は。 10, 7, 3, 0 はないか。 5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	3	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	か率はどうか。 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			29	判定基準	D. 祝侯稲/	小、終期設	代維持 C∶改 定、委託の検		し継続、委託の検討 - 、廃止
					担当課	による判定	と理由			
В	赤崎台場	跡の遁	動切な	保存方法	 法や遺跡の	 活用方法を	検討して	こいくため	事業の継続	売が必要です。

15-31

	成果及び				•					一般会	
事業番号	1203	事業	名	大高野遺		5用推進事		事業区分	□新規	見	■継続
担当課						学芸文化					
予算区分	款		教育費		項		教育費		∃ 3	文化則	才保護費
<i>/</i>				決算額	- 4	事業費財					/#
年月	芠 	予算 (千F		(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他(収入)		一般財源		備考
平成28	3年度	5,	, 372	5, 267	1, 000	200			4, 067		写業費の1/2 か、1/10件補
平成28年月	度(明許)										
活動工	項目	単位	年度		(実績)	27(実績	責)	28(実績)	29		30
/n + >	. 		目標	票							
保存活用計	一回東正		実績 達成			80.0%	,	80. 0%			
(/S/UC)		斎尾廃	寺跡・			遺跡を適切	に保存	し、併せてi	両遺跡や凮	围辺文(上財の活用
事業の実施状況	業成【第大 東成【第大 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	量:入員は、成、上、、一、一、人員は、日、人員は、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日	委28年(1975年) (28年) (28年) (27年)	表 2 , 4 :	94,80 平成28年 日 813,3 内価値 と構成要素 及び保存活	6月17日 3 2 0 円) ^長 、史跡の 5用の大綱					
成果と 課題	・29年度(また) ・29年度(また) ・29年た空) ・29年た空) ・29年に第一次では、第一次ではで	量ケー・	より ⁴ よの 廃 ・ トの は 問 は 問 は 問 に の に の に の に の に り に り に り に り に り に り	今後の保存 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	字を行う 争 を 行 見 も 大 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	西囲などよ 合め、保 で で で で で も り ま が あ り ま り の よ り の よ り り り り り ま り り ま り ま り ま り ま り ま り ま	り存 は は は は は は は く そ と く と く と く と く と く と く と く と く と く		行うことだ しました。 保護するネ 様に両立る	ができる 為、法規 させてし	ました。 現制以外に いくか地域
評価項目	必要性	妥当	6性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性ないか。	性は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	10	0	3	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	本はどうか	-, -, -, -
(評価点 計40点満点)		29	判定基準		ヽ、終期詞	状維持 C∶改 设定、委託の検			委託の検討
					担当課に	よる判定。	と理由				
						遺跡を適切 「必要です		し、且つ、)	割辺地域 <i>0</i>	り為にも	どの様に活

1 事業の成果及び評価 一般会計

	<u>D成果及び</u>										_	一般的		
事業番号	1203	事第	美名	大高里	予遺足		舌用推進事			事業区分	□新規	見	■継続	
担当課						担当係	学芸文化							
予算区分	款		教育	費		項		教育費		E	∃ 3	文化則	才保護費	
		最	終	決算	額		事業費財	源内詞	沢	(千円)				
年	度	予算	額			国庫	県支出金	その	他	土コ/生	向几日十3百	1	備考	
		(千	円)	(千円	円)	支出金	宗又山立	(収え	人)	起債	一般財源			
平成2	8年度													
												対象導	≨業費の4/5	
平成28年	度(明許)	64,	651	64, 6	39	49, 296	4, 108				11, 235		力、1/15件補	
												助		
活動	<u>項目</u>	単位	年	度	26	(実績)	27(実績	責)	28	(実績)	29		30	
十古时等的	ᇸᄼᄼᆂᄥ		目	標					27	670. 44				
大高野遺跡 化	小公 有地	m [*]	実							670. 44				
16			達瓦	戈 率					1	00.0%				
事業の対象	町民ほか													
(だれに)	別なり、													
事業の目的	史跡の保存活用を適切に行うため													
(なんのた めに)	丈娜U休仔店用を週切に行うため 													
u)ic)	平成27年6月 農振除外申請(8月農振除外不可)													
	平成27年6	3月 日	農振隊	余外由	請 (8月農振	除外不可)							
	平成27年						1-1							
	平成27年			权用事 収用事										
事業の	平成27年			_		心足 契約、登訂	皇皇マ							
実施状況	〒/火∠0平で	лл ~ ^г					c元」 定地面積)	27670) //	m²				
- 大川四八万元	立代20年に						と地画領/	2/0/0	J. 44	111				
	十八20年	р. Н.	X167	丁惟助	争未	元亅								
	平成28年5月 文化庁補助事業完了													
	r_4 m -													
	[成果]													
	・史跡大	哥野官	衙遺	跡指定	ℇ地釒	節囲すべて	この土地購	入(公有:	地化)しる	ました。			
	・史跡大高野官衙遺跡指定地範囲すべての土地購入(公有地化)しました。													
	[課題]													
		化後σ)史跡	の保有	7活月	用や管理に	に係る整備	等を約	継続	して実施 ^っ	する必要な	バありる	ます。	
		化後の)史跡	の保有	7活月	用や管理に	に係る整備	等を終	継続	して実施 ^っ	する必要だ	バありる	ます。	
		化後σ)史跡	の保有	序活用	用や管理に	に係る整備	等を終	継続	して実施 ^っ	する必要だ	バありま	ます。	
		化後の)史跡	の保有	序活月	用や管理に	に係る整備	等を終	継続	して実施す	する必要だ	がありる	ます。	
		化後σ	史跡	の保有	序活月	用や管理に	に係る整備	等を終	継続	して実施 [・]	する必要だ	がありま	ます。	
成里と		化後の	史跡	の保有	序活 月	用や管理に	に係る整備	等を終	継続	して実施で	する必要だ	がありま	ます。	
成果と 課題		化後 <i>の</i>)史跡	の保有	序活 月	用や管理に	に係る整備	等を終	継続	して実施 ^で	する必要だ	があり ま	ます。	
成果と 課題		化後の)史跡	の保有	序活 月	用や管理に	に係る整備	等を終	継続	して実施で	する必要な	がありま	ます。	
-		化後の)史跡	の保有	字 活月	用や管理に	に係る整備	等を糸	継続	して実施 ^で	する必要な	がありま	ます。	
-		化後 <i>σ</i>)史跡	の保存	字 活月	用や管理に	に係る整備	等を終	継続	して実施 ^で	する必要な	がありま	ます。	
-		化後の)史跡	の保存	字 活月	用や管理に	に係る整備	等を終	継続	して実施 ^で	する必要な	がありま	ます。	
-		化後の)史跡	の保存	字活月	用や管理に	に係る整備	等を終	継続	して実施 ^で	する必要な	がありま	ます。	
-		化後の)史跡	の保有	字活 月	用や管理に	に係る整備	等を終	继続	して実施 ^で	する必要な	がありま	ます。	
-		化後の)史跡	の保有	字活 月	用や管理に	に係る整備	等を終	继続	して実施で	する必要な	があり	ます。	
-		化後の)史跡	の保有	字活 月	用や管理に	に係る整備	等を終	继続	して実施 ^で	する必要な	がありま	ます。	
-		化後の)史跡	の保存	字活月	用や管理に	に係る整備	等を終	继続	して実施 ^で	する必要な	がありま	ます。	
-		化後の)史跡	の保存	字活月	用や管理に	に係る整備	等を終	继続					
課題	・公有地								性	必要性	住民ニーズ、事	業の必要性	ı ↓ 。 10, 7, 3, 0	
-		化後の		の保存		用や管理に 有効性	こ係る整備 効率性		性			業の必要性 託の可能や	ı ↓ 。 10, 7, 3, 0	
評価項目	必要性	妥当	当性			有効性	効率性		性	必要性受当性公平性	住民ニーズ、事 受益者の偏りは 国標数値は達成	業の必要性 託の可能 ないか。 できたか。	は。 10,7,3.0 性は。 10,7,3,0 5,3,1,0 5,3,1,0	
課題	・公有地	妥当							性	必要性 受当性 公可性 効率性	住民ニーズ、、、では一大受益を表現である。これでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	業の必要性 話の可能 おないか。 できたか。 事はどうが	t	
評価項目	· 公有地· 必要性 7	妥当	当性	公平 1	性	有効性	効 率性	先 駆 独創	性性性	必要性 妥当性 公平性 为郊性 先駆性・独創性	住民ニーズ、事受益者の偏りは 受益者の偏りは達成 コスト・となり 他の見本となり	業の必要性 託の可能性 ないか。 できたか。 できたか。 ネはどうが	t 10, 7, 3, 0 t t 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
評価項目	· 公有地位 必要性 7 評価点 計	妥 ^当	当性		性	有効性	効率性 3 A∶事業拡充	先 1 1	性性	必要性性性性性性性性性性性性性性性性,致制性性,致制性性,致制性	住民政益を保証のでは、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	業の必要性能なできたから がで率える と で率える と を を を で を を で を る で で で で で で で で き と で う に る で る で る と る る る る る る る る る る る る る る	t	
評価項目	· 公有地· 必要性 7	妥 ^当	当性	公平 1	性	有効性 3 判定基準	効率性 3 A:事業拡充 D:規模縮小	先独 1 B 終 B 8 H	性性	必要性 妥当性 公平性 为郊性 先駆性・独創性	住民政益を保証のでは、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	業の必要性 託の可能性 ないか。 できたか。 できたか。 ネはどうが	t 10, 7, 3, 0 t t 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
評価項目	· 公有地位 必要性 7 評価点 計	妥 ^当	当性	公平 1	性	有効性 3 判定基準	効率性 3 A∶事業拡充	先独 1 B 終 B 8 H	性性	必要性性性性性性性性性性性性性性性性的性性的性性的性性的性性的性性的性性的性性的性	住民政益を保証のでは、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	業の必要性能なできたから がで率える と で率える と を を を で を を で を る で で で で で で で で き と で う に る で る で る と る る る る る る る る る る る る る る	t 10, 7, 3, 0 t t 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
評価項目	· 公有地· 必要性 7 点点 满 4 O 点 点点	妥当 1	当性 O	公平 1 25	性 D	有効性 3 判定基準 担当課に	効率性 3 A:事業拡充 D:規模縮 よる判定	先独 1 ∷ と 取創 B 終 理	性性現状系	必要性 妥当性 公有効性 分率性 ・独創性 ・独創性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	住民ニーズ、、事受に 行政益者の偏を連動では、 世間では、 での見本をでいる。 では、 での見ない。 をでは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	業の必要性 託のの可能性 ないかった。 で率はどかえ で本はどかえ し、 (廃止)	は。 10,7,3,0 性は。 10,7,3,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 ま,3,1,0	
評価項目	· 公有地位 必 7 点点 大高。	妥当 1	当性 O	公平 1 25	性 D	有効性 3 判定基準 担当課に	効率性 3 A:事業拡充 D:規模縮小	先独 1 ∷ と 取創 B 終 理	性性現状系	必要性 妥当性 公有効性 分率性 ・独創性 ・独創性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	住民ニーズ、、事受に 行政益者の偏を連動では、 世間では、 での見本をでいる。 では、 での見ない。 をでは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	業の必要性 託のの可能性 ないかった。 で率はどかえ で本はどかえ し、 (廃止)	は。 10,7,3,0 性は。 10,7,3,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 ま,3,1,0	
評価項目	· 公有地· 必要性 7 点点 满 4 O 点 点点	妥当 1	当性 O	公平 1 25	性 D	有効性 3 判定基準 担当課に	効率性 3 A:事業拡充 D:規模縮 よる判定	先独 1 ∷ と 取創 B 終 理	性性現状系	必要性 妥当性 公有効性 分率性 ・独創性 ・独創性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	住民ニーズ、、事受に 行政益者の偏を連動では、 世間では、 での見本をでいる。 では、 での見ない。 をでは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	業の必要性 託のの可能性 ないかった。 で率はどかえ で本はどかえ し、 (廃止)	は。 10,7,3,0 性は。 10,7,3,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 ま,3,1,0	
評価項目評価点	· 公有地位 必 7 点点 大高。	妥当 1	当性 O	公平 1 25	性 D	有効性 3 判定基準 担当課に	効率性 3 A:事業拡充 D:規模縮 よる判定	先独 1 ∷ と 取創 B 終 理	性性現状系	必要性 妥当性 公有効性 分率性 ・独創性 ・独創性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	住民ニーズ、、事受に 行政益者の偏を連動では、 世間では、 での見本をでいる。 では、 での見ない。 をでは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でのは、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	業の必要性 託のの可能性 ないかった。 で率はどかえ で本はどかえ し、 (廃止)	は。 10,7,3,0 性は。 10,7,3,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 5,3,1,0 ま,3,1,0	

	<u> </u>								<u> </u>		一般会 -	
事業番号	1262	事第	美名	町誌編さん					事業区分	□新規	見	■継続
担当課			List :			学芸文化						
予算区分	款		教育		項	4 社会			E	3	文化財	保護費
		最	終	決算額		事業費財	源内	訳	(千円)			
年	度	予算			国庫	県支出金	その		起債	一般財源		備考
		(千	円)	(千円)	支出金	未又山亚	(収.	入)	尼良	川又 只7 //示		
平成2			51	23						23		
平成28年	度(明許)											
活動	 項目	単位	年	度 26	(実績)	27(実績	責)	28	(実績)	29		30
編纂内容の	\+ \		目	標		年2回			年3回			
(検討会 <i>0</i>				績		2回			2回			
(挽討去)	ノガ 催力		達原	戊率		100.0	%	(66.0%			
事業の対象(だれに)	町民、町名	外住民	₹									
(/2/6/2)												
事業の目的	地域文化(の継承	が凩	難となりつ	つつあるサ	状況の中.	本町:	がど	のようにし	て生まれ	ι. 歩ん	できたの
				または後り								
めに)				承により							_ 0 . , ,,,	
				年10月6日								
	10月			誌の目次と								
	3月1	5日	目次	と次年度の	つうごきに	ついて検	討しる	ました	た。			
事業の												
実施状況												
	[成果]											
		- で到	師誌	の内容と幸	a 筆者選定	こについて	協議	を行	いました。			
				成しました		_10 >0 0	加加北	د ۱ ت	0 6 0 120			
	45/71/11	= \	/ <u>C I</u> F	12.0001	_ 0							
	r=00 8= 1											
	[課題]	_ +- +5	<u> </u>	+ += - <i>i</i> = i	<u> </u>	- 4- 4- 1 . 18	_	ı. 		- -	5= × 1	1 一/= 笠
				を加え編纂			٠, ـ	れま	での検討し	小谷を用版	が譲した	上で編奏
				執筆者の過	選定を行り	ゝます。						
	• 発刊年(ひ 再 移	€討を	します。								
成果と												
課題												
		1	1				ı		› 표··	<u> </u>	********	10700
評価項目	必要性	妥当	5件	公平性	有効性	効率性	先馴		必要性 妥当性	住民ニーズ、事		
피교자니	<i>2</i> 2 1	Д-	- 1-	4 1 14	17 /VI IT	>>J — I — I — I	独倉	川性	公平性	受益者の偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0
= 1 / 1 1 1	7	-)	1	1	2	1		有効性	目標数値は達成		5, 3, 1, 0
評価点	1		3	ı	I	3			効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効 他の見本となり		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計			10	deal and the second	A:事業拡充	F R	現状		善・効率化		
	4 0 点満点			16	判定基準				と、委託の検			× 10 V/ 1× 01
					担当課に	よる判定。	と理日	b				
_	編纂またり	は執筆	者選	定作業には	翼れがあ <i>る</i>	ため、検	討委	員お	よび事務局	副の体制 を	を整え	速やかに
				があります		,	, т. эк.	5-C 0-D	5- C 1 -1/1/		_ <u>1E</u> / L \	~ (// ()
	₩¥ IF Æ I	->\ 0	, xu. 54	י ס לינט או	• 0							

平成 1 事業の成果及び評価

一般会計

	の成果及	- 1-1								一般的	
事業番号	321	事業名	町内文化	財保護事業				事業区分	□新規	見	■継続
担当課	社会教	育課		担当係	学芸文化	係					
予算区分	款	9 教	育費	項	4 社会	教育	<u></u>		目 3	文化則	才保護費
		最 終	決算額		事業費財	源内	訳	(千円)			
年度	Ę	予算額		国庫	県支出金	その)他	起債	一般財源	_	備考
		(千円)		支出金		(収)	入)	尼原			
平成28:		6, 52	6, 417	56					6, 361		
平成28年度	₹(明許)										
活動項	目			6(実績)	27(実統	責)	28	(実績)	29		30
文化財保存	N 订		目標					5			
用事業支援			実績					5			
717 7 7 7 7	*	〕	【成率				1	00.0%			
事業の対象(だれに)	町民、日	町外住民									
	利活用のまた、	の促進や 管理に必	見学者の増決 要な整備を	加を図る。 行い文化財	の保護を[図る。		町内文化	は財の適切な	は保存す	するとともに、
	· 以下(各文化財に								
			助金の名称		金額(F			交付対象			
	文化	財公開・	活用支援事	業費補助金	500, 000	円	ï	可本家保存	会		
事業の		無形	文化財補助	金	20, 000	円	以团	55おどりほ	存会		
実施状況		無形	文化財補助	金	20, 000	円	逢	東踊り保	存会		
		無形	文化財補助	金	20, 000	円	三本	杉盆踊り	保存会		
	光徳	寺山門屋	根葺き替え	修繕補助金	3, 561, 00			光徳寺			
			への案内看								
			員会を以下								
	第1回		3:平成28年		IE 0 0 0 7	_					
	第2回		3 : 一次20寸 3 : 平成28年								
			1. 十八204	-10月20日							
	 国重 										来場し、多く こだきました。
			き替え事業 めていただ		明会を実力	拖し、	計2	7名の方が	ヾ来場し、値	多理過和	埕や文化財的価
成果と	・町指2 なりま		への案内看	板が劣化し	ていたたと	め修繕	きを行	テい、見学	者がよりき	来場しる	やすく
課題	討し、同		員会にて平 財の適切な [。]				:鳥耳	汉県中部地	震における	る被害を	対応について検
			、経年劣化 事業費確保				5 も 0	りが多くあ	りますが、	文化則	オの適切な保存
							≜んで	でおり後継	^送 者育成支持	爰等もኆ	今後の課題です
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆 独創		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委託 受益者の偏りはな	その可能性に	
評価点	7	10	3	3	3	3	}	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成で コスト・人員効率 他の見本となり	はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	F価点 言 - ○点満点		29	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				善・効率化し 討 E:休止		委託の検討
				担当課	による判	定と理	里由				
В	継続し	た町内文	化財の保存	・保護及び	活用の推済	進が必	要で	ごす 。			

	リ队果及び							1		一般云言	
事業番号	323		業名	民俗資料的		I I		事業区分	□新規	見	■継続
担当課						学芸文化					
予算区分	款		教育		項		教育費		∃ 3	文化財假	護費
	_	最	終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)			
年	度		算額		国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	Į lį	構考
		(干	円)	(千円)	支出金	ボス田並	(収入)	Æ JX			
平成2			839	727					727		
平成28年											
活動	項目	単位			(実績)	27(実績	責) 2	28(実績)	29		30
				標							
設定	なし			績							
			连点	戊率							
事業の対象(だれに)	町民、町名	外住月	5								
(/_////_/											
事業の目的 (なんのた めに)	昔の庶民(れらを後†				民具や農具	具などの民	俗資料な	^ら学び、	文化財のオ	大切さをタ	回り、そ
事業の 実施状況	・見学に ・小学3	来られ	tた方 t会の	料の維持特に解説・第 学習に合物	案内をしま	ました。	総合学習	習で出前授:	業を行いる	ました 。	
成果と 課題	料を通し [*] [課題] ・資料館[て郷ゴ 内の資 物館 <i>0</i>	: の歴 2料の) 「ア	史を伝え、 状態把握 ² ドバイザ-	文化財等 を行います	等への理解 ├。	を深める	機会を提供なることができることができます。 強者に指導	きました。	がら管理	
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性はないか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7		7	1	1	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり]率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			20	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		犬維持 C∶改 定、委託の検	:善・効率化 討 E∶休』	し継続、委 二、廃止	託の検討
					担当課に	よる判定	と理由				
С	資料館の がありま		・足の	ため来場	者は減少ま	または小数	のため、	資料館の	内容につい	ヽても検討	対を必要

1 事業の成果及び評価 一般会計

1 事業0	<u> 成果及び</u>	· 音平 1 四								一般会計	
事業番号	1303	事業			掘調査事業			事業区分	□新規	·····································	■継続
担当課	社会教育	果			担当係	学芸文化	係				
予算区分	款				項		教育費		目 4	埋蔵文化	財発掘調
, ,, — ,,	371		× 	百好	,	事業費財		(千円)			/ U J/H H/F] .
年		予算		一口只	国庫		が内がその他			借	i考
+	×	(千円		田)	支出金	県支出金	(収入)		一般財源	I/H:	<u></u>
vi cho) 左 庄				入山亚				1.5		
平成2		ა,	771 3	, 768			3, 75) S	15		
平成28年										<u> </u>	
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	責)	28(実績)	29		30
別所22 号 墳	10000000000000000000000000000000000000		目標		_			1			
	見 九 1出 10	件	実績		_			1			
査			達成率		_			100.0%			
事業の対象(だれに)	町民、町	外住民、	、開発行為	為者							
事業の目的 (なんのた めに)	開発事業:録保存)	地が埋痕を図る。	蔵文化財 ことを目	包蔵5	地であるた する。	≃め、開発	事業前に	こ発掘調査	を実施し、	遺跡の保	存(記
	調査期間 整理作業 報告書発	期間:3	平成成28:	年6月	7日~平成	艾28年12月	9日				
成果と 課題	し、遺跡(テナ2箱分 [課題]	の記録(↑の遺物	保存を適 ^f が出土し	切に1 ,まし	ういました た。	こ。また、	鉄製直	は果、古墳1 刀、須恵器 保存が必要	、土師器、	陶磁器等	手、コン
評価項目	必要性	妥当位			有効性	効率性	先駆性 独創性		行政必須か、委 受益者の偏りは 目標数値は達成	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	10			3	3	3	効率性 先駆性・独創性		えるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		2	9	判定基準 担当理(=	A:事業拡充 D:規模縮小 よる判定	ヽ、終期設	状維持 C∶d 対定、委託の相			たの使討
E	遺跡の記録	録保存(に係る事	業が終	終了したた		<u>-</u> - <u>-</u>				

28 年度 事業成果説明書 兼 平成 評価書 1 事業の成果及び評価 -般会計 町道別所東線道路改良工事に伴う発 事業区分 事業番号 1329 事業名 ■新規 □継続 掘調査事業 担 当 課社会教育課 担当係 学芸文化係 予算区分 教育費 4 社会教育費 埋蔵文化財発掘調査 9 事業費財源内訳 最 終 決算額 (千円) 年度 予算額 備考 国庫 その他 県支出金 起債 一般財源 (千円) (千円) 支出金 (収入) 平成28年度 11, 267 11, 372 11, 267 平成28年度(明許) 26(実績) 27(実績) 29 単位 28(実績) 30 活動項目 年度 目標 別所第4遺跡発掘 件 実績 調査 100.0% 達成率 事業の対象 町民、町外住民、開発行為者 (だれに) 事業の目的 開発事業地が埋蔵文化財包蔵地であるため、開発事業前に発掘調査を実施し、遺跡の保存(記録 (なんのた 保存)を図ることを目的とする。 めに) 調査期間:平成28年7月5日~11月3日 整理作業期間:平成28年11月4日~平成29年3月30日 事業の 実施状況 「成果] ・町道別所東線道路改良工事に伴う発掘調査を実施し、弥生時代中期と考えられる竪穴建物等を 確認し、遺跡の記録保存を適切に行いました。また、遺跡からは弥生土器・縄文土器、磨製石斧 等の遺物がコンテナ3箱分出土しました。 [課題] ・平成28年度では発掘調査を実施したのみで、発掘調査報告書の発刊していないため29年度に調 査報告書を発刊する必要があります。 成果と 課題

						先駆性	必要性	住民ニーズ、事業の必要性は。	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性	行政必須か、委託の可能性は。	10, 7, 3, 0
						独剧江	公平性	受益者の偏りはないか。	5, 3, 1, 0
	1	4.0				_	有効性	目標数値は達成できたか。	5, 3, 1, 0
評価点	/	10	I 3	3	3	- 3	効率性	コスト・人員効率はどうか。	5, 3, 1, 0
	•	. •				•	先駆性・独創性	他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0
	評価点 計		20	\u + # :#	A:事業拡充	E B∶現状	維持 C∶改	善・効率化し継続、委託	氏の検討
(40点満点		29	判定基準	D:規模縮小				
`	. • ///////////////////////////////////	,			1901011111				

担当課による判定と理由

B 遺跡の記録保存を適切に完了させるため、報告書刊行まで事業の継続が必要です。

1 事業の成単及び評価

	の成果及び	評価									一般	
事業番号	324	事業	名 町内	遺跡	発掘調査導	事業			事業区分	□新規	見	■継続
担当課					担当係							
予算区分	款		<u> </u>		項		教育費		E	4	埋蔵	文化財発掘調
				算額		事業費財	源内訳	!	(千円)			
年	度	予算 (千円		円)	国 庫 支出金	県支出金	その代		起債	一般財源		備考
平成28	8年度	1,	263	1, 251	578	289				384		事業費の1/2 助、1/4県補
平成28年	度(明許)											
活動		単位	年度	26	(実績)	27(実績	上)	28	(実績)	29		30
70.20	7.1	+ 12	目標			- / (JC49	-		1	20		
別所第4遺	遺跡	件	実績		_	_			1			<u> </u>
			達成率		_			1	00.0%			
事業の目的	町民、町畑	こ伴い	试掘調査		拖し、遺跡	かの有無を	確認し	た	うえで遺足	姉の保存を		
witz)	行うため。 ・開発事間 ・調査理作業 調査報告も 【成果】	業予定 [±] 平成28 平成28	地(琴浦 3年5月10 3年6月16	日~6 日~3	月15日)試掘調査	を実施	il.	、遺跡の7	有無を確認	思しま	Ut.
成果と 課題	・別所第 調査でし とにより、 【課題】	は時期 、年度に ・	内での記	録保	字のため全	①含層を確 全面発掘調 過去の調査	査を実結果、	周	すること る	きから試扱	がた。	
評価項目	必要性	妥当	性 公	平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	± 生	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能ないか。	性性は。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	10) [3	5	3	3		有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員対 他の見本となり	率はどう	, , ,
	評価点 計 40点満点		3	81	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小			維持 C∶改 、委託の検			、委託の検討 L
					担当課に	よる判定の	ヒ理由					
В	文化財保詞	護事業(の一環と	して紅	継続が必要	そです。						

1 事業の	の成果及び		一灰	20	9	十戌 =	F ~ /	% ,,		ונקי	=	ᇒ	PI	ГІЩТ		会計	
事業番号			Ě名	生涯	学習-	センター管	管理費				事業	区分	[二新規		■継糸	 売
担当課						担当係	生涯学	2習	系								
予算区分	款	9	教育	費		項	4 ネ	t会	教育	費		E		5	生涯学習	『センター管理	費
		最	終	決算	額		事業	費財	源内	訳	(千F	円)					
年	度		算額			国庫	県支出	·余	その		起	售	— 約	財源		備考	
		(千		(千F		支出金	水人山	1 34	(収		KC.	只					
平成2		26	6, 009	25,	480				4,	345			21	, 135	施設	利用費等	
平成28年																	
活動	項目	単位				(実績)	27 ((実績			29		30	
			目		3, 09	96,000円	3, 096				20, 00		3, 4	80, OC	四00		
館内利用			実		42,	226人/	41, 1				186人						
			達原			71, 193円	3, 374				35, 54						
駅南駐車均	B		1 実			20, 000), 00), 26			74, 00 09, 56						
	勿		達瓦		9	17, 460 127%), 20 98%	U		105%	U					
事業の対象(だれに)	町内外利	用者	<i>上的</i>	<u>~+ 1</u>		127/0		<i>70</i> /0			100/0						
	町民の生活		たる	学習語	舌動 3	を支援し	町民工	文化.	の充	実振	興に資	かす オ	5 t- 8	め、 ^茎	手浦田	生涯学習	セ
事業の目的(なんのために)	ンター管理							- 10	/-	3/14	3	- / '	J u	· • •	***************************************		_
事業の 実施状況		发管理 燃料 光熱 保守	費合 費 水費 等委託 使用米	計 <u> </u> モ料	25, 4 2, 4 7, 4 10, 8 1, 4	を行いまし 79,714円 21,437円 69,320円 03,822円 03,083円 62,052円	,t=										
成果と 課題	[成] 1. 2. 2. 3. 4. 4. 5. 6. 1. 1. 2. 2. 3. 4. 4. 5. 6. 6. 6. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7.	理会 室第年繕明等 変劣工のの 化事学格	系を・ 活等が定子 用に必器の	費品 つよ要の汚れると生れい雨な声・	叩ic て	を図利 吹す止等 ひまかか な確立 な な な な な な な な に 認	たまり 記調機 令きる	まし 等ののす	た。不対応。	合が検討	懸念なが必要	更とか	よりま				
評価項目	必要性	妥当	当性	公平	性	有効性	効率′	性	先馬 独倉	11/14	必要性 妥当性 公平性		行政必	ーズ、事! 須か、委 の偏りは	託の可能	と性は。 10,7	7, 3, 0 7, 3, 0 , 1, 0
評価点	10	3	3	5	;	3	5		3	}	有効性 効率性 先駆性・	独創性	コスト	値は達成 ・人員効 本となり	率はどう	が。 5, 3,	, 1, 0 , 1, 0 , 1, 0
	評価点 計 40点満点			29	9	判定基準	A : 事業 D : 規模				維持	C∶改	善・対	功率化	し継続	、委託の検	
						担当課に	よる判	定で	上理日	<u> </u>							

C 町民自ら野学びの場、活動成果の発表等利用者の身近な施設として継続的に運営管理を行います。

1 事業の	の成果及び		1%			T- /////	/C H)U-) J	-	/	l limi	━ 一般会計
事業番号				カウベル	/ホール運営			事業区	☑分	□新規	見 ■継続
担当課			10 -L -		担当係						I I A I I SHIW
予算区分	款		教育		項		教育費		<u>.、</u> 目	7	カウベルホール運営
年	中		終	決算額		事業費財		(千円	1)		備考
-			\$額 円)	(千円)	国庫	県支出金	その他 (収入)	起債	● 一般	財源	1佣 右
平成2	2年 使		. 010				(1277)		60), 517	
平成28年		01	, 010	00, 0	7				- "	, 017	
活動		単位	年	度	26(実績)	27(実糸	唐) 2	8(実績)	29	30
				標	_	10		15			
施設改修推	推進	%	実		_	10		10			
			達原	文学		100.0	%	66.6%			
事業の対象(だれに)	町民全般										
(/_////											
事業の目的	学徒 女。	ルカte	三朗大	. DVII. H	- 涯学羽乃1	じませせかん	活動の指	* # 太 #	公的 1-	(二)	幅広い世代の人々
(なんのた	云 削入 が より	ロひか	x央で バリ	占りよう	生きと、地	プ地域又化 h団での生	活動の報	上にて心	づくり	けい、 を推済	個点い色10の人々 #する
めに)	73 (6)	2.673	<i>,</i>	5 / I C			711 6 74 6	, U 24.76	, , ,	C 1E.	= 7 0 0
	NDOS+ 1		** +# ¬	大儿 框 卿,	人。	佐田七仙女	± 1 &⇔.	ひなて →		. 4	乗り海集の中状にし
					云への指定 :。(年間 <i>0</i>				4 目 理 C	.、合	種公演等の実施によ
事業の					、安心・多				を推進	‡	<i>t-</i>
実施状況					事(第2其			32. 400.		0 & 0	J1_0
X 105 17 700					ランドピアノ			, ,			
		文 / 屋根修		_ , , ,	- 1 - 7 7	ויים מיים	- 7717		760円		
	·		- 1 -					,			
	〔成果〕										
		生 亩 4	.20年		管理者制度	年11日投 行	古松老白	14	<i>h</i> 2	<i>-</i> °+	·> じが+_ +>
					はないます。						
					i Cいより。 iわせてのカ						
											った。 より、平成29
											ザーール、2ッ 計画の見直し
					·。ょん、デ を行いまし		地辰守て	. 大/灰/〜	、 心心	以沙口	「画の元直し
成果と	か必安と	より、	近1人	. 讷且未作	ないいよい	J 120					
成未と 課題	〔課題〕										
11/1/12		丰会 //	· # ic	ー トスゴ	全・安心な	つ世紙サル	与して	明太図	ス心西	がねし	」ませが
					、主・女心であり、施訓) & 9 M·
	回时に欧	廖雅美	₹'A C	の休逸で	ののり、心間	ヌいめり刀	もさめた	一作引ル	必安し	9 0	
							ᄮᄧᇝᄮ	必要性	住民二	ーズ、事	業の必要性は。 10,7,3,0
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	行政必	須か、委	託の可能性は。 10, 7, 3, 0
							7五后 11 土	公平性 有効性		の偏りは	はないか。 5, 3, 1, 0 はできたか。 5, 3, 1, 0
評価点	7] :	3	5	3	3	1 1	効率性			が変にが。 $5, 3, 1, 0$ $5, 3, 1, 0$
		`						先駆性・独	息性 他の見	.本となり	
	評価点。計			22	判定基準	A:事業拡充					し継続、委託の検討
(40点満点	.)				D. 况快箱/		足、委託	の検討	E∶休⊥	上、廃止 ————————————————————————————————————
					担当課	こよる判定	と理由				
		_									
В					与え、人 々	々に新たな	つながり	と喜び	をもた	らすま	宇常に重要なもので
ט	あり、継続	続が必	少要で	す。							

	の成果及び									一般会計				
事業番号	333	事業名	一般管	_				事業区分	□新規	見	■継続			
担当課					社会体育									
予算区分	款	9 教育		項	5 保健				1	保健体育	総務費			
		最 終		頁	事業費財	源内詞	沢	(千円)						
年	度	予算額		国庫	県支出金	その	他	起債	一般財源	请	請考			
		(千円)	(千円		木又山並	(収え	入)	心惧						
平成2		11, 22	4 11, 2	19					11, 219					
平成28年														
活動	項目		年度	26(実績)	27(実統	責)	28	(実績)	29		30			
=0 == 1			目標											
設定なし			実績											
		连	成率											
事業の対象(だれに)	町民全般													
(バニオレリー)														
事業の目的														
(なんのた	町内社会	体育施設	1 2 施設	の通常管理を	を行う									
めに)														
	084 -	_ =π./	4 	ᆎᇄᄔ	5 ±1 /- ± /-		J.							
				庶務的経費 <i>0</i>	—	_		-	디디 미네 14% ㆍ	1 -> 1/4/2-	(- \			
± 1111 =	(消耗	市 " 燃料:	貝・谷池	設高熱水費	■迪信連搬	負 "	ト水	坦伊用料	· FIJ 刷機!	ノー人料等	デ ノ			
事業の		+/ =п. /-/ =п	また!	11 010 0	070									
実施状況		施設管理		11, 219, 3										
	内		水費	9, 907, 40										
			K道使用》											
		そ(り他	725, 8	/0円									
	[成果]													
	1 適正	な管理を	行いまし	た。										
	[課題]													
	2 継続的	的利用す	るため適	正管理を行う	う必要があ	ります	す。							
成果と														
課題														
	N = Li	# 40 to		4 4 4 6	4) 4- 0	先駆	性	必要性	住民ニーズ、事		10, 7, 3, 0			
評価項目	必要性	妥当性	公平性	生 有効性	効率性	独創		妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは		10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0			
	4.0		_		_			有効性	目標数値は達成		5, 3, 1, 0			
評価点	10	10	3	5	3	1		効率性	コスト・人員効		5, 3, 1, 0			
	का/≖ ⊨ न ा				٠ ١ - الداد		TD 15	先駆性・独創性			5, 3, 1, 0			
	評価点 計 40点満点		32	判定基準	A:事業拡充			維持 C∶改 ≧、委託の検			託の検討			
	サリ点両点	.,			し・祝候稲九			、女前の快	n1 □·孙Ⅱ	-、光工				
				担当課に	よる判定	と埋田								
В	体育施設の	の維持管	理、振興	のためにも糺	継続が必要	です。)							
		,		•		, 0								

1 事業の	の成果及び	評価								_ 一般会計	
事業番号	343	事業	(名	スポーツ	少年団育原			事業区分	□新規	∄ Ⅰ	■継続
担当課					担当係	社会体育					
予算区分	款		教育		項	5 保健	体育費		2	体育振興	費
		最		決算額		事業費財	源内訳	(千円)			
年	度	予算			国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備	考
		(千)		(千円)	支出金	未又山业	(収入)	尼良			
平成2			987	943					943		
平成28年	度(明許)										
活動		単位	年		6(実績)	27(実績	責) 2	8(実績)	29		30
認定養成認			目					2			
規受講者年	F 2 人参	ᄉ	実					5			
加			達月					250. 0% 5			
県スポーツ		人	実					4			
研修会参加	口者	^	達瓦					80.0%			
事業の対象	- 0			•				00.0/0			
(だれに)	スポーツ	少年団	員、	指導者、	保護者						
事業の目的											
(なんのた	スポーツ	少年団	活動	を通して	、子ども遺	をの体力の	向上と優	全育成を	図る。		
めに)											
	○→ ±°	جا دار رد		- P#-	左眼 ナマロ	・ナエモナ	+ ロナ / ニ・	、 ±±++ -⊥ -	⋥ ➡° Ⅰ ⊐	<u> </u>	7
							.抜を仃し	`、競技力	ァツノとオ	マンティ	<i>y</i>
					を図りまし		000 0				
	内訳				団保補助金		000円				
				手数料等		190,	903円				
	団員		352人								
事業の	登録	指導者	旨数	57人							
実施状況											
	〇結団式		4月2	日(土)	総合体育飢	官					
	〇親子講	寅会	3月2	2日 (水)	まなびタ	ウンとうに	はく				
			演題	「何のた	めにスポー	-ツをして	いますか	۱؟١			
			講師	井上英	之(清元院	完住職・元	中学校教	員・県教	委指導主事	≨)	
	〇指導者法	連絡協	議会	3月22日	1 (水) ま	なびタウン	ンとうは	<			
	[成果]										
	1 スポー	-ツ少年	年団 1	5団体で	年間を通	じて活動る	を行い、	競技力アッ	プとボラ	ンティア	
					を図りまし		_ , , , ,				
	11711										
	[課題]										
		- ツル4	生団の)指道者か	間定化す	る傾向にも	ちるため	、後継者育	成の観占	から新たれ	ti:
				グロマロス 必要があ		@ % -11=0	,		750 07 E/L/III.	13 13/1/2	σ.
成果と	1144 11	C HE IN	., 0	20 5 10 00	, 0, , ,						
課題	2 活動確	₽割車™	百の独	分 库				1 100		7	1000
#1·/C					よう、団活	E動レ家庭	□ 学校 ▷				All him
	の両立			.6.2.60	о) , ци		. 1.00		-	REAL PROPERTY.	
				油る口は	内:平日2	中間 体	ロ3時間				
					ハ・テロ2 れかは休暑				Selven		-1
		性口、	ᄖᄩ	ш 070-9	10万八分 下玉	€ L C 9 ⊘					
											7
											TA T
			-]	4- 5-12	必要性	住民ニーズ、事業	業の必要性け	10. 7. 3. 0
評価項目	必要性	妥当	1性	公平性	有効性	効率性	先駆性	妥当性	行政必須か、委		10, 7, 3, 0
							独創性	公平性	受益者の偏りは		5, 3, 1, 0
評価点	10	10	n l	3	3	3	1	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
н і іш іж	10	'	<u> </u>			U	<u> </u>		他の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計			30	判定基準	A:事業拡充	— <u>————</u> B∶現状	t維持 C∶改	善・効率化し	し継続、委詰	モの検討
(40点満点)		JU	刊上本华	D:規模縮小	、終期設!	定、委託の検	討 E∶休止	、廃止	
					担当課に	よる判定	と理由				
	子ども世代	代から	スポ	ーツに親	しむ機会を	作ること	、団員同	計士の交流、	体づくり	しという点	等から
В	スポーツ	少年団	の重	要性は高	まっていま	きす。					

15-43

1 事業の成果及び評価

В

__ 一般会計

	<u>)成果及び</u>									一般会計	
事業番号	1218	事業名	運動習	習慣定着推	生進 🛚	事業		事業区分	□新規	見 I	■継続
担当課		果		担当	4係	社会体育	係				
予算区分	款		育費	IJ		5 保健			2	体育振興	費
		最 終		額		事業費財		(千円)			
年	度	予算額		国	庙		その他			備	考
	·×	(千円)				県支出金	(収入)		一般財源	VIII.	.,
平成28	0 年 庄			131	1 717		(1274)		131		
		l l	/ 1	131					131		
平成28年				20//-	L \	07/-	-\		2.0		
活動	項目	単位	年度	26(実績	長)	27(実績		28(実績)	29		30
元気に歩こ	う琴浦		目標					70(9地区)			
を!参加者			実績				2	13(9地区)			
E . 9/11 E	1	ì	達成率					78. 0%			
事業の対象	町民全般										
(だれに)	叫氏土阪										
事業の目的											
(なんのた	ウォーキ	ング・ノ	ルディッ	[,] クウォー	ーキン	ノグ等を町	民に推済	進し、運動	習慣の定剤	昏を図る。	
めに)											
	毎月1回、	、「元気	に歩こう	琴浦を!] ٢	ウォーキン	グ教室	を各公民館は	地区で開催	崖しました	
			_	_		-	-			- /-	
	年 問	1100	笙2ロ腮	口厂即从	¥ ≠	参加者386	. J.				
	+	110日、	カムロ唯	山下川間	E, 3	≥.\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\					
	4	10 - 1	ADD 1.1				10 00			47.	
事業の		10日上:		27人				3 安田地区		17人	
実施状況		月8日成		25人				🗄 赤碕地区		17人	,
	6月	12日 古	布庄地区	31人			12月11日	∃ 浦安地区		8人	
		10日以		22人				コ 元旦ウォーキ		89人	
		11日下		22人				コ ル <u>ー</u> /』 1 ヨ 元旦ウォーキ		85人	
	эН	11H P:	께내	22人					ノノ 小阿		
							3月 IZI	3 八橋地区		43人	
	- D										
	[成果]										
	1 ウォー	·キング教	(タタタングラングラング) りょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	して、町	民の	健康づくり	り推進を	図りました			
	[課題]										
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Lの生 性	~ <u>~</u> _	4 <i>h</i> 1 –	江私十ァ-	L , .	·	亩1-1₩ u	士心亜	
			この選携	で、目王	引に	活期する「	ノオーキ	ング人口を	史に増や	9 必妥	
	がありる	ます。				- 110	-				
# #!					1	尤			-		
成果と					1	0	11/12			1	
課題					1	603			1		
						135	10			E. ##	
				-	1	140	-		0		
					1	TO OFF	1	Mark of the	180		
							4	LE LE	600		
					1	建	OF REAL PROPERTY.	William Town			
					- 34		1 1	THE REAL PROPERTY.			
				1		41 17	1		THE STATE OF		
				Control of the		/1 //			\		
	St 1.1	1:			1 10		先駆性	必要性	住民ニーズ、事		10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当性	公平	性 有效	加性	効率性	独創性	女ヨ性	行政必須か、委		10, 7, 3, 0
			_					公平性 有効性	受益者の偏りは 目標数値は達成		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	3	3	}	3	3	効率性	日標数値は建成コスト・人員効		5, 3, 1, 0
н г три же	10	_ 10			_	∪			他の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計	,	0.0	, T		A:事業拡充	E B:頭	————— 伏維持 C∶改			
			32	判定	基準						2 4 1 1 1 1
	40点満点)	02	-		D 規関縮川	ヽ、 終期説	定、委託の検	討 ┗ 1木山	、廃止	
	40点満点)				D ^{規模縮力} よる判定。		と定、委託の検	討 上 休止		

15-44

ウォーキングは身体への負担が少なく気軽に取り組みやすく、健康維持にもつながるため、本 事業を継続し運動習慣の一環として定着させる必要があります。

	の成果及び] — /X -				рішчі	一般会計	ŀ
事業番号	1187		琴浦でア [・]				事業区分	□新規	見	■継続
担 当 課 予算区分	在会教育 款	 3 教育		担当係項	社会体育 5 保健		l E		体育振興	書
了开口刀	45/	最終		74	事業費財		(千円)	<u> </u>	作日派	· · ·
年	度	予算額 (千円)	決算額 (千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	仿	講考
平成2		298	176					176		
平成28年活動		単位 年		(実績)	27(実績	主\ 	8(実績)	29		30
			·度 26 標	八天限)	2八天市	貝) Z	0(美報) 20	29		30
アーチェ! 参加人数)一教室	人	: 				12 60. 0%			
事業の対象(だれに)	町民全般		•						•	
事業の目的 (なんのた めに)		身のオリン にアーチェ					アーチェ つなげる。	リー用具を	を配置し	数室の開
事業の 実施状況	前期 後期	リー教室開 6月18日 2月18日 参加者数 6	~7月3 ~3月1							
成果と課題	[課題] 1. 町[普及が』	チェリー教 内の要 アで 活動の活性	・ェリー競技	技人口が少		参加者が	で限られる方			
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 ないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	3	0	1	1	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員対 他の見本となり)率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点		13	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		t維持 C∶改 定、委託の検			 託の検討
				担当課に	よる判定	と理由				
D		ーチェリー 者の自主活				── !参加者か	「限定され	―― やすい傾向	向にありる	 ます。今

28 年度 事業成果説明書 兼

В

1 事業の	の成果及び									一般:	会計
事業番号	335		名	郡・県・		大会選手派		事業区分	□新規	見	■継続
担当課					担当係	社会体育					
予算区分	款		教育		項		体育費	-	2	体育:	振興費
_	rd-	最	-	決算額		事業費財		(千円)			/++ -
年		予算		(7 m)	国庫	県支出金	その他	1010	一般財源		備考
	0 / 	(千F		(千円)	支出金		(収入)	1-2-	4 500		
平成2		4,	797	4, 582					4, 582		
平成28年		光 / 上	年月	幸 し 26	(中41)	07/中候	± \	00 (中体)	29		30
活動	供日	単位	<u>サル</u> 目れ		(実績)	27(実約	貝 <i>)</i>	28(実績) 35種目	29		30
郡体全種目	出場	種目	実	清				35種目			
			達成					100.0%			
事業の対象(だれに)	郡・県・台	全国大	会出	場者							
事業の目的 (なんのた めに)						支力の向上 きっかけづ			ポーツ離れ	iの打	開及び競技
					こ1,315人 年ぶりの優	を派遣しる 憂勝	ました。		補助金	2, 429	, 900円
事業の 実施状況	〇県民ス 秋季大:			•		:なりまし	た。		補助金	14	, 400円
					派遣しまし トバレーオ	った。 ドール、ド	゚ッジボ-	ール	補助金	623	, 650円
成果と課題	健康づ [課題]	くりを な育大会	図る。	ことができ は場する選	きました。			一		ケット	
評価項目	必要性	妥当	性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性		住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能	, . , . , .
評価点	10	10)	3	5	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどう	
	評価点 計 40点満点			32	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		犬維持 C∶改 定、委託の検			、委託の検討
					担当課に	よる判定	と理由				

スポーツ振興及びレクリエーションを通じた体力向上・健康増進のためにも継続が必要です。

	の成果及び				开来从为	נל- יולו		ртіш	一般会計	
事業番号	334		社会体育				事業区分	口新規	見 ■お	継続
担当課					社会体育					
予算区分	款	9 教育		項	5 保健		_	2	体育振興費	
年	r i	最 終 予算額	決算額	日 佳	事業費財		<u>(千円)</u> T		<u> </u>	.
+	又	(千円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	I)AP 75	l
平成28	8年度	1, 792		7		(10 4 7)		1, 748		
平成28年		,	,					,		
活動	項目			(実績)	27(実績	麦) 2	8(実績)	29		30
体力づくり	り教室参		標				40 49			
加者数		人 <u>実</u> 達原					122. 0%			
事業の対象(だれに)	町民全般、	、スポーツ					122. 0/0		<u>I</u>	
		東で明るく 隽した事業					育施設スプ	ポーツ教室	室・ガイナー	- レ鳥
事業の 実施状況	体力で 月町民代 〇 本 1 イで 〇 本 1 イ 10/1 10/23 〇 ス 6/5	ーレ鳥取と	(スポウオスレツ教気康のンーエ人ポッシディグレル進の筋操携サタシかけがしい進の筋操携サタシ加をできるが、多、動物のでは、多、動物のでは、多、動物にある。	ス・ソフトが 1フトが 1フトが 1フトが 1フトが 1フトが 1フトが 1フトが 1	回開催、3 [*] テ=ス)、7	4人参加 0人参加 ~26、12 ~7、環 間571人 ボサッバス ニス・ソフトオ	?人参加 f体操&^゚タ f加 ーフェステ .ツアー19. ボール	ィバル開	催 50人参	bα
成果と 課題	と共に [課題]	ーツ推進委 委員の自主 ・地域など 体力づく	性が養われへの参加で	れています	0	康づくり		必要です。		
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	受益者の偏りは	託の可能性は。 1	0, 7, 3, 0 0, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	7	3	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	1率はどうか。 、	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		29	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		維持 C∶改 定、委託の検		し継続、委託の	
				担当課に	よる判定の	と理由				
В	スポーツ	推進員が行	うスポーツ	ツの振興事	≨業である	ため継続	が必要で	す。		

	の成果及び										一般会	計
事業番号	336	事業名	町体	育協:		「各部奨励			事業区分	□新規	見	■継続
担当課						社会体育						
予算区分	款	9 教			項	5 保健				2	体育振	長興費
<i>I</i>		最終		科		事業費財			(千円)			/#
年		予算額		ш)	国庫 支出金	県支出金	その (収		起債	一般財源		備考
平成2	0 年 庄	(千円) 2,10		. 109			(4X	人)		2, 109		
平成28年		Ζ, Ι	JO 2	, 109						2, 109		
活動		単位	年度	26	(実績)	27(実約	書)	28	(実績)	29		30
			<u> </u>	20		27(天小	R/		130	20		00
町スポーツ	ノ教室参		実績						120			
加者			達成率					,	92. 0%			
事業の対象(だれに)	町民全般											
事業の目的 (なんのた めに)									つなげる。 を行い、I		:今後(の活力につ
事業の 実施状況	及 体協 (体 体 等 プし (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (大) (大	技間、カウ育会興 ス球た部づバーン協 表 及ま ポ ト。でくレ、ド会 彰 びなーレ2/23りーバ・祥 式 郡び ツ ー/2/2	をボドゴ助・タ教ナ3室図ーミル金・県ウ室一旧補りルンフ・・ン開を実助	ま、ト、1 全と催招田しバンゲ48 国う い小	た。 スケットオ ソフトラ ートボール 4,910円 大会等で活 よく、191	ボール、野ール、サール ・エソフト を躍された を生・琴浦	球、 ニバレ 方に	ソフ、 一、 対し	に親しみ、 トボール、 キー、システ て表彰を行 象とした何	卓球、水 道、相撲、 ドール、 _正 テい奨励し	く泳 ゴルコ 道館 がまし <i>†</i>	意開き
成果と 課題	2 体育協 10年績 3 琴ロ演 講演は、 課題] 1 体 30~30位 20~30位	本 3会 体の 3分 は 3 のは 3分 は 3 のは 3分 は 3分 は 3分 は 3 のは 3 のりは 3	式 興された ツ教 室閉 メギ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	た対 開催 ル・フ	育功労者、 て表彰を行 トレーナー 大人にも会 域少が目立	優秀指導 fい、今後 - 及びアス f を で で で で で が し で が め で が め が 、 で が 、 で が で が で が で が で が で が で が で	者の レく 体	及躍 ィに 協会	ポーツ 振り 全支 クか 主励 ・ドす 催む の参	・郡大会等 れました。 ナーかました できました	デで優う ⇔ぶ実± こ。	秀な 支と 容を
評価項目	必要性	妥当性	公平	性	有効性	効率性	先馬 独倉		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事: 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性ないか。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	7	3	3	3	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		2	9	判定基準	D:規模縮小	、終	期設定	維持 C∶改 ≧、委託の検			委託の検討
					担当課に	よる判定	と理	<u> </u>				

担当課による判定と埋由

В 健康維持促進を行うため、スポーツ推進を行う人材育成と人材確保に向けて事業の継続が必要 です。

	の成果及び	評価								一般会計	-
事業番号	1150		集名	勤労者体	育センタ-			事業区分	□新規	見	■継続
担当課						社会体育					
予算区分	款		教育		項	5 保健			3	体育施設	〈費
_			終	決算額		事業費財		(千円)			L -4
年			額	(7 m)	国庫	県支出金	その他		一般財源	値	持
ज ।	0左座	(+	円)	(千円)	支出金		(収入)		202		
平成2			624	589			20	סל	383		
平成28年		出上	左	由 2	(中候)	07/中4	主 \	20 (中体)	29		30
活動	<u> </u>	単位		度 20 標	6(実績)	27(実統	貝)	28(実績)	29		30
設定	なし		宝	績							
HX.X	0.0			龙率							
事業の対象	마모스 ၈										
(だれに)	町民全般										
事業の目的	地域住民(の健康	€で女	化的な生	活環境の危	コトとスポ	:—ານ <i>ເ</i> ລ	振興を図る	ため 勤労	は体育セン	/ター管
(なんのた めに)	理を行う。			. 1043.64	1 2 2 3 C 4 2 L	3 <u>—</u> C / (1)	, , ,	成尺と回り	/_ U/\ _ E///) Tr.	
α)(_)		3									
	○東伯・	赤碕	勤労	体育セン	ター2施設	の管理を行	けいまし	.t			
		理費台		588, 58				0			
事業の			 保険*		42, 346P	9					
実施状況			委託第		152, 064P						
					139, 428P						
		その		^×1011	254, 749P						
	[成果]	(,,			201, 710,	•					
		ቱ 5 (ተ. σ	つ中で	一定の管	理を行うこ	- とができ	ました				
				ンター軒			5012	•			
					遮脈ム 常用バッラ	- 川 — 交塅	i				
	勿下中山 主刀,)) 'D	r H C	J / 7F	四ハリ・ノン	, , ,	-				
	[課題]										
		学老位	は合わ	ンターけ	屋根に同	5温 しが数	笛昕あ	るため屋根	の修繕・ホ	金計が必要	巨で
	す。	/J 🗀 l'1	r p c	J 10		137/19 7 73 33	(回)/I (J)	のため圧収	07 PP PP 13	K01/3 XL'3	
	7 0										
		l				1	4.55.20	. 必要性	住民ニーズ、事	業の必要性は、	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	│ 先駆性 │ 独創性	妥当性	行政必須か、委		10, 7, 3, 0
		<u> </u>					1出月11	公十任	受益者の偏りは		5, 3, 1, 0
評価点	7		3	3	3	3	1	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
H 1 Ibre 7117			,				"		他の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点…計			20	判定基準	A:事業拡3		状維持 C∶改			託の検討
(40点満点	()		20	丁儿正空午	D∶規模縮ィ	ト、終期部 <u></u> -	定、委託の検	於討 E∶休业 ———	廃止	
					担当課に	よる判定	と理由				
	去吞带光	セルゴ	5 th >	<i>А_</i> !+=	温しがもっ	スため早年	の枚丝	検討が必要	でせ		
В								_{快討か必安} 授業や部活		ふる た め 糾	*続して
	東旧動力 の維持管				以マンアリカサート	►/µ/C、 +	ナなり	ス木で叩心	ひっていけいひる	りる ためが	上心に し て
	マノ小庄 3寸 日・	エハ.化	. 	7 0							

1 事業の成果及び評価

事業番号	<u>7成来及び</u> 349	事第		社会体育	利用施設管	き理			事業区分	□新		五川	■継続
担当課			V 11	LAFFR		社会体育	係		于不匠刀	□ 491	796		■ 11± 1196
予算区分	款		教育	費	項	5 保健		ŧ		3	体育	施設	費
		最	終	決算額		事業費財			(千円)				
年	度		算額		国庫	県支出金	その	他	起債	一般財源	-	備	考
		(千	円)	(千円)	支出金	宗又山並	(収入	()	起惧				
平成2			733	700						70	0		
平成28年													
活動	項目	単位			6(実績)	27(実績	(美)	28	(実績)	29			30
売中かり				標									
設定なし			実達原										
市業の社会			连月	X **									
事業の対象(だれに)	町民全般												
,													
事業の目的	地域住民(の健康	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	化的た生	活環境の向	コトレスポ	_~v10	っ振	嗣を図る:	ため 休	杏 梅铅	の維	
(なんのた	地域に以	ク性が	, C , C	ルカックエ	/ロ球児 リアト	コエこへか	7 0.	ノが	共で囚る /	- W) \ P	月心以	レノ 小比	讨日生
めに)	C 11 7 °												
	施設の維持	法 答 理	また済	正に行い	‡ <i>t</i> -								
				近に110、 99, 478円	6 U/Lo								
					[換)240,	278四							
事業の	いうして		数科 繕料	、レクノメ		270日 411円							
実施状況				維持費		411円 789円							
		- 7	い。一旦	碓付頂	421	רופט ז							
	[]												
	[成果]	左€几.	ボニ	占、い生	の雑井笠耳	またたい士	ı +_						
					の維持管理	≝を行いま	した。						
	〇週		理施討 ^ / / :			+ ++ \F							
					1総合公園		加公園						
					/グセンタ·								
					· 一(東伯								
					古布庄小	・旧安田小	八・旧	以世	5小)				
	C=00 0 = 3	• 聖	郷クっ	ラウンド									
	[課題]		.		-		I ± 4-	← - m		. 			
					、無人施設				に努める	必要があ	ります	0	
成果と	特に近年	年人気	えのあ	るフット	サル施設 <i>0</i>)整備が必	要です	۲。					
課題													
=	·› ·		17 July	\\ \\ \\ \\		뉴L 상, 사사	先駆'	性	必要性	住民ニーズ、		_	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	安当	当性	公平性	有効性	効率性	独創		妥当性 公平性	行政必須か、 受益者の偏り		性は。	10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
	7	-	,	4	_				有効性	目標数値は達	成できたか		5, 3, 1, 0
評価点	7	1	7		3	3	I		効率性 先駆性・独創性	コスト・人員 他の見本とな		か。	5, 3, 1, 0
	京本 古 弘					∧·申樂⊬→	. D.T	日小下。				未台	5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			22	判定基準	A∶事業拡充 D∶規模縮小			維持 C∶改 ≧、委託の検	善・効率/ 討 E:休	こし継続。 止、廃止		が快打
	. • m/m m	,			おお舗に	よる判定の					_, ,,,,,,,,		
					担コ味し	よる刊化の	上华出						
В	閉校体育類	施設は	は、定	期的確認	を行い適コ	Eな管理が	必要で	ごす	0				

1 事業の成果及び評価

_ 一般会計

	の成果及び	評価									一般会計	
事業番号	418	事業	(名	赤碕総	合道	運動公園管	管理		事業区分	□新規	見 ■	■継続
担当課	社会教育	果		•		担当係	社会体育	係	•			
予算区分			教育	費		項	5 保健			3	体育施設	費
		最	終	決算額	額		事業費財		(千円)			
年	度	予算		., 151-1	~	国庫		その他		£	備	考
	^	(千)		(千円	1)	支出金	県支出金	(収入)	起債	一般財源	12113	. •
平成2	8年度		, 053			7		1, 037		4, 652		
平成28年		- 0,	, 000	0, 0	,00			1, 007		7, 002		
		14 / T	左	<u> </u>	26	(中徒)	07/中4	±\	0 /中(主)	20		30
活動	<u> </u>	単位		度	20	(実績)	27(実績	頁 <i>)</i> Z (8(実績)	29		30
=n.⇔	+ ~ 1		_ 🗜	標								
設定	なし	-		:績								
			连凡	贞率								
事業の対象	町内外利	用者										
(だれに)												
事業の目的	地域住民	の健康	で文	化的な	生活	舌環境の向	1上とスポ	ーツの振	興を図る方	ため、運動	加公園の維	持管理
(なんのた めに)	を行う。											
(۵/۱۵												
	運動公園	施設の	維持	告理を	行Ⅰ	1ました						
		心以入り	小正] 寸	<u>-</u> С	110	50120						
	八唐	答理基	க ு =	+	5 4	688, 197円	1					
古 ** ~	-							0 207 00	ош			
事業の	内訳			費(人	计質	[]		2, 387, 23				
実施状況			修繕					447, 22				
							*委託料					
			その	他 維持	持費	Ì		1, 716, 23	9円			
	[成果]											
		の老板	ill M	山で	_ =	との答明な	行うこと	ができま	1 +-			
			11607	Τ .	V	EVIENT		W. C C &	U/2°			
			ب ب	00 0- ±±								
	・公園内											
	・多目的			一照明	手重	协化工事						
	・管理機	械修繕	<u>.</u> 2									
	[課題]											
成果と		7 7 —	. L J	ロサの	2巨夫	き 依 絣 た立	R公的12 行	っていま	すが、利力	田が名いも	- xh	 ታ
成来と 課題												
							E配囲の修	: 倍を付い	、安全・「	犬週にノし	ノイじざる	1
	環境整備	庯に努	める	必要が	Ø 1.	ソよす。						
				T					N = G	IA	alle on Name to the	10 7 2 2
評価項目	必要性 必要性	妥当	仙	公平性	_#	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性	住民ニーズ、事 行政必須か、委		10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0
計画項目	必安性	女三	山土	X+1	エ	有刈江	刈平注	独創性	妥当性 公平性	行政必須か、多 受益者の偏りは		5. 3. 1. 0
		_			_				有効性	目標数値は達成		5, 3, 1, 0
評価点	7	3	3	3		3	3	1	効率性	コスト・人員対		5, 3, 1, 0
					_					他の見本となり		5, 3, 1, 0
	-T /T1			20		小山 二 廿 2#	A:事業拡充	E B∶現状	維持 C∶改	善・効率化	Ⅰ継続 季章	
	評価点計			/!!		刊正去生			L = ' .			モの検討
	評価点 計40点満点			20		判定基準		ヽ、終期設定 	と、委託の検			その検討
									と、委託の検			その検討
				20			D:規模縮小		定、委託の検			その検討
(40点満点)	でヤ			担当課に	D:規模縮小 よる判定。	と理由		討 E∶休山	- 、廃止	
	40点満点地域住民() の健康	で文			担当課に	D:規模縮小 よる判定。	と理由	主、委託の検	討 E∶休山	- 、廃止	
(40点満点) の健康	で文			担当課に	D:規模縮小 よる判定。	と理由		討 E∶休山	- 、廃止	

	の成果及び	評価							一般会計	•
事業番号	351	事業名	東伯総合	·公園管理			事業区分	□新規	見	■継続
担当課					社会体育					
予算区分	款	9 教育		項		体育費		目 3	体育施設	:費
年	度	最 終 予算額	決算額	国庫	事業費財	源内訳	(千円)	I	借	考
	~	(千円)	(千円)	支出金	県支出金	(収入)		一般財源	Į.	, · J
平成2		20, 735				1, 72	23	10, 935		
平成28年		7, 743			07/-			7, 743	<u> </u>	
活動	項目			6(実績)	27(実統	貢)	28(実績)	29		30
設定なし		多	目標 ≷績 成率							
事業の対象(だれに)	町内外一般	般利用者								
事業の目的 (なんのた めに)	地域住民(維持管理	の健康でき を行 う 。	て化的な生	活環境の向	句上とスポ	゚゠ッの	振興を図る	ため、体育	育館・運動	か公園の
事業の実施状況	公園	管理費合 訳 管理 修線 電気	計 12, !費(人件 料	防設備保守		4, 381 1, 117 4, 118	, 688円 , 814円 , 598円 , 938円			
成果と 課題	·修 ·備 [課題] 1.公園内(繕料(施 品購入費 の上下水道	設・管理機 卓球台2 テニス署 値施設の整	台 琴判台4台	囲に及ぶた	め、既ります。	存の施設(1.10.7.2.0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 ないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	7	5	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員数 他の見本となり	本はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		29	判定基準	し・祝候船/	N、終期記	状維持 C∶改 対定、委託の検			 託の検討
				担当課に	よる判定	と埋田				
В	この公園が 基盤整備を				動拠点とし	て重要	な役割を果	たしている	ます。活動	効拠点の

15-52

	の成果及び	評価								一般	会計
事業番号	1371	事	業名	東伯総合	(体育館耐	震対策事業	į	事業区分	□新規	見	■継続
担当課	社会教育	課			担当係	社会体育	係				
予算区分	款	9	教育	費	項	5 保健	体育費	E	3	体育	施設費
		最	終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)			
年	度		算額 ·円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源		備考
平成28	8年度	205	5, 550	4, 70	0			3, 800	900	200,	834千円繰越
平成28年	度(明許)										
活動	項目	単位			26(実績)	27(実統	き) 28	3(実績)	29		30
設定なし			目 実 達原								
事業の対象(だれに)	町内外·	一般和	间用者								
事業の目的 (なんのために)					は備並びに別 化を推進す						♪・安全な環 -アル化を行

事業の 実施状況

工事設計委託業務を完了しました(契約額4,644千円)。 工事及び監理委託業務は平成29年度実施の予定です。

[成果]

施設の耐震化以外に、トイレ改修・温水シャワー増設等を盛り込み、防災機能を高める 観点から設計を行いました。

[課題]

今回工事対象としなかった老朽化に伴う施設の修繕等については、通常の -般管理事業において検討する必要があります。

成果と 課題



アリーナの天井落下の状態

), 亜性	住民-	ブ 事業の/	以 亜州 (+	
1			-4	
	1	11		
			Day Victoria	
	COLUMN TO SERVICE			
	*	3/3		
		4		
		366		

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0	
評価点	10	10	3	3	3	1	効率性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
評価点 計 (40点満点) 30				判定基準	A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止					

担当課による判定と理由

設計において、トイレ改修・温水シャワー増設等を盛込み、避難所としての機能強化を図りま В した。

1 事業の	の成果及び評価・一般会計・								设会計	
事業番号	417	事業	名 農	業者トロ		ブセンター		事業区分	□新規	■継続
担当課			,			社会体育·				
予算区分	多算区分 款 9 教			L	項	5 保健体育費		-	3 体育	育施設費
年度		最 予算額 (千円	額	快算額 千円)	国 庫 支出金	事業費財県支出金	源内訳 その他 (収入)	起債	一般財源	備考
		3,	761	3, 654			703	3	2, 950	
平成28年度(明許)										
活動	項目	単位	年度	26	(実績)	27(実績	5) 2 5	8(実績)	29	30
設定なし			目標 実績 達成率	<u> </u>						
事業の対象 (だれに)	町内外全般									
事業の目的 (なんのた めに)	地域住民の健康で文化的な生活環境の向上とスポーツの振興を図るため、体育館の維持管理を 行う。									
事業の 実施状況	○農業者トレーニングセンターの施設管理を適正に行いました。 施設管理費合計 3,652,549円 内訳 管理費(人件費) 1,996,560円 修繕料 251,312円 電気設備・消防設備保守委託料等 424,072円 その他 維持費 981,605円									
成果と 課題	 ○施設の老朽化の中で、一定の管理を行うことができました。 ○修繕料 251,312円 ・発電機修繕 129,600円 ・事務室非常放送バッテリー取替 32,292円 ・その他修繕 89,420円 [課題] ○外壁爆裂などの修繕が必要です。 ○屋根雨漏りの対策が必要です。 									
評価項目	必要性	妥当作	性 2	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性妥当性公平性	住民ニーズ、事業の必 行政必須か、委託の 受益者の偏りはないが	可能性は。 10, 7, 3,
≣亚/≖ -⊢	10	10		2	2	2	1	有効性	目標数値は達成できた	こか。 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	'	3	3	3	I	効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効率はる 他の見本となりえるが	0,0,1,0
評価点 計 (40点満点) 30				判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		 :維持 C∶改	善・効率化し継 討 E:休止、廃	続、委託の検討	
					担当課に	よる判定の	と理由			
									総合体育館ア 業継続が必要	リーナが利用 です。

15-54

1 事業の成果及び評価 一般会言

事業番号	350	事業	集名	平岩記念	会館管理選	里 営		事業区分	□新規		■継続
担当課						社会体育					
予算区分	款		教育		項	5 保健			∃ 3	体育施設	没 費
-			* **	決算額		事業費財		(千円)	ı	,-	# *
年			算額 円)	(千円)	国 庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	17	#考
平成2	0年度	(T	503	485	又山並		191	1	294		
平成28年			303	400			13		234		
活動		単位	年	度 26	(実績)	27(実績	事) 2	8(実績)	29		30
1,420	<u> </u>			標	(5 (150)		-	- 15 4150			
設定なし				績							
			達原	戊率							
	町内外利	用者									
事業の目的 (なんのた めに)	未凹旧心、			議の開催る 管理を行う		∫民の資質	の向上、	融和を図	り、町勢剤	発展に資す	するた
事業の実施状況		管理	費合計 電気 その 利用		4,857円 5設備保守 5 5 5 5 6 7 8 7 8 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	· ·委託料			じて利用 <i>た</i>	がありま	した。
成果と 課題	[課題] 〇総合公[水不足 と新た ⁷	園内 <i>の</i> を招く な上水)貯水 、恐れ ×道の	があります	び圧力ポン す。この調 合的に考 <i>え</i>	ノプの老朽 果題は、総 となら解決	化により 合公園内 していく	た。 一、大人数(の既設があ の要があ	道(井戸)	の継続	刊用
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は、	5, 3, 1, 0
評価点	7		7	1	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			22	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		維持 C∶改 定、委託の検	:善・効率化 :討 E∶休』	し継続、委 - 、廃止	託の検討
					担当課に	よる判定	と理由				
В	青少年の復	官泊台	含宿や	研修の場る	としての活	5用もある	ため管理	里の継続が;	必要です。		

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号 当課 予算区分 年 平成28	1264	事業名		H 1111			·		一般会計	_ Apr. 6.1
予算区分 年 平成2			閉校管理				事業区分	□新規	見 I	■継続
年,平成2					社会体育					
平成2	款	9 教育		項		体育費		∃ 3	体育施設	費
平成2		最 終	決算額		事業費財	源内訳	(千円)			
	度	予算額		国庫	県支出金	その他	起債	60.84次百	備	考
		(千円)	(千円)	支出金	宗又山並	(収入)	起惧	一般財源		
ᇴᅄ	3年度	3, 832	3, 633					3, 633		
十八八八八十	度(明許)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,					,		
活動		単位 年	度 26	(実績)	27(実績	5) 2	8(実績)	29		30
70 30	χц		標		27 ()			20		
没定なし			!績							
2,2,3,0			· 水率							
事業の対象			% —							
#未の対象 (だれに)	町内利用	者								
(/2/10/2/										
事業の目的							· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	, .,		// L± /-/-
(t: 6.0) t-		の健康で文						ため、閉を	交体育館の)維持管
めに)	理を行う。	。 閉校施	設(旧古初	年圧小・Ⅱ	日安田小・	旧以西小	.)			
	〇閉校施	設の適正な	:管理を行し	ハました。						
	施設管:	理費合計	3 63	2, 920円						
事業の	内訳	光熱水費等		2, 020, 3	1, 539, 0	72 III				
事業の 実施状況	7,017		न							
天心认为		修繕料	W #4 = 0 /44	クナエン	901, 8					
			・消防設備	保守委託						
		その他			460, 0	47円				
	[成果]									
	施設の老権	朽化の中で	一定のi	商正管理な	を行いまし.	t				
	"E X + 2 E	, , , , , , ,	~ ~~		_ 0 0 0	, - 0				
	[課題]									
		m + 18.1. 4.	/ <u>alt</u> ma -	-		~ 10 /= 11	45 -			
		用者が少な		首もいない	いため他設	の預傷状	態に気つ	さにくいて	です。	
	定期的	な点検が必	要です。							
成果と										
成未と 課題										
环烬										
	Sy are Lif	and the	77 111 141	4-41-64	41 4- 1-1	先駆性	必要性	住民ニーズ、事		10, 7, 3,
57/T+7	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性 公平性		き託の可能性は。 ナないか	10, 7, 3,
評価項目							公平性 有効性	受益者の偏りは 目標数値は達成		
評価項目		•	1 4	1 A	3	4				5, 3, 1, 0
	3	3	1 1	1,5	ו כ, ו	1	効率性	コスト・人員交		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価項目	3	3	1	3	ა	<u> </u>			カ率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	3 評価点 計		1.4			 	先駆性・独創性	コスト・人員交 他の見本となり	が率はどうか。 リえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点		-	14	判定基準	A:事業拡充			コスト・人員党 他の見本となり :善・効率化	^{h率はどうか。} Jえるか。 し継続、委詞	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	評価点 計	-	14	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小	、終期設2	先駆性・独創性 維持 C:改	コスト・人員党 他の見本となり :善・効率化	^{h率はどうか。} Jえるか。 し継続、委詞	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計	-	14	判定基準	A:事業拡充	、終期設2	先駆性・独創性 維持 C:改	コスト・人員党 他の見本となり :善・効率化	^{h率はどうか。} Jえるか。 し継続、委詞	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	評価点 計	-	14	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小	、終期設2	先駆性・独創性 維持 C:改	コスト・人員党 他の見本となり :善・効率化	^{h率はどうか。} Jえるか。 し継続、委詞	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	評価点 計40点満点	[] - []		判定基準担当課に	A:事業拡充 D:規模縮リ よる判定の	、終期設定と理由	先駆性・独創性 維持 C:改	コスト・人員党 他の見本となり :善・効率化	^{h率はどうか。} Jえるか。 し継続、委詞	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	評価点 計40点満点	-		判定基準担当課に	A:事業拡充 D:規模縮リ よる判定の	、終期設定と理由	先駆性・独創性 維持 C:改	コスト・人員党 他の見本となり :善・効率化	^{h率はどうか。} Jえるか。 し継続、委詞	5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1, 5, 3, 1,

1 事業の成果及び評価 一般会計

1 事業の	り成果及び	評価								一般会計	
事業番号	1334	事業名	鳥取中部地震災	害対策事業(地別	震災害復旧費・社	土会教育課)	事業区分	\	■新規		□継続
	社会教育			担当係							
予算区分	款		復旧費	項	2 地震	災害復旧	曹	目	2	鳥取県中部	地震対策費
. / - //	777	最終	決算額		事業費財		(千円)			S STATE I HIP	
年	度	予算額	グトフトロス	国庫		その他			40.01.	借	考
•	^	(千円)	(千円)	支出金	県支出金	(収入)	起債	-	一般財源	VII.	.,
平成2	8年度	4, 115	1, 342	, m m		(1000)	1, 10	0	3, 015		
平成28年		2, 758	1, 0 12				1, 10		2, 658		
活動		,	度 26	(実績)	27(実績	書) 2	8(実績)		29		30
/U 3/J	X H		標	、ノヘリス/			ー、ノン・リスノ				•••
設定なし		実	績					1			
		達用									
事業の対象	마모스해.		•		•	•		•		•	
(だれに)	町民全般										
事業の目的 (なんのた めに)	地震被害的	箇所の修繕									
事業の 実施状況		設の地震被 可能な建物				∶構造体′	への影響で	を鑑	もみ修繕!	計画を立て	C
	2. 平岩 [課題] 未実施 1. 東伯 2. まなる	み 家外壁修繕 高 か	・外壁修約 センター(目的ホール	善 580千 多繕			Toward.	10.			10 7 0 0
評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性		民ニーズ、事 政必須か、委	業の必要性は。 託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0
			-			独創性	公平性		益者の偏りは		5, 3, 1, 0
評価点	7	10	3	3	3	1	有効性 効率性		標数値は達成 スト・人員効		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
计画法	1	10	J	J	"	ı	先駆性・独創	_	の見本となり		5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点		27	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小	、終期設5	:維持 C∶i	次善	効率化	し継続、委詞	
				担当課に	よる判定	と理由					
В	年度内の特	執行に努め した。	ましたが、	施行業者	香の不足に	より不落	札となっ	た	工事もあ	らったため	繰越を

4 古業/				28]牛皮 =	事業 戻り	ŧ詋明†	青	評価書		
事業番号	D成果及び 329		集名	図書館活	動费			事業区分		一般会計	■継続
担当課			רט	四目即归	担当係	図書館		于木匠刀	니취전		■ 小匹 かりし
予算区分			教育	費	項	4 社会	教育費		6	図書館費	
		最	終	決算額		事業費財		(千円)			
年	度		額	(7 m)	国庫支出金	県支出金	その他 (収入)	起債	一般財源	備	考
平成2	8年度		円) 5, 581	(千円) 34,635			16		34, 619		
32		- 00	, 001	01,000			10		0 1, 0 10		
活動	項目	単位			6(実績)	27(実績		(実績)	29		30
来館者率	h / l	04			3. 16	3. 73		4. 25	4. 12		
┃(来館者数 ┃ロ)	X / X	%			3. 73 118. 0	4. 25 113. 9		4. 12 96. 9			
事業の対象(だれに)	m- C A An		Æ /2	<u>~干 </u>	110.0	110. 0		30. 3			
(だれに)	町氏全般										
事業の目的 (なんのた めに)	図書資料(保育園・	の充実 こども	€を図 。園・	り、本に新 小・中学村	親しむ機会 饺・公民飢	ま を提供す 官などと連	るととも 携をとり	に、各種† 読書活動の	青報を提供 D推進を図	します。 ります。	また、
事業の 実施状況	123〇123〇123〇123	来貸図のクなお利ま会館出書読スしは用つ	背册館書は、はほり数数車推一 し進 し進ト本会と1年	4,448人 36,738冊 手間してヶ月と 6:年10 年10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	年年 2,816 月間間 2,816 月間間 2,816 月曜 と 4 日本 4)回 10 270人参 3人参加 ミ施しまし	77人 23冊 賞出た人 し フル た か イ で が が が が が が が が が が が が が が が が が が	8,576冊 ックスタ- 、3歳児 :毎週土 ント事業	- ト等事業 : 年 7 回 翟日 1 6 費 184千円 分館: 7	119人 6人参加	参加 I
	2 出前: 談題: 3 課 イ書棚: 1 書棚: 2	お話会コンが手が	ーの 営業にな	活用により 展示がマン	より読書習 り、各種 いるので、	ま ま ま ま ま の の ら の き の も の き の も の き て る の も の も の も の も の も り の も り る り る り も り も り も り も り も り も り も り	が図れま ようにエ に力をい 。	した。 夫していき れていきる	ます。	の必要性け	10 7 3 0
評価項目	必要性	妥铂	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業 行政必須か、委託 受益者の偏りはな	Eの可能性は。 いか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	3	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・狆創性	目標数値は達成で コスト・人員効率 他の見本となりえ	≅はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			27	判定基準			維持 C∶改	^{他の見本となりえ} 善・効率化し 討 E∶休止、	.継続、委詞	
,					担当課に	よる判定の	と理由				

目標達成率は、100%を超えませんでしたが、概ね来館者率を達成しました。町民の生涯学習・ 情報収集等にとって必要な施設であり、事業継続すべきです。 В

(単位:千円)

/±L -T -D -±-4E-6-7E\	(= \b = \tau_1	(AL AM 10)	()	单位:干円)
(款-項-目-事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ページ)	<u> (備考)</u>
一般会計				
人権·同和教育課	51,516	50,058		
3.民生費	34,200	33,111		
1.社会福祉費	24,717	24,035		
1.社会福祉総務費	916	879		
社会福祉総務費	916	879	16-1	
3.同和対策総務費	2,437	2,349		
同和対策総務費	2,437	2,349	16-2	
4.隣保館運営費	21,364	20,807		
赤碕隣保館運営費	10,924	10,585	16-6	
東伯隣保館運営費	10,440	10,222	16-4	
2.児童福祉費	9,483	9,076		
3.児童館運営費	9,483	9,076		
赤碕児童館運営	6,161	5,827	16-10	
東伯児童館運営	3,322	3,249	16-8	
9.教育費	16,777	16,408		
4.社会教育費	16,777	16,408		
8.人権・同和教育費	16,777	16,408		
進学奨励金給付事業	12,064	12,064	16-12	
人権・同和教育推進事業(事務費)	3,707	3,462	16-13	
人権・同和教育推進事業(法務省委託)	359	320	16-16	
人権教育推進員設置事業	0	0	16-15	
部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする啓発	647	562	16-14	
12.諸支出金	539	539		
1.諸費	539	539		
1.国県支出金返納金	539	539		
国県支出金返納金	539	539	16-17	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	27,796	15,968		
人権·同和教育課	27,796	15,968		
1.資金貸付事業費	777	591		
1.資金貸付事業費	777	591		
1.資金貸付事業費	777	591		
住宅新築資金等貸付事業	777	591	16-18	
2.公債費	8,341	7,761		
1.公債費	8,341	7,761		
1.元金	7,580	7,001		
住宅新築資金等貸付事業	7.580	7.001	16-19	
2.利子	761	761		
住宅新築資金等貸付事業	761	761	16-20	
3.諸支出金	7,616	7,616		
1.繰出金	7,616	7,616		
1.繰出金	7,616	7,616		
住宅新築資金等貸付事業	7,616	7,616	16-21	
4.予備費	11,062	0		
1.予備費	11,062	0		
1.予備費	11,062	0		
住宅新築資金貸付事業	11,062	0	16-22	
产品加米只亚共日子不	11,002		10 22	

1 事業の	1 Plane (MAP) AND BY IN													
事業番号														
担当課							同和対策							
予算区分	款		民生			項	1 社会				1 1	社会	福祉	貴総務費
-		最	終	決算	稱		事業費財			(千円)	1		/ 	
年	芟	予算		/ -	m\	国庫	県支出金		の他	起債	一般財源		備者	き しゅうしゅう
 ••) /-	(千		(千		支出金		(4)	入)		701	人権の花 (県支出:		
平成28			916		879		88				/91	人権()	化(片	(文出金)
平成28年		24 II	<i>j</i>	r ir	0.0	\	07/ ch #	ŧ١	0.0) / ch / s \	00			20
活動	<u> </u>	単位		度	26	<u>(実績)</u> 24	27(実績 24	Į)	28	3 (実績) 24	29			30 24
人権相談所	の関数	□		標績		24	23			23	24			<u> </u>
	1 0 7 INI DX			龙率	1	00.0%	95. 8%	1		95. 8%				
仕こ 言否 言々 <i>名</i>な に	に動の中			標		6	6			6	6			6
街頭啓発活 施	り割い天	口		績		6	6			6				
JU.			達原	戊率	1	00.0%	100.09	%	1	00.0%				
事業の対象 (だれに)	人権擁護	委員	(7名)	、保	護司	(12名)	、更生保証	雙女性	生会	(76名)				
(なんの)ケー	め。	権相談	炎所を	開設	しまし	∪ <i>†</i> =。	雑護委員、				女性会の流	舌動助 ———	成をで	するた
事業の 実施状況	〇「人権(聖郷小! 〇街頭啓! 人権擁! 社会を!	の花」 学校 発活重 護委員	を小 (10月 かを実 6月	学校(25)、 施し 11日	こ贈 り い し け し 大 し 木	呈しました 喬小学校 た。 権擁護委員	(10月31)	12月	9日		1)			
成果と 課題	大沢 ○街頭啓発活動を実施しました。 人権擁護委員 6月1日(人権擁護委員の日)、12月9日(人権週間) 社会を明るくする運動 町内5箇所 7月1日、7月4日													
評価項目	必要性	妥当	当性	公平	生性	有効性	効率性		沤性 削性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、多 受益者の偏りに	託の可能		10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	7	7	(1)	3	3	3	_	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員効 他の見本となり	本はどう		5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点 計 (4 O 点満点) 判定基準 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止														
						担当課に	よる判定の	と理	由					
В						企業訪問 要がありま	引や街頭啓 ます。	発活	動へ	の支援及	び協力は、	人権	啓発(の取組

		<u> </u>	平成	2	8	年度 🖺	事業	成身	 艮説	明記		兼	評	価割	<u></u>	
	の成果及び	評価				•									一般	会計
事業番号	569	事	業名	同和	対策	総務費					事業	区分		⋾新規	見	■継続
担 当 課	人権·同利]教育	課			担当係	同和	対策·	係							
予算区分	款	3	民生	費		項	1	社会	福祉	費		E		3	同和	l対策総務費
		最	終	決算	額		事第	養財	源内	訳	(千F	円)				
年	年度 予算額 (千円) (千					国 庫 支出金	県支	出金	その (収.		起 [·]	債	一般	財源		備考
平成2	8年度	2	2, 437	2	, 349			60					2,	, 289		
平成28年	度(明許)															
活動	項目	単位	年	度	26	(実績)	27	/(実績	(美)	28	(実績	t)		29		30
同和問題詞	* 字 仝 糸			標		_		_			100			100		100
加人数	押供 工梦	人		績		_		_			51					
				<u> </u>		_		_			51.0%					
同上参加者		١	旦	標		_		_			%以.		81	%以	上	82%以上
	関心、理	%		績							93. 5%					
解の深まり	り 度			支率		17		10		I	16. 99	6		10		
就職促進學	유터수	人		標績		17 4		12 8			12 8			12		
机帆促進为	关 伽 亚	^		_限 戊率		23. 5%		66. 7%		- 6	66. 7%					
	〇同和問	L 語譯:		**		<u>20.0%</u> 町民全船		00. <i>1</i> /			JU. 1/0					
	〇負担金			7 ド マ ち A	(+ 소			月 旦百 名汉	辻 1−1	問わ	スタに	∓ <i>/</i> ★				
	O就職促:			U.X.	17 亚	八惟「□	ባጥ⊔⊏	小人区广牛	人「一	天 1ノ	の 古 ロ	山中				
事業の対象				『辛んご	\ 	± +_ (+ ++ A	ᄼᄼᄼᅧ	まれ生!一	F (1)	· 华田 华吉	よくてま と	N + 1	л Z IJ	R. to a	\ ± Z	方の内、保
(だれに)																3月の内、床 3月の内、k 3月の内、k 3月の内、k 3月の内、k 3月の内、k 3月の内、k 3月の内、k 3月の内、k 3月の内 k 3月
																式・職業女足 機が決定した
	方。	、判以フ	下义儿	140)	元に「	こ金 ノヽす	- ₁ 文 0.	ノルロノ	1-0	ν ф.	刀推,	7 C (ン C TV	/J (J) (~ 43/L4H	W.N. 人 た し / こ
	, , o															

事業の目的 (なんのた めに)

同和問題に対する正しい理解と認識を高め、同和行政を確立し、同和問題のすみやかな解決を

事業の 実施状況

- ① 9月26日(月)に赤碕地域コミュニティーセンター(分庁舎)において同和問題講演会を開催 しました。講師に全国隣保館連絡協議会事務局長 中尾由喜雄さんを迎え、「人権文化豊 かなまちづくりに向けて~阪神・淡路大震災が教えたもの~と題した講演を行いました。
- ② 東伯郡同和対策協議会及び部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会の諸会議、 研修会に参加し、部落問題解決に向けた取り組みを連携して進めました。
- ③ 就職促進奨励金の給付 平成28年度支給額·支給人数 25,000円×8人=200,000円

[成果]

図る。

- ①部落問題に対する理解と認識を深めるために講演会を開催。(9月) 【人権啓発活動地方委託事業委託金(法務省委託)事業費 61千円(委託金額)60千円】
- ②各団体との連携による人権・同和行政の確立 各団体と連携し、部落問題解決に向けた啓発を進めました。 また、部落問題解決に向けた活動を行う団体に補助金を交付し、活動を支援しました。
 - 〇 東伯郡同和対策協議会
 - 人権標語募集事業への協力(町内小中学生)
 - 部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会
 - 中央要請行動への参加(5月)
 - 「差別禁止法」及び「人権侵害救済法」、 「部落差別の解消の推進に関する法律」 の早期制定を求める署名活動の取組み (署名数 278人)

成果と 課題

- 〇 琴浦町同和対策推進協議会補助金の交付 233千円
- 部落解放同盟琴浦町協議会補助金の交付 1.800千円



③就職促進奨励金の給付

障がいがあるなど就職に際し支援を必要とする人に対し、就職促進奨励金を支給し常用 就職の促進を図りました。

〔課題〕

平成28年度に部落解放同盟琴浦町協議会の主催で「アイヌ文化交流フェスティバルin琴浦」 が開催され、多くの町民がアイヌの文化に触れる機会になりました。今後も補助団体の活動 が、広く町民に還元され、人権尊重のまちづくりの実現につながる取り組みになるよう、協働 していく必要があります。

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性		住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	7	1	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点)	22	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		維持 C∶改 ≧、委託の検		Eの検討
				担当課に	よる判定	と理由			
С	必要な同れす。	和対策は継	続しなけれ	ればいけま	きせんが、	今後に向	 けて一般;	対策化も含め検討が	必要で

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業の成果及び評価

一般会計

. 1. NIA 120NIA 94 O											10 10 1111			
事業番号 570	事業	美名	東伯	媾保 f	館運営費					事業	区分		コ新規	見 ■継続
担 当 課 人権・同利]教育	教育課			担当係同和対策係									
予算区分 款	3	民生	費		項	1 1	社会	福祉費			E		4	隣保館運営費
	最	終	決算	額	事業費財源内訳 (千円)									
年度					そのft (収入		起 ⁴	責	一般	財源	備考			
平成28年度	10	, 440	10,	222		5,	953		30			4	239	
平成28年度(明許)	, , , ,													
活動項目	単位	単位 年度 2		26	(実績)	27 (実績	į)	28(実績)		i)		29	30
研修会等でのアン		田	標		_		_			70%			70%	75%
ケートによる参加	%	実			_		_			82%				
当満足度の集計 達成率 達成率			_					117%						

(だれに)

事業の対象 基本対象者:東伯中学校区住民

(なんのた めに)

事業の目的 部落解放およびあらゆる差別の解決・地域福祉の向上・人権啓発のための住民交流の拠点・住 民の身近な相談窓口としての役割を担い、人権・同和問題の速やかな解決に資する。

○東伯隣保館運営事業 10,222千円

福祉の向上及び人権啓発の拠点として、地域住民の生活相談や家庭訪問、ならびに部落差別 をはじめとするあらゆる差別を解消するための研修会等各種啓発活動を実施しました。

・ 文化センター館長(1人)報酬、臨時職員(1人)賃金 4,268千円

審議会の開催状況

事 業 名	回 数	参加人数
東伯文化センター運営審議会	年2回	委員12人

延べ 11,108人 • 年間利用者数

· 生活相談事業 2.287千円

生活相談員を1名配置し、町民の生活・健康・福祉・就労等の向上に取り組みました。 延べ 96件 生活相談件数

・ 各種事業の実施

啓発・広報活動事業、地域交流事業、地域福祉事業を実施し、部落差別をはじめとする、 あらゆる差別の解消に向けた取り組みを行いました。

事業の 実施状況

事業名	回 数 他	参加人数·対象
部落解放文化祭	年1回(11月)	1, 243人
同和問題懇談会(連続講座含む)	年間9回(2回)	729人(56人)
小学生学習会	毎週火曜日	1年~6年 20人
小学生生活体験学習	1泊2日	1年~6年 20人
中学生学習会	毎週木曜日	1年~3年 19人
中学生生活体験学習、	1泊2日	1年~3年 19人
中学生親子県外研修	岡山県	31人
ガクシューカイU-18	年1回	11人
保護者支援事業	1回/月(13回)	延べ 158人
ふれあい講座	年3回	延べ 54人
高齢者対象事業	年1回	23人
手話教室	年間20回	延べ 107人

解放文化祭講演会 101人含む

[成果]

平成28年度から不登校等の悩みを持つ保護者同士の交流の場として、保護者支援事業「虹の会」を実施しています。保護者支援事業は文化センターの相談業務から見えてきた課題が事業につながったものです。保護者を支援することで、悩みを抱えたまま孤立することを防ぐとともに、保護者自身の子どもへの接し方にも変化が見られたり、不登校が改善されたケースもありました。さらに事業を継続する中で、不登校を乗り越えた子どもの保護者が、現在悩んでいる保護者に自分の経験を話すなど、会の内容に広がりが見られました。さらに、この事業の一環として、多くの方に不登校について関心を持ってもらうため同和問題懇談会で「不登校・引きこもり」をテーマにした講演会を行いました。

また、「高齢者の人権」をテーマに、地域包括支援センター職員に問題提起をしてもらい高齢者や認知症の方の人権について学びました。連動して中学生学習会の生徒が「認知症サポーター養成講座」を受講し、部落解放文化祭で発表するなど他者との協働で学びを深めることができました。

[課題]

成果と 課題

地対財特法の失効から部落差別解消法が施行されるまでの間、部落問題は、解消されたかのように学校教育や小地域懇談会(部落懇談会)等で個別具体的に取り上げにくいテーマのひとつになっていたと考えます。3年間に渡る『部落史』の学び直しや『部落差別の今』について2年連続で講演会を実施しました。また部落問題との正しい出会いをつくるために部落差別解消法の施行に先駆けて、昨年11月に出張同和問題懇談会として東伯中学校の全校生徒を対象に部落差別の現状を分かりやすく講演していただき、全校生徒が学びを深めました。このような学びを学校や各関係機関と連携し、個別具体的な課題にとどまらず普遍的な視点からも人権感覚や意識の高揚を継続的にはかる必要があります。

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	5	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点		32	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小				その検討

担当課による判定と理由

В

部落問題解決・福祉の向上・児童の健全育成・人権啓発のための住民交流の拠点として機能し ており、取組の継続が必要です。

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

事業の成果及び評価

一般会計

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・													1254	— H I	
事業番号 571	1	事業	美名	赤碕	隣保的	館運営費				事業[区分		コ新規	見	■継続
担 当 課 人権・	同和	教育	課			担当係	同和対領	孫							
予算区分 款		3	民生:	費		項	1 社会	≩福祉	.費			Ш	4	隣保:	館運営費
		最	終	決算	額		事業費用	 才源内]訳	(千円	9)				
年度		予算 (千	算額 円)	(千	円)	国 庫 支出金	県支出金		の他 !入)	起	責	一般	財源		備考
平成28年度		10	, 924	10	, 585		6, 19	5	62			4	, 328		
平成28年度(明語	午)														
活動項目		単位	年	度	26	6(実績)	27(実	績)	28	(実績	i)		29		30
研修会等でのア:			目	標		_	_			70%			70%		75%
ケートによる参加	加	%	実			_				79%					
者満足度の集計			達瓦	戈率					113%						

事業の対象 (だれに)

基本対象者:赤碕中学校区住民

(なんのた めに)

事業の目的 部落解放およびあらゆる差別の解決・地域福祉の向上・人権啓発のための住民交流の拠点・住 民の身近な相談窓口としての役割を担い、人権・同和問題の速やかな解決に資する。

〇赤碕隣保館運営事業 10,585千円

福祉の向上及び人権啓発の拠点として、地域住民の生活相談や家庭訪問、ならびに部落差別 をはじめとするあらゆる差別を解消するための研修会等各種啓発活動を実施しました。

- ・ 文化センター館長(1人)報酬、臨時職員(1人)賃金 4,538千円
- ・ 審議会の開催状況

事 業 名	回 数	参加人数
赤碕文化センター運営審議会	年2回	委員12人

- 年間利用者数 延べ 18,371人
- · 生活相談事業 2,392千円 <u>生活相談員を1名配置し、町民の生活・健康・福祉·就労等の向上に取り組みました。</u> 生活相談件数 延べ 274件
- 各種事業の実施

啓発・広報活動事業、地域交流事業、地域福祉事業を実施し、部落差別をはじめとする、 あらゆる差別の解消に向けた取り組みを行いました。



事業名	回 数 他	参加人数·対象
部落解放文化祭	年1回(10月)	1, 215人
解放教育講座	年7回	延べ 195人
解放教育連続講座	年2回	延べ 68人
小学生解放「学習会」	毎週木曜日	1年~6年 49人
中学生解放「学習会」	毎週水曜日	1年~3年 28人
小学生・中学生解放「学習会」保護者会	年20回	延べ 324人
小6・中1県外研修	奈良県	31人
高校生友の会	年2回	延べ 46人
高年者学級	年7回	延べ 127人
手話教室(2教室)	年間48回	延べ 171人
学習支援事業	年5日間	31人
地域交流事業	年9回	264人
現地研修(フィールドワーク)	年9回	221人

[成果]

平成28年度新規事業で開催した、中学生対象学習支援事業は、学校の協力も得ながら家庭の事情や、学習環境等様々な背景をもつ子ども達へ学習支援を行いました。初めての試みということもあり、夏休みに5日間、中学3年生のみを対象に実施しましたが、生徒や保護者から、学習に取組む良い機会となったという声があり、今年度は更に対象の学年や日数を増やし内容を充実させたいと考えています。また、同じく新規事業として始めた「おしゃべりカフェ寄茶(きっさ)」では、琴の浦高等特別支援学校の生徒やボランティアと連携し、近隣の高年者等に困り事などが気軽に話せる交流の場の提供を行い、多くの利用がありました。

相談業務では、生活相談員や職員が、身近な相談窓口として各専門機関と連携し、「つなぎ役」として相談者の立場に寄り添った対応を行っています。日ごろの家庭訪問や地域住民とのコミュニケーションに重きを置き、誰でも気軽に相談できる「居場所」や「隣保館」であることを大切にしています。相談から見えてきた「困りごと」の中に隠されている社会的課題の発見に努めました。

成果と 課題

[課題]

平成28年度の新事業で実施した中学生対象学習支援事業は、生徒や保護者から学習に取組む良い機会との声があり、ある程度の成果はありましたが、参加人数が少ないのが気になりました。今年度の夏休み(5日間)は、1学年から3学年までを対象とし、学習時間の開始もクラブ活動に当たらない午後4時(2時間学習)にし、冬休みは3年生だけを対象とした5日間も加え、更なる学習支援の充実を図ります。

また、若い世代に隣保館が生活相談の窓口という事が知られていない傾向があります。その 現状を真摯に受け止め、今後の、隣保館の役割をもっと明確化し、地域へ発信することが求め られています。そして、来館者が抱える不安、課題を解決し、さらなる今後の隣保館の活性化 へつなげていかなければなりません。

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。 目標数値は達成できたか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	10	5	3	3	1	効率性 先駆性・独創性	コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点)	32	判定基準	A∶事業拡充 D∶規模縮小				氏の検討

担当課による判定と理由

В

部落問題解決・福祉の向上・児童の健全育成・人権啓発のための住民交流の拠点として機能しており、取組の継続が必要です。

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	566		集名	東伯.	児童的	館運営			事業	区分		コ新規	見 ■継続		
担当課	人権·同和]教育	課			担当係	同和:								
予算区分	款	3	民生:	費		項	2	児童	福祉	費		[Ш	3	児童館運営費
		最	終	決算	額	額事業費財源内訳						円)			
年	度		算額 円)	(千	円)	国 庫 支出金	県支	出金	その (収		起	債	一般	財源	備考
平成28	8年度	3	3, 322	3	, 249	100				7			3	, 142	
平成28年	度(明許)														
活動	項目	単位	年	度	26	(実績)	27	(実績	責)	28	(実績	責)		29	30
児童館行事	の満足		Ħ	標				_			60%			65%	70%
度	マン川八二	%		績		_		_			67%				
/×			達原	戈率				_			112%				

事業の対象 (だれに)

東伯中学校区の乳幼児・児童及び保護者

事業の目的(なんのため

児童が心身ともに健やかに成長するために安心、安全に遊べる居場所作りや遊びの提供。 地域組織活動の育成を支援し、保護者の交流の場の提供や地域でつながる環境作りに努める。 親子のふれあい、地域住民とのかかわりを通して、子ども達の自尊感情を高め、豊かな人間形 成をめざす。

〇東伯児童館運営事業

児童が心身ともに健やかに成長するために、安心、安全に遊べる居場所作りや遊びの提供を 行い、親子のふれあいや、子どもの自尊感情の育成など豊かな人間形成に努めました。また、 地域組織活動の育成を支援し、保護者の交流の場の提供や地域でつながる環境づくりを行いま した。

- 臨時職員(1人)、パート職員賃金 2,380千円

・ 年間利用人数等

年間利用人数 2,781人

開館日数 293日



事業の 実施状況

事業実績

事業名	回数他	参加人数・対象
幼児交流会&親子ひろば び一のび一の	年間8回	延べ 49人 (0~5歳児対象)
児童館まつり	1回(6月)	185人
まいにちじどうかん	1回(3日間)	139人
他児童館活動	年間10回	132人
しもいせ保護者クラブ育成	年間13回	会員25軒
七夕まつり	1回(7月)	116人

[成果]

成果と 課題

平成28年度は、県の「木育推進事業」を活用し、県産材の室内滑り台を設置しました。近隣の保育園・こども園にも呼びかけ、来館してもらったり、文化センターからも木育の出前に行ったり、子ども達に木の感触を楽しんでもらいました。降園時に保護者と一緒に立ち寄り、滑り台で遊ぶなど日々来館につながりました。また、まいにちじどうかんの活動にも木育を取り入れ講話、木のかけらペンダント作りなどを行いました。

「舞題)

遊具の老朽化に伴い、使用不可能になった館庭の遊具の撤去を順次行ったため、現在遊具がほどんどない状態です。子どもの遊び場を確保する為にも、町の計画に基づき、遊具を新設していく必要があります。

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	10	5	3	3	1	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点)	29	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		維持 C∶改 ≧、委託の検		その検討
				担当課に	よる判定。	と理由			
В		解決・福祉 取組の継続			≧育成・人	権啓発の	ための住	民交流の拠点として	機能し

1 事業の成果及び評価

一般会計

事業番号	567	事美		赤碕!	児童的	館運営				事業	区分		コ新規	見 ■継続
担当課	人権·同和]教育				担当係	同和対							
予算区分	款	3	民生:	費		項			晶祉費				3	児童館運営費
		最終 決算額 事業費財源内訳 (千円)												
年	度		算額 円)	(千	円)	国 庫 支出金	県支出	· 声	是債	一般	財源	備考		
平成28	8年度	6	6, 161	5	, 827	1, 063	1, 0)63			818	2	, 883	
平成28年	度(明許)													
活動		単位			26	(実績)	27 (実績))	28(実	績)		29	30
赤碕中学校			目	標		_	-	_		10%			15%	20%
加割合全体	はの30%	%	実績 — — —							9%				
以上			達瓦	戈 率		_	-	_		90%				
事業の対象	土达山	# # #	アの回	4뉴 IEI	. IB 3	会なが足器	≠ 1 1 1							

事業の対象(だれに)

赤碕中学校区の乳幼児・児童及び保護者

事業の目的 (なんのために)

児童が心身ともに健やかに成長するために安心、安全に遊べる居場所作りや遊びの提供。 地域組織活動の育成を支援し、保護者の交流の場の提供や地域でつながる環境作りに努める。 親子のふれあい、地域住民とのかかわりを通して、子ども達の自尊感情を高め、豊かな人間形 成をめざす。

〇赤碕児童館運営事業

児童が心身ともに健やかに成長するために、安心、安全に遊べる居場所作りや遊びの提供を行い、親子のふれあいや、子どもの自尊感情の育成など豊かな人間形成に努めました。また、地域組織活動の育成を支援し、保護者の交流の場の提供や地域でつながる環境づくりを行いました。

事業の 実施状況

- 臨時職員(1人)、パート職員賃金 5,343千円

5,886人

• 年間利用人数等

年間利用人数

開館日数 293日



事業実績

事業名回数他参加人数・対象乳幼児学級年間12回延べ 107人 (未就園児対象)児童館まつり年1回(9月)235人その他児童館活動月1回延べ 242人放課後児童クラブ開館日延べ 5,886人子どもまつり年1回(10月)168人成美ほんぽちクラブ育成年間6回会員 70軒	于木八根		
引切児子級 年间12回 (未就園児対象) 児童館まつり 年1回(9月) 235人 その他児童館活動 月1回 延べ 242人 放課後児童クラブ 開館日 延べ 5,886人 子どもまつり 年1回(10月) 168人	事業名	回数他	参加人数・対象
その他児童館活動月1回延べ 242人放課後児童クラブ開館日延べ 5,886人子どもまつり年1回(10月)168人	乳幼児学級	年間12回	
放課後児童クラブ開館日延べ 5,886人子どもまつり年1回(10月)168人	児童館まつり	年1回(9月)	235人
子どもまつり 年1回 (10月) 168人		月1回	延べ 242人
	放課後児童クラブ	開館日	延べ 5,886人
成美ほんぽちクラブ育成 年間6回 会員 70軒	子どもまつり	年1回(10月)	168人
	成美ほんぽちクラブ育成	年間6回	会員 70軒

[成果]

児童館まつり、乳幼児教室の中で子どもの主体性の育成や仲間づくりの推進を行いました。 子ども達の自尊感情を高めるために、動物との触れ合いや、近くの河川に生息する生物の観察 など様々な体験ができるよう、活動内容を工夫しました。

成果と 課題

など様々な体験ができるよう、活動内容を工夫しました。 また、日頃から来館する子ども達の様子をよく観ることに努めるとともに、保護者や子ども 達からの困り事の相談にも対応するよう努めました。

〔課題〕

以前から赤碕小学校区の利用者が少なく、広報等を積極的に行った結果、児童館や児童館活動に定期的に訪れる子ども達が増えましたが、まだまだ少ないと感じます。利用者が増加するよう更に工夫を行う必要があります。

評価項目	必要性	妥当性	公平性	有効性	効率性	先駆性 独創性	妥当性	住民ニーズ、事業の必要性は。 行政必須か、委託の可能性は。 受益者の偏りはないか。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	10	3	1	3	1	有効性 効率性	目標数値は達成できたか。 コスト・人員効率はどうか。 他の見本となりえるか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点)	25	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		維持 C∶改 E、委託の検		その検討
				担当課に	よる判定	と理由			
В		解決・福祉 取組の継続			≧育成・人	権啓発の	ための住具	民交流の拠点として	機能し

1 事業の成果及び評価

C

一般会計

	事業の成果及び評価 一般会計 業番号 247 事業名 進学奨励金給付事業 事業区分 □新規 ■継続													
事業番号	247	事業	美名 〕	進学奨励:	金給付事業	業		事業区分	•	□新規	見		■継続	
担当課	人権・同権	和教育				同和対策	係							
予算区分	款		教育費	B	項		<u>//-</u> 教育費		<u> </u>	8	人権	• 同 ፣	口教育費	
, , , , , ,	491	最	終	· 決算額	- , ,	事業費財		(千円)	-		- \ IE	1.73		
年	度	予算		// フナ ロス	国庫	1	その他		T			備	孝	
 -		千(千		(千円)	国	県支出金	(収入)	起債	一角	设財源		I/EI 1		
平成2	0年度		. 064	12, 064			(4)人)		1	2, 064				
		12	., 004	12, 004				1	+	∠, ∪04				
平成28年		22//1	<i></i>	÷ 1 ^/) / 	07/+	±\			00			20	
活動	垻日	単位	年月		(実績)	27(実約	夏) <mark>2</mark>	8(実績)		29			30	
	→ 4∧	,	目標		122	125		152	1	163				
高校生への	ノ文桁	人	実		119	115	,	153						
			達成		97. 5%	92.0%)	100. 7%	-	20				
大学、短り	て、専修	ı	目標		25 27	31 29		38 30	1	33				
学校生への		人	実統		108.0%	93.5%		78. 9%						
		- 大原ロ	達成											
事業の対象														
(_(だれに) O大字・専修字校奨励金														
	町内の同和地区に在住、または出身の方で大学・専修学校に在学している人													
	5 ** 0 D 4b													
	事業の目的 ・ 経済的理由により修学が困難な人に進学奨励金を給付することにより、修学の途を開き、社													
	(なんのた) 経済的理由により修子が困難な人に進子契励並を指的することにより、修子の述を開き、任 (なんのた) 今にち田なしせの奈成を図る。 教育を受ける権利の保険を保護者への子育で支援													
α)(C)	() 会に有用な人材の育成を図る。教育を受ける権利の保障と保護者への子育て支援。													
	∩µ₂o左⊏	在准件	실 사 다	全の終り	+ /0 =	11 🗖	1日小年	ᅃᆔᅩᄼ	+-	<u>ፈ</u> 스 / ተ \				
	OH28年月					、11月、		3凹に方げ	1 (でロック				
				種類、月		び支給者		14= W ==	7					
事業の				り種類	月額			和地区	1					
実施状況			学校奨		5, 000		/人	26人						
ノヘルピ ハイルロ			学奨励		8, 500	円 -		7人						
	j		之校奨		8, 500		-	23人	1					
		申請3		<u>第22</u> 1主退学2		- 1			_					
	1.70	, нно	- н -	<u> </u>	. —									
	(++ m)													
	〔成果〕	πΓι»	1 54 T= 1.	T	4	o E '- '*	·# /·		s 1—		L			
						の周知が		いることだ)/门	えます	0			
				<u> カ種類</u>	H26	H27	H28	4						
			等学校		119人	115人	153人	_]						
		大学:	・専修	学校	27人	29人	30人							
								=						
	〔課題〕													
		牛 (す	支給を	受けたも	の) が3	月まで在学	としていか	-か等の確	認力	バでき	ていた	il)+-	හ. 29	
成用し						,,								
成果と 課題						ひり。 ひた 取組みをご			_			, , ,	- 0 C	
示 煜	0.7	山无	ر 101 ک		w 5 7 5 7	ግ ላ ሳ ተ ላ / . ር ዓ	~ _	· \20.54.10	ر٠ ري	, o , ,)			
	p.L. A	A 44 1	— ग्रा ग गळा	<u> </u>	·+	18124 -					20 BB B	<u> </u>	ا الله الما	
						い人が増え								
	する	国の動	即问を	かんがみ	、大字・	専修学校學	き励金につ	ついても ー	一般ヌ] 東化	を検言	すしま	9 。	
					1			I v = la	I 42		***	al / 1	10 7 0 0	
並布頂 日	心亜州	<u> </u>	4 性	公亚州	有効性	効	先駆性	必要性		ニーズ、事			10, 7, 3, 0	
計画項目	評価項目 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 独創性 妥当性 行政必須か、委託の可能性は。 10, 7, 3, 0 公平性 受益者の偏りはないか。 5, 3, 1, 0													
	有効性 目標数値は達成できたか。 5 3 1 0													
評価点														
				•	_		-	先駆性・独創性	他の見	見本となり	えるか。		5, 3, 1, 0	
	評価点…計			29	判定基準			維持 C∶改					の検討	
(40点満点)		20	1,7,2,2,7	D:規模縮小	`、終期設況 	定、委託の検	耐	E∶休业	.、廃山			
	担当課による判定と理由													
1														

16 - 12

大学・専修学校進学奨励金については、進学率に格差は残っているものの、町内の生活困窮家庭にも同様に教育機会の保障を図る目的で、一般対策に移行します。

1 事業の	成果及び	評価										_ 一般:	会計	
事業番号	296	事業		人権	• 同	和教育推進		務費		事業区分	□新規	1	■継続	
	人権・同						人権・同							
予算区分	款		教育			項	4 社会			-	1 8	人権	• 同和教育費	
		最	終	決算	額		事業費財			(千円)				
年		予算		,	`	国庫	県支出金	その		起債	一般財源		備考	
		(千		(千)		支出金	**	(収.	<u>入)</u>	Æ IX				
平成28		3	, 707	3,	462						3, 462			
平成28年							/ 1 /							
活動	項目	単位	年		26	(実績)	27(実績	(表)	28	(実績)	29		30	
小地域懇談	会の全	地区	目;			150	150			150	150		150	
地域開催		(集	実			143 95. 3%	139 92. 7%			142 94. 7%				
		落)	達成 目			95. 3% 2, 000	2, 000			94. 7% 2, 000	2, 000	١	2, 000	
小地域懇談	经参加	人	実			1, 905	1, 734			1, 777	2, 000		2, 000	
人数		^	達成			95.3%	86. 7%			88. 9%				
事業の対象	m- G 74 ·	7 ° M+ +				•				•	•			
(だれに)														
事業の目的														
(なんのた めに)	│ めとするあらゆる差別のないまちを築くため、あらゆる場や機会を通して、一貫した人権・ │ │ 同和教育、啓発活動を推進する。													
W/1~/	同和教育、啓発活動を推進する。													
	〇 各地	区人村	権・同 オ	和教育	新推	姜研究協議	会及び町	人権・	同和]教育推進	協議会へり	以下の	とおり	
							会)等を開						,	
							進研究協			76, 278円				
							鱼研究協		1	41,000円				
事業の							生研究協			54,000円				
実施状況							生研究協!			32,000円				
							進研究協			60,000円				
							推進協調		-	570, 105円				
		.→ .\m	m) /\	TE	ΙΗJ	10 to H		找厶		770, 1001]				
	〔成果〕													
		域懇詞	淡会(部落	懇談	会)の参加	加者アンケ	r —	の紙	果、内容	の満足度に	よ約8	0%を	
		る値で						•	- 44			. , , , ,		
					-									
		201	6満足	度	:	86. 1%	(子ども))						
			5満足			77. 8%	(部落問							
			4満足			84. 4%	(男女共		<u>到</u>)					
			3満足			91. 6&	(高齢者)		- '					
成果と			2満足			87. 9%	(障がい							
課題	〔課題〕	201	스케	.汉	•	J 1 . J /U	(P# 10 ' 0 '	/						
		歯貇≣	※ ← (₹	邻莈釒	艮談名	≧)への参	加考の減	小や『	盟催:	部落数が調	載少してい	まま		
											会の場で			
											ながってし			
	,				_ ,,			~-	- 1-		· • •	-		
			ı					4	7 141	必要性	住民ニーズ、事業	業の必要性	±は。 10 , 7, 3, (
評価項目	必要性	妥当	当性	公平	性	有効性	効率性	先駆		妥当性	行政必須か、委		性は。 10, 7, 3, (
						-		独創	IJŢ	公平性	受益者の偏りは		5, 3, 1, 0	
評価点	10	1 1	ი	5	5	1	3	3	}	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効		-, -, -, -	
11 四 元	10		<u> </u>		,		U		'		他の見本となり		5, 3, 1, 0	
	評価点 計			3:	2	判中世海	A:事業拡充	B:	現状	 維持 C∶改	善・効率化し	し継続、	委託の検討	
	40点満点			3 ,	_	判定基準					討 E:休止			
						担当課に	よる判定。	と理由	1					
							, ,,,,							
В	町は、地域	域の実	[情を	踏まえ	₹	人権・同利	口教育及び	人権	啓発	を実施する	る責務があ	りま	す。	
		,,	- ,,,		- ` '	150.11		- • IE	/	/ // /			- 0	

]年度 事業成果説明書

	の成果及び	評価	***							_ 一般会計
事業番号	302	事第		部落差別撤				事業区分	口新規	見 ■継続
担当課						同和対策				
予算区分	款		教育		項		教育費		3 8	人権・同和教育費
	_	最	終	決算額		事業費財		(千円)		
年	度	予算		(m)	国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備考
T +0	\ - - -	(千		(千円)	支出金	***	(収入)	~ X		
平成2			647	562					562	
平成28年		22 LL	<i></i>		\	07/ 11 6	= \		00	00
活動		単位			(実績) %以上	27(実績		28(実績)	29	30
差別をなく のつどい参		%	実		1990日 81.6%	80%以 82.7%		80%以上 87. 9%	80%以	上 80%以上
ケート行動		/0			02.0%	103. 4		109. 9%		
事業の対象	J	5n	~		02.070	100. 1	,,,	100.070		
(だれに)	町民全	投								
事業の目的	「琴浦町部	落差	引撤序	そとあらゆる	差別をなる	くする条例	」に基づき	き、差別のな	い住みよし	ハ琴浦町を実現す
(なんのため に)	る。									
	①「第2次	町あ	らゆる	る差別をな	くする総	合計画」の	の策定(計画期間:	H29年度	~33年度)
	計画	策定し	こ向け	け、庁内職	員による	町あらゆる	差別を	なくする施	策推進プ「	コジェクトチーム委員会を
	開催	しまり	した。	(5月、1	0月、11月	、2月 🗈	 4回)			
事業の	町あ	らゆる	る差別	川をなくす	る審議会	開催し、計	画につ	いて審議を	行いました	t= 。
実施状況	(7月、	10月	、 11	月、2月	計4回)					
	_			ンデザイ						
		-				フッペンσ)デザイ	ンの募集を	行い、新	しい人権啓発
	ワッ	ペン	を作成	えしました	0					
	〔成果〕	- 65	~ . L -	7 34 DJ 4 4.	1 ± 7 40	A = 1 =	- /	=1 4500		00 (
						_		計画期間:		
					果と課題、	また新た	に顕在1	とした人権	課題等を路	当まえ計画の
	束正	を行し	ハまし	いた。					10	ON WYSELS
								THE PARTY OF	Mark	つながる手と手広がる笑顔
								3A44 6	542	
								Mu. S	2 min	WW .
	○↓佐政績	発口ぃ	ر د گر	デザイヽ』	き隹 /肝は	小中学生	分多)	3	الرقية الم	琴浦町
								小山学生か	こ人権政	発ワッペンの
										品を啓発ワッ
成果と										しいワッペン
課題	を作	成しる	ました	:。(12月	人権週間	から使用)			
	• 応募	された	とデカ	デイン画に	ついては、	、人権週間	間にあわ	せて作品展	を開催し	ました。町、
	学校	、家原	きが-	-体となっ	た取組み	とすること	゙ゕ゙゙でき	ました。		
	〔課題〕									
										また、人権の
										権意識の向上
	に向	け、言	黄 演会	₹、研修会	等への積	極的な参加	口を促す	ことが必要	です。	
					1			N TE III	lan. · · ·	# 6 V # H. I. I 4 6 7 6 6
評価項目	必要性	妥当	4性	公平性	有効性	効率性	先駆性	必要性 妥当性	住民ニーズ、事 行政必須か、委	, , , ,
I. M. X.II	~ ^ 1	_^-		1		1 1-	独創性	公平性	受益者の偏りは	ないか。 5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	5	3	3	1	有効性 効率性	目標数値は達成コスト・人員効	, , , ,
н і іші ім	<i>'</i>	'	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	J	ı		他の見本となり	
	評価点…計			29	判定基準					し継続、委託の検討
(40点満点)		LJ				定、委託の検	討 Ε∶休业	廃止
					担当課に	よる判定の	と理由			

「一人ひとりが尊重され、心豊かにつながりあうまち」を実現するために、様々な人権課題の 解決に向け、町の現状と課題を踏まえ、効果的かつ効率的に諸施策を推進していきます。 В

1 事業の	事業番号 313 事業名 人権教育推進員設置事業 事業区分 □新規 ■継続												
事業番号				人権	教育					事業区分	□新規	見	■継続
担当課							人権・同						
予算区分	款		教育			項	4 社会				8	人権・同	和教育費
		最	終	決算	額		事業費財			(千円)			
年	芰	予算				国庫	県支出金	その		起債	一般財源	仿	精考
		(千)	円)	(千	円)	支出金	不又山业	(収	入)	尼良	川又只加示		
平成28			0		0						0		
平成28年	度(明許)												
活動	項目	単位	年	度	26	(実績)	27(実統	責)	28	3(実績)	29		30
差別をなく	する町		目	標		350	350			350	350		350
民のつどし	・参加人	人	実			244	305			218			
数			達瓦			69. 7%	87. 19			62. 3%			
人権・同利			且		200	(2回)	100 (1]	<u>1</u>)	100) (1回)	100 (1厘	10	0 (1回)
寅会 (12月	延べ	人	実			197	63	,		55			
<u>参加人数)</u>	1 <u>4</u> 4 本		達原		į	98. 5%	63.09	0		55. 0%	ГΛ		ΓΛ
人権・同利			目			50	50			50	50		50
	延べ参加	ᄾ	実達原		2	100	44 88. 09	/.	1	51 02. 0%			
人数)			连凡	(半	Z	.00. 0%	00. U	0		IUZ. U%			
事業の対象	町民等												
事業の 実施状況	• 平成	28年月	度は人	、権教	育推	進員の設	置が出来な	こかっ	た。				
成果と 課題	現状	に即し	たったって	<u>-</u> −₹	や手	法を用い		とり学	₽習 Ø.	います。)場の損性			
評価項目	必要性	妥当	1性	公平	生	有効性	効率性	先馬 独倉		必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。 ないか。	5, 3, 1, 0
評価点	10	10	0	3	}	3	3	3	3	有効性 効率性 先駆性・独創性	目標数値は達成 コスト・人員対 他の見本となり	率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
	評価点 計40点満点			3	2	判定基準	し・祝侯船/	1、終	期設定	維持 C∶改 ≧、委託の検			託の検討
						担コ味し	よる判定	こ生	Д				
В	平成28年度は人権教育推進員を設置することができなったが、人権啓発及びあらゆる差別をな												

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業の	事業番号 575 事業名 人権・同和教育推進事業 (法務省委託) 事業区分 □新規 ■継続 担 当 課 人権・同和教育課 担当係 人権・同和教育係												
事業番号			人権	・同和					事業区分	□新規	₹	■継続	
予算区分	款		費		項					8	人権・	同和教育費	
		最 終	決算	額		事業費財	源内記	7	(千円)				
年	度	予算額			国庫	県支出金	その	他	±1/生	6几 日士31百		備考	
		(千円)	(千	円)	支出金	宗又山並	(収フ	()	起債	一般財源			
平成28	 B年度	35	9	320		256				64			
平成28年	度(明許)												
活動		単位	F度	26	(実績)	27(実績	事)	28	(実績)	29		30	
<u> 差別をなく</u>			<u> </u>		350	350			350	350		350	
民のつどし			三 定績		244	305			218				
数	2 13		成率	(69. 7%	87. 19)	(62. 3%				
人権・同和	□教育講]標	200	(2回)	100 (1厘])		(1回)	100 (1回])	100(1回)	
演会(12月	延べ		定績		197	63			55				
参加人数)			成率	Ç	98. 5%	63.0%	b	ļ	55. 0%				
人権・同利]標		50	50			50	50		50	
	延べ参加		E 績		100	44			51				
人数)		達	成率	2	200.0%	88.0%)	1	02.0%				
事業の対象	町民及び	町内への軸) 務者	等									
(だれに)				•									
古世《口4												引をはじめ	
事業の目的 (なんのた			-	_	ちを築くた	こめ、あら	ゆる場	まや	機会を通	して、一貫	したノ	人権・同和	
めに)	教育、啓												
	【主	な事業】	差別	をなり	くする町5	そのつどい	<u>、</u> 人格	≣ •	同和教育	構演会の開	催		
	〇 7月3	1日(日)に	こまなて	バタピ	フンとうは	くにおい	て琴浦	뺍	 人権フェ2	スティバル	(第1	2回琴浦町差	
												づくりなど	
												や講演会を	
		ました。					-	-	-				
	• • •												
声楽の	O 0 E 2	6 - (A) I	去选品	տ Iat –	1 =	- / +- /,	<i>h</i> —	(÷全\ /- +	シハケ目和	四耳	講演会を開催	
事業の 実施状況												■興云で開催 文化豊かな	
天旭仏儿										で迎ん、 た講演を1			
	みり	ノくりに	ויוניון כ	·	作"火焰,	八辰火小名	メんだ	U U,	パーと思し	に神典で1	10.4	U/2.	
	0.405	7-7 (1.) (· · · L I		/ 1= h		. ,		# /		L	
												ました。講師	
									をお迎え	し、「ユニ	_/\—	サルデザイ	
		推進と人	惟の导	·里」	と越した	講演を行し	いまし	こ。					
	〔成果〕												
				結果	より、内容	容の満足度	まは高	くな	つていま	す。			
		有11回(20		,	93. 7%								
	复	有12回(20	17)	,	94.9%								
	• 参加	者アンケ	一ト結	果よ	り、参加	した人の行	動化	(何	「かできる	ことをしる	ようと	思う人)の	
		は高くな		-		·							
		第11回(20			79. 9%								
成果と		第12回(20			87. 9%								
課題		. — \-•	•		- /*								
	〔課題〕												
		た か / す	ス肝足	"	どい 渉:	宙企 レナチ	€m≠	んごは	沙傾向に	あります。			
										めりまり。 参加動員型		苔 . 改	
										参加勁貝≦ ていますが			
		進んでい		C 13,	1日11日 (16	C 03 7 1 E	エジ	שי חני	**************************************	C 0. 4 9 /	」、 梦	ルル 7日 円比	
				نا	のようにな	研修機会為	: 提供	Ι.	白主的な	参加につれ	ケげて	いくの	
		課題と考			V) 5 / [-]	が及びで	ᆙ	∪ \	ロエゖ゙゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	シルロ フル	011 C	U - \ U)	
	13.13	外心し行	<i>/</i> L	0							_		
郭杰古中	心曲州	妥当性	八百	7 h/H	有効性	効率性	先駆		必要性 妥当性	住民ニーズ、事業行政必須か、委			
評価項目	必要性	女当注	公平	r I±	有刈注	刈平注	独創	性	公平性	行政必須か、安 受益者の偏りは		it。 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0	
		4.0			^	_			有効性	目標数値は達成	できたか。	5, 3, 1, 0	
評価点	7	10	3	3	3	3	3		効率性	コスト・人員効		, , ,	
	5.5.7.m. b			_		 		-		他の見本となり		5, 3, 1, 0	
	評価点 計		1 2	9	判定基準					善・効率化し 討 E∶休止		委託の検討	
	40点満点	.)		-					、安託の快	nı ⊏·孙ഥ	、焼皿		
					担当課に	よる判定	と埋由						
	Fak sir i		L		L L L .	11 4 4			~~ ~	, Am A.L		n ± 34	
	寿別を	しない。	ゝせなし	,۱, ≣	キさない!	社会シス	ナムき	- 種	翌するたん	の、綵続し	、て取締	泪を准めま	

「差別をしない、させない、許さない」社会システムを構築するため、継続して取組を進めま

В

1 事業の成果及び評価 一般会計

事業番号	1155			国県支出	出返納金				事業区	分		□新規	見 I	■継続
担当課					担当係	同和対策								
予算区分	款		諸支		項	1 諸費				E		1	国県支出	金返納金
-		最	終	決算額		事業費則			(千円)			/	+-
年			算額 四 \	(T III)	国庫	県支出金	その		起債	į	一般	財源	備	考
ᇴᄼ	0 左 垚	(+	円)	(千円)	支出金		(収入	()						
平成2			539	53	9							539		
平成28年		出上	左	· 库	06 (中(桂)	27/中4	主\	20	」 (実績)			29		30
活動	<u> </u>	単位	4	度	26(実績)	27(実約	頃/	20	一天限/					ა <u>ს</u>
設定なし					_	_			_			_		_
12. C G G					-	_			-			_		-
事業の対象(だれに)				•									•	
事業の目的 (なんのため														
(なんのため)														
事業の														
実施状況														
	○隊促	治 電管	弗生	油助全流	三納金 539	エロ								
					K帕亚 555 R館運営費等		っちゅうな	宇宁	に伴う	÷ ∀÷	豊全			
	Τ,	火とノコ	一汉而	4X 7T 194 1/	、印任白貝	4.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1	「日兄り」に	ŧ Æ	1 - IT J	1/2 J	₹ ग ≀			
		交付	决定家	百 12	266千円									
		~137	/\~ H		200 1									
		実績	額	11.	727千円									
成果と		返糸			539千円	_								
課題														
				1		1	1		N == 10		1 2. E		The Nation	10 7 0 0
評価項目	必要性	妥 =	当性	公平性	有効性	効率性	先駆		必要性 妥当性	-			業の必要性は。 託の可能性は。	10, 7, 3, 0
					1379311	7,3 1 1-	独創的	生	公平性		受益者(の偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	3	3	3	1		有効性 効率性				できたか。 率はどうか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
山川川川		1	<u> </u>	<u> </u>	J		<u>'</u>		先駆性・独	創性			えるか。	5, 3, 1, 0
	評価点…計			27	判定基準	A:事業拡3	充 B:到	見状紀	維持 C	:改	善・交	办率化	し継続、委託	その検討
(40点満点)				D. 規模縮/		設定	、委託(り検	討 E	:∶休止	、廃止	
					担当課に	よる判定	と理由							
В	事務的経	費でお	あり .	特になし	,									
	1 12 日 14年)		\		-									

事業番号	果 人権・同和教育課 担当係 同和対策係													
									++- I -		15 A 75 1 1 5 112 5 112			
予算区分	款									1 1	資金貸付事業費			
-	,		終	決算額		事業費財			(千円)		/++ + - -			
年			額	/ T III \	国庫	県支出金	その		起債	一般財源	備考			
T + 0	^	(千		(千円)			(収.			7,22773 4,137				
平成2			777	5	91	409		182						
平成28年		*** / /		_	00(= /= /=)	07 / /-	±\	0.0	/	00				
活動	垻日	単位			26(実績)	27(実績	 (1)	28	(実績)	29	30			
債権の時效	物管理の	%	実	標					100% 30/52	100%				
徹底		70		根 戊率		_			57. 7%					
事業の対象								<u>'</u>	07.7/0					
(だれに)	住宅新築	資金等	貸付	金貸付	5									
事業の目的	上 洋理培:	ኴቜል	ナーか	计学 轮垒	気笙に 必要 タ	* 答全の貸	<i>(</i> +	太行	った 明7	左什偿温重	事務のみ行ってい			
(なんのた	エル塚児!る。	以 口 v	<i>)</i>	工七初。	た守に必安で	りまいり	(ינו	ر 1 ک	フ/こ。 わば	エは貝逐す	まがりのか り」 フ C U・			
めに)	· o													
	以下の取得	ķп 7, 1	- 3= 1 \	± 1 +-										
丰 # 6			(大阪 ★		_									
事業の 実施状況		状発;		年2										
大心状が	・催告			年1		+□=火左	≠n±							
	• 吳尸	ا ح ک	の徴り	人、約1寸	相談、電話	怕談寺 №	直時							
	〔成果〕		,	~ , , , , , , ,	ا داره ساسا									
					内者2件)あ									
					、 1, 507, 85									
	(H2	7 14	17, 94°	7, 450円	→ H28	146, 439,	593円])						
	〔課題〕													
											朝分納者への対応			
											納者毎に対応した			
	取組	みがり	必要で	ご、人員	に対するコ	ストが相対	け的に	上か	いっていま	す。				
-														
成果と 課題														
林 超														
			1		1	1			心無性	4-8- → +	坐の心無料は 【 10 7 0			
評価項目	必要性	並,	当性	公平性	有効性	効率性	先馴		必要性 妥当性	住民ニーズ、事				
пшуп	~ × I	×-	1 1	→ 1 11	. האוד	が十二	独倉	川性	公平性	受益者の偏りは	ないか。 5, 3, 1, (
新/ボ 上	7	1	$ \wedge $	1	1	1	1		有効性	目標数値は達成				
評価点	価点 7 10 1 1 1 1 1 3 カンドナ 人員効率はどうか。 5,3,1,0 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 5,3,1,0 5,3,1,0													
	評価点 計			0.1	der - L LL se	A:事業拡充	R.	現状:			し継続、委託の検討			
	开圖点 引 40点満点			21	判定基準				⊯付 0.0 2、委託の検		こをが、安乱の検討 :、廃止			
,					担当課に	よる判定								
					ニコ杯に	S O TIKE	_ *±	4						
	取組の効果	里けが	> <i>[</i> -1-	出てい	5 全後±	「怹」 ロー	針」	乃ァド	「徘⋴」□□□┴⋾	前」に其っ	づく継続的な取組			
В	が必要で		K 1 -	шсья	y 。 フ I文 ひ 、	以以以力	ሕ ነ ገ .	メい	□□坎州人市「↓	当」に卒っ	ノ 、 小区小児ロゾイム 月X 市上			

事業番号	<u>7成来及び</u> 470	事業		住宅新築資	3 金等貸付	事業(公債	曹元金)	事業区分		見 ■継続				
	日本・同和教育課 担当係 同和対策係 計 款 2 公債費 項 1 公債費													
予算区分				費					1	元金				
		最	終	決算額		事業費財		(千円)						
年	度	予算	額		国庫	県支出金	その他	起債	一般財源	備考				
		(千	円)	(千円)	支出金	宗义山並	(収入)	起頂	一					
平成2	R 在 使	7	. 580	7, 001			7, 001			残額は繰越明許費				
		,	, 000	7, 001			7, 001			(578, 353円)				
平成28年		*** * * *		- 00	· / 	07/+/	+\	\	20					
活動	項目	単位			(実績)	27(実約	复) 28	3(実績)	29	30				
償還率		%	実	標続	100	100 100		100 100	100					
		/0			00.0%	100.0	% 1	100.0%						
事業の対象	14 -E V 11	1. / 1-			0010/0									
(だれに)	株式会社	かんに	生命	保険										
事業の目的 (なんのた	亚战33年1	在士っ	るお	債元金償還	=									
めに)	□1次00 <u>+</u> 1	ጀ ዕ		良ル亚 貝を	25 0									
		00 -	ــ ــــــــــــــــــــــــــــــــ	7/= / _ · · ·	7 – A = 1	<u>, ++ , ++ , ++ , ++ , ++ , ++ , ++ , +</u>	 - '	hall = !						
	• 平成			遺し対す			以下のと	おりです	0					
古 米 の	/-		分签多		28年度償還									
事業の 実施状況		宅新			l, 826, 208 l, 173, 904									
大心认为	<u> </u>	业出权	1寸貝	<u> </u>	., 173, 904									
	(AB)													
	〔成果〕													
		への	償還	未済額は	以下のと	おりです								
	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		分	T W L D W	未償還額									
	住	宅新	築資	金 10	, 408, 020	円								
	宅	地取	得資	金 5	5, 133, 602	円								
	〔課題〕			- talk arm -t						- talk arm -t- + 5 tt				
										の償還率が想定以				
	⊥ 1~	יינג א	つに均	易合、予備	食を切り	明しての正	21貝貝退ル	'必安とな	りまり。					
-														
成果と 課題														
														
511 /E + E C	ᅶᆂᄮ	₩.	/ h/L	\\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	_	사 사	先駆性	必要性	住民ニーズ、事	, , ,				
評価項目	必要性	妥当	31生	公平性	有効性	効率性	独創性	妥当性 公平性	行政必須か、引 受益者の偏りに	き託の可能性は。 はないか。 5,3,1,0				
=a-/a ►	7	4	^	1	2	2	1	有効性	目標数値は達成	えできたか。 5, 3, 1, 0				
評価点	7	ı	0	ı	3	3	I	効率性 先駆性・独創性	コスト・人員交 他の見本となり					
	評価点 計			ΩE	And 44 44	A:事業拡充	 B:現状:			し継続、委託の検討				
	40点満点			25	判定基準			こ、委託の検		上、廃止				
					担当課に	よる判定。	と理由							
В			々に	出ている。	今後も、	「徴収方	針」及び	「徴収計」	画」に基っ	づく継続的な取組				
	が必要で	す。												

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

	ク以来及び		L =	12	- A	-	-th-r-1	1 + 114 1 1				N 金特別会計	
事業番号	471	事業		住宅新築資				事業区分	L]新規	見	■継続	
担当課		_		曲		同和対策					エリフ		
予算区分	款	2	公債		項	1 公債			∄	2	利子		
		最	終	決算額		事業費財		(千円)				/# 	
年			額	(-	国庫	県支出金	その他	起債	一般!	財源		備考	
		(千	円)	(千円)	支出金	***	(収入)	2	/3~/	,,,,,,,			
平成2	8年度		761	761			761					繰越明許費	
1 /2.2	0 / X		701	701			701				(107円))	
平成28年	度(明許)												
活動	項目	単位	年	度 26	(実績)	27(実績	[28	(実績)		29		30	
			目	標	100	100		100		100			
償還率		%	実	績	100	100		100					
			達原	戊率 1	00.0%	100.0	% 1	00.0%					
事業の対象	株式会社	h / I=	°⊬♠	炉陉									
(だれに)	怀 八 云 仙 /	טיעינו	土中	体映									
事業の目的					m								
(なんのた	平成33年	要まて	の起	債利子償i	墓。								
めに)													
	. सः ।	つ0年	まの ギ	1年に分せ	スモルファイ	世帯中体に	tni ቴሪክ	・セリズナ					
	十八			昼債に対す			いかしのと	. ありじり	0				
— 40	75		分签多		28年度償還								
事業の		宅新			495, 796								
実施状況	<u></u> 두	地取	得資	金	264, 606	円							
	[成果]												
		へ の	利子	償還予定	ケスタ かいない ない ない ない ない しょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	以下のと	おりです	- _					
	ا کا کا		分		賞還予定8		03 / C 9	0					
	台	三宝新			夏逸了起 727, 054								
		<u>: 七新</u> : 地取											
	_ -	地拟	. 行貝	並	347, 040	 							
	〔課題〕												
											の償還署	軽が想定以	
	上に	下が・	った場	易合、予備	費を切り	崩しての起	は債償還か	「必要とな	ります	す。			
成果と													
課題													
		I					4. 55 10	必要性	住民二一	-ズ 事	業の必要性は	. 10, 7, 3, 0	
評価項目	必要性	妥当	当性	公平性	有効性	効率性	先駆性	妥当性			業の必要性は :託の可能性/	, , ,	
				–			独創性	公平性	受益者の	偏りは	ないか。	5, 3, 1, 0	
評価点	7	1	0	1	3	3	1	有効性 効率性			できたか。 p率はどうか。	5, 3, 1, 0	
計画点	1	'	U	ı	ა	ა	ı	効率性 先駆性・独創性	他の見本			5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0	
	評価点 計			۸۲	det at 11 mm	A:事業拡充						委託の検討	
(叶圆点 40点満点	.)		25	判定基準			臓行 0.0k ≧、委託の検				∝ ロ ∪ ∨ ノ ' 	
	411. (I-2 411)				担当種に	よる判定							
					ルコ林に	みる刊化。	- 生田						
	田名の共	田1十分	\ <u> </u>	山アハフ	△ ‰ ↓	Г⁄₩- ≀ -> ┵-	<u>ቀ</u> ⊥ ፣ ፑታኖ	「沙川マニリ:	あ . /-	- 甘 ~	ミノ め ゆせ	- h/n +> ππ	
В			ドマに	出ている。	ラ俊も、	□囡収万	対」及び	囡収計	囲」に	- 奉 -	ノく継続	的な取組	
	が必要で	9 。											

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書 事業の成果及び評価 住宅新築資金等貸付金特別会計 事業番号 事業名 住宅新築資金等貸付事業(繰出金) 事業区分 □新規 838 ■継続 担 当 課 人権・同和教育課 担当係 同和対策係 予算区分 繰出金 諸支出金 項 1 繰出金 目 1 3 決算額 事業費財源内訳 (千円) 終 最 年度 予算額 備考 国庫 その他 県支出金 起債 般財源 (収入) (千円) (千円) 支出金 平成28年度 7,616 7,616 7,616 平成28年度(明許) 29 30 活動項目 単位 年度 26(実績) 27(実績) 3, 000, 000 目標 3,000,000 3,000,000 3, 000, 000 -般会計への繰出 円 実績 3, 218, 000 6, 020, 000 7, 616, 000 償還 達成率 107.3% 200. 7% 253.9% 事業の対象 琴浦町 (一般会計) (だれに) 事業の目的 般会計から6,000万円の借入したため、前年度からの繰越額1/2以上の額を返納する。 (なんのた めに) • 平成28年度の一般会計に償還実績は以下のとおりです。 H28年度償還額 区分 -般会計繰出金 事業の 7,616,000円 実施状況 〔成果〕 -般会計への未償還残額は以下のとおりです。 未償還額 区分 一般会計繰出金 40,097,327円 〔課題〕 円滑な償還を行えている人は数年以内に完済される見通しです。そのため今後繰越額が減 少し続けることが予想され、貸付から20年以内(H44まで)に一般会計へ完済するという計 画は、滞納者からの償還だけでは厳しい状況にあると言えます。 成果と 課題 必要性 住民ニーズ、事業の必要性は。 先駆性 必要性 妥当性 公平性 有効性 効率性 10, 7, 3, 0 評価項目 行政必須か、委託の可能性は。 妥当性 独創性 受益者の偏りはないか。 公平性 5, 3, 1, 0 5, 3, 1<u>,</u> 0 有効性 目標数値は達成できたか 7 3 1 10 1 評価点 効率性 コスト・人員効率はどうか。 先駆性・独創性 他の見本となりえるか。 評価点 計 A:事業拡充 B:現状維持 C:改善・効率化し継続、委託の検討 23 判定基準 D:規模縮小、終期設定、委託の検討 E:休止、廃止 (40点満点) 担当課による判定と理由

В

が必要です。

取組の効果は徐々に出ている。今後も、「徴収方針」及び「徴収計画」に基づく継続的な取組

	ノ队朱及ひ		W 12		海 人 <i>标 谷 1</i>	1 = 4 / 2	· /++ === \		+*ラハ		[亚寺貝刊]	
事業番号	622	事		任乇新梁	資金等貸付)	事業区分	□新規	見 .	■継続
担当課		-		-11-		同和対策					- W #	
予算区分	款	4	予備		項	1 予備				1	予備費	
		最	終	決算額		事業費財			(千円)			
年	度	予算	算額 円)	(千円)	国庫	県支出金	その(収え		起債	一般財源	備	考
平成2	8年度		. 062	0				0				
平成28年			,									
活動		単位	年	度 2	6(実績)	27(実統	青)	28	(実績)	29		30
7,1-3	<u> </u>			-	-	_			15 4150			
設定なし					-							
事業の対象(だれに)	住宅新築	資金等	貸付	金特別会	 計	•					•	
事業の目的(なんのた	歳入歳出の	の差額	頁を予	備費とし	て確保する	5 。						
めに)												
事業の 実施状況												
4 B 1												
成果と 課題												
					1	ı			心亜州	仕民ニニヺ ★	業の必亜州は	10, 7, 3, 0
評価項目	必要性	妥铂	当性	公平性	有効性	効率性	先駆 独創	lh /I	必要性 妥当性 公平性	住民ニーズ、事 行政必須か、委 受益者の偏りは	託の可能性は。	10, 7, 3, 0 10, 7, 3, 0 5, 3, 1, 0
評価点	7	1	0	1	3	1	1		有効性 効率性	受益者の偏りは 目標数値は達成 コスト・人員効	できたか。	5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
			U	ı	J				先駆性・独創性	他の見本となり	えるか。	5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			23	判定基準	A:事業拡充 D:規模縮小		現状網 別設定	維持 C∶改 弦、委託の検		し継続、委託 :、廃止	その検討
					担当課に	よる判定	と理由	1				
В			々に	出ている	。今後も、	「徴収方	'針」 2	及び	「徴収計」	画」に基っ	づく継続的	な取組
	が必要です	9 。										

所 属 名 称:学校給食センター

(単位:千円)

= = + # * * * .				
(款−項−目−事業名称)	(最終予算額)	(決算額)	(ページ)	(備考)
一般会計				
学校給食センター	78,931	78,624		
9.教育費	78,931	78,624		
5.保健体育費	78,931	78,624		
4.給食センター運営費	78,931	78,624		
学校給食事業	78,932	78,624	17-1	

28 年度 事業成果説明書 兼 評価書

1 事業 の	<u>)成果及び</u> 353	評価事業	差名	学校糺	合食圖	事業				事業区分	□新規	Į.		■継続
担当課			, 1	1 1/21	нД		学校給食	センタ		テルロバ				112196
予算区分		9	教育			項	5 保健	体育費	ŧ		∄ 4	給食	センタ	一運営費
	_		終	決算	額		事業費財	源内詞	尺	(千円)				_L .
年	芰	予算		/ 	п,	国庫	県支出金	その		起債	一般財源		備	考
ज ।)左由	(千	932	(千F	1) 624	支出金		(収え	() 289		78, 335			
平成28年		78	, 932	70,	024				209		78, 333			
活動:		単位	午	度	26	(実績)	27(実績	手)	28	(実績)	29			30
/口 到 ·	<u> </u>	平四		標	20	(大順/		貝/	20		ZJ			00
学校給食σ)提供	延べ			286	6,376食	282, 007	/食	270	6, 237食				
			達原	戈率										
△1-88-1-7	1F.1 *	n+ 88				112	110	-		212				
食に関する)指导	時間				107 95. 5	172. 5 156. 8			215. 5 01. 7 %	1000	100	W.	111
			目	標		69	71	/0		77				
地産地消の		%	実			71	77			75	and the		-	
(県内産等指	正44品日)		達原	戈率	1	102. 9	108. 4	%	,	97. 4%			1	
事業の対象	町内小!	芝松明	音音87	3名	山学	校生徒49	7タ その	(金)	かお きょうしょう かいかい かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしゅう かいり かいしゅう かいしゅ しゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅ しゅう かいしゅ しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう し	融昌等	19 6		1	
(だれに)											***	-		Annuments!
事業の目的										とれた栄養				
(なんのた めに)	ともに、 <u>:</u> など、「:												[習慣	を養う
(۵)۱۵												ବ -		
										実施しまり				
										4回。牛	乳の飲量は	は小学	校、	中学校
						もに年間					- ナ 仏会⊓	±88 보	. Ø ±h	チリノーナン
事業の	2 琴浦に						こ、合字	校の言	E 14	計画にそ [.]	つ(稲良の	まして かんしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしゅう かいしょう アン・スティップ アン・スティッグ アン・スティン アン・スティッグ アン・スティン アン・スティッグ アン・スティッグ アン・スティン アン・スティ	合教	件にお
実施状況							Δや漁協	一学科	か給:	食野菜会7	などと連邦	集を図	りか	がら
						用しました		, J 1.	~ ⊕	及山木五、	5 C C Æ 1,	'5 C E	4 / 0	73 -5 (
	4 食物	アレル	ギー	がある	5児重	産生徒に対	-。 けし、学校	• 家庭	きと	連携をと	りながら個	固別に	アレ	ルギー
	の原因	物質の	除去	を行な	ょうな	ょどアレル	/ギー対応	食の抗	是供	を行いま	した。	7 -0	-	But
成果と 課題	2 34 5 6 [1 2 字栄栄康化36は・校徴養が] 食導産 株 員 こ課 る の まと題給指地	検バ教題どの町ケ給収教出 のこ地とう諭や各児内チ食業諭来 時つ消修ンと規教童産ャ費務等ま 間い率	「縁っ:見対置」、覚察に、 ういない きんぱり おいまい きゅうしん きんしん おもまい きょう かいしん きんしん おもま かいき かいしん かいしょう かいしょう しょう かいしょう はんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう はんしょう しょう はんしょう はんしょう はんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	行取職しのにヒ等シ担る。 用計候なれ員い内対カのス軽食 し画不	つにが食容し人口テ或育 に何良た給計生とて、エムを指 信見の にる はいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	こ食画舌劇 いるを図算 こ尾形との的な連個菜も導るの 関施響で提にどづ別に含入と結 すでも大供学のけにつめすと果 るきあきを材指てきい、るも、 指るり	な行訪導学めて可なに前 導体、トな問を年細は能ど、年 は制最ラうを行にや学なし現度 各を終びこう	いというじな給り給分比 にえにもが、とた食食地食の較 定て75%	無出食と食勿野元貴帯し 着いとく来にも育ア菜産の納て しくす	起に指レ会の徴を米ま必ず日、導ルと食収無飯し要度を禁連材業くでたが実度がある。	いかなへを舌の事間いりなへを舌の事間かと応とるし来的がかりですがかりですがかりですできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできる<	ががり事をよの 効 下出出、が行し残 や 回来来肉出いた。 名 り	まま、来、。荣 教 ましし魚ま学 渉 科 し	た。 た。 類た。 類た。 職 少 す お け た 。 た た 。 た 。 た 。 た 。 た う し た う し た 。 た う し た う し た 。 た う し た 。 と う た う た う と う た う た う た う と う と う た 。 と う と う と う と う と う と 。 と 。 と 。 と 。 と
										高価になる	ることもな	かり、	地産	地계平
						D調整に苦 こついて				す。 障等のト ⁻	ニ ブ ロ おきゅ	当十四日	てい	キ ナ
	3 厨房	及がい	和艮	建加引	ド守し		性十为化			呼寺のト ⁻ ^{必要性}	フ ノルかり			まり。 10,7,3,0
評価項目	必要性	妥当	1性	公平	性	有効性	効率性	先駆 独創		妥当性	行政必須か、委	託の可能	性は。	10, 7, 3, 0
			_			_	_			公平性 有効性	受益者の偏りは 目標数値は達成			5, 3, 1, 0 5, 3, 1, 0
評価点	10	7	7	1		3	3	3		効率性	コスト・人員効	率はどう	うか。	5, 3, 1, 0
	電圧 と こ								TO 3 1 1 1		他の見本となり			5, 3, 1, 0
	評価点 計 40点満点			27	7	判定基準				維持 C∶改 ☑、委託の検				比の検討
						担当課に	よる判定。	と理由	1					
В	学校給食((安全網) あります。	ع ر (り、また 引き続き				
		-					17—1							

資 料 編

平成28年度各会計別決算総括表

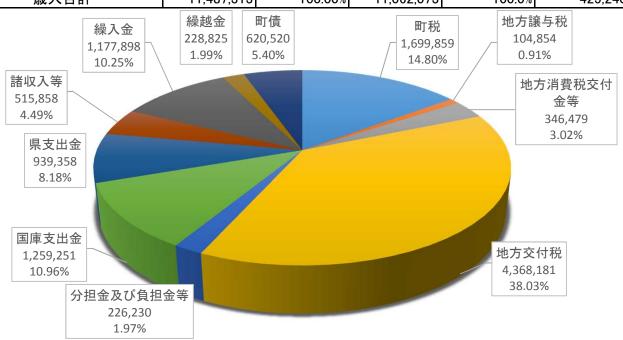
(単位:円)

	予算現額	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	컢	年度へ繰り起	対べき財	源	実質収支額	予算に対する	- ユ・ 」 / 決算額の比率
会計名	(A)	(B)	(C)	額 (B-C)(D)	逓次繰越	明許繰越	事故繰越	合計(E)	(D-E)(F)	歳入 (B/A)	歳出 (C/A)
一 般 会 計	12,288,587,000	11,487,313,311	11,042,122,022	445,191,289	128,452,896	124,688,044		253,140,940	192,050,349	93.5%	89.9%
国民健康保険特別会計	2,550,306,000	2,567,181,623	2,535,635,671	31,545,952				0	31,545,952	100.7%	99.4%
住宅新築資金等貸付事業特別会計	27,796,000	26,163,301	15,967,176	10,196,125				0	10,196,125	94.1%	57.4%
農業集落排水事業特別会計	264,148,000	265,248,676	263,524,464	1,724,212				0	1,724,212	100.4%	99.8%
下 水 道 事 業 特 別 会 計	1,646,601,000	1,467,115,635	1,446,240,556	20,875,079		9,764,000		9,764,000	11,111,079	89.1%	87.8%
介 護 保 険 特 別 会 計	2,252,767,000	2,253,464,413	2,166,368,407	87,096,006				0	87,096,006	100.0%	96.2%
後期高齢者医療特別会計	196,862,000	195,213,121	195,034,221	178,900					178,900	99.2%	99.1%
船上山発電所管理特別会計	20,490,000	20,492,571	12,551,568	7,941,003					7,941,003	100.0%	61.3%
八橋財産区特別会計	28,000	22,847	0	22,847				0	22,847	81.6%	0.0%
浦安財産区特別会計	15,000	10,941	0	10,941				0	10,941	72.9%	0.0%
下 郷 財 産 区 特 別 会 計	6,000	180	0	180				0	180	3.0%	0.0%
上郷財産区特別会計	6,000	0	0	0				0	0	0.0%	0.0%
古布庄財産区特別会計	6,000	376	0	376				0	376	6.3%	0.0%
赤碕財産区特別会計	19,917,000	20,086,621	817,166	19,269,455				0	19,269,455	100.9%	4.1%
成美財産区特別会計	14,452,000	14,476,135	245,000	14,231,135				0	14,231,135	100.2%	1.7%
安田財産区特別会計	12,479,000	12,576,211	624,377	11,951,834				0	11,951,834	100.8%	5.0%
以西財産区特別会計	56,803,000	56,966,376	1,302,591	55,663,785				0	55,663,785	100.3%	2.3%
合計	19,351,269,000	18,386,332,338	17,680,433,219	705,899,119	128,452,896	134,452,044	0	262,904,940	442,994,179	95.0%	91.4%

平成28年度一般会計決算総括表

歳入 (単位:千円)

NX.								
款	平成28年	度決算額	平成27年	比 較				
ग्र∕	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	(A-B)			
1.町税	1,699,859	14.80%	1,721,391	15.6%	△ 21,532			
2.地方譲与税	104,854	0.91%	106,647	1.0%	△ 1,793			
3.利子割交付金	2,526	0.02%	3,758	0.0%	△ 1,232			
4.配当割交付金	5,015	0.04%	7,860	0.1%	△ 2,845			
5.株式等譲渡所得割交付金	2,956	0.03%	7,353	0.1%	△ 4,397			
6.地方消費税交付金	308,875	2.69%	341,382	3.1%	△ 32,507			
7.ゴルフ場利用税交付金	1,744	0.02%	1,828	0.0%	△ 84			
8.自動車取得税交付金	19,609	0.17%	18,283	0.2%	1,326			
9.交通安全対策特別交付金	1,444	0.01%	1,388	0.0%	56			
10.地方特例交付金	4,310	0.04%	3,977	0.0%	333			
11.地方交付税	4,368,181	38.03%	4,377,395	39.6%	△ 9,214			
12.分担金及び負担金	60,548	0.53%	95,810	0.9%	△ 35,262			
13.使用料及び手数料	165,682	1.44%	171,034	1.5%	△ 5,352			
14.国庫支出金	1,259,251	10.96%	1,044,014	9.4%	215,237			
15.県支出金	939,358	8.18%	920,449	8.3%	18,909			
16.財産収入	17,446	0.15%	13,458	0.1%	3,988			
17.寄附金	337,168	2.94%	189,545	1.7%	147,623			
18.繰入金	1,177,898	10.25%	691,885	6.3%	486,013			
19.繰越金	228,825	1.99%	228,489	2.1%	336			
20.諸収入	161,244	1.40%	180,717	1.6%	△ 19,473			
21.町債	620,520	5.40%	935,410	8.5%	△ 314,890			
歳入合計	11,487,313	100.00%	11,062,073	100.0%	425,240			

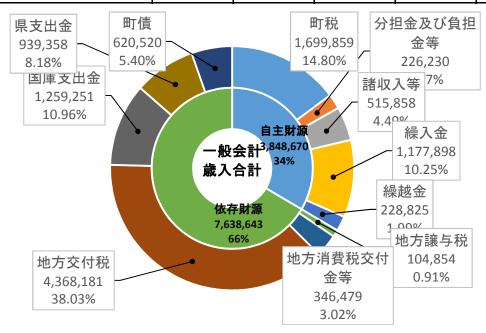


- * 地方消費税交付金等・・・利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得交付金、地方消費税交付金 自動車取得交付金、ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金、交通安全対策交付
- * 分担金及び負担金等・・・分担金及び負担金、使用料及び手数料
- *諸収入……財産収入、寄附金、諸収入

平成28年度一般会計決算歳入表

歳入 (単位:千円)

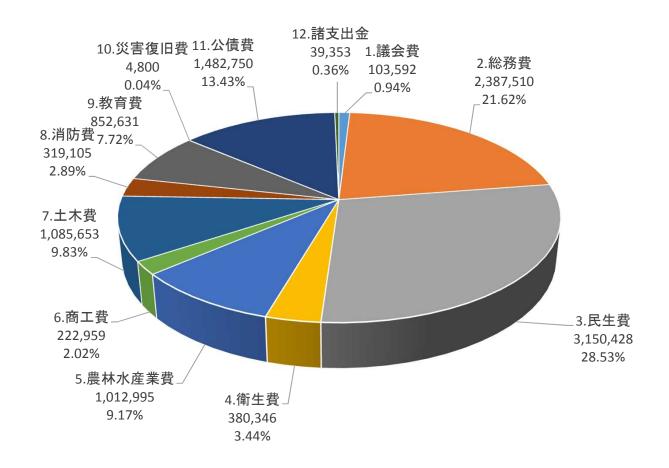
厭.	慰入						
款		平成28年	度決算額	平成27年	度決算額	比 較	
	水人	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	(A-B)	
1. €	自主財源	3,848,670	33.50%	3,292,329	29.8%	556,341	
	1.町税	1,699,859	14.80%	1,721,391	15.6%	△ 21,532	
	12.分担金及び負担金	60,548	0.53%	95,810	0.9%	△ 35,262	
	13.使用料及び手数料	165,682	1.44%	171,034	1.5%	△ 5,352	
	16.財産収入	17,446	0.15%	13,458	0.1%	3,988	
	17.寄附金	337,168	2.94%	189,545	1.7%	147,623	
	18.繰入金	1,177,898	10.25%	691,885	6.3%	486,013	
	19.繰越金	228,825	1.99%	228,489	2.1%	336	
	20.諸収入	161,244	1.40%	180,717	1.6%	△ 19,473	
2.存	校存財源	7,638,643	66.50%	7,769,744	70.2%	-131,101	
	2.地方譲与税	104,854	0.91%	106,647	1.0%	△ 1,793	
	3.利子割交付金	2,526	0.02%	3,758	0.0%	△ 1,232	
	4.配当割交付金	5,015	0.04%	7,860	0.1%	△ 2,845	
	5.株式等譲渡所得割交付金	2,956	0.03%	7,353	0.1%	△ 4,397	
	6.地方消費税交付金	308,875	2.69%	341,382	3.1%	△ 32,507	
	7.ゴルフ場利用税交付金	1,744	0.02%	1,828	0.0%	△ 84	
	8.自動車取得税交付金	19,609	0.17%	18,283	0.2%	1,326	
	9.交通安全対策特別交付金	1,444	0.01%	1,388	0.0%	56	
	10.地方特例交付金	4,310	0.04%	3,977	0.0%	333	
	11.地方交付税	4,368,181	38.03%	4,377,395	39.6%	△ 9,214	
	14.国庫支出金	1,259,251	10.96%	1,044,014	9.4%	215,237	
	15.県支出金	939,358	8.18%	920,449	8.3%	18,909	
	21.町債	620,520	5.40%	935,410	8.5%	△ 314,890	
	歳入合計	11,487,313	100.00%	11,062,073	100.0%	425,240	



一般会計歳出(目的別)

(単位:千円)

款	平成28年	度決算額	平成27年	度決算額	比較
示人	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比	(A-B)
1.議会費	103,592	0.94%	109,160	1.0%	△ 5,568
2.総務費	2,387,510	21.62%	2,712,405	25.0%	△ 324,895
3.民生費	3,150,428	28.53%	3,096,927	28.6%	53,501
4.衛生費	380,346	3.44%	351,756	3.2%	28,590
5.農林水産業費	1,012,995	9.17%	970,478	9.0%	42,517
6.商工費	222,959	2.02%	188,821	1.7%	34,138
7.土木費	1,085,653	9.83%	858,144	7.9%	227,509
8.消防費	319,105	2.89%	311,880	2.9%	7,225
9.教育費	852,631	7.72%	747,927	6.9%	104,704
10.災害復旧費	4,800	0.04%	1,362	0.0%	3,438
11.公債費	1,482,750	13.43%	1,447,180	13.4%	35,570
12.諸支出金	39,353	0.36%	37,208	0.3%	2,145
13.予備費	0	0.00%	0	0.0%	0
歳出合計	11,042,122	100.00%	10,833,248	100.0%	208,874



平成28年度普通会計決算資料 歳入(性質別)

(単位:千円)

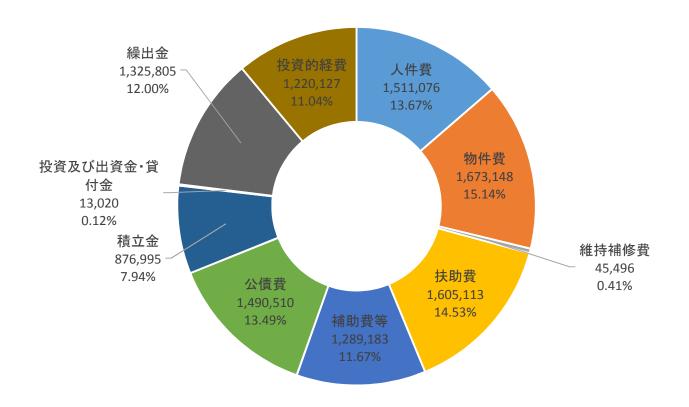
歳入(性質別)	主員が / 平成28年度					<u>(単位∶千円)</u> 交	
区分	決算額	決算額	決算額	決算額	増減額		
	(A) 1,699,859	構成比 14.8%	(B) 1,721,391	構成比 15.5%	(A)−(B) △ 21,532	-1.3%	
2 地方譲与税	104,854	0.9%	106,647	1.0%	△ 1,793	-1.7%	
(1)所得譲与税	30,627	0.3%	32,394	0.3%	△ 1,767	-5.5%	
(2)自動車重量譲与税	74,227	0.6%	74,253	0.7%	△ 26	0.0%	
3 利子割交付金	2,526	0.0%	3,758	0.0%	△ 1,232	-32.8%	
4 配当割交付金	5,015	0.0%	7,860	0.1%	△ 2,845	-36.2%	
5 株式等譲渡所得割交付金	2,956	0.0%	7,353	0.1%	△ 4,397	-59.8%	
6 地方消費税交付金 7 ゴルフ場利用税交付金	308,875 1,744	2.7% 0.0%	341,382 1,828	3.1% 0.0%	△ 32,507 △ 84	-9.5% -4.6%	
8 自動車取得税交付金	19,609	0.0%	18,283	0.0%	1,326	7.3%	
9 地方特例交付金	4,310	0.0%	3,977	0.0%	333	8.4%	
10 地方交付税	4,368,181	38.0%	4,377,395	39.5%	△ 9,214	-0.2%	
(1)普通交付税	3,913,976	34.0%	3,938,013	35.5%	△ 24,037	-0.6%	
(2)特別交付税	454,205	3.9%	439,382	4.0%	14,823	3.4%	
11 交通安全対策特別交付金	1,444	0.0%	1,388	0.0%	56	4.0%	
12 分担金及び負担金	20,008	0.2%	12,988	0.1%	7,020	54.0%	
13 使用料	189,895	1.7%	236,414	2.1%	△ 46,519	-19.7%	
(1)授業料 幼稚園	0	0.0% 0.0%	20 20	0.0% 0.0%	△ 20 △ 20	-100.0% -100.0%	
(2)保育園使用料	47,869	0.0%	89,000	0.0%	△ 41,131	-100.0% -46.2%	
(3)公営住宅使用料	97,934	0.4%	103,870	0.9%	△ 5,936	-5.7%	
(4) その他	44,092	0.4%	43,524	0.4%	568	1.3%	
14_手数料	23,656	0.2%	23,620	0.2%	36	0.2%	
(1)法定受託事務に係るもの	4,773	0.0%	5,204	0.0%	△ 431	-8.3%	
(2)自治事務に係るもの	18,883	0.2%	18,416	0.2%	467	2.5%	
15 国庫支出金	1,259,251	10.9%	1,044,014	9.4%	215,237	20.6%	
(1)児童保護費負担金	2,184	0.0% 2.0%	2,588	0.0% 1.8%	<u>△ 404</u>	-15.6%	
(2)障害者自立支援給付費等負担金(3)児童手当等交付金	227,716 186,620	1.6%	204,915 189,281	1.8%	22,801 △ 2,661	11.1% -1.4%	
(4)普通建設事業費支出金	5,338	0.0%	1,417	0.0%	3,921	276.7%	
(5)災害復旧事業費支出金	0,000	0.0%	419	0.0%	△ 419		
(6)委託金	7,540	0.1%	4,174	0.0%	3,366	80.6%	
(7)社会資本整備総合交付金	234,394	2.0%	146,903	1.3%	87,491	59.6%	
(8)地域の元気臨時交付金	72,447	0.6%	82,399	0.7%	△ 9,952	_	
(9) その他	523,012	4.5%	411,918	3.7%	111,094	27.0%	
16 都道府県支出金	939,767	8.2%	926,599	8.4%	13,168	1.4%	
(1)国庫財源を伴うもの ①児童保護費負担金	526,227 64,043	4.6% 0.6%	595,917 50,365	5.4% 0.5%	△ 69,690 13,678	-11.7% 27.2%	
②障がい者自立支援給付費等負担金	115,574	1.0%	103,916	0.5%	11,658	11.2%	
③児童手当等交付金	41,069	0.4%	41,839	0.4%	△ 770	-1.8%	
④普通建設事業費支出金	21,058	0.2%	13,672	0.1%	7,386	1.070	
⑤災害復旧事業費支出金	15,168	0.1%	0	0.0%	15,168	_	
⑥委託金	14,132	0.1%	17,975	0.2%	△ 3,843	-21.4%	
⑦その他	255,183	2.2%	368,150	3.3%	△ 112,967	-30.7%	
(2) 都道府県費のみのもの	413,540	3.6%	330,682	3.0%	82,858	25.1%	
①普通建設事業費支出金	54,892	0.5%	28,677	0.3%	26,215	91.4%	
②災害復旧事業費支出金	0 358,648	0.0%	0 302,005	0.0% 2.7%	56.643	10.00	
3その他 17 財産収入	17,446	3.1% 0.2%	13,458	0.1%	56,643 3,988	18.8% 29.6%	
(1)財産運用収入	11,440	0.2%	10,098	0.1%	1,364	13.5%	
(2)財産売払収入	5,984	0.1%	3,360	0.0%	2,624	78.1%	
18 寄附金	337,168	2.9%	189,545	1.7%	147,623	77.9%	
19 繰入金	1,170,282	10.2%	685,865	6.2%	484,417	70.6%	
20 繰越金	244,057	2.1%	242,369	2.2%	1,688	0.7%	
(1)純繰越金	209,855	1.8%	16,740	0.2%	193,115	1153.6%	
(2)繰越事業費等充当財源繰越額	34,202	0.3%	225,629	2.0%	△ 191,427	-84.8%	
21 諸収入 (1) 延洪今加質令及び過剰	164,438	1.4%	184,226	1.7%	△ 19,788	-10.7%	
(1)延滞金加算金及び過料 (2)預金利子	7,338 50	0.1% 0.0%	4,049 346	0.0% 0.0%	3,289 △ 296	81.2% -85.5%	
(3)貸付金元利収入	47,681	0.0%	70,030	0.6%	△ 22,349	-85.5% -31.9%	
(4)受託事業収入	7,604	0.4%	7,671	0.1%	△ 22,349 △ 67	-0.9%	
(5)雑入	101,765	0.9%	102,130	0.9%	△ 365	-0.4%	
①一部事務組合配分金	0	0.0%	0	0.0%	0	J. 170	
②その他	101,765	0.9%	102,130	0.9%	△ 365	-0.4%	
	222 522	E 40/	02E 410	8.4%	△ 314,890	-33.7%	
22 地方債 歳入合計	620,520 11,505,861	5.4%	935,410 11,085,770	100.0%	420,091	3.8%	

普通会計歳出(性質別)

(単位:千円)

	平成2	!8年度	平成27年度		比較	<u> </u>
区分	決算額	決算額 構成比	決算額	決算額 構成比	増減額	増減率
	(A)	(%)	(B)	(%)	(A)-(B)	
1 人件費(a)	1,511,076	13.7%	1,547,867	14.3%	△ 36,791	-2.4%
2 物件費	1,673,148	15.1%	1,600,700	14.8%	72,448	4.5%
3 維持補修費	45,496	0.4%	16,468	0.2%	29,028	176.3%
4 扶助費	1,605,113	14.5%	1,465,131	13.5%	139,982	9.6%
5 補助費等	1,289,183	11.7%	1,227,079	11.3%	62,104	5.1%
(1)一部事務組合に対するもの	384,421	3.5%	363,924	3.4%	20,497	5.6%
(2) (1)以外のもの	904,762	8.2%	863,155	8.0%	41,607	4.8%
6 公債費	1,490,510	13.5%	1,456,897	13.4%	33,613	2.3%
(1)元利償還金	1,490,510	13.5%	1,456,890	13.4%	33,620	2.3%
(2)一時借入金利子	0	0.0%	7	0.0%	△ 7	-100.0%
7 積立金	876,995	7.9%	777,265	7.2%	99,730	12.8%
8 投資及び出資金・貸付金	13,020	0.1%	14,902	0.1%	△ 1,882	-12.6%
9 繰出金	1,325,805	12.0%	1,394,366	12.9%	△ 68,561	-4.9%
10 前年度繰上充用金	0	0.0%	0	0.0%	0	_
計(1~10)	9,830,346	89.0%	9,500,675	87.6%	329,671	3.5%
11 投資的経費	1,220,127	11.0%	1,341,038	12.4%	△ 120,911	-9.0%
うち人件費(b)	24,200	0.2%	21,690	0.2%	2,510	11.6%
(1)普通建設事業費	1,187,141	10.7%	1,339,676	12.4%	△ 152,535	-11.4%
うち単独事業費	604,479	5.5%	1,044,760	9.6%	△ 440,281	-42.1%
(2)災害復旧事業費	32,986	0.3%	1,362	0.0%	31,624	2321.9%
歳出合計	11,050,473	100.0%	10,841,713	100.0%	208,760	1.9%
うち人件費(a)+(b)	1,535,276	13.9%	1,569,557	14.5%	△ 34,281	-2.2%

普通会計性質別歳出状況



普通会計における財政指数

1.実質収支比率 (単位:%)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
実質収支比率	0.3	3.2	3.2	

2.経常収支比率 (単位:千円、%)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
経常一般財源等総額 A	6,430,435	6,510,836	6,352,684	
経常経費充当一般財源等 B	5,660,482	5,757,659	5,822,403	
経常収支比率 (B/A×100)	88.0%	88.4%	91.7%	

各会計における地方債の状況 【普<u>通会計】</u>

(単位:千円)

区分	平成27年度末	平成28年度	平成28年度元利償還額			平成28年度末
区刀	現在高	発行額	元金	利子	計	現在高
一般公共事業債	670,784	133,100	113,603	6,682	120,285	690,281
一般単独事業債	6,919,309	168,100	511,201	80,948	592,149	6,576,208
うち合併特例事業債	6,296,362	55,200	78,993	389,847	468,840	6,272,569
公営住宅建設事業債	752,898	4,200	95,166	13,007	108,173	661,932
義務教育施設整備事業債	1,014,429	0	130,488	16,742	147,230	883,941
辺地対策事業債	123,553	8,100	13,482	269	13,751	118,171
災害復旧事業債	97,177	13,100	20,621	547	21,168	89,656
減税補てん債	87,178	0	16,875	826	17,701	70,303
臨時財政対策債	4,375,942	281,720	290,850	35,517	326,367	4,366,812
その他	1,229,928	12,200	128,060	15,626	143,686	1,114,068
合計	15,271,198	620,520	1,320,346	170,164	1,490,510	14,571,372

【農業集落排水事業特別会計】

(単位:千円)

区分	平成27年度末 平成28年度 現在高 発行額		平成	平成28年度末		
			元金	利子	計	現在高
下水道事業債(辺地債含)	2,308,580	0	168,074	50,903	218,977	2,140,506
合計	2,308,580	0	168,074	50,903	218,977	2,140,506

【下水道事業特別会計】

(単位:千円)

区分	平成27年度末 平成28年度		平成	平成28年度末		
区 7	現在高	発行額	元金	利子	計	現在高
下水道事業債	6,507,380	525,100	247,844	115,240	363,084	6,784,636
合計	6,507,380	525,100	247,844	115,240	363,084	6,784,636

【全会計】

(単位:千円)

区分	平成27年度末	平成28年度	平成	平成28年度末		
	現在高	発行額	元金	利子	計	現在高
普通会計	14,943,646	620,520	1,320,346	170,164	1,490,510	14,571,372
農業集落排水事業特別会計	2,308,580	0	168,074	50,903	218,977	2,140,506
下水道事業特別会計	6,507,380	525,100	247,844	115,240	363,084	6,784,636
合計	23,726,903	1,145,620	1,736,264	336,307	2,072,571	23,496,514